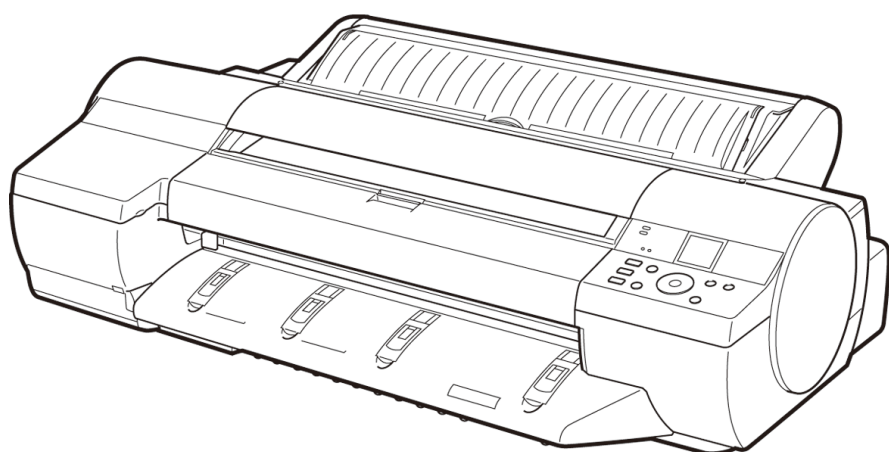
Canon

大判プリンター

iPF6300

ユーザーズマニュアル

ver1.20　2010-07-26

JPN

メモ

本書は、プリンタに同梱の「User Manuals CD-ROM」に収録されている HTML 形式の製品マニュアルを、簡単に印刷できるよう PDF 形式にしたものです。そのため、一部 HTML 形式にのみ適用される説明文や、使用できない機能(動画表示機能など)があります。あらかじめご了承ください。

目次

印刷の流れ

印刷の手順

ロール紙印刷とカット紙印刷でできること

このプリンタでは、ロール紙とカット紙に印刷できます。
ここでは、ロール紙印刷、カット紙印刷の特徴と設定できる主な印刷方法を紹介します。目的に応じて用紙を選択してください。

メモ

- プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663
- ここで紹介している印刷方法以外にも、さまざまな印刷方法があります。「目次」から「さまざまな印刷データ」や「さまざまな印刷方法」を参照し、目的に合った印刷を行なってください。

ロール紙印刷

ロール紙とは、ロール状に巻かれている用紙のことです。ロールホルダーにセットし、プリンタに取り付けます。
大判サイズの写真や、通常のカット紙では印刷できないポスターや横断幕などを印刷することができます。

- 長尺印刷
  Microsoft Office などのアプリケーションソフトから、垂れ幕や横断幕を簡単に印刷できます。
  (「垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)」参照) →P.104
- フチなし印刷
  ポスターや写真などの周囲に余白(フチ)を入れずに印刷できます。
  (「用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する」参照) →P.90
  (「ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する」参照) →P.96
  (「原寸大のフチなしで印刷する」参照) →P.83
- バナー印刷
  複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷できます。
  (「複数ページをつなげて印刷する」参照) →P.125
- 90 度回転印刷
  縦長の原稿を印刷するとき、原稿を 90 度回転し、余白を減らして印刷できます。
  (「原稿を 90 度回転してロール紙を節約する」参照) →P.152
- 拡大/縮小印刷
  原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、サイズを自由に調整して印刷できます。
  (「用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.58
  (「ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.64
  (「指定した倍率で拡大/縮小して印刷する」参照) →P.69
- フリーレイアウト機能
  ワープロソフトや表計算ソフトなど、複数のアプリケーションソフトの原稿を、並べて印刷できます。
  (「複数の原稿を並べて印刷する」参照) →P.120

カット紙印刷

カット紙とは、一枚ずつ裁断されている用紙です。単票紙ともいいます。
カット紙は手差し上面給紙口にセットします。ただし、[POP ボード]などの厚紙に印刷する場合は、用紙を手差し前面給紙口にセットします。

- 拡大/縮小印刷
  原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、サイズを自由に調整して印刷できます。
  (「用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する」参照) →P.58
  (「指定した倍率で拡大/縮小して印刷する」参照) →P.69
- フリーレイアウト機能
  ワープロソフトや表計算ソフトなど、複数のアプリケーションソフトの原稿を、並べて印刷できます。
  (「複数の原稿を並べて印刷する」参照) →P.120

ロール紙をセットして印刷する

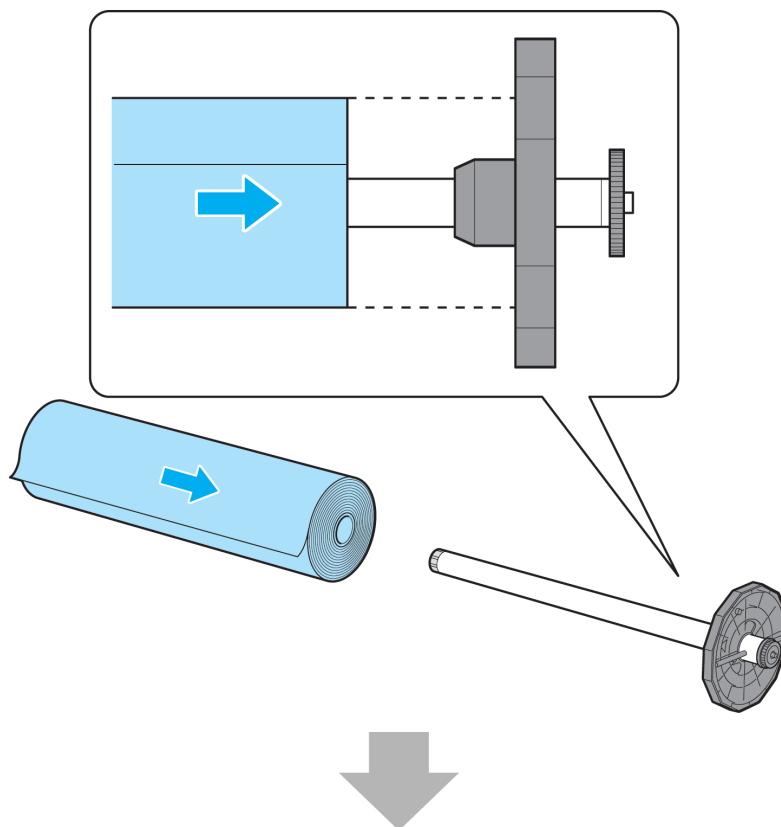
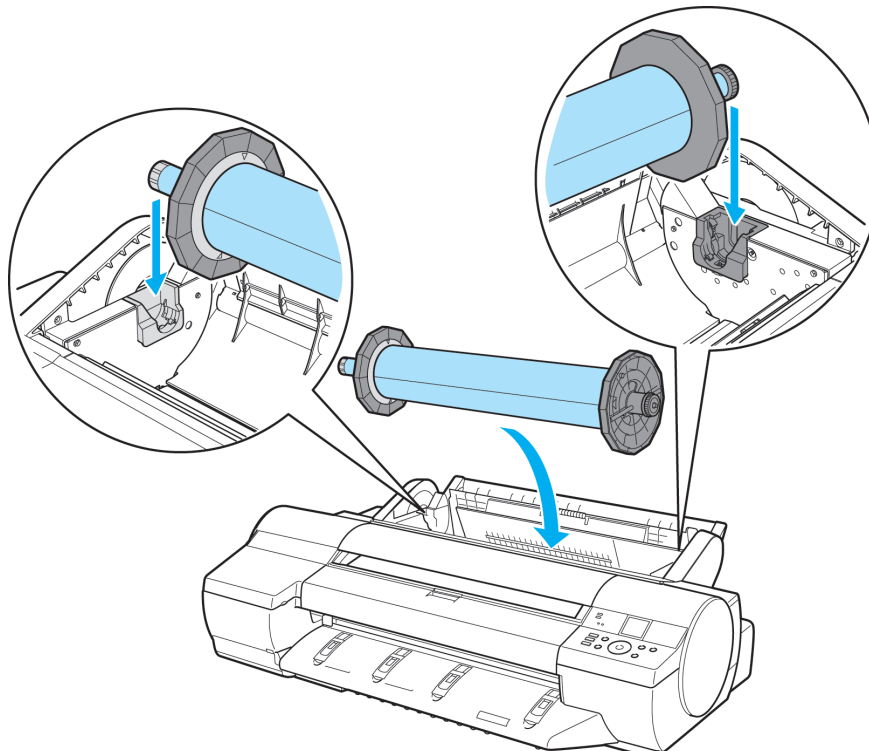
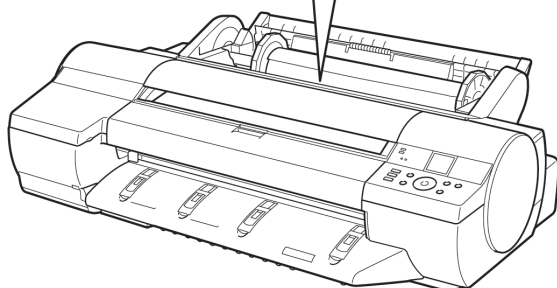
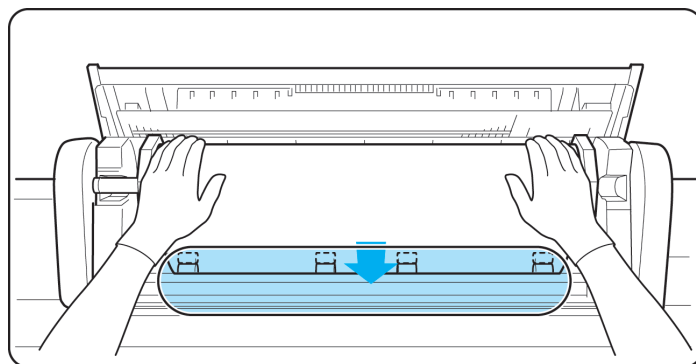
ここでは、ロール紙をセットしてから印刷するまでの基本的な操作を説明します。
ロール紙をセットして印刷する場合は以下の手順を行ってください。

メモ

- セットできるロール紙のサイズと種類については、[用紙のサイズ]、または用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙のサイズ」参照) →P.666 (「用紙の種類」参照) →P.663
- 印刷後にインクの乾燥を待って排紙したい場合などには、ロール紙を自動でカットせずに、手動でカットすることもできます。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.684
- プリンタにロール紙をセットしたまま長時間印刷しないと、次回ロール紙に印刷するときに、用紙の先端にくぼんだような跡が付く場合があります。
  印刷品質を特に重視する場合は、[ﾛｰﾙ退避時ﾌﾟﾚｶｯﾄ]で[ｵﾝ]または[自動]を選択し、印刷開始前に用紙の先端を自動でカットすることをお勧めします。
- ロール紙を 1 本使い切った場合は、プラテンを清掃してください。(「上カバー内部を清掃する」参照) →P.864
- バナー印刷など長いサイズの印刷を行う場合は、印刷後の用紙が床に触れて印刷面が汚れる可能性があるため、床にきれいな布または紙を敷くか、バスケットを使用します。

1. プリンタの電源をオンにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.760

1

2. ロール紙をロールホルダーにセットします。(「ロール紙をロールホルダーにセットする」参照) →P.669

3. ロール紙をプリンタにセットします。(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672

メモ

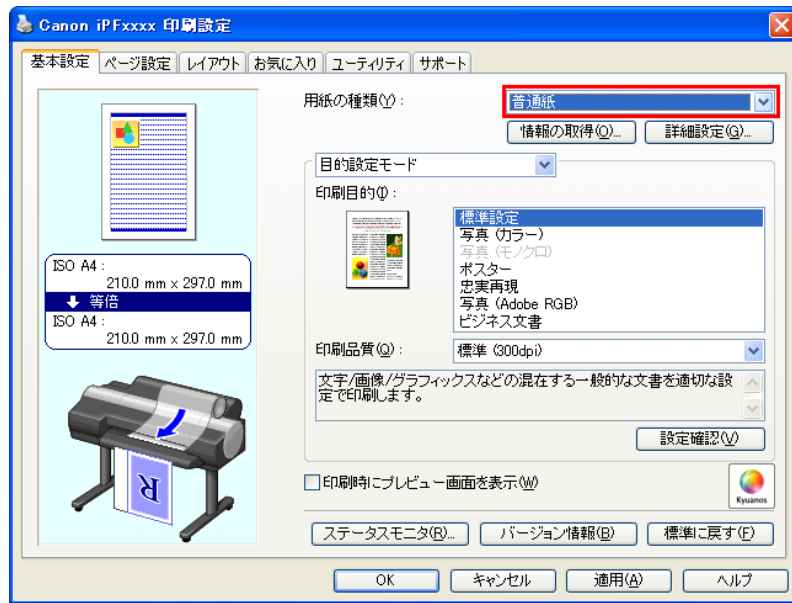
- フチなし印刷をする場合は、プラテン上の青いスイッチが●側に設定されていることを確認してください。(「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.896

4. 用紙の種類を選択します。(「用紙の種類を変更する」参照) →P.675

メモ

- ロール紙にバーコードが印刷されていなくて、[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されている場合は、用紙の種類を選択した後、続けて、用紙の長さを選択してください。(「用紙の長さを設定する」参照) →P.677

5. プリンタドライバで用紙の種類などを選択します。

- プリンタドライバで用紙を指定する(Windows) →P.185
- プリンタドライバで用紙を指定する(Mac OS X) →P.446

6. 印刷ジョブを送信します。

- Windows から印刷する →P.8
- Mac OS X から印刷する →P.9

印刷が開始されます。

重要

- ロール紙が給紙された状態で無理に用紙を引き抜かないでください。ロール紙が給紙できなくなります。（「ロール紙をプリンタから取り外す」参照） →P.677
  誤って引き抜いてしまった場合は「ロール紙が給紙口に入らない」を参照してください。 →P.885

カット紙をセットして印刷する

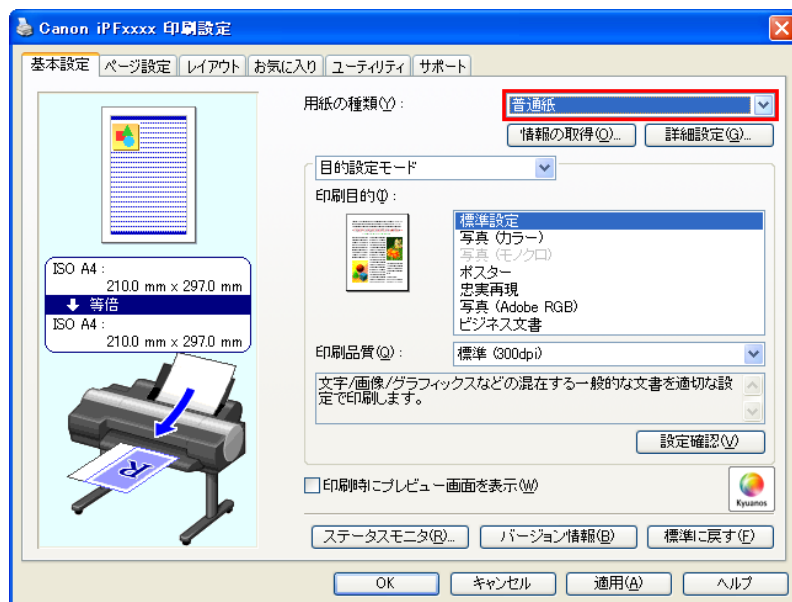
ここでは、カット紙をセットしてから印刷するまでの基本的な操作を説明します。
カット紙をセットして印刷する場合は以下の手順を行ってください。

メモ

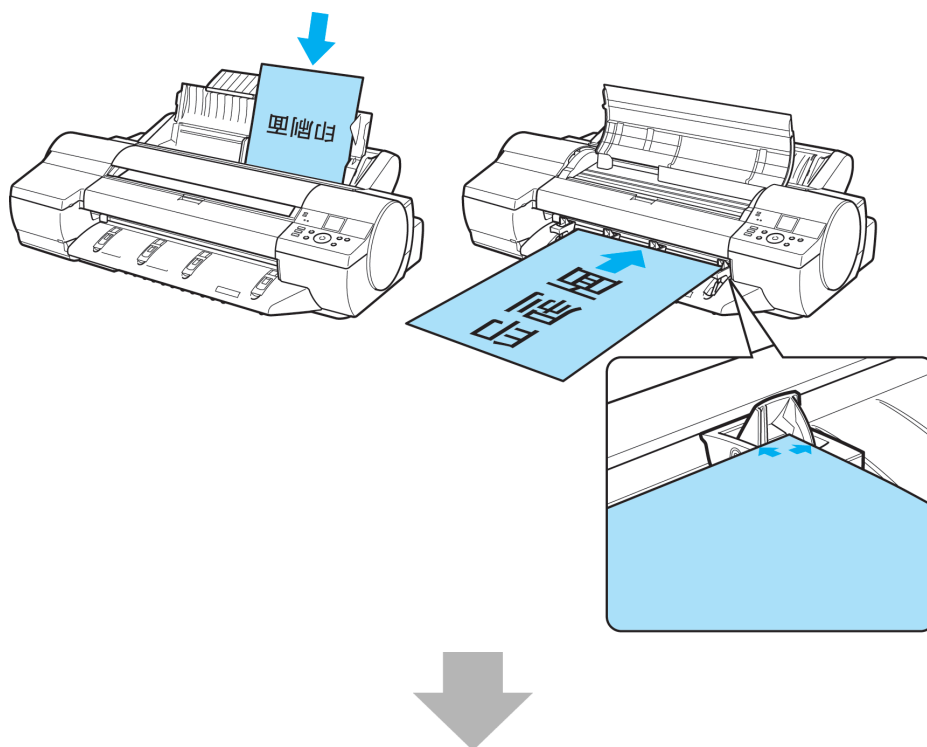
- セットできる用紙のサイズと種類については、[用紙のサイズ]、または用紙リファレンスガイドを参照してください。（「用紙のサイズ」参照） →P.666 （「用紙の種類」参照） →P.663

1. プリンタの電源をオンにします。（「電源をオン/オフにする」参照） →P.760

2. プリンタドライバで用紙の種類などを選択します。

- プリンタドライバで用紙を指定する（Windows） →P.185
- プリンタドライバで用紙を指定する（Mac OS X） →P.446

3. 印刷ジョブを送信します。

- Windows から印刷する →P.8
- Mac OS X から印刷する →P.9

4. カット紙を手差しでセットします。(「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694
(上面手差し)
(前面手差し)

印刷が開始されます。

Windows から印刷する

アプリケーションソフトのメニューから印刷します。

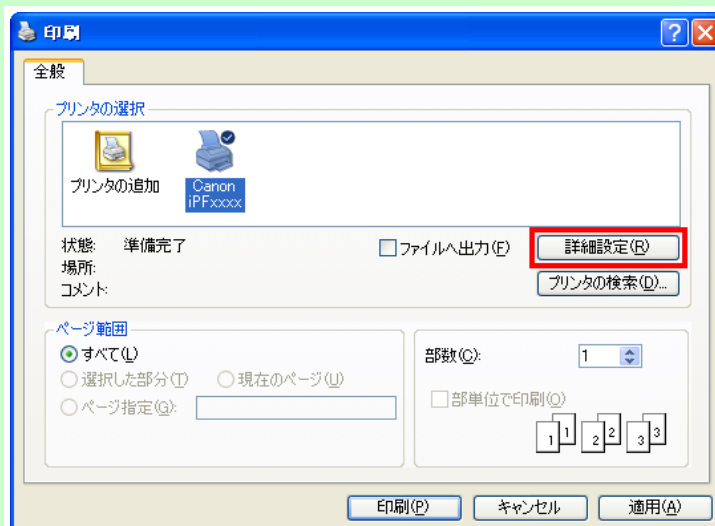
重要

- 印刷するときは、印刷に必要のないアプリケーションソフトを終了することをお勧めします。印刷するときに多くのアプリケーションソフトを起動していると、コンピュータに負荷がかかるため、プリンタへの印刷ジョブの送信が途切れて印刷品質が低下する場合があります。

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[印刷](プリント)を選択し、印刷条件を設定するダイアログボックスを開きます。

2. 表示されるダイアログボックスで、プリンタが選択されていることを確認し、[印刷]や[OK]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 表示されるダイアログボックスはアプリケーションソフトによって異なります。多くのアプリケーションソフトでは、このダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択したり、印刷するページや印刷部数などの基本的な印刷条件を設定できます。
  アプリケーションソフトから表示される[印刷]ダイアログボックスの例

- 他のプリンタが選択されている場合は、[プリンタの選択]の一覧や[プリンタ設定]をクリックして表示されるダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択します。

拡大/縮小印刷やフチなし印刷など、さまざまな印刷の設定は、プリンタドライバのダイアログボックスで行います。プリンタドライバのダイアログボックスを開くには、以下の 2 種類の方法があります。

- アプリケーションソフトから開く
  (「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」参照) →P.191
- システムのメニューから開く
  (「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」参照) →P.193

Mac OS X から印刷する

コンピュータでプリンタを登録し、アプリケーションソフトのメニューから印刷します。

重要

- 印刷するときは、印刷に必要のないアプリケーションソフトを終了することをお勧めします。印刷するときに多くのアプリケーションソフトを起動していると、コンピュータに負荷がかかるため、プリンタへの印刷ジョブの送信が途切れて印刷品質が低下する場合があります。

プリンタを登録する

印刷する前に、[imagePROGRAF PrinterSetup.app]でプリンタを登録しておく必要があります。
プリンタを登録する方法については、「プリンタドライバの接続先を設定する」を参照してください。 →P.829

重要

- プリンタを登録するときに、プリンタの電源がオフになっていたり、ケーブルが外れていると、プリンタの一覧にプリンタが表示されません。

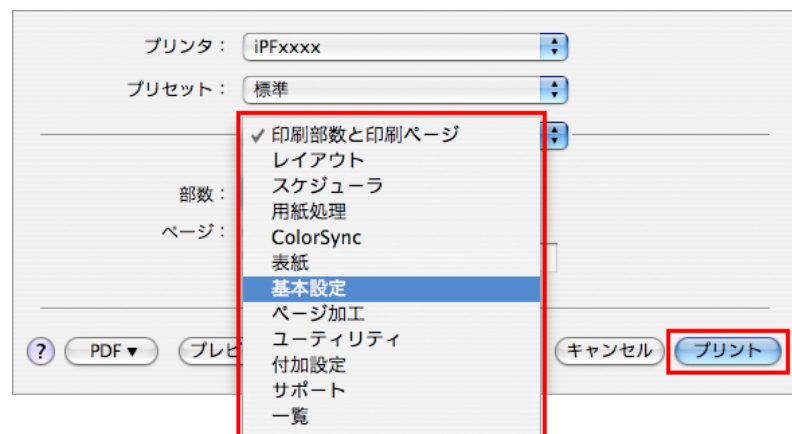
アプリケーションソフトから印刷する

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[プリント]を選択し、印刷条件を設定するダイアログボックスを開きます。

メモ

- このダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択したり、印刷するページや印刷部数などの基本的な印刷条件を設定できます。

2. [プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

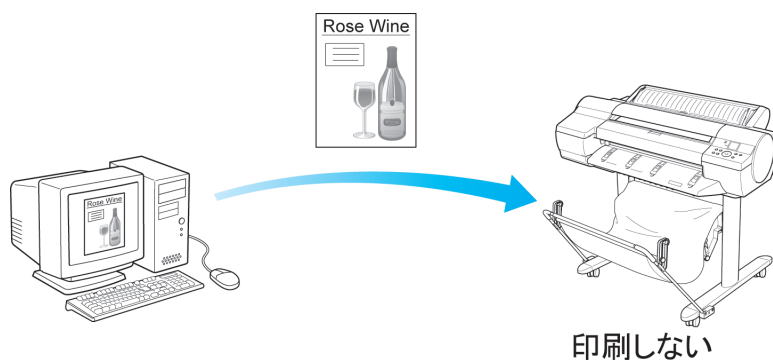
3. [プリント]をクリックして印刷を開始します。
拡大/縮小印刷やフチなし印刷など、さまざまな印刷の設定は、図のように、ダイアログボックスのパネルを切り替えて行います。

印刷の中止

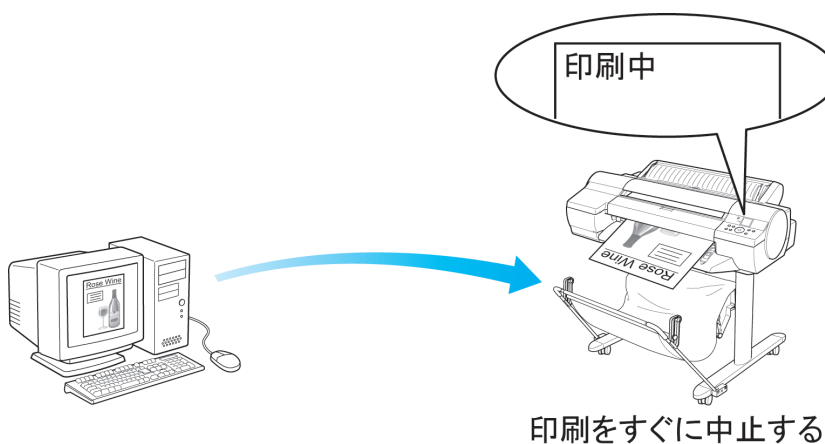
操作パネルから印刷を中止する

操作パネルの[ストップ]キーを押すと、プリンタで受信中、または印刷中のジョブを中止できます。

印刷時に[ストップ]キーを押した場合、そのときの状況によってプリンタの動作が異なります。

- 印刷が開始される前に［ストップ］キーを押した場合

  印刷の開始前に[ストップ]キーを押すと、確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、印刷ジョブがキャンセルされます。

- 印刷中に［ストップ］キーを押した場合

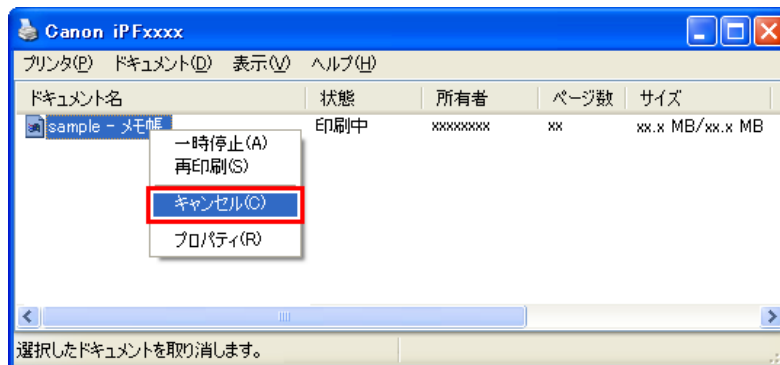
  印刷中に[ストップ]キーを押すと、確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、すぐに印刷が中止されます。

Windows から印刷を中止する

プリンタに送信中のジョブは、プリンタのウィンドウで中止できます。
プリンタで受信したジョブおよび印刷中のジョブは、imagePROGRAF Status Monitor から中止できます。

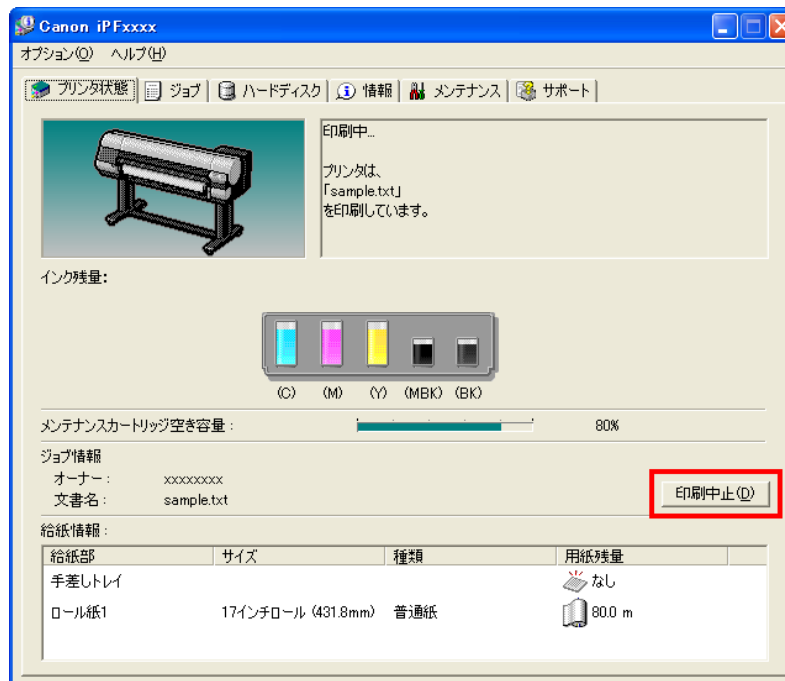
1. タスクバーに表示されているプリンタのアイコンをクリックし、プリンタのウィンドウを開きます。

メモ

- Windows の[スタート]メニューの[プリンタと FAX](または[プリンタ])から、プリンタのアイコンをダブルクリックして開くこともできます。

2. 中止するドキュメントを選択し、右クリックして表示されるメニューから[キャンセル]を選択します。

3. プリンタのウィンドウに中止対象のジョブが無い場合(プリンタへの印刷データの送信が終了した場合)は、タスクバーのアイコンをダブルクリックし、imagePROGRAF Status Monitor を開きます。

4. [プリンタ状態]シートの[印刷中止]をクリックします。

メモ

- お使いの機種によっては画面が多少異なります。

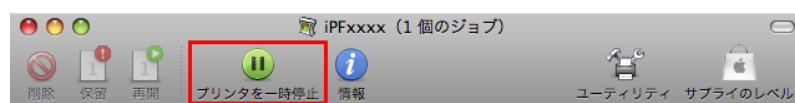
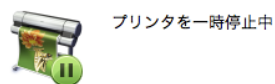
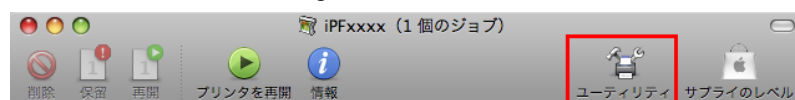
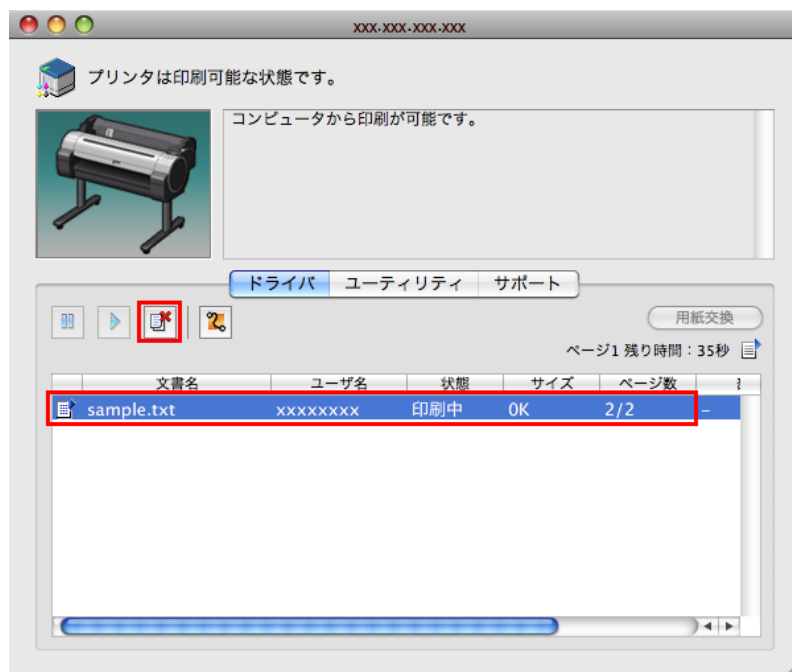
Mac OS X から印刷を中止する

プリンタに送信中のジョブは、プリンタのウィンドウで中止できます。
プリンタで受信したジョブおよび印刷中のジョブは、imagePROGRAF Printmonitor から中止できます。

メモ

- プリンタのウィンドウにジョブが表示されるのは、コンピュータからプリンタに印刷データが送信されている間です。プリンタへの印刷データの送信が終了した場合は、印刷中でもジョブは表示されません。
- imagePROGRAF Printmonitor のウィンドウにジョブが表示されるのは、プリンタがコンピュータからの印刷データを受信してから印刷が終了するまでの間です。コンピュータで印刷データを作成中でも、プリンタへの送信が開始されていなければ、ジョブは表示されません。

1. デスクトップの[Dock]に表示されているプリンタのアイコンをクリックし、プリンタのウィンドウを開きます。

2. [プリンタを一時停止]をクリックし、印刷を停止します。

3. プリンタのウィンドウに中止対象のジョブが無い場合（プリンタへの印刷データの送信が終了した場合）は、[ユーティリティ]をクリックし、imagePROGRAF Printmonitor を開きます。

4. 印刷を中止するジョブを選択して をクリックし、ジョブを削除します。

メモ
- お使いの機種によっては画面が多少異なります。

プリンタに送信されたジョブが中止されます。

5. imagePROGRAF Printmonitor を閉じ、プリンタのウィンドウで[ジョブを開始]をクリックします。

重要
- imagePROGRAF Printmonitor から印刷を中止した場合は、必ずこの手順を行ってください。ジョブを開始しないと、次のジョブを印刷できません。

印刷の一時停止

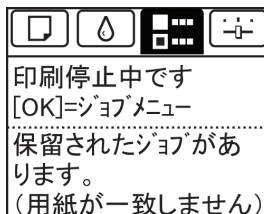
印刷を一時停止状態にする

印刷中に、操作パネルのメニューで、[印刷の一時停止]を[ｵﾝ]に設定すると、設定した時点での印刷が終了後、プリンタは印刷停止状態になります。(「操作パネルのディスプレイ」参照) →P.762
印刷停止状態では、ジョブキューの印刷が実行されません。
印刷停止状態を解除するには[印刷の一時停止]を[ｵﾌ]に設定します。

メモ

- 以下の場合は、[印刷の一時停止]を[ｵﾌ]に設定しなくても印刷停止状態が解除され、ジョブキューの印刷が実行されます。
  - 給紙した場合
  - [用紙ﾒﾆｭｰ]から[用紙種類の変更]を実行した場合

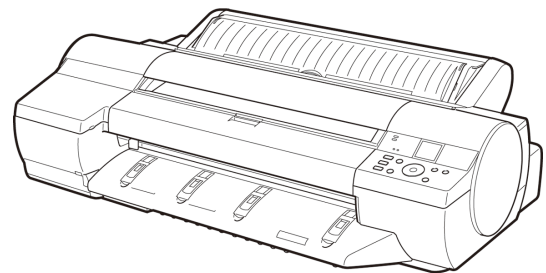
1. 印刷中に、操作パネルの[タブ選択画面]で[◀]キー、[▶]キーを押して、(ジョブタブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
   [ｼﾞｮﾌﾞﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷の一時停止]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｵﾝ]または[ｵﾌ]を選択し、[OK]キーを押します。

さまざまな印刷データ

写真やイラストを印刷する

写真やイラストを印刷する

印刷の目的を選択するだけで、簡単に印刷設定が行えます。

[目的設定モード]

印刷の目的を一覧から選択し、最適な印刷結果を得ることができます。

[印刷目的]

印刷物に適した設定を選択できます。

写真やイラストに適した印刷目的

	印刷目的	説明
sRGB	[写真(カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
	[写真 (モノクロ)]	モノクロ写真を最適な設定で印刷します。
ABCDE	[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
	[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
Adobe RGB	[写真 (Adobe RGB)]	Adobe RGB の色空間を使用して作成された画像を最適な色で印刷するのに適した設定です。

重要

- [用紙の種類]によっては、選択できない[印刷目的]があります。

メモ

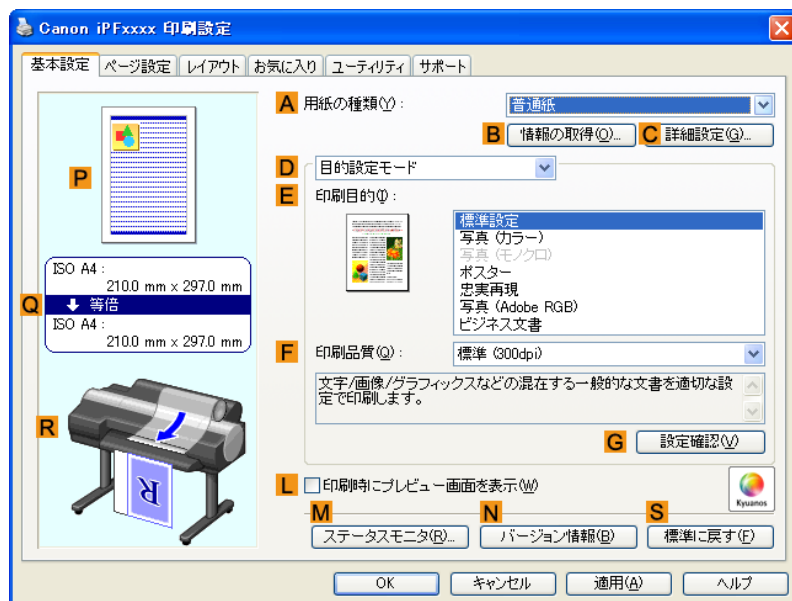
- 印刷目的ごとの設定値は、[設定確認]で確認できます。
- 設定値を詳細に調整することもできます。([詳細設定モード])
[詳細設定モード]については、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.49 」を参照してください。

[印刷品質]

品質を選択します。
品質と解像度の組み合わせによりプリンタの印字モードが決定します。

印刷品質	説明
[最高]	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。
[きれい]	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。 [標準]や[速い]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、品質の高い印刷結果を得られます。
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。 [最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。
[速い]	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。 レイアウトの確認などを効率よく行えます。

写真やイラストを印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 写真やイラストを印刷する(Windows) →P.18
- 写真やイラストを印刷する(Mac OS X) →P.20

写真やイラストを印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、写真を印刷する手順を説明します。

- 原稿:デジタルカメラの写真画像
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:プレミアム光沢紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.191 」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここではプレミアム光沢紙をクリックします。

A[用紙の種類]では、光沢紙やコート紙など、印刷する用紙を選択します。その際、選択する用紙がプリンタにセットされていることを確認してください。

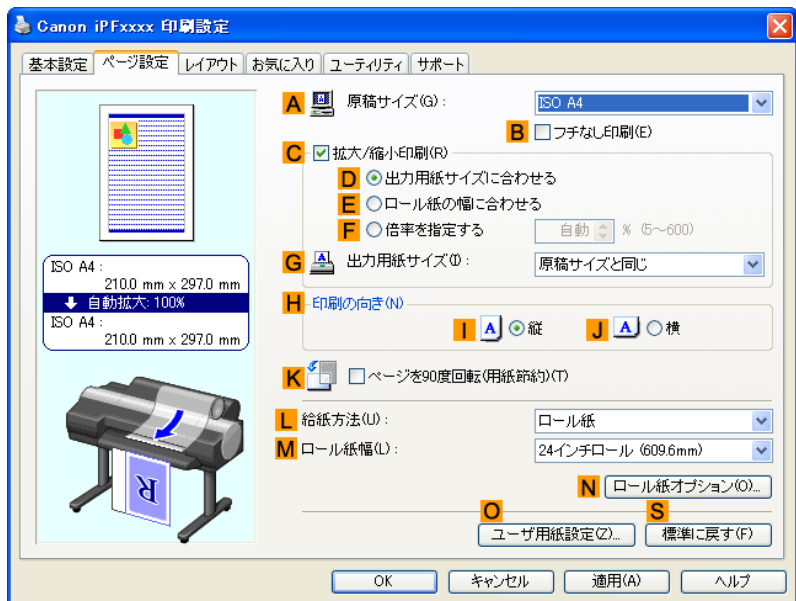
メモ

- User Software CD-ROM で Media Configuration Tool をインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。詳細は Media Configuration Tool →P.407 を参照してください。

5. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[写真(カラー)]をクリックします。

メモ

- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切(10"x12")]をクリックします。

8. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9. M[ロール紙幅]の一覧からプリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックします。

10. その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Windows) →P.183 」を参照してください。

11. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

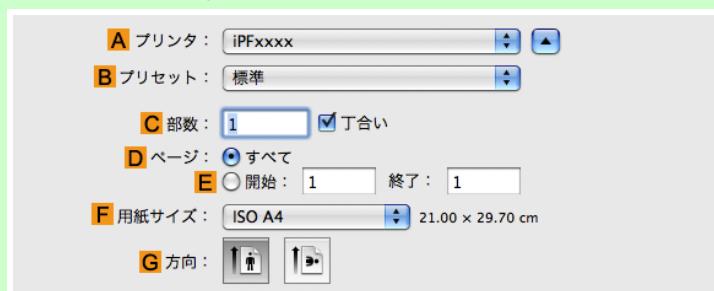
メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

写真やイラストを印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、写真を印刷する手順を説明します。

- 原稿:デジタルカメラの写真画像
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:プレミアム光沢紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]をクリックします。

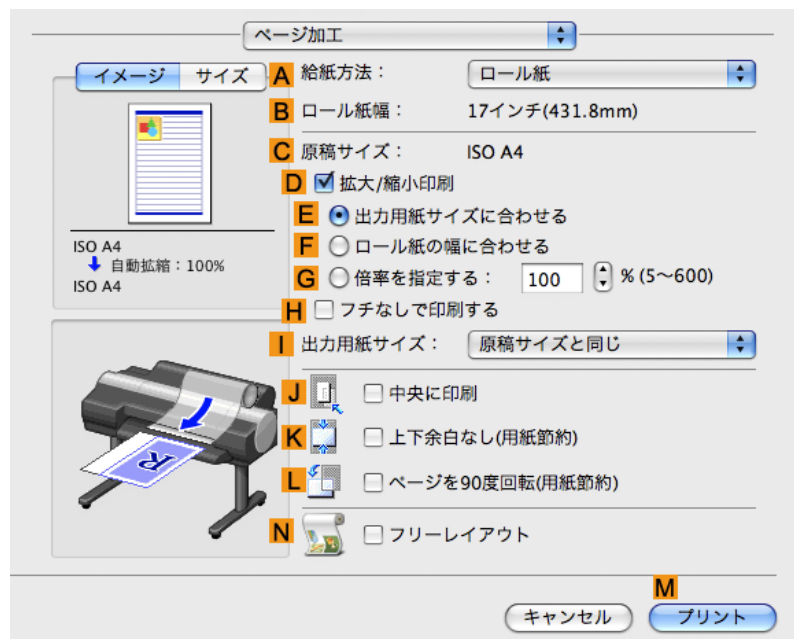
4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここではプレミアム光沢紙をクリックします。
その際、選択する用紙がプリンタにセットされていることを確認してください。

メモ

- User Software CD-ROM で Media Configuration Tool をインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。詳細は Media Configuration Tool →P.622 を参照してください。

7. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[写真(カラー)]をクリックします。

メモ

- 写真やイラストに最適な印刷目的については「写真やイラストを印刷する →P.17 」を参照してください。
- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

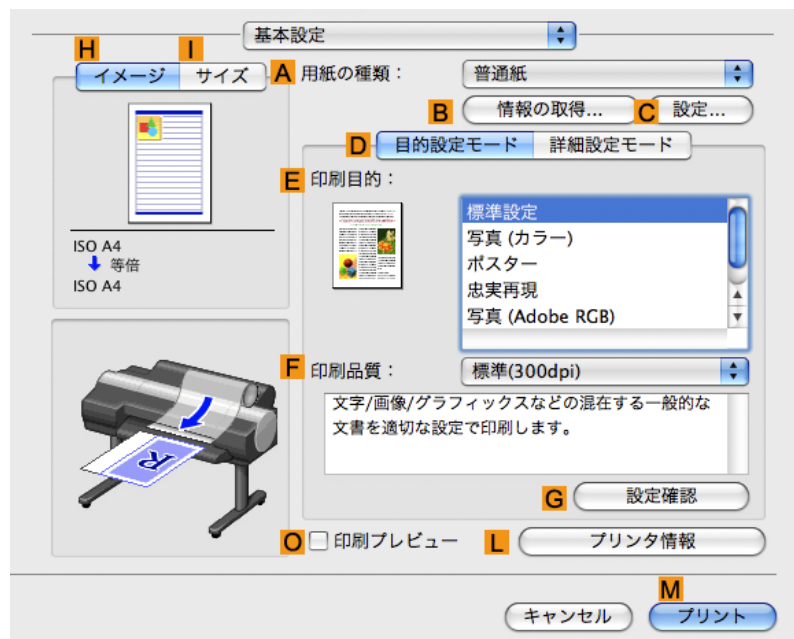
8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチ(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. [ページ加工]パネルの C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]が表示されていることを確認します。

13. その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Mac OS X) →P.444 」を参照してください。

14. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.448 」を参照してください。

Photoshop で印刷する

プリンタドライバでは、Adobe Systems 社のフォトレタッチソフト Photoshop で作成した Adobe RGB 画像を印刷できます。また、プリンタに付属の Photoshop 専用プラグインソフトウェアを使用すれば、Adobe RGB 画像を、より簡単に、よりきれいに印刷できます。

プラグインソフトウェアを使用して印刷する

プリンタには、Photoshop に組み込んで印刷をカスタマイズできる、専用のプラグインソフトウェア imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop が付属します。プラグインソフトウェアを使用すると、Photoshop の RGB 16bit データをそのまま処理できるため、オリジナル画像の高い階調を損なうことなく印刷できます。プラグインソフトウェアでは、以下のような設定や調整ができます。

- sRGB 画像または Adobe RGB 画像の色空間を自動認識し、最適なプロファイルを自動的に設定できます。このため、面倒な設定をすることなく Adobe RGB 画像を印刷できます。
- 色調、明るさ、コントラスト、ハイライト、シャドーの調整に加え、トーンカーブの調整など、高度なグレー調整機能を使用できます。
- 印刷の結果を忠実に再現したプレビューを見ながら Photoshop で色合いを調整できます。
- 印刷履歴の管理機能により、過去の印刷設定パラメータの保存や読み込みができます。

メモ
- imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop は、Windows 版と Macintosh 版が付属しています。

imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop の対応する Photoshop のバージョンや機能の詳細については、お使いのコンピュータや OS に応じて、以下の項を参照してください。

- Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional →P.280
- Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional →P.556

プリンタドライバを使用して印刷する

プリンタドライバでは、以下のような設定や調整ができます。

- 色空間として、標準的な sRGB に加え、Adobe RGB を選択できます。
- 色調、明るさ、コントラスト、鮮やかさ、グレーを調整できます。

Photoshop で作成した Adobe RGB 画像を、プリンタドライバを使用して印刷する方法については、お使いのコンピュータや OS に応じて、以下の項を参照してください。

- Adobe RGB 画像を印刷する（Windows） →P.25
- Adobe RGB 画像を印刷する（Mac OS X） →P.28

Adobe RGB 画像を印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、Adobe RGB 画像を印刷する手順を説明します。

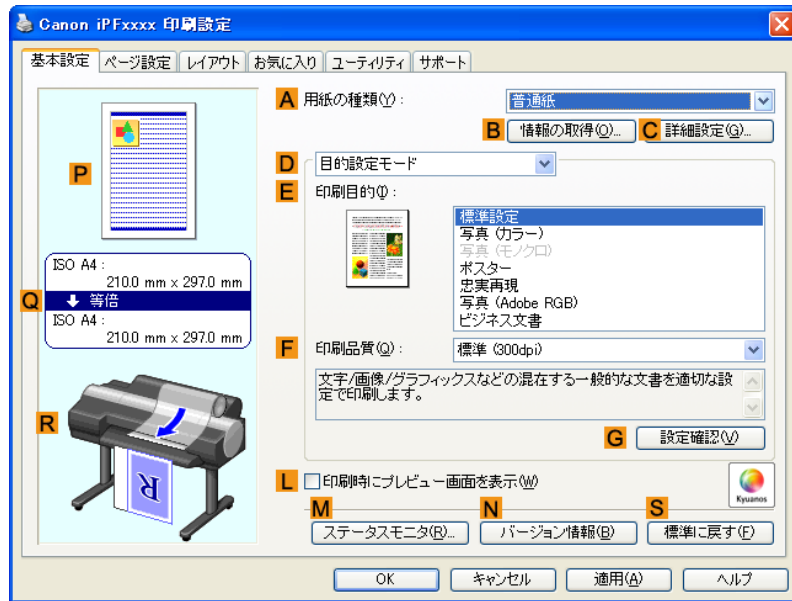
- 原稿:Photoshop で作成した AdobeRGB 画像
- 原稿サイズ:四切（10×12 インチ）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[プレミアム光沢紙]
- ロール紙幅:10 インチ（254.0 mm）

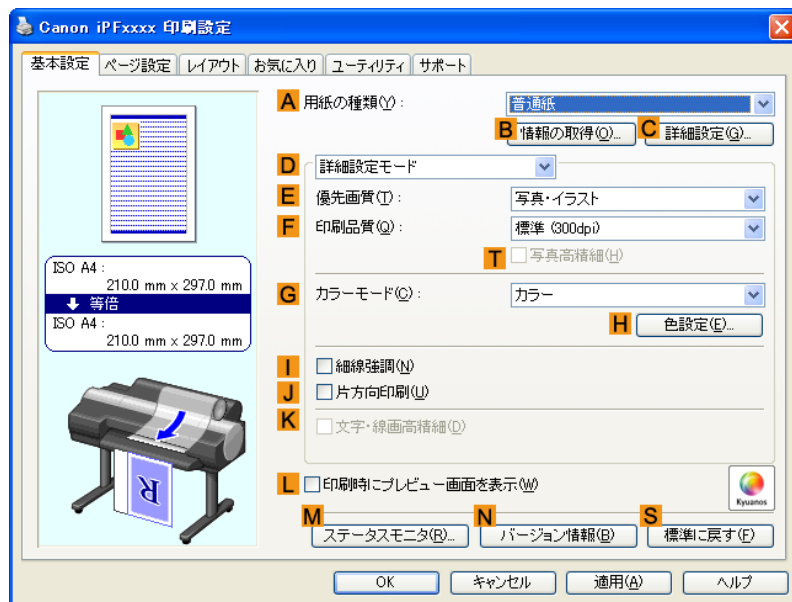
重要
- Photoshop では、カラーマッチングを行わないように設定します。
- プリンタドライバで、[ドライバ補正モード]を使用し、[色空間]として[Adobe RGB]を設定します。

1. Photoshop で AdobeRGB 画像を作成します。

メモ
- ここでは、Photoshop CS2 を例に説明します。
- Adobe RGB 画像を作成する方法については、Photoshop の説明書を参照してください。

2. [ファイル]メニューから[プリントプレビュー]を選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。
3. [カラーマネジメント]の設定モードになっていることを確認します。
4. [オプション]の[カラー処理]の一覧から、[カラーマネジメントなし]をクリックします。
5. [プリント]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開きます。
6. プリンタを選択して[プロパティ]をクリックし、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。

7. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

8. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[プレミアム光沢紙]をクリックします。

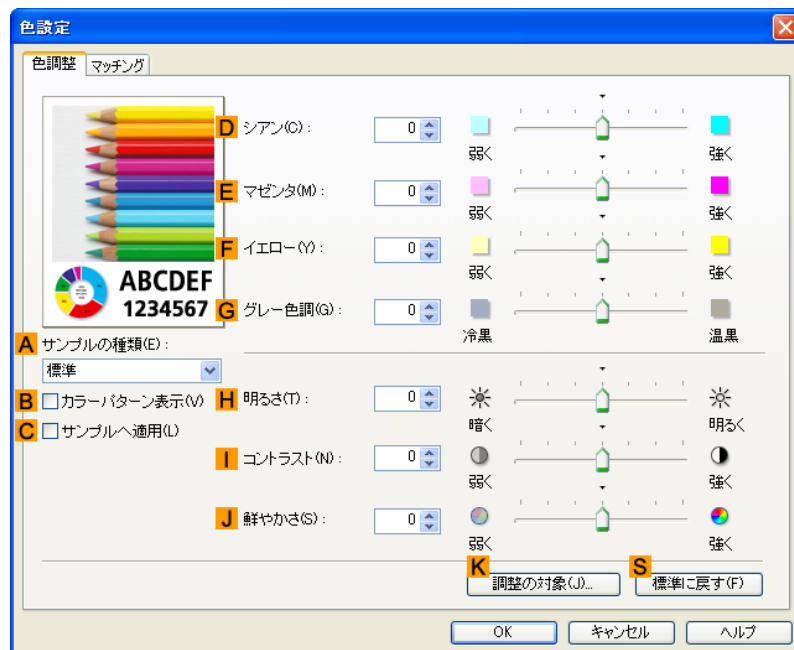
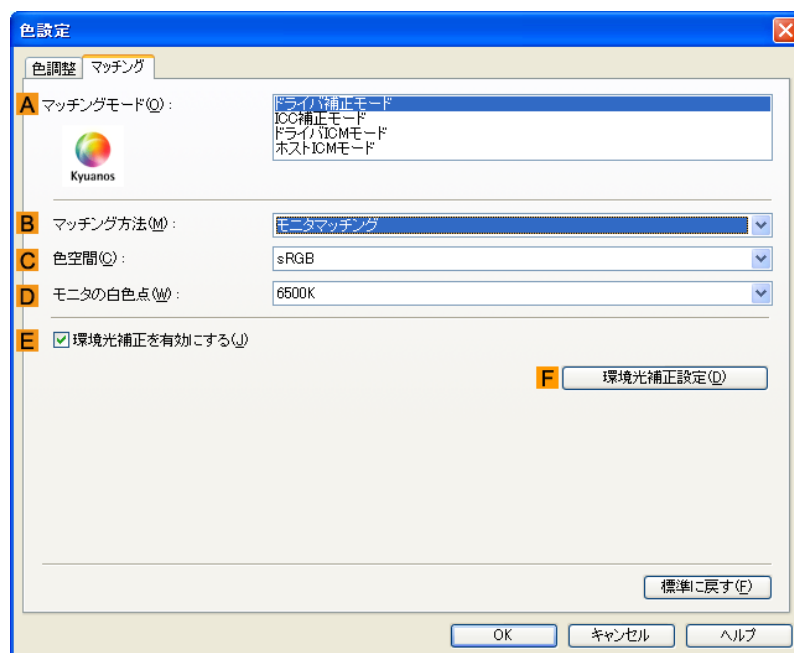
9. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

10. E[優先画質]の一覧から[写真・イラスト]をクリックします。

11. F[印刷品質]の一覧から印刷の品質を選択します。

メモ

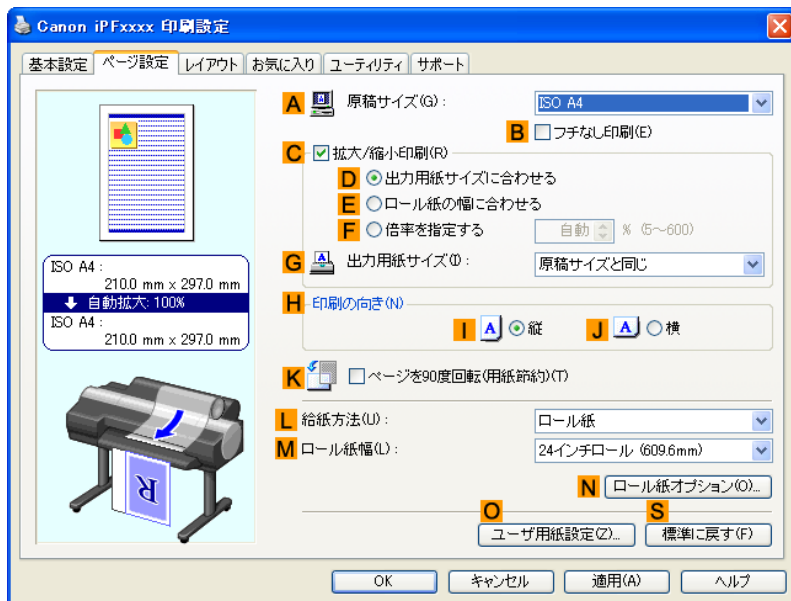
- F[印刷品質]の一覧に表示される選択肢は、用紙の種類によって異なります。

12. G[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

13. H[色設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

14. [マッチング]タブをクリックし、[マッチング]シートを表示します。

15. A[マッチングモード]で、[ドライバ補正モード]をクリックします。

16. C[色空間]で、[Adobe RGB]をクリックします。

17. [OK]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを閉じます。

18. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

19. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切(10"x12")]をクリックします。

20. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

21. M[ロール紙幅]の一覧からプリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックし、[OK]をクリックします。

22. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

Adobe RGB 画像を印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、Adobe RGB 画像を印刷する手順を説明します。

- 原稿:Photoshop で作成した Adobe RGB 画像
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:[プレミアム光沢紙]
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

重要

- Photoshop では、カラーマッチングを行わないように設定します。
- プリンタドライバで、[ドライバ補正モード]を使用し、[色空間]として[Adobe RGB]を設定します。

1. Photoshop で Adobe RGB 画像を作成します。

メモ
- ここでは、Photoshop CS2 を例に説明します。
- Adobe RGB 画像を作成する方法については、Photoshop の説明書を参照してください。

2. Photoshop のメニューから[プリントプレビュー]を選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

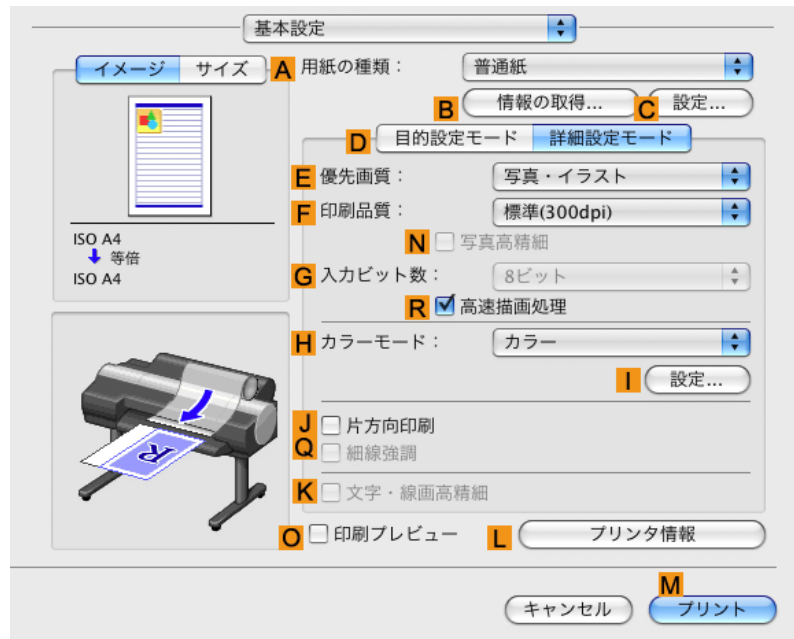
3. [カラーマネジメント]の設定モードになっていることを確認します。

4. [オプション]の[カラー処理]の一覧から、[カラーマネジメントなし]をクリックします。

5. [プリント]をクリックします。

6. [基本設定]パネルを表示します。

7. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは[プレミアム光沢紙]をクリックします。

8. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

9. E[優先画質]の一覧から[写真･イラスト]をクリックします。

10. F[印刷品質]の一覧から印刷の品質を選択します。

メモ

- F[印刷品質]の一覧に表示される選択肢は、用紙の種類によって異なります。

11. H[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

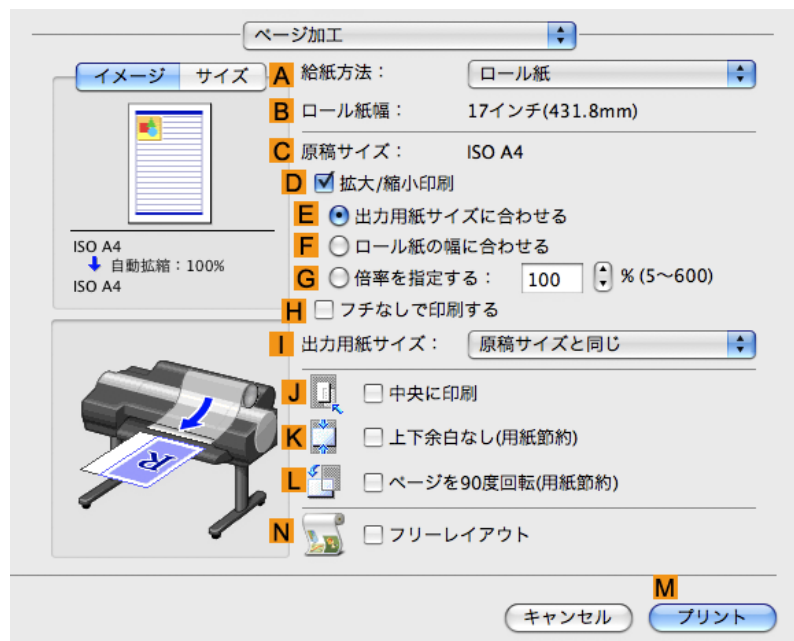
12. I[設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

13. [マッチング]タブをクリックし、[マッチング]パネルを表示します。

14. [マッチングモード]で、[ドライバ補正モード]をクリックします。

15. [色空間]で、[Adobe RGB]をクリックします。

16. [OK]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを閉じます。

17. [ページ加工]パネルを表示します。

18. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

19. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

20. [ページ加工]パネルの C[原稿サイズ]で、Photoshop で選択した原稿のサイズ、ここでは[四切(10"x12")]が表示されていることを確認します。

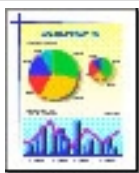
21. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X)」を参照してください。→P.448

オフィス文書を印刷する

オフィスの文書を印刷する

印刷の目的を選択するだけで、簡単に印刷設定が行えます。

[目的設定モード]

印刷の目的を一覧から選択し、最適な印刷結果を得ることができます。

[印刷目的]

印刷物に適した設定を選択できます。

オフィスの文書に適した印刷目的

	印刷目的	説明
	ビジネス文書	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷するのに適した設定です。

メモ

- 印刷目的ごとの設定値は、[設定確認]で確認できます。
- 設定値を詳細に調整することもできます。(詳細設定モード)
  詳細設定モードについては、「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.49 」を参照してください。

[印刷品質]

品質を選択します。
品質と解像度の組み合わせによりプリンタの印字モードが決定します。

印刷品質	説明
[最高]	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。
[きれい]	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。 [標準]や[速い]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、品質の高い印刷結果を得られます。
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。 [最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。
[速い]	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。 レイアウトの確認などを効率よく行えます。

オフィスの文書を印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- オフィスの文書を印刷する（Windows） →P.34
- オフィスの文書を印刷する（Mac OS X） →P.35

オフィスの文書を印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、オフィスの文書を印刷する手順を説明します。

- 原稿:ワープロソフトや表計算ソフトで作成したオフィスの文書
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:普通紙
- 用紙サイズ:A4（210.0×297.0 mm）

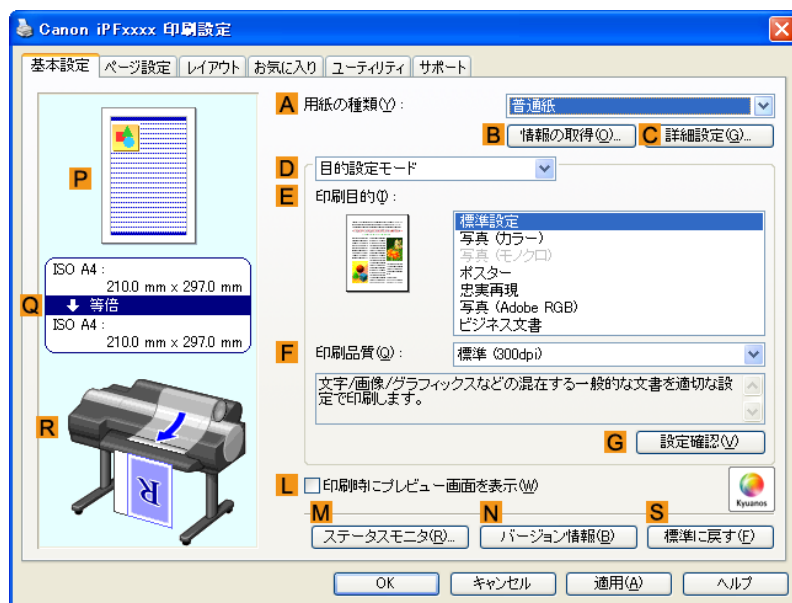
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

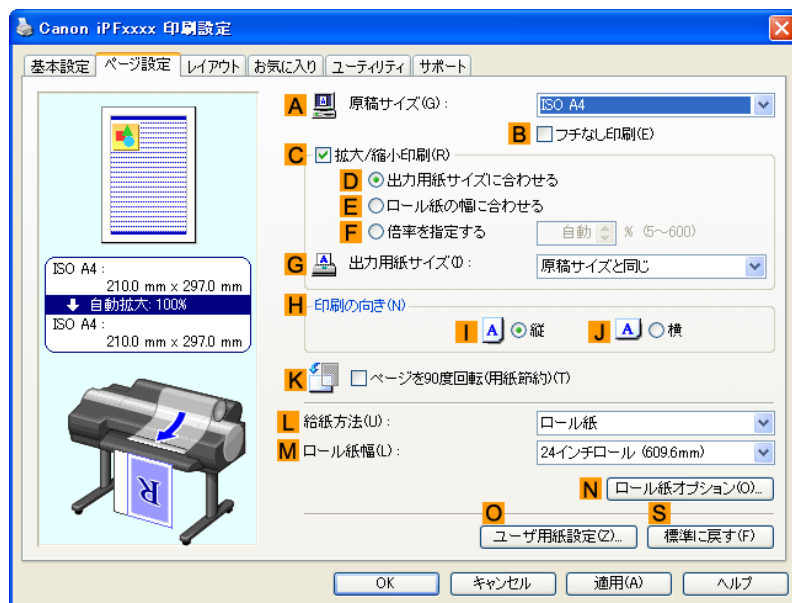
2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.191 」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[ビジネス文書]をクリックします。

メモ

- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

8. L[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

9. その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Windows) →P.183」を参照してください。

10. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187」を参照してください。

オフィスの文書を印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、オフィスの文書を印刷する手順を説明します。

- 原稿:ワープロソフトや表計算ソフトで作成したオフィスの文書
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:普通紙
- 用紙サイズ:A4(210.0×297.0 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

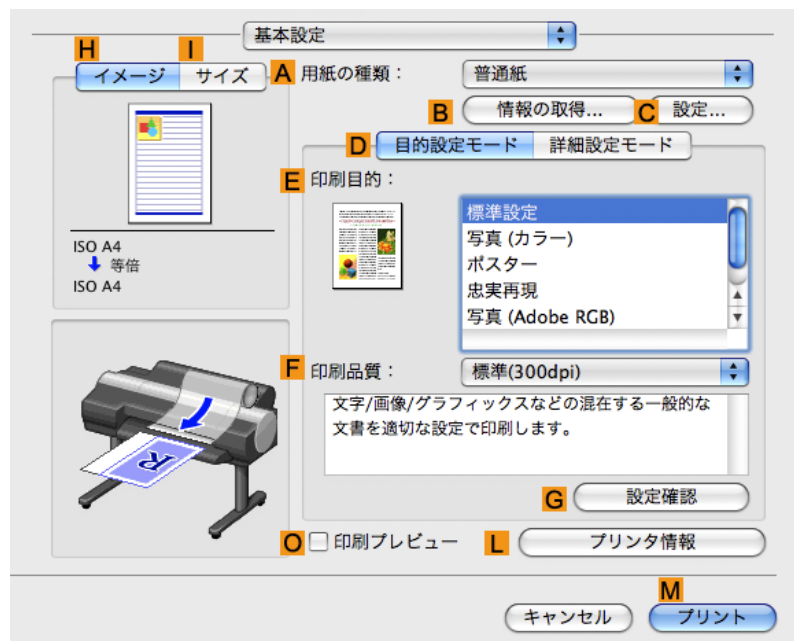
• ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - 手差し用紙(余白大)]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

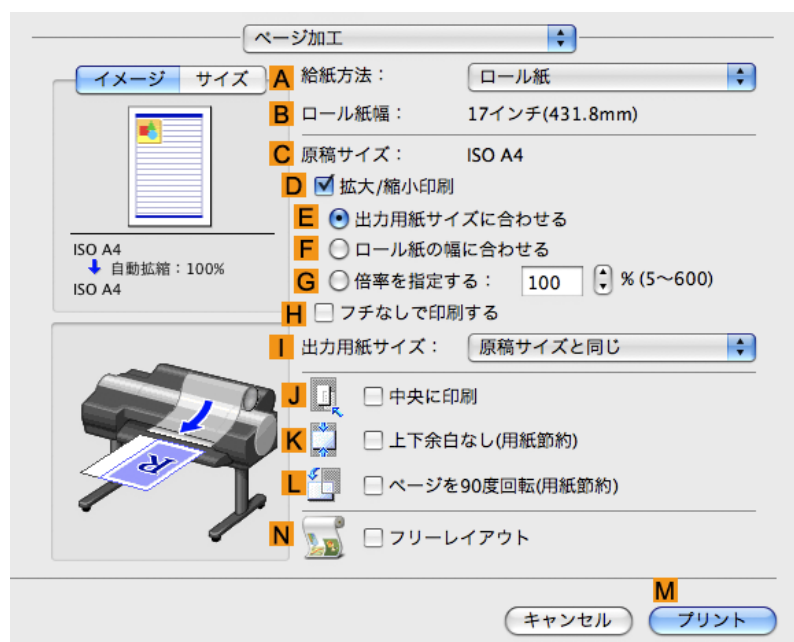
5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[ビジネス文書]をクリックします。

メモ

- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

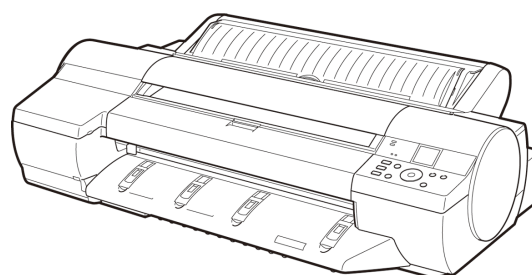
9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

11. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - 手差し用紙(余白大)]が表示されていることを確認します。

12. その他の印刷条件を設定します。
設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目(Mac OS X) →P.444」を参照してください。

13. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.448」を参照してください。

さまざまな印刷方法

画像を調整する

プリンタドライバで色を調整して印刷する

個々の印刷データに対する印刷時の色は、基本的にアプリケーションソフトの設定が優先されますが、さらに色の調整を行いたい場合は、プリンタドライバで調整します。

[カラーモード]

プリンタドライバが行う色の処理の方法を選択します。
カラーモードの設定によって、調整できることが異なります。

カラーモード	説明	色の調整
[カラー]	カラーで印刷します。	色調の補正、カラーマッチング機能の選択をすることができます。
[モノクロ(写真)]	モノクロ写真に適したグレースケール印刷を行います。	モノクロ写真用に色調を補正できます。
[モノクロ]	グレースケールで印刷します。	色調を補正できます。
[色補正なし](*1)	プリンタドライバでカラーマッチングを行わずに印刷します。	色調を補正できます。

*1:[色補正なし]を選択した場合、[マッチング]シート/[マッチング]パネルは表示されません。

[色調整]

イメージ、グラフィックス、テキストごとに、色調を補正できます。

補正項目	説明
[シアン]	[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]の強弱を調整することで色合いを補正できます。
[マゼンタ]	
[イエロー]	
[グレー色調]	冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで、グレーの色を表現できます。
[明るさ]	最も明るい部分や最も暗い部分を損なわずに、印刷結果の明るさを補正できます。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを、相対的に補正できます。 軟調にしたい場合は、コントラストを弱く、硬調にしたい場合は、コントラストを強く設定してください。
[鮮やかさ]	鮮明な色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを補正できます。

メモ

- [調整の対象]をクリックすると[調整の対象]ダイアログボックスが開き、[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]から色を調整する対象を選択することができます。

[マッチング]

カラーマッチングのマッチングモードとマッチング方法を選択できます。
マッチングモードとマッチング方法の設定によって、コンピュータのディスプレイで見た画像の色と印刷結果の色を近づけることができます。

重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]の変更はできません。

マッチングモード	説明	備考
[ドライバ補正モード]	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。	通常はこのモードを選択してください。 また、環境光補正を行いたい場合にもこのモードを選択してください。
[ICC 補正モード]	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。 入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。	デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
[ドライバ ICM モード]	プリンタドライバの ICM 機能を用いて、プリンタドライバでカラーマッチングを行います。 マッチング方法のみを指定して印刷する場合に選択してください。	Windows で選択できます。
[ホスト ICM モード]	Windows の ICM 機能を用いて、ホストコンピュータでカラーマッチングを行います。 ICM 機能対応のアプリケーションから印刷する場合に選択してください。	
[ColorSync モード]	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。 ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。	Mac OS で選択できます。

マッチング方法	説明	備考
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストごとに最適なカラーマッチングを行います。	マッチングモードの設定やご使用の OS によって、選択できる項目や項目の並び順が異なります。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。	

マッチング方法	説明	備考
[写真調(人肌･暗部優先)]	室内で撮影された人物写真や、薄暗い風景写真など、ローキーな写真を印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。暗部の階調つぶれを防止すると共に、人物の肌を温かみのある色合いで再現できます。	マッチングモードの設定やご使用の OS によって、選択できる項目や項目の並び順が異なります。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。	
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。	
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。	
[モニタマッチング]	モニタマッチングに最適な設定で印刷します。 キャリブレーションされた sRGB または AdobeRGB モニタの色を忠実に再現する目的に適したカラーマッチングを行ないます。	

[グレー調整]

カラーモードに[モノクロ(写真)]を選択した場合は、以下の項目を調整できます。

グレーの調整項目	説明
[色調]	冷黒(青みがかった色合い)、純黒(ニュートラル)、温黒(赤みがかった色合い)など、モノクロ写真に適したグレーの色調を調整できます。 色領域から色を選択するか、リストから色調を選択します。
[明るさ]	最も明るい部分や最も暗い部分を損なわずに印刷結果の明るさを調整できます。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 軟調にしたい場合は、コントラストを弱く、硬調にしたい場合は、コントラストを強く設定してください。
[ハイライト]	画像のハイライト部分の階調を調整できます。
[シャドー]	画像のシャドー部分の階調を調整できます。

メモ

- 色を調整して印刷する場合は、コンピュータのディスプレイの色を正しく調整してください。ディスプレイの調整が正しくない場合、思いどおりの印刷結果が得られないことがあります。ディスプレイの調整方法については、ディスプレイのマニュアルやご使用の OS のマニュアルを参照してください。

色を調整して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

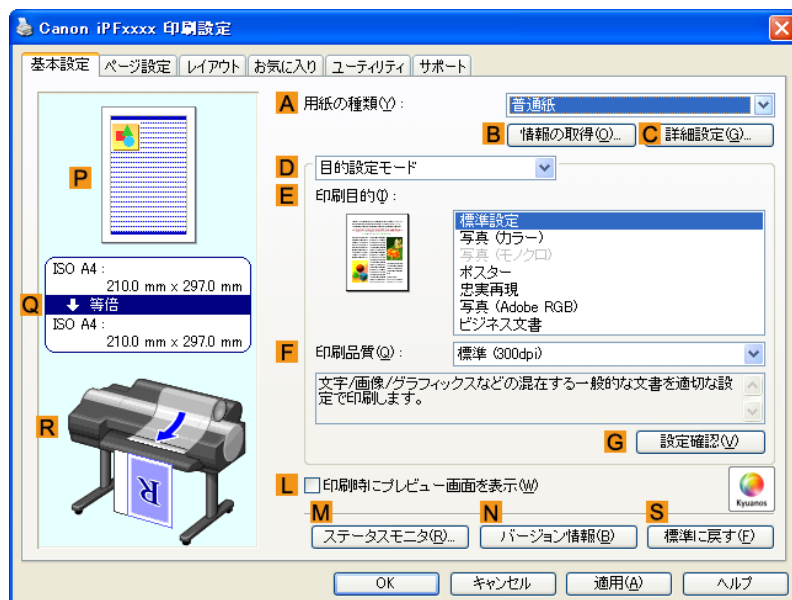
- 写真やイラストの色を微調整して印刷する（Windows） →P.43
- 写真やイラストの色を微調整して印刷する（Mac OS X） →P.46

写真やイラストの色を微調整して印刷する（Windows）

あらかじめ登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、写真の色味を微調整して印刷する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.191」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

5. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6. G[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

7. H[色設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

8. [色調整]シートで、色合いや明るさなどを調整します。

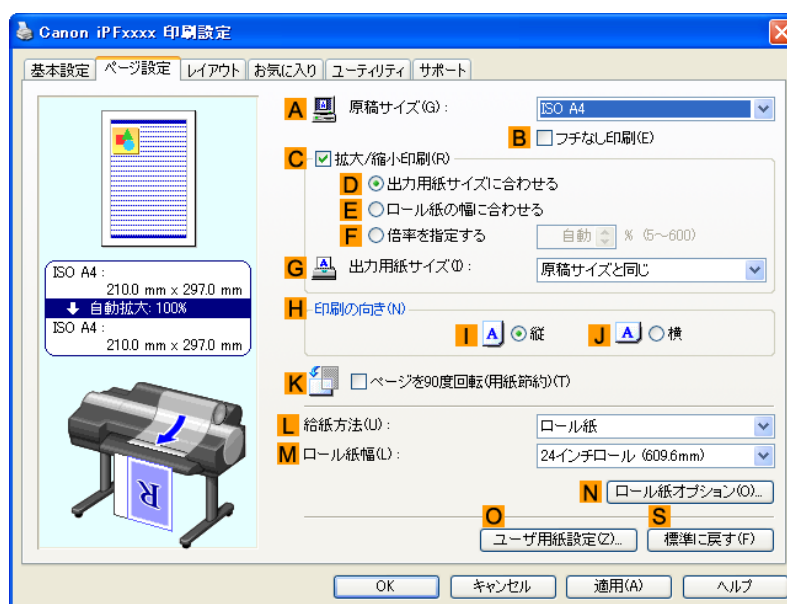
補正項目	説明
D[シアン]	シアン、マゼンタ、イエローの強弱を調整することで色合いを補正できます。
E[マゼンタ]	
F[イエロー]	
G[グレー色調]	冷黒(青みがかった色合い)、純黒(ニュートラル)、温黒(赤みがかった色合い)など、モノクロ写真に適したグレーの色調を調整できます。色領域から色を選択するか、リストから色調を選択します。

補正項目	説明
H[明るさ]	最も明るい部分や最も暗い部分を損なわずに、印刷結果の明るさを補正できます。
I[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを、相対的に補正できます。軟調にしたい場合は、コントラストを弱く、硬調にしたい場合は、コントラストを強く設定してください。
J[鮮やかさ]	鮮明な色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを補正できます。

メモ

- [調整の対象]をクリックすると[調整の対象]ダイアログボックスが開き、[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]から色を調整する対象を選択することができます。

9. [色設定]ダイアログボックスを閉じます。

10. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

11. A[原稿サイズ]や L[給紙方法]の設定を確認します。

12. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

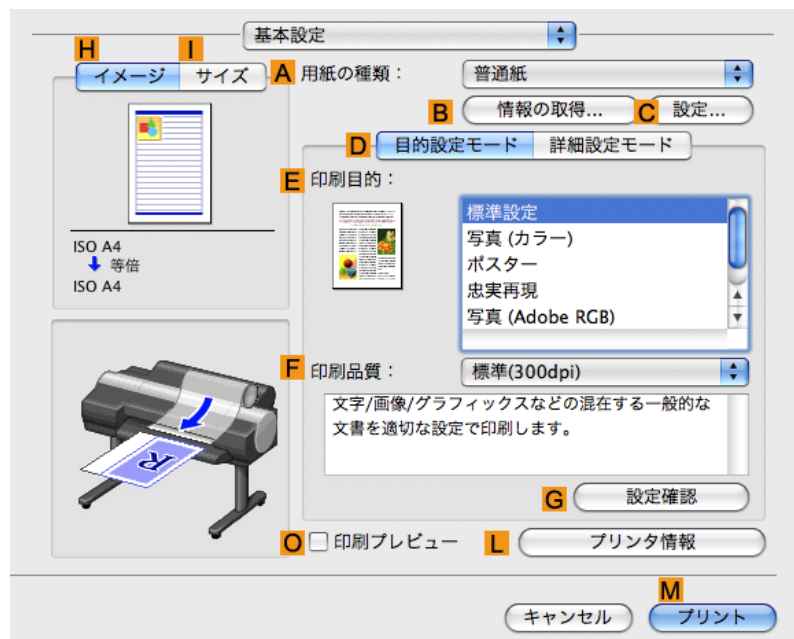
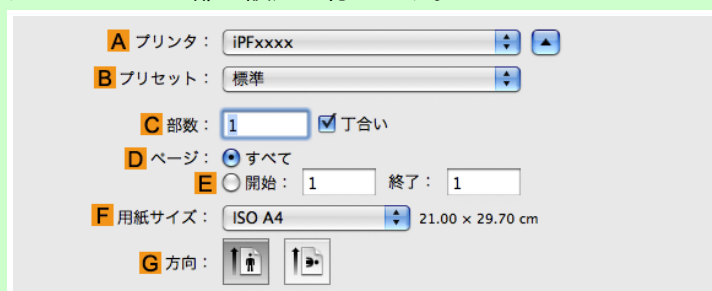
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows)→P.187」を参照してください。

写真やイラストの色を微調整して印刷する(Mac OS X)

あらかじめ登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、写真の色味を微調整して印刷する手順を説明します。

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

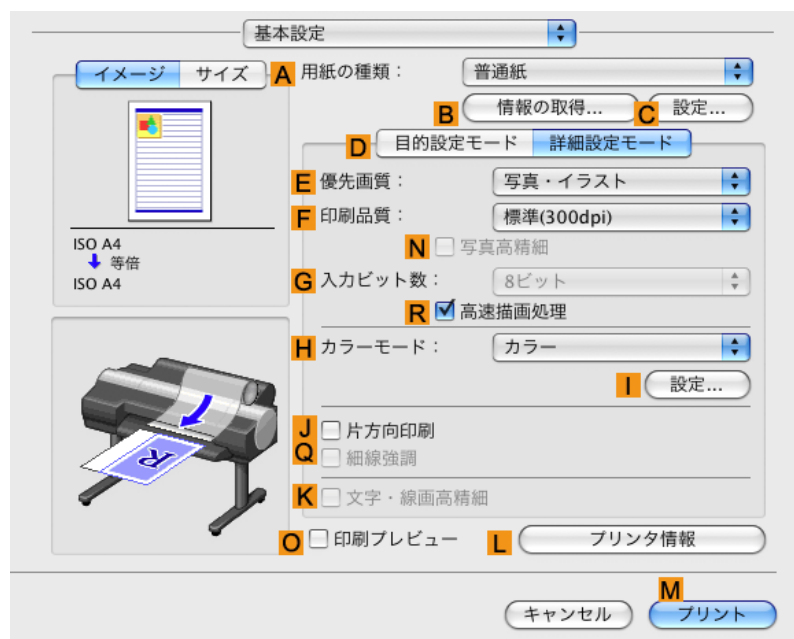
- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

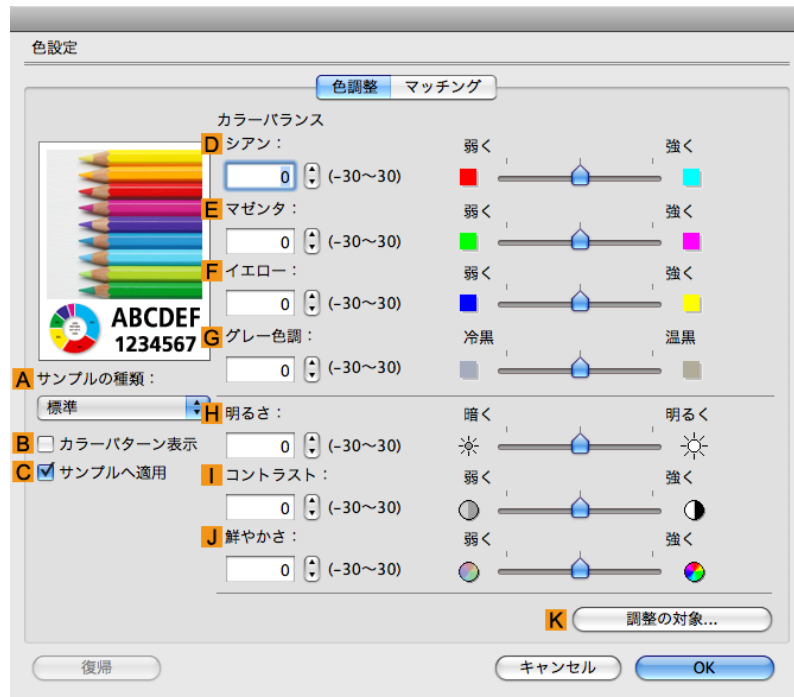
3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

7. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

8. H[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

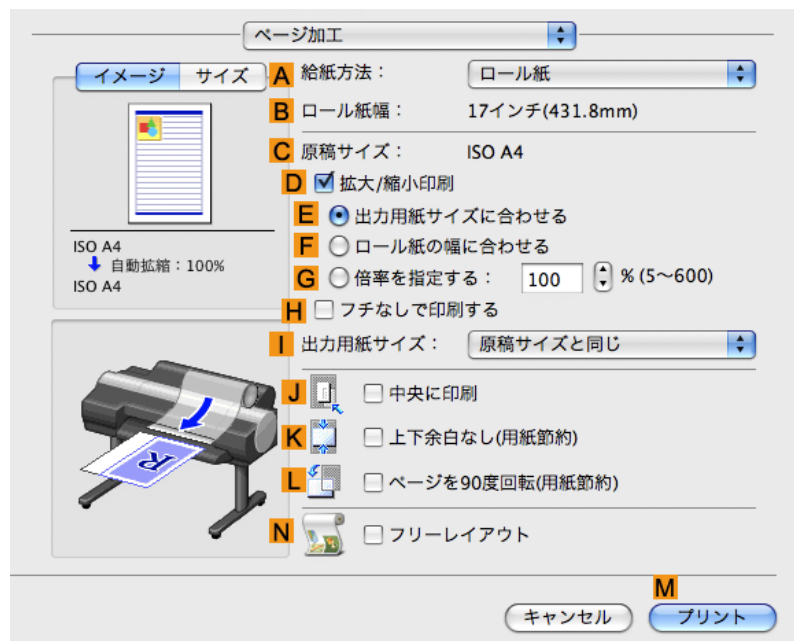
9. I[設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

10. [色調整]パネルで色合いや明るさなどを調整します。

補正項目	説明
D[シアン]	シアン、マゼンタ、イエローの強弱を調整することで色合いを補正できます。
E[マゼンタ]	
F[イエロー]	
G[グレー色調]	冷黒(青みがかった色合い)、純黒(ニュートラル)、温黒(赤みがかった色合い)など、モノクロ写真に適したグレーの色調を調整できます。色領域から色を選択するか、リストから色調を選択します。
H[明るさ]	最も明るい部分や最も暗い部分を損なわずに、印刷結果の明るさを補正できます。
I[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを、相対的に補正できます。軟調にしたい場合は、コントラストを弱く、硬調にしたい場合は、コントラストを強く設定してください。
J[鮮やかさ]	鮮明な色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを補正できます。

メモ

- [調整の対象]をクリックすると[調整の対象]ダイアログボックスが開き、[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]から色を調整する対象を選択することができます。

11. [OK]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを閉じます。

12. [ページ加工]パネルを表示します。

13. A[給紙方法]や C[原稿サイズ]の設定を確認します。

14. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X）→P.448」を参照してください。

印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する

品質や色などの詳細な印刷設定を行えます。

[詳細設定モード]

印刷する原稿に合わせて、特に重視する要素や色の調整を行うことで、思いどおりの印刷結果を得ることができます。

メモ
- あらかじめ用意されている設定から印刷の目的を選択するだけで最適な設定が行える、[目的設定モード]もあります。
  [目的設定モード]については、以下のトピックを参照してください。
  - 写真やイラストを印刷する →P.17
  - オフィスの文書を印刷する →P.33

[優先画質]

印刷結果において、特に重視する要素を選択します。

優先画質(*1)	説明
[写真・イラスト]	ポスターのように主に写真やイラストで構成される原稿を印刷する場合、または印刷物の写真やイラストの仕上がりを重視する場合の設定です。

優先画質(*1)	説明
[線画・文字]	主に微細な線で構成される CAD 図面などを印刷する場合、または文字を多く含む壁新聞などにおいて細かな文字の仕上がりを重視する場合に選択します。 写真や塗りつぶしの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。その場合は[写真・イラスト]を選択してください。
[オフィス文書]	一般的なアプリーションソフトで作成した書類やプレゼン資料のように、テキストとイラストの混在したドキュメントの読みやすさを重視する場合の設定です。

*1:優先画質の一覧には、選択した用紙の種類によって、その用紙の種類に最適な選択肢が表示されます。

[印刷品質]

品質を選択します。
品質と解像度の組み合わせによりプリンタの印字モードが決定します。

印刷品質(*1)	説明	優先画質
[最高]	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。	[写真・イラスト]
[きれい]	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。 [標準]や[速い]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、品質の高い印刷結果を得られます。	[写真・イラスト] [線画・文字]
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。 [最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。	[写真・イラスト] [線画・文字] [オフィス文書]
[速い]	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。 レイアウトの確認などを効率よく行えます。	[写真・イラスト] [線画・文字]

*1:印刷品質の一覧には、選択した優先画質によって、その優先画質に最適な選択肢が表示されます。

色の設定

設定項目	選択肢	説明
[カラーモード](*1)	[カラー] [モノクロ(写真)] [モノクロ] [色補正なし]	カラー印刷またはモノクロ印刷を選択します。 (「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.40 」参照)
[色調整](イメージ) [色調整](グラフィックス) [色調整](テキスト)	[シアン] [マゼンタ] [イエロー] [グレー色調] [明るさ] [コントラスト] [鮮やかさ]	イメージ、グラフィックス、テキストごとに、シアン、マゼンタ、イエローの色合いや、明るさ、コントラスト、鮮やかさ、グレーの度合いを調整できます。 [カラーモード]で、[モノクロ]を選択した場合は、[明るさ]と[コントラスト]だけを調整できます。

設定項目	選択肢	説明
[グレー調整]	[色調] [明るさ] [コントラスト] [ハイライト] [シャドー]	[冷黒]や[温黒]といったグレーの色調、明るさ、コントラスト、ハイライト、シャドーの階調を調整できます。 [カラーモード]で、[モノクロ(写真)]を選択した場合に調整できます。
カラーマッチングのモード	[ドライバ補正モード] [ICC 補正モード]	カラーマッチングのモードを選択できます。これ以外にも、ICM や ColorSync など、OS の提供するマッチングモードを選択できます。
カラーマッチングの方法(*2)	[自動] [写真調] [写真調(人肌・暗部優先)] [鮮やかな色に] [モニタマッチング] [色差最小] (その他)	カラーマッチングの方法を選択できます。[カラーマッチングのモード]で選択したマッチングモードによって、選択できる項目が異なります。
[色空間](*3)	[sRGB] [Adobe RGB]	標準的なカラースペース([sRGB])と拡張カラースペース([Adobe RGB])を選択できます。

*1:[カラーモード]の一覧には、選択した[優先画質]や[用紙の種類]によって、その[優先画質]に最適な選択肢が表示されます。
*2:ご使用の OS によって、表示される選択肢の並び順が異なります。
*3:[Adobe RGB]をサポートしていない用紙や印刷品質の組み合わせが選択されている場合は、この機能は使用できません。

品質の補正

設定項目	説明
[写真高精細]	階調性や均一性を向上させ、特に写真を高画質で印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。
[細線強調]	細い線を太く見やすく印刷します。
[片方向印刷]	色ムラや罫線ズレを抑えて印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。
[文字・線画高精細]	インクの着弾精度を高め、特に文字や線画をくっきりと印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。

メモ

- より高画質をお求めの場合は、プリンタドライバの[印刷品質]を[きれい]または[最高]に設定し、[片方向印刷]や[文字・線画高精細]をチェックして印刷してください。

印刷品質や色を指定して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

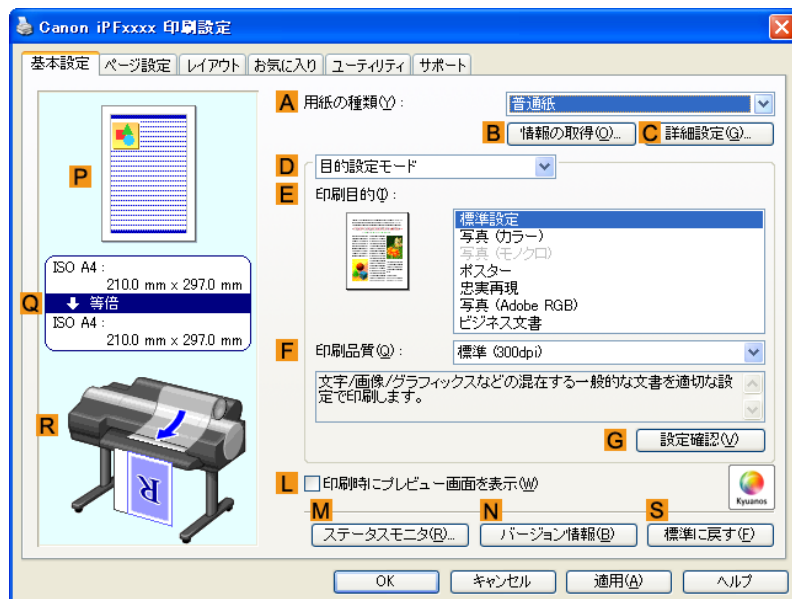
- 印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Windows) →P.52
- 印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する(Mac OS X) →P.54

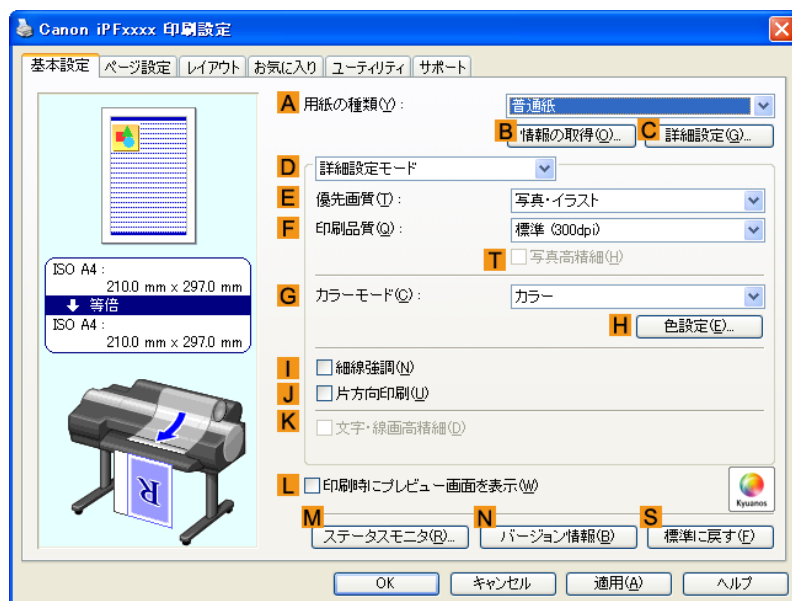
印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する（Windows）

あらかじめ登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、写真画像をモノクロで印刷する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.191 」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

5. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6. E[優先画質]の一覧から[写真・イラスト]をクリックします。

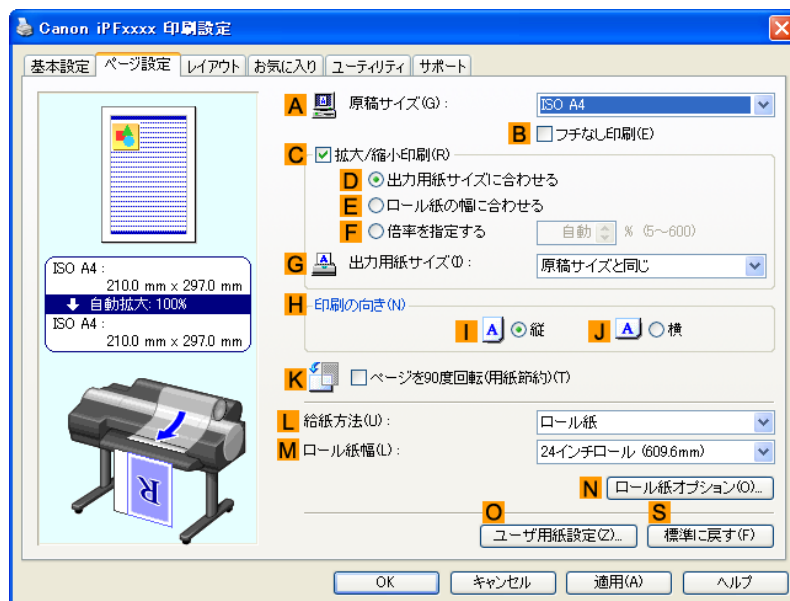
7. F[印刷品質]の一覧から[きれい (600dpi)]をクリックします。

メモ
- F[印刷品質]の一覧に表示される選択肢は、用紙の種類によって異なります。

8. G[カラーモード]の一覧から[モノクロ]をクリックします。

9. 明るさやコントラストを調整する場合は、H[色設定]をクリックします。

メモ
- 明るさやコントラストを調整する方法については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する」を参照してください。 →P.40

10. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

11. A[原稿サイズ]や L[給紙方法]の設定を確認します。

12. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

印刷の種類や印刷の条件を選択して印刷する（Mac OS X）

あらかじめ登録されている[印刷目的]の設定を使用せずに、独自の設定で印刷することができます。ここでは、写真画像をモノクロで印刷する手順を説明します。

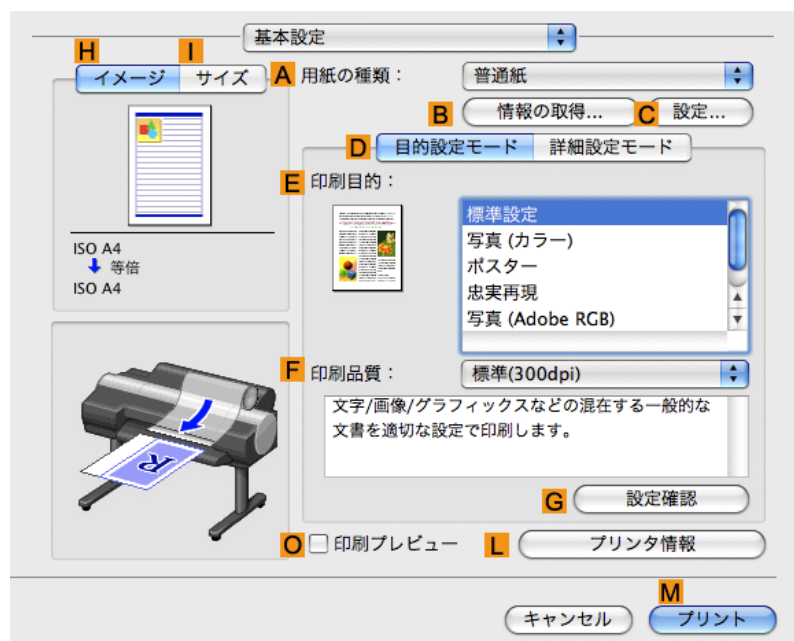
1. アプリケーションソフトのメニューから[ページ設定]を選択し、[ページ属性]ダイアログボックスを開きます。

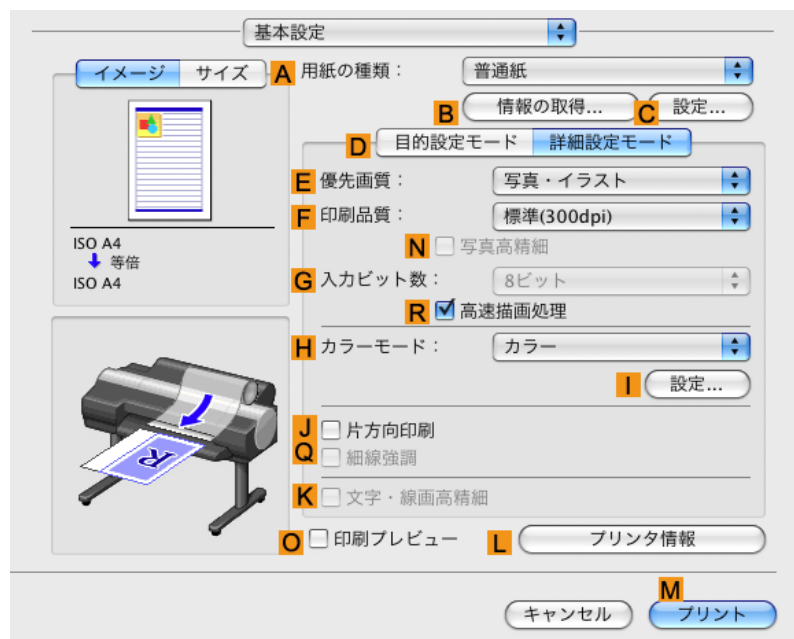
2. B[対象プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4. F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

5. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

6. [基本設定]パネルを表示します。

7. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

8. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

9. E[優先画質]の一覧から[写真･イラスト]をクリックします。

10. F[印刷品質]の一覧から[きれい (600dpi)]をクリックします。

メモ

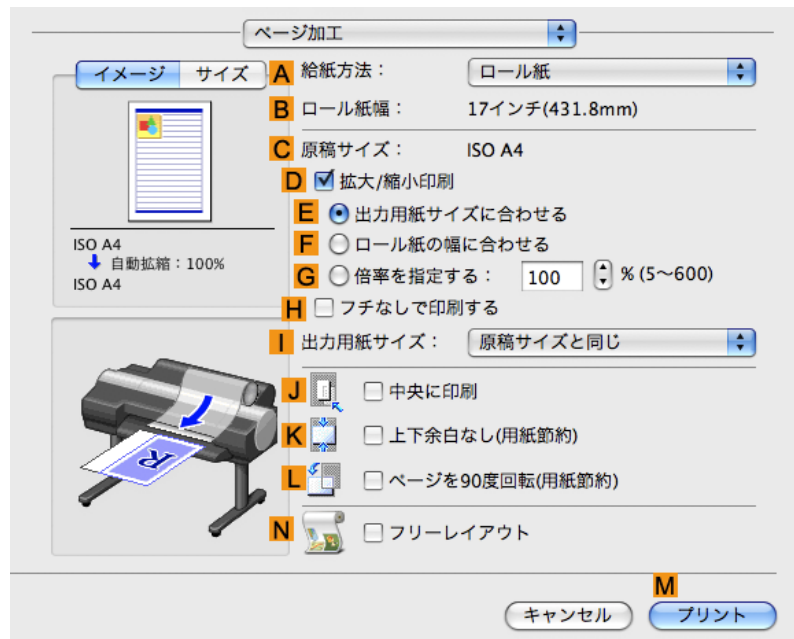
- F[印刷品質]の一覧に表示される選択肢は、用紙の種類によって異なります。

11. H[カラーモード]の一覧から[モノクロ]をクリックします。

12. 明るさやコントラストを調整する場合は、I[設定]をクリックします。

メモ

- 明るさやコントラストを調整する方法については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.40 」を参照してください。

13. [ページ加工]パネルを表示します。

14. A[給紙方法]や C[原稿サイズ]の設定を確認します。

15. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.448」を参照してください。

用紙を選択する

用紙の種類を選択して印刷する

用途に応じて用紙の種類を選択することで、最適な印刷結果を得ることができます。

[用紙の種類]

プリンタ、プリンタドライバには、用紙の種類の特性に合わせ、それぞれに最適な印刷設定が用意されています。

メモ

- プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.663 」参照)
- User Software CD-ROM で Media Configuration Tool をインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。Media Configuration Tool については「Media Configuration Tool →P.407 (Windows)」または「Media Configuration Tool →P.622 (Macintosh)」を参照してください。
- プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類が合っていない場合、プリンタの操作パネルにエラーメッセージが表示される場合があります。印刷を実行することはできますが、正しい印刷結果を得られない可能性があります。

用紙の種類が選択できない場合

プリンタにセットした用紙の種類が選択できない場合で、光沢紙、プルーフ系の用紙に印刷する場合はスペシャル 1 から順に 5 まで試してください。黒インクはブラックインクを使用して印刷します。その他の種類の用紙をご使用の場合はスペシャル 6 から順に 10 までを試してください。黒インクはマットブラックインクを使用して印刷します。数字が大きくなるほど発色性は良くなりますが、にじんだりする場合があります。
また、Media Configuration Tool で[カスタム用紙の登録]を行う事もできます。
Media Configuration Tool については「Media Configuration Tool →P.407 (Windows)」または「Media Configuration Tool →P.622 (Macintosh)」を参照してください。

用紙の種類を選択して印刷する方法については、以下のトピックを参照してください。

- 用紙の種類を変更する →P.675

プリンタドライバで用紙を指定する

用紙を交換したときは、プリンタドライバで用紙の種類やサイズを設定します。
プリンタドライバでの用紙の設定方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- プリンタドライバで用紙を指定する(Windows) →P.185
- プリンタドライバで用紙を指定する(Mac OS X) →P.446

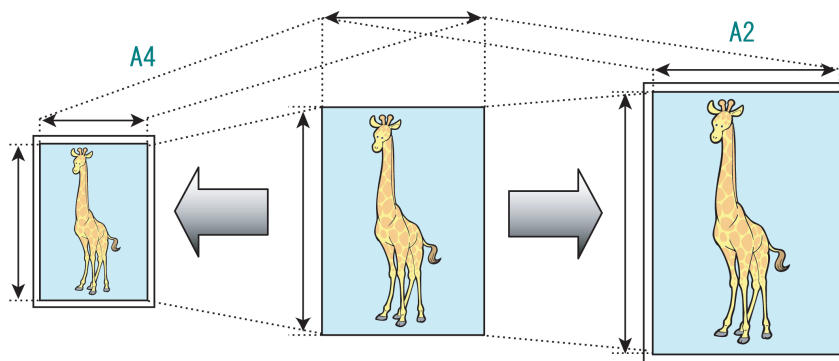
拡大／縮小して印刷する

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

[拡大/縮小印刷]

プリンタドライバで原稿を拡大/縮小して印刷できます。

[出力用紙サイズに合わせる]

用紙のサイズに合わせて原稿を拡大/縮小します。

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows） →P.58
- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） →P.60

メモ

- デジタルカメラで撮影した JPEG や TIFF 形式の画像データを拡大して印刷する場合は、Adobe Photoshop などのアプリケーションソフトで、入力解像度を原寸で 150dpi 以上に設定すると、より良い印刷結果が得られます。

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙

- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.191 」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

9. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

10. C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

11. D[出力用紙サイズに合わせる]をクリックします。

12. G[出力用紙サイズ]の一覧から[ISO A3]をクリックします。

13. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows） →P.187 」を参照してください。

用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B［ロール紙幅］で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［ISO A2/A3（420.0mm）］が表示されていることを確認します。

メモ

- B［ロール紙幅］に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、［基本設定］パネルの L［プリンタ情報］をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. ［ページ加工］パネルの C［原稿サイズ］で、［ページ属性］ダイアログボックスの C［用紙サイズ］で選択した原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］が表示されていることを確認します。

13. D［拡大/縮小印刷］チェックボックスをオンにします。

14. E［出力用紙サイズに合わせる］が選択されていることを確認します。

15. I［出力用紙サイズ］の一覧から［ISO A3］をクリックします。

16. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X） →P.448 」を参照してください。

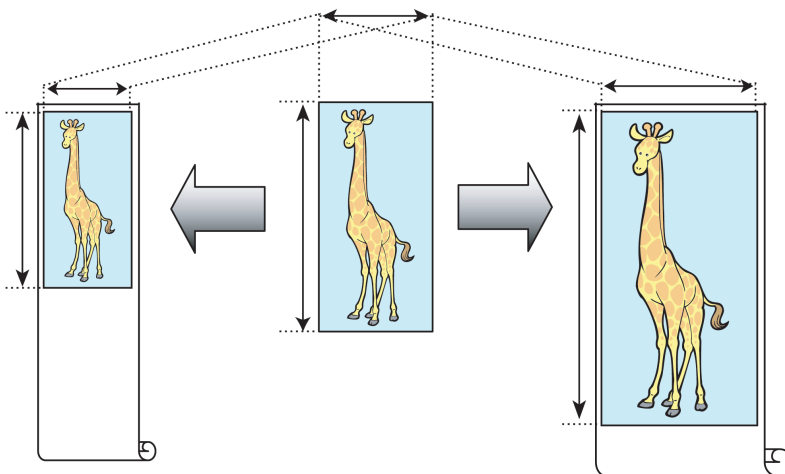
ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

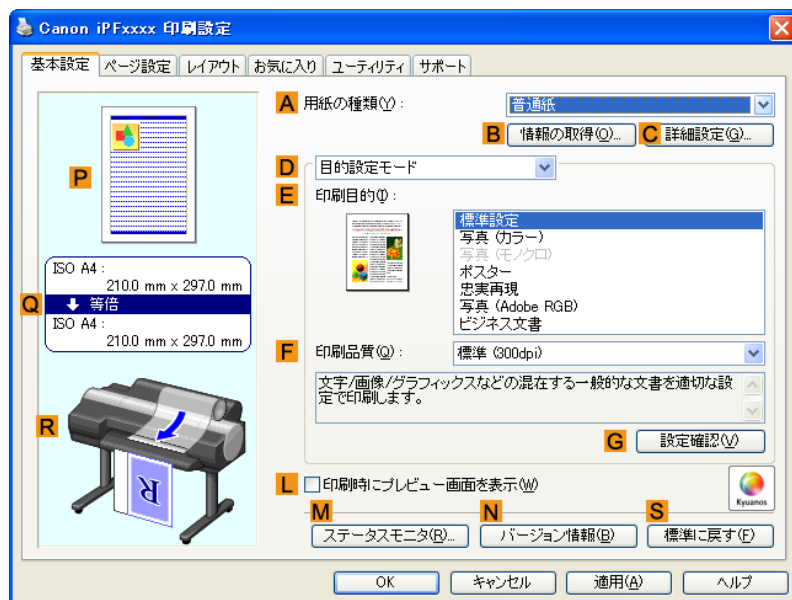
[拡大/縮小印刷]

プリンタドライバで原稿を拡大/縮小して印刷できます。

[ロール紙の幅に合わせる]

原稿の幅をロール紙の幅に合わせて、原稿全体を拡大/縮小して印刷します。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows） →P.64
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） →P.66

メモ

- デジタルカメラで撮影した JPEG や TIFF 形式の画像データを拡大して印刷する場合は、Adobe Photoshop などのアプリケーションソフトで、入力解像度を原寸で 150dpi 以上に設定すると、より良い印刷結果が得られます。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:16 インチ（406.4 mm）

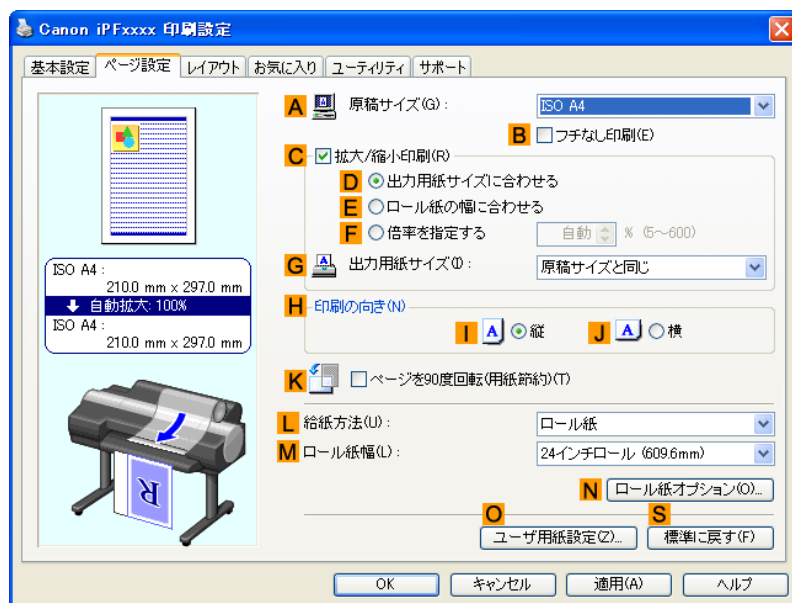
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」→P.191参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

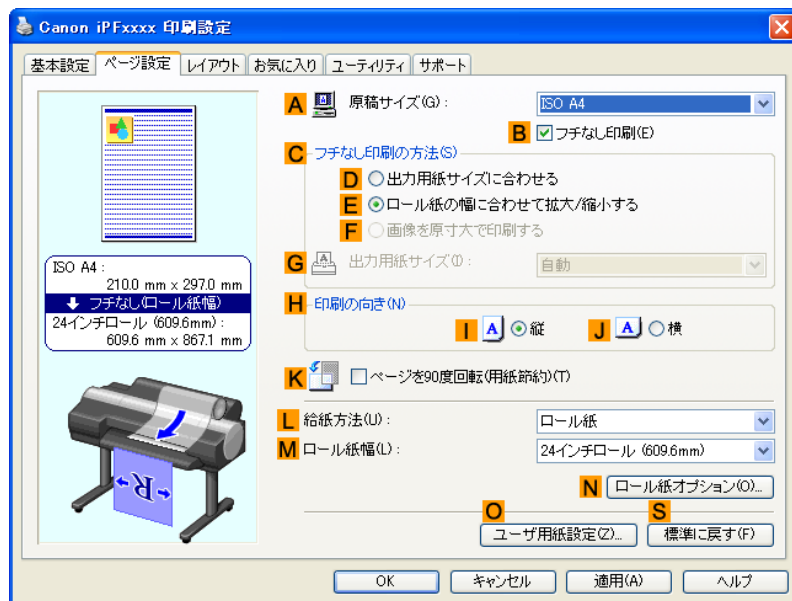
5. E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

9. C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

メモ

- [ページ設定]シートに C[拡大/縮小印刷]チェックボックスが表示されない場合は、B[フチなし印刷]チェックボックスをオフにします。

10. E[ロール紙の幅に合わせる]をクリックします。

メモ

- E[ロール紙の幅に合わせる]をクリックすると、[情報]ダイアログボックスが開きます。[ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅を選択し、[OK]をクリックします。
- 設定したロール紙の幅とプリンタにセットしたロール紙の幅が同じであることを確認してください。

11. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows） →P.187 」を参照してください。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:16 インチ（406.4 mm）

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

A プリンタ： iPFxxxx
B プリセット： 標準
C 部数： 1 丁合い
D ページ： すべて
E 開始： 1 終了： 1
F 用紙サイズ： ISO A4 21.00 x 29.70 cm
G 方向：

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

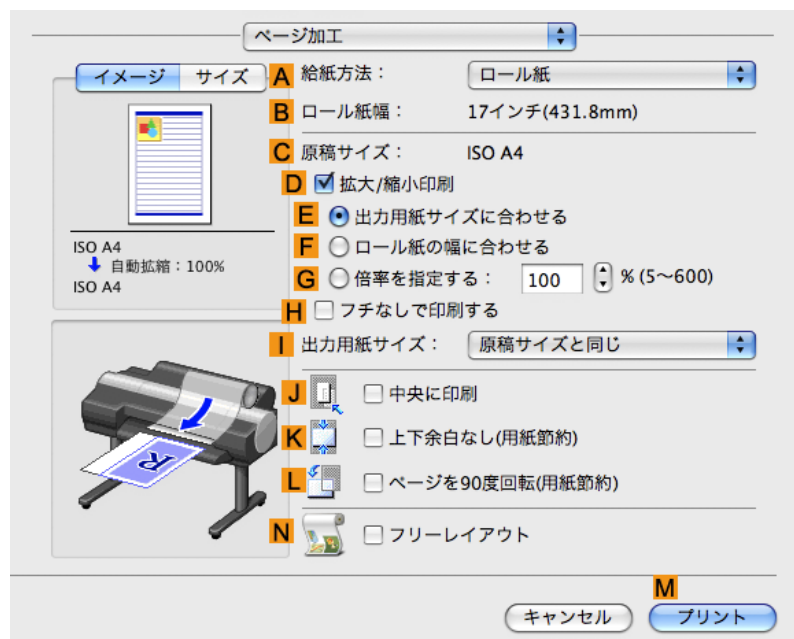
4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[16 インチ(406.4mm)]が表示されていることを確認します。

メモ
- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

13. D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

14. F[ロール紙の幅に合わせる]をクリックします。

15. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.448 」を参照してください。

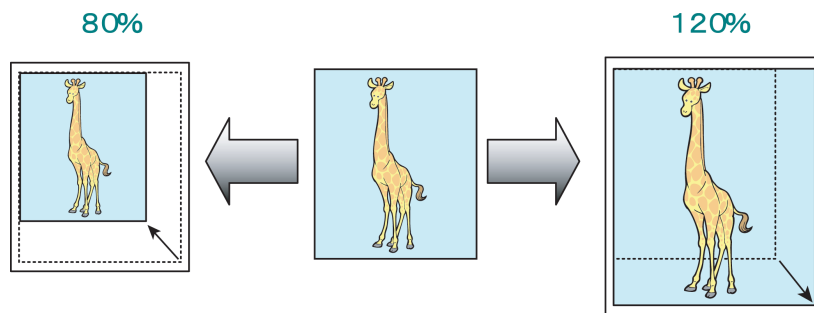
指定した倍率で拡大/縮小して印刷する

原稿を大きく引き伸ばしたり、縮小したり、印刷するサイズを自由に調整できます。

[拡大/縮小印刷]

プリンタドライバで原稿を拡大/縮小して印刷できます。

[倍率を指定する]

指定した倍率で原稿を拡大/縮小します。

倍率を指定して拡大/縮小して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Windows） →P.70
- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Mac OS X） →P.72

メモ

- デジタルカメラで撮影した JPEG や TIFF 形式の画像データを拡大して印刷する場合は、Adobe Photoshop などのアプリケーションソフトで、入力解像度を原寸で 150dpi 以上に設定すると、より良い印刷結果が得られます。

指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、指定した倍率で原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

重要

- フチなしで印刷する場合は、倍率を指定して拡大/縮小して印刷することはできません。

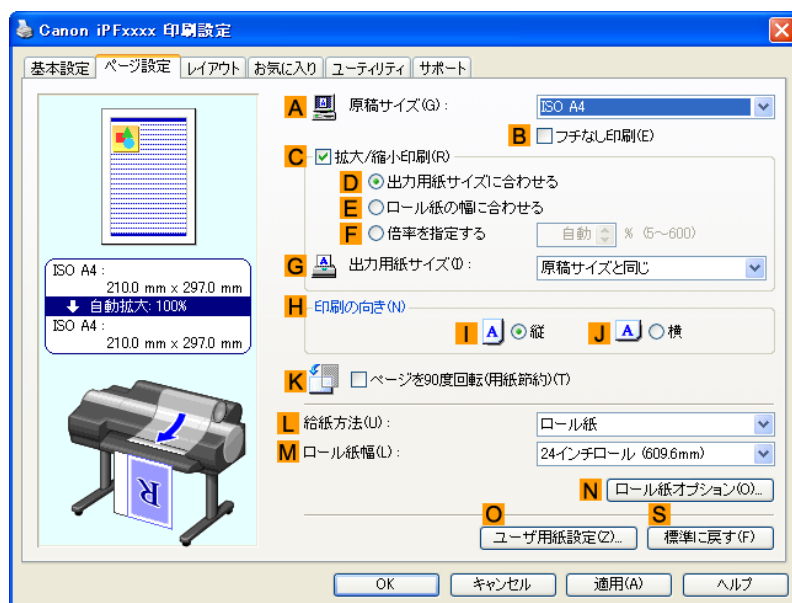
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.191 」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

9. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

10. C [拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

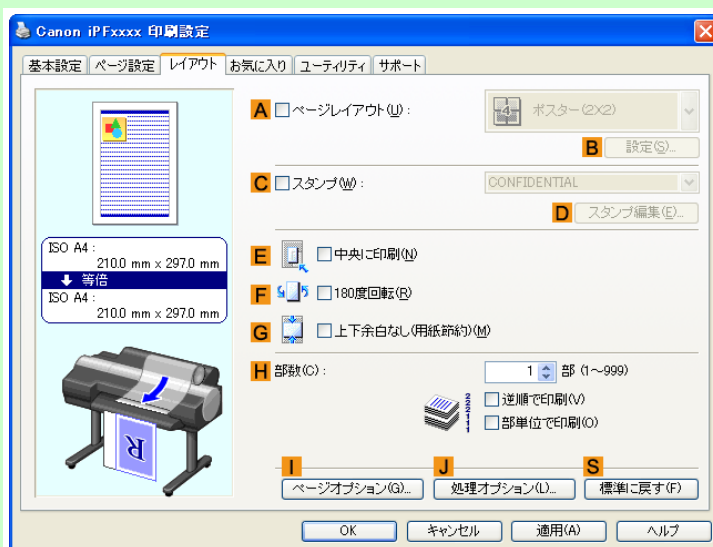
11. G [出力用紙サイズ]の一覧から[ISO A4]をクリックします。

12. F [倍率を指定する]をクリックし、[120]を入力します。

メモ

- 印刷する用紙のサイズより大きくなるように倍率を指定することもできますが、右側と下側の用紙に収まらない部分は印刷されません。
- 拡大/縮小した原稿のサイズが用紙のサイズよりも小さいと左上に寄って印刷されます。その場合は、[レイアウト]シートの E [中央に印刷]チェックボックスをオンにすると中央に印刷できます。

13. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows）→P.187」を参照してください。

指定した倍率で拡大/縮小して印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、指定した倍率で原稿を拡大して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B［ロール紙幅］で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［ISO A2/A3（420.0mm）］が表示されていることを確認します。

メモ

- B［ロール紙幅］に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、［基本設定］パネルの L［プリンタ情報］をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. C［原稿サイズ］で、［ページ属性］ダイアログボックスの C［用紙サイズ］で選択した原稿のサイズ、ここでは［ISO A4］が表示されていることを確認します。

13. D［拡大/縮小印刷］チェックボックスをオンにします。

14. G［倍率を指定する］をクリックし、［120］を入力します。

メモ

- 印刷する用紙のサイズより大きくなるように倍率を指定することもできますが、用紙に収まらない部分は印刷されません。
- 拡大/縮小した原稿のサイズが用紙のサイズよりも小さいと左上に寄って印刷されます。その場合は、J［中央に印刷］チェックボックスをオンにすると中央に印刷できます。

15. 印刷の設定を確認し、**M**[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X）→P.448」を参照してください。

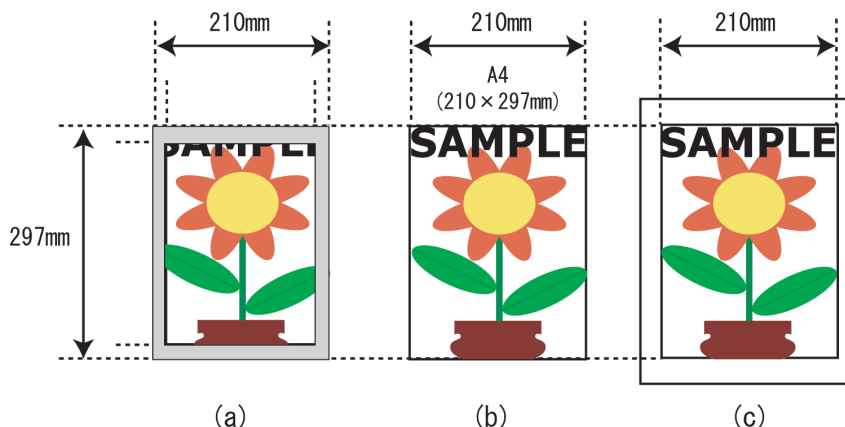
原寸で印刷する

オーバーサイズの用紙サイズに印刷する

フチなし印刷の場合を除き、プリンタの印刷領域は、選択した用紙のサイズから余白を除いたサイズになります(「印刷領域 →P.800」参照)。文書や画像を余白なく作成し、そのままのサイズで印刷したい場合は、オーバーサイズの用紙サイズを使用します。
例えば、A4 サイズの原稿を余白なしで A4 サイズに印刷するには、A4 よりも大きなサイズの用紙に印刷し、印刷した後で周囲の余白を切り落とします。

メモ
- 通常の用紙サイズでは、原稿を余白なく作成して印刷した場合、用紙の端の画像が欠けます。

[オーバーサイズ]

通常の用紙サイズの[外側]に、プリンタの動作に必要な余白をとって印刷します。例えば、A4 サイズ(210×297 mm)の原稿を印刷した場合は、以下のようになります。

- (a) 通常の用紙サイズ:灰色の部分は印刷されません。
- (b) 原稿のサイズ
- (c) オーバーサイズの用紙サイズ:印刷領域が原稿のサイズ(b)と一致します。

重要
- オーバーサイズの用紙サイズに印刷するときは、原稿のサイズに、プリンタの動作に必要な余白を加えたサイズよりも大きな用紙をセットしてください。
  - カット紙の場合:原稿のサイズより、幅 6 mm 以上、高さ 26 mm 以上大きな用紙をセットします。
  - ロール紙の場合:原稿のサイズより、幅 6 mm 以上、長さ 6 mm 以上大きな用紙をセットします。

メモ

- プリンタにセットできる最大の用紙サイズに対しては、オーバーサイズの用紙サイズは使用できません。(「用紙のサイズ →P.666」参照)
- 定形外の用紙に対してオーバーサイズの用紙サイズを設定する場合は、ユーザ定義用紙に用紙サイズを登録してください。[カスタムサイズ]では、オーバーサイズの用紙サイズの設定はできません。(「定形外の用紙に印刷する →P.113」参照)

オーバーサイズで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Windows) →P.78
- 原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Mac OS X) →P.79

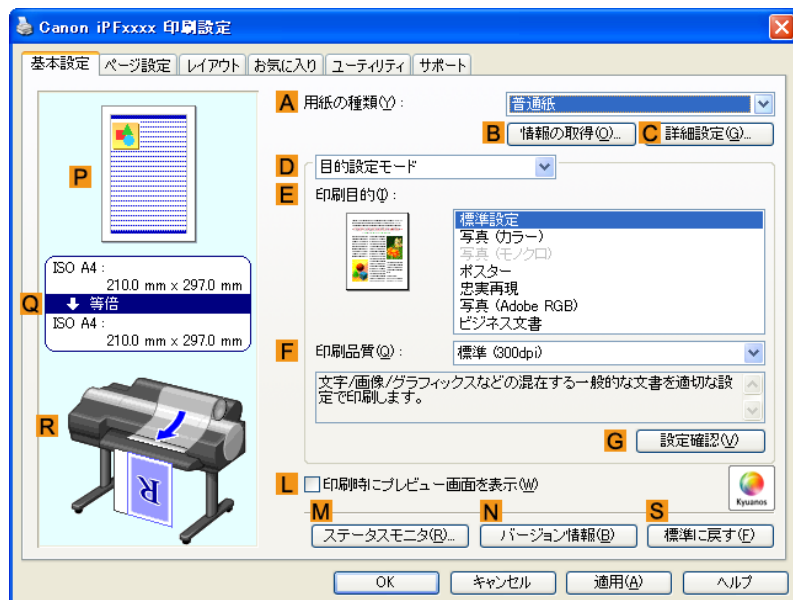
原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Windows)

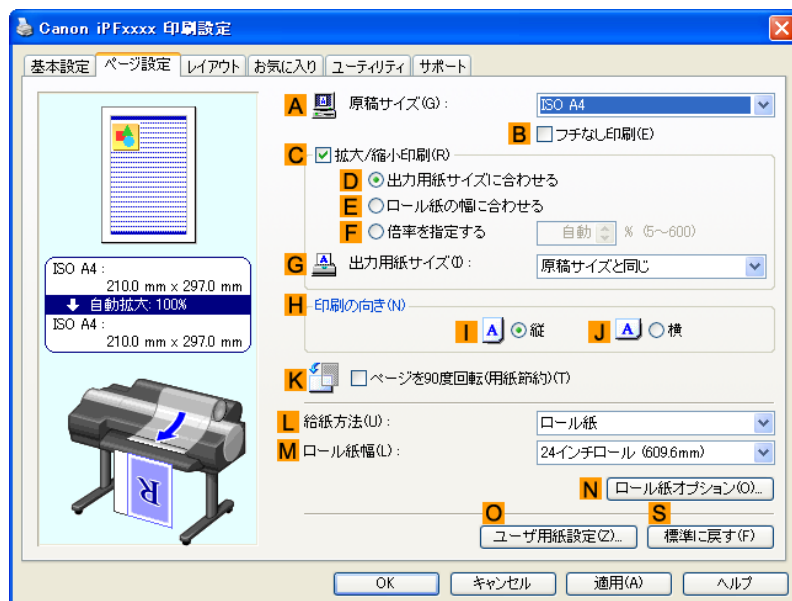
ここでは、以下を例に、原稿サイズの全面を原寸で印刷する手順を説明します。(オーバーサイズ印刷)

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.191」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6. O[ユーザ用紙設定]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを開きます。

7. [ユーザ用紙設定]ダイアログボックスで、[サイズ系列]の[オーバーサイズ]チェックボックスをオンにします。

8. [OK]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを閉じます。

9. A[原稿サイズ]の一覧から[オーバーサイズ - ISO A4]をクリックします。

10. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

12. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

原稿サイズの全面を原寸で印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原稿サイズの全面を原寸で印刷する手順を説明します。(オーバーサイズ印刷)

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - オーバーサイズ]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

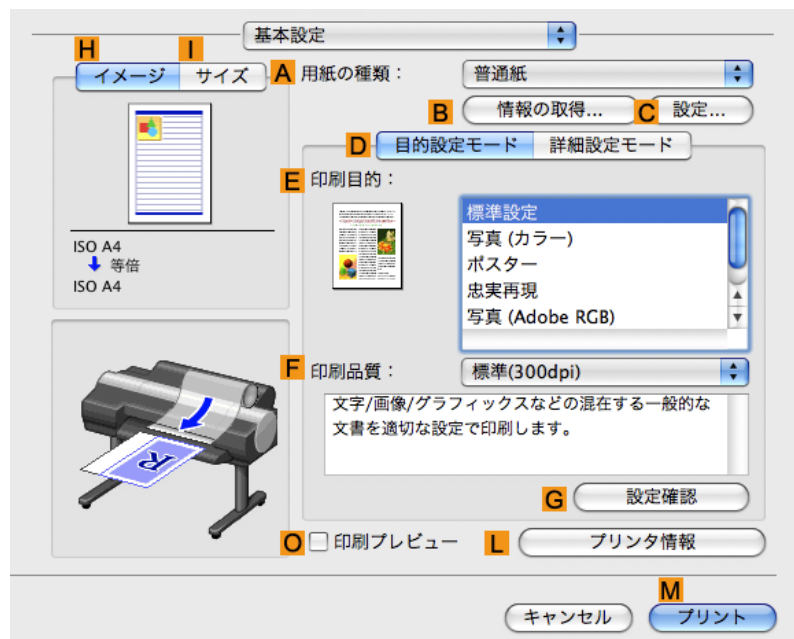
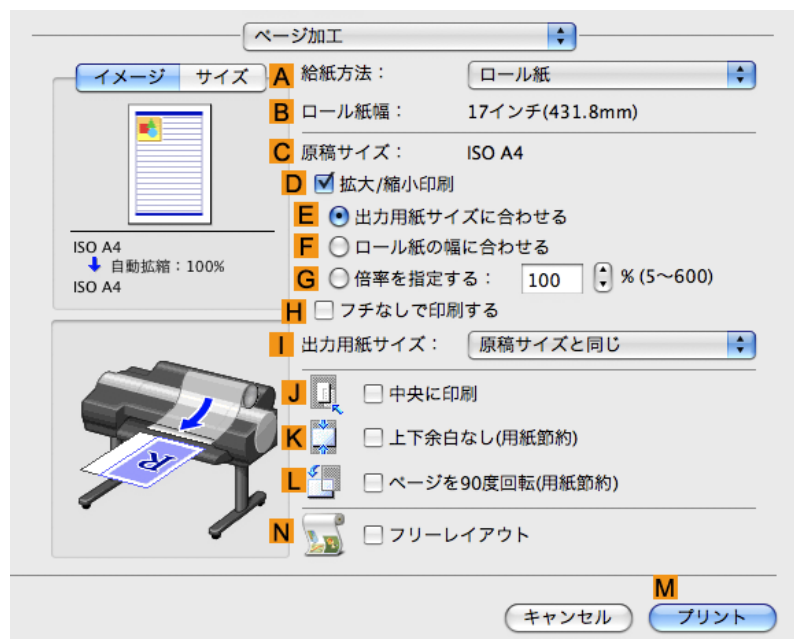
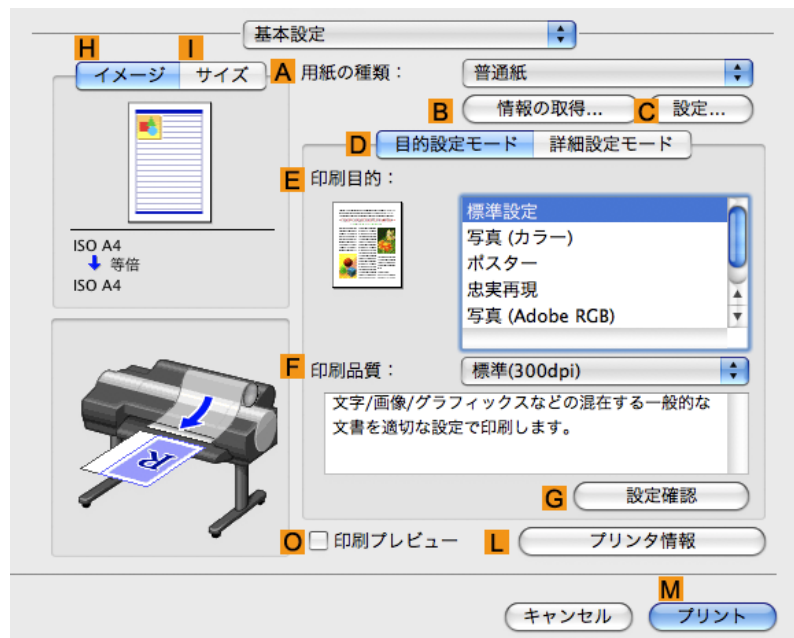
7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B［ロール紙幅］で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［ISO A2/A3（420.0mm）］が表示されていることを確認します。

メモ

- B［ロール紙幅］に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、［基本設定］パネルの L［プリンタ情報］をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. C［原稿サイズ］で、［ページ属性］ダイアログボックスの C［用紙サイズ］で選択した原稿のサイズ、ここでは［ISO A4 - オーバーサイズ］が表示されていることを確認します。

13. 印刷の設定を確認し、M［プリント］をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X） →P.448 」を参照してください。

原寸大のフチなしで印刷する

写真やイラストで構成されるポスターのように、周囲の余白（フチ）のない印刷物を作成したい場合に、フチなしで印刷できます。

［フチなし印刷］

通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入ります。フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

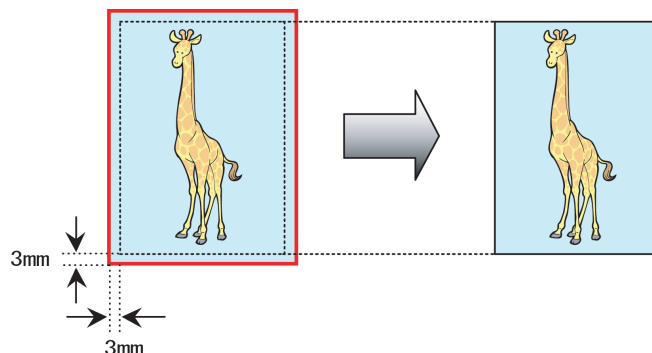
重要

- フチなし印刷は、ロール紙専用の機能です。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。（「用紙の種類 →P.663」参照）
- A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合は、付属のフチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けます。（「ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669」参照）
  フチなし印刷用スペーサーを取り付けずにフチなし印刷した場合、プラテンが汚れる場合があります。
- オートカットできない用紙の場合は、左右のみフチなしで印刷します。
- フチなし印刷時は、ページレイアウト、中央に印刷、およびロール紙のカットライン印刷はできません。
- フチなし印刷時、［出力用紙サイズに合わせる］または［画像を原寸大で印刷する］（Windows のみ）が選択されている場合は［ページを 90 度回転（用紙節約）］を選択することはできません。
- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、プリンタドライバの［オートカット設定］で［なし］を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
- 工場出荷時の状態では、すべての用紙でインク乾燥時間が無効に設定されています。インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、以下の手順でインク乾燥時間を変更してください。
  - プリンタドライバの［基本設定］シートで、［用紙の種類］の［設定］をクリックします。
  - ［インク乾燥時間］の［ページ間］の一覧からインク乾燥時間を選択します。

［フチなし印刷の方法］

印刷する原稿に合わせ、フチなし印刷の方法を選択できます。

［画像を原寸大で印刷する］

原稿の拡大/縮小を行わず、原稿のサイズと同じサイズで印刷します。原稿を用紙のサイズより上下左右に 3 mm ずつ大きく作成する必要があります。

メモ

- 選択できる原稿のサイズには制限があります。
- 用紙サイズに合わせて原稿を作成した場合でも、用紙サイズに合わせたフチなし印刷では、画像が自動的に拡大されます。そのため、わずかに画質が劣化します。画質を重視する場合は、用紙サイズよりも上下左右 3 mm ずつ大きいサイズで原稿を作成し、原寸大のフチなしで印刷してください。

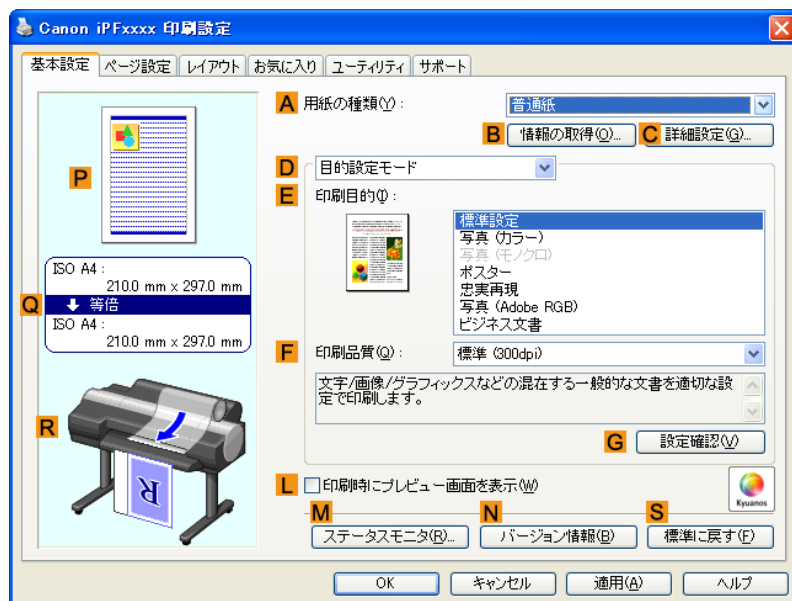
写真やイラストを原寸大のフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原寸大のフチなしで印刷する（Windows） →P.84
- 原寸大のフチなしで印刷する（Mac OS X） →P.86

原寸大のフチなしで印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、原寸大のフチなしで原稿を印刷する手順を説明します。
A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合は、付属のフチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けます。（「ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669 」参照）
フチなし印刷用スペーサーを取り付けずにフチなし印刷をした場合、プラテンが汚れる場合があります。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切（10×12 インチ）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ（254.0 mm）

1. アプリケーションソフトで、四切（254.0×304.8 mm）よりも上下左右に 3 mm ずつ大きいサイズ（260.0×310.8 mm）で原稿を作成します。

メモ

- Microsoft Word などの余白を設定できるアプリケーションソフトでは、余白を 0 mm に設定します。余白の設定方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。
- 上下左右の約 3 mm は印刷されません。印刷したい部分が用紙に収まるように原稿を作成してください。

2. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

3. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.191 」参照）

4. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

6. E[印刷目的]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切(10"x12")]をクリックします。

9. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10. B[フチなし印刷]チェックボックスをオンにし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

11. [ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックします。

12. [OK]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを閉じます。

13. C[フチなし印刷の方法]で、F[画像を原寸大で印刷する]をクリックします。

14. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

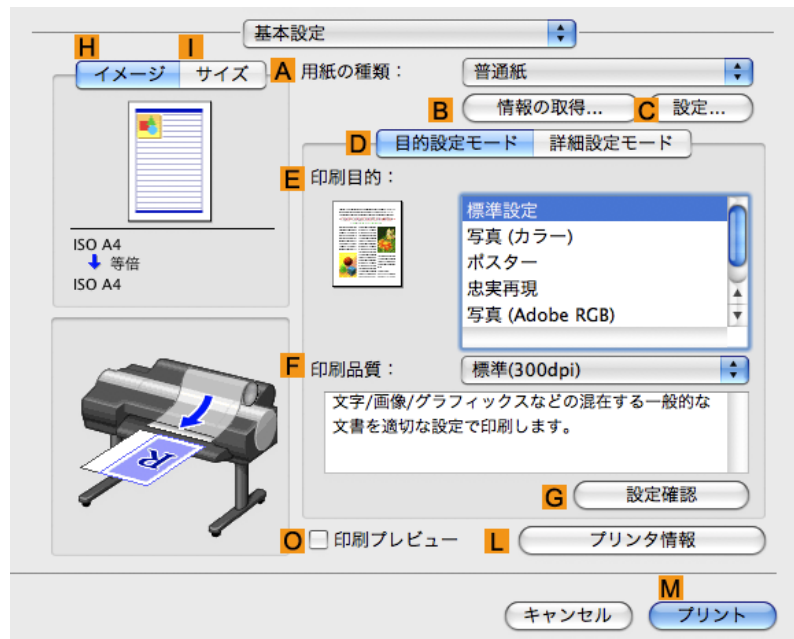
原寸大のフチなしで印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原寸大のフチなしで原稿を印刷する手順を説明します。
A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合は、付属のフチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けます。(「ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669 」参照)
取り付けずにフチなし印刷をした場合、プラテンが汚れる場合があります。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)-フチなし
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1. アプリケーションソフトのメニューから[ページ設定]を選択し、[ページ属性]ダイアログボックスを開きます。

2. B[対象プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここではフチなし印刷が可能な用紙サイズ[四切(10"×12")-フチなし]をクリックします。

メモ
- 原寸大のフチなし印刷が可能な用紙のサイズは、通常のサイズ名の後に[- フチなし]が付いたサイズです。

4. F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

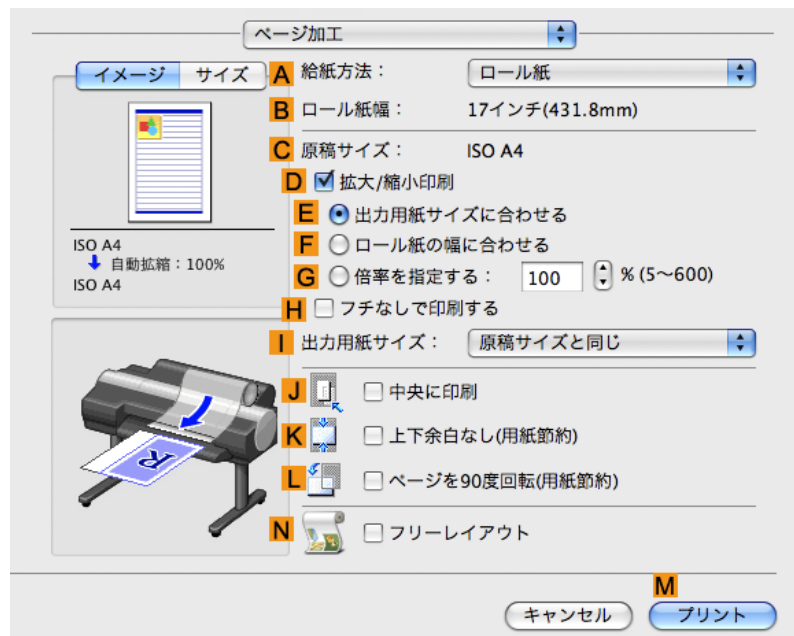
5. アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

6. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

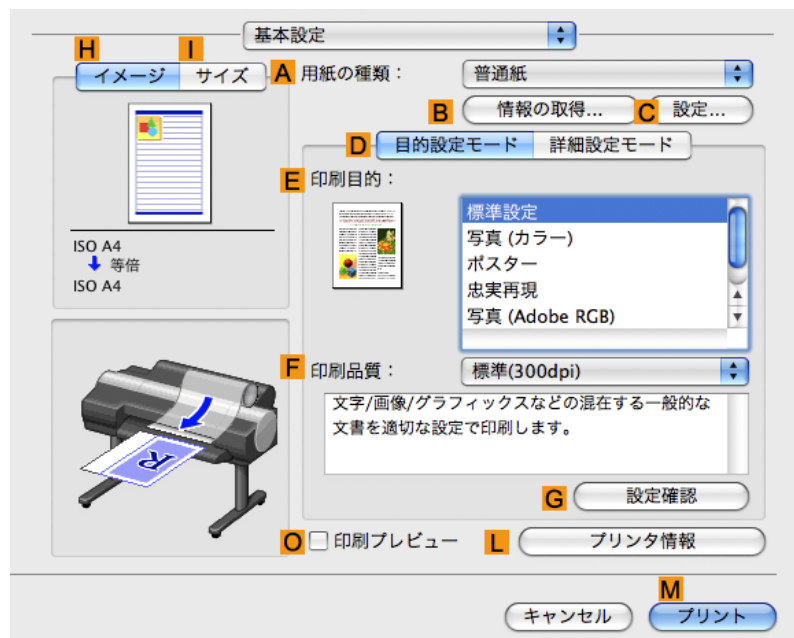
7. [基本設定]パネルを表示します。

8. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

9. E[印刷目的]を一覧から選択します。

10. [ページ加工]パネルを表示します。

11. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

12. ロール紙幅と原稿サイズが一致していることを確認します。
B［ロール紙幅］で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［10 インチ（254.0mm）］が表示されていることを確認します。

メモ
- **B**［ロール紙幅］に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、［基本設定］パネルの **L**［プリンタ情報］をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

13. **C**［原稿サイズ］で、［ページ属性］ダイアログボックスの **C**［用紙サイズ］で選択した原稿のサイズ、ここでは［四切（10"×12"）- フチなし］が表示されていることを確認します。

14. 印刷の設定を確認し、**M**［プリント］をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X）→P.448」を参照してください。

フチなしで印刷する

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する

写真やイラストで構成されるポスターのように、周囲の余白(フチ)のない印刷物を作成したい場合に、フチなしで印刷できます。

[フチなし印刷]

通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入ります。フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

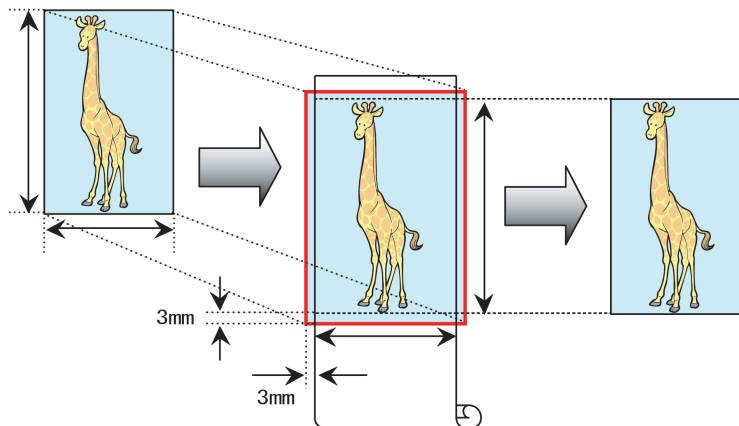
重要

- フチなし印刷は、ロール紙専用の機能です。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.663」参照)
- A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合は、付属のフチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けます。(「ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669」参照)
  フチなし印刷用スペーサーを取り付けずにフチなし印刷した場合、プラテンが汚れる場合があります。
- オートカットできない用紙の場合は、左右のみフチなしで印刷します。
- フチなし印刷時は、ページレイアウト、中央に印刷、およびロール紙のカットライン印刷はできません。
- フチなし印刷時、[出力用紙サイズに合わせる]または[画像を原寸大で印刷する](Windows のみ)が選択されている場合は[ページを 90 度回転(用紙節約)]を選択することはできません。
- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、プリンタドライバの[オートカット設定]で[なし]を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
- 工場出荷時の状態では、すべての用紙でインク乾燥時間が無効に設定されています。インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、以下の手順でインク乾燥時間を変更してください。
  - プリンタドライバの[基本設定]シートで、[用紙の種類]の[設定]をクリックします。
  - [インク乾燥時間]の[ページ間]の一覧からインク乾燥時間を選択します。

[フチなし印刷の方法]

印刷する原稿に合わせ、フチなし印刷の方法を選択できます。

[出力用紙サイズに合わせる]

用紙のサイズに合わせて原稿を拡大/縮小します。

メモ

- 原稿の各辺は、プリンタドライバで用紙サイズに対して上下左右に 3 mm ずつ大きく設定されます。用紙の外にはみ出した 3 mm の部分は印刷されません。

写真やイラストを出力する用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する（Windows） →P.91
- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する（Mac OS X） →P.93

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。
A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合は、付属のフチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けます。（「ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669 」参照）
フチなし印刷用スペーサーを取り付けずにフチなし印刷をした場合、プラテンが汚れる場合があります。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切（10×12 インチ）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ（254.0 mm）

1. アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

メモ

- Microsoft Word などの余白を設定できるアプリケーションソフトでは、余白を 0 mm に設定します。余白の設定方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

2. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

3. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.191 」参照）

4. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

6. E[印刷目的]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[四切(10"x12")]をクリックします。

9. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10. B[フチなし印刷]チェックボックスをオンにし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

11. [ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックします。

12. [OK]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを閉じます。

13. C[フチなし印刷の方法]で、D[出力用紙サイズに合わせる]をクリックします。

14. G[出力用紙サイズ]の一覧から[原稿サイズと同じ]をクリックします。

15. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187」を参照してください。

用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、用紙のサイズに合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。
A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合は、付属のフチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けます。(「ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669」参照)
フチなし印刷用スペーサーを取り付けずにフチなし印刷した場合、プラテンが汚れる場合があります。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:四切(10×12 インチ)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1. アプリケーションソフトのメニューから[ページ設定]を選択し、[ページ属性]ダイアログボックスを開きます。

2. B[対象プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[四切（10"x12"）]をクリックします。

メモ

- 用紙のサイズに合わせて原稿を拡大/縮小してフチなしで印刷する場合は、すべてのサイズを選択できます。

4. F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

5. アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

6. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

7. [基本設定]パネルを表示します。

8. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

9. E[印刷目的]を一覧から選択します。

10. [ページ加工]パネルを表示します。

11. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

12. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチ(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

13. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[四切 (10"x12")]が表示されていることを確認します。

14. D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

15. H[フチなしで印刷する]チェックボックスをオンにします。

16. D[拡大/縮小印刷]で、E[出力用紙サイズに合わせる]をクリックします。

17. I[出力用紙サイズ]の一覧から用紙のサイズ、ここでは[四切(10"×12")- フチなし]をクリックします。

18. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.448 」を参照してください。

ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する

写真やイラストで構成されるポスターのように、周囲の余白(フチ)のない印刷物を作成したい場合に、フチなしで印刷できます。

[フチなし印刷]

通常の印刷では、原稿の周囲にプリンタの動作に必要な余白が入ります。フチなし印刷では、原稿の周囲に余白を入れず、用紙の全面に印刷します。

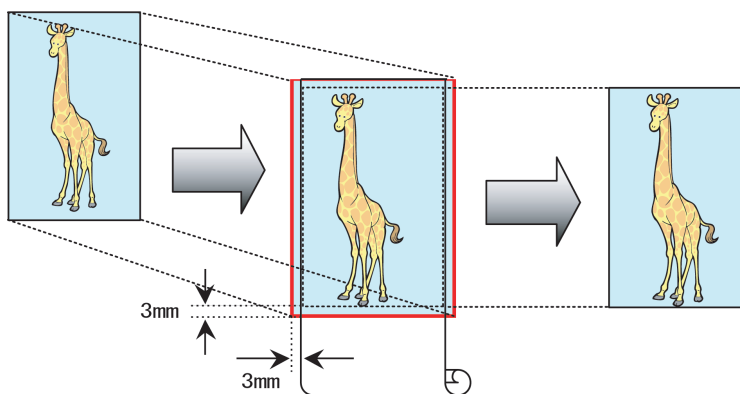
重要

- フチなし印刷は、ロール紙専用の機能です。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.663」参照)
- A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合は、付属のフチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けます。(「ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669」参照)
フチなし印刷用スペーサーを取り付けずにフチなし印刷した場合、プラテンが汚れる場合があります。
- オートカットできない用紙の場合は、左右のみフチなしで印刷します。
- フチなし印刷時は、ページレイアウト、中央に印刷、およびロール紙のカットライン印刷はできません。
- フチなし印刷時、[出力用紙サイズに合わせる]または[画像を原寸大で印刷する](Windows のみ)が選択されている場合は[ページを 90 度回転(用紙節約)]を選択することはできません。
- フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。より高画質をお求めになる場合は、プリンタドライバの[オートカット設定]で[なし]を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
- 工場出荷時の状態では、すべての用紙でインク乾燥時間が無効に設定されています。インクの定着が悪い用紙にフチなし印刷する場合、使用頻度によっては、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、切断面が乱れることがあります。このような場合は、以下の手順でインク乾燥時間を変更してください。
  - プリンタドライバの[基本設定]シートで、[用紙の種類]の[設定]をクリックします。
  - [インク乾燥時間]の[ページ間]の一覧からインク乾燥時間を選択します。

[フチなし印刷の方法]

印刷する原稿に合わせ、フチなし印刷の方法を選択できます。

[ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する]

原稿の幅をロール紙の幅に合わせて原稿全体を拡大/縮小します。

メモ

- ページを 90 度回転させて印刷する設定と組み合わせて使用すると、原稿の縦の幅とロール紙の幅を合わせて、フチなしで印刷できます。

写真やイラストをロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Windows) →P.98
- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Mac OS X) →P.100

ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。
A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合は、付属のフチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けます。(「ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669 」参照)
フチなし印刷用スペーサーを取り付けずにフチなし印刷をした場合、プラテンが汚れる場合があります。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ(254.0 mm)

1. アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

メモ
- Microsoft Word などの余白を設定できるアプリケーションソフトでは、余白を 0 mm に設定します。余白の設定方法については、アプリケーションソフトの説明書を参照してください。

2. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.191 」参照)

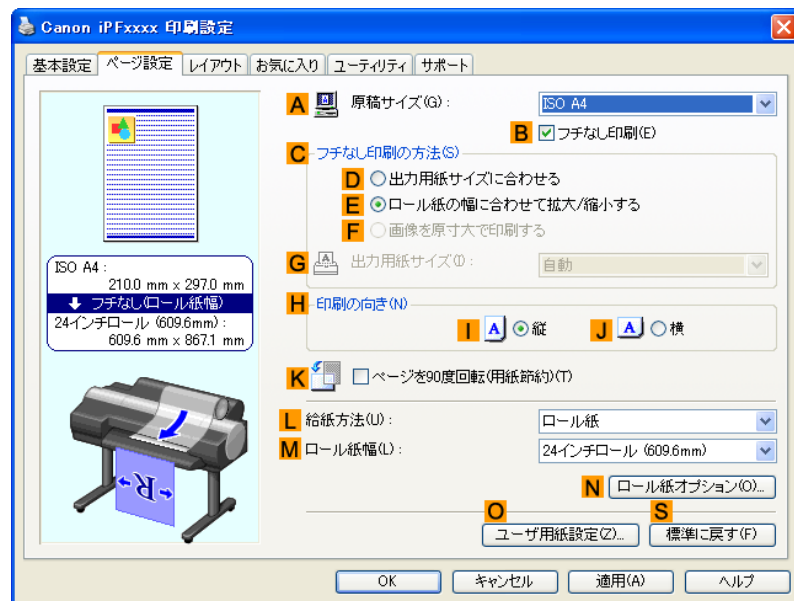
4. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

6. E[印刷目的]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

9. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10. B[フチなし印刷]チェックボックスをオンにし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

11. [ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチロール(254.0mm)]をクリックします。

12. [OK]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを閉じます。

13. C[フチなし印刷の方法]で、E[ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する]が選択されていることを確認します。

14. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows）→P.187」を参照してください。

ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大してフチなしで印刷する手順を説明します。
A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合は、付属のフチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けます。（「ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669」参照）
フチなし印刷用スペーサーを取り付けずにフチなし印刷した場合、プラテンが汚れる場合があります。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:厚口コート紙
- ロール紙幅:10 インチ（254.0 mm）

3

1. アプリケーションソフトのメニューから[ページ設定]を選択し、[ページ属性]ダイアログボックスを開きます。

2. B[対象プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

メモ

- ロール紙の幅に合わせて原稿を拡大/縮小してフチなしで印刷する場合は、すべてのサイズを選択できます。

4. F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

5. アプリケーションソフトで、原稿を用紙のサイズいっぱいに作成します。

6. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

7. [基本設定]パネルを表示します。

8. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは厚口コート紙をクリックします。

9. E[印刷目的]を一覧から選択します。

10. [ページ加工]パネルを表示します。

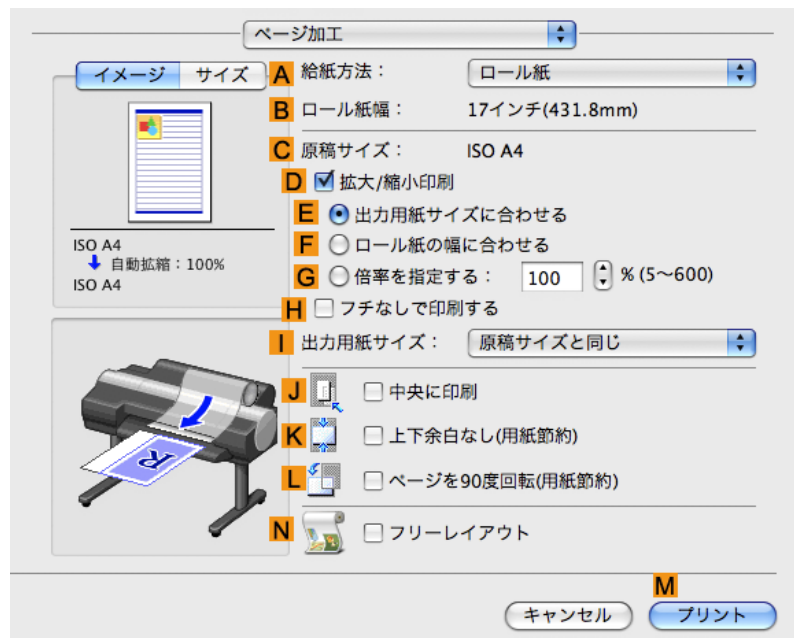
11. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

12. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[10 インチ(254.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

13. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

14. D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

15. H[フチなしで印刷する]チェックボックスをオンにします。
自動的に D[拡大/縮小印刷]で F[ロール紙の幅に合わせる]が選択されます。

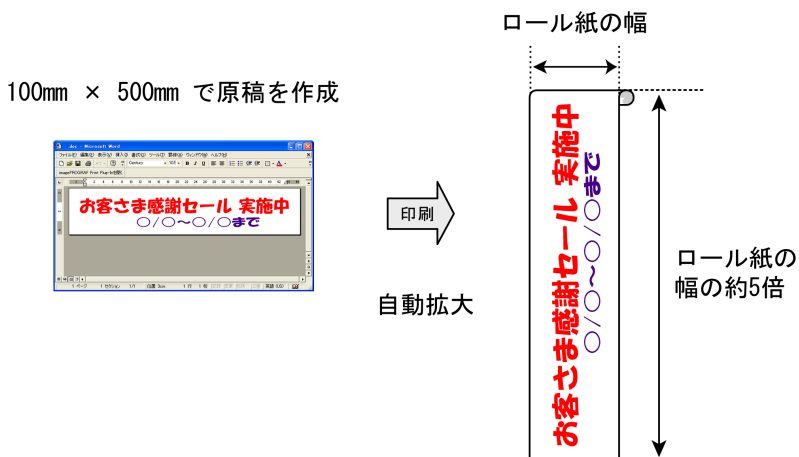
16. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.448」を参照してください。

垂れ幕など定形外の用紙に印刷する

垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）

帯状の原稿をロール紙に印刷し、大きな垂れ幕や横断幕を作成できます。
Microsoft Word などのアプリケーションソフトで任意のサイズで作成した原稿を、プリンタドライバで簡単にロール紙の幅いっぱいに拡大できます。

［ロール紙の幅に合わせる］

自動的に拡大/縮小して印刷する機能を利用して原稿をロール紙の幅いっぱいに拡大すると、簡単に垂れ幕や横断幕を作成できます。

メモ
- このプリンタでは、最大 18.0 m の長さのロール紙に印刷できます。

垂れ幕や横断幕を印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）（Windows） →P.105
- 垂れ幕や横断幕を印刷する（長尺印刷）（Mac OS X） →P.109

重要
- 印刷を開始する前に、ロール紙の残量を確認してください。プリンタ本体のロール紙の残量検知機能をオンにしている場合は、ロール紙の残量が不足すると、メッセージで表示されます。
- インクの残量が少ない場合は、交換用のインクをご用意ください。
- より高画質をお求めの場合は、プリンタドライバの印刷品質を［きれい］または［最高］、印刷方向を［片方向印刷］に設定して印刷してください。

垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Windows)

ここでは、以下を例に、ロール紙幅の約 5 倍の長さの横断幕(バナー)を印刷する手順を紹介します。

- 原稿:Microsoft Word で作成した横断幕用の原稿
- 原稿サイズ:定形外(100×500 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:16 インチ(406.4 mm)

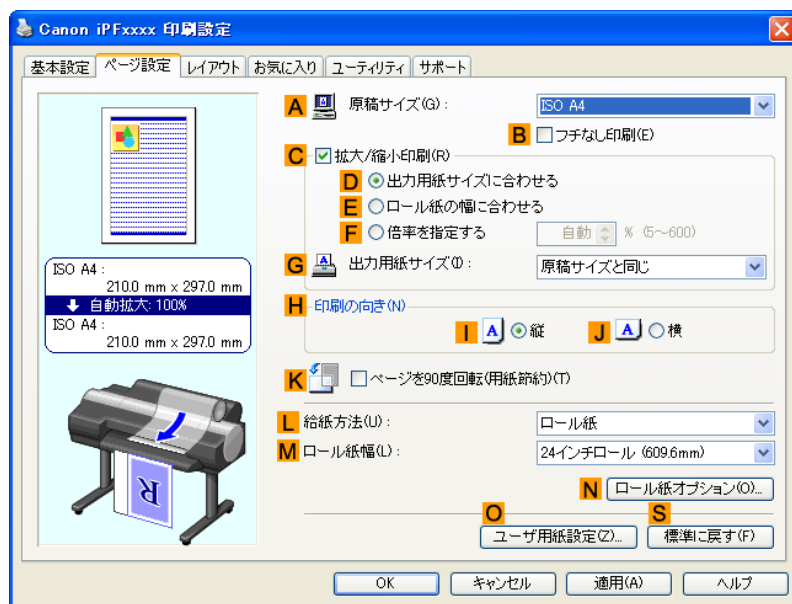
垂れ幕や横断幕は以下の手順で印刷できます。

1. ユーザ定義用紙を登録します。
   垂れ幕や横断幕は定形外になる場合が多いので、ユーザ定義用紙を登録します。この例では 100×500 mm の用紙サイズを登録します。
2. アプリケーションソフトで、登録した用紙サイズで原稿を作成します。
3. 垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷します。

ユーザ定義用紙を登録する

ここでは、垂れ幕や横断幕用の横長の用紙サイズを登録する手順を説明します。

1. プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.193 」参照)

2. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

3. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

4. O[ユーザ用紙設定]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを開きます。

5. [ユーザ定義用紙名]に任意の名前、ここでは[横断幕用]を入力します。

6. [単位]で、[ミリメートル]をクリックします。

7. [用紙サイズ]の[幅]に[100]、[高さ]に[500]を入力します。

8. [登録]をクリックし、[横断幕用]という名前の用紙サイズを登録します。

9. [OK]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを閉じます。

10. プリンタドライバのダイアログボックスを閉じます。

メモ

- 用紙サイズは、[カスタムサイズ]を使用することもできます。[カスタムサイズ]の設定は、アプリケーションソフトを終了すると無効になります。
  詳細については、「定形外の用紙に印刷する(Windows) →P.113 」を参照してください。

アプリケーションソフトで原稿を作成する

ここでは、登録したユーザ定義用紙を使用し、Microsoft Word で原稿を作成する手順を説明します。

1. Microsoft Word を起動します。

2. [ファイル]メニューから[ページ設定]を選択し、[ページ設定]ダイアログボックスを開きます。

3. [用紙サイズ]の一覧から、登録したユーザ定義用紙、ここでは[横断幕用]をクリックします。

重要

- [横断幕用]が表示されない場合は、印刷に使用するプリンタとしてこのプリンタが選択されていることを確認してください。
- Microsoft PowerPoint など、登録した用紙サイズを選択できないアプリケーションソフトでは、アプリケーションソフトの[ユーザー設定]などで、100×500 mm を指定します。

4. 印刷の向きを横向きに設定します。

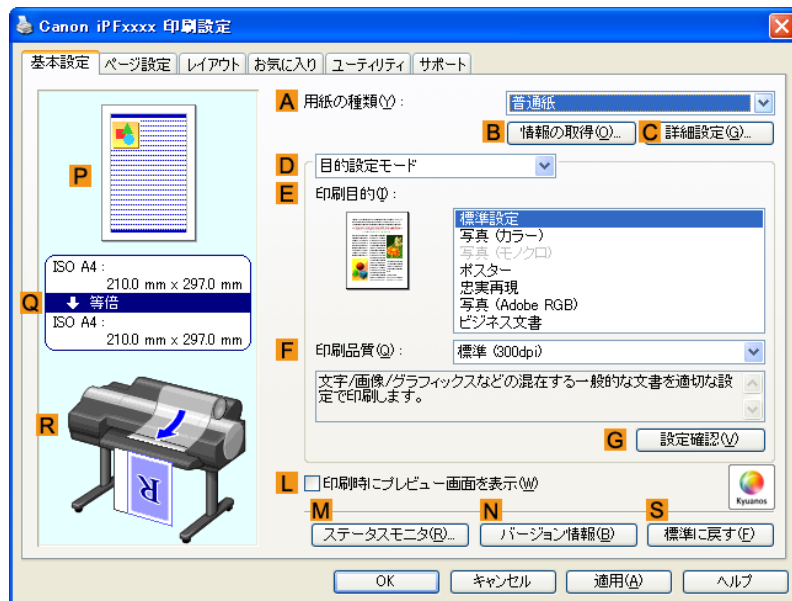
5. 原稿を作成します。

印刷する

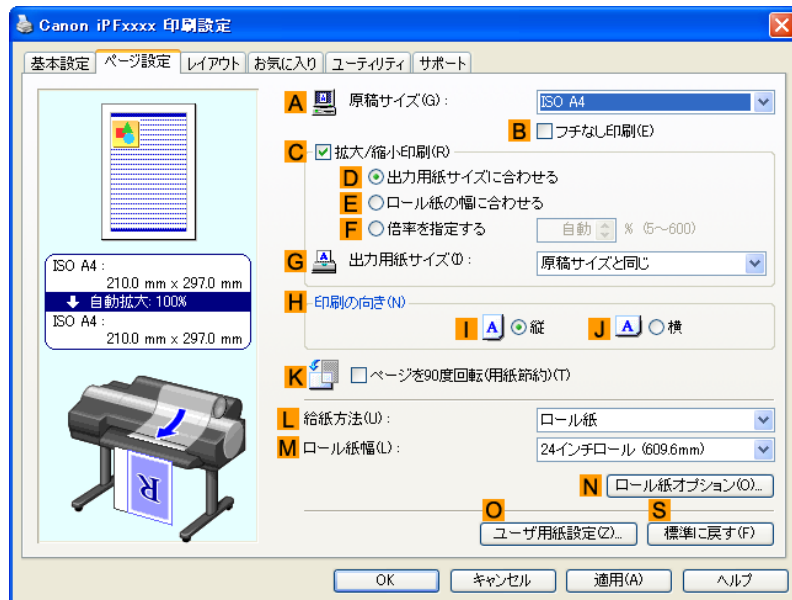
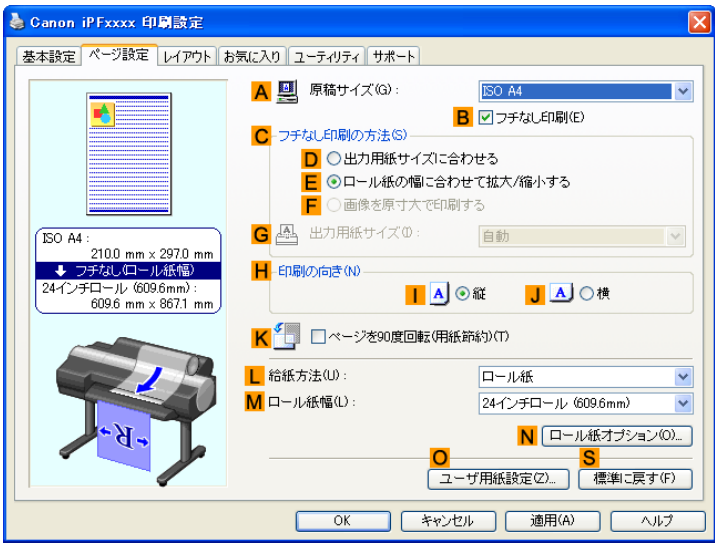
ここでは、垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷する手順を説明します。

1. Microsoft Word のメニューから[印刷]を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.191 」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]の一覧から[ポスター]をクリックします。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧から、登録した[横断幕用]をクリックします。

8. C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

メモ

- [ページ設定]シートに C[拡大/縮小印刷]チェックボックスが表示されない場合は、B[フチなし印刷]チェックボックスをオフにします。

9. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10. E[ロール紙の幅に合わせる]をクリックし、[情報]ダイアログボックスを開きます。

11. [ロール紙幅]の一覧からプリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[16 インチロール (406.4mm)]をクリックし、[OK]をクリックします。

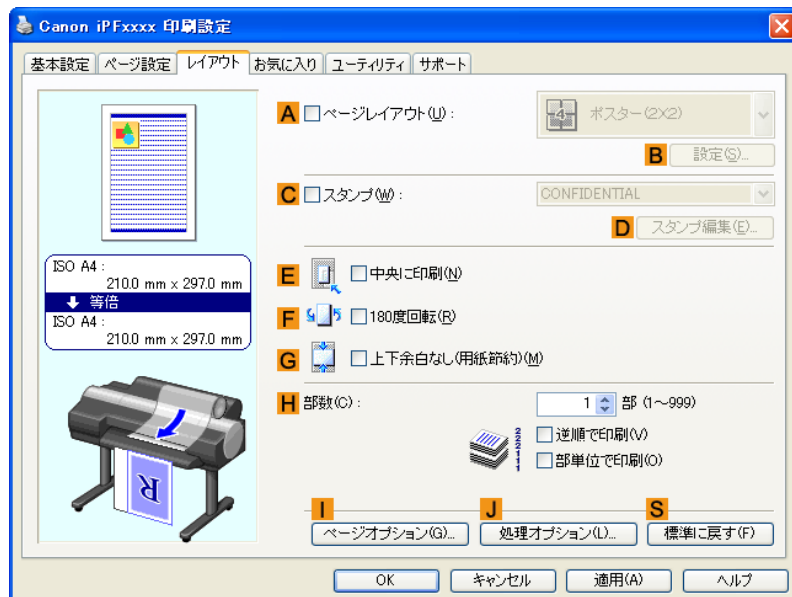
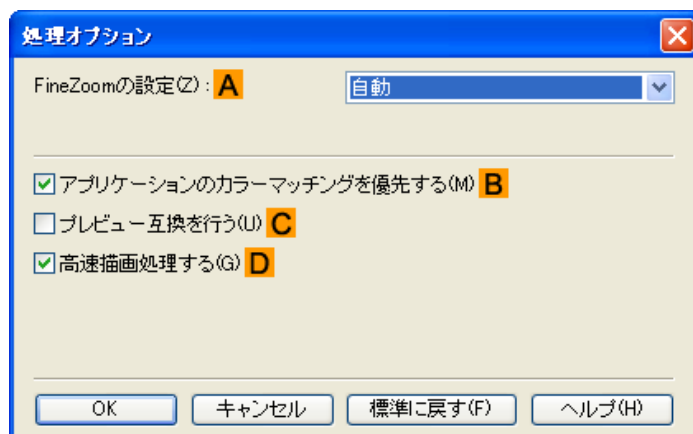
12. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

3

印刷が正しく行われない場合、以下の設定を行うと印刷できることがあります。

1. [レイアウト]シートの J [処理オプション]をクリックし、[処理オプション]ダイアログボックスを開きます。

2. [FineZoom の設定]の一覧から[する]をクリックします。

垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷)(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、ロール紙幅の約 5 倍の長さの横断幕(バナー)を印刷する手順を紹介します。

- 原稿:横断幕用の原稿
- 原稿サイズ:定形外(100×500 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:16 インチ(406.4 mm)

垂れ幕や横断幕は以下の手順で印刷できます。

1. アプリケーションソフトで垂れ幕や横断幕用の原稿を作成します。
2. [カスタム・ページ・サイズ](Mac OS X 10.3.9～10.5)/[カスタム用紙サイズ](Mac OS X 10.6)を登録します。

垂れ幕や横断幕は定形外になる場合が多いので、[ページ設定]で[カスタム・ページ・サイズ](Mac OS X 10.3.9〜10.5)/[カスタム用紙サイズ](Mac OS X 10.6)を登録します。この例では 100×500 mm の用紙サイズを登録します。

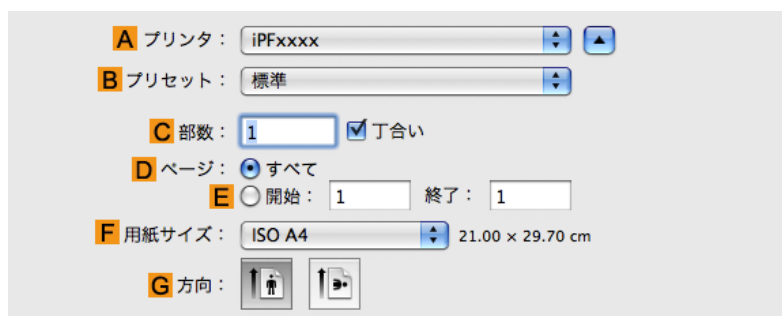
3. 垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷します。

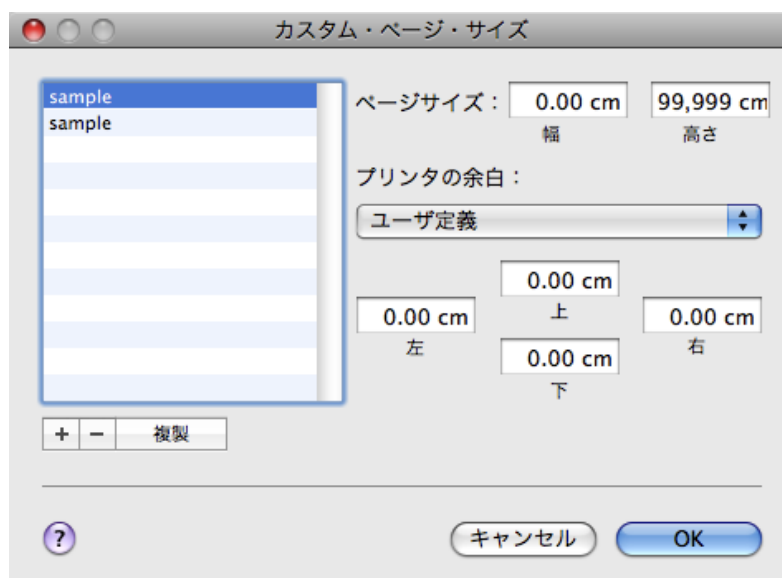
メモ
- 以下の操作手順は Mac OS X 10.5 のものです。定形外の用紙サイズの設定方法は Mac OS X のバージョンによって異なります。

[カスタム・ページ・サイズ]を登録する

ここでは、垂れ幕や横断幕用の横長の用紙サイズを登録し、登録した用紙サイズで原稿を作成する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトで原稿を作成します。

2. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

3. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

4. C[用紙サイズ]の一覧から[カスタムサイズを管理]をクリックし、[カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスを開きます。

5. 左側の一覧の[名称未設定]をダブルクリックし、登録するページサイズの名前、ここでは[100*500]を入力します。
左側の一覧に[名称未設定]が表示されない場合は、左側の一覧の下にある[+]をクリックします。

6. [ページサイズ]の[幅]に[10]、[高さ]に[50]を入力します。単位は cm で入力します。

7. [プリンタの余白]で、上下左右の余白に[0.3]を入力します。単位は cm で入力します。

8. [OK]をクリックし、[カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスを閉じます。

9. C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは登録した[100*500]をクリックします。

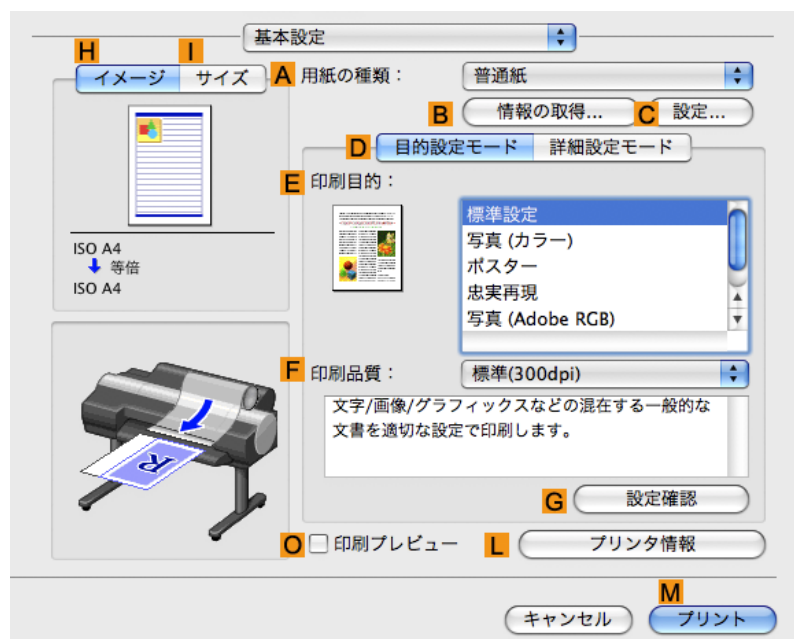
10. D[方向]で、原稿が横向きのアイコンをクリックします。

11. F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

印刷する

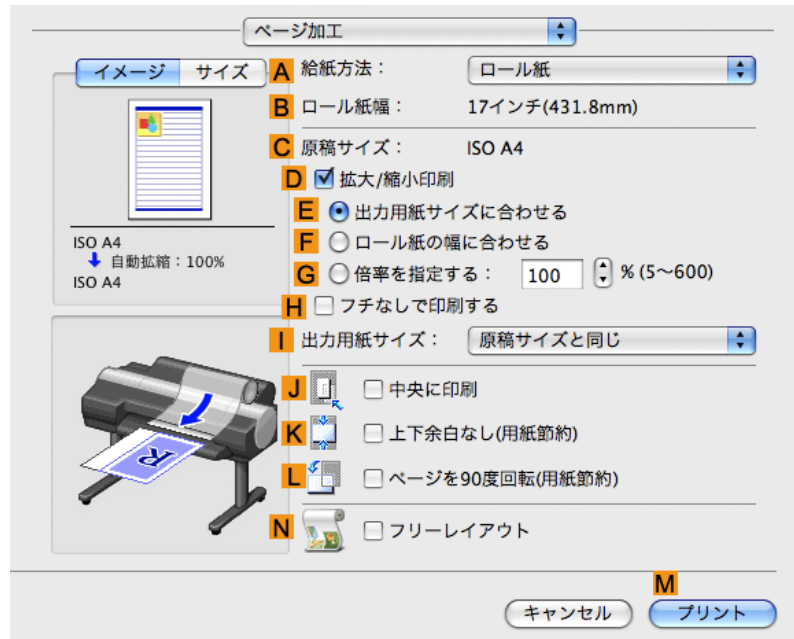
ここでは、垂れ幕や横断幕に対応した設定を行い、印刷する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2. [基本設定]パネルを表示します。

3. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

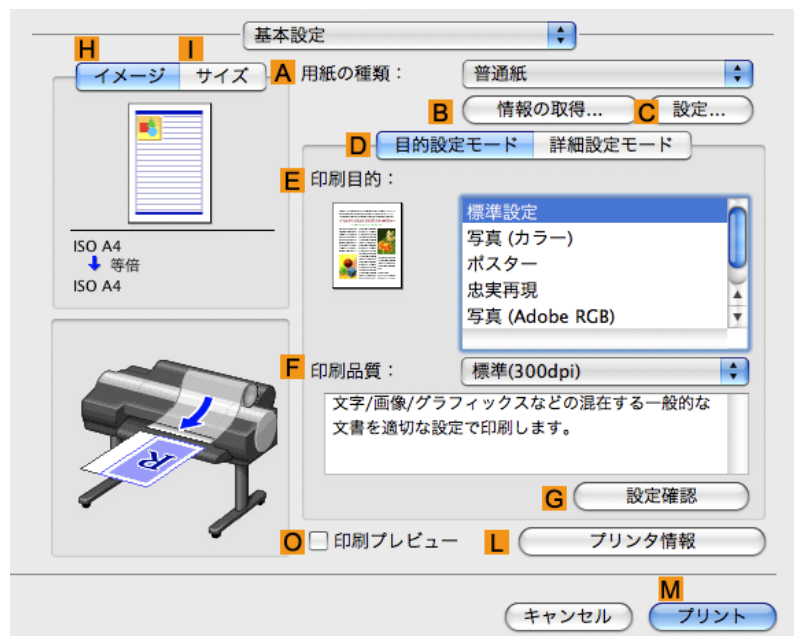
4. E[印刷目的]を一覧から選択します。

5. F[印刷品質]を一覧から選択します。

6. [ページ加工]パネルを表示します。

7. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[16 インチ(406.4mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

9. C[原稿サイズ]で、[ページ設定]で登録した[100*500]が表示されていることを確認します。

10. D[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

11. F[ロール紙の幅に合わせる]をクリックします。

12. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.448 」を参照してください。

定形外の用紙に印刷する

用紙のサイズを指定して、定形外の用紙に印刷できます。
定形外の用紙のサイズに印刷するには、以下の 2 種類の方法があります。

プリンタドライバに定形外の用紙サイズを登録する

一度登録すれば、定形の用紙のサイズと同様に、用紙サイズの一覧から選択して使用できます。

メモ
- Windows では、プリンタドライバに登録する定形外のサイズをユーザ定義用紙、Mac OS X では[カスタムサイズ]と呼びます。

定形外の用紙サイズを一時的に設定する

プリンタドライバで一時的に設定するサイズのため、アプリケーションソフトを終了した時点で無効になります。定形外の用紙の設定を常に使用したい場合は、プリンタドライバに登録することをお勧めします。

メモ
- Windows では、プリンタドライバに一時的に設定する用紙サイズを[カスタムサイズ]と呼びます。
- Windows のみ設定することができます。

定形外の用紙に印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 定形外の用紙に印刷する(Windows) →P.113
- 定形外の用紙に印刷する(Mac OS X) →P.117

定形外の用紙に印刷する(Windows)

ここでは、定形外の用紙に印刷する 2 種類の手順を説明します。

- [カスタムサイズ]で印刷する
- ユーザ定義用紙で印刷する

[カスタムサイズ]で印刷する

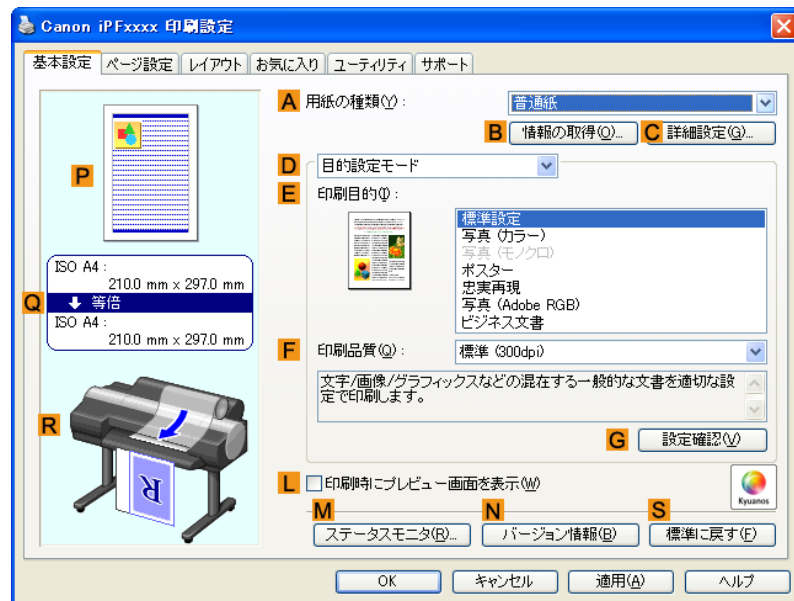
ここでは、以下を例に、[カスタムサイズ]を使用して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:定形外の正方形(430×430 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:任意の種類
- 用紙サイズ:正方形(430×430 mm)

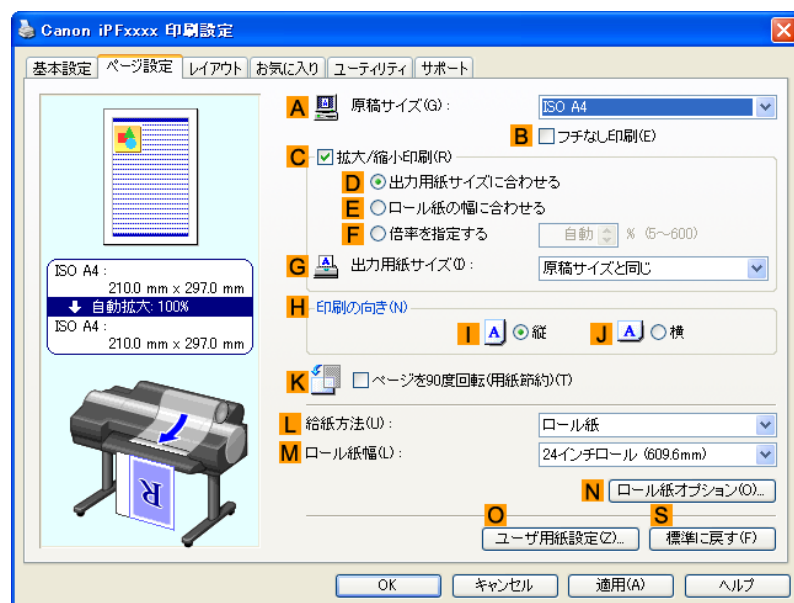
1. A 手差し上面給紙口に正方形(430×430mm)の用紙をセットします。

2. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.191」参照)

4. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

6. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. L[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

9. A[原稿サイズ]の一覧から[カスタムサイズ]をクリックし、[カスタムサイズ設定]ダイアログボックスを開きます。

10. [単位]で[ミリメートル]が選択されていることを確認します。

11. [幅]と[高さ]に[430]を入力します。

12. [OK]をクリックし、[カスタムサイズ設定]ダイアログボックスを閉じます。

13. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

ユーザ定義用紙で印刷する

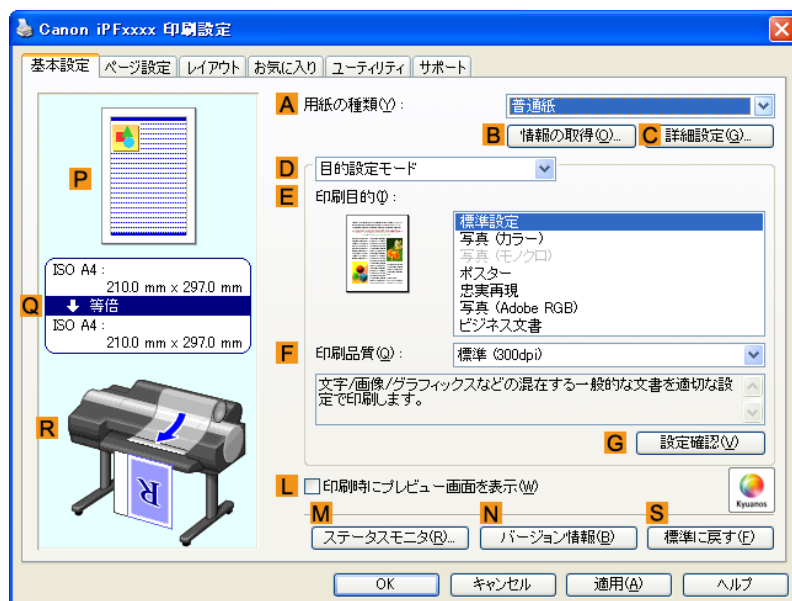
ここでは、以下を例に、ユーザ定義用紙を登録して印刷する手順を説明します。定形外の原稿サイズを[正方形430]という名前でユーザ定義用紙として登録します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:正方形(430×430 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:任意の種類
- 用紙サイズ:正方形(430×430 mm)

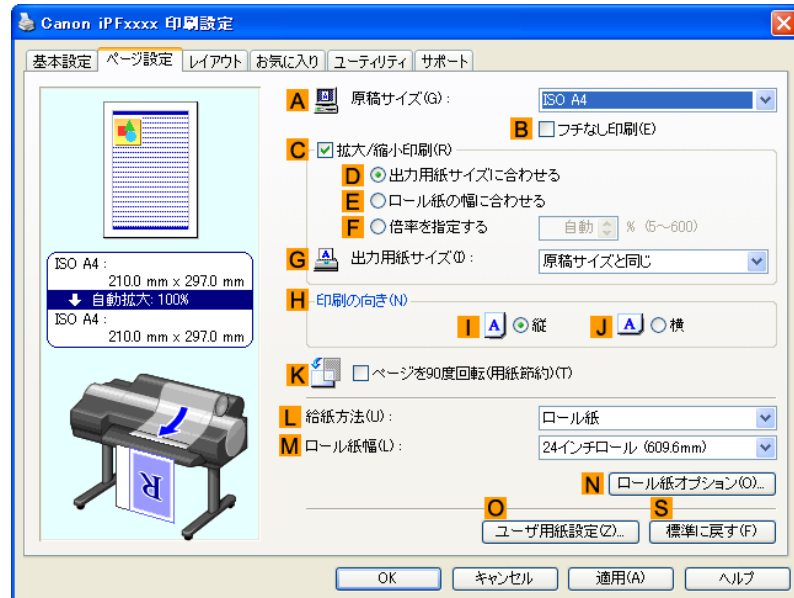
1. 手差し上面給紙口に正方形(430×430mm)の用紙をセットします。

2. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.191 」参照)

4. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

5. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

6. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. O[ユーザ用紙設定]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを開きます。

9. [ユーザ定義用紙名]に任意の名前、ここでは[正方形 430]と入力します。

10. [単位]で[ミリメートル]が選択されていることを確認します。

11. [幅]と[高さ]に[430]を入力します。

メモ
- [幅・高さの比を固定する]チェックボックスをオンにした場合、[幅]または[高さ]のどちらか一方に入力すると、元の幅と高さの比率に応じて、もう一方が自動的に変更されます。

12. [登録]をクリックし、[正方形 430]を登録します。

13. [OK]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを閉じます。

14. L[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

15. A[原稿サイズ]の一覧から、登録した[正方形 430]をクリックします。

16. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows）→P.187」を参照してください。

定形外の用紙に印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、[カスタム・ページ・サイズ](Mac OS X 10.3.9〜10.5)/[カスタム用紙サイズ](Mac OS X 10.6)を登録して印刷する手順を説明します。定形外の用紙サイズを[430*430]という名前で[カスタム・ページ・サイズ](Mac OS X 10.3.9〜10.5)/[カスタム用紙サイズ](Mac OS X 10.6)として登録します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:正方形(430×430 mm)
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:任意の種類
- 用紙サイズ:正方形(430×430 mm)

メモ

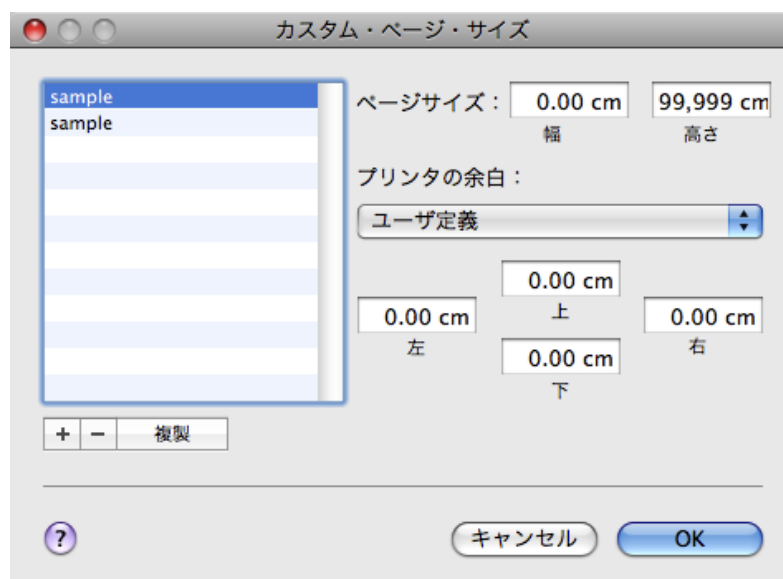
- 以下の手順は Mac OS X 10.5 のものです。定形外の用紙サイズの設定方法は Mac OS X のバージョンによって異なります。

1. アプリケーションソフトで原稿を作成します。

2. プリンタに正方形(430×430 mm)の用紙をセットします。

3. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

4. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

5. C[用紙サイズ]の一覧から[カスタムサイズを管理]をクリックし、[カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスを開きます。

6. [ページサイズ]で、原稿の幅と高さ、ここでは[幅]と[高さ]に[43.00 cm]を入力します。

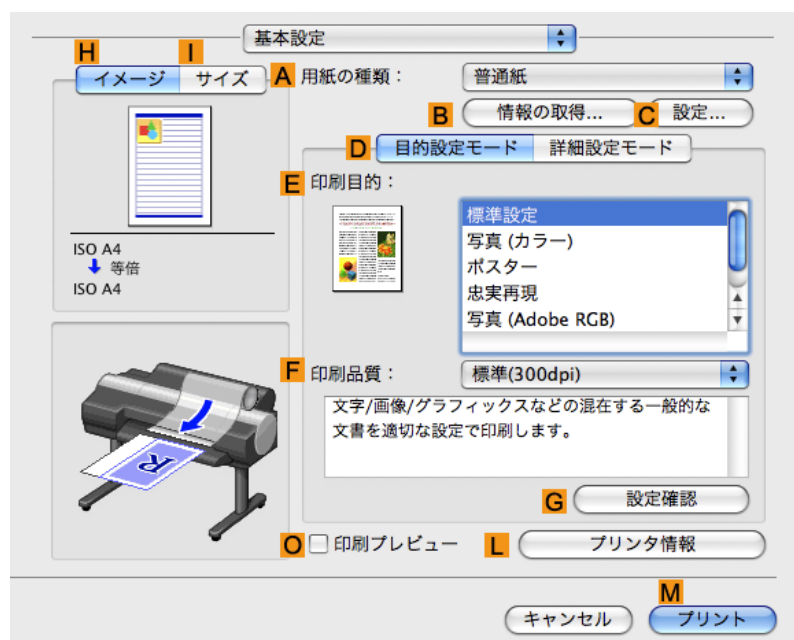
7. [プリンタの余白]で、上と左右の余白に[0.5]、下の余白に[2.3]を入力します。単位は cm で入力します。

8. [カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスの左側の一覧の[名称未設定]をダブルクリックし、用紙サイズの名前、ここでは[430*430]を入力します。

9. [OK]をクリックし、[カスタム・ページ・サイズ]ダイアログボックスを閉じます。

10. C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは登録した[430*430]をクリックします。

11. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

12. [基本設定]パネルを表示します。

13. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

14. D[目的設定モード]が選択されていることを確認し、E[印刷目的]を一覧から選択します。

15. F[印刷品質]を一覧から選択します。

16. [ページ加工]パネルを表示します。

17. A[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

18. C[原稿サイズ]で、[ページ設定]で登録した[430*430]が表示されていることを確認します。

19. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

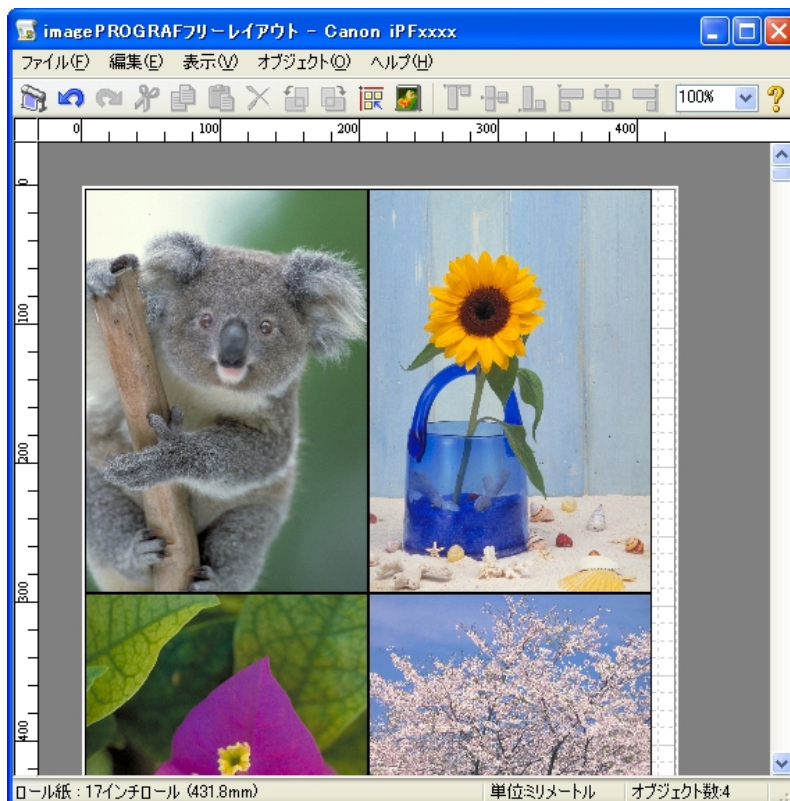
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X）→P.448」を参照してください。

分割して印刷する／まとめて印刷する

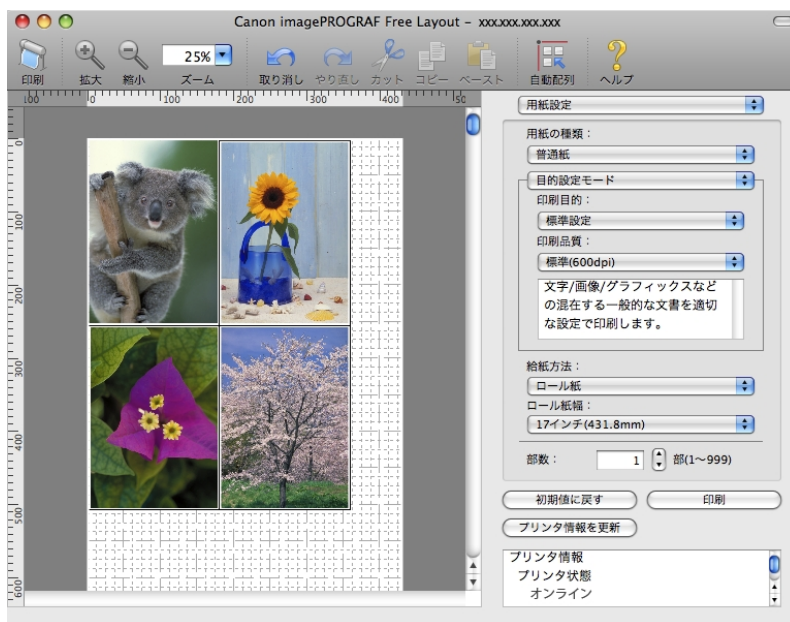
複数の原稿を並べて印刷する

ワープロソフトや表計算ソフトの原稿、Web ブラウザの画面などを並べてレイアウトすることで、表現力の豊かなプレゼンテーション資料やわかりやすい会議用の資料など、さまざまな印刷物を作成できます。

［フリーレイアウト］（Windows）

複数のページを用紙に配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を用紙に配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を用紙に配置して印刷することができます。

重要
- フリーレイアウトは 64 ビット版の Windows では使用できません。

［imagePROGRAF Free Layout］（Macintosh）

複数のページを用紙に配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を用紙に配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を用紙に配置して印刷することができます。

複数のアプリケーションソフトの原稿を配置して印刷する方法については、以下のトピックを参照してください。

- 複数の原稿を並べて印刷する（Windows） →P.121
- 複数の原稿を並べて印刷する（Mac OS X） →P.123

複数の原稿を並べて印刷する（Windows）

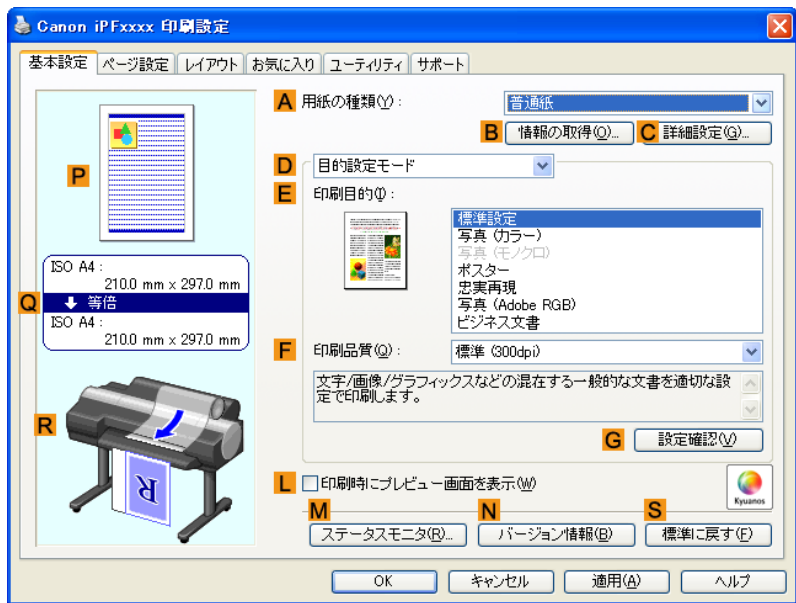
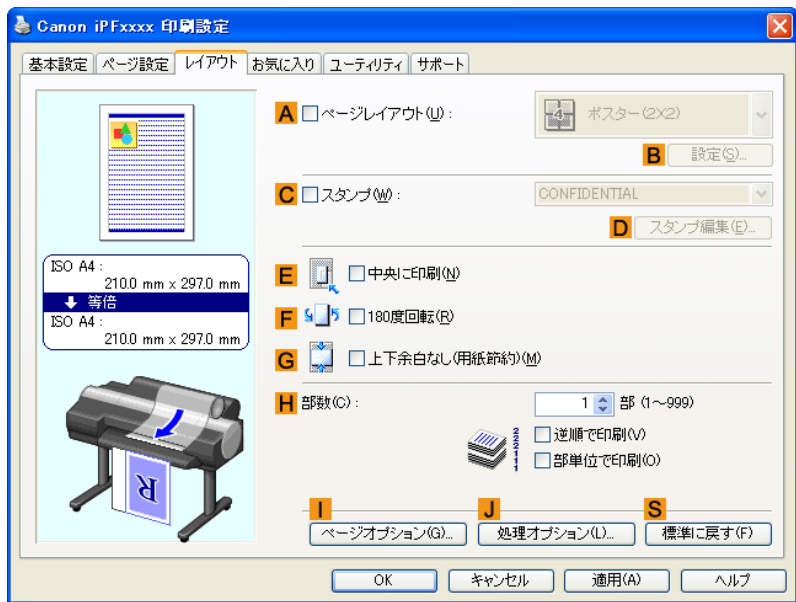
ここでは、フリーレイアウトという機能で、複数の原稿を並べて印刷する手順を説明します。

重要

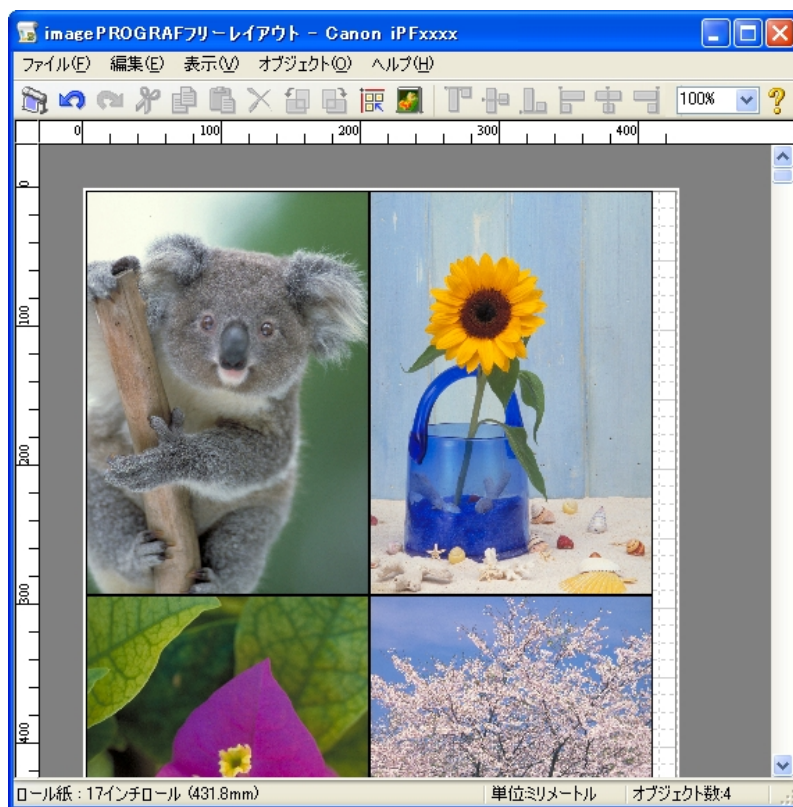
- フリーレイアウトは 64 ビット版の Windows では使用できません。

1. アプリケーションソフトのメニューから［印刷］（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.191 」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

5. A[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

6. A[ページレイアウト]の一覧から[フリーレイアウト]をクリックします。

7. 印刷を実行すると、imagePROGRAF フリーレイアウトのウィンドウが開きます。(実際には、まだ用紙に印刷されません。)

8. imagePROGRAF フリーレイアウトのウィンドウで、イメージの編集や並べ替えを行います。

重要
- imagePROGRAF フリーレイアウトのウィンドウを閉じずに手順 1 から手順 7 を繰り返すことで、複数のアプリケーションソフトの原稿を 1 ページに配置することができます。

メモ
- イメージの編集や並べ替えの方法については、imagePROGRAF フリーレイアウトのヘルプを参照してください。

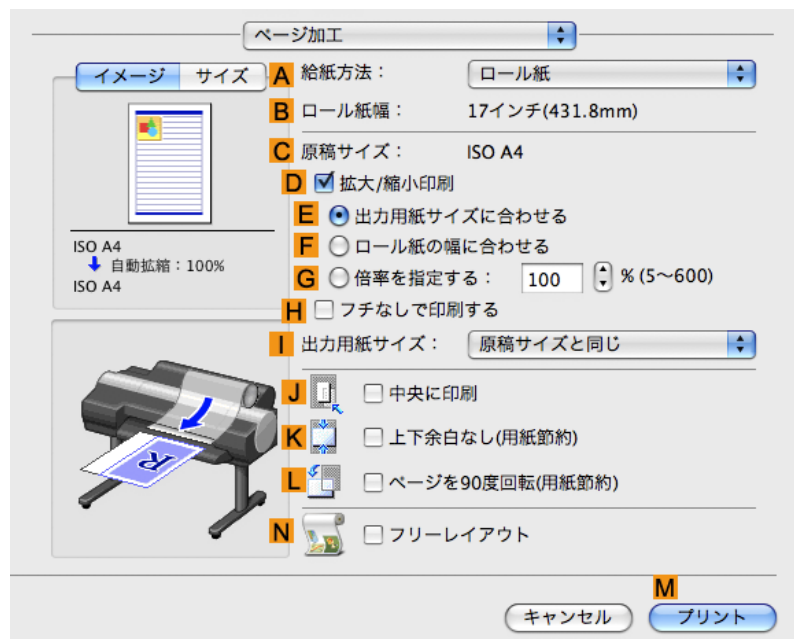
9. imagePROGRAF フリーレイアウトのメニューから印刷します。

メモ
- imagePROGRAF フリーレイアウト機能についての詳細は、フリーレイアウト →P.237 を参照してください。

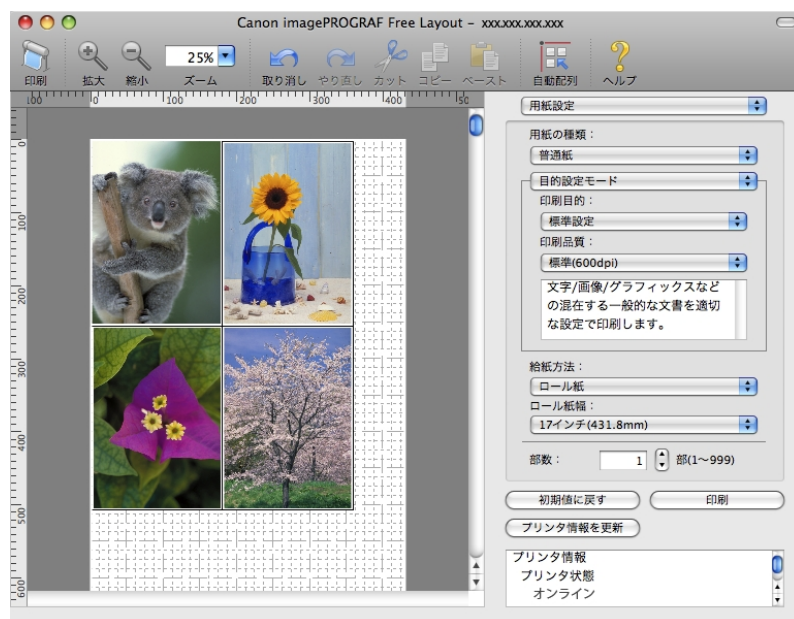
複数の原稿を並べて印刷する(Mac OS X)

ここでは、[Free Layout](フリーレイアウト)という機能で、複数の原稿を並べて印刷する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2. [ページ加工]パネルを表示します。

3. N[フリーレイアウト]チェックボックスをオンにします。

4. M[プリント]をクリックします。

5. [Canon imagePROGRAF Free Layout]のウィンドウが開きます。

6. [Canon imagePROGRAF Free Layout]のウィンドウで、イメージの編集や並べ替えを行います。

メモ

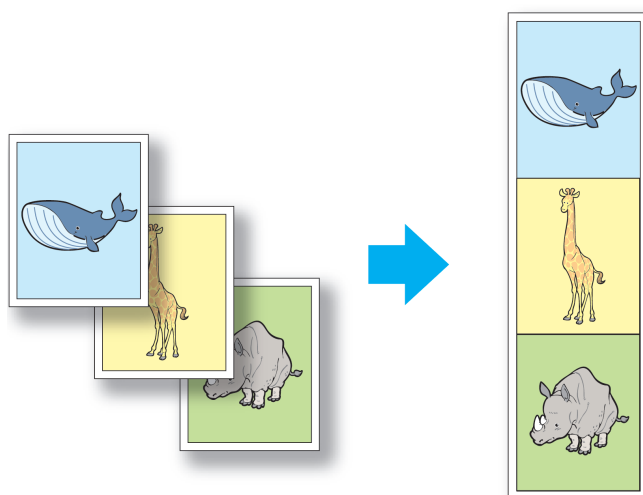
- [Canon imagePROGRAF Free Layout]のウィンドウを閉じずに手順 1 から手順 4 を繰り返すことで、複数のアプリケーションソフトの原稿を 1 ページに配置することができます。
- イメージの編集や並べ替えの方法については、[Canon imagePROGRAF Free Layout]のヘルプを参照してください。

7. [Canon imagePROGRAF Free Layout]のメニューから印刷します。

メモ
- [Canon imagePROGRAF Free Layout]機能についての詳細は、Free Layout →P.502 を参照してください。

複数ページをつなげて印刷する

複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷することができます。

ロール紙（バナー印刷）

重要
- この機能では、ロール紙にのみ印刷できます。カット紙に印刷することはできません。
- この機能を使用して印刷する場合は、用紙節約、部数、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、レイアウトなどの設定が無効になります。

写真やイラストを原寸大のフチなしで印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 複数ページをつなげて印刷する（Windows） →P.125
- 複数ページをつなげて印刷する（Mac OS X） →P.127

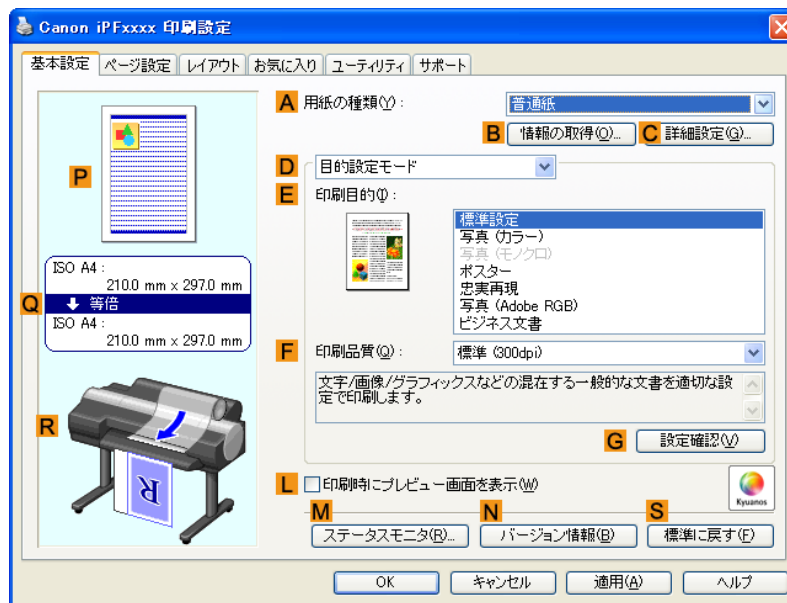
複数ページをつなげて印刷する（Windows）

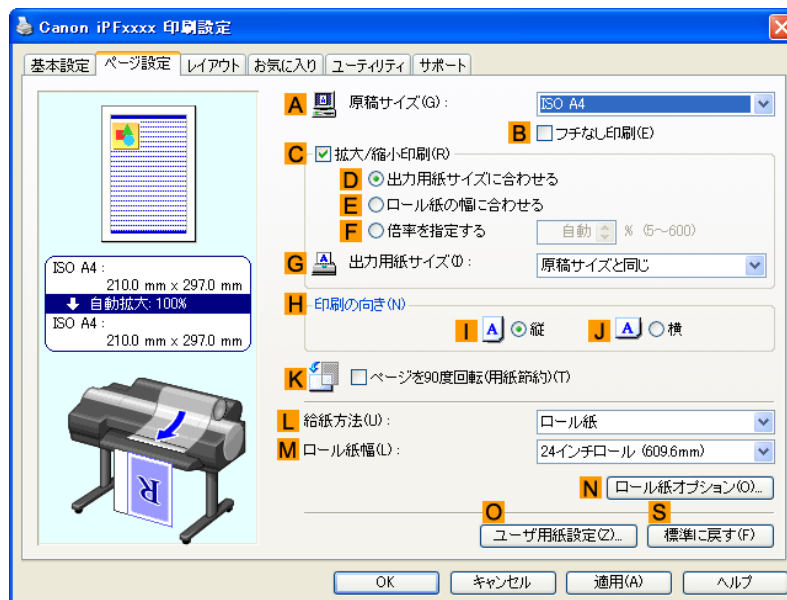
ここでは、複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷する手順について説明します。

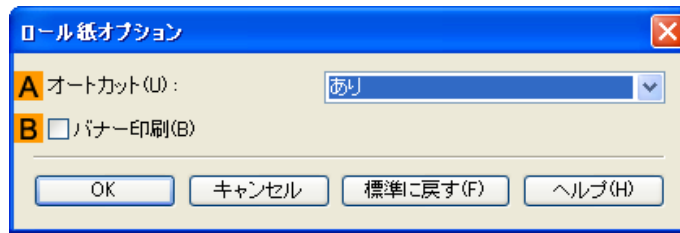
重要
- この機能では、ロール紙にのみ印刷できます。カット紙に印刷することはできません。
- この機能を使用して印刷する場合は、用紙節約、部数、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、レイアウトなどの設定が無効になります。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」→P.191」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類をクリックします。

5. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

7. N［ロール紙オプション］をクリックし、［ロール紙オプション］ダイアログボックスを表示します。

8. B［バナー印刷］チェックボックスをオンにします。

9. ［OK］をクリックします。

10. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows）→P.187」を参照してください。

複数ページをつなげて印刷する（Mac OS X）

ここでは、複数ページのデータを、ページ間の余白を無くして一枚のつながった用紙として印刷する手順について説明します。

重要

- この機能では、ロール紙にのみ印刷できます。カット紙に印刷することはできません。
- この機能を使用して印刷する場合は、用紙節約、部数、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、レイアウトなどの設定が無効になります。

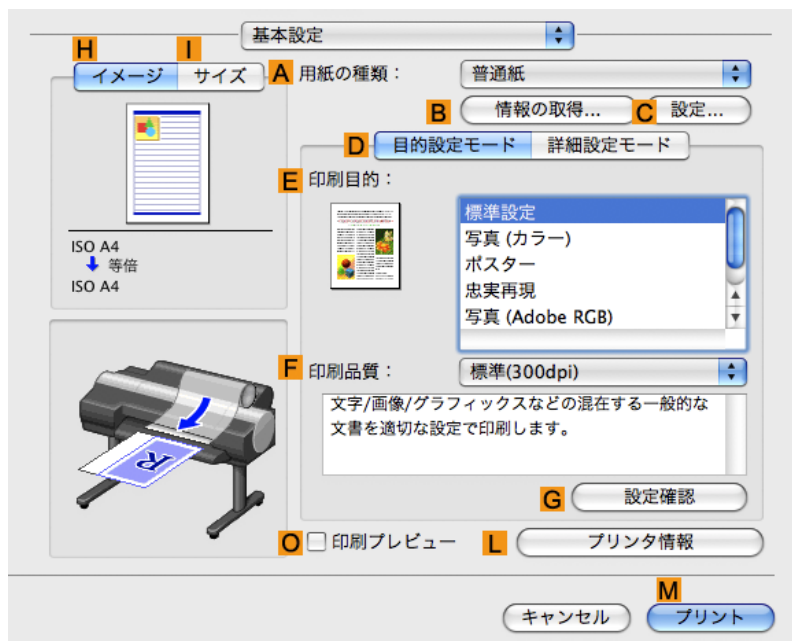
1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

> メモ
>
> • ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
> アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。
>
>
>
>
> 表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。
>
>
>

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

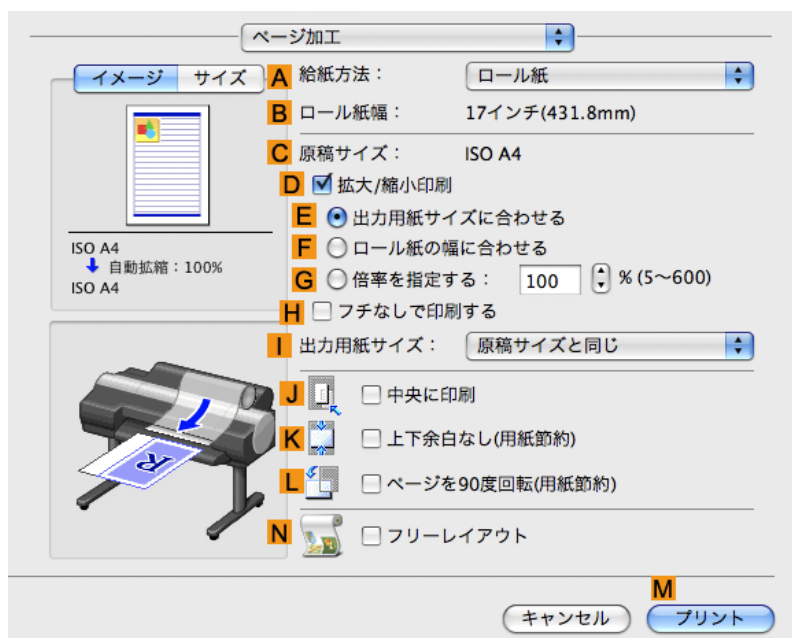
3. C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズをクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

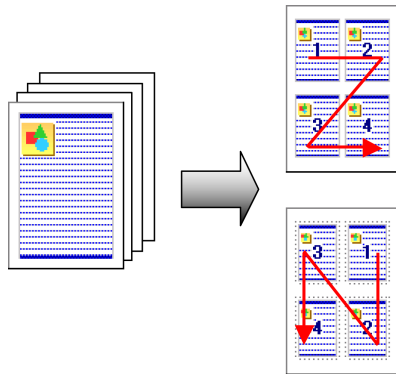
9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧から[ロール紙(バナー印刷)]をクリックします。

11. 印刷の設定を確認し、**M**[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X） →P.448 」を参照してください。

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する

原稿を縮小し、複数のページを 1 ページに割り付けて印刷することで、用紙を節約できます。

[ページレイアウト]

1 枚の用紙に割り付ける原稿のページ数を指定します。

メモ

- 最大 16 ページを 1 ページにまとめることができます。
- ページの配置順序を変更したり、それぞれのページに枠を付けることもできます。

重要

- 以下の場合は、この機能は使用できません。
  - フチなし印刷
  - 倍率を指定した拡大/縮小印刷（Windows）
  - バナー印刷（Windows）
- この機能を使用して印刷する場合は[中央に印刷]の設定が無効になります。

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 複数のページを 1 ページにまとめて印刷する（Windows） →P.130
- 複数のページを 1 ページにまとめて印刷する（Mac OS X） →P.132

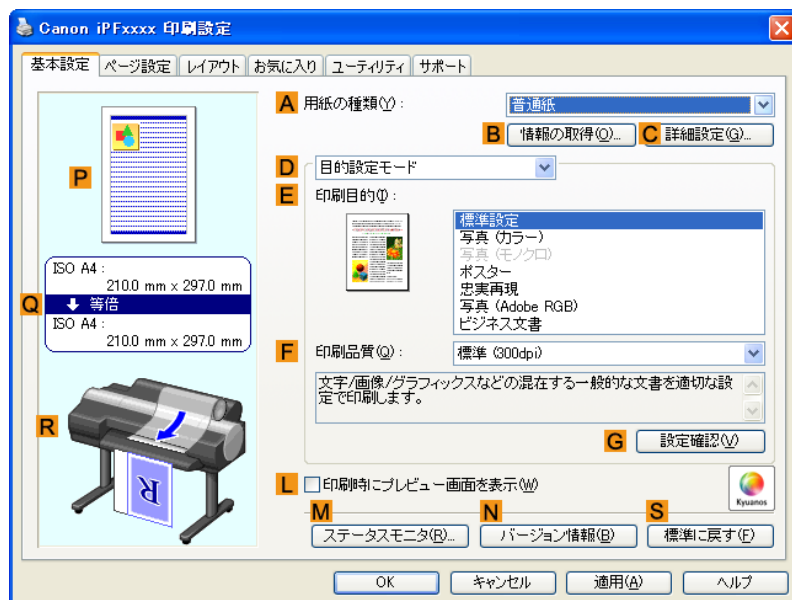
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、4 ページ分の原稿を 1 ページにまとめて印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A3（297.0×420.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

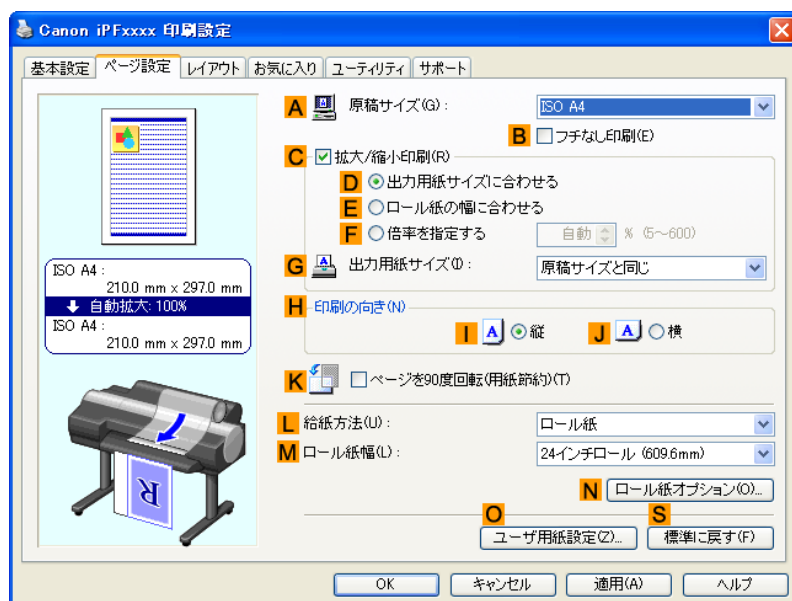
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows）→P.191」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

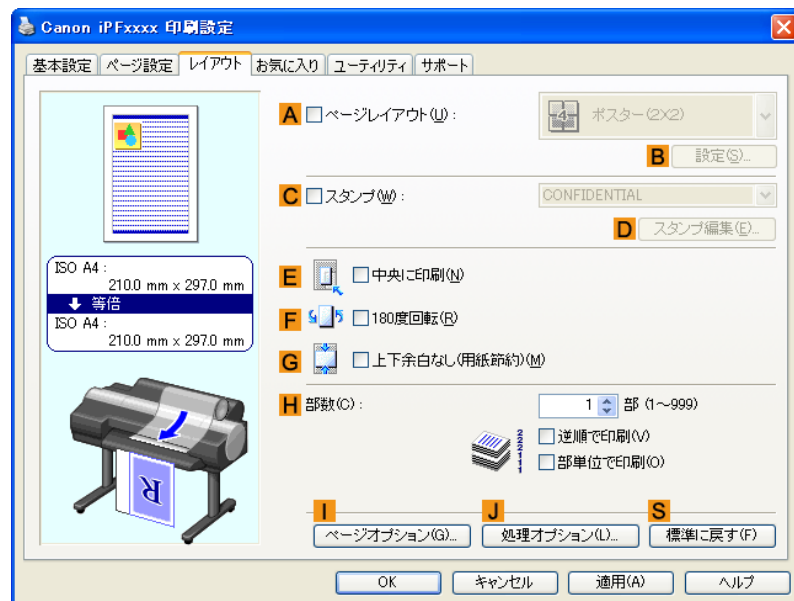
5. E[印刷目的]を一覧から選択します。

6. F[印刷品質]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]をクリックします。

9. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

10. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

11. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

12. A[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

13. A[ページレイアウト]の一覧から[4 ページ/枚]をクリックします。

メモ

- B[設定]をクリックし、[N ページ印刷]ダイアログボックスを開くと、4 ページの上下左右の並び順やページを囲む枠線を選択できます。

14. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

複数のページを 1 ページにまとめて印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、4 ページ分の原稿を 1 ページにまとめて印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A3(297.0×420.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

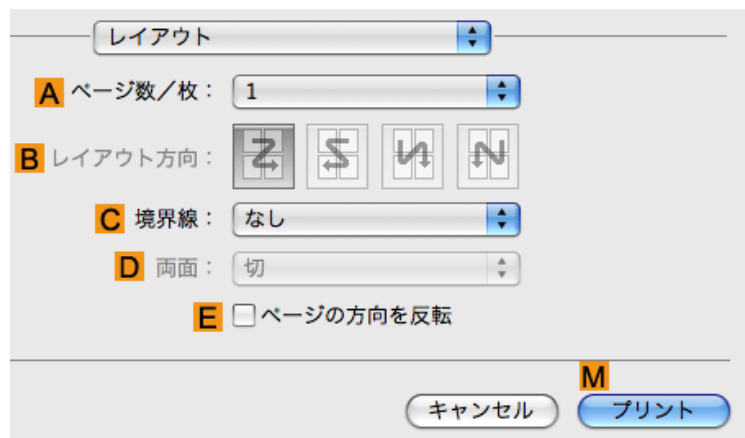
1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

> メモ
>
> - ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
> アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。
>
> 表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

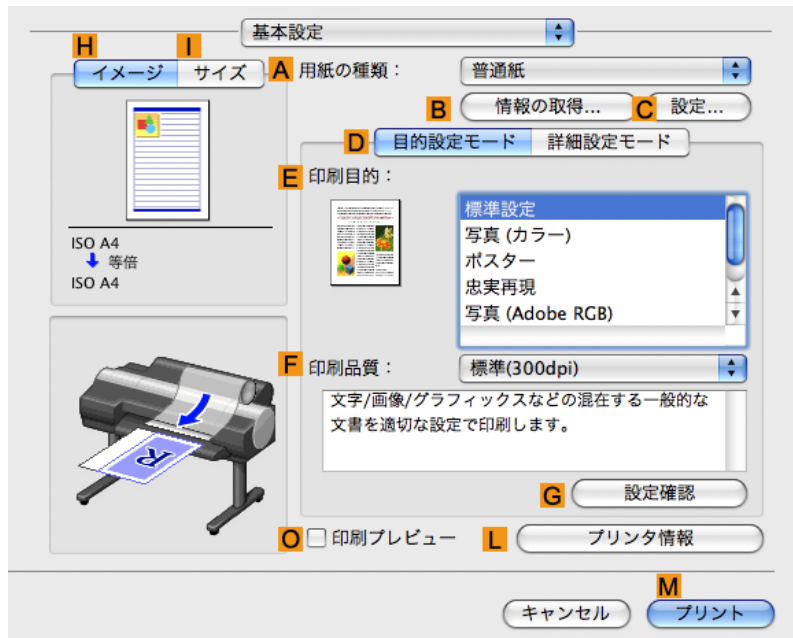
3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [レイアウト]パネルを表示します。

6. A[ページ数／枚]の一覧から[4]をクリックします。

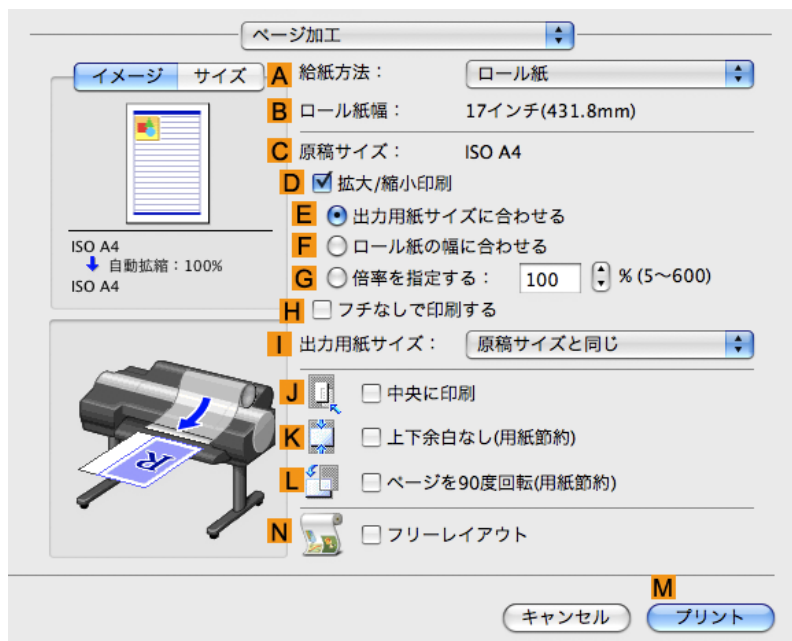
メモ

- B[レイアウト方向]や C[境界線](または[枠線])で、4 ページの上下左右の並び順やページを囲む枠線を選択できます。

7. [基本設定]パネルを表示します。

8. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

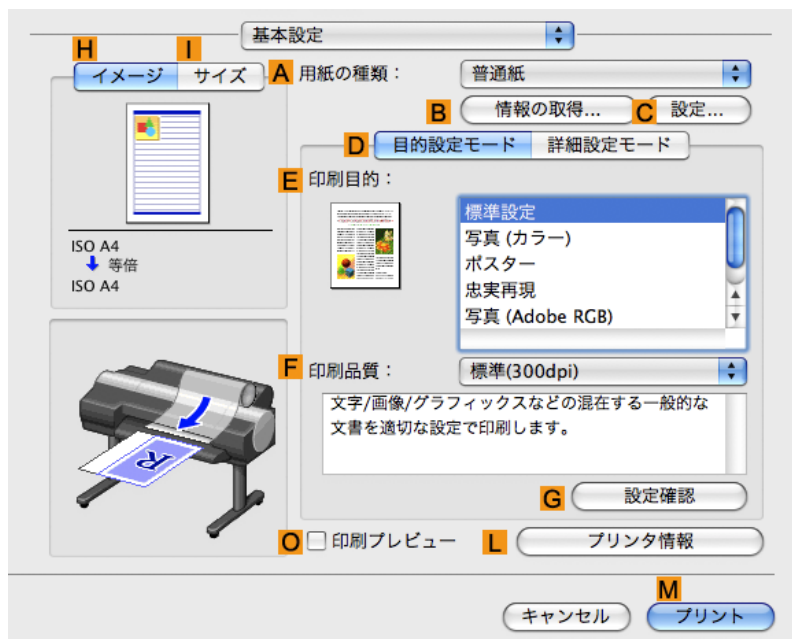
9. E[印刷目的]を一覧から選択します。

10. F[印刷品質]を一覧から選択します。

11. [ページ加工]パネルを表示します。

12. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

13. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

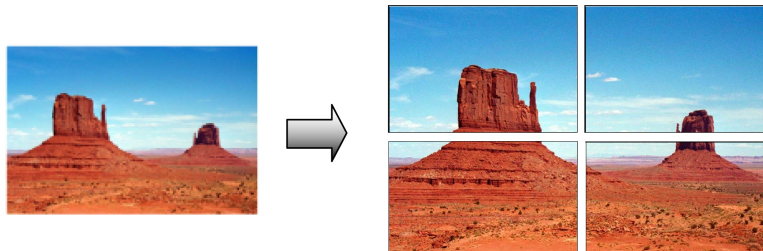
メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

14. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A3]が表示されていることを確認します。

15. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X） →P.448 」を参照してください。

ポスターを分割して印刷する

原稿を拡大して複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙を貼り合わせると、プリンタにセットできる用紙のサイズを超える大きさのポスターを作成できます。

[ページレイアウト]

ポスター印刷を選択します。

重要
- この機能を使用して印刷する場合は[中央に印刷]、[スタンプ]、[上下余白なし（用紙節約）]、[ページオプション]の設定が無効になります。

大きなポスターを印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 大きなポスターを印刷する（Windows） →P.137

メモ
- ポスター印刷は、Windows で使用できます。

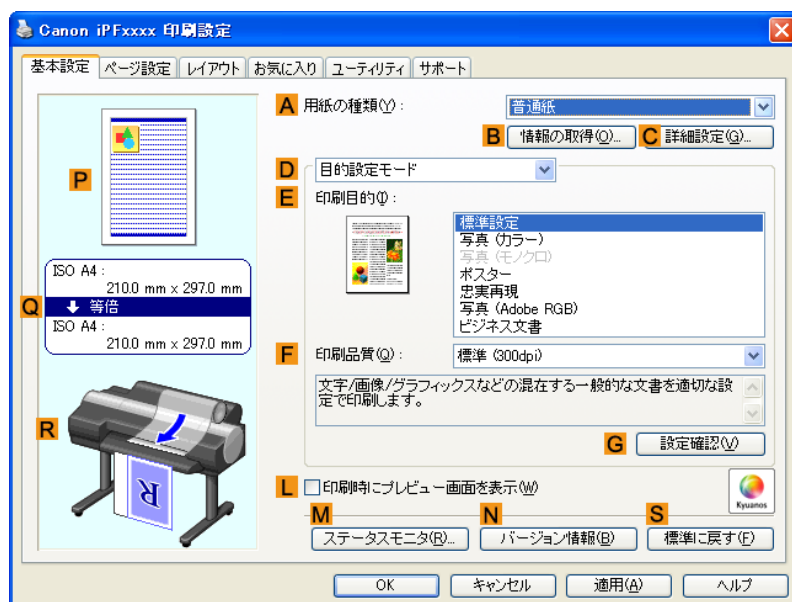
大きなポスターを印刷する（Windows）

原稿を拡大して複数の用紙に分割して印刷できます。印刷した用紙を貼り合わせると、プリンタにセットできる用紙のサイズを超える大きさのポスターを作成できます。ここでは、以下を例に、A2 サイズの原稿を拡大して 4 枚の用紙に分割して印刷する手順を説明します。

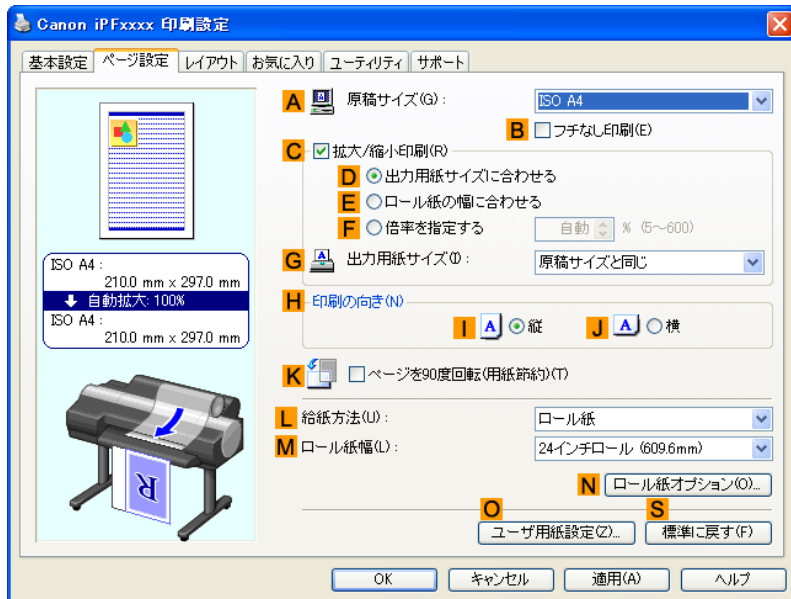
- 原稿:ポスター
- 原稿サイズ:A2（420.0×594.0 mm）
- 用紙:カット紙
- 用紙サイズ:A2（420.0×594.0 mm）

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

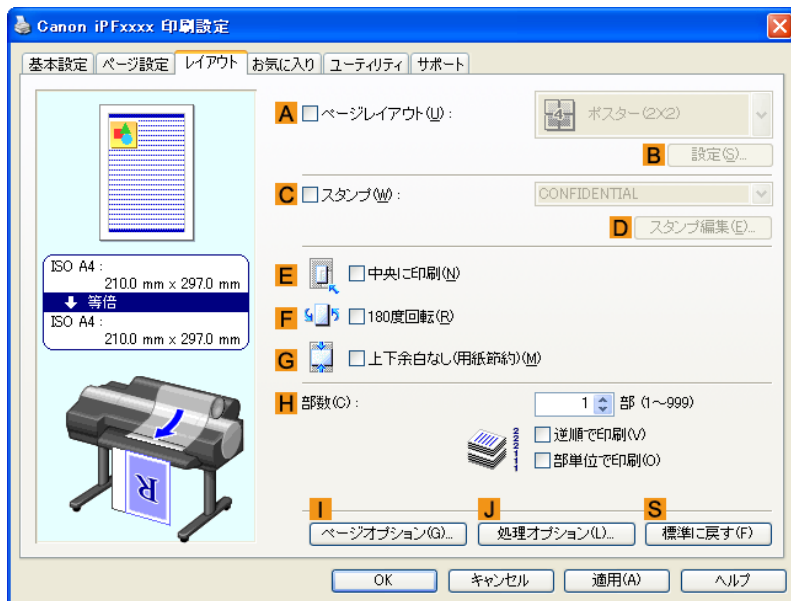
2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.191 」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

5. E[印刷目的]の一覧から[ポスター]をクリックします。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A2]をクリックします。

8. L[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

9. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

10. A[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

11. A[ページレイアウト]の一覧から[ポスター(2 X 2)]をクリックします。

メモ

- 分割して印刷するポスターの一部分だけを印刷する場合は、以下の手順を行います。
  - A[ページレイアウト]の下にある B[設定]をクリックし、[出力ページの指定]ダイアログボックスを開きます。
  - [出力ページの指定]ダイアログボックスで、印刷しない部分のチェックボックスをオフにします。
  - [OK]をクリックし、[出力ページの指定]ダイアログボックスを閉じます。

12. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

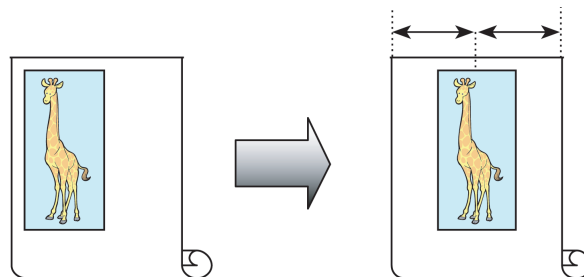
3

用紙の中央に印刷する

原稿をロール紙の中央に印刷する

原稿のサイズよりも大きなサイズの用紙に印刷したり、原稿を縮小して印刷するときに、原稿を用紙の中央に配置して印刷することができます。

ロール紙幅の中央に印刷する

ロール紙の幅よりも小さいサイズの原稿を印刷する場合、原稿をロール紙の幅の中央に配置して印刷することができます。
[中央に印刷]
ロール紙の幅の中央に原稿の中央を合わせて配置します。

原稿をロール紙の中央に印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

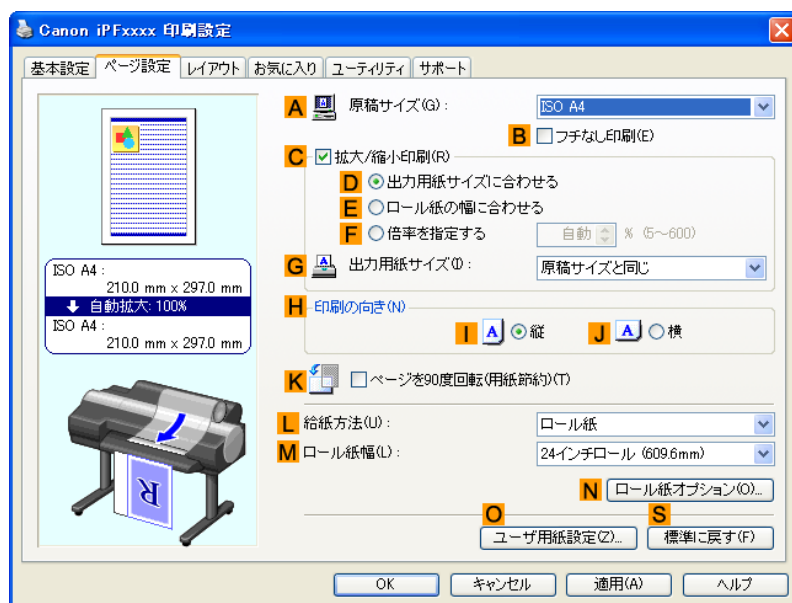
- 原稿をロール紙の中央に印刷する（Windows） →P.140
- 原稿をロール紙の中央に印刷する（Mac OS X） →P.142

原稿をロール紙の中央に印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、原稿をロール紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール（297.0 mm）

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.191」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

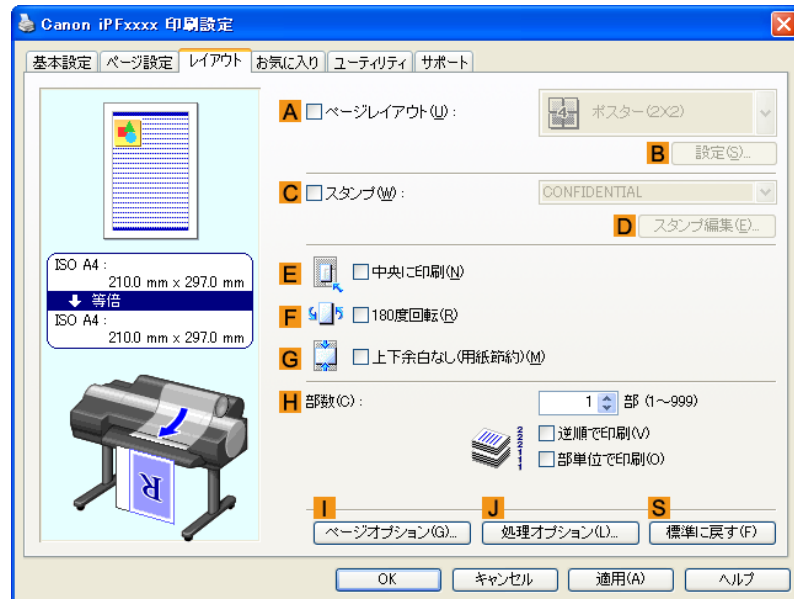
5. E[印刷目的]の一覧から印刷目的を選択します。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

8. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]をクリックします。

10. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

11. E[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

12. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

原稿をロール紙の中央に印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原稿をロール紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4(297.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

12. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

13. J[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

14. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

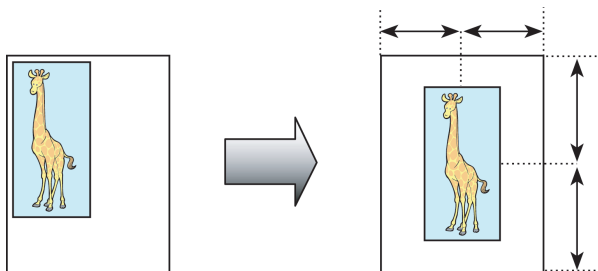
メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.448」を参照してください。

原稿をカット紙の中央に印刷する

原稿のサイズよりも大きなサイズの用紙に印刷したり、原稿を縮小して印刷するときに、原稿を用紙の中央に配置して印刷することができます。

カット紙の中央に印刷する

原稿のサイズよりも大きなサイズの用紙に印刷したり、原稿を縮小して印刷する場合、原稿が用紙の左上にずれて印刷されることがあります。原稿が用紙の左上に印刷される場合、原稿をカット紙の中央に配置して印刷することができます。
[中央に印刷]
カット紙の中央に原稿の中央を合わせて配置します。

原稿をカット紙の中央に印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿をカット紙の中央に印刷する（Windows） →P.146
- 原稿をカット紙の中央に印刷する（Mac OS X） →P.148

原稿をカット紙の中央に印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、原稿を 50%の大きさに縮小し、カット紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:普通紙
- 用紙サイズ:A4（210.0×297.0 mm）

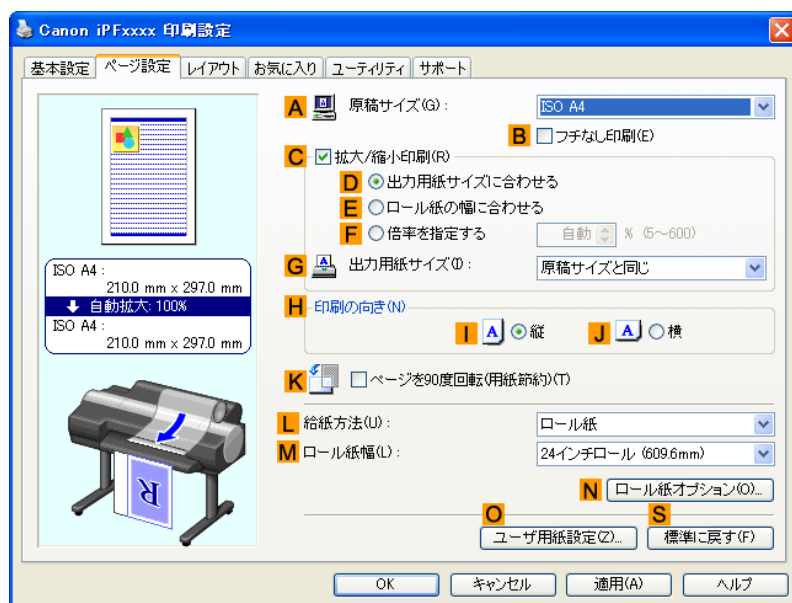
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.191」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. E[印刷目的]を一覧から選択します。

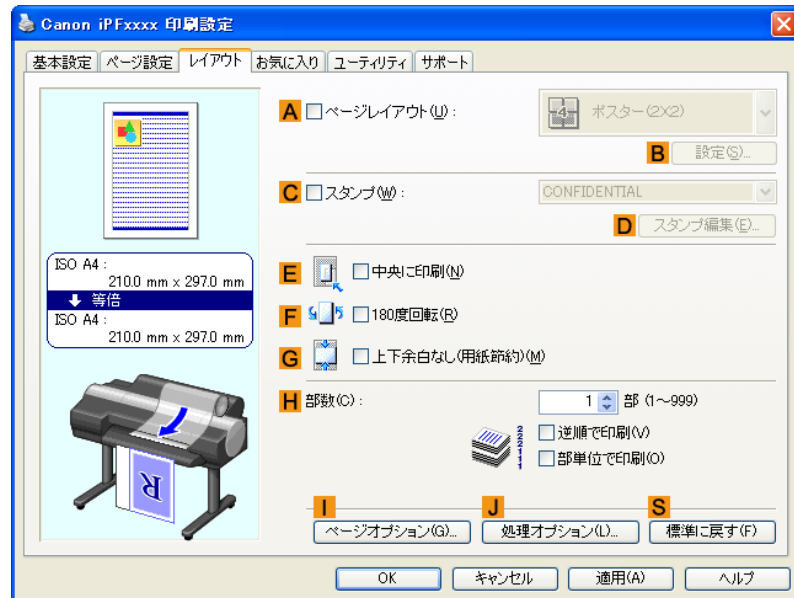
6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

8. C[拡大/縮小印刷]チェックボックスをオンにします。

9. G[出力用紙サイズ]の一覧から[原稿サイズと同じ]をクリックします。

10. F[倍率を指定する]をクリックし、[50]を入力します。

11. L[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

12. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

13. E[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

14. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

重要

- 給紙方法に[手差し]を選択した場合は、本体操作パネルのメッセージにしたがって用紙サイズを入力してください。

原稿をカット紙の中央に印刷する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、カット紙の中央に印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4
- 用紙:カット紙
- 用紙の種類:普通紙
- 用紙サイズ:定形外

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - 手差し用紙(余白大)]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. E[印刷目的]を一覧から選択します。

8. F[印刷品質]を一覧から選択します。

9. [ページ加工]パネルを表示します。

10. A[給紙方法]の一覧から[手差し]をクリックします。

11. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4 - 手差し用紙(余白大)]が表示されていることを確認します。

12. J[中央に印刷]チェックボックスをオンにします。

13. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.448 」を参照してください。

重要

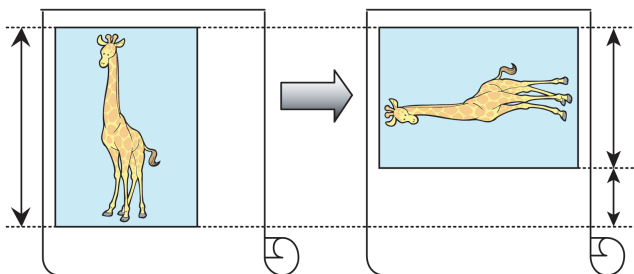
- 給紙方法に[手差し]を選択した場合は、本体操作パネルのメッセージにしたがって用紙サイズを入力してください。

ロール紙を節約して印刷する

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する

原稿に合わせた設定を行うことで、ロール紙を節約することができます。

［ページを 90 度回転（用紙節約）］

縦長の原稿を印刷するとき、原稿の縦の長さがロール紙の幅に収まる場合、原稿を自動的に 90 度回転して印刷します。これにより、用紙を節約できます。

重要

- 回転するとロール紙の幅に収まらない場合も、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する機能を同時に使用すれば、ページを回転して印刷できます。

ロール紙を節約して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する（Windows） →P.152
- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する（Mac OS X） →P.154

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する（Windows）

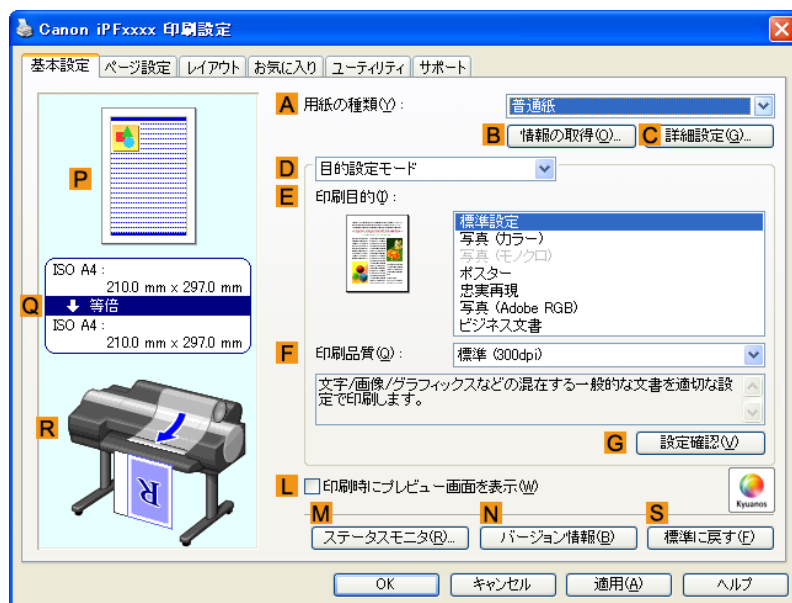
ここでは、以下を例に、原稿を 90 度回転してロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

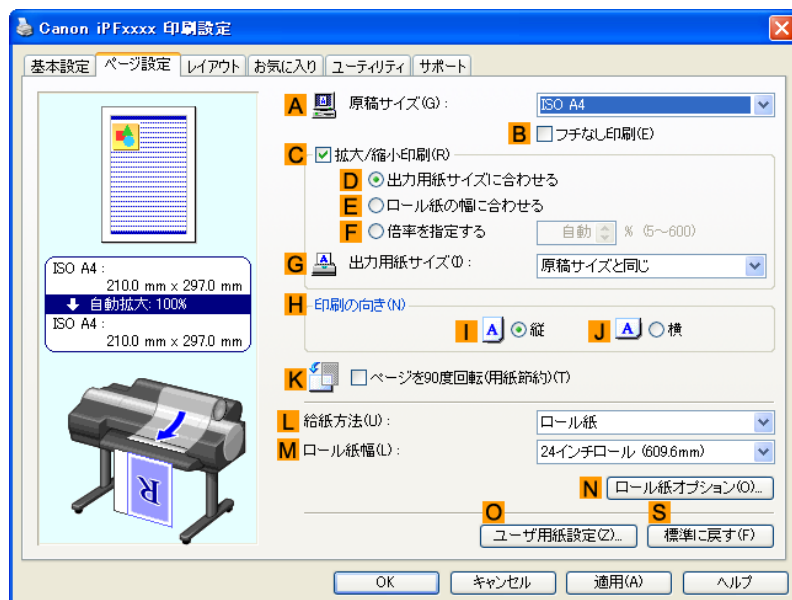
- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール（297.0 mm）

この例では、A4（210.0×297.0 mm）の縦の長さが A3/A4 ロールのロール紙の幅（297.0 mm）に収まるため、原稿を 90 度回転させて印刷することで、用紙を節約できます。

1. アプリケーションソフトのメニューから［印刷］（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.191 」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

7. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]をクリックします。

9. K[ページを 90 度回転(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

10. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

原稿を 90 度回転してロール紙を節約する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原稿を 90 度回転してロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

この例では、A4(210.0×297.0 mm)の縦の長さが A3/A4 ロールのロール紙の幅(297.0 mm)に収まるため、原稿を 90 度回転させて印刷することで、用紙を節約できます。

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ
- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

A 設定: ページ属性
B 対象プリンタ: iPFxxxx
Canon iPFxxxx
C 用紙サイズ: ISO A4
21.00 cm x 29.70 cm
D 方向:
E 拡大縮小: 100 %
F
キャンセル OK

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

A プリンタ: iPFxxxx
B プリセット: 標準
C 部数: 1 丁合い
D ページ: すべて
E 開始: 1 終了: 1
F 用紙サイズ: ISO A4 21.00 x 29.70 cm
G 方向:

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. [ページ加工]パネルを表示します。

8. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4(297.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

10. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

11. L[ページを 90 度回転(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

12. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

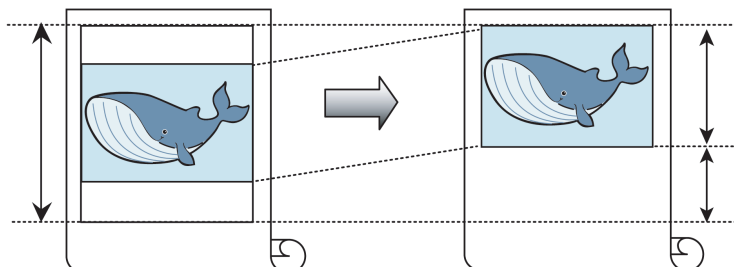
- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.448」を参照してください。

原稿の上下の余白分のロール紙を節約する

原稿に合わせた設定を行うことで、ロール紙を節約することができます。

[上下余白なし(用紙節約)]

原稿の上下に空白部分(余白)がある場合、空白部分にあたる用紙の紙送りを行わずに印刷します。これにより、余白の分だけ用紙を節約できます。

重要

- 以下の場合は、上下の余白を除いて印刷することはできません。
  - バナー印刷
  - ページレイアウトとしてポスターを選択

メモ

- フチなしで印刷するときも、上下の余白を除いて印刷できます。
- 上下の余白を除いて印刷されるため、原稿内の画像や文章のレイアウトによっては、印刷物のサイズが不揃いになることがあります。

ロール紙を節約して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Windows) →P.157
- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Mac OS X) →P.159

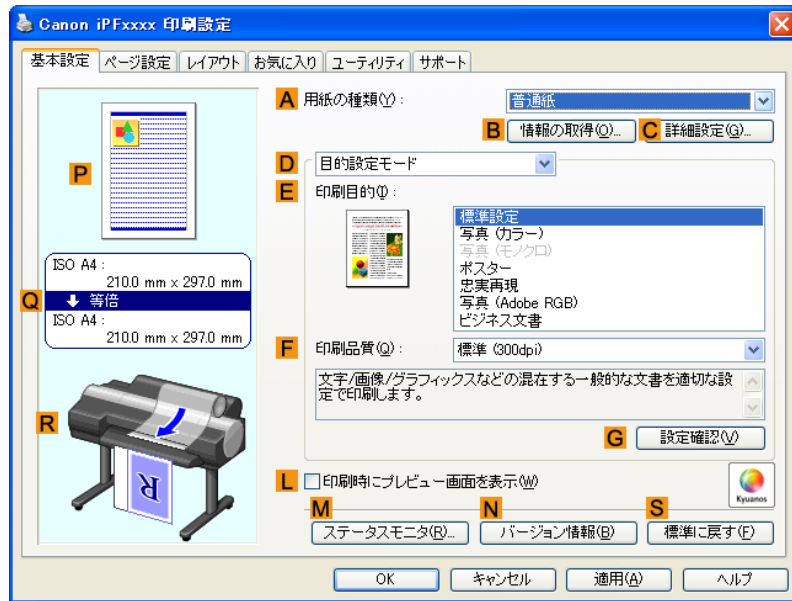
原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Windows)

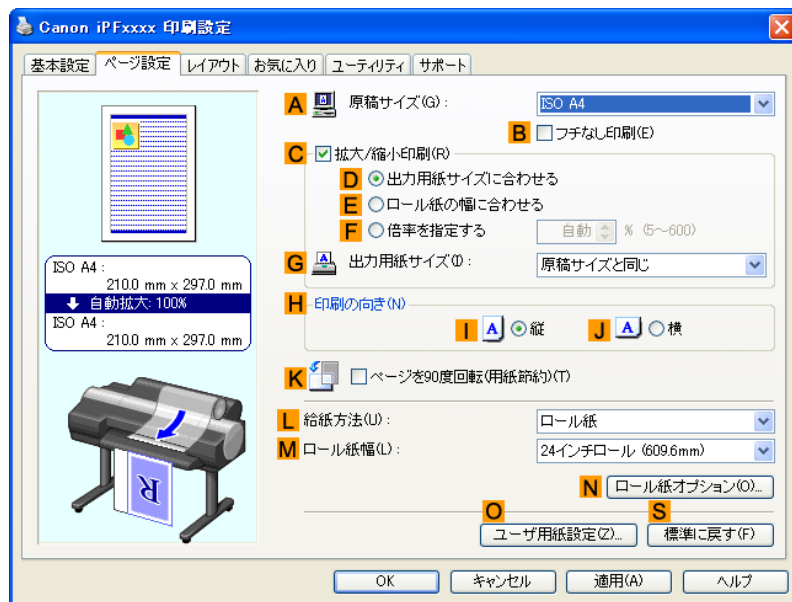
ここでは、以下を例に、原稿の上下の余白分のロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

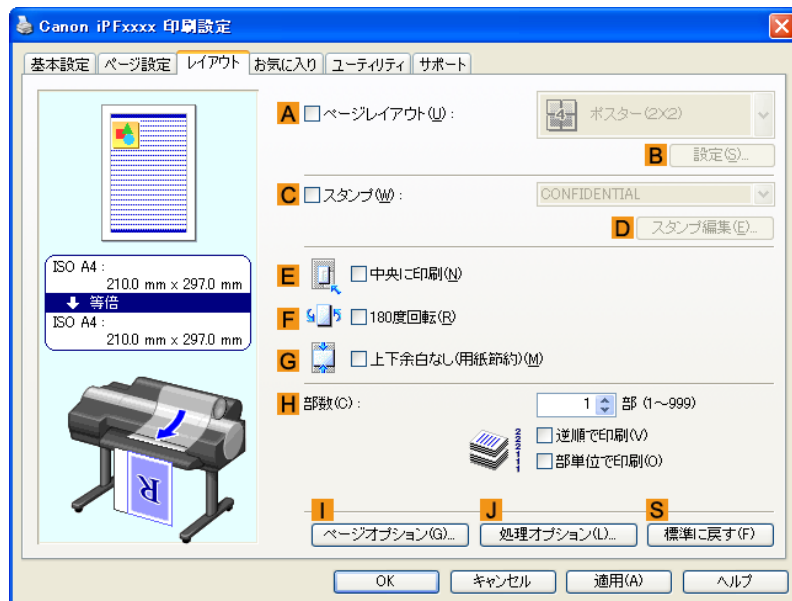
2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.191」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

7. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

8. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]をクリックします。

9. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

10. G[上下余白なし(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

11. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187」を参照してください。

原稿の上下の余白分のロール紙を節約する(Mac OS X)

ここでは、以下を例に、原稿の上下の余白分のロール紙を節約して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A3/A4 ロール(297.0 mm)

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

> メモ
>
> - ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
> アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

> 表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

7. [ページ加工]パネルを表示します。

8. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A3/A4(297.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

10. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

11. K[上下余白なし(用紙節約)]チェックボックスをオンにします。

12. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.448」を参照してください。

PosterArtist で編集して印刷する

PosterArtist で編集して印刷する

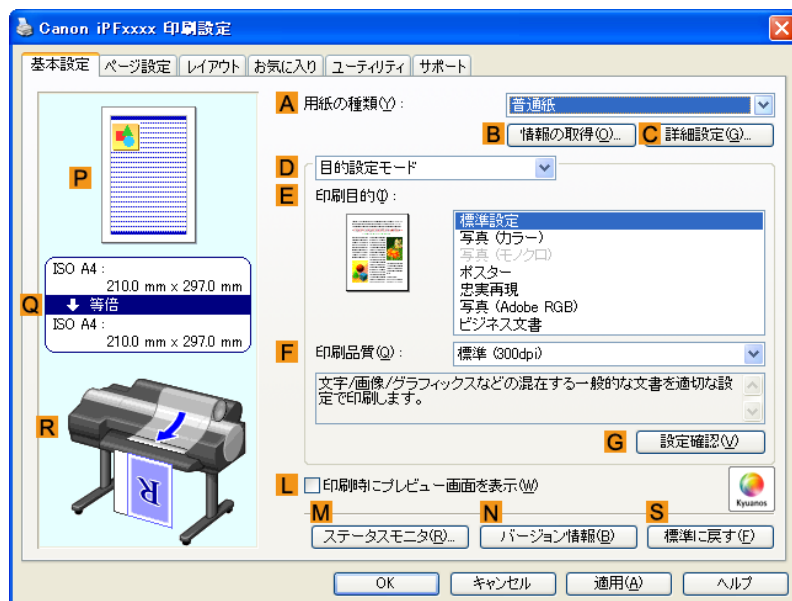
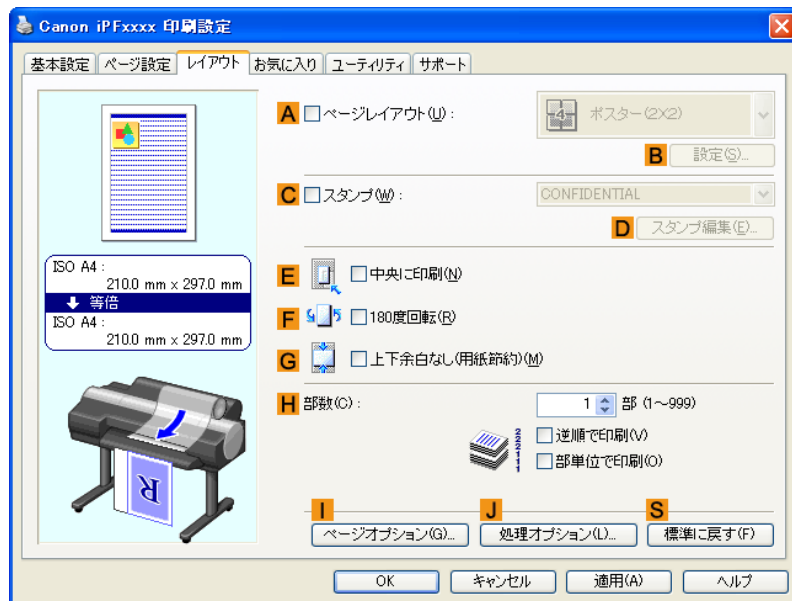
ワープロソフトや表計算ソフトの原稿、Web ブラウザの画面などを、PosterArtist で編集して印刷できます。ここでは、複数のアプリケーションソフトの原稿を PosterArtist で編集し、ポスターにレイアウトして印刷する手順を説明します。

重要

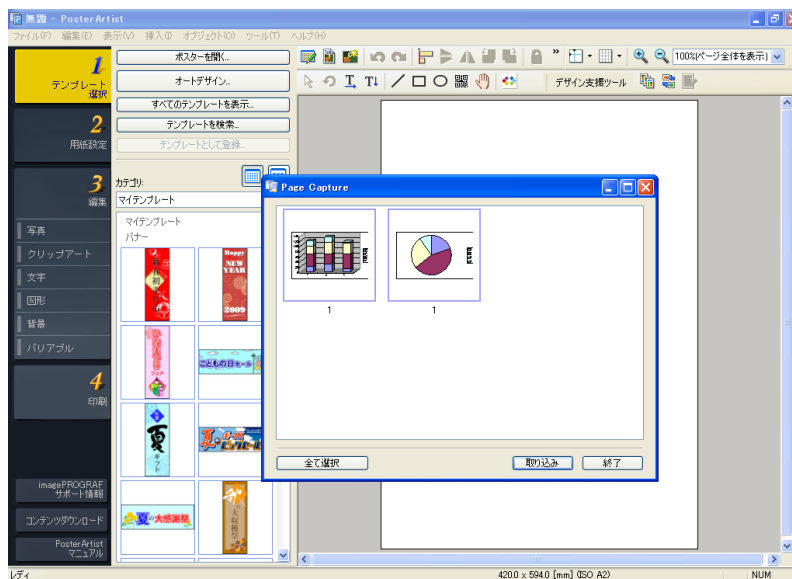
- この機能は、Windows で使用できます。
- この機能を使用するには、別売りの PosterArtist がインストールされている必要があります。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)」参照) →P.191

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

5. A[ページレイアウト]チェックボックスをオンにします。

6. A[ページレイアウト]の一覧から[PosterArtist で編集]をクリックします。

7. 印刷を実行すると、PosterArtist が起動し、PageCapture ウィンドウが開きます。(実際には、まだ用紙に印刷されません。)

8. PosterArtist に取り込むページを選択します。

9. PosterArtist のウィンドウで、イメージの編集や並べ替えを行います。

> 重要
>
> • PosterArtist のウィンドウを閉じずに手順 1 から手順 8 を繰り返すことで、複数のアプリケーションソフトの原稿を 1 ページに配置することができます。

メモ
- イメージの編集や並べ替えの方法については、PosterArtist マニュアルを参照してください。

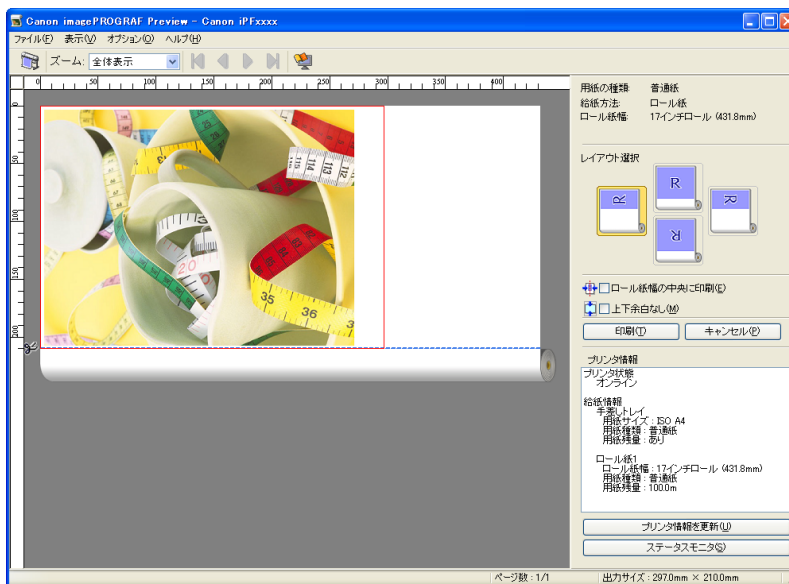
10. PosterArtist のメニューから印刷します。

印刷前に確認する

印刷前にプレビューでレイアウトを確認する

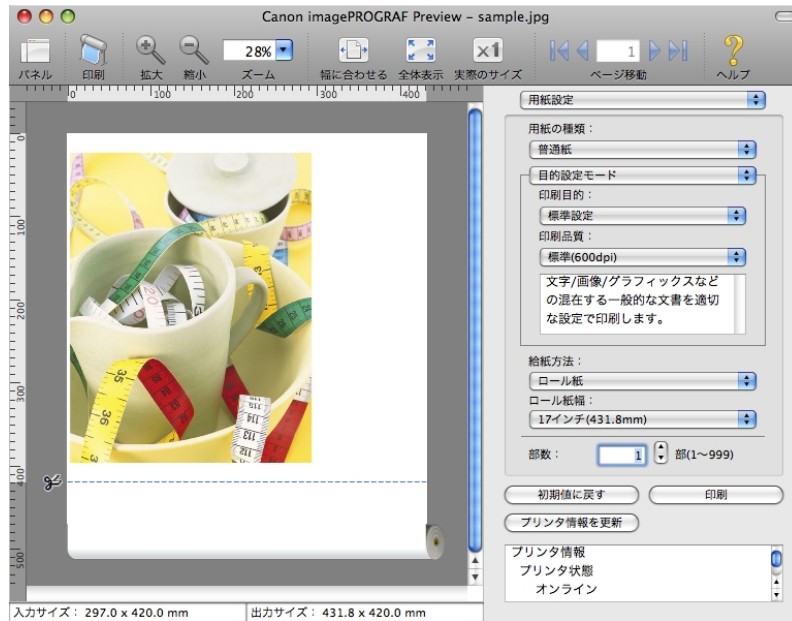
プレビュー画面で印刷レイアウトを確認することができます。

[印刷時にプレビュー画面を表示](Windows)

プレビュー画面を見ながら印刷の向きなどの設定を変更することもでき、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映されます。

メモ

- 設定や環境によっては PageComposer が起動する場合があります。

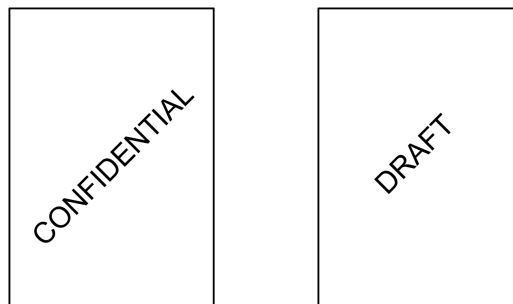
[Preview](Macintosh)

プレビュー画面を見ながらレイアウトや拡大率などの設定を変更することもでき、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映されます。

印刷前にレイアウトを確認する方法については、以下のトピックを参照してください。

- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する(Windows) →P.188
- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する(Mac OS X) →P.449

その他の便利な設定

スタンプを押して印刷する

取り扱いに注意が必要な書類に、マーク(スタンプ)を付けて印刷できます。

[スタンプ]

原稿のすべてのページにスタンプを押して印刷します。

重要

- ポスターのページレイアウトが選択されている場合は、スタンプは印刷できません。

以下のスタンプがあらかじめ用意されています。

- CONFIDENTIAL
- COPY
- DRAFT
- 社外秘
- FINAL
- コピー禁止
- サンプル
- マル秘

また、独自にスタンプを作成することもできます。スタンプを作成するときは、以下の項目を設定できます。

- スタンプに使用する文字列:フォント、サイズ、色などを設定できます。文字列を枠で囲むこともできます。
- スタンプを押す位置:ページ内の位置、角度などを設定できます。
- スタンプを印刷する方法:重ね印刷や透かし印刷を設定できます。また、先頭のページだけに印刷することもできます。

メモ

- スタンプ機能は、Windows で使用できます。
- Windows では、あらかじめ用意されているスタンプの他に、最大 50 個のスタンプを作成できます。

スタンプを押して印刷する方法については、以下のトピックを参照してください。

- COPY や社外秘などのスタンプを押して印刷する（Windows） →P.169

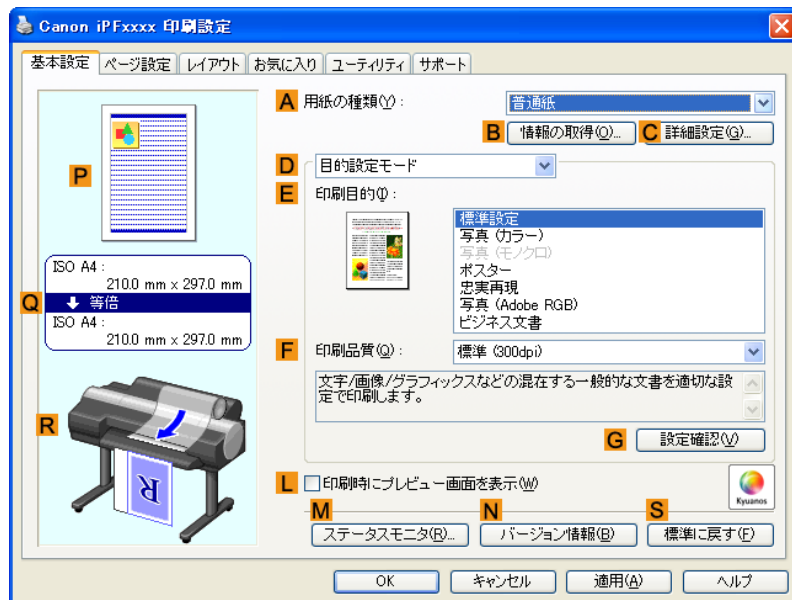
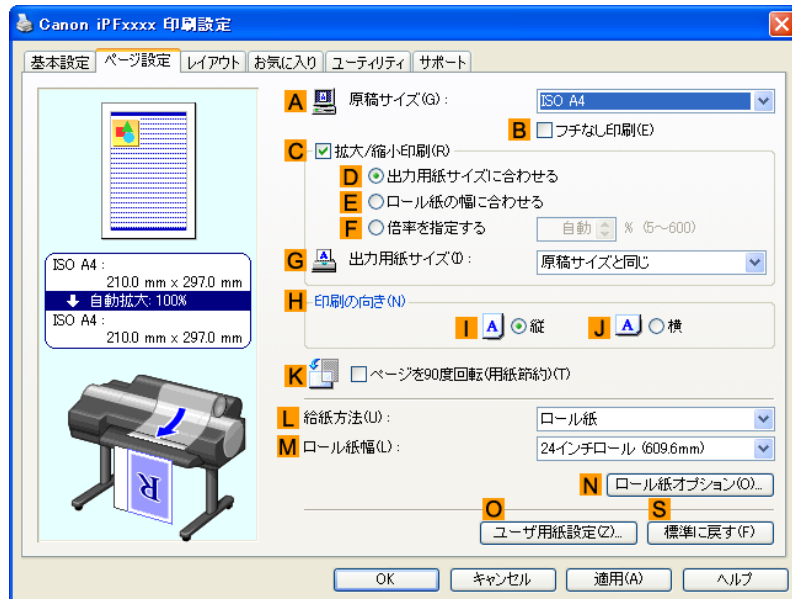
COPY や社外秘などのスタンプを押して印刷する（Windows）

ここでは、以下を例に、原稿に[社外秘]というスタンプを押して印刷する手順を説明します。

- 原稿:任意の原稿
- 原稿サイズ:A2（420.0×594.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.191 」参照）

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. E[印刷目的]を一覧から選択します。

メモ

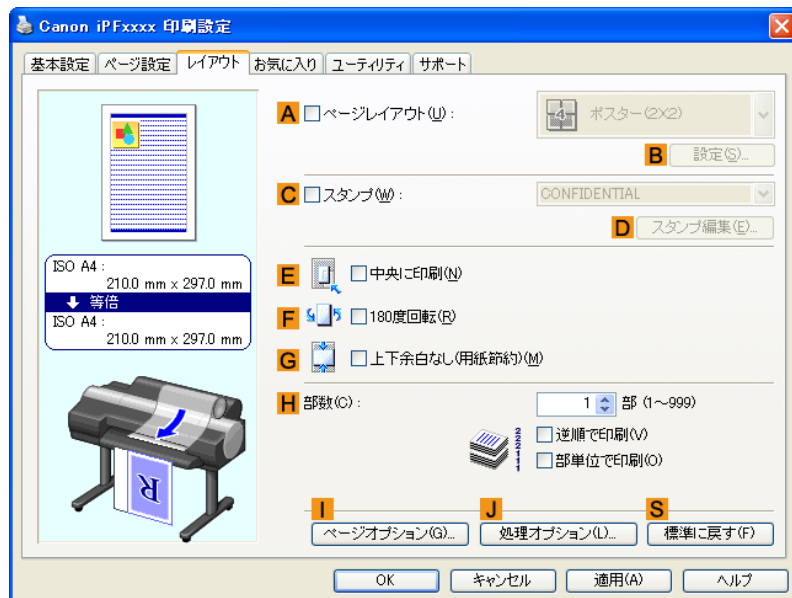
- G[設定確認]をクリックすると、E[印刷目的]の一覧で選択した項目の設定値を確認できます。

6. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

7. A[原稿サイズ]の一覧から、アプリケーションソフトで作成した原稿サイズ、ここでは[ISO A2]をクリックします。

8. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

9. M[ロール紙幅]の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]をクリックします。

10. [レイアウト]タブをクリックし、[レイアウト]シートを表示します。

11. C[スタンプ]チェックボックスをオンにします。

12. [スタンプリスト]の一覧から[社外秘]をクリックします。

メモ

- D[スタンプ編集]をクリックすると[スタンプ編集]ダイアログボックスが開きます。[スタンプ編集]ダイアログボックスでは、独自のスタンプを作成したり、スタンプの位置や角度を変更することができます。

13. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

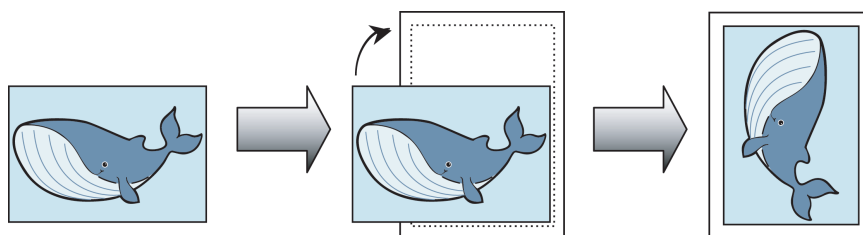
メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

原稿の向きを用紙に合わせて印刷する

印刷する用紙に合わせて、原稿の向きを指定することができます。

[印刷の向き]

プリンタには通常、用紙を縦向きにセットします。横長の原稿を印刷する場合は、印刷の向きを指定し、原稿を横向きにして印刷します。

[180 度回転]

原稿を 180 度回転し、上下を逆にして印刷します。

[鏡像]

鏡に映したように、原稿の左右を反転して印刷します。

原稿の向きを指定して印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Windows) →P.171
- 原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Mac OS X) →P.173

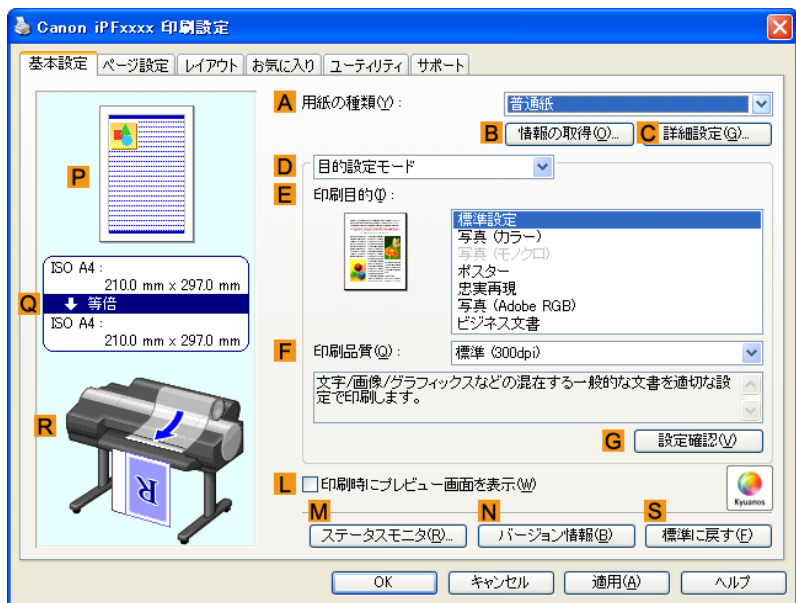
原稿の向きを用紙に合わせて印刷する(Windows)

ここでは、以下を例に、横長で作成した原稿の向きを用紙に合わせて印刷する手順を説明します。

- 原稿:横長で作成した原稿
- 原稿サイズ:A4(210.0×297.0 mm)
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール(420.0 mm)

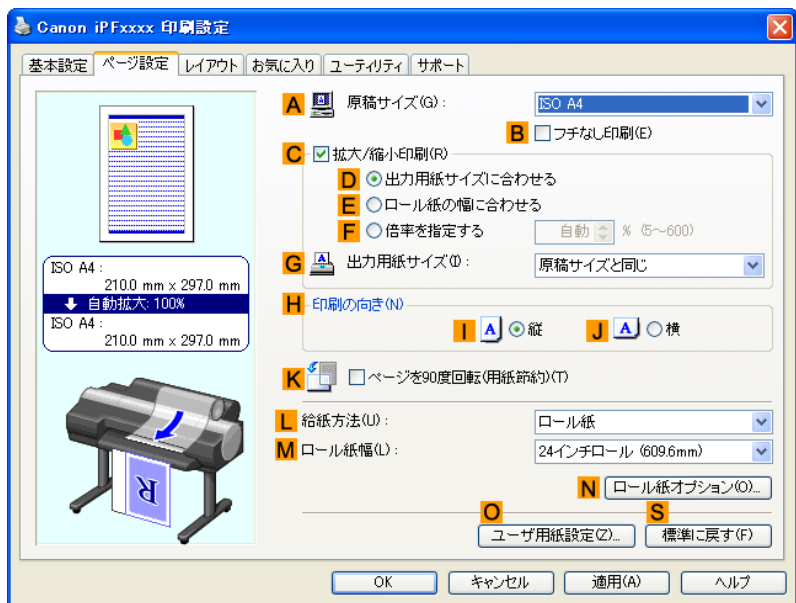
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.191 」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

5. E[印刷目的]を一覧から選択します。

6. F[印刷品質]を一覧から選択します。

7. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

8. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

9. H［印刷の向き］で、J［横］をクリックします。

10. L［給紙方法］の一覧からロール紙を選択してクリックします。

11. M［ロール紙幅］の一覧で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは［ISO A2/A3 ロール（420.0mm）］をクリックします。

12. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Windows） →P.187 」を参照してください。

原稿の向きを用紙に合わせて印刷する（Mac OS X）

ここでは、以下を例に、横長で作成した原稿の向きを用紙に合わせて印刷する手順を説明します。

- 原稿:横長で作成した原稿
- 原稿サイズ:A4（210.0×297.0 mm）
- 用紙:ロール紙
- 用紙の種類:普通紙
- ロール紙幅:A2/A3 ロール（420.0 mm）

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]をクリックします。

4. D[方向]で、原稿が横向きのアイコンをクリックします。

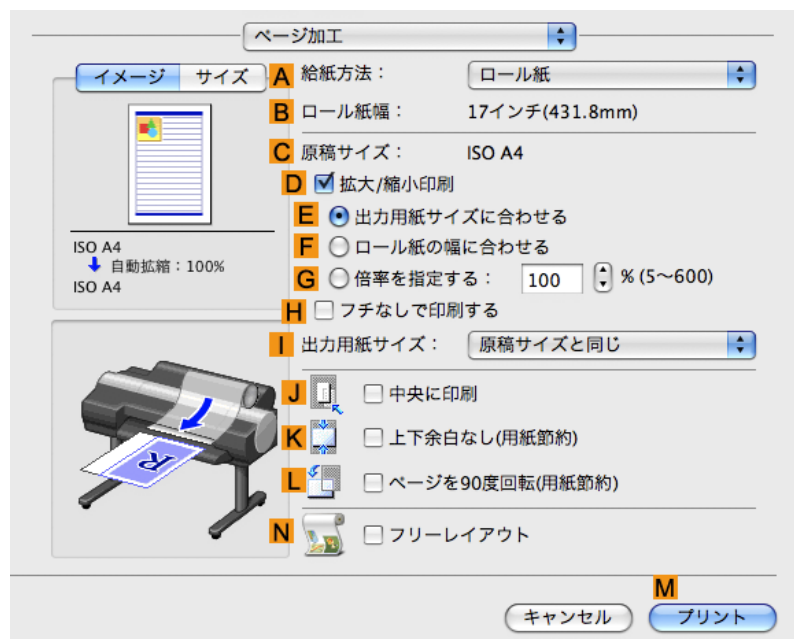
5. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

6. [基本設定]パネルを表示します。

7. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、ここでは普通紙をクリックします。

8. E[印刷目的]を一覧から選択します。

9. F[印刷品質]を一覧から選択します。

10. [ページ加工]パネルを表示します。

11. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

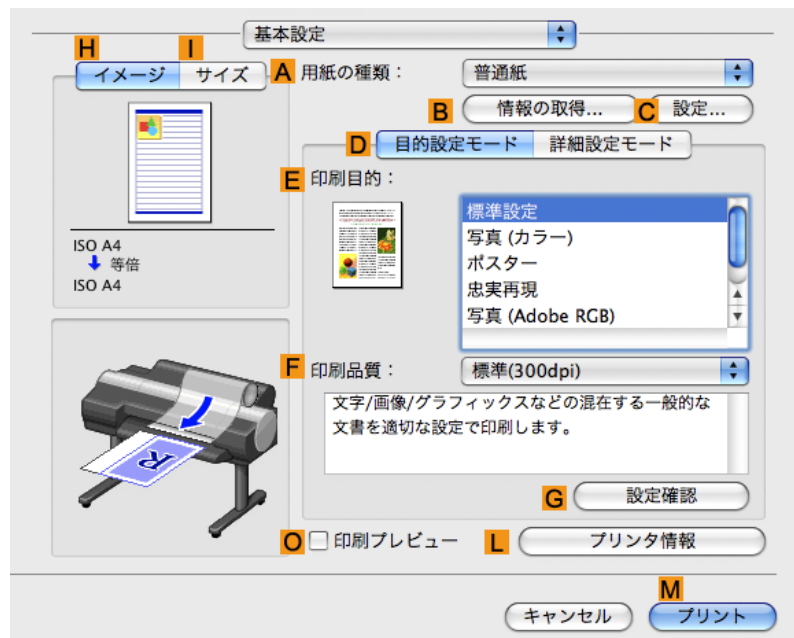
12. B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅、ここでは[ISO A2/A3(420.0mm)]が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

13. C[原稿サイズ]で、[ページ属性]ダイアログボックスの C[用紙サイズ]で選択した原稿のサイズ、ここでは[ISO A4]が表示されていることを確認します。

14. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Mac OS X) →P.448」を参照してください。

お気に入りの設定で印刷する

思いどおりに印刷できた場合や、同じサイズで何度も印刷する場合、[お気に入り]の設定として印刷の設定を登録しておくと、繰り返し同じ設定で印刷できます。

[お気に入り]

お気に入りの設定を登録します。登録済みの設定を一覧から選択して印刷に適用したり、内容を確認することができます。

メモ

- お気に入りの設定は、ファイルに保存することもできるため、他のコンピュータから同じ設定で印刷したい場合などに使用できます。(Windows の場合)

お気に入りの設定で印刷する方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- お気に入りの設定で印刷する(Windows) →P.189
- お気に入りの設定で印刷する(Mac OS X) →P.450

印刷後にロール紙をカットする

印刷後にロール紙を自動でカットできます。

メモ

- 糊付きの用紙など、特殊な用紙の場合はカットできないことがあります。自動でカットできない用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.663 」参照)

[オートカット]

印刷後にロール紙を自動でカットします。ロール紙をカットせずに、続けて印刷したり、カットラインを印刷することもできます。

印刷後にロール紙をカットする方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 印刷後にロール紙をカットする(Windows) →P.177
- 印刷後にロール紙をカットする(Mac OS X) →P.178

印刷後にロール紙をカットする(Windows)

ここでは、印刷後にロール紙を自動でカットする(オートカット)手順、または手動でカットするためのカットラインを印刷する手順を説明します。

メモ

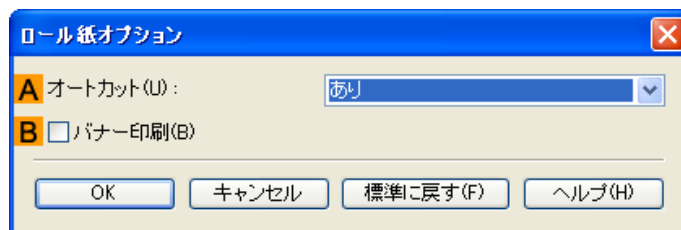
- 初期設定の状態(プリンタの設定が工場出荷時の状態、プリンタドライバがインストール時の状態)では、オートカット機能は有効になっています。以下の手順では、無効になっているオートカット機能を有効にしたり、カットラインを印刷する設定に変更できます。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.191 」参照)

3. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

4. L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

5. N[ロール紙オプション]をクリックし、[ロール紙オプション]ダイアログボックスを開きます。

6. A[オートカット]の一覧から、オートカットを有効にする場合は[あり]をクリックします。後で手動でカットする場合は[カットラインを印刷]をクリックします。

7. [OK]をクリックし、[ロール紙オプション]ダイアログボックスを閉じます。

8. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する(Windows) →P.187 」を参照してください。

印刷後に、ロール紙が自動でカットされます。

印刷後にロール紙をカットする(Mac OS X)

ここでは、印刷後にロール紙を自動でカットする(オートカット)手順、または手動でカットするためのカットラインを印刷する手順を説明します。

メモ

- 初期設定の状態(プリンタの設定が工場出荷時の状態、プリンタドライバがインストール時の状態)では、オートカット機能は有効になっています。以下の手順では、無効になっているオートカット機能を有効にしたり、カットラインを印刷する設定に変更できます。

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

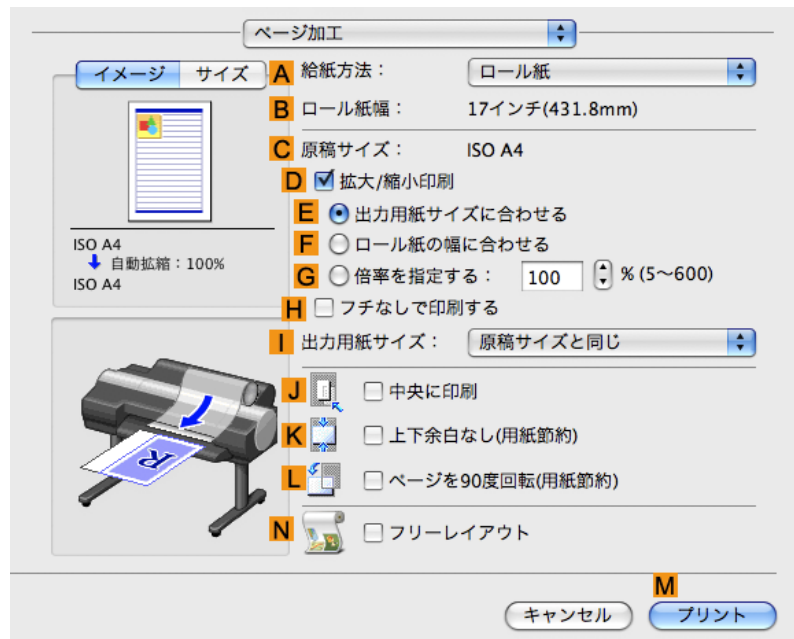
- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

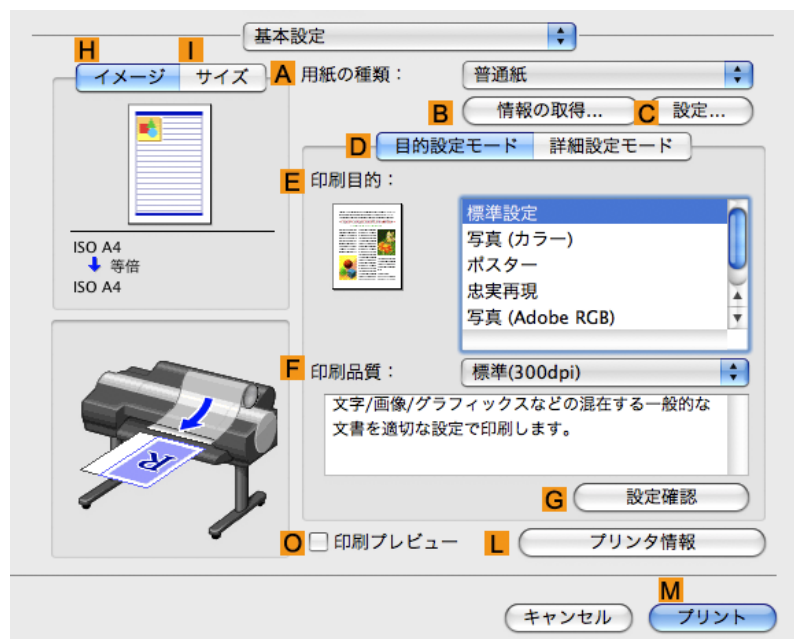
表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. C[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [ページ加工]パネルを表示します。

6. A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択してクリックします。

7. [基本設定]パネルを表示します。

8. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

9. C[設定]をクリックし、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスを開きます。

10. H[オートカット]の一覧から、オートカットを有効にする場合は[パネル優先]をクリックします。後で手動でカットする場合は[カットラインを印刷]をクリックします。

重要

- プリンタでオートカット機能が無効になっている場合は、プリンタの操作パネルから、オートカットの設定を変更する必要があります。

11. [OK]をクリックし、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスを閉じます。

12. 印刷の設定を確認し、M[プリント]をクリックして印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する（Mac OS X）→P.448」を参照してください。

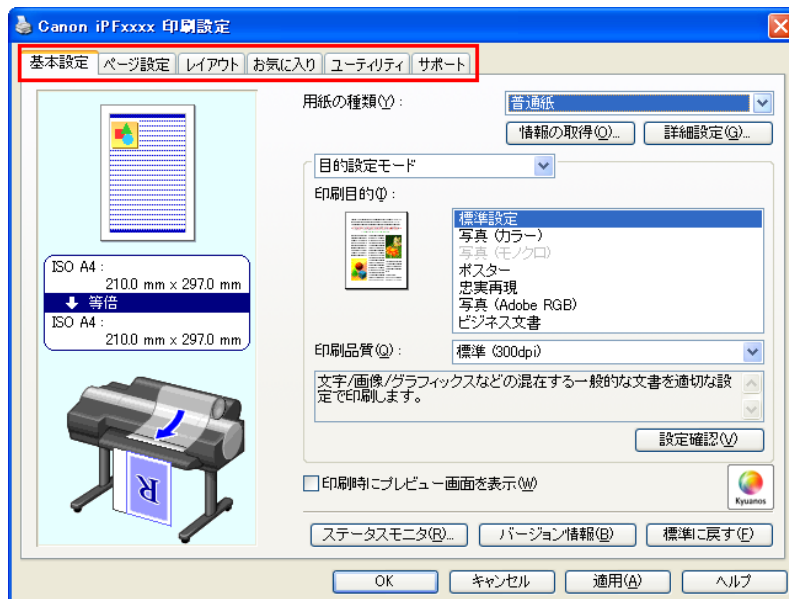
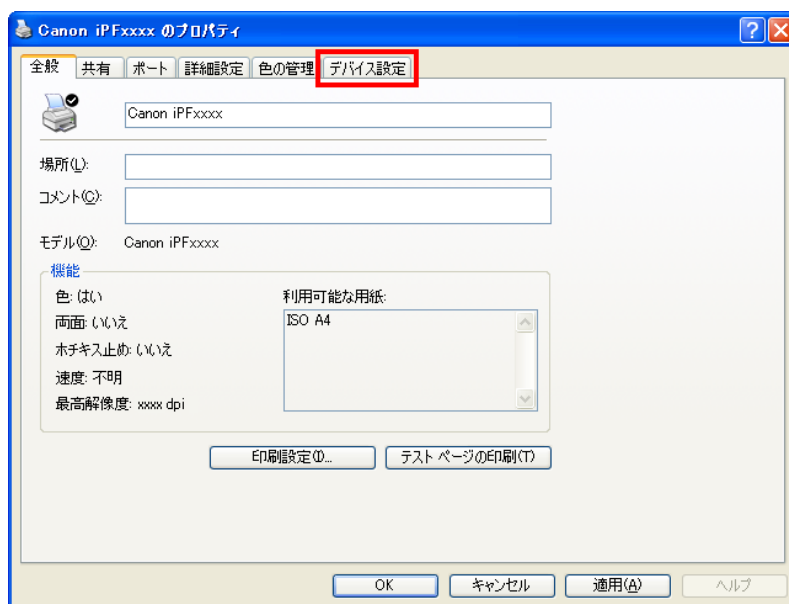
Windows ソフトウエア

プリンタドライバ

プリンタドライバの設定項目

Windows 版プリンタドライバの開き方については、以下を参照してください。

- アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.191
- システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.193

Windows 版プリンタドライバの設定項目については、以下を参照してください。

- 基本設定シート →P.194
  用紙の種類、カラー、印刷画質、印刷プレビューについて設定できます。目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]があります。
  - 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.199
  - 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.200
  - 色調整シート(カラー) →P.200
  - 調整の対象ダイアログボックス(カラー) →P.202
  - マッチングシート →P.203
  - 環境光補正設定ダイアログボックス →P.205
  - Light Source Check Tool →P.207
  - 色調整シート(モノクロ) →P.208
  - 調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) →P.209
  - グレー調整シート →P.210
- ページ設定シート →P.211
  原稿の用紙サイズ、フチなし印刷、拡大/縮小印刷、印刷の向き、給紙方法、印刷する用紙のサイズ、用紙のオートカットについて設定できます。
  - ユーザ用紙設定ダイアログボックス →P.214
- レイアウトシート →P.215
  ページレイアウト、スタンプ印刷、印刷の向き、印刷部数、印刷処理オプションについて設定できます。
  - ページオプションダイアログボックス →P.217
  - 処理オプションダイアログボックス →P.218
- お気に入りシート →P.219
  各シートで選択した印刷設定をお気に入りとして登録できます。登録したお気に入りは、編集したり、印刷時に使用することができます。
- ユーティリティシート →P.221
  プリントヘッドや用紙送りに関するメンテナンス、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]に関する設定を行えます。
- サポートシート →P.222
  サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

- デバイス設定シート →P.223
  プリンタに装着されているオプションの設定や、プリンタドライバのバージョン情報表示を行えます。

[imagePROGRAF フリーレイアウト]とは、アプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに自由に配置して印刷するための機能です。詳細は、フリーレイアウト →P.237 を参照してください。
[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]とは、[Color imageRUNNER]でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷するための機能です。詳細は、Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.266 を参照してください。

重要
- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]、[imagePROGRAF フリーレイアウト]は 64 ビット版の Windows では使用できません。

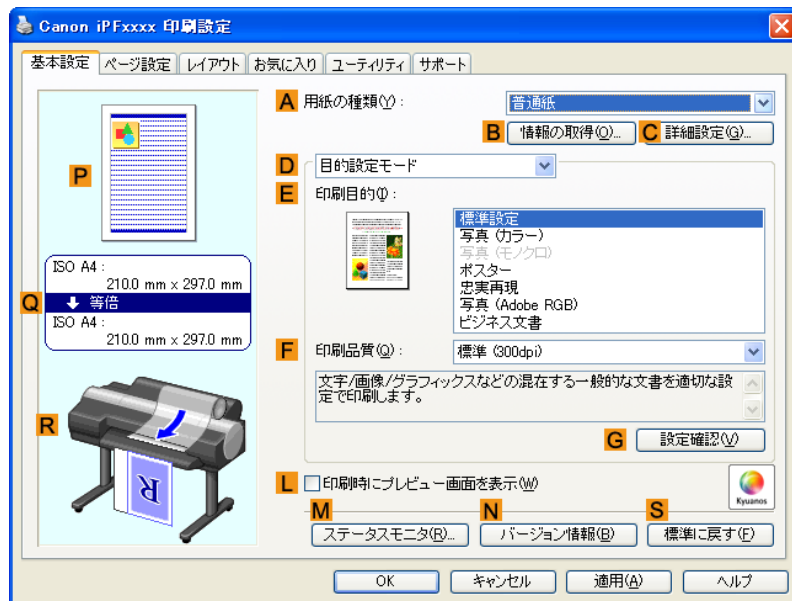
プリンタドライバで用紙を指定する

用紙を交換した場合にプリンタドライバでは以下の設定が必要です。

重要
- 必ずプリンタのメニューとプリンタドライバで同じ用紙やサイズを指定してください。

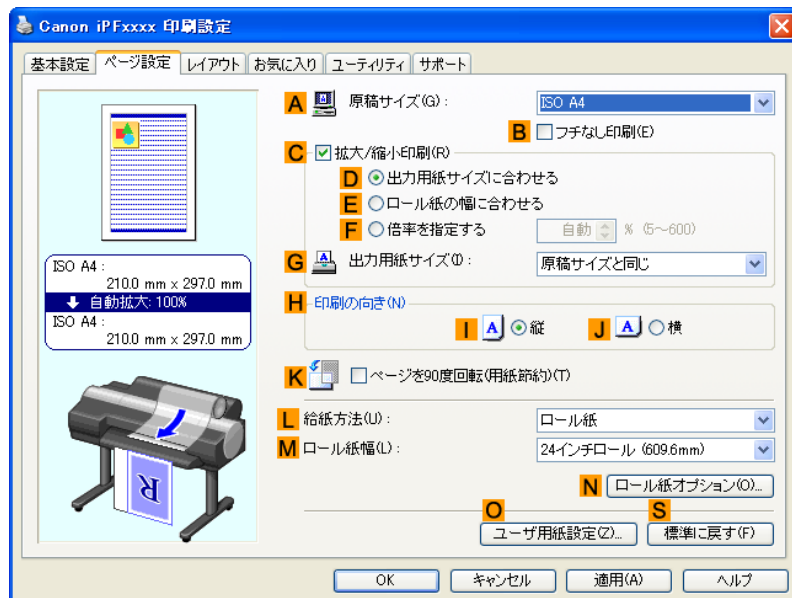
1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.191」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

メモ

- B[情報の取得]ボタンをクリックすると[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスが表示されます。[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスでは、プリンタの用紙情報を取得して、プリンタドライバの給紙方法と用紙の種類を設定することができます。
  この機能を使用する場合は、[ステータスモニタ]がインストールされている必要があります。

5. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。

6. A[原稿サイズ]の一覧からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

7. L[給紙方法]の一覧から給紙方法を選択します。

8. L[給紙方法]でロール紙を選択した場合は、M[ロール紙幅]の一覧から、プリンタにセットされているロール紙幅を選択します。

メモ

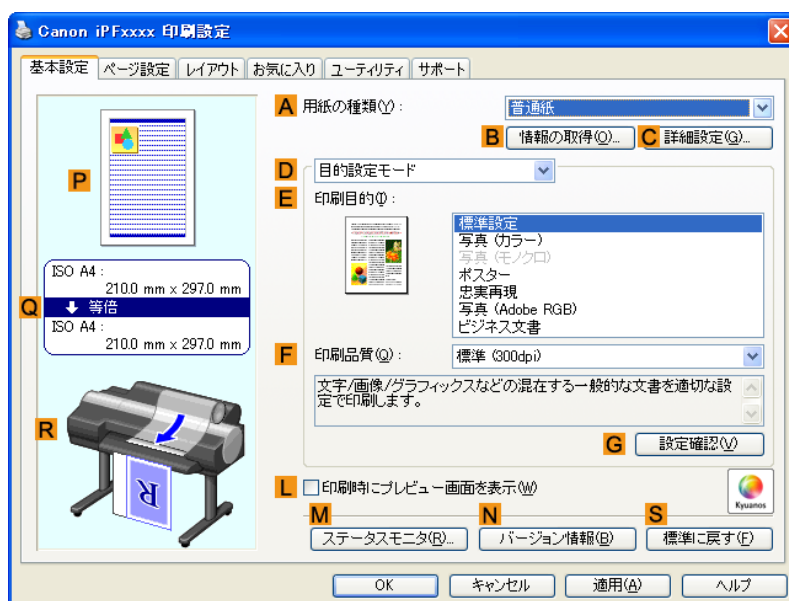
- プリンタドライバでは、印刷の目的に合わせていろいろな設定ができます。
  設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目 →P.183」を参照してください。

印刷の設定を確認する

印刷の設定を確認するには、以下の 2 種類の方法があります。

- 設定プレビューで確認する
- 印刷プレビューで確認する

設定プレビューで確認する

設定プレビューは、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シートの左側の部分に表示されます。原稿サイズ、印刷の向き、給紙方法、レイアウトなど、現在の設定状況をイラストや数値で確認できます。

表示部分	表示される情報
P[上部のイラスト]	印刷の向き、ページレイアウト、フチなし印刷、カラーモードなどの設定状況がイラストで表示されます。
Q[中央の枠内]	原稿サイズ、出力用紙サイズ、拡大/縮小の方法、倍率などが表示されます。
R[下部のイラスト]	給紙方法、印刷の向き、フチなし印刷などの設定状況がイラストで表示されます。

メモ

- [目的設定モード]で選択した[印刷目的]の設定値を確認したい場合は、[基本設定]シートで G[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開きます。

印刷プレビューで確認する

原稿の印刷イメージそのものを確認できます。
この機能を有効にしておくと、印刷する前に imagePROGRAF Preview または PageComposer が起動し、印刷イメージを確認できるため、印刷の失敗を未然に防止できます。

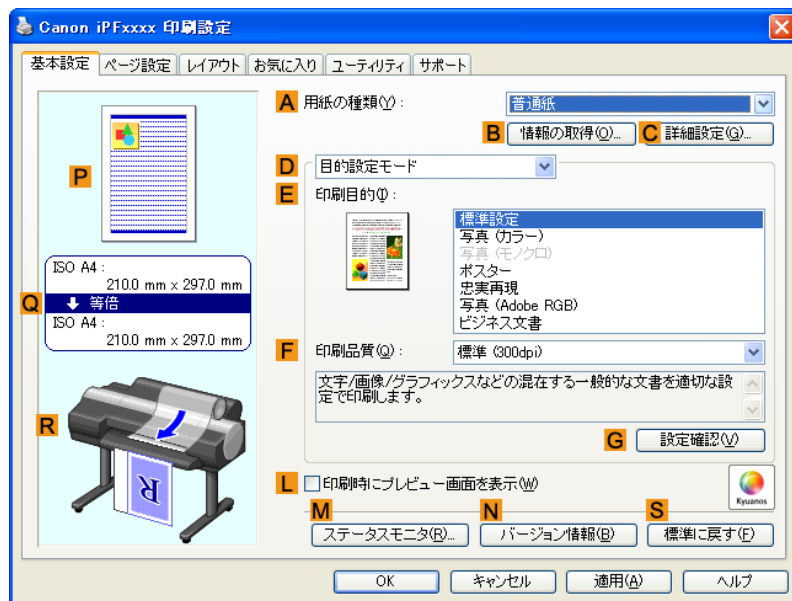
印刷プレビューの詳細については、「印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.166 」を参照してください。

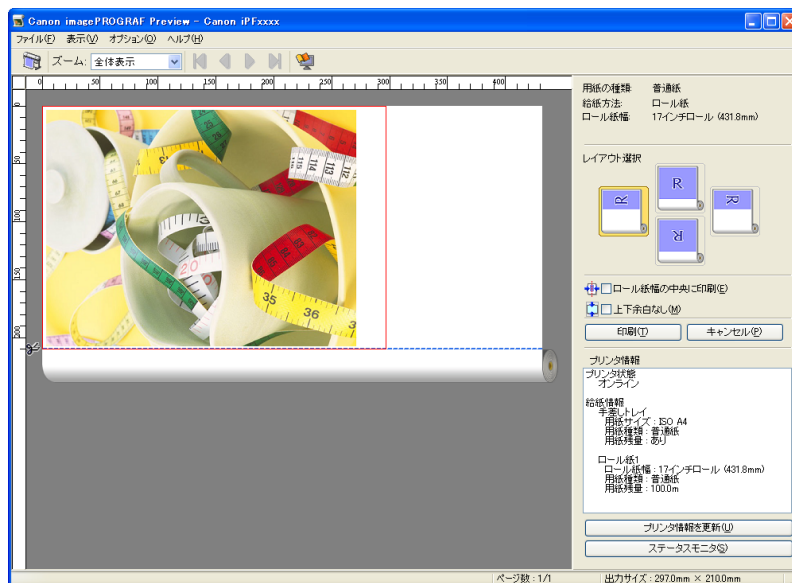
印刷前にプレビューでレイアウトを確認する

ここでは、実際に用紙に印刷する前に、印刷結果をプレビューする手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.191 」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. L[印刷時にプレビュー画面を表示]チェックボックスをオンにします。

5. [OK]をクリックして印刷を実行すると、[imagePROGRAF Preview]ウィンドウが開きます。

メモ

- PageComposer が起動した場合は、[レイアウト]シートから[処理オプション]ダイアログを開き、[プレビュー互換を行う]のチェックを外してください。

6. メインウィンドウで、レイアウトの確認や必要に応じた設定の変更を行います。

7. [ファイル]メニューから[印刷]をクリックします。

メモ

- [imagePROGRAF Preview]の機能の詳細は、Preview →P.224 を参照してください。

お気に入りの設定で印刷する

ここでは、お気に入りの設定を登録し、その設定で印刷する手順を説明します。

お気に入りの設定を登録する

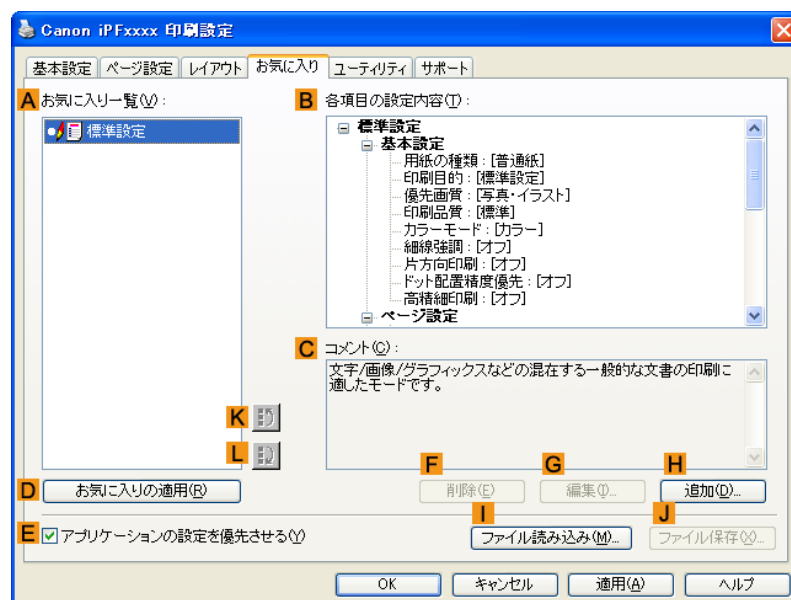
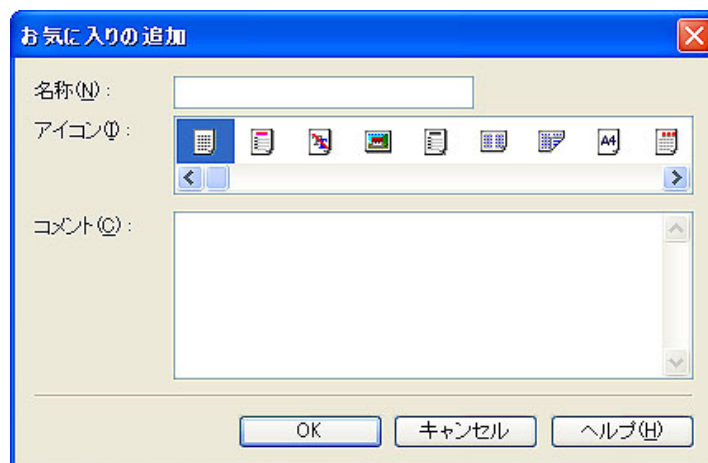
ここではドライバ上で変更した印刷設定を[お気に入り]として登録する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.191 」参照)

3. 通常の印刷の設定を行います。
ここからお気に入りの登録を行います。

4. [お気に入り]タブをクリックし、[お気に入り]シートを表示します。

4

5. H[追加]をクリックし、[お気に入りの追加]ダイアログボックスを開きます。

6. [名称]に[プレゼン用の写真]や[月例の報告書]などの任意の名前を入力します。

7. [アイコン]の一覧から、この設定にふさわしいアイコンを選択します。

8. [コメント]に、追加するお気に入りの設定を説明するコメントを入力します。

9. [OK]をクリックし、[お気に入りの追加]ダイアログボックスを閉じます。
登録したお気に入りの設定は、A[お気に入り一覧]に表示されます。

メモ

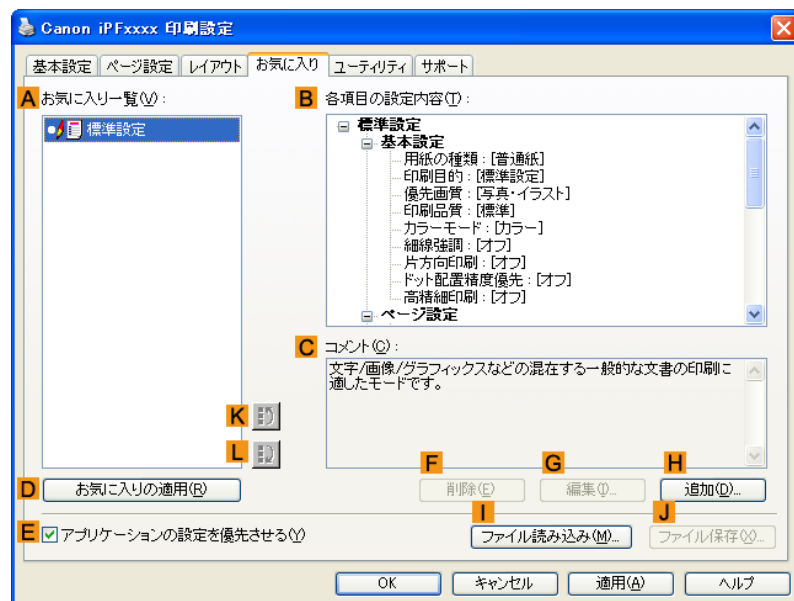
- お気に入りの設定をファイルに保存する場合は、J[ファイル保存]をクリックし、保存するファイルを指定します。

お気に入りの設定で印刷する

ここでは、登録したお気に入りの設定で印刷する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.191」参照)

3. [お気に入り]タブをクリックし、[お気に入り]シートを表示します。

4. A[お気に入り一覧]の一覧から、登録したお気に入りの設定を選択します。

メモ

- お気に入りの設定をファイルから読み込む場合は、I[ファイル読み込み]をクリックし、お気に入りが保存してあるファイルを指定します。

5. D[お気に入りの適用]をクリックし、現在の印刷の設定をお気に入りの設定に置き換えます。

6. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

メモ

- 印刷の設定を確認する方法については、「印刷の設定を確認する →P.187 」を参照してください。

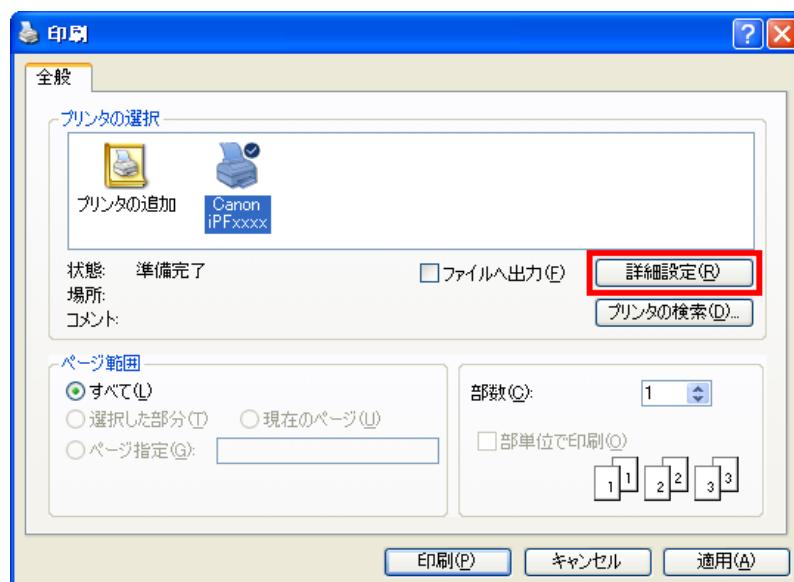
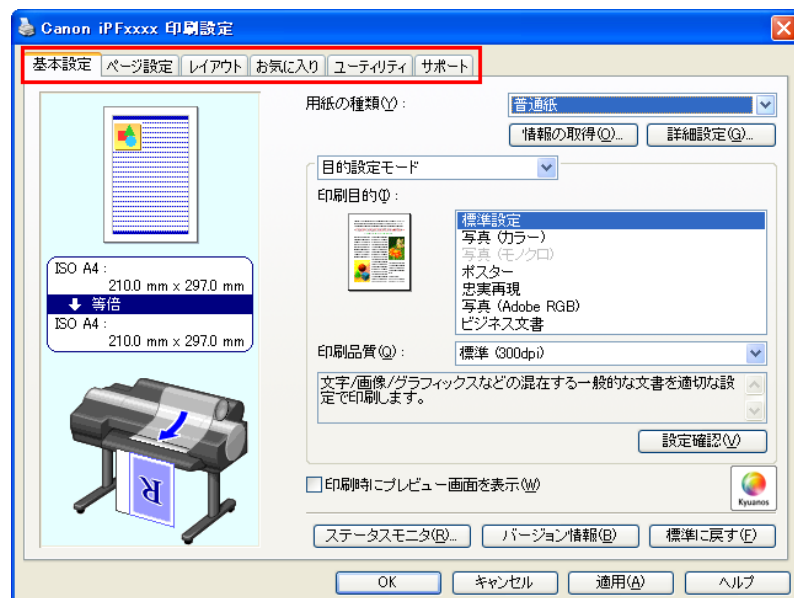
アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く

1. [ファイル]メニューから[印刷](プリント)を選択し、印刷の条件を設定するダイアログボックスを開きます。

2. プリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。

メモ

- 印刷の条件を設定するダイアログボックスはアプリケーションソフトによって異なります。プリンタを選択すると、表示されているダイアログボックスにプリンタドライバの設定用のシートが追加されるアプリケーションソフトもあります。
以下の例では、[詳細設定]をクリックします。

- アプリケーションソフトから表示される[印刷]ダイアログボックスの例

[基本設定]、[ページ設定]、[レイアウト]、[お気に入り]、[ユーティリティ]、[サポート]の 6 つのシートが、プリンタドライバが表示する印刷の設定用のシートです。

メモ

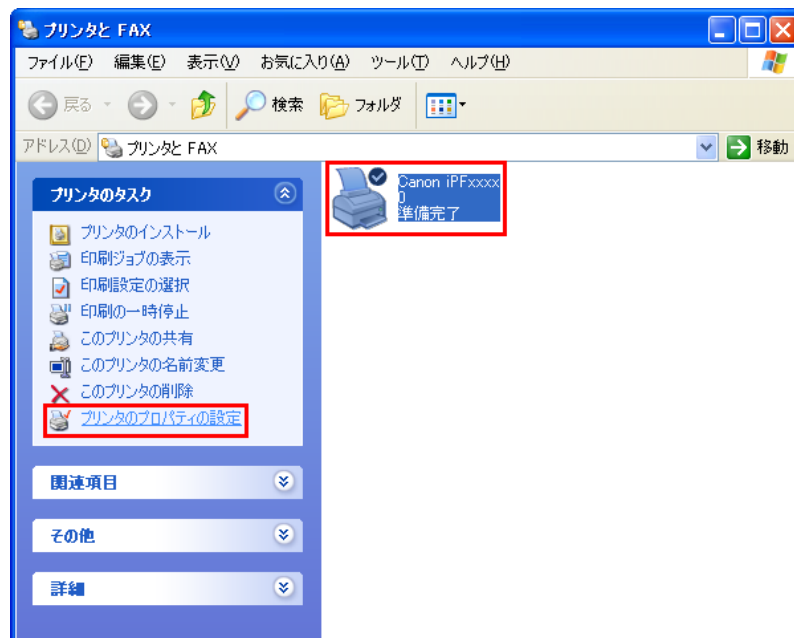
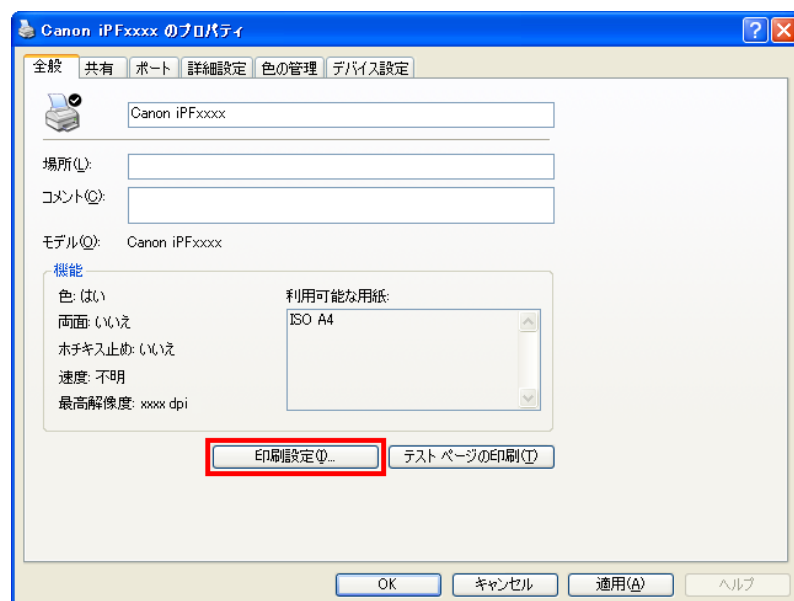
- アプリケーションソフトによっては、ダイアログボックスのタイトルが異なったり、上記の 6 つ以外のシートも表示される場合があります。

重要

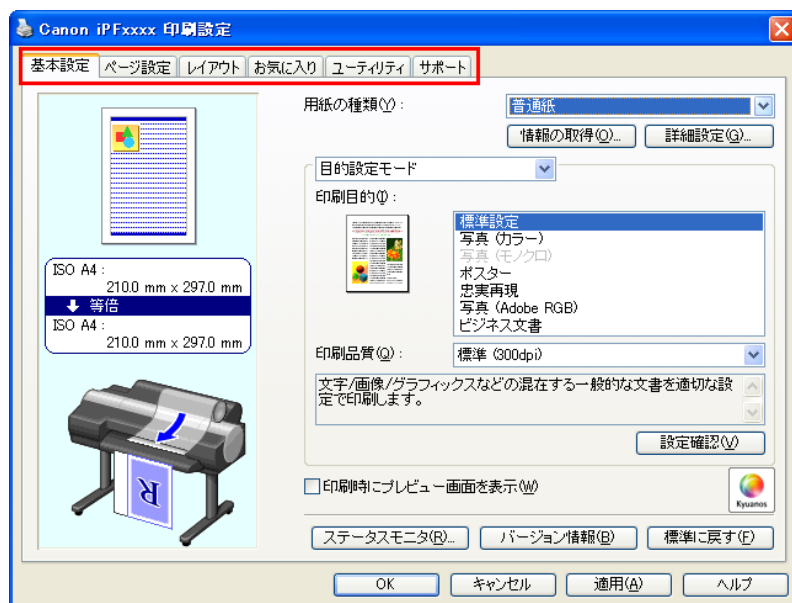
- アプリケーションソフトで開いたプリンタドライバのダイアログボックスで行った設定は、そのアプリケーションソフトで有効な一時的な設定です。アプリケーションソフトを終了した時点で無効になります。
- プリンタドライバのダイアログボックスは、Windows のシステムのメニューから開くこともできます。
  設定を継続的に全てのアプリケーションで使用する場合は、システムのメニューからプリンタドライバを開いて設定してください。
  「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.193 」を参照してください。

システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く

1. [スタート]メニューから[プリンタと FAX](または[プリンタ])を開きます。

2. プリンタを選択し、プリンタのプロパティのダイアログボックスを開きます。

3. [印刷設定]をクリックし、タイトルにプリンタ名の付いた[印刷設定]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [デバイス設定]シートもプリンタドライバの一部です。(「デバイス設定シート →P.223」参照)

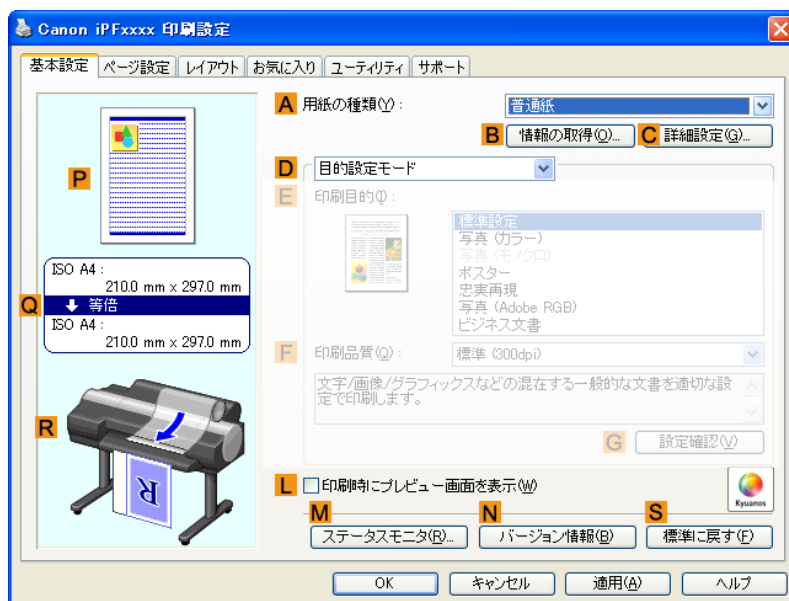
[基本設定]、[ページ設定]、[レイアウト]、[お気に入り]、[ユーティリティ]、[サポート]の 6 つのシートが、プリンタドライバが表示する印刷の設定用のシートです。

重要

- システムのメニューで開いたプリンタドライバのダイアログボックスで行った設定は、すべてのアプリケーションソフトで有効になります。
- プリンタドライバのダイアログボックスは、アプリケーションソフトから開くこともできます。「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.191 」を参照してください。

基本設定シート

[基本設定]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- [基本設定]シートは、目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]を切り替えて使用することができます。

共通項目

A[用紙の種類]

用紙の種類を選択できます。
プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.663 」参照)

B[情報の取得]

[プリンタの用紙情報]を表示します。給紙方法を選択し、プリンタドライバの給紙方法、用紙の種類およびロール紙幅に反映させることができます。

- プリンタの用紙情報ダイアログボックス →P.198

C[詳細設定]

[用紙の詳細設定]を表示します。インクの乾燥時間など、用紙の種類に合わせた印刷の方法を設定できます。

- 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.199

L[印刷時にプレビュー画面を表示]

オンにすると、印刷前に[imagePROGRAF Preview]が起動します。
イメージを画面上で確認してから印刷できます。

- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.166

M[ステータスモニタ]

imagePROGRAF Status Monitor が起動します。
プリンタの状態やジョブの状態などを確認できます。
また、プリンタにエラーが発生した場合に、電子メールで通知する[電子メール通知]の設定ができます。
詳細は[ステータスモニタ]のヘルプを参照してください。

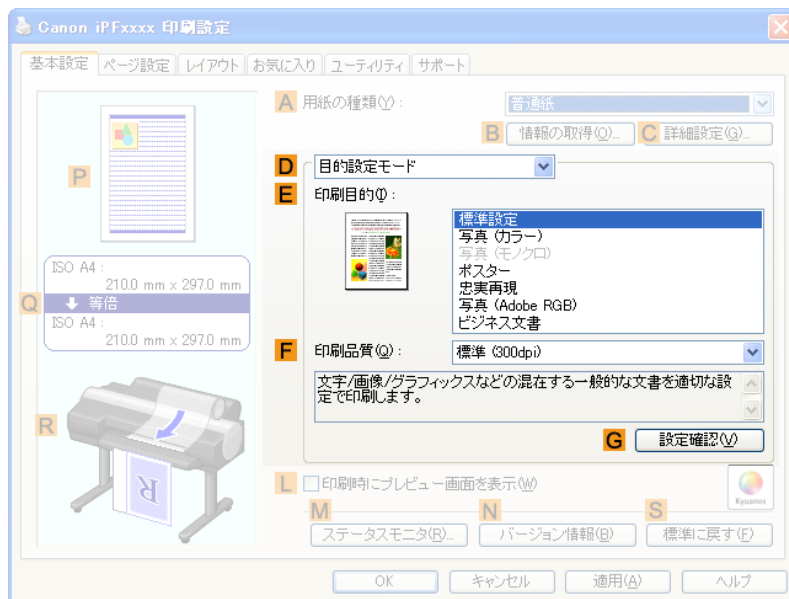
N[バージョン情報]

プリンタドライバのバージョン情報が表示されます。

S[標準に戻す]

シート内の各設定値を初期値に戻します。

[目的設定モード]を選択した場合

4

E[印刷目的]

印刷物に適した設定を選択できます。

- 写真やイラストを印刷する →P.17
- オフィスの文書を印刷する →P.33

メモ

- A[用紙の種類]によっては選択できない E[印刷目的]があります。

F[印刷品質]

印刷品質を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.49

G[設定確認]

[印刷目的]の設定値が表示されます。
[印刷目的]の設定値を確認したり、順番を変更することができます。

- 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.200

[詳細設定モード]を選択した場合

E[優先画質]

印刷結果で優先する要素を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.49

F[印刷品質]

印刷品質を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.49

T[写真高精細]

階調性や均一性を向上させ、特に写真を高画質で印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。

メモ

- A[用紙の種類]によっては T[写真高精細]を選択できない場合があります。
- T[写真高精細]と、K[文字・線画高精細]を同時にチェックすることはできません。
- 印刷品質の向上のため、プリントヘッドの位置調整が必要な場合があります。(「印刷品質を向上させる →P.708 」参照)

G[カラーモード]

カラーモードを選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.49

メモ

- A[用紙の種類]によっては選択できない G[カラーモード]があります。

H[色設定]

クリックすると[色設定]ダイアログボックスが開き、色を詳細に設定できます。

- プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.40

I[細線強調]

オンにすると、細い線をくっきりと印刷します。

J[片方向印刷]

チェックボックスをオンにすると、罫線ずれなどを防ぎ、印刷品質が向上します。ただし、印刷スピードは遅くなります。

K[文字・線画高精細]

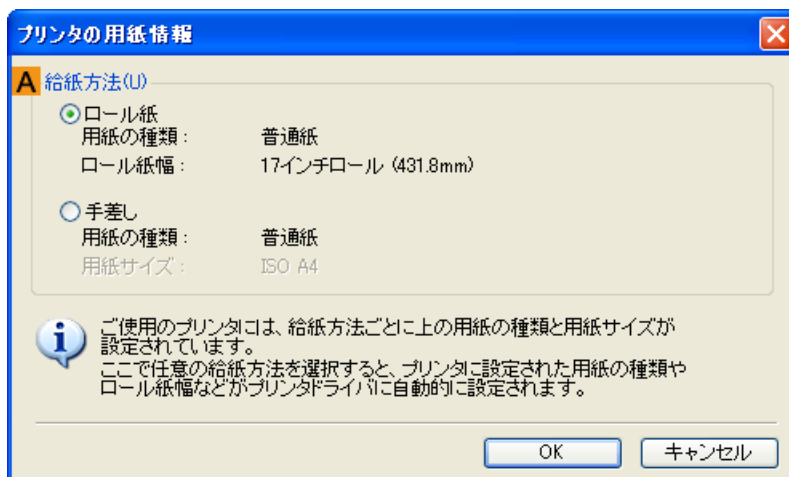
インクの着弾精度を高め、特に文字や線画をくっきりと印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。

メモ

- A[用紙の種類]によっては K[文字・線画高精細]を選択できない場合があります。
- 印刷品質の向上のため、プリントヘッドの位置調整が必要な場合があります。(「印刷品質を向上させる →P.708」参照)

プリンタの用紙情報ダイアログボックス

[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスでは、プリンタの用紙情報を取得して、プリンタドライバの給紙方法と用紙の種類を設定することができます。

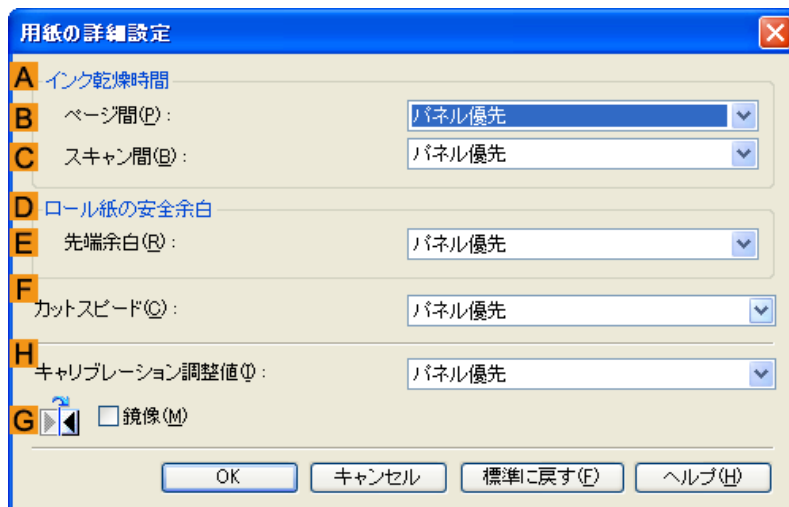
メモ

- [プリンタの用紙情報]ダイアログボックスは、[基本設定]シートで[用紙の種類]の[情報の取得]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.194」参照)

A[給紙方法]

プリンタで使用可能な給紙方法とセットされている用紙の情報が表示されます。[給紙方法]を選択して[OK]をクリックすると、プリンタドライバに給紙方法と用紙の種類が設定されます。

用紙の詳細設定ダイアログボックス

[用紙の詳細設定]ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- [用紙の詳細設定]ダイアログボックスは、[基本設定]シートで[用紙の種類]の[設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.194 」参照)

A[インク乾燥時間]

インクを乾燥させるための待ち時間を設定できます。[インク乾燥時間]の設定は、ロール紙のみ有効となります。

- (「ロール紙のインク乾燥時間を設定する →P.682 」参照)

B[ページ間]

1 ページ分を印刷してから、用紙を排紙するまでの待ち時間を設定できます。

C[スキャン間]

ページ内で 1 ラインを印刷してから、次の 1 ラインを印刷するまでの時間を設定できます。

D[ロール紙の安全余白]

カールの強い用紙をプラテンにしっかりと吸着させるために、用紙の先端に確保する余白の長さを指定することができます。

E[先端余白]

ロール紙の[先端余白]の長さを設定できます。

F[カットスピード]

オートカットのスピードを選択できます。オートカットできれいにカットできないときに調整できます。

H[キャリブレーション調整値]

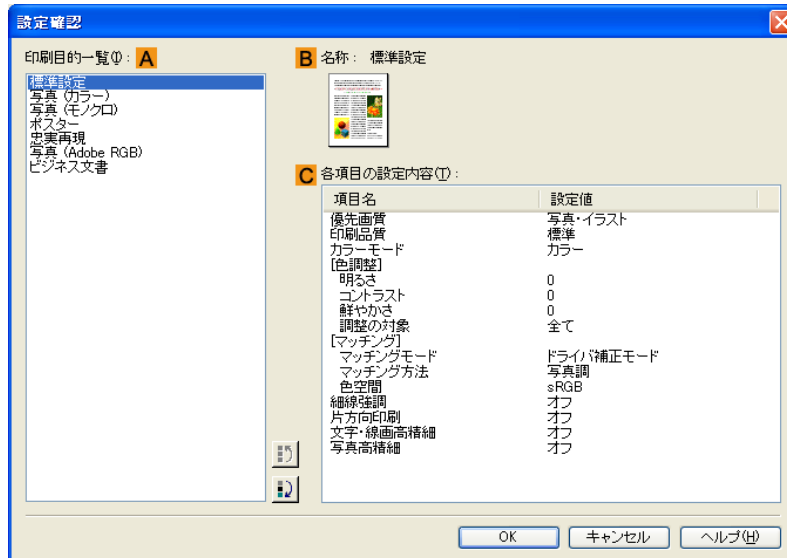
プリンタで実行したキャリブレーション結果を画像処理に適用するかを指定することができます。

G[鏡像]

鏡像印刷を行うかどうかを選択できます。クリックしてチェックボックスをオンにすると、文書や画像を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

印刷目的の設定確認ダイアログボックス

[設定確認]ダイアログボックスでは、選択した印刷目的の詳細を確認することができます。

メモ

- [設定確認]ダイアログボックスは、[基本設定]シートで[印刷目的]の[設定確認]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.194」参照)

A[印刷目的一覧]

[印刷目的]のすべての項目が表示されます。

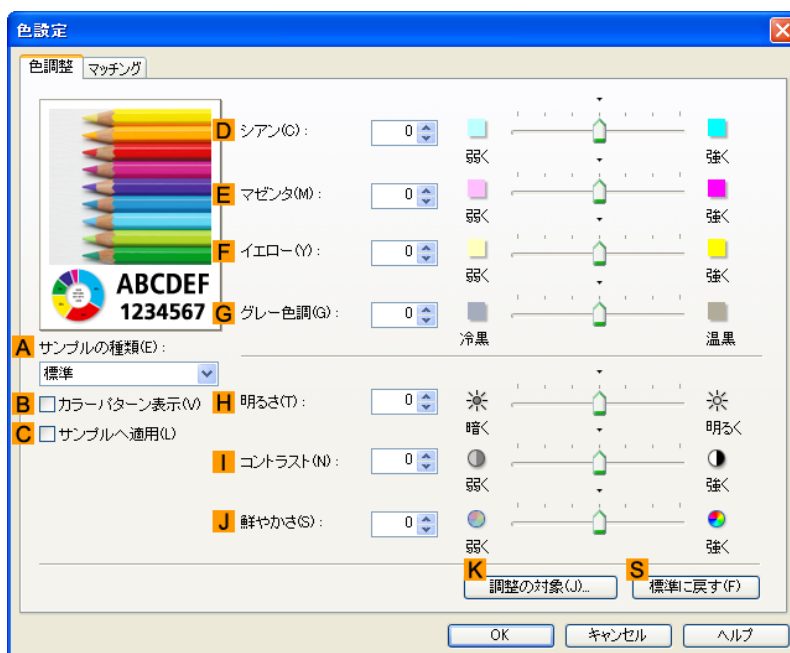
B[名称]

[印刷目的一覧]から選択した項目の名称とアイコンが表示されます。

C[各項目の設定内容]

選択した[印刷目的]の一覧から選択した各項目の細かな設定値を確認することができます。

色調整シート(カラー)

[色調整]シートでは、印刷結果が思いどおりの色調にならない場合に調整することができます。

メモ

- [色調整]シートは、[基本設定]シートで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.194 」参照)

A[サンプルの種類]

サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。

B[カラーパターン表示]

チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。

C[サンプルへ適用]

チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。

D[シアン]/E[マゼンタ]/F[イエロー]

各色の強弱を調整することで色合いを補正できます。

G[グレー色調]

グレーの色調を調整できます。[冷黒]にすると青みがかった色合いになり、[温黒]にすると赤みがかった色合いになります。

H[明るさ]

画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

I[コントラスト]

最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

J[鮮やかさ]

色の濃さを調整できます。[鮮やかさ]の設定を強くするとビビッドな色合いになり、[鮮やかさ]を弱くするとくすんだ色合いになります。

K[調整の対象]

[調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。

- 調整の対象ダイアログボックス(カラー) →P.202

S[標準に戻す]

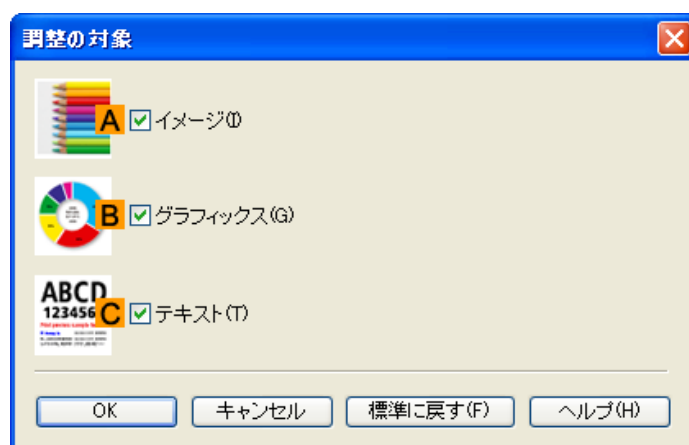
クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.40 」を参照してください。

調整の対象ダイアログボックス(カラー)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]シートの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

A[イメージ]

チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

B[グラフィックス]

チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

C[テキスト]

チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

マッチングシート

[マッチング]シートでは、異なるデバイス間で色を合わせるカラーマッチングを設定することができます。

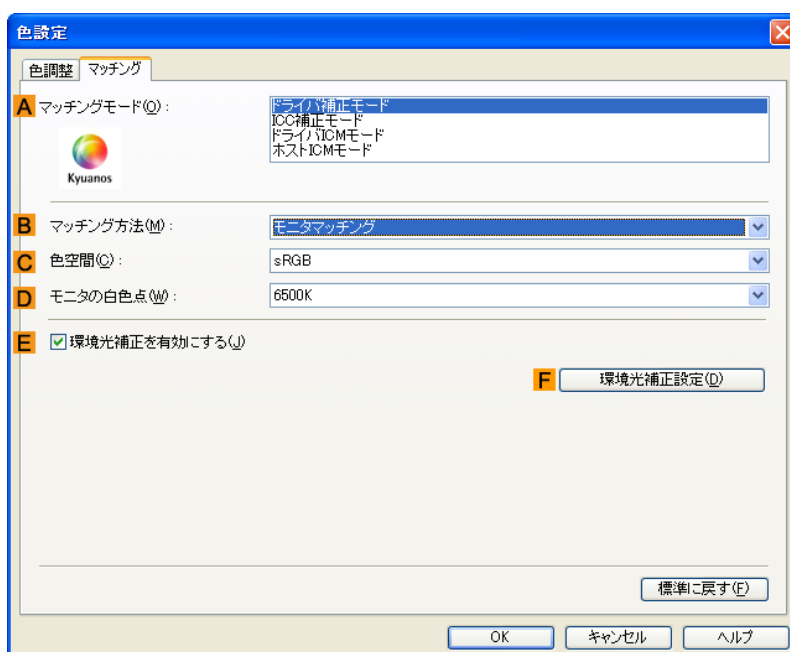
メモ

- [マッチング]シートは、[基本設定]シートで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックし、[マッチング]シートをクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.194 」参照)

重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]シートは表示されません。

[ドライバ補正モード]

A[マッチングモード]の一覧から[ドライバ補正モード]を選択したときに、以下の項目を設定できます。

A[マッチングモード]

使用するカラーマッチングを選択できます。
通常は、[ドライバ補正モード]を選択します。ICC プロファイルを使用したカラーマッチングを行いたい場合は、使用するカラーマッチングシステムに応じて[ICC 補正モード]、[ドライバ ICM モード]、[ホスト ICM モード]を選択します。

B[マッチング方法]

印刷する内容に合わせてカラーマッチング方法を選択できます。[マッチング方法]は、選択した[マッチングモード]によって設定できる項目が異なります。

C[色空間]

出力する色空間を選択できます。

D[モニタの白色点]

モニタで設定されている色温度を入力します。
B[マッチング方法]で[モニタマッチング]が選択されている場合に表示されます。

E [環境光補正を有効にする]

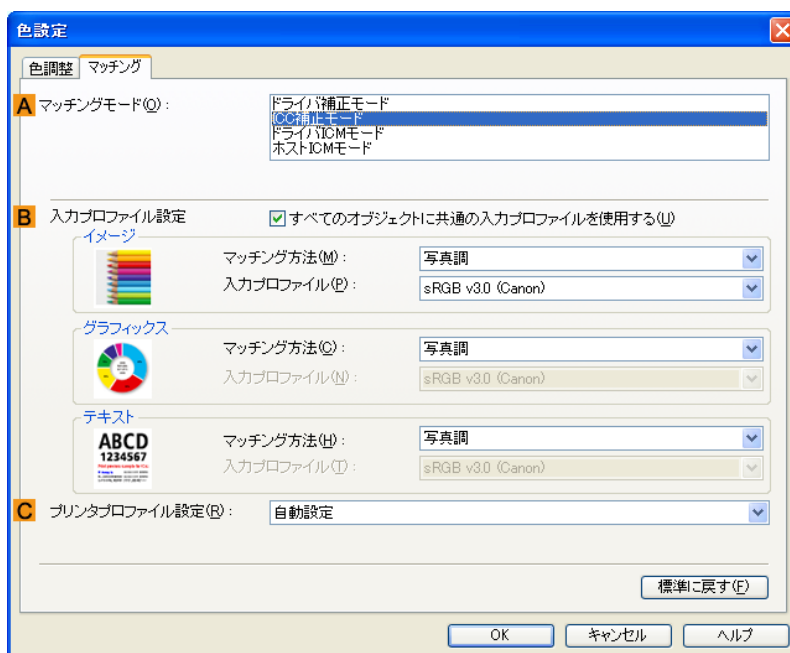
環境光補正を行う場合はクリックしてチェックマークをつけます。

F [環境光補正設定]

クリックすると[環境光補正設定]ダイアログボックスが開き、環境光にあわせて印刷をするための設定をすることができます。

- 環境光補正設定ダイアログボックス →P.205

[ICC 補正モード]/[ドライバ ICM モード]/[ホスト ICM モード]

A [マッチングモード]の一覧から[ICC 補正モード]、[ドライバ ICM モード]、[ホスト ICM モード]を選択したときは、以下の項目を設定できます。

A [マッチングモード]

使用するカラーマッチングを選択できます。

B [入力プロファイル設定]

[イメージ]、[グラフィックス]、[テキスト]それぞれを選択できます。[マッチング方法]と[入力プロファイル]を選択することができます。
選択されている[マッチングモード]によって選択できる項目が異なります。
[すべてのオブジェクトに共通の入力プロファイルを使用する]のチェックボックスがオンになっているときは、[グラフィックス]、[テキスト]にも自動的に同じ入力プロファイルが設定されます。[グラフィックス]、[テキスト]に対して、それぞれ異なる入力プロファイルを設定したいときは、[すべてのオブジェクトに共通の入力プロファイルを使用する]のチェックボックスをオフにしてから、設定します。

C [プリンタプロファイル設定]

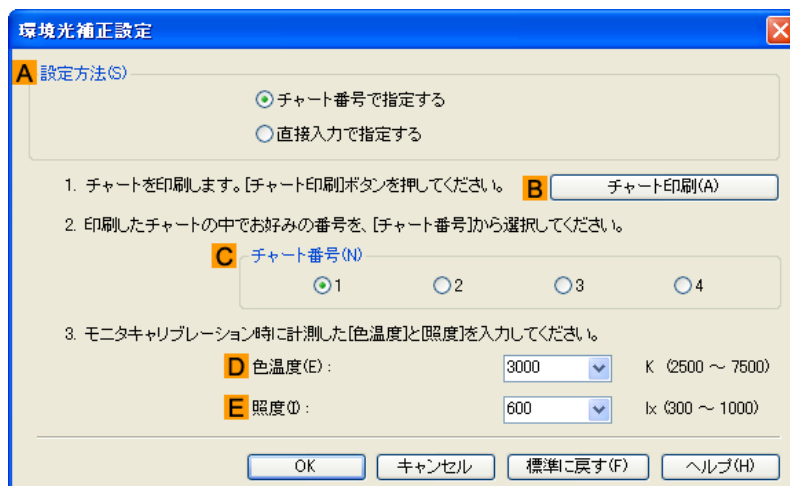
プリンタのプロファイルを設定することができます。通常は[自動設定]を選択します。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.40 」を参照してください。

環境光補正設定ダイアログボックス

[環境光補正設定]ダイアログボックスでは、設定方法を選択したり、設定に必要な情報の入力や選択をします。

[設定方法]で[チャート番号で指定する]を選択した場合

A[設定方法]

[チャート]を使用して設定を実行するか、光測定器 i1 を使用して設定を実行するか、を選択できます。

B[チャート印刷]

クリックすると[Light Source Check Tool]が起動し、[チャート]を印刷することができます。この機能を使用するには、[Light Source Check Tool]がインストールされている必要があります。

- Light Source Check Tool →P.207

C[チャート番号]

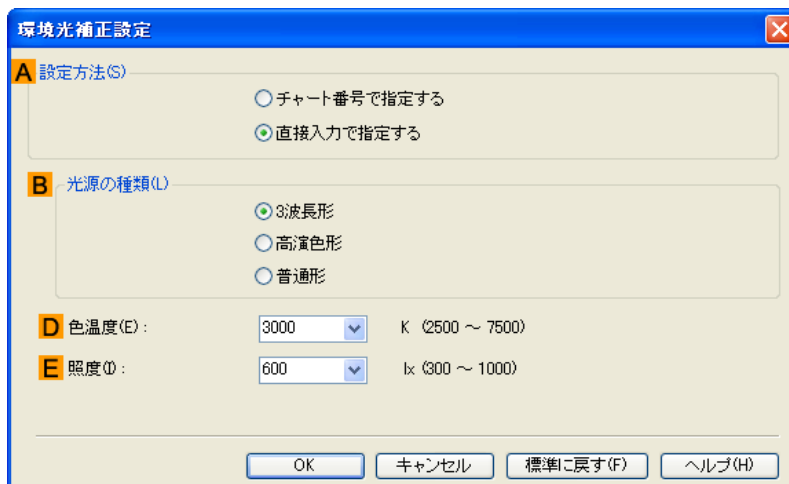
[チャート]の中からお好みの色味のパターンの数値を選択します。

D[色温度]

モニタキャリブレーション時に計測した D[色温度]を入力します。[マッチング]シートの A[マッチング方法]で[モニタマッチング]が選択されている場合に表示されます。

E[照度]

モニタキャリブレーション時に計測した E[照度]を入力します。[マッチング]シートの A[マッチング方法]で[モニタマッチング]が選択されている場合に表示されます。

[設定方法]で[直接入力で指定する]を選択した場合

4

A[設定方法]

[チャート]を使用して設定を実行するか、光測定器 i1 を使用して設定を実行するか、を選択できます。

B[光源の種類]

光測定器 i1 で測定された光源を選択します。

D[色温度]

光測定器 i1 で測定された[色温度]を入力します。

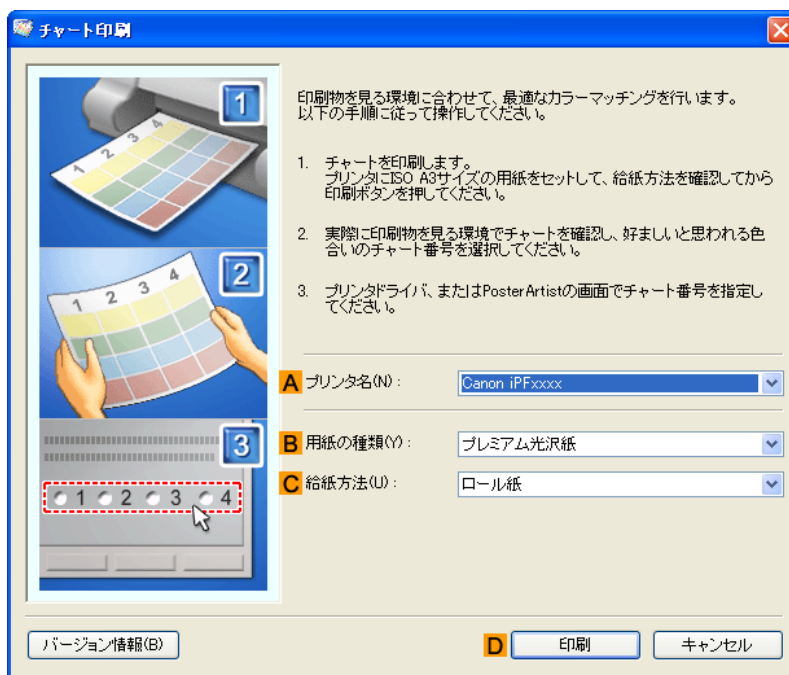
E[照度]

光測定器 i1 で測定された[照度]を入力します。
[マッチング]シートの A[マッチング方法]で[モニタマッチング]が選択されている場合に表示されます。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.40 」を参照してください。

Light Source Check Tool

[Light Source Check Tool]では、[チャート]を印刷します。

A [プリンタ名]

プリンタ名が表示されます。

B [用紙の種類]

用紙の種類を選択できます。[ドライバ補正モード]に対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.663 」参照)

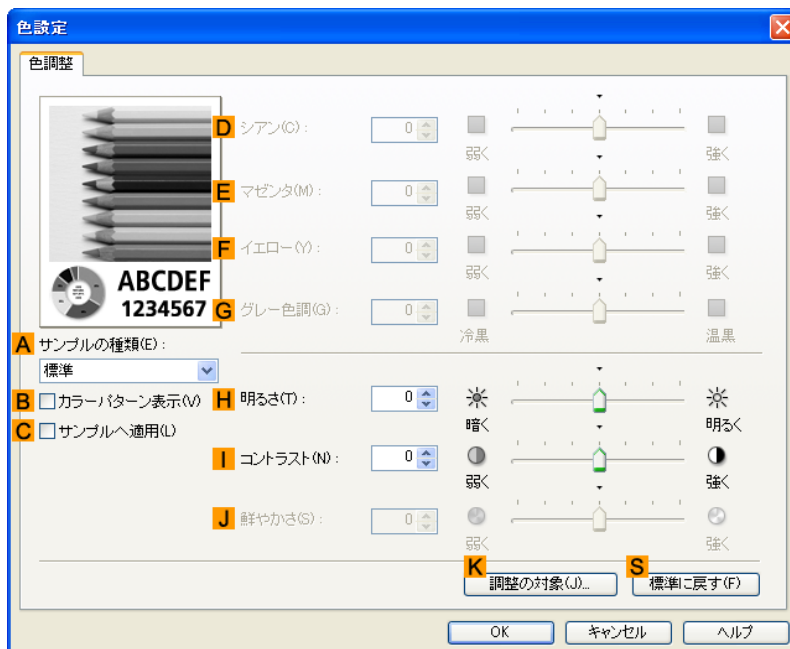
C [給紙方法]

用紙の給紙方法を選択できます。
[基本設定]シートの B [用紙の種類]で選択した項目によって、表示される項目が異なります。

D [印刷]

クリックすると[チャート]を印刷します。

色調整シート(モノクロ)

モノクロ用の[色調整]シートでは、明るさとコントラストを調整することができます。

メモ

- [色調整]シートは、[基本設定]シートで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定シート →P.194」参照)

A[サンプルの種類]

サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。

B[カラーパターン表示]

チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。

C[サンプルへ適用]

チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。

D[シアン]/E[マゼンタ]/F[イエロー]

設定できません。

G[グレー色調]

設定できません。

H[明るさ]

画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

I[コントラスト]

最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

J [鮮やかさ]

設定できません。

K [調整の対象]

[調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。

- 調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) →P.209

S [標準に戻す]

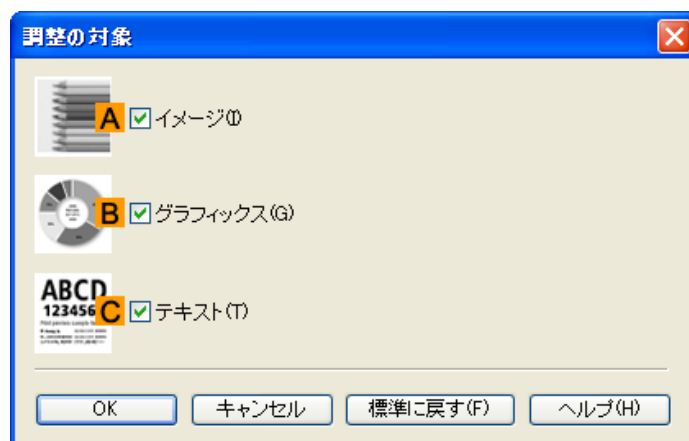
クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.40 」を参照してください。

調整の対象ダイアログボックス(モノクロ)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]シートの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

A [イメージ]

チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

B [グラフィックス]

チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

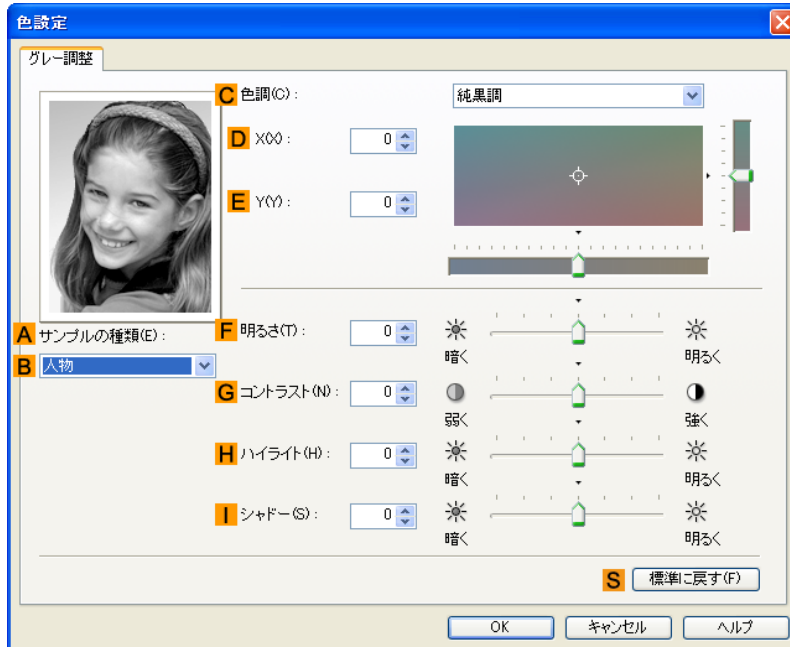
C [テキスト]

チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

グレー調整シート

[グレー調整]シートでは、以下の項目を設定できます。

[グレー調整]

[グレー調整]シートでは、色調、明るさ、コントラストなどを調整することができます。

メモ

- [グレー調整]シートは、基本設定シート →P.194 で[詳細設定モード]の[カラーモード]で[モノクロ(写真)]を選択し、[色設定]をクリックすると表示できます。
- 用紙の種類によって[モノクロ(写真)]は選択できない場合があります。

A[サンプルの種類]

シート上の各項目の設定を変更すると、左側のイメージに反映され、調整結果を確認できます。

B[サンプルリスト]

サンプルの画像を選択することができます。

C[色調]

リストをクリックして目的に合った色調を選択することができます。

D[X]/E[Y]

調整領域では色合いを確認しながら、色調の調整をすることができます。
中央の四角領域をマウスでクリック、またはドラッグして調整することができます。
水平・垂直のスライドバーを左右、上下にドラッグして調整することができます。
D[X](横方向)、E[Y](縦方向)の数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して色調を調整することができます。

F[明るさ]

画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

G[コントラスト]

最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。G[コントラスト]を強くするとメリハリが付き G[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

H[ハイライト]

最も明るい部分の明るさを調整することができます。

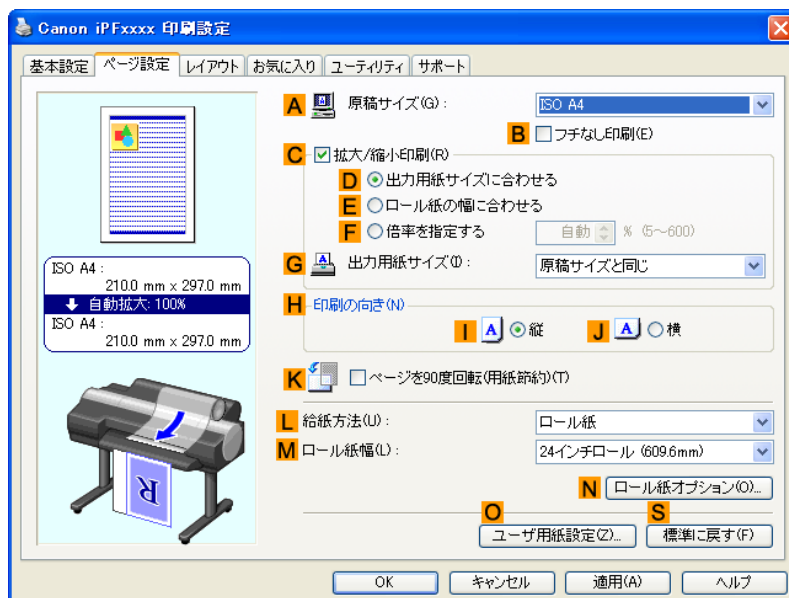
I[シャドー]

最も暗い部分の明るさを調整することができます。

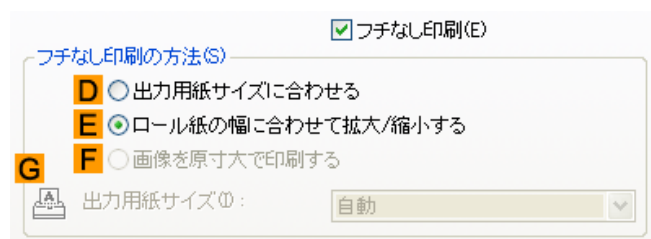
S[標準に戻す]

クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

ページ設定シート

[ページ設定]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

A[原稿サイズ]

アプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択できます。
選択できる原稿のサイズについては、「用紙のサイズ →P.666」を参照してください。

B[フチなし印刷]

L[給紙方法]の一覧からロール紙を選択すると有効になります。オンにすると、以下の項目を選択できます。

- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する →P.90
- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する →P.96
- 原寸大のフチなしで印刷する →P.83

D[出力用紙サイズに合わせる]

原稿を、印刷する用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷できます。

E[ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小する]

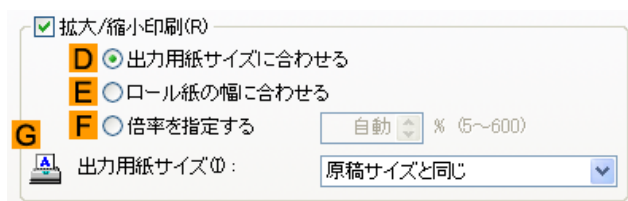
原稿を、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷できます。

F[画像を原寸大で印刷する]

画像を原寸大で印刷できます。A[原稿サイズ]の一覧から、原稿の高さまたは幅が[ロール紙]の幅と同じサイズを選択したときに有効になります。

G[出力用紙サイズ]

D[出力用紙サイズに合わせる]を選択すると有効になります。
印刷する用紙のサイズを選択できます。
選択できる用紙のサイズについては、「用紙のサイズ →P.666 」を参照してください。
一覧には、フチなしで印刷できる用紙のサイズが表示されます。

C[拡大/縮小印刷]

オンにすると、以下の項目を選択できます。

- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する →P.58
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する →P.64
- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する →P.69

D[出力用紙サイズに合わせる]

原稿を、印刷する用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷できます。

E[ロール紙の幅に合わせる]

原稿を、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷できます。

F[倍率を指定する]

原稿を、指定した倍率で拡大/縮小して印刷できます。[5～600]の値を入力できます。

G[出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択できます。
選択できる用紙のサイズについては、「用紙のサイズ →P.666 」を参照してください。

H[印刷の向き]

印刷の向きを選択できます。

- 原稿の向きを用紙に合わせて印刷する →P.171

K[ページを 90 度回転(用紙節約)]

オンにすると、ページを 90 度回転して印刷できます。

- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.152

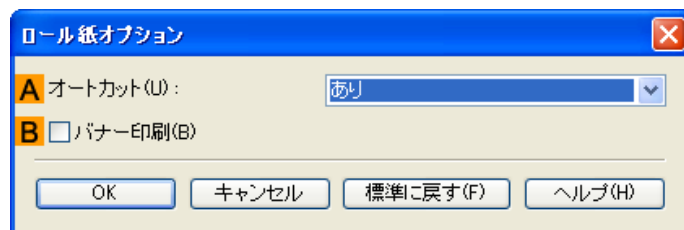
L[給紙方法]

用紙の給紙方法を選択できます。
[基本設定]シートの[用紙の種類]で選択した項目によって、表示される項目が異なります。

M[ロール紙幅]

ロール紙の幅を選択できます。
選択できるロール紙の幅については、「用紙のサイズ →P.666 」を参照してください。

N[ロール紙オプション]

ロール紙のオプション設定を行います。クリックすると[ロール紙オプション]ダイアログボックスが開きます。

A[オートカット]の一覧からオートカットの[あり]/[なし]や[カットラインを印刷]を設定できます。

- 印刷後にロール紙をカットする →P.177

複数ページをつなげて印刷する場合は B[バナー印刷]をチェックします。

- 複数ページをつなげて印刷する →P.125

O[ユーザ用紙設定]

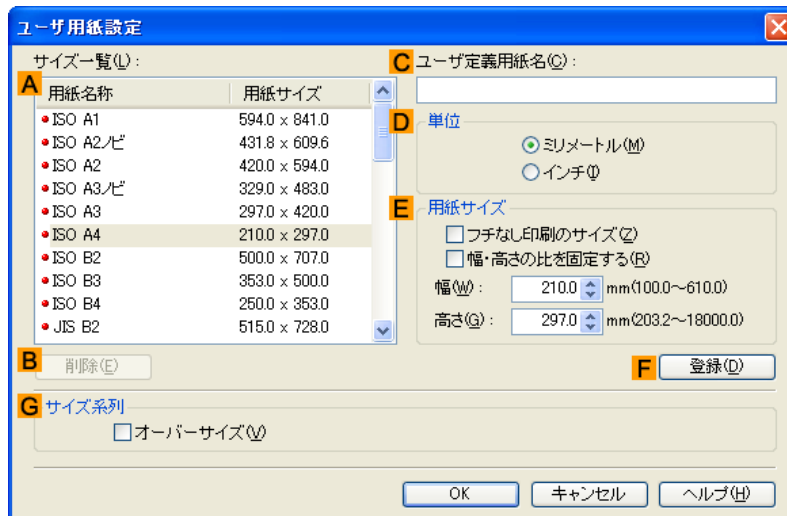
クリックすると[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスが開き、独自の用紙サイズを登録したり、使用するサイズの系列を設定できます。

- ユーザ用紙設定ダイアログボックス →P.214

S[標準に戻す]

シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

ユーザ用紙設定ダイアログボックス

[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスでは、独自のユーザ定義用紙を作成して登録することができます。定義した用紙サイズは、標準の用紙サイズとともに一覧から選択できるようになります。

メモ

- [ユーザ用紙設定]ダイアログボックスは、[ページ設定]シートの[ユーザ用紙設定]をクリックすると表示できます。(「ページ設定シート →P.211 」参照)

A[サイズ一覧]

プリンタドライバで使用可能な用紙サイズの名称とサイズが表示されます。

B[削除]

A[サイズ一覧]からユーザが作成したユーザ定義用紙を削除することができます。
以下の場合は、削除することができません。

- プリンタドライバ標準の用紙サイズを選択した場合
- オーバーサイズの用紙サイズを選択した場合
- 赤い丸の付いた用紙サイズを選択した場合

C[ユーザ定義用紙名]

ユーザ定義用紙の名称を指定することができます。

D[単位]

ユーザ定義用紙の高さ、幅のサイズの単位を指定することができます。

E[用紙サイズ]

用紙の[幅]と[高さ]を指定することができます。[フチなし印刷のサイズ]チェックボックスをオンにすると、[フチなし印刷]が可能なサイズから選択することができます。[幅・高さの比を固定する]チェックボックスをオンにすると、[幅]と[高さ]の比率を保ったままサイズを変更することができます。

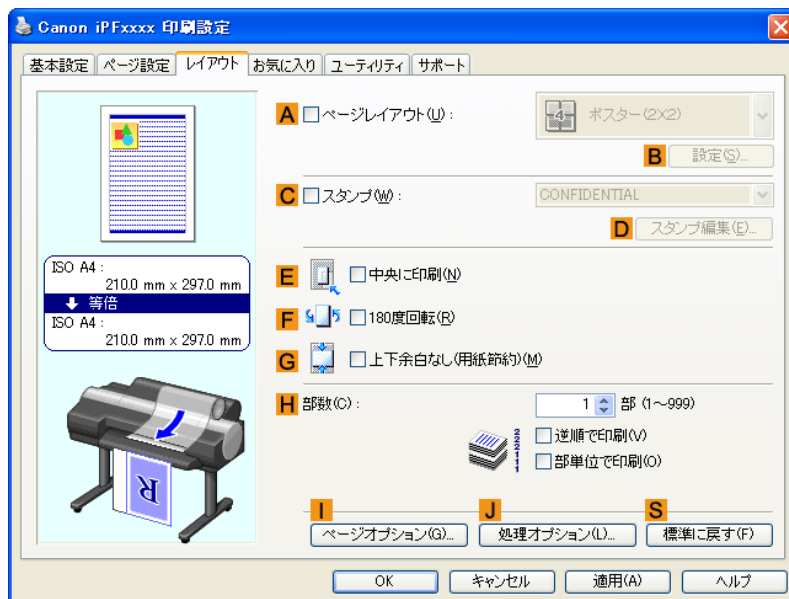
F[登録]

設定したユーザ定義用紙を登録したり、既存のユーザ定義用紙を上書きすることができます。

G[サイズ系列]

[原稿サイズ]、[出力用紙サイズ]、[サイズ一覧]に表示する選択肢の数を制限することができます。

レイアウトシート

[レイアウト]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

A[ページレイアウト]

オンにすると、ページレイアウトを選択できます。

- 複数のページを 1 ページにまとめて印刷する →P.130
- ポスターを分割して印刷する →P.136
- 複数の原稿を並べて印刷する →P.120
- PosterArtist で編集して印刷する →P.163

B[設定]

クリックすると、A[ページレイアウト]で選択した項目によって、以下のいずれかのダイアログボックスが開き、レイアウトの詳細や印刷するページを設定できます。

- [N ページ印刷]
- [出力ページの指定]
- [フリーレイアウト設定]

C[スタンプ]

オンにすると、[スタンプリスト]と D[スタンプ編集]が選択できるようになります。

- スタンプを押して印刷する →P.168

[スタンプリスト]

あらかじめ用意されたスタンプのリストが表示されます。印刷したいスタンプを選びます。

D[スタンプ編集]

クリックすると[スタンプ編集]ダイアログボックスが開き、独自のスタンプを定義できます。

E[中央に印刷]

オンにすると、原稿を用紙の中央に印刷できます。

- 原稿をロール紙の中央に印刷する →P.140
- 原稿をカット紙の中央に印刷する →P.146

F[180 度回転]

オンにすると、原稿を 180 度回転して印刷できます。

G[上下余白なし(用紙節約)]

オンにすると、原稿の上下に余白がある場合、余白を除いて印刷し、用紙を節約できます。

- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する →P.157

H[部数]

印刷部数を[1～999]の値で入力できます。

[逆順で印刷]

オンにすると、最終ページから逆の順番で印刷できます。

[部単位で印刷]

オンにすると、1 部ずつまとめて、複数の部数を印刷できます。

I[ページオプション]

クリックすると[ページオプション]ダイアログボックスが開き、用紙のヘッダやフッタにユーザ名や日付、ページ番号を印刷する設定をすることができます。

- ページオプションダイアログボックス →P.217

J[処理オプション]

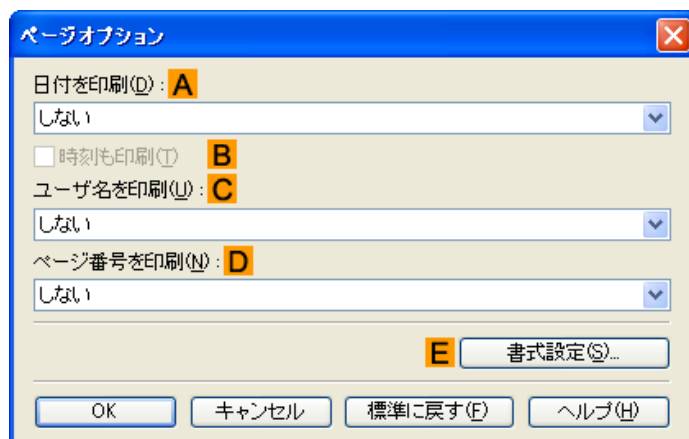
思いどおりに印刷できない場合、クリックすると、印刷の処理方法を変更できます。

- 処理オプションダイアログボックス →P.218

S[標準に戻す]

クリックすると、シート内の各設定値を初期値に戻すことができます。

ページオプションダイアログボックス

[ページオプション]ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。

メモ

- [ページオプション]ダイアログボックスは、[レイアウト]シートの[ページオプション]をクリックすると表示できます。(「レイアウトシート →P.215 」参照)

A [日付を印刷]

日付を印刷する位置を選択することができます。B [時刻も印刷]をチェックすると時刻も印刷します。

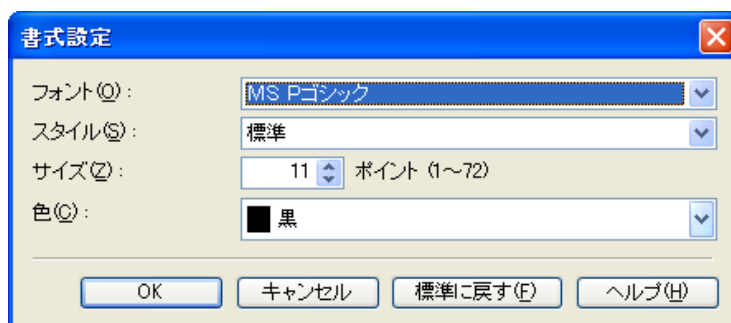
C [ユーザ名を印刷]

ユーザ名を印刷する位置を選択することができます。

D [ページ番号を印刷]

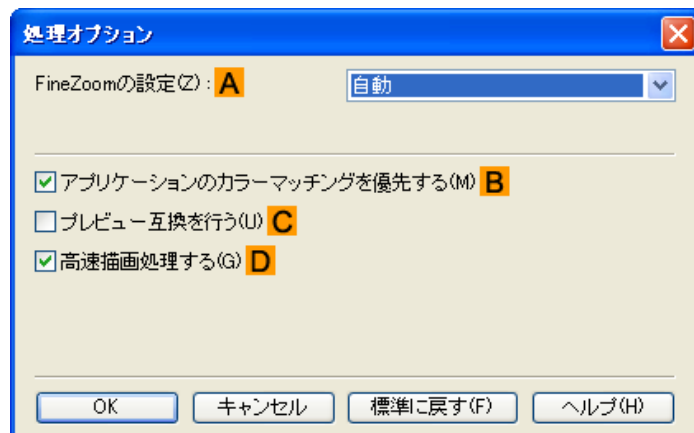
ページ番号を印刷する位置を選択することができます。

E [書式設定]

[書式設定]ダイアログボックスが開き、書式を設定する事ができます。

メモ

- 同じ位置が指定された場合には、左から日付/ユーザ名/ページ番号の順に配置して印字を行います。
- [N ページ印刷]などで複数ページを 1 枚にまとめる設定をした場合、それぞれのページに印刷されます。

処理オプションダイアログボックス

[処理オプション]ダイアログボックスでは、思いどおりの印刷結果を得られなかったときに、印刷の処理方法を変更することができます。

メモ

- [処理オプション]ダイアログボックスは、[レイアウト]シートの[処理オプション]をクリックすると表示できます。(「レイアウトシート →P.215 」参照)

A [FineZoom の設定]

長尺用紙に印刷するときに使用する機能です。通常は[自動]を選択してください。長尺用紙への印刷が正しく行われない場合は[する]を選択し、細い線が消えるなどの画像乱れが発生する場合は[しない]を選択することにより改善する場合があります。

B [アプリケーションのカラーマッチングを優先する]

アプリケーションソフトによるカラーマネージメントを優先させることができます。

C [プレビュー互換を行う]

チェックボックスをオンにすると、[基本設定]シートで[印刷時にプレビュー画面を表示]をチェックして印刷したときに、PageComposer を起動します。

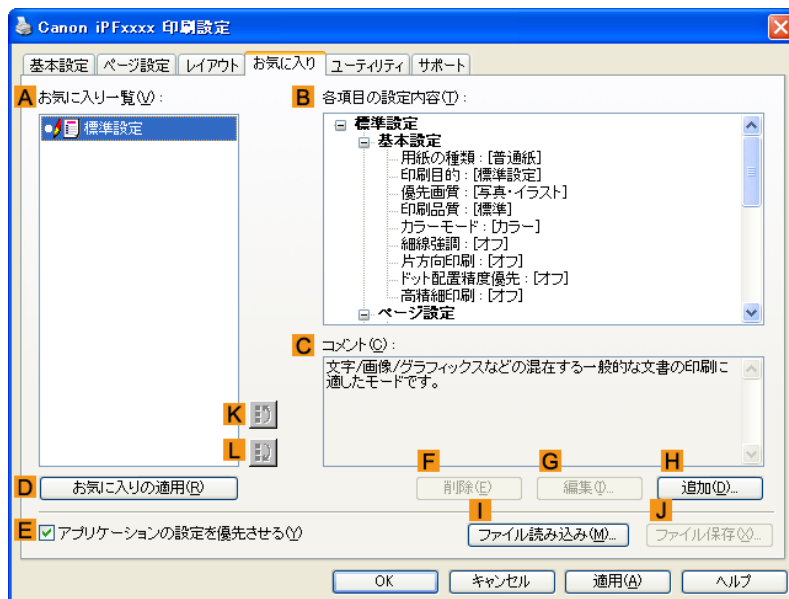
D [高速描画処理する]

画像の色味や線の太さなどが違って印刷されたとき、チェックボックスをオフにすると、思いどおりの印刷結果を得られることがあります。

重要

- この機能は 64 ビット版の Windows では使用できません。

お気に入りシート

[お気に入り]シートでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

A[お気に入り一覧]

[標準設定]と、独自に作成したお気に入りの設定の一覧が表示されます。

- お気に入りの設定で印刷する →P.177

B[各項目の設定内容]

A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定の設定内容が表示されます。

C[コメント]

お気に入りの設定に登録したコメントが表示されます。

D[お気に入りの適用]

クリックすると、印刷の設定を、A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定に変更できます。

E[アプリケーションの設定を優先させる]

オンにすると、D[お気に入りの適用]をクリックしたときに、A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定よりも、アプリケーションソフトでの設定を優先します。優先される項目については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

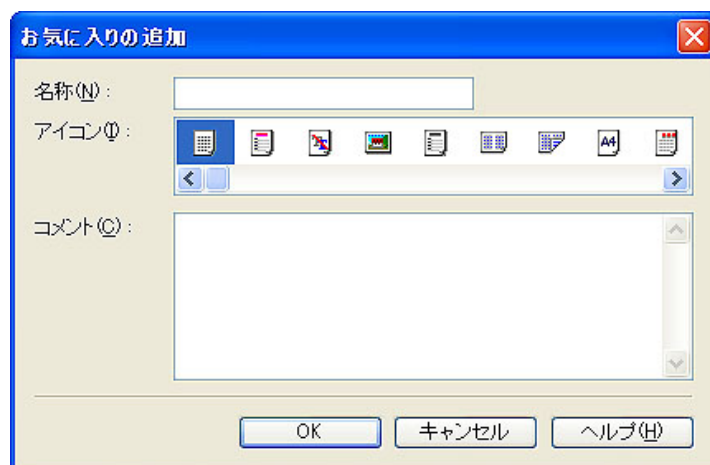
F[削除]

クリックすると、A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定を削除できます。

G[編集]

クリックすると[お気に入りの編集]ダイアログボックスが開き、A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定の名前やアイコンを編集できます。

H[追加]

クリックすると[お気に入りの追加]ダイアログボックスが開き、現在の印刷の設定をお気に入りの設定として登録できます。

I[ファイル読み込み]

クリックすると[ファイルを開く]ダイアログボックスが開き、ファイルに保存されているお気に入りの設定を読み込むことができます。

J[ファイル保存]

クリックすると[名前を付けて保存]ダイアログボックスが開き、お気に入りの設定をファイルに保存できます。

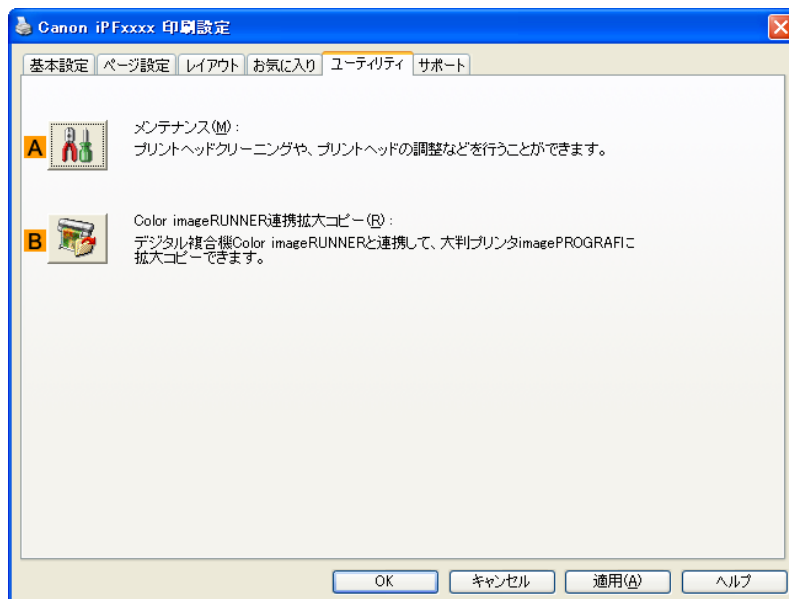
K[上へ]

クリックすると A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定を上へ変更することができます。

L[下へ]

クリックすると A[お気に入り一覧]の一覧から選択したお気に入りの設定を下へ変更することができます。

ユーティリティシート

[ユーティリティ]シートでは、以下の項目を実行できます。ユーティリティの詳細については、各ユーティリティのヘルプを参照してください。

A [メンテナンス]

クリックすると imagePROGRAF Status Monitor が起動し、以下のプリンタのメンテナンスを実行できます。

- ノズル(インクの噴き出し口)のチェック
- ノズル(インクの噴き出し口)のクリーニング
- ヘッドの位置の調整
- 用紙の送り量の調整

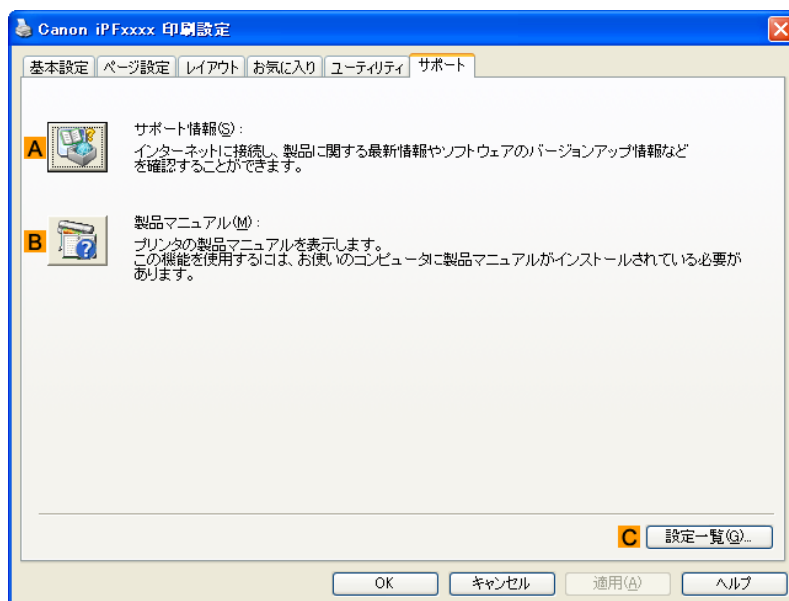
B [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]

クリックすると Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティ(iR 連携)が起動し、Color imageRUNNER 連携拡大コピーで使用されるホットフォルダを作成したり、ホットフォルダに印刷の条件を設定することができます。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.277

詳細は Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.266 を参照してください。

サポートシート

[サポート]シートでは、サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

A [サポート情報]

クリックするとインターネットに接続し、製品に関する最新の情報や消耗品の情報、プリンタドライバのバージョンアップ情報などを確認することができます。

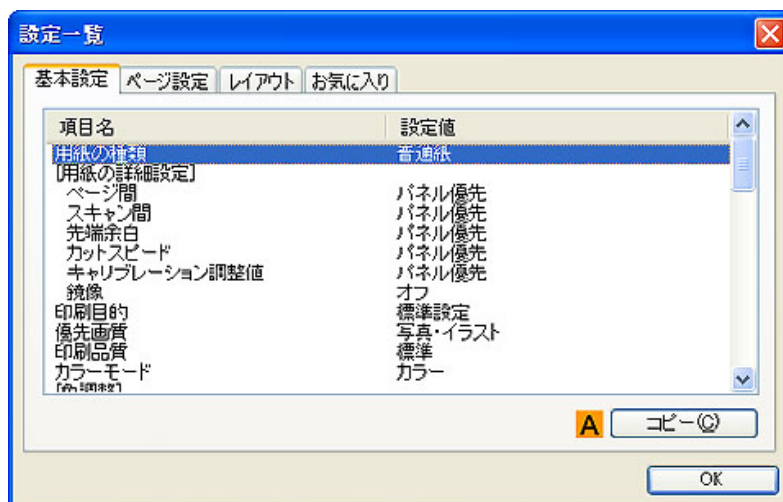
B [製品マニュアル]

クリックするとプリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、ご使用のコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

C [設定一覧]

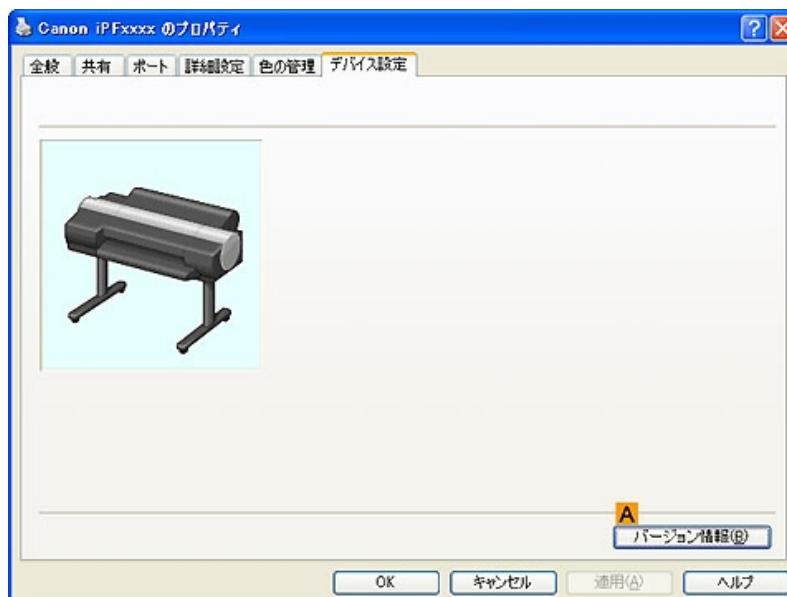
クリックすると[設定確認]ダイアログボックスが開き、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シート、[お気に入り]シートの設定を確認することができます。

設定一覧ダイアログボックス

[設定一覧]ダイアログボックスでは、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シート、[お気に入り]シートの設定を表示することができます。

A[コピー]

クリックすると、設定をクリップボードにコピーします。テキストエディタなどに貼り付けることができます。

デバイス設定シート

プリンタのプロパティのウィンドウにあるシートの多くは、Windows によって管理されています。ただし、[デバイス設定]シートはプリンタの構成に関連する設定を行うシートで、プリンタドライバの一部です。[デバイス設定]シートでは、以下の項目を設定できます。

A[バージョン情報]

プリンタドライバのバージョン情報を表示できます。

Preview

Preview の特長

Preview の主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を、プレビュー画面を見ながらレイアウトの設定を変更することができます。
- レイアウトを変更するだけでなく、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映され、プレビュー画面をそのまま印刷することができます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、Preview 上の設定と異なる場合があります。

動作環境

Preview は、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS
  Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF Printer Driver

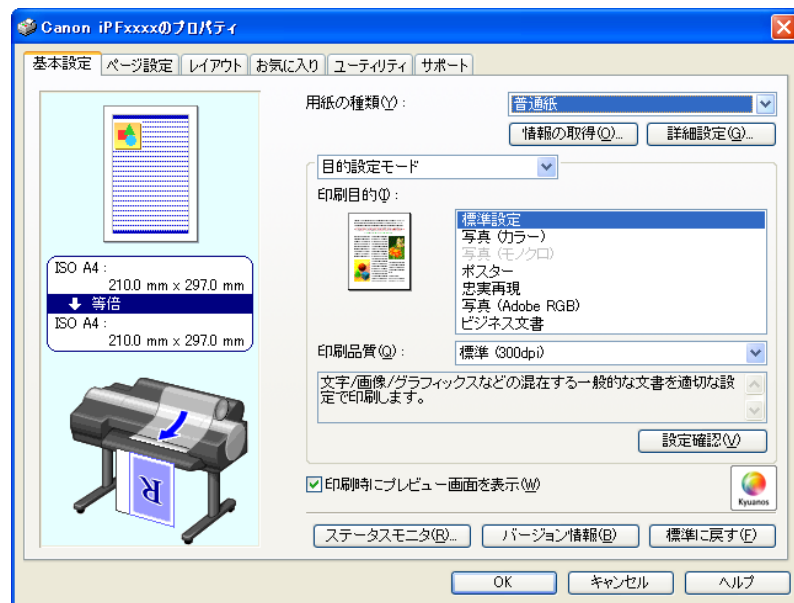
Preview の起動方法

Preview を起動する手順は、以下のとおりです。

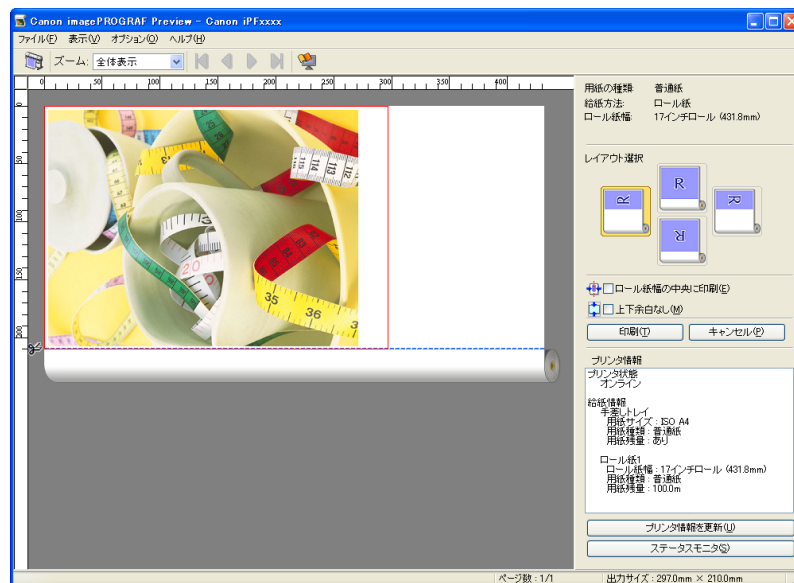
1. ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。
2. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

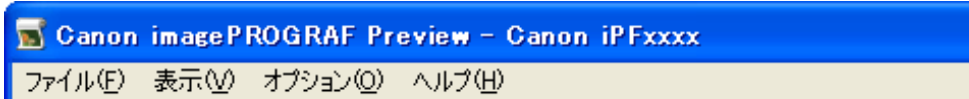
メモ

- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

3. [基本設定]シートで[印刷時にプレビュー画面を表示]チェックボックスをオンにします。
[OK]ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

メモ
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4. アプリケーションの[印刷]ダイアログボックスで[印刷]ボタンをクリックします。

5. Preview メインウィンドウが表示されます。

Preview メインウィンドウ

Preview のメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、プレビューエリア、ダイアログエリア、ステータスバーで構成されています。

メモ

- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

メニューバー

操作に必要なメニューを選択できます。

ツールバー

主な操作のツールボタンを選択できます。

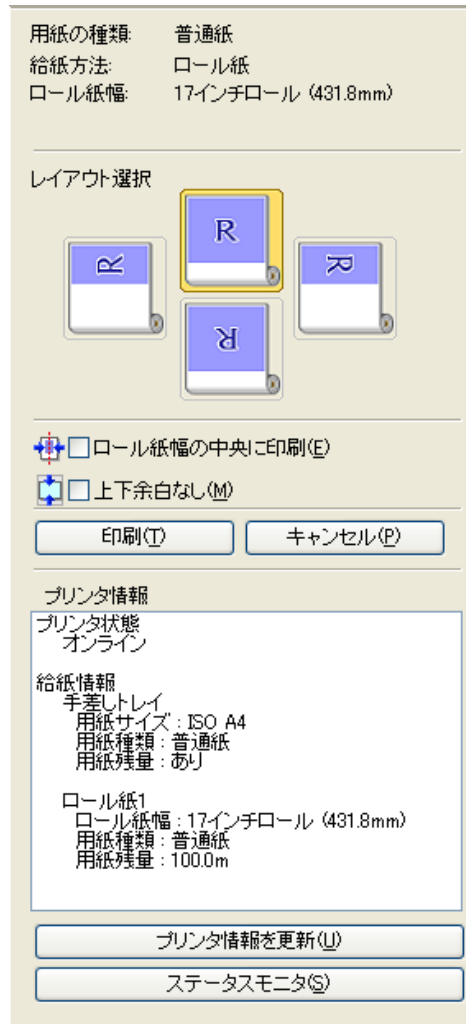
ズーム: 全体表示

プレビューエリア

設定した内容がどのように反映されるのかを確認することができます。

ダイアログエリア

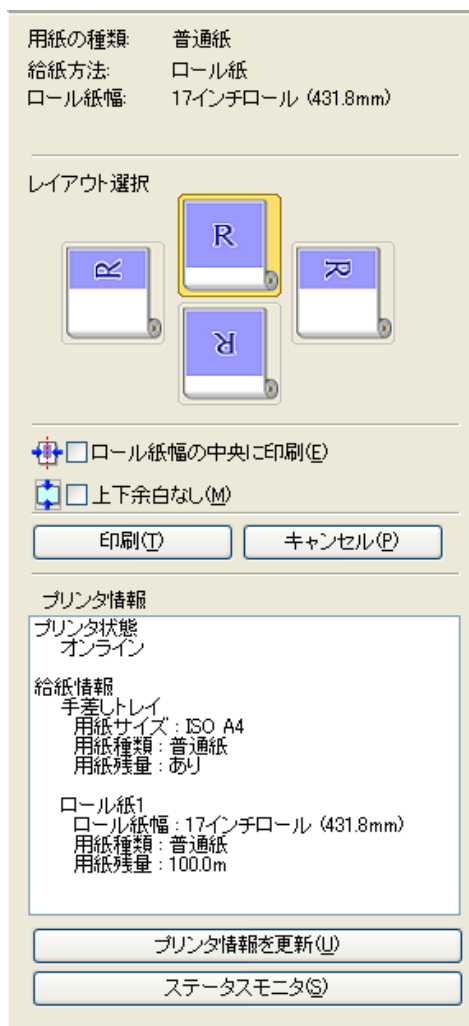
印刷条件を設定したり､印刷を実行することができます。

ダイアログエリアについて詳しくは、「ダイアログエリア」を参照してください。→P.229

ステータスバー

メッセージ、[ページ数]と[出力サイズ]が表示されます。

画像を90度回転して印刷すれば、用紙を節約できます。 ページ数 : 1/1 出力サイズ : 297.0mm × 420.0mm

ダイアログエリア

レイアウトを選択したり、中央に印刷することができます。

[用紙の種類]/[給紙方法]/用紙のサイズ

設定されている情報を確認することができます。

[レイアウト選択]

レイアウトを選択することにより、用紙を節約して印刷することができます。
[レイアウト選択]について詳しくは、「レイアウトを選択して印刷する」を参照してください。→P.233

[ロール紙幅の中央に印刷]

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷することができます。
[ロール紙幅の中央に印刷]について詳しくは、「中央に印刷する」を参照してください。→P.235

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[上下余白なし]

用紙の上下に空白領域がある印刷データの場合に、空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。
[上下余白なし]について詳しくは、「上下の余白を印刷しない」を参照してください。→P.236

メモ
• [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[印刷]ボタン

ボタンをクリックすると、印刷を開始します。

[キャンセル]ボタン

ボタンをクリックすると、印刷を中止します。

[プリンタ情報]

プリンタから取得した情報を確認することができます。

[プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンをクリックすると、プリンタと接続しプリンタ情報を更新することができます。

[ステータスモニタ]ボタン

ボタンをクリックすると、[ステータスモニタ]を起動します。

画面表示を拡大/縮小する

[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、画面表示を拡大/縮小することができます。

項目	内容
[全体表示]	全体を表示します。
[幅に合わせる]	用紙の幅に合わせて表示します。
[縮小]	標準サイズの 1/2 倍で表示します。
[標準]	標準サイズで表示します。
[拡大]	標準サイズの 2 倍で表示します。
[さらに拡大]	標準サイズの 3 倍で表示します。

メモ
• ツールバーの[ズーム]の[▼]ボタンをクリックしても、項目を選択することができます。

ページを移動する

[表示]メニューから[ページ移動]を選択すると、表示するページを移動する事ができます。

項目	内容
[最初のページへ]	最初のページに移動します。
[前のページへ]	前のページに移動します。
[次のページへ]	次のページに移動します。
[最後のページへ]	最後のページに移動します。
[ページの指定]	指定したページに移動します。

メモ

- ツールバーの でページを移動することもできます。

ルーラーを使用する

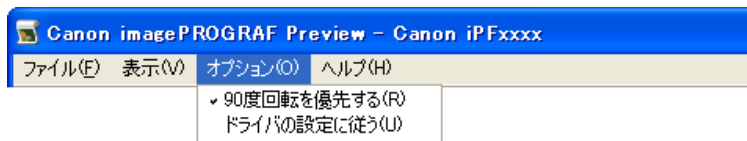
ルーラーを使用してレイアウトを確認することができます。

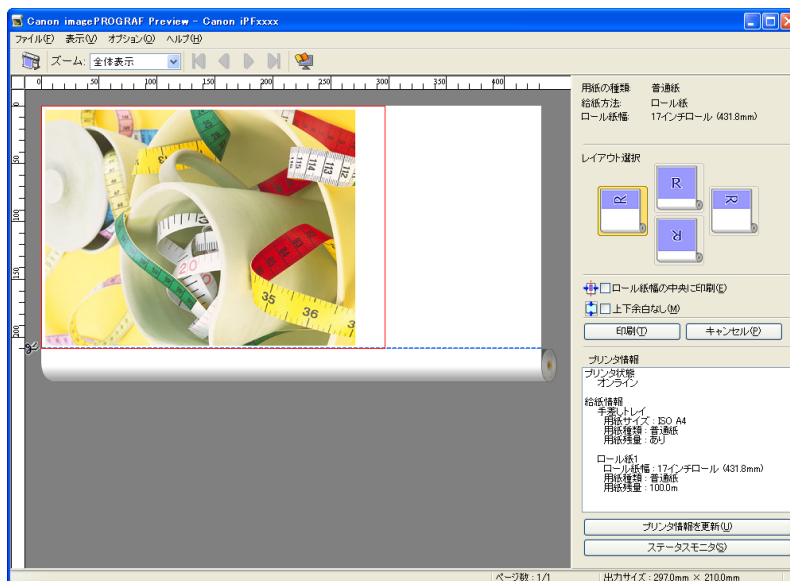
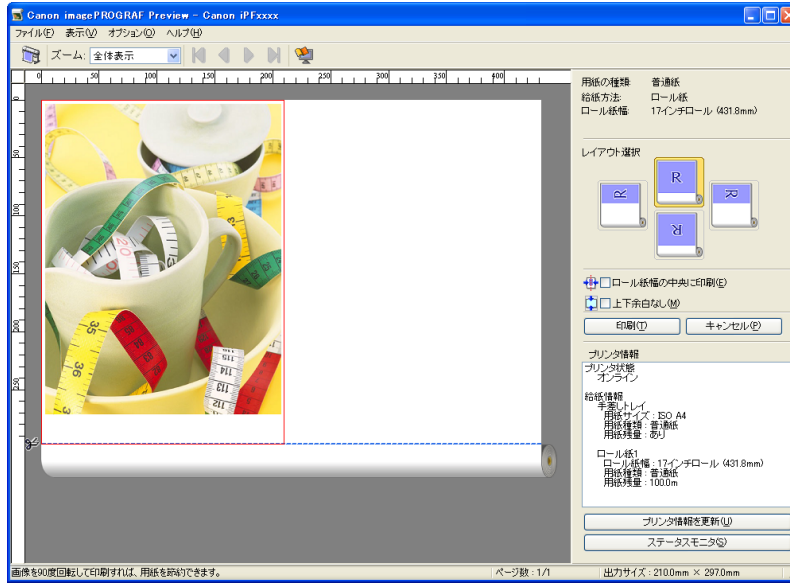
- ルーラーの表示/非表示を切り替える
  [表示]メニューから[ルーラー]を選択すると、ルーラーの表示/非表示が切り替わります。

- ルーラーの表示単位を変更する
  [表示]メニューから[表示単位]を選択すると、ルーラーの表示単位を設定することができます。

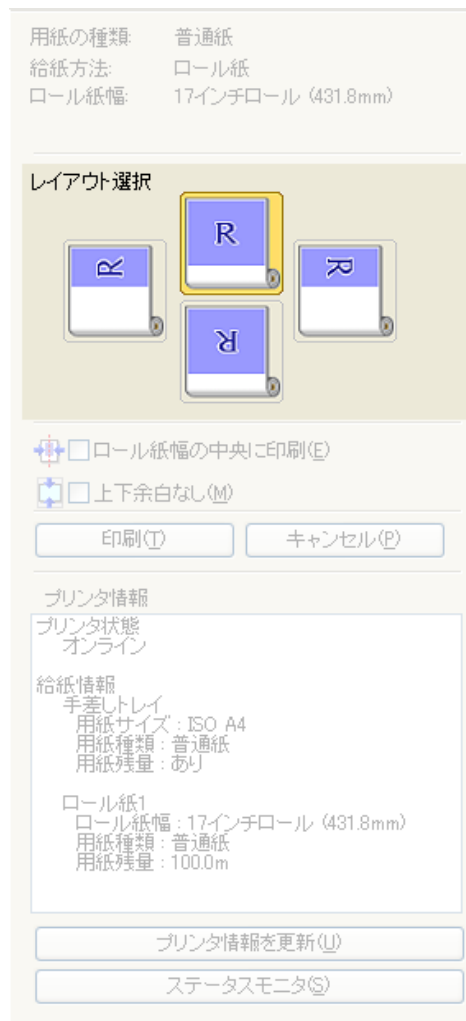
項目	内容
[ミリメートル]	ルーラーの目盛りをミリ単位で表示します。
[インチ]	ルーラーの目盛りをインチ単位で表示します。

90 度回転の優先設定を行う

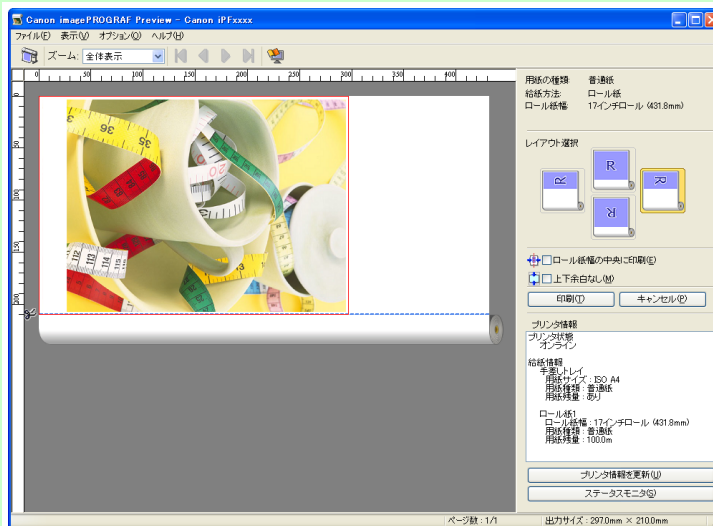
[オプション]メニューから[90 度回転を優先する]または、[ドライバの設定に従う]を選択することができます。

項目	内容
[90 度回転を優先する]	縦長のページを 90 度回転して印刷します。回転した結果、ロール紙幅に収まるときにのみ自動的にページを回転します。
[ドライバの設定に従う]	ページを回転させるかどうかは、プリンタドライバの設定に従います。

[90 度回転を優先する]が選択されている、またはプリンタドライバで[ページを 90 度回転(用紙節約)]がチェックされている場合

[ドライバの設定に従う]が選択されている場合

レイアウトを選択して印刷する

レイアウトを選択することにより、用紙を節約して印刷することができます。

1. [レイアウト選択]で変更したいレイアウトのボタンをクリックします。

ボタン	内容
[上ボタン]	の位置に回転します。
[右ボタン]	の位置に回転します。
[左ボタン]	の位置に回転します。
[下ボタン]	の位置に回転します。

メモ

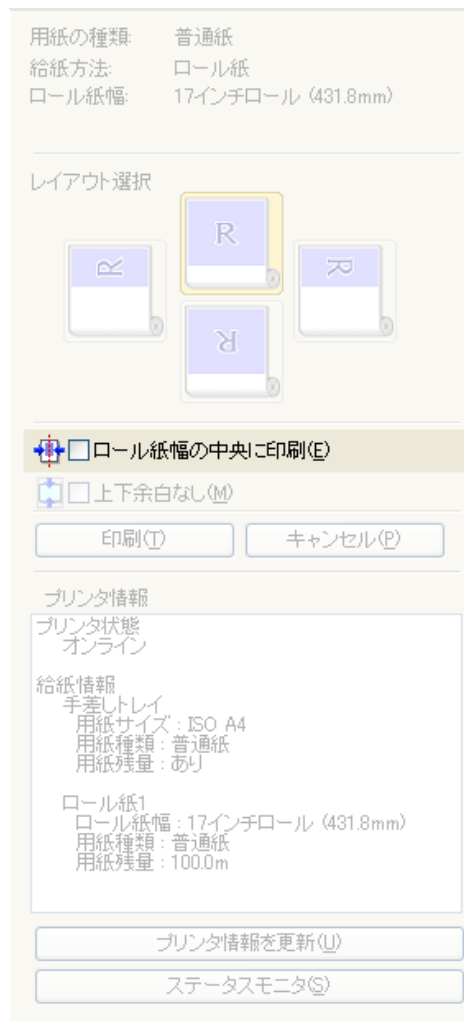
- [右ボタン]または[左ボタン]は回転した結果、ロール紙幅に収まるときにのみ選択することができます。
- [右ボタン]または[左ボタン]をクリックすると、ロール紙上に横長に印刷されるため、用紙を節約できます。
- [カット紙]が選択されている場合は、[上ボタン]または[下ボタン]のみ選択することができます。

ボタン	内容
	現在選択されているボタンです。
	選択することができるボタンです。
	選択することができないボタンです。

2. [印刷]ボタンをクリックします。

選択されたレイアウトで印刷が開始されます。

中央に印刷する

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷することができます。

1. [ロール紙幅の中央に印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

2. [印刷]ボタンをクリックします。

用紙の中央に印刷が開始されます。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

上下の余白を印刷しない

用紙の上下に空白領域のあるデータを印刷するとき、マージン以外の空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。

1. [上下余白なし]をクリックしてチェックマークを付けます。

2. [印刷]ボタンをクリックします。

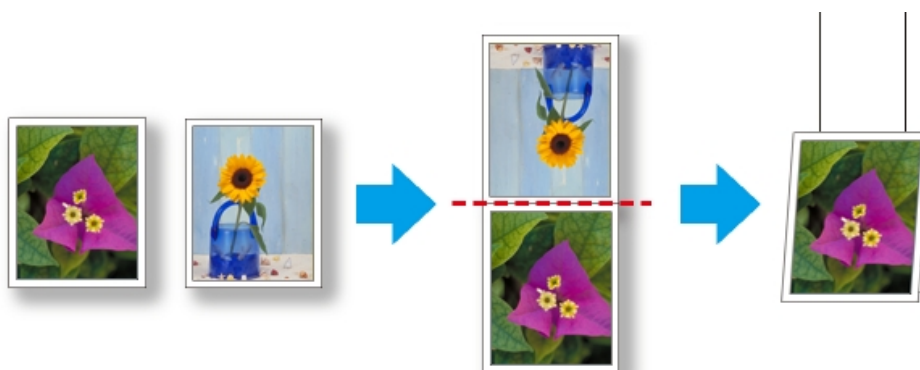
上下余白なしの設定で印刷が開始されます。

フリーレイアウト

フリーレイアウトの特長

フリーレイアウトの主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を自由に配置して印刷することができます。
- 複数のページを 1 ページに配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。
- 任意の 2 ページを、折り返すことで両面となるレイアウトに配置し、印刷します。
  天井から吊下げた広告用ポスターなどに利用できます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、フリーレイアウト上の設定と異なる場合があります。

動作環境

フリーレイアウトは、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF Printer Driver

メモ
- この機能は 64 ビット版の Windows では使用できません。

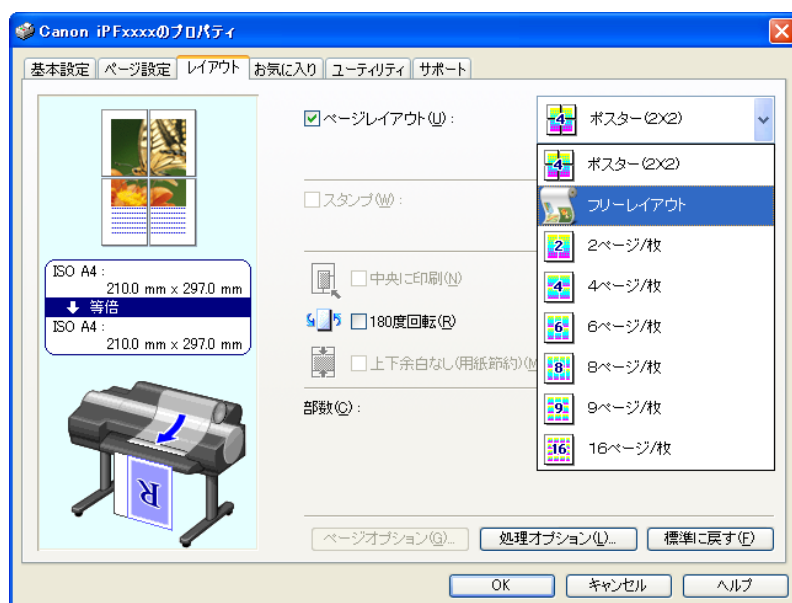
フリーレイアウトの起動方法

フリーレイアウトを起動する手順は、以下のとおりです。

1. ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。

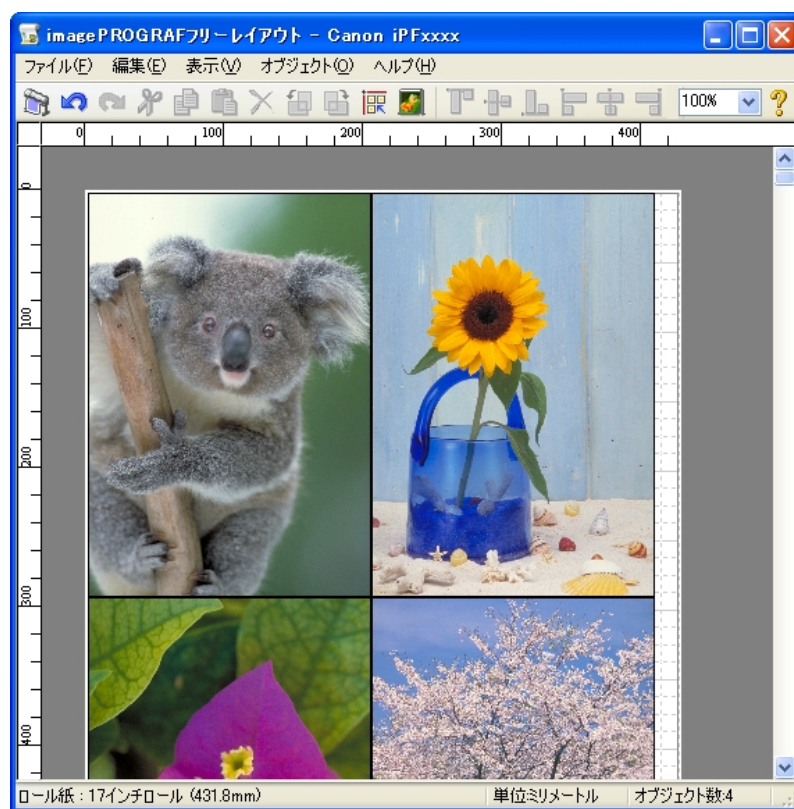
2. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

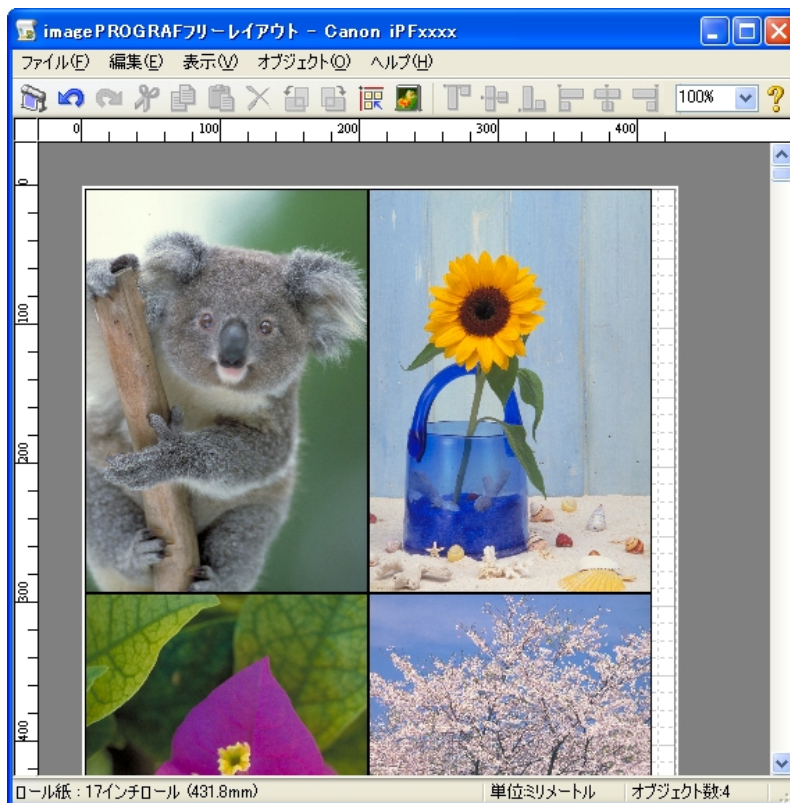
メモ
- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

3. 一覧からプリンタを選択し、[レイアウト]シートを選択します。

メモ
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4. [レイアウト]シートで[ページレイアウト]チェックボックスをオンにし、一覧からフリーレイアウトを選択します。
[OK]ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

メモ
- フリーレイアウトを選択すると、その他の設定項目は無効になります。

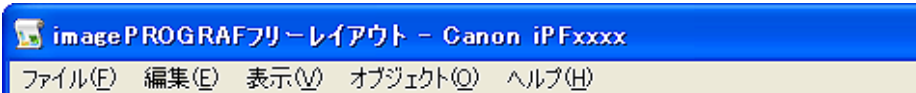
5. アプリケーションの[印刷]ダイアログボックスで[印刷]ボタンをクリックします。
フリーレイアウト メインウィンドウが表示されます。

フリーレイアウト メインウィンドウ

フリーレイアウトのメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、レイアウトエリア、ステータスバーで構成されています。

メモ

- ツールバー、ステータスバーは、[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

メニューバー

操作に必要なメニューを選択できます。

imagePROGRAFフリーレイアウト - Canon iPFxxxx
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) オブジェクト(O) ヘルプ(H)

ツールバー

主な操作のツールボタンを選択できます。

レイアウトエリア

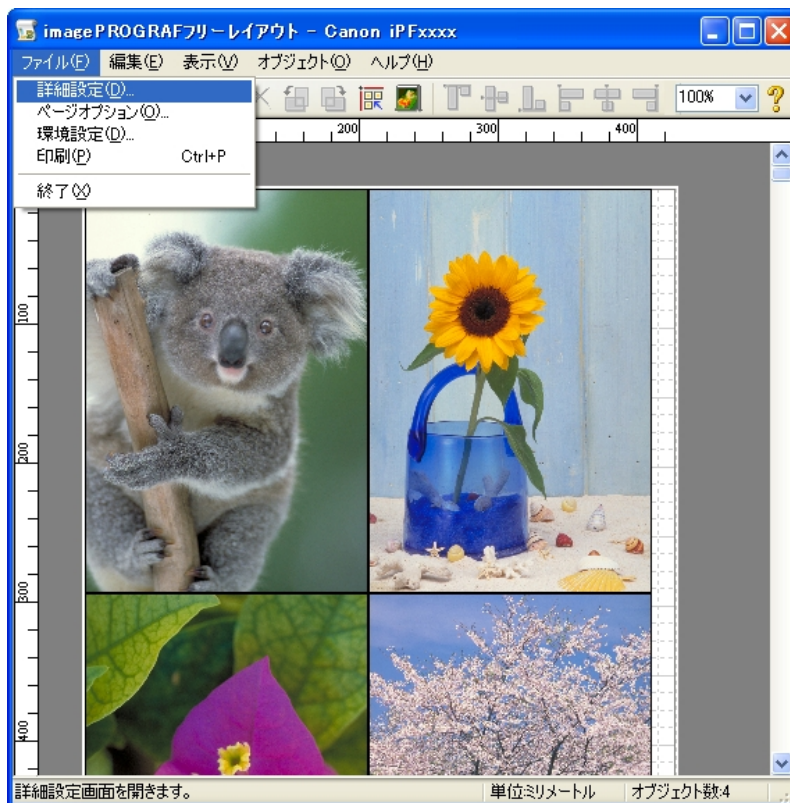
オブジェクトの配置、サイズ、向きを編集できます。

ステータスバー

用紙サイズ、長さの単位、オブジェクトの数が表示されます。

ロール紙：24インチロール (609.6mm) | 単位:ミリメートル | オブジェクト数:4

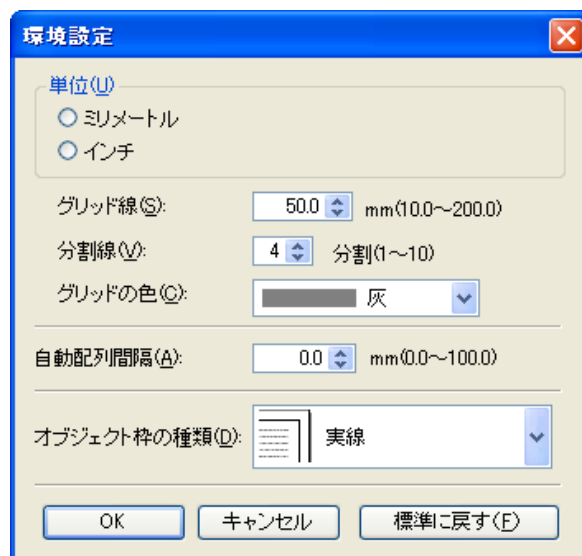
詳細設定ダイアログ

[ファイル]メニューから[詳細設定]ダイアログを選択すると、プリンタドライバが開きます。プリンタドライバで、プリンタにセットしている用紙の種類に合わせて基本的な設定をします。

プリンタドライバについての詳細はプリンタドライバ →P.183 を参照してください。

メモ

- [詳細設定]ダイアログを選択すると、[基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シートの３つのシートのみ表示します。一部プリンタドライバの設定項目が無効になるものがあります。

環境設定ダイアログボックス

[ファイル]メニューから[環境設定]を選択すると、表示されます。フリーレイアウトの環境設定を行うことができます。

[単位]

用紙の長さや余白などの単位を選択します。

[グリッド線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の幅を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は「10.0〜200.0(mm)」「0.39〜7.88(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[分割線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の分割数を変更します。

メモ

- 入力できる数値は 1〜10 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[グリッドの色]

グリッド線の色を選択します。

[自動配列間隔]

オブジェクトを自動配列する際の、オブジェクト間の間隔を設定します。

メモ

- 入力できる数値は「0.0〜100.0(mm)」「0.00〜3.94(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[オブジェクト枠の種類]

印刷するオブジェクトの枠線を選択することができます。

オブジェクト枠の種類には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[枠なし]	枠なしで印刷します。
[実線]	実線を枠として印刷します。
[点線]	点線を枠として印刷します。
[破線]	破線を枠として印刷します。
[カットマーク]	カットマークを付けて印刷します。

ページオプションダイアログボックス

[ファイル]メニューから[ページオプション]を選択すると、表示されます。フリーレイアウトのロール紙の長さ、オブジェクトの配置順、余白の設定を行うことができます。

[ロール紙の長さ]

ロール紙に印刷する 1 ページの長さを設定します。
ロール紙の長さには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[自動設定]	配置したオブジェクトが 1 ページで印刷されるように、ロール紙に印刷する 1 ページの長さが自動で設定されます。
[手動設定]	ロール紙に印刷する 1 ページの長さを半角数字で入力します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。
- 入力できる数値は「203.2～18000.0(mm)」「8.00～708.66(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[配置順]

オブジェクトの配置順を設定します。

配置順には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[左上から右向き]	左上から右方向に、オブジェクトが配置されます。
[左上から下向き]	左上から下方向に、オブジェクトが配置されます。
[右上から左向き]	右上から左方向に、オブジェクトが配置されます。
[左下から上向き]	左下から上方向に、オブジェクトが配置されます。

メモ
- [ロール紙の長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[縦]を選択している場合は、[左上から右向き]と[右上から左向き]が選択できます。
- [ロール紙の長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[横]を選択している場合は、[左上から下向き]と[左下から上向き]が選択できます。

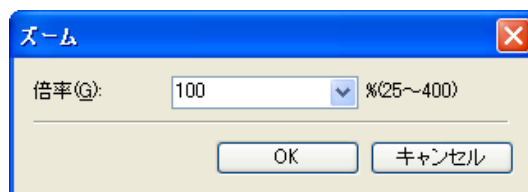
[余白]

用紙の余白を半角数字で入力します。

メモ
- 入力できる数値は「0.0〜50.0(mm)」「0.00〜1.97(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

ズームダイアログボックス

[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、表示されます。画面表示を拡大/縮小できます。

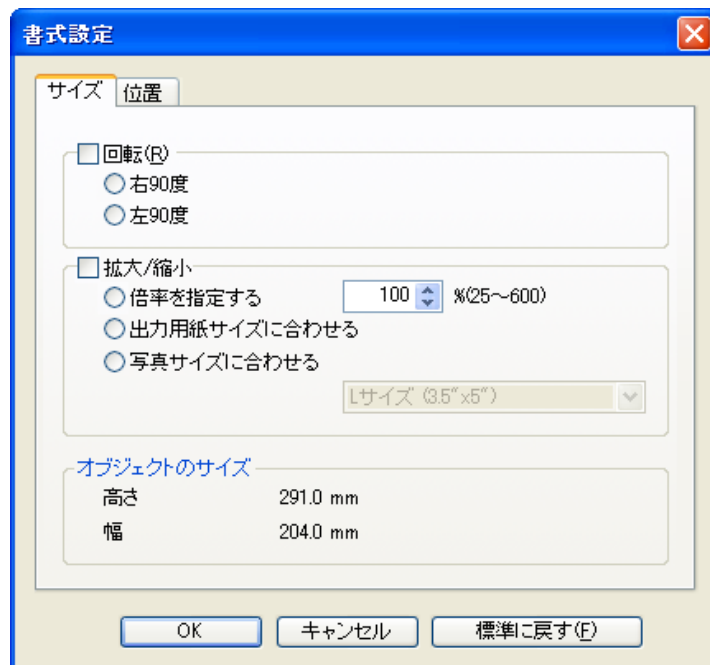
[倍率]

画面表示の拡大/縮小倍率を設定します。

メモ
- 入力できる数値は 25〜400 です。
- [▼]を押して、倍率を選択することもできます。

書式設定ダイアログボックス

オブジェクトを選択後、[オブジェクト]メニューから[書式設定]を選択すると、表示されます。

[サイズ]シート

オブジェクトを回転したり、拡大/縮小できます。

メモ

- オブジェクトが選択されていない場合は、[書式設定]を選択することができません。

[回転]

チェックマークを付けると、[右 90 度]または[左 90 度]を選択することができます。

設定項目	内容
[右 90 度]	時計回りに 90 度回転します。
[左 90 度]	反時計回りに 90 度回転します。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[回転]を選択することができません。

[拡大/縮小]

チェックマークを付けると、[倍率を指定する]、[出力用紙サイズに合わせる]または[写真サイズに合わせる]を選択することができます。

設定項目	内容
[倍率を指定する]	オブジェクトの拡大/縮小率の数値を入力します。
[出力用紙サイズに合わせる]	出力する用紙サイズに合わせて、各オブジェクトを拡大/縮小して印刷します。ロール紙を使用している場合は、各オブジェクトの幅がロール紙の幅に合うように拡大/縮小します。
[写真サイズに合わせる]	すべてのオブジェクトを、指定した写真サイズで印刷します。

メモ

- オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。入力できる数値は 25～600 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[位置]シート

オブジェクトの位置を調整できます。

メモ

- オブジェクトが選択されていない場合は、[書式設定]を選択することができません。

[オブジェクトの位置]

数値を指定することにより、オブジェクトの位置を移動することが出来ます。

設定項目	内容
[縦位置]	縦位置の数値を入力します。
[横位置]	横位置の数値を入力します。
[ページ位置]	ページ位置の数値を入力します。

[オブジェクトのサイズ]

オブジェクトのサイズを確認できます。

メモ

- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[オブジェクトのサイズ]は表示されません。

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

• 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

2. [プロパティ]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを開きます。

3. [ページ設定]シートで[給紙方法]を選択します。

メモ

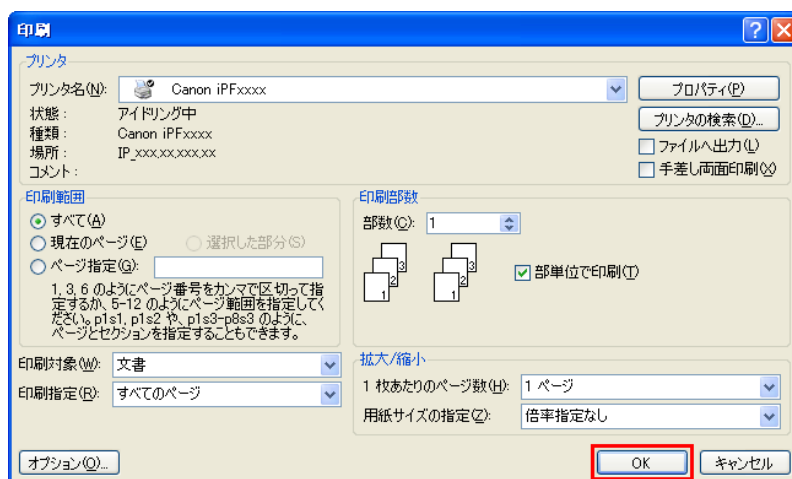
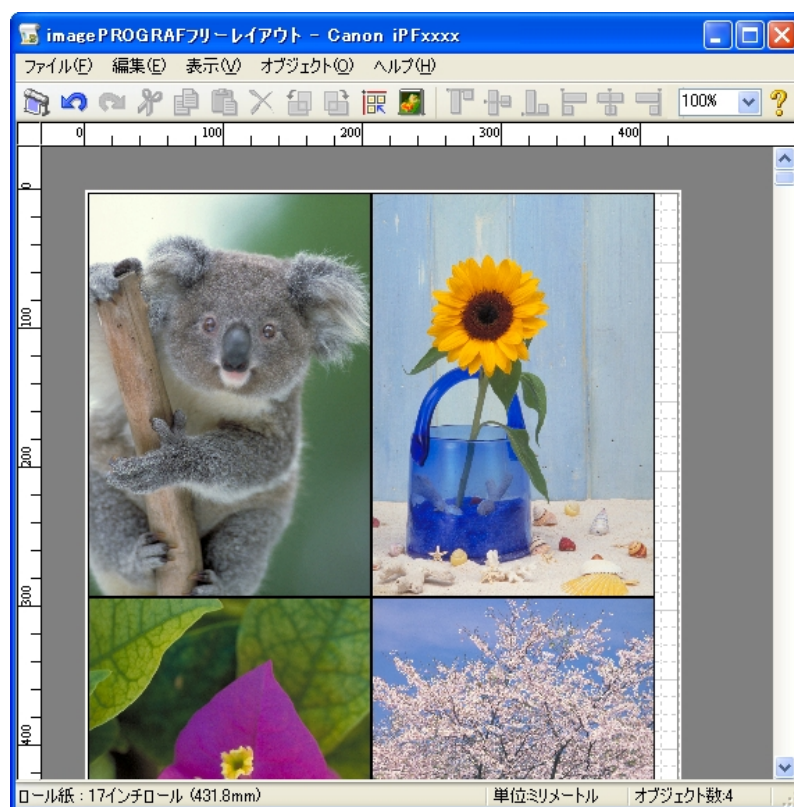
• この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4. [レイアウト]シートで[ページレイアウト]チェックボックスをオンにし、一覧からフリーレイアウトを選択します。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。
- フリーレイアウトを選択すると、その他の設定項目は無効になります。

5. [OK]をクリックし、設定内容を保存します。

6. [印刷]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

フリーレイアウトが起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

7. フリーレイアウトを起動したまま、アプリケーションソフトで他のファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- 通常、[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

2. [プロパティ]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを開きます。

3. [ページ設定]シートで[給紙方法]を選択します。

メモ

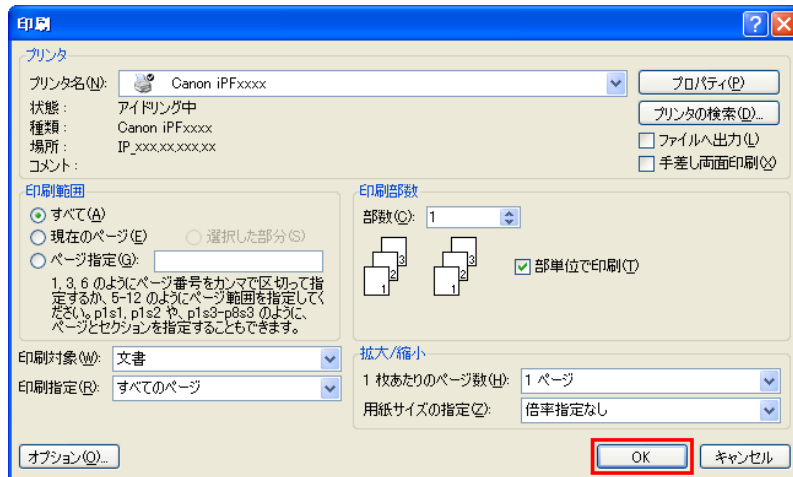
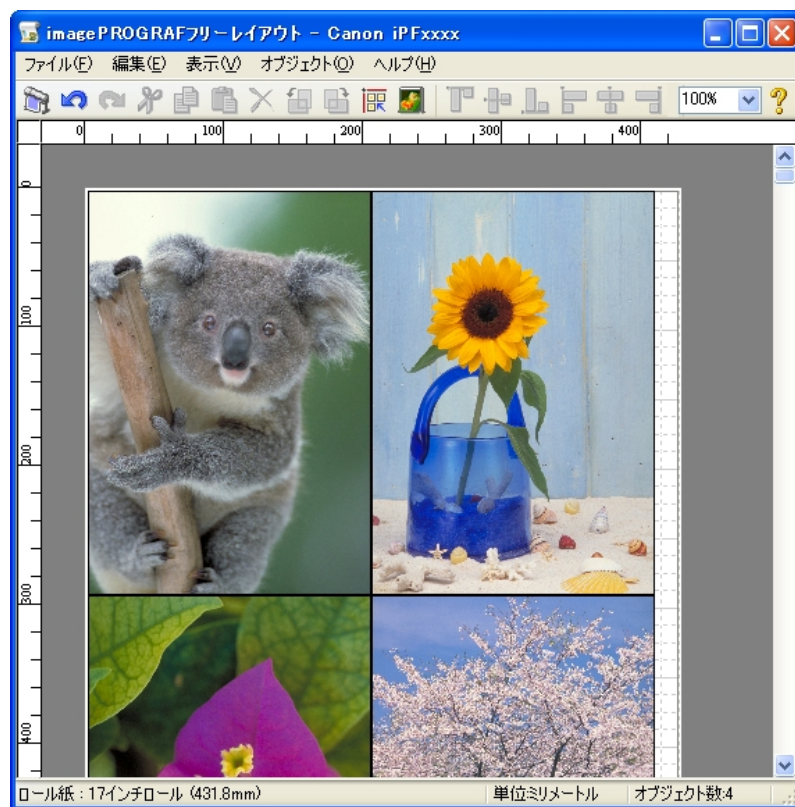
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

4. [レイアウト]シートで[ページレイアウト]チェックボックスをオンにし、一覧からフリーレイアウトを選択します。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。
- フリーレイアウトを選択すると、その他の設定項目は無効になります。

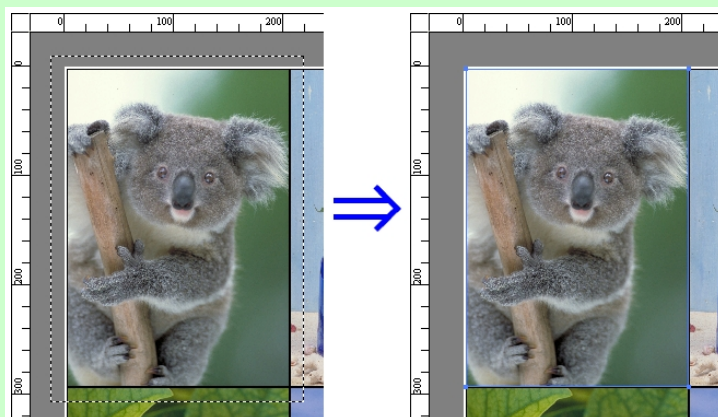
5. [OK]をクリックし、設定内容を保存します。

6. [印刷]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

フリーレイアウトが起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

7. フリーレイアウトを起動したまま、他のアプリケーションソフトでファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

オブジェクトを選択する

オブジェクトが選択されると、オブジェクトの周囲に選択ボックス(青い枠線)が表示されます。

メモ

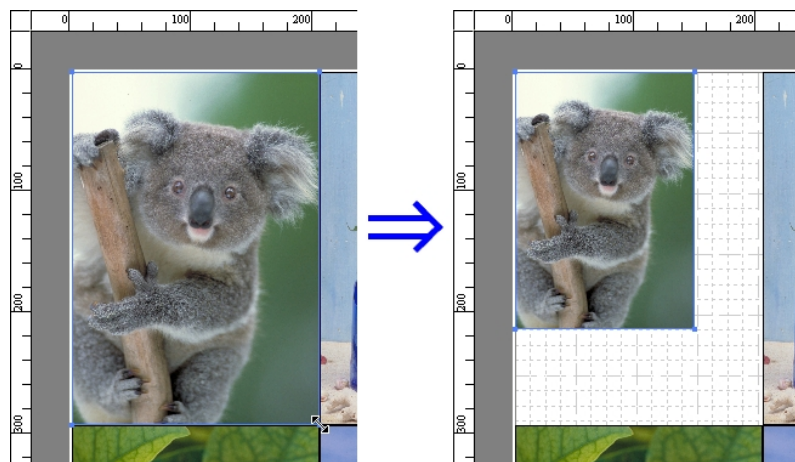
- 1 つのオブジェクトを選択する場合は、オブジェクトをクリックします。
- 連続したオブジェクトを複数選択する場合は、Shift キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- 任意のオブジェクトを複数選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- すべてのオブジェクトを選択する場合は、[編集]メニューから[全て選択]を選択します。
- マウスをドラッグしたまま範囲を指定すると、範囲内にあるオブジェクトが選択されます。

オブジェクトのサイズを変更する

オブジェクトのサイズを変更する手順には、マウス操作による方法と、拡大/縮小倍率を指定する方法があります。

メモ
- オブジェクトの縦横の比率は変わらずに、拡大/縮小されます。

マウス操作によってサイズを変更する場合

1. オブジェクトを選択します。

2. オブジェクトの周囲の選択ボックスの角にポインタを置いて矢印ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトのサイズを変更します。

拡大/縮小倍率を指定する場合

1. オブジェクトを選択します。
書式設定ダイアログボックス →P.246 の[拡大/縮小]チェックボックスをオンにし、[倍率を指定する]を選択します。

2. オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。

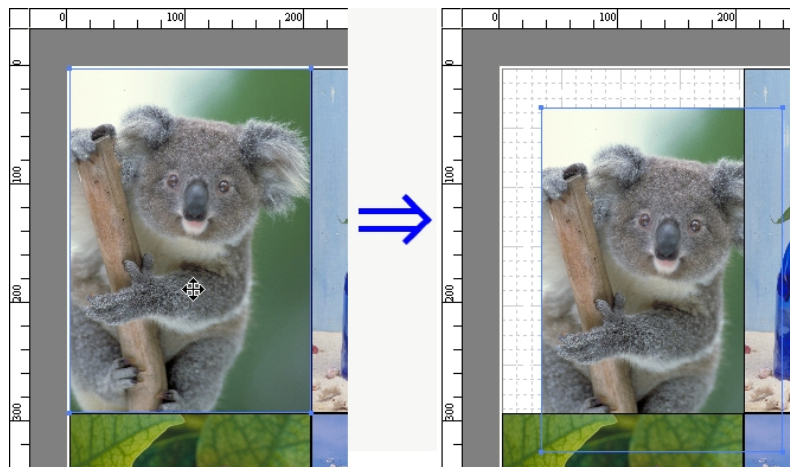
メモ
- 入力できる数値は 25〜600 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

3. [OK]をクリックします。

オブジェクトを移動する

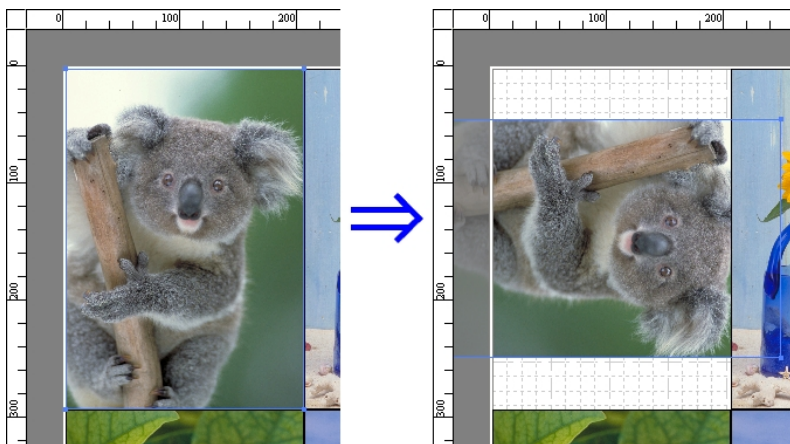
選択したオブジェクトの位置を移動することができます。

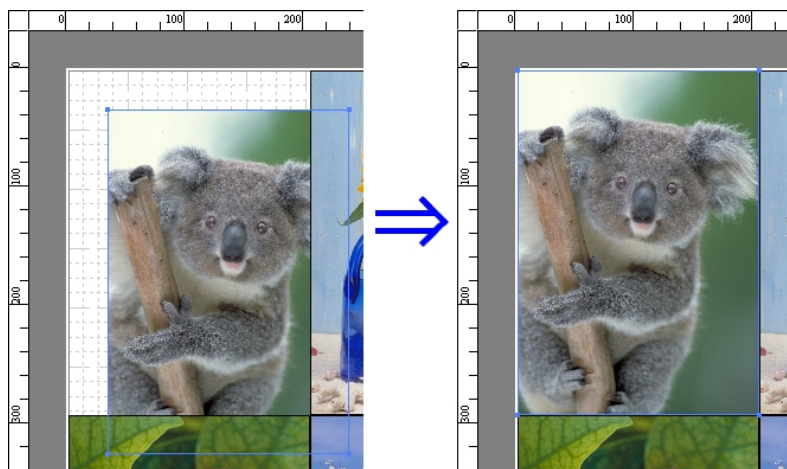
1. オブジェクトを選択します。

2. オブジェクトの選択ボックス内にポインタを置いて十字ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトを移動します。
または、書式設定ダイアログボックス →P.246 の[縦位置]、[横位置]、[ページ位置]に数値を指定することにより、[オブジェクトの位置]を移動することが出来ます。

オブジェクトを回転する

選択したオブジェクトを回転することができます。

1. オブジェクトを選択します。

2. ツールバーから[左 90 度回転]または[右 90 度回転]を選択します。
または、書式設定ダイアログボックス →P.246 の[回転]チェックボックスをオンにし、[右 90 度]または[左 90 度]を選択し、[OK]をクリックします。

オブジェクトを自動配置する

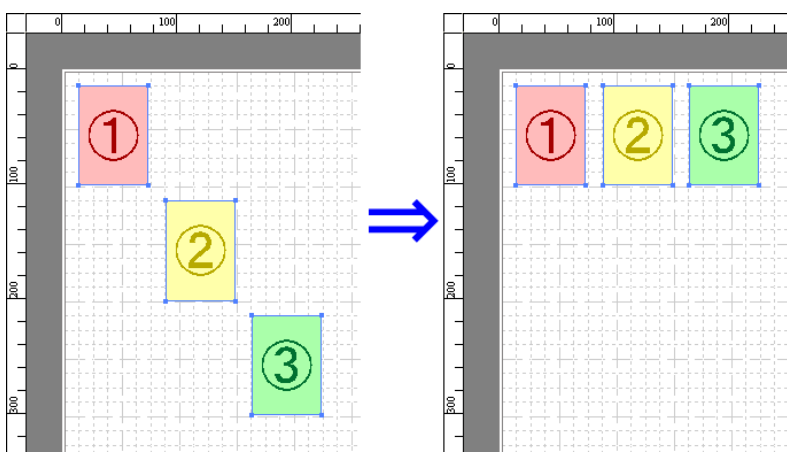
ツールバーの[オブジェクトの自動配列]をクリックします。オブジェクトが自動的に配置されます。または、[オブジェクト]メニューから[オブジェクトの自動配列]を選択します。

メモ

- オブジェクトの配置順は、ページオプションダイアログボックス →P.244 の[配置順]の設定によって異なります。

オブジェクトを整列する

オブジェクトを規則的に整列させることができます。

1. 複数のオブジェクトを選択します。

2. ツールバーから整列用のボタンをクリックします。
   または[オブジェクト]メニューから整列用のメニューを選択します。

[上揃え]

オブジェクトを上端に揃えて配置します。

[上下中央揃え]

オブジェクトを垂直方向の中央に揃えて配置します。

[下揃え]

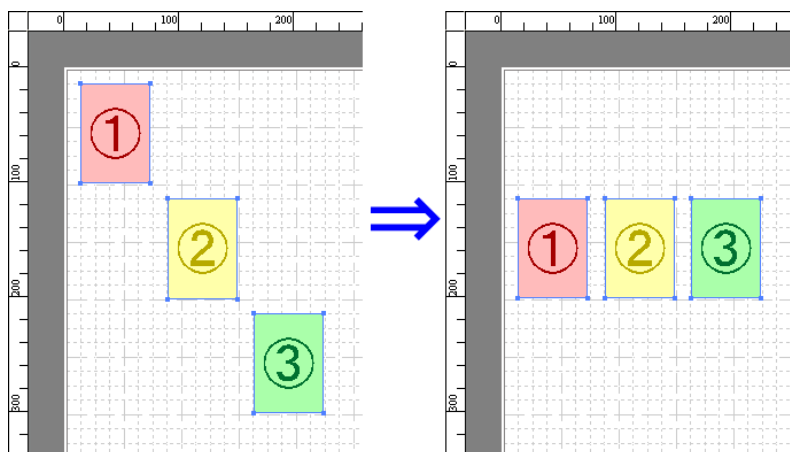
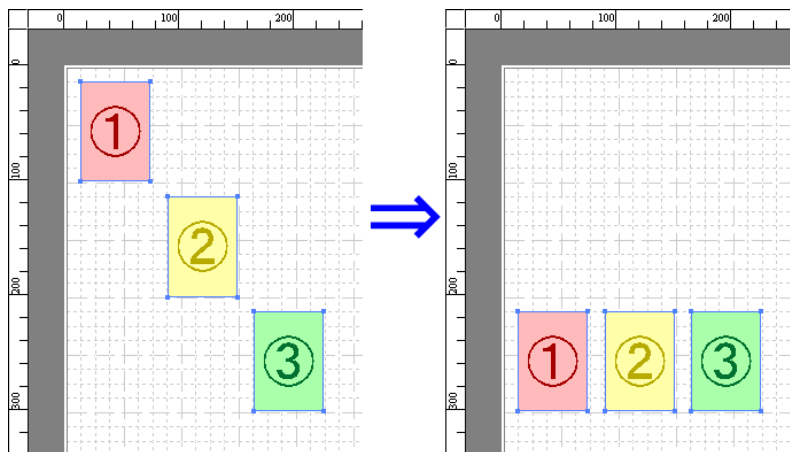
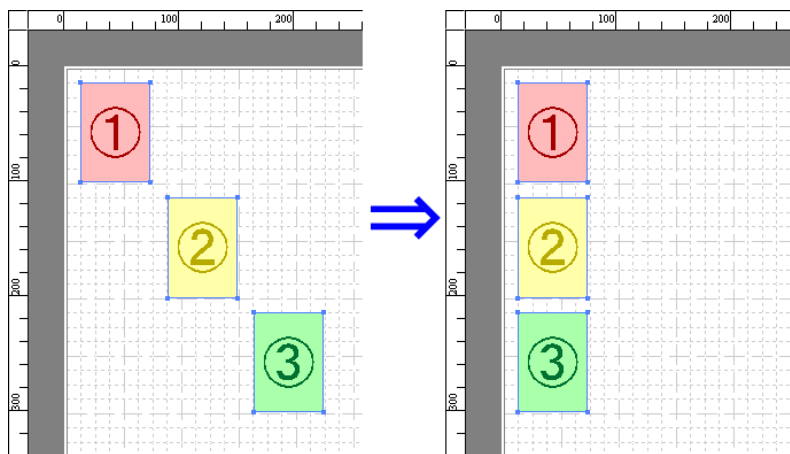
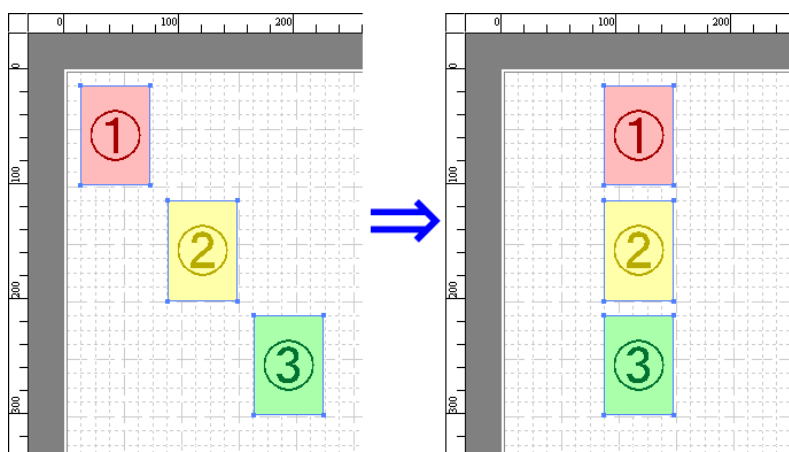
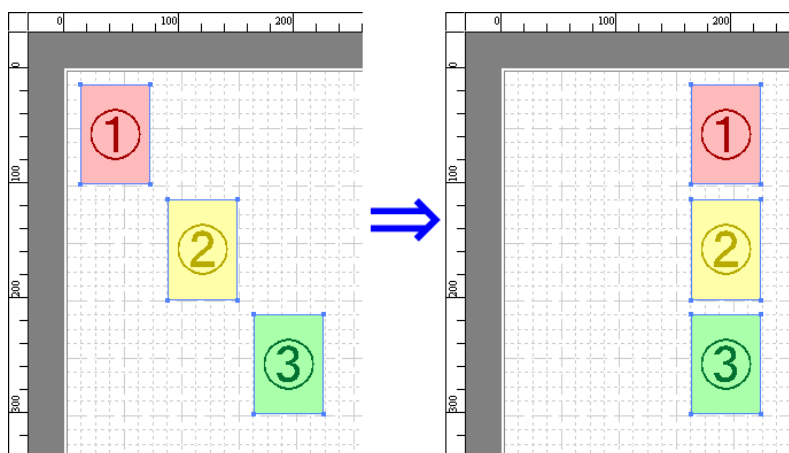
オブジェクトを下端に揃えて配置します。

[左揃え]

オブジェクトを左端に揃えて配置します。

[左右中央揃え]

オブジェクトを水平方向の中央に揃えて配置します。

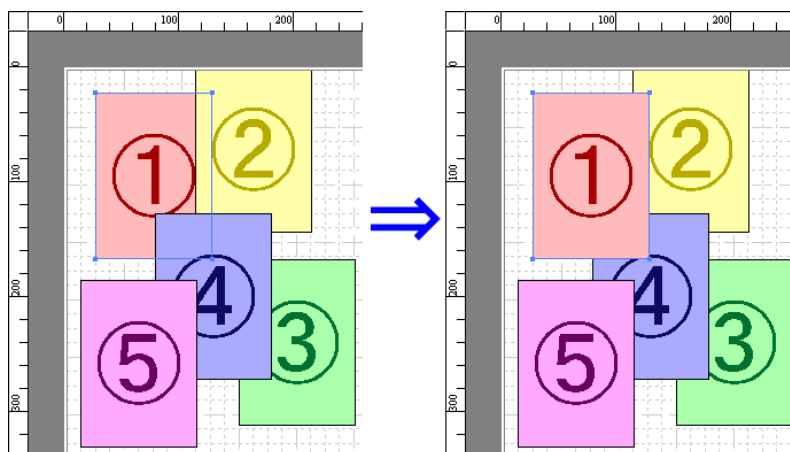
[右揃え]

オブジェクトを右端に揃えて配置します。

オブジェクトの重なり順を変更する

オブジェクトの重なり順を変更することができます。

1. オブジェクトを選択します。

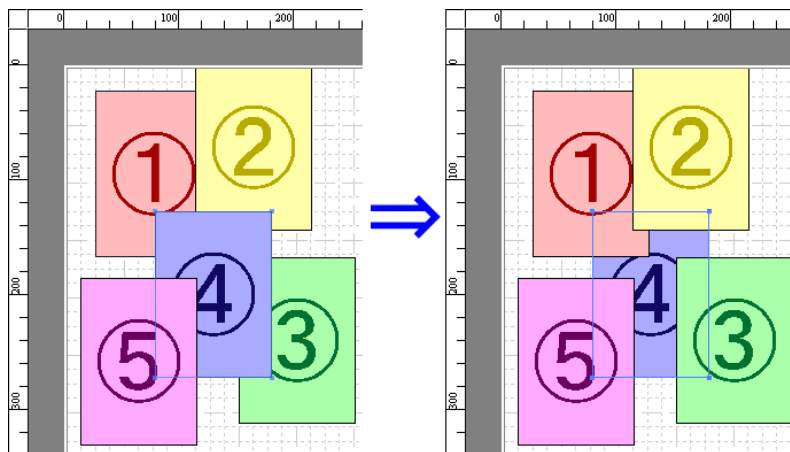
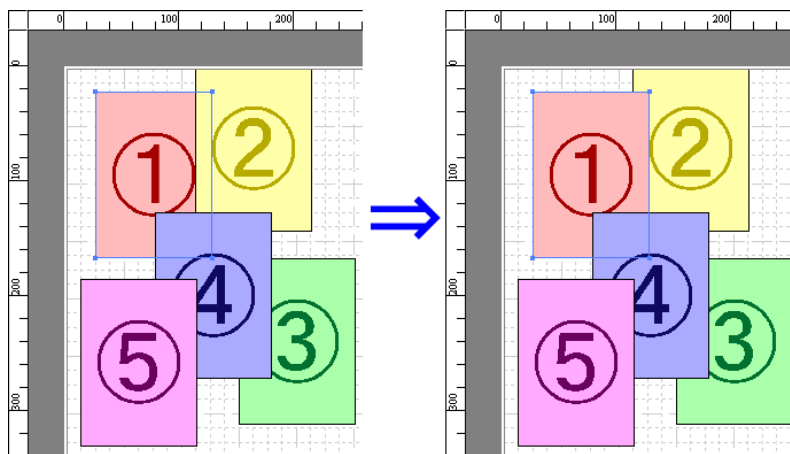
2. [オブジェクト]メニューから重なり順のメニューを選択します。

メモ

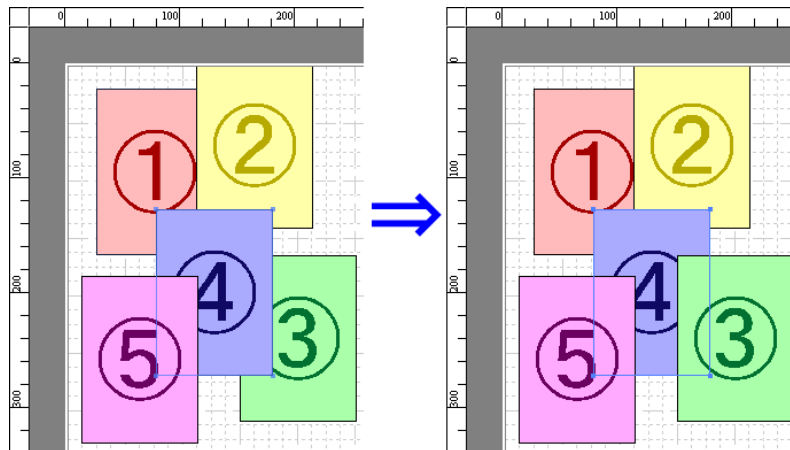
- オブジェクトの重なり順は、自動配置の順序に影響します。
- オブジェクトの上でマウスを右クリックしても選択できます。

[最前面へ移動]

オブジェクトを最前面に移動します。

[最背面へ移動]

オブジェクトを最背面に移動します。

[前面へ移動]

オブジェクトを 1 つ前に移動します。

[背面へ移動]

オブジェクトを 1 つ後ろに移動します。

コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける

1. ツールバーから[コピー]または[切り取り]をクリックします。
   または[編集]メニューから[コピー]または[切り取り]を選択します。

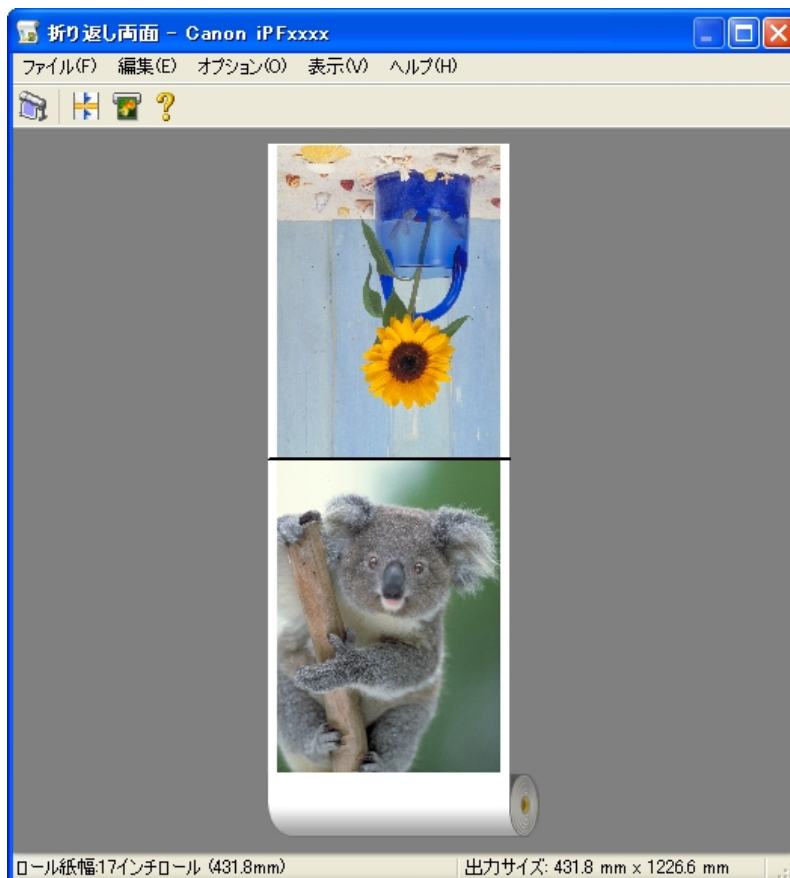
2. ツールバーから[貼り付け]をクリックします。
   または[編集]メニューから[貼り付け]を選択します。

メモ

- コピーまたは切り取ったオブジェクトがページの一番最後に配置されます。
- オブジェクトの上でマウスを右クリックしても選択できます。
- 好みの位置に貼り付けたい場合は、マウスを好みの位置で右クリックして、[指定位置貼り付け]でオブジェクトを貼り付けます。

折り返し両面ウィンドウ

オブジェクトを選択後、[編集]メニューから[折り返し両面]を選択すると、表示されます。[折り返し両面]機能を使用して、折り目をつけて印刷することができます。
[折り返し両面]ウィンドウは、メニューバー、ツールバー、レイアウトエリア、ステータスバーで構成されています。

メモ

- ツールバー、ステータスバーは、[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

メニューバー

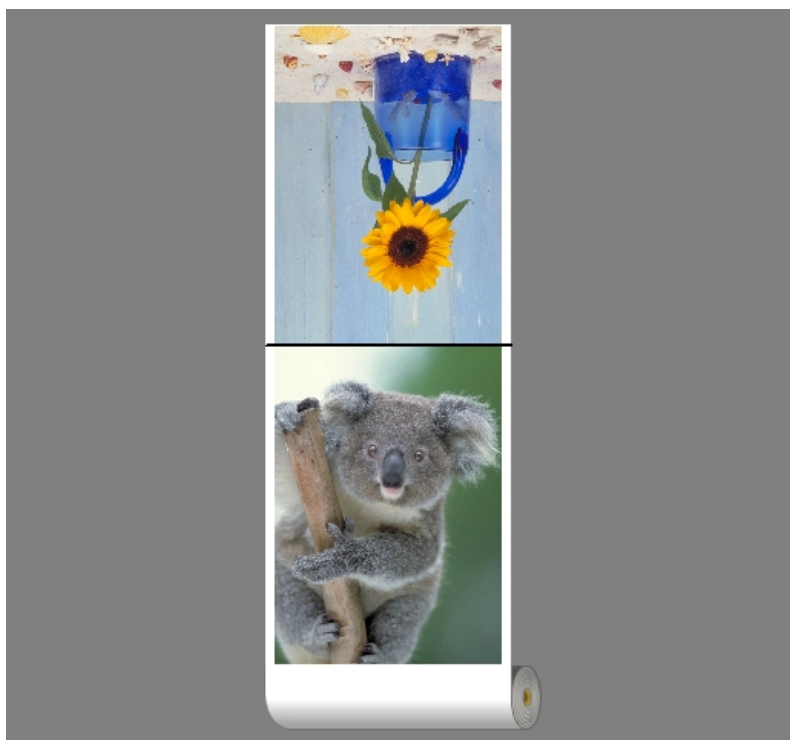
操作に必要なメニューを選択できます。

ファイル(F) 編集(E) オプション(O) 表示(V) ヘルプ(H)

ツールバー

主な操作のツールボタンを選択できます。

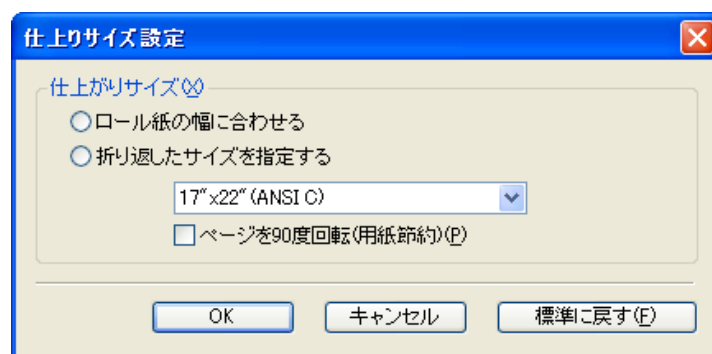
レイアウトエリア

オブジェクトの配置、向きを確認できます。

ステータスバー

給紙方法、ロール紙幅、出力サイズが表示されます。

ロール紙幅:17インチロール (431.8mm)　出力サイズ: 431.8 mm x 1226.6 mm

仕上りサイズ設定ダイアログボックス

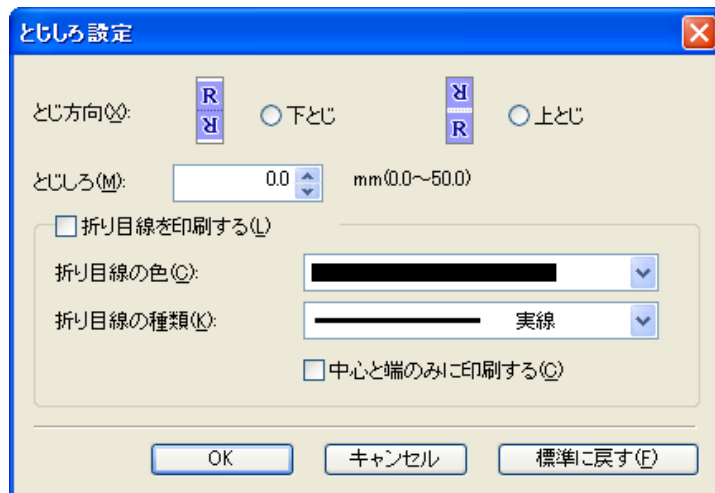
[編集]メニューから[仕上りサイズ設定]を選択すると、表示されます。仕上りサイズの設定を行うことができます。

[仕上りサイズ]

仕上りサイズの設定方法を選択します。
仕上りサイズには以下の設定があります。

設定項目	内容
[ロール紙の幅に合わせる]	原稿の幅がロール紙の幅に合うように、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。

設定項目	内容
[折り返したサイズを指定する]	出力する用紙サイズに合わせて、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。[出力用紙サイズ]から実際に出力したいサイズを選びます。
[ページを 90 度回転(用紙節約)]	ページを 90 度回転して印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。

とじしろ設定ダイアログボックス

[編集]メニューから[とじしろ設定]を選択すると、表示されます。とじ方向の設定を行うことができます。

[とじ方向]

用紙を折り返す際のとじ方向を設定します。
とじ方向には以下の設定があります。

設定項目	内容
[下とじ]	原稿の下部にとじしろの余白を設定して印刷します。
[上とじ]	原稿の上部にとじしろの余白を設定して印刷します。

[とじしろ]

とじしろの余白を設定します。
指定したサイズで、とじしろの余白をとって印刷します。余白サイズを半角数字で入力してください。

メモ

- 入力できる数値は「0～50（mm）」です。

[折り目線を印刷する]

折り目線の色や種類を設定します。

メモ

- 折り目線を印刷しない場合は、[折り目線を印刷する]チェックボックスをオフにします。

[折り目線の色]

折り目線を選択することができます。

[折り目線の種類]

折り目線を選択することができます。
折り目線の種類には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[実線]	実線を枠として印刷します。
[点線]	点線を枠として印刷します。
[破線]	破線を枠として印刷します。

[中心と端のみに印刷する]

折り目線を中心と両端に印刷する場合は、[中心と端のみに印刷する]チェックボックスをオンにします。

折り返し両面で印刷する

2 ページを組み合わせて、折り返すことで両面印刷を実現することができます。

1. フリーレイアウトのレイアウトエリアから 2 つのオブジェクトを選択します。
2. フリーレイアウトの[編集]メニューから[折り返し両面]を選択します。
   [折り返し両面]ウィンドウが開き、選択したオブジェクトがレイアウトエリアに配置されます。
3. [編集]メニューから[仕上りサイズ設定]ダイアログボックスを開きます。
4. [仕上りサイズ]から[ロール紙の幅に合わせる]もしくは[折り返したサイズを指定する]を選択します。

   メモ
   - [折り返したサイズを指定する]を選択した場合、[ページを 90 度回転(用紙節約)]を設定できます。

5. [OK]をクリックし、設定内容を保存します。
6. [編集]メニューから[とじしろ設定]ダイアログボックスを開きます。
7. [とじ方向]から[下とじ]もしくは[上とじ]を選択します。
8. [とじしろ]から[とじしろ]の幅を設定をします。
9. [折り目線を印刷する]から[折り目線の色]と[折り目線の種類]の設定をします。

   メモ
   - [中心と端のみに印刷する]のチェックボックスをオンにすると、折り目線を中心と両端の 3 点のみに印刷します。

10. [OK]をクリックし、設定内容を保存します。
11. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

Color imageRUNNER 連携拡大コピー

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの主な特長は以下のとおりです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷することができます。
- プリンタの選択、用紙の種類、出力プロファイルの選択やマッチング方法などの基本的なプリンタの設定に加えて、フチなし印刷、拡大縮小処理などもプリンタドライバを経由せずに設定できます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、連携拡大コピー機能上の設定と異なる場合があります。

動作環境

Color imageRUNNER 連携拡大コピーは、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF Printer Driver

メモ

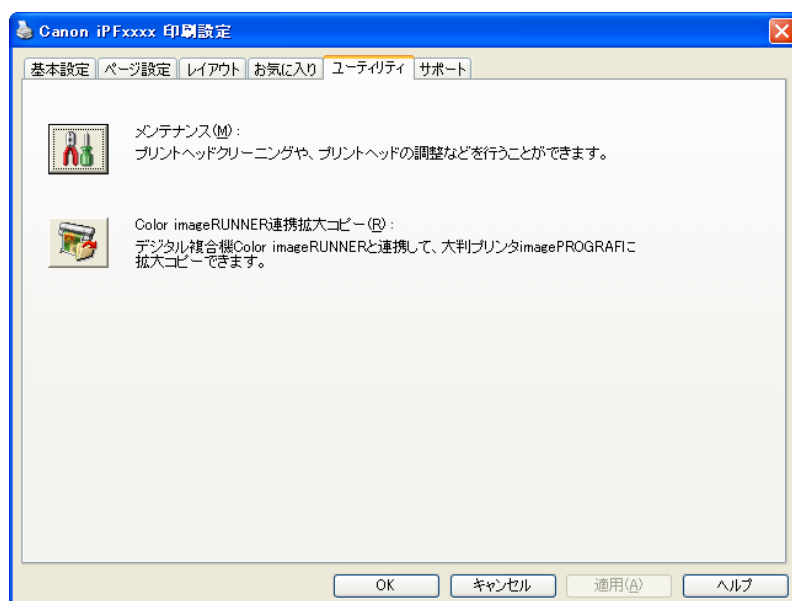
- この機能は 64 ビット版の Windows では使用できません。

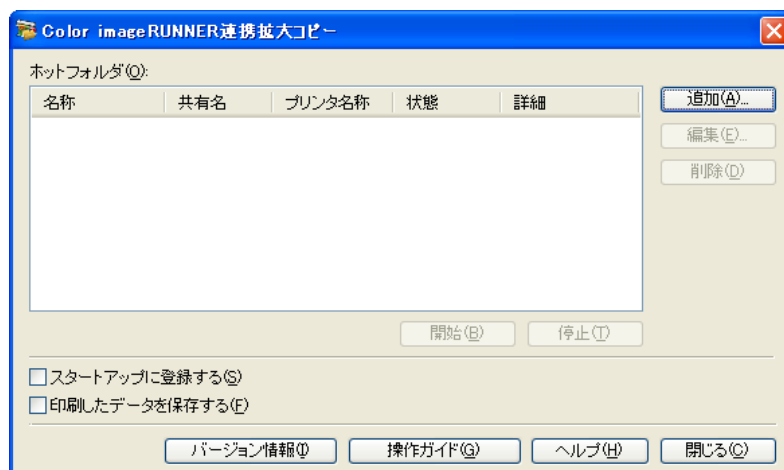
Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法

Color imageRUNNER 連携拡大コピーを起動する手順は、以下のとおりです。

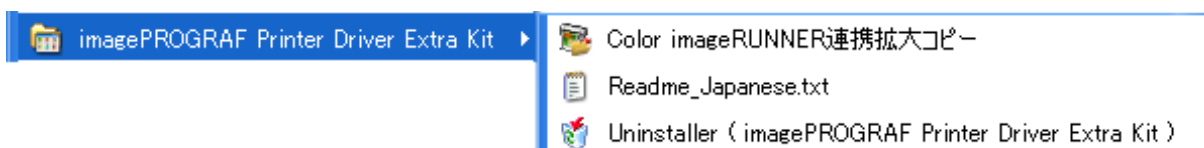
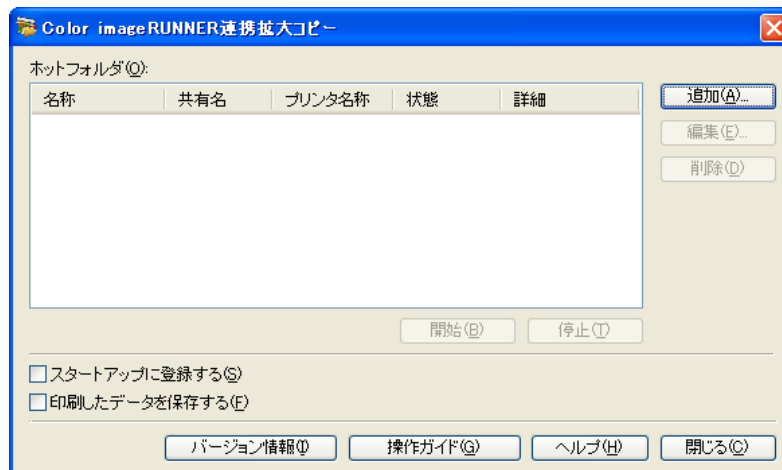
[スタート]ボタンから[プリンタと FAX]を選択して起動する場合

1. お使いの OS の、プリンタを設定するためのフォルダを開きます。
   たとえば Windows XP の場合は、デスクトップの[スタート]ボタンをクリックし、[プリンタと FAX]を選択します。

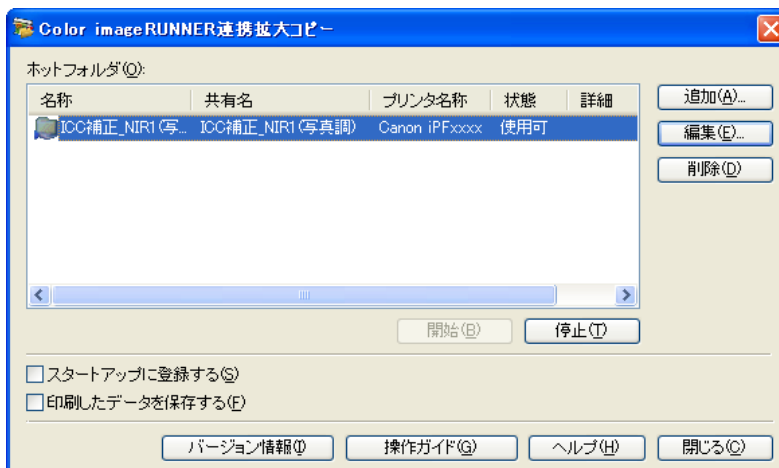
2. プリンタのアイコンを右クリックし、[印刷設定]を選択し、[印刷設定]ダイアログボックスを開きます。
[ユーティリティ]シートで[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ボタンをクリックします。

3. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスで[スタートアップに登録する]チェックボックスをオンにすると、次回 Windows を起動したときから、タスクバーに Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティのアイコンが表示されます。

[スタート]ボタンから[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]を選択して起動する場合

1. Windows の[スタート]ボタンから[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]を選択します。

2. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスが表示されます。

Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス

ここでは、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスについて説明しています。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.266

[ホットフォルダ]

ホットフォルダの一覧が表示されます。

[追加]ボタン

ボタンをクリックすると、[簡単設定ウィザード]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを追加できます。

[編集]ボタン

[ホットフォルダ]の一覧からホットフォルダを選択してボタンをクリックすると、[ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを編集できます。

[削除]ボタン

[ホットフォルダ]の一覧からホットフォルダを選択してボタンをクリックすると、ホットフォルダを削除できます。

[開始]ボタン

ボタンをクリックすると、選択された[停止]状態のホットフォルダが[使用可]になります。

[停止]ボタン

ボタンをクリックすると、選択された[使用可]状態のホットフォルダが[停止]になります。

[スタートアップに登録する]

Windows のスタートアップメニューに登録します。

[印刷したデータを保存する]

印刷したデータを自動的に保存します。

[バージョン情報]ボタン

ボタンをクリックすると、ユーティリティの名称とバージョン情報が表示されます。

[操作ガイド]ボタン

ボタンをクリックすると、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー設定マニュアル]が表示されます。

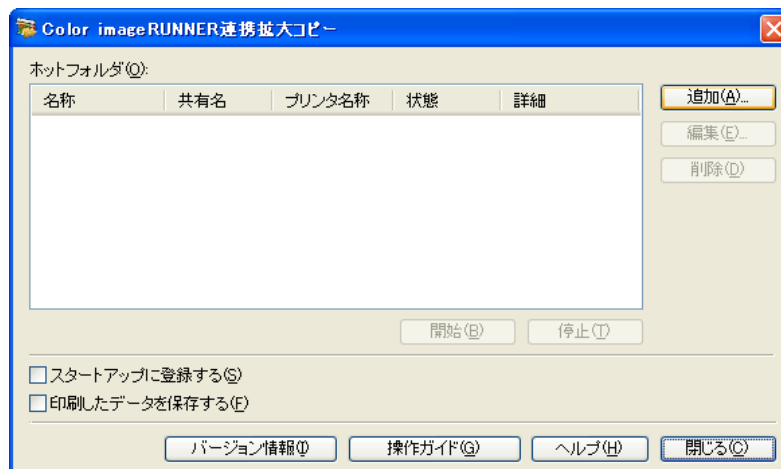
ホットフォルダ

ホットフォルダとは、Color imageRUNNER 連携拡大コピーで使用されるフォルダです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータがコンピュータのホットフォルダに転送されると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
- ホットフォルダは、自由に作成、編集、削除したり、印刷について設定することができます。

メモ

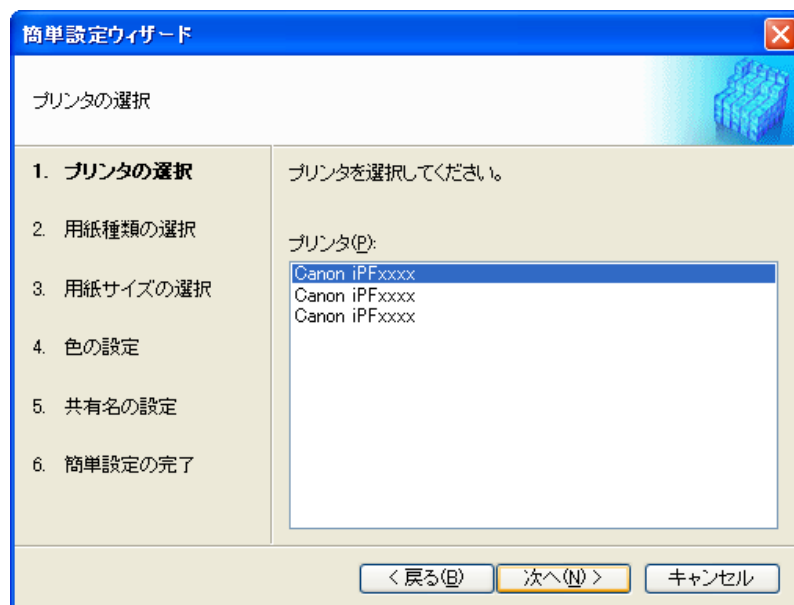
- ホットフォルダは 20 個まで作成できます。

ホットフォルダを新規作成する

1. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

メモ

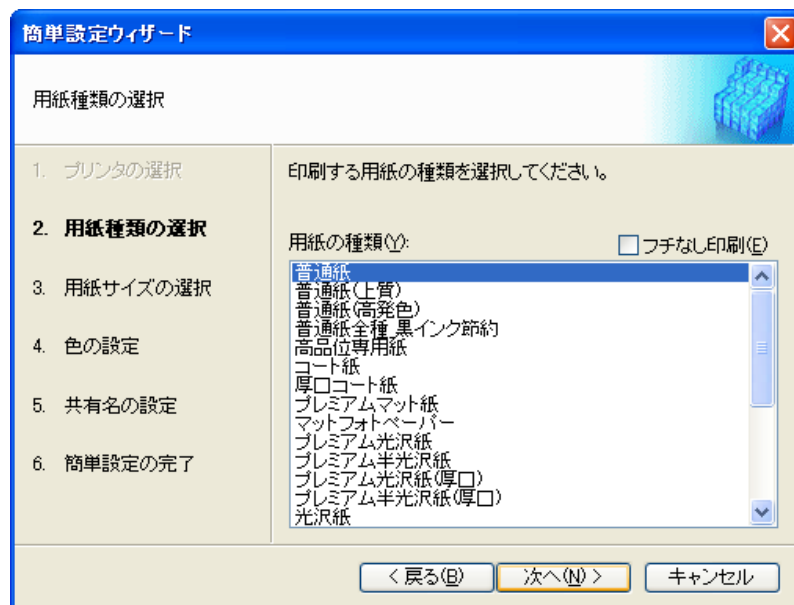
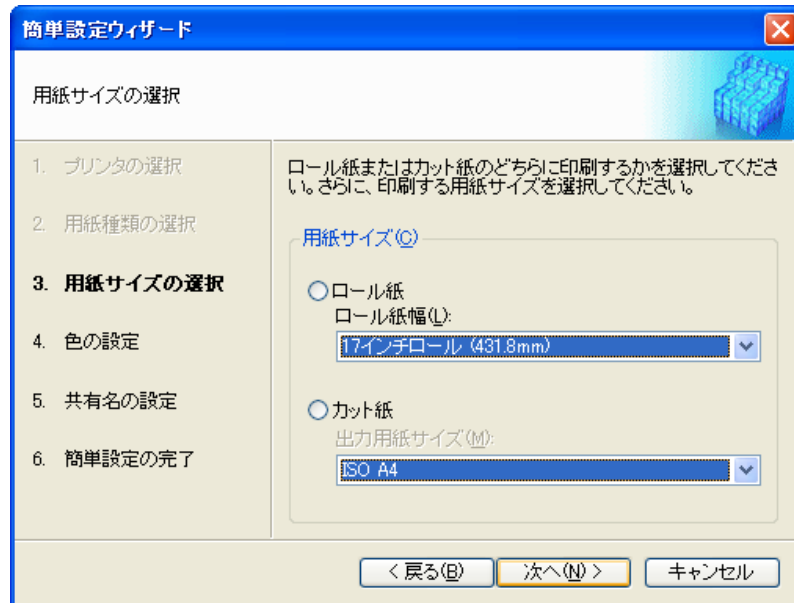
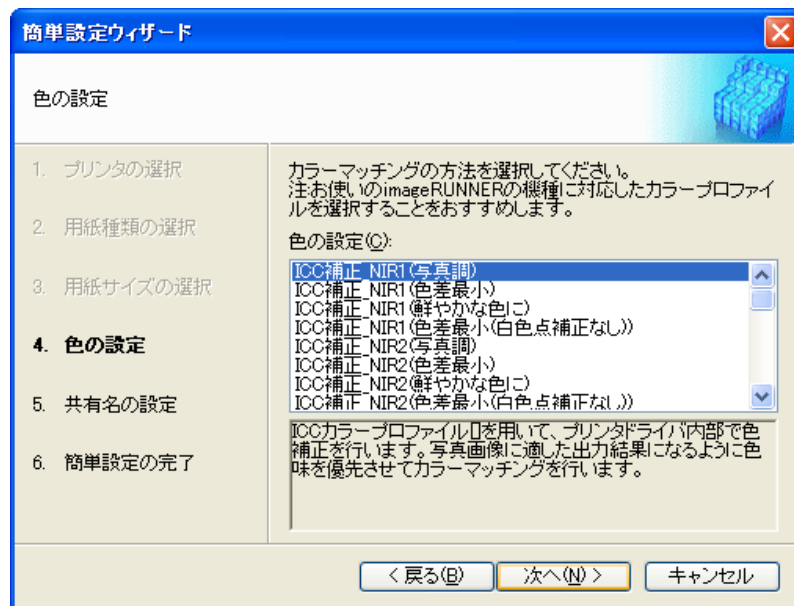
- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.266

2. [簡単設定ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。
[次へ]ボタンをクリックします。

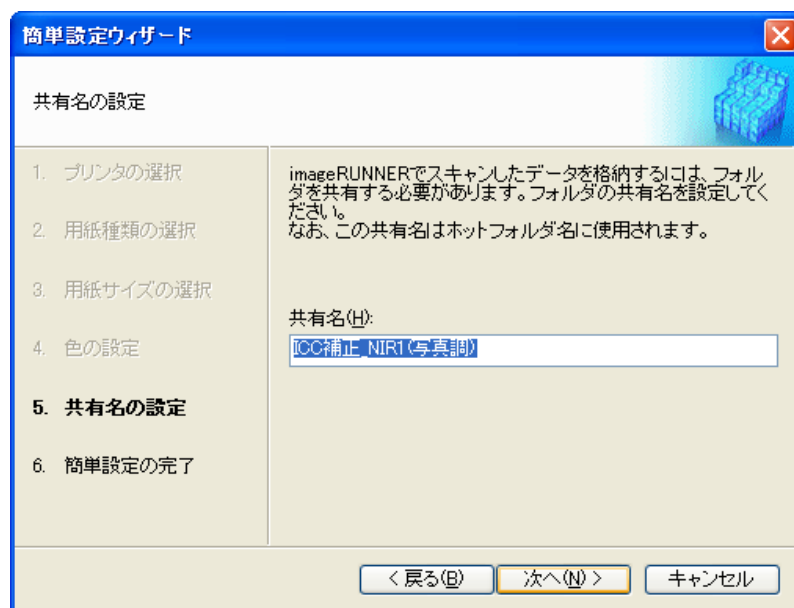
3. 使用するプリンタの機種を選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。

4. 印刷する用紙の種類を選択します。

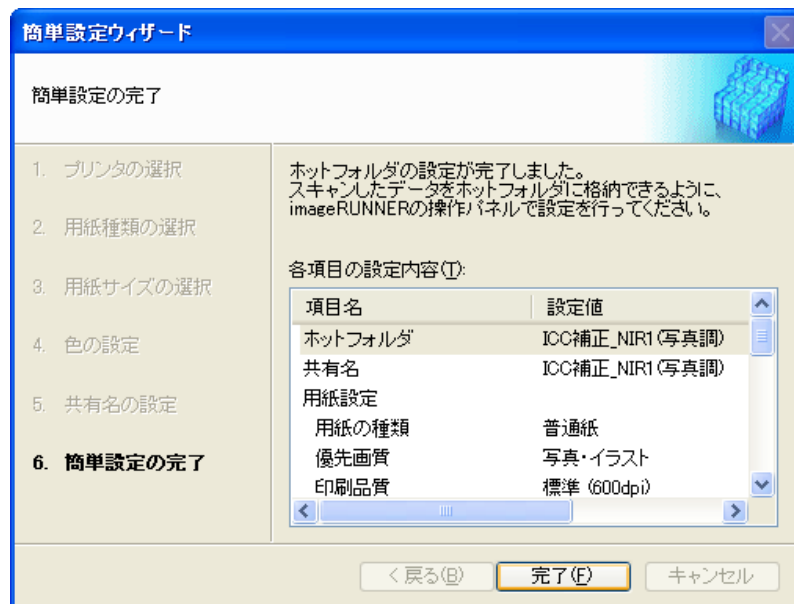
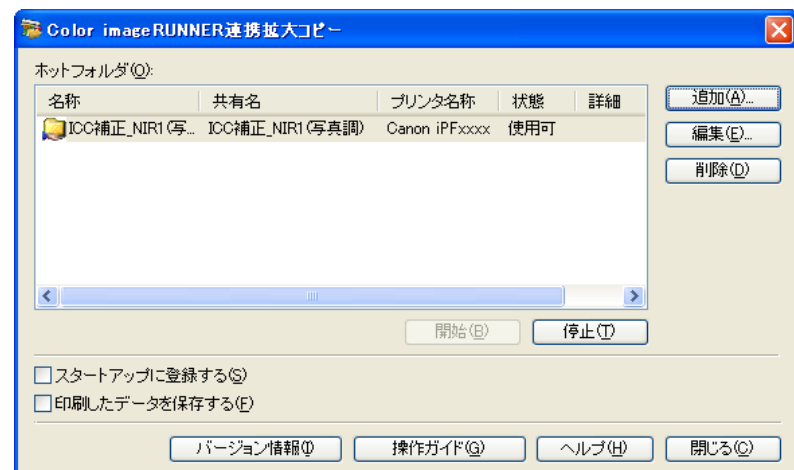
メモ

- [フチなし印刷]チェックボックスをオンにすると、フチなし印刷が可能な用紙の種類のみを 一覧表示します。

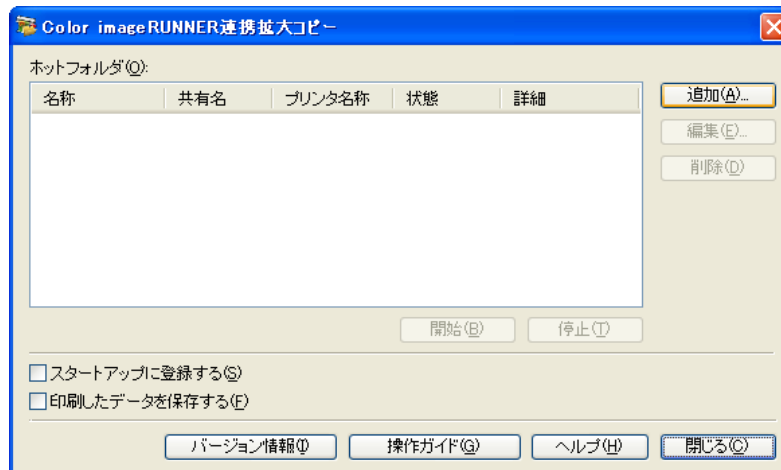
[次へ]ボタンをクリックします。

5. ロール紙またはカット紙のどちらに印刷するかを選択します。さらに、印刷する用紙サイズを選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。

6. カラーマッチングの方法を選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。

7. Color imageRUNNER でスキャンした原稿を受信するためには、フォルダを共有する必要があります。
[共有名]にフォルダの共有名を入力します。
[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- この共有名はホットフォルダの名称に使用されます。
- ここで[次へ]ボタンをクリックした後は、[戻る]ボタンが使用できなくなります。

4

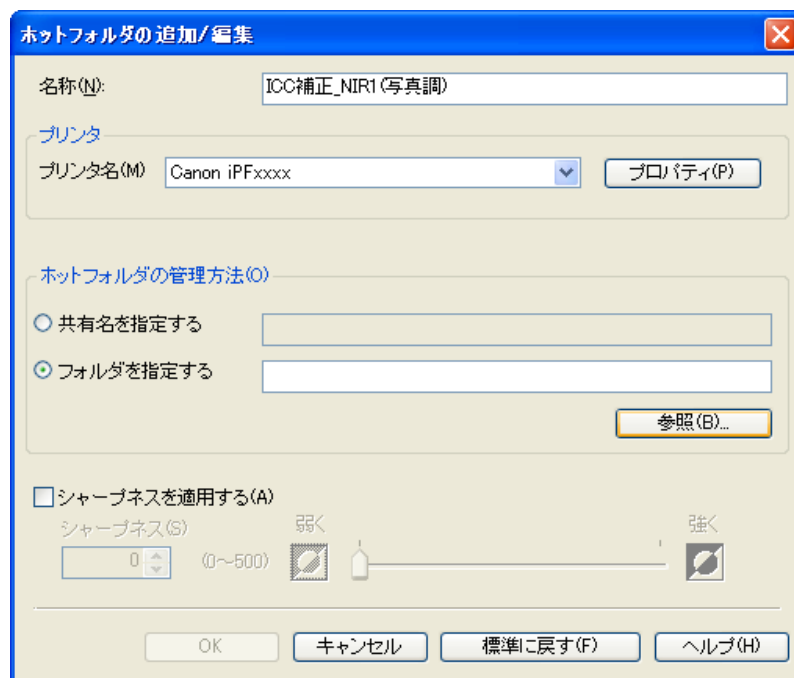
8. [完了]ボタンをクリックし、[簡単設定ウィザード]ダイアログボックスを閉じます。

[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスの[ホットフォルダ]の一覧に、作成したホットフォルダが表示されます。

既存の共有フォルダをホットフォルダに指定する

1. ホットフォルダに指定するフォルダを共有します。

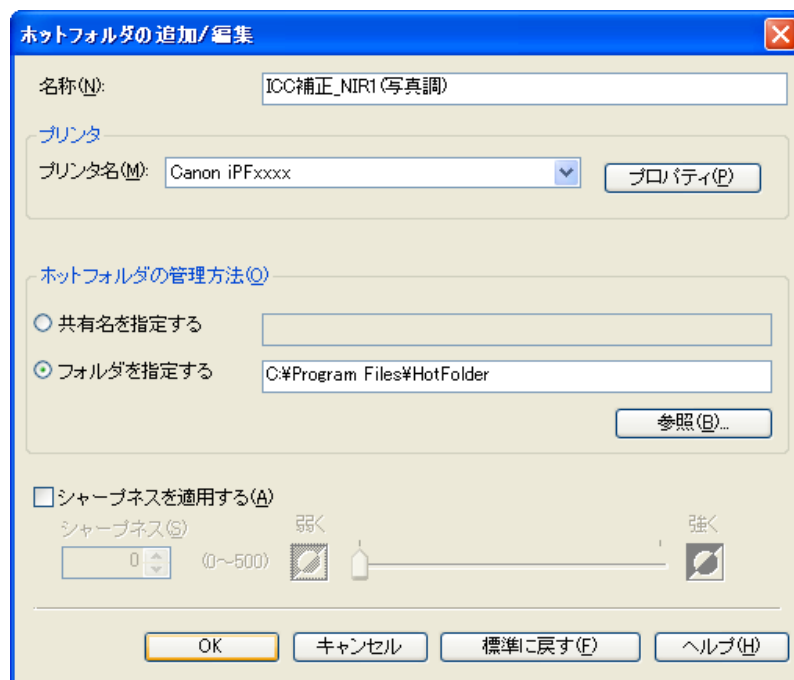
2. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、「Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法」を参照してください。 →P.266

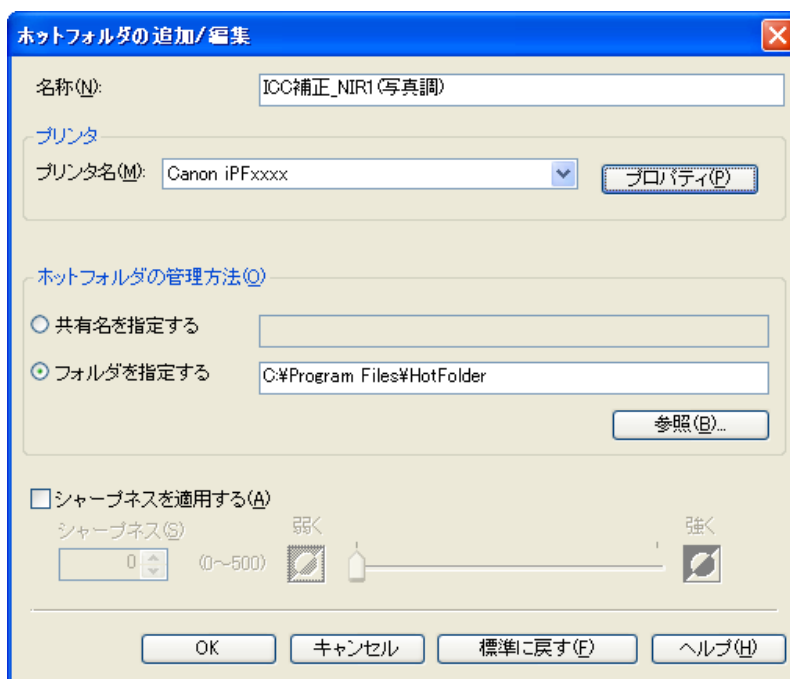
3. [簡単設定ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。
[マニュアル設定]ボタンをクリックします。

4. [ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスが表示されます。
[名称]にホットフォルダの名称を入力します。
[フォルダを指定する]を選択してから、[参照]をクリックし、既存の共有フォルダを設定します。

5. フォルダの場所が表示されます。
ホットフォルダに指定するフォルダを選択して、[OK]ボタンをクリックします。

6. 必要に応じて、ホットフォルダに印刷について設定することができます。(「印刷について設定する」参照) →P.277
[OK]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスを閉じます。

4

[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスの[ホットフォルダ]の一覧に、作成したホットフォルダが表示されます。

印刷について設定する

[ホットフォルダの追加/編集]ダイアログボックスから[プロパティ]ボタンをクリックすると、プリンタドライバが開きます。プリンタドライバで、プリンタにセットしている用紙の種類に合わせて基本的な設定をします。

プリンタドライバについての詳細はプリンタドライバ →P.183 を参照してください。

メモ

- [基本設定]シート、[ページ設定]シート、[レイアウト]シートの 3 つのシートのみ表示します。一部プリンタドライバの設定項目が無効になるものがあります。

[シャープネスを適用する]

チェックマークを付けると、シャープネスの設定を行うことができます。
スライドバーを左右にドラッグして調整します。直接数値を入力して調整することもできます。

メモ

- 入力できる数値は 0〜500 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。
- PDF 形式のファイルには適用されません。

Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をプリンタで自動的に拡大して印刷することができます。
Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダへ送信すると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
この一連の機能を Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能と呼びます。
Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能を使用するために、あらかじめ以下の流れで設定を行います。

1. コンピュータにホットフォルダを作成します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータを送信するホットフォルダをコンピュータに作成し、拡大コピーするための設定を行います。
2. Color imageRUNNER に読取設定を登録します。

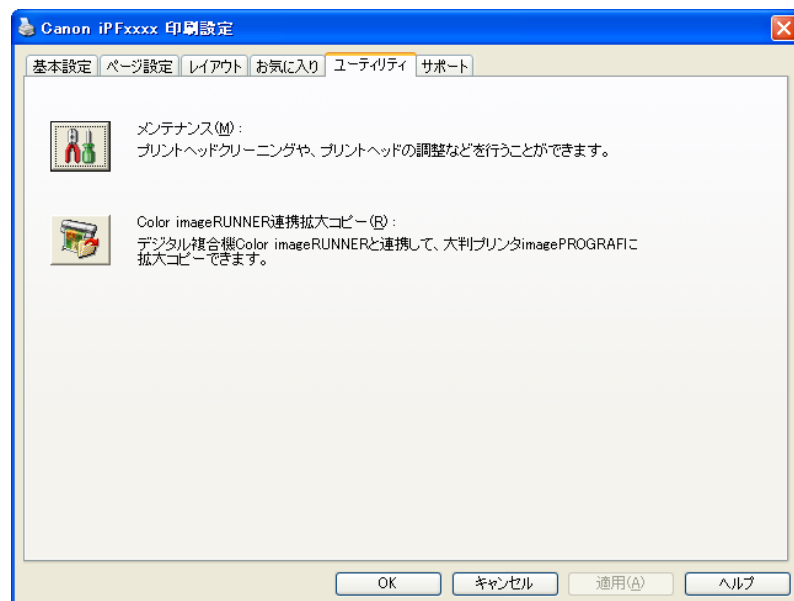
Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。

上記の設定が完了したら、Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信し、拡大印刷することができます。

コンピュータにホットフォルダを作成する

ホットフォルダとは、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー](iR 連携)機能で使用するフォルダです。Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータを格納するホットフォルダを、コンピュータに作成します。ホットフォルダには、このフォルダに送信されたデータを印刷する際の、画質や用紙サイズなどの印刷条件を設定できます。ホットフォルダを作成、編集するには、以下の手順を行います。

1. プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く」参照) →P.193

2. [ユーティリティ]タブをクリックし、[ユーティリティ]シートを開きます。

3. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]をクリックし、Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティを起動します。

4. Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティでホットフォルダを作成、編集します。
ホットフォルダを作成、編集する手順については、Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティのヘルプを参照してください。

Color imageRUNNER に読取設定を登録する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。読取設定と送信先を Color imageRUNNER の[定型業務]ボタンとして登録すると、ホットフォルダへ簡単に送信できます。
Color imageRUNNER の[定型業務]ボタンに読取設定と送信先を登録する手順については、Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティの[Color imageRUNNER 連携拡大コピー設定マニュアル]ボタンをクリックして表示される設定マニュアル、または Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

原稿をスキャンして拡大印刷する

Color imageRUNNER で原稿をスキャンして、拡大印刷するには、以下の手順を行います。手順の詳細については、Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

1. Color imageRUNNER の原稿台ガラスまたはフィーダに原稿をセットします。

2. [送信/ファクス](または[送信])を押し、送信画面を表示します。

3. [定型業務]ボタンを押し、ホットフォルダ用に登録した[定型業務]ボタンを押します。

4. 操作パネルの[スタート]ボタンを押します。原稿台ガラスで原稿をスキャンした場合は、すべての原稿をスキャンした後にタッチパネルディスプレイの[読込終了]を押してください。
スキャンした原稿がホットフォルダに送信され、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional

Print Plug-In の特長

Print Plug-In の主な特長は以下のとおりです。

- sRGB 用または Adobe RGB 用の画像の色空間を自動認識し、最適なプロファイルを自動的に設定できます。このため、面倒な設定をすることなく Adobe RGB の印刷が実現できます。
- Photoshop 上の画像データを直接加工し、プリンタに画像データを転送することができます。これにより、RGB8bit だけでなく RGB16bit の画像データを処理することができます。
- 実画像を元にした画像プレビュー表示機能、出力用紙サイズ上の画像配置を元にしたレイアウトプレビュー機能によって、印刷レイアウトの確認や色調整ができます。
- プリンタの選択、用紙の種類、出力プロファイルの選択やマッチング方法などの基本的なプリンタの設定に加えて、フチなし印刷、拡大縮小処理などもプリンタドライバを経由せずに設定できます。
- 印刷履歴管理機能により、過去の印刷設定パラメータの読み込みができます。また、お気に入りをファイルとして保存できます。

メモ
- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、Print Plug-In 上の設定(レイアウトプレビュー上の画像の配置、印刷開始位置、出力用紙サイズ)と異なる場合があります。

- 黒点補正を行うことにより、暗部の階調の潰れを軽減することができます。

メモ
- 黒点補正の機能を使用するには、Adobe CMM が必要です。

- 印刷機のプロファイルを指定して、印刷機のシミュレーション印刷を行うことができます。

動作環境

Print Plug-In の動作環境は、以下のとおりです。

- 対応 OS バージョン
  Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7
- 対応 Photoshop バージョン
  Photoshop CS4、Photoshop CS3、Photoshop CS2、Photoshop CS
- 対応 Digital Photo Professional バージョン
  Digital Photo Professional バージョン 3.6x 以上
- インストールが必要なソフトウェア
  Photoshop または Digital Photo Professional、imagePROGRAF プリンタドライバ

メモ
- Photoshop のバージョンごとに、対応する OS のバージョンは異なります。詳しくは Adobe 社にご確認ください。
- Windows の 64bit 版の OS 環境に Photoshop CS4 をインストールすると、Photoshop CS4 の 32bit 版と 64bit 版がインストールされます。Print Plug-In は、Photoshop CS4 32bit 版にのみ対応しています。Photoshop CS4 64bit 版では動作しませんのでご注意ください。
- Digital Photo Professional のバージョンごとに、対応する OS のバージョンは異なります。

インストール手順

Print Plug-In をインストールする手順は、以下のとおりです。

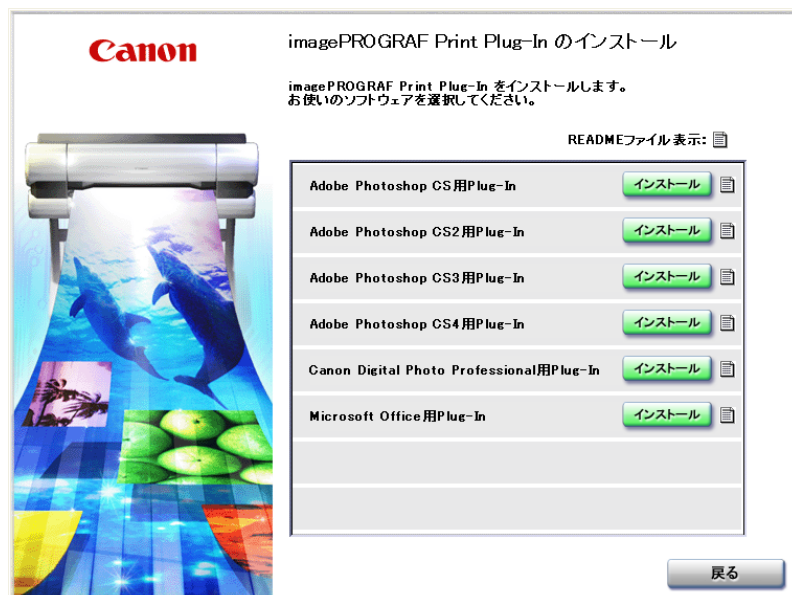
1. CD-ROM ドライブに、「User Software CD-ROM」を挿入し、インストーラを起動します。

メモ

- インストーラの画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]から CD-ROM アイコンを開き、[setup.exe]をクリックし、アイコンを開きます。

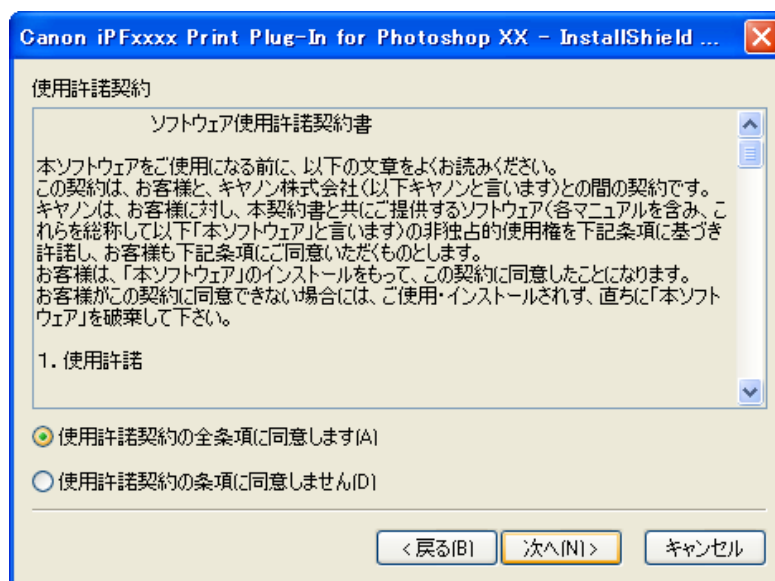
2. [imagePROGRAF Print Plug-In]ボタンをクリックします。

3. ご使用の Print Plug-In に対応した[インストール]ボタンをクリックします。

4

メモ

- Print Plug-In 対応の Photoshop がインストールされていない場合は、[対象のソフトウェアがありません。]と表示されます。対応する Photoshop がインストールされているコンピュータに Print Plug-In をインストールしてください。(「動作環境」参照) →P.281
- Print Plug-In をインストールする Photoshop プラグイン用のフォルダが見つからない場合、[手動でプラグインのインストール先を指定しますか？]と表示されます。この場合、Photoshop のマニュアルを参照して、プラグイン用のフォルダを指定してください。
- インストールされている Photoshop が一度も起動されていない環境に、Print Plug-In をインストールすることはできません。その場合、いったん、Photoshop を起動後、終了させてから Print Plug-In をインストールしてください。

4. [次へ]ボタンをクリックします。

5. 使用許諾契約書を読んで、[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

6. [インストール]ボタンをクリックします。

7. [完了]ボタンをクリックします。

Print Plug-In のインストールが終了します。

アンインストール手順

Print Plug-In をアンインストールする手順は､以下のとおりです。

- Print Plug-In for Photoshop のアンインストール

1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。
2. [プログラムの追加と削除]を開きます。
3. [Canon iPFxxxx Print Plug-In for Photoshop xx]を選択し､[変更と削除]ボタンをクリックします。

- Print Plug-In for Digital Photo Professional のアンインストール

1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。
2. [プログラムの追加と削除]を開きます。
3. [Canon iPFxxxx Print Plug-In for Digital Photo Professional]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

メモ
- iPFxxxx は、ご使用のプリンタ名になります。

Photoshop からの起動方法

Photoshop から Print Plug-In を起動する手順は、以下のとおりです。

1. Photoshop を起動します。
2. 印刷したい画像を開きます。
3. 必要に応じて印刷する範囲を選択します。

メモ
- Print Plug-In で扱える画像は、幅または高さが 60,000pixel 未満のものです。画像の幅または高さが 60,000pixel 以上の画像は、選択範囲を小さくするか画像処理で小さくしてから、手順 3 を行ってください。

4. [ファイル]メニューから[書き出し](または[データ書き出し])を選択して、ご使用のプリンタに合った出力プラグインを選択します。
imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop ウィンドウ(以下、Print Plug-In ウィンドウ と呼びます)が表示されます。

メモ

- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、最新の imagePROGRAF プリンタドライバをインストールしてから、手順 3 を行ってください。
  [iPFxxxx 用の imagePROGRAF プリンタドライバがインストールされていないか、または正常にインストールされていません。インストールしてください。]
  (上記メッセージの iPFxxxx の部分はご使用のプリンタ名になります。)
- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、画像の色空間を RGB カラーかグレースケールに変換してから、手順 3 を行ってください。
  [画像の色空間を RGB カラーかグレースケールに設定してください。]

重要

- 市販のプロファイル作成ツールでプロファイルを作成した場合、ICCv4 フォーマットで作成される場合があります。画像のソースプロファイルが ICCv4 の場合は、Adobe CMM が必要です。Adobe CMM がインストールされていない場合には、メッセージが表示されて、ソースプロファイルが Adobe RGB に変更されます。
  ICCv4 プロファイルを使用したい場合は、Plug-In を一度閉じてから Adobe CMM をインストールしてください。Adobe CMM のインストール方法は、Adobe CMM を使用する →P.318 を参照してください。

Digital Photo Professional からの起動方法

Digital Photo Professional から Print Plug-In を起動する手順は、以下のとおりです。

1. Digital Photo Professional を起動します。
2. 印刷したい RGB カラーの画像を開きます。
3. 必要に応じて印刷する範囲を選択します。

メモ

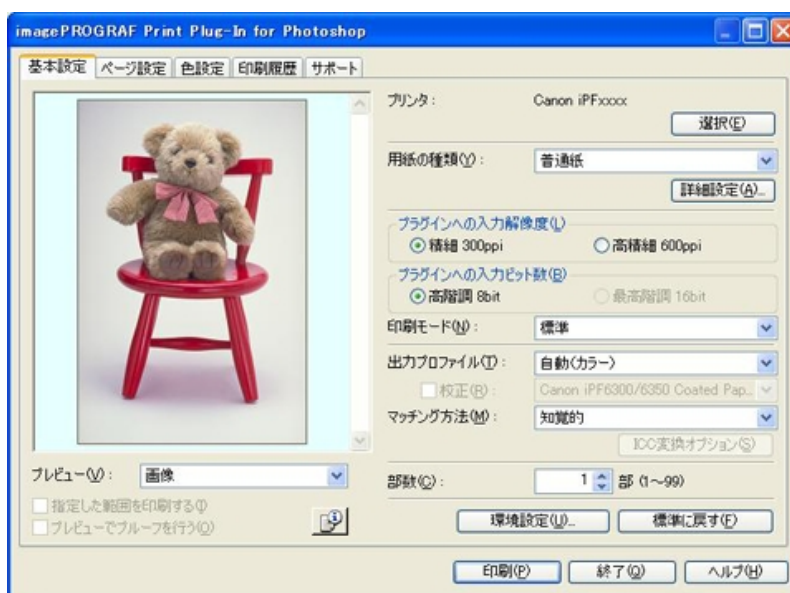
- Print Plug-In で扱える画像は、幅または高さが 6,000pixel 未満のものです。画像の幅または高さが 6,000pixel 以上の画像は、選択範囲を小さくするか画像処理で小さくしてから、手順 3 を行ってください。

4. [ファイル]メニューから[プラグイン印刷]を選択して、ご使用のプリンタに合った出力プラグインを選択します。
imagePROGRAF Print Plug-In for Digital Photo Professional ウィンドウ(以下、Print Plug-In ウィンドウ と呼びます)が表示されます。

重要

- 市販のプロファイル作成ツールでプロファイルを作成した場合、ICCv4 フォーマットで作成される場合があります。画像のソースプロファイルが ICCv4 の場合は、Adobe CMM が必要です。Adobe CMM がインストールされていない場合には、メッセージが表示されて、ソースプロファイルが Adobe RGB に変更されます。
ICCv4 プロファイルを使用したい場合は、Plug-In を一度閉じてから Adobe CMM をインストールしてください。Adobe CMM のインストール方法は、Adobe CMM を使用する →P.318 を参照してください。

Print Plug-In メインウィンドウ

Print Plug-In のメインウィンドウは、シート選択エリア、プレビューエリア、ボタンエリアで構成されています。

シート選択エリア

Print Plug-In ウィンドウ上で各シートを切り替えるためのタブが表示されています。

タブを選択すると、各シートが表示されます。各シートで設定できる項目については以下をご覧ください。

- 基本設定シート →P.291
- ページ設定シート →P.294
- 色設定シート →P.297
- 印刷履歴シート →P.298
- サポートシート →P.299

プレビューエリア

設定した内容が画像にどのように反映されるのかを確認することができます。

プレビューエリアで設定できる項目については、「プレビューエリア」を参照してください。→P.289

ボタンエリア

[印刷]、[終了]、[ヘルプ]のボタンがあります。

- [印刷]ボタン
  ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。
- [終了]ボタン
  ボタンをクリックすると、Print Plug-In ウィンドウを閉じ、アプリケーションに戻ります。
- [ヘルプ]ボタン
  ボタンをクリックすると、Print Plug-In のヘルプが表示されます。

プレビューエリア

設定した内容が画像にどのように反映されるのかを確認することができます。

[プレビュー]

プレビュー表示の方法を選択します。
プレビューについて詳しくは、「3 種類のプレビューを活用する」を参照してください。→P.308

設定項目	内容
[印刷範囲レイアウト]	設定した[出力用紙サイズ]に合わせたレイアウトで、印刷される範囲以外もあわせて表示します。 *カーソルが 表示のときに画像をドラッグすると、画像の印刷位置を変更できます。
[画像]	画像全体が表示されます。 *カーソルが 表示のときに画像をドラッグすると、印刷範囲を選択することができます。 *カーソルが 表示のときに、画像をクリックすると、選択が解除されます。
[ロール紙プレビュー]	ロール紙に印刷するときのレイアウトで、上部に出力用紙サイズとロール紙情報もあわせて表示します。 *[ロール紙プレビュー]を選択するときは、[給紙方法]で[ロール紙]を選択してください。

[指定した範囲を印刷する]

チェックマークを付けると、選択範囲だけが印刷されます。

メモ

- [プレビュー]で[画像]を選択し、プレビュー表示で画像の一部を選択すると有効になります。

[プレビューでプルーフを行う]

チェックマークを付けると、プレビューに出力結果の色がシミュレーションして表示されます。

メモ

- [出力プロファイル]に[自動(カラー)]を選択した場合、一部の用紙の種類に対して有効です。
- [出力プロファイル]に ICC プロファイルを選択した場合、常に有効です。
- ご使用の環境や条件などにより、シミュレーションの結果と、実際の印刷結果の色合いが異なる場合があります。また、[出力プロファイル]で、使用するプリンタやメディアに対応しない ICC プロファイルを選択した場合、実際の印刷結果とは異なる色合いになります。

[画像のプロパティ]ボタン

ボタンをクリックすると、[画像のプロパティ]ダイアログボックスが表示され、Print Plug-In に読み込んだ画像の[画像サイズ]、[解像度]、[ビット数]、[色空間]情報が表示されます。
[閉じる]ボタンをクリックすると、Print Plug-In に戻ります。

基本設定シート

プリンタの選択、用紙の種類設定や画像の品質など、基本的な設定を行います。

[プリンタ]

プリンタの機種が表示されます。

[選択]ボタン

ボタンをクリックすると、[プリンタの選択]ダイアログボックスが表示されます。
[プリンタの選択]ダイアログボックスでプリンタを選択して[OK]ボタンをクリックすると、Print Plug-In に対応するプリンタを変更することができます。

[用紙の種類]

用紙の種類を選択します。
[用紙の種類]について詳しくは、「用紙の設定をカスタマイズする」を参照してください。→P.327

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

[詳細設定]ボタン

ボタンをクリックすると、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスが表示されます。
用紙の詳細設定について詳しくは、「用紙の詳細設定ダイアログボックス」を参照してください。→P.300

[プラグインへの入力解像度]

Print Plug-In で処理する画像の解像度を選択します。
解像度には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[精細 300ppi]	精細な解像度で画像処理が行われます。印刷速度とメモリ容量の抑制に効果があります。

設定項目	内容
[高精細 600ppi]	より高精細な解像度で画像処理が行われます。最良の印刷結果が得られますが、[精細 300ppi]を選択した場合より印刷に時間がかかります。また、メモリ容量が多く必要になります。 *[用紙の種類]で設定した内容によっては、表示されない場合があります。

[プラグインへの入力ビット数]

Print Plug-In で処理するビット数を選択します。
入力ビット数には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[高階調 8bit]	8bit/チャンネル(24 ビット)で画像処理が行われます。
[最高階調 16bit]	16bit/チャンネル(48 ビット)で画像処理が行われます。 *[用紙の種類]と[プラグインへの入力解像度]で設定した内容によっては、表示されない場合があります。

[印刷モード]

画質と印刷速度のバランスで印刷モードを選択できます。
印刷モードには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[最高]	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。
[きれい]	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。[標準]や[速い]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、印刷品質は高くなります。
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。[最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。
[速い]	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。レイアウトの確認などを効率よく行えます。
[最高(最大パス数)]	[最高]にしても暗部の濃度や階調性に不満がある場合に使用します。ただし、印刷にかかる時間は非常に遅くなります。

メモ

- 選択できる設定は、設定した[用紙の種類]、[プラグインへの入力解像度]、[プラグインへの入力ビット数]によって異なります。

[出力プロファイル]

出力プロファイルを選択します。
出力プロファイルには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[自動(カラー)]	入力画像データの色空間情報(sRGB, Adobe RGB)や、用紙の設定などから最適な色変換が行われます。通常はこの設定を選択してください。
[自動(モノクロ写真)]	入力画像データの色空間情報(sRGB, Adobe RGB)や、用紙の設定等から最適なモノクロへの変換を行います。
[なし(色補正しない)]	プラグインで色変換を行いません。オリジナルの ICC プロファイルを作成する場合に便利です。

設定項目	内容
[外部 ICC プロファイル]	OS 標準のフォルダに保存されている ICC プロファイルから、出力するプリンタの ICC プロファイルを選択します。入力データの色空間情報と、選択した ICC プロファイルを使用して色変換が行われます。

メモ

- [自動(モノクロ写真)]は、対応する用紙の種類にのみ選択できます。

重要

- ICCv4 プロファイルを使用するためには、Adobe CMM をインストールする必要があります。Adobe CMM のインストール方法は、Adobe CMM を使用する →P.318 を参照してください。

[校正]

[出力プロファイル]で ICC プロファイルを選択しているときに表示されます。
チェックマークを付けると、印刷機のシミュレーション印刷を行うことができます。
印刷機のシミュレーション印刷について詳しくは、印刷機のシミュレーション印刷を行う →P.321 を参照してください。

[マッチング方法]

色変換を行う際の処理方法を選択します。
マッチング方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[知覚的]	自然な色合いや階調に変換されます。写真の色補正に適しています。
[知覚的(人肌・暗部優先)]	暗い部分の多いローキーな写真に対して、人肌や暗部を美しく再現するために最適なカラーマッチングを行います。
[彩度]	色の鮮やかさを重視して変換されます。写真やイラストの色合いが変わることがあります。
[相対的な色域を維持]	画像の色合いを重視して変換されます。写真やイラストの色補正に適しています。

メモ

- [出力プロファイル]が、[自動(モノクロ写真)]および[なし(色補正しない)]の場合、選択することはできません。

[ICC 変換オプション]ボタン

[出力プロファイル]で ICC プロファイルを選択しているときに表示されます。
ボタンをクリックすると、[ICC 変換オプション]ダイアログボックスが表示され、カラー変換に関する設定を行うことができます。
ICC 変換オプションについて詳しくは、ICC 変換オプションダイアログボックス →P.303 を参照してください。

[部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 1〜99 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンをクリックしても、数値を変更することができます。

[環境設定]ボタン

ボタンをクリックすると、[環境設定]ダイアログボックスが表示され、シャープネスや画像拡大方法を設定することができます。
[環境設定]について詳しくは、「環境設定ダイアログボックス」を参照してください。→P.302

[標準に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、[基本設定]シートで設定した項目が初期値に戻ります。

ページ設定シート

印刷する画像のサイズや用紙のサイズ、画像の拡大/縮小などについて設定します。

[入力画像サイズ]

Print Plug-In に読み込んだ画像のサイズが表示されます。

[フチなし印刷]

チェックマークを付けると、[ロール紙幅の指定]ダイアログボックスが表示され、画像をフチなしで印刷するよう設定することができます。
[フチなし印刷]について詳しくは、「フチなしで印刷する」を参照してください。→P.326

メモ
- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[拡大/縮小印刷]

チェックマークを付けると、画像を拡大/縮小して印刷することができます。
画像を拡大/縮小する場合は拡大/縮小の方法を選択します。選択した方法に合わせて、[出力画像サイズ]にプリンタに送信される画像サイズが表示されます。
拡大/縮小印刷には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[出力用紙サイズに合わせる]	Print Plug-In に読み込んだ画像が、出力する用紙サイズに合わせて、全体的に拡大/縮小されて印刷されます。

設定項目	内容
[ロール紙の幅に合わせる]	Print Plug-In に読み込んだ画像が、ロール紙の幅に合わせて、全体的に拡大/縮小されて印刷されます。 *[給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ表示されます。
[倍率を指定する]	Print Plug-In に読み込んだ画像が指定した倍率で拡大/縮小されます。倍率を半角数字で入力してください。設定できる倍率は 5～600%です。 *[▲]ボタンまたは[▼]ボタンをクリックしても、数値を変更することができます。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

[出力画像サイズ]

出力される画像サイズがミリ単位で小数点以下 1 桁まで表示されます。

メモ

- [出力用紙サイズ]が[出力画像サイズ]よりも小さい場合、画像が一部欠けて印刷されます。

[出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

[印刷の向き]

印刷の向きを選択します。
印刷の向きには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[縦]	画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
[横]	画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

[印刷レイアウト]

用紙に対する画像を印刷する位置を選択します。
印刷レイアウトには、以下の設定があります。

[印刷レイアウト]

設定項目	内容	
[出力用紙サイズの左上]	[出力用紙サイズ]に対して、有効な印刷領域の左上に合わせて画像を印刷します。	
[出力用紙サイズの中央]	画像の中心が、選択した[出力用紙サイズ]の中心になるように印刷します。	
[印刷開始位置を指定]	[出力用紙サイズ]に対して、印刷領域の上端の開始位置と左端の開始位置を[上端から]と[左端から]に指定して印刷することができます。	
	[上端から]	用紙の上からの余白を半角数字で入力します。 *入力できる数値は、-9999～9999mm です。
	[左端から]	用紙の左からの余白を半角数字で入力します。

設定項目	内容	
[印刷開始位置を指定]	[左端から]	*入力できる数値は、-9999〜9999mm です。

メモ
- [印刷レイアウト]を選択するときは、[プレビュー]で[印刷範囲レイアウト]または[画像]を選択してください。

[ロール紙レイアウト]

設定項目	内容
[ロール紙幅の左上]	出力用紙サイズの左上が、選択したロール紙の左上にくるように印刷します。
[ロール紙幅の中央]	出力用紙サイズの中心が、選択したロール紙幅の中心にくるように印刷します。

メモ
- [ロール紙レイアウト]を選択するときは、[プレビュー]で[ロール紙プレビュー]を選択してください。

[給紙方法]

給紙方法を選択します。
給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[手差し]	手差しによる印刷の場合に選びます。
[手差し(余白 3mm)]	手差しによる印刷で、用紙後端の余白を小さくしたい場合に選びます。
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。

メモ
- [給紙方法]で[手差し(余白 3mm)]を選択すると、用紙によっては画像の後端が乱れる場合があります。この場合は、他の給紙方法を選択してください。

[ロール紙オプション]ボタン

ボタンをクリックすると、[ロール紙オプション]ダイアログボックスが表示され、ロール紙の幅やオートカット設定などを設定することができます。
ロール紙オプションについて詳しくは、「ロール紙オプションダイアログボックス」を参照してください。
→P.304

[ユーザ用紙設定]ボタン

ボタンをクリックすると、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスが表示され、用紙名や、用紙サイズなどを設定できます。
ユーザ用紙設定について詳しくは、「ユーザ用紙設定ダイアログボックス」を参照してください。→P.304

[標準に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、[ページ設定]シートで設定した項目が初期値に戻ります。

色設定シート

画像の色調、[明るさ]、[コントラスト]、[鮮やかさ]などを調整して、印刷結果をより思いどおりの色合いに設定することができます。

[シアン]/[マゼンタ]/ [イエロー]

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、各色の強弱が調整されます。

メモ

- 調整具合は、プレビューで確認することができます。

[グレー色調]

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、グレーの色が冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで調整されます。

メモ

- 調整具合は、プレビューで確認することができます。

[明るさ]

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分を損なわずに印刷結果の明るさが調整されます。

メモ

- 調整具合は、プレビューで確認することができます。

[コントラスト]

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分の明るさが相対的に調整されます。

メモ

- 調整具合は、プレビューで確認することができます。

[鮮やかさ]

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、ビビッドな色合いからくすんだ色合いまで鮮やかさが調整されます。

メモ

- 調整具合は、プレビューで確認することができます。

[トーンカーブ]ボタン

ボタンをクリックすると、[トーンカーブ]ダイアログボックスが表示され、[チャンネル]などを設定することができます。
[トーンカーブ]について詳しくは、「トーンカーブダイアログボックス」を参照してください。→P.305

[標準に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、[色設定]シートで設定した項目が初期値に戻ります。

印刷履歴シート

印刷に使用した設定の履歴を適用したり、画像のファイル名などの情報を画像とともに印刷する設定を行います。

[印刷履歴とお気に入り]

登録されたお気に入りが一覧で表示されます。
あらかじめ設けてある[デフォルトに戻す]を選択し、[適用]ボタンをクリックすると、全ての設定値が初期値に戻ります。

メモ

- 一覧上部には、お気に入りが 3 件まで表示されます。

[適用]ボタン

ボタンをクリックすると、[印刷履歴とお気に入り]で選択された印刷履歴の設定内容が画像に適用されます。

[詳細]ボタン

ボタンをクリックすると、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスが表示され、印刷履歴の管理を詳細に行うことができます。
印刷履歴の詳細について詳しくは、「印刷履歴の詳細ダイアログボックス」を参照してください。→P.306

[情報を印刷する]

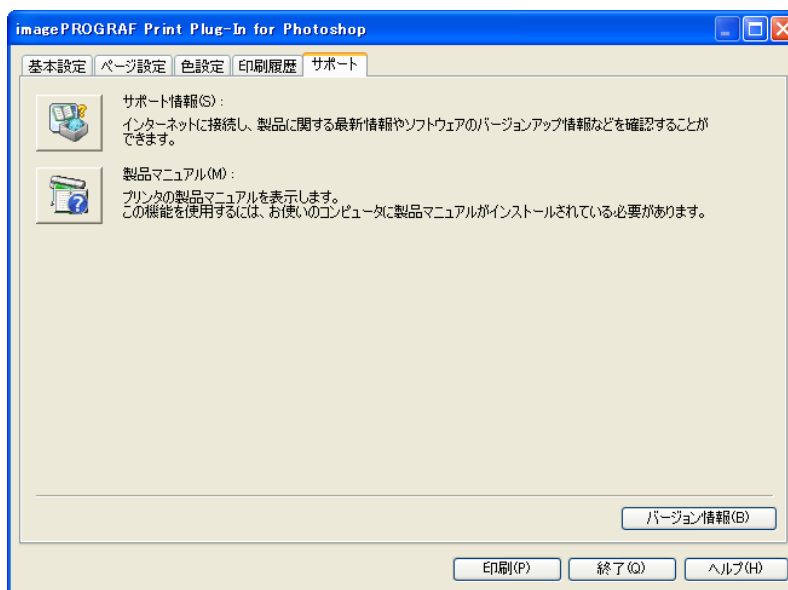
チェックマークを付けると、画像とともにファイル名や印刷日時などを印刷することができます。印刷する位置や内容については、以下の項目を設定する必要があります。
[情報を印刷する]について詳しくは、「情報を画像とともに印刷するよう設定する」を参照してください。
→P.339

設定項目	内容	
[情報の印刷位置]	情報を印刷する位置を選択します。	
	[上(ヘッダ)]	画像の上に情報が印刷されます。
	[下(フッタ)]	画像の下に情報が印刷されます。
[印刷履歴番号]	チェックマークを付けると、印刷履歴番号が印刷されます。	
[ファイル名]	チェックマークを付けると、ファイル名が印刷されます。	
[印刷日時]	チェックマークを付けると、印刷日時が印刷されます。	
[色調整値]	チェックマークを付けると、色調整値が印刷されます。	
[プリンタ名]	チェックマークを付けると、プリンタ名が印刷されます。	
[コメント]	チェックマークを付けると、コメントの内容が印刷されます。	
[コメントの内容]	チェックマークを付けると、コメントの内容が表示されます。	

[コメントの編集]ボタン

ボタンをクリックすると、[コメントの編集]ダイアログボックスが表示され、コメントを編集することができます。

サポートシート

製品に関するサポート情報や電子マニュアルを表示します。

[サポート情報]ボタン

ボタンをクリックすると、製品に関する最新情報を記載したウェブサイトを表示します。

メモ
- 各ウェブサイトを閲覧するには、インターネットに接続する必要があります。

[製品マニュアル]ボタン

ボタンをクリックすると、コンピュータにインストールされているプリンタの製品マニュアルを表示します。

メモ
- 製品マニュアルがお使いのコンピュータにインストールされている必要があります。

[バージョン情報]ボタン

ボタンをクリックすると、Print Plug-In のバージョン情報ウィンドウが表示されます。バージョン情報ウィンドウの[OK]ボタンをクリックすると、Print Plug-In ウィンドウに戻ります。

用紙の詳細設定ダイアログボックス

[基本設定]シートで、[詳細設定]ボタンをクリックすると、表示されます。用紙の種類に対して[インク乾燥時間]や[ロール紙の安全余白]などを詳細に設定することができます。

[インク乾燥時間]

[ページ間]
インク乾燥のため、用紙を排紙するまでの待ち時間を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	印刷終了後、すぐに排紙されます。
[30 秒] / [1 分] / [3 分] / [5 分] / [10 分] / [30 分] / [60 分]	印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙されます。

[スキャン間]
1 ラインを印刷後、次のラインを印刷するまでの待ち時間を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	1 ライン印刷後、すぐに次のラインが印刷されます。
[1 秒] / [3 秒] / [5 秒] / [7 秒] / [9 秒]	1 ライン印刷後、設定した時間が経過してから次のラインが印刷されます。 *ページ内でにじみが発生したときや、フチなし印刷時に色ムラが発生したときには時間を増やしてください。

[ロール紙の安全余白]

[先端余白]
ロール紙の先端余白の長さを選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[3mm]	定型サイズで印刷されます。 *印刷に特に問題がないときに選択してください。
[20mm]	用紙サイズが定型サイズよりも紙送り方向に 17mm 大きく印刷されます。 *カールの強い用紙を使用した場合など、プリントヘッドのこすれが発生する場合に選択してください。

[カットスピード]

オートカットのスピード設定を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[高速]	[標準]の設定で切断面がきれいにならないときに選びます。
[標準]	オートカットで特に問題ない場合に選びます。
[低速]	[標準]の設定で切断面がきれいにならないときに選びます。

[キャリブレーション調整値]

プリンタ本体でカラーキャリブレーションを行った場合に、その結果を印刷時に使用するかしないかを選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[有効]	キャリブレーション結果を使用して印刷します。
[無効]	キャリブレーション結果を使用しないで印刷します。カラーキャリブレーションによって印刷中の画像の色味が変わってしまうことを避けたい場合に選択します。

[鏡像]

鏡像印刷を行うかどうかを選択できます。クリックしてチェックボックスをオンにすると、文書や画像を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

[片方向印刷]

チェックボックスをオンにすると、罫線ずれなどを防ぎ、印刷品質が向上します。ただし、印刷スピードは遅くなります。

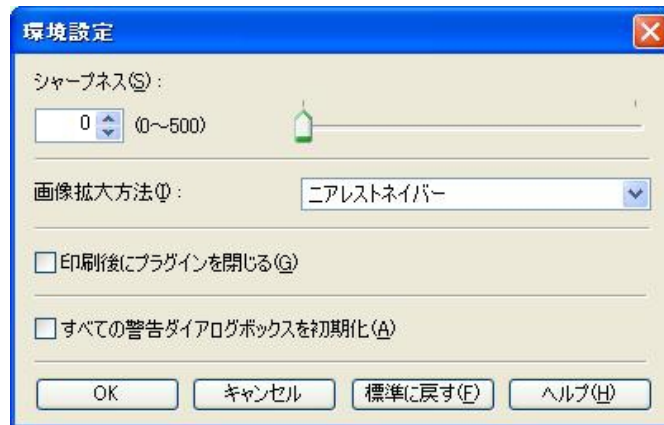
[文字･線画高精細]

インクの着弾精度を高め、特に文字や線画をくっきりと印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。

メモ

- 印刷モードで[最高(最大パス数)]が選択されているときには、[文字･線画高精細]は選択できません。

環境設定ダイアログボックス

[基本設定]シートで、[環境設定]ボタンをクリックすると、表示されます。シャープネスや画像拡大方法を設定することができます。

[シャープネス]

シャープネス(輪郭強調)の設定を行います。

[画像拡大方法]

画像拡大方法を選択します。
画像拡大方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[ニアレストネイバー]	単純拡大を行います。
[バイリニア]	線形拡大を行います。
[バイキュービック]	周辺のピクセルの色調や明るさなどの要素を計算して、ピクセルを補完します。

[印刷後にプラグインを閉じる]

チェックマークを付けると、印刷終了時にプラグインを終了します。

メモ

- キャンセルやエラーなどで印刷が正常に終了しなかった場合は、終了しません。

[すべての警告ダイアログボックスを初期化]

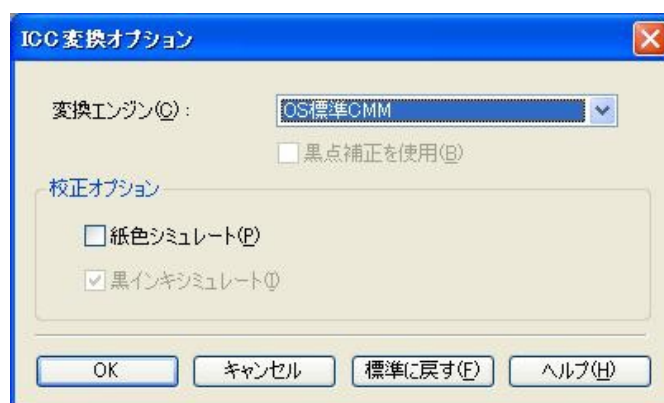
チェックマークを付けると､｢次回からこの画面は表示しない｣設定にしたすべての警告ダイアログを表示するようにします｡

ICC 変換オプションダイアログボックス

[基本設定]パネルの[出力プロファイル]リストで ICC プロファイルを選択し､[ICC 変換オプション]ボタンをクリックすると､表示されます｡カラーマッチングに関する詳細を設定することができます｡

[変換エンジン]

色変換の際に使用する変換エンジンを選択します｡

メモ

- [Adobe CMM]を使用するためには､Adobe CMM をインストールする必要があります｡Adobe CMM のインストール方法は､Adobe CMM を使用する →P.318 を参照してください｡

[黒点補正を使用]

黒点補正を行う場合にチェックマークをつけます｡黒点補正を行うと､暗部の階調の潰れを改善できます｡

メモ

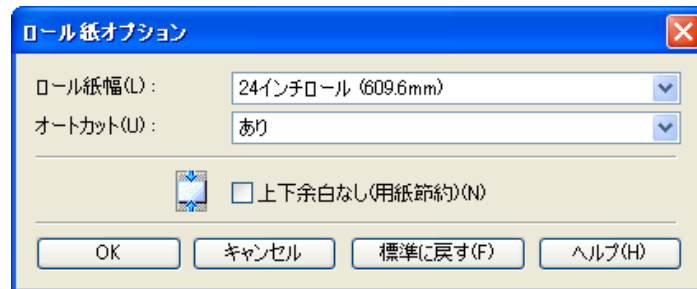
- [変換エンジン]で[Adobe CMM]が選択されているときに使用できます｡

[校正オプション]

印刷機シミュレーションに関する設定を行います｡
校正オプションには以下の設定があります｡

設定項目	内容
[紙色シミュレート]	紙色のシミュレートを行うときに選択します｡オンにすると､[黒インキシミュレート]が自動的にオンになり､グレーアウトします｡
[黒インキシミュレート]	黒インキのシミュレートを行うときに選択します｡有効にするためには､[変換エンジン]で[Adobe CMM]を選択する必要があります｡

ロール紙オプションダイアログボックス

[ページ設定]シートで、[ロール紙オプション]ボタンをクリックすると、表示されます。ロール紙の幅やオートカット設定などを設定することができます。

[ロール紙幅]

プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

[オートカット]

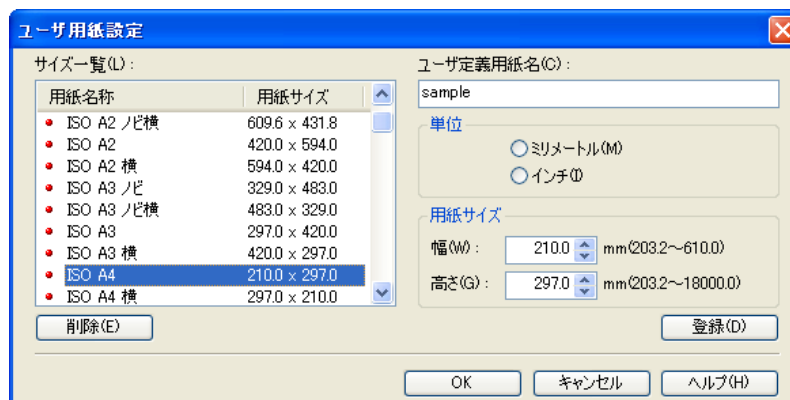
ロール紙のカットを自動で行うか、またはカットラインを印刷するかを設定します。
オートカットには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[あり]	印刷が終わると、自動的に用紙がカットされます。
[なし]	印刷が終わると、1 ページごとにロール紙をカットしないで、連続して次のデータを印刷します。
[カットラインを印刷]	印刷が終わると、1 ページごとに線を印刷し連続して次のデータを印刷します。

[上下余白なし(用紙節約)]

チェックマークを付けると、ロール紙の上下に余白を設定せずに印刷されます。

ユーザ用紙設定ダイアログボックス

[ページ設定]シートで、[ユーザ用紙設定]ボタンをクリックすると、表示されます。用紙名や、用紙サイズなどを設定できます。

[サイズ一覧]

標準サイズとユーザ定義用紙の全てを表示します。

[ユーザ定義用紙名]

任意の名称を、半角で最大 63 文字、全角で最大 31 文字の範囲で入力します。

[単位]

ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位を選択します。これを切り替えると、Print Plug-In の全ての単位が切り替わります。

[用紙サイズ]

[幅]
用紙サイズの幅を入力します。

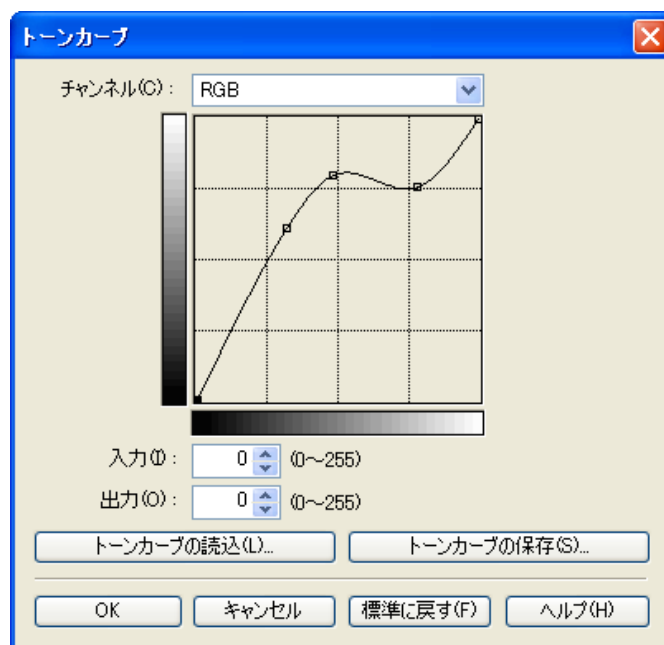
[高さ]
用紙サイズの高さを入力します。

メモ
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[登録]ボタン

ボタンをクリックすると、設定した内容を登録します。

トーンカーブダイアログボックス

[色設定]シートで、[トーンカーブ]ボタンをクリックすると、表示されます。[チャンネル]などを設定することができます。

[チャンネル]

[RGB]、[レッド]、[グリーン]、[ブルー]のいずれかを選択します。

メモ
- モノクロ印刷の場合は[グレー]と表示され、選択することはできません。

[入力]

入力値を入力します。

メモ

- 入力できる数値は、0～255 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[出力]

出力値を入力します。

メモ

- 入力できる数値は、0～255 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

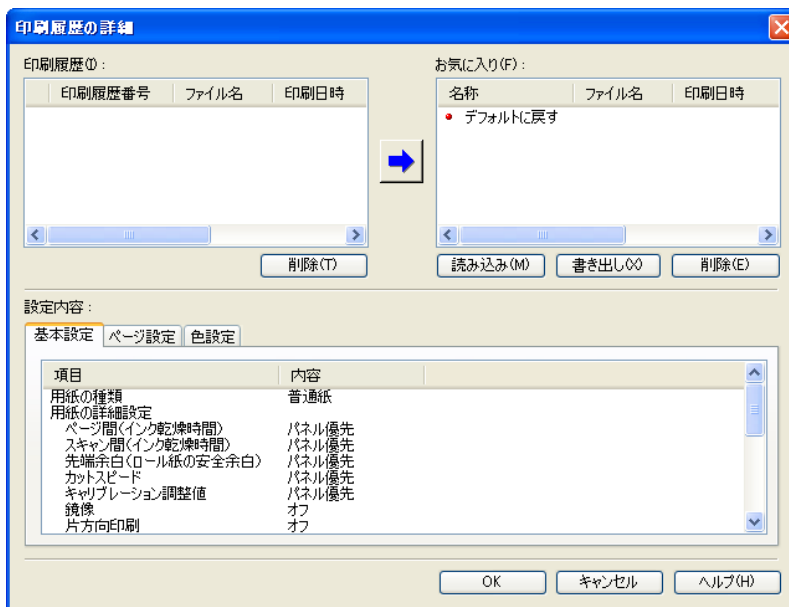
[トーンカーブの読込]ボタン

ボタンをクリックすると、保存したトーンカーブの設定を読み込みます。

[トーンカーブの保存]ボタン

ボタンをクリックすると、トーンカーブの現在の設定を保存します。

印刷履歴の詳細ダイアログボックス

[印刷履歴]シートで、[詳細]ボタンをクリックすると、表示されます。印刷履歴の管理を行います。[印刷履歴の詳細]について詳しくは、「印刷履歴を活用する」を参照してください。→P.327

[印刷履歴]

印刷履歴が一覧で表示されます。

表示項目	内容
[印刷履歴番号]	印刷履歴の管理番号が表示されます。
[ファイル名]	画像のファイル名が表示されます。

表示項目	内容
[印刷日時]	印刷日時が表示されます。
[コメント]	コメントの内容が表示されます。

メモ

- 表示可能な印刷履歴は最大 200 件までです。200 件を超えると、古い履歴から削除されます。
- キャンセルやエラーにより正常に印刷できなかった場合、印刷履歴番号の左側に が表示されます。

[削除]ボタン

ボタンをクリックすると、選択されている印刷履歴が削除されます。

[登録]ボタン

ボタンをクリックすると、選択されている印刷履歴がお気に入りに登録されます。

メモ

- お気に入りは最大 200 件まで追加できます。

[お気に入り]

お気に入りに登録した印刷履歴が一覧で表示されます。

メモ

- 選択してドラッグすると、並び順を変更することができます。

[読み込み]ボタン

ボタンをクリックすると、ファイルとして保存されている印刷履歴を読み込むことができます。

[書き出し]ボタン

ボタンをクリックすると、お気に入りに登録されている印刷履歴をファイルとして保存することができます。

[削除]ボタン

ボタンをクリックすると、お気に入りに登録された印刷履歴を削除することができます。

[設定内容]

[印刷履歴]または[お気に入り]で選択された印刷履歴の内容が表示されます。

表示項目	内容
[基本設定]	選択すると、[基本設定]シートで設定した内容が表示されます。
[ページ設定]	選択すると、[ページ設定]シートで設定した内容が表示されます。
[色設定]	選択すると、[色設定]シートで設定した内容が表示されます。

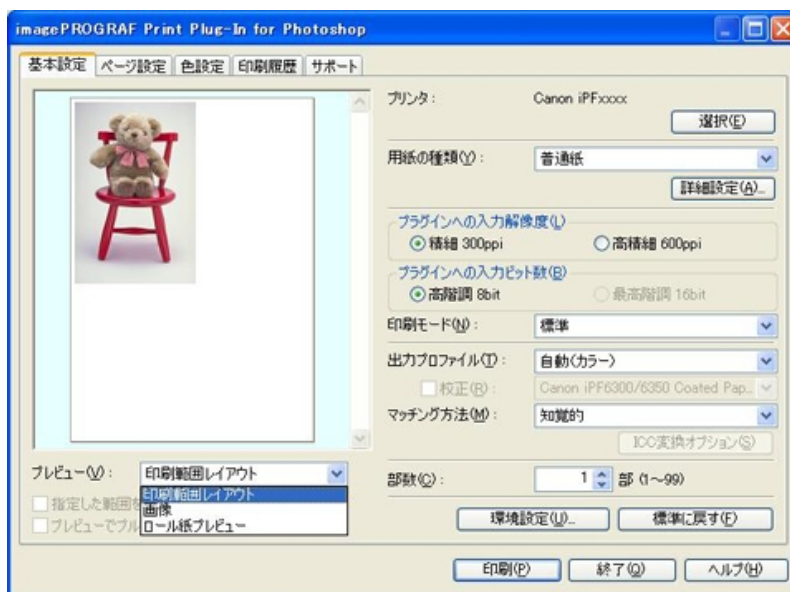
3 種類のプレビューを活用する

Print Plug-In では、3 種類のプレビュー表示で画像を確認することができます。
プレビュー表示の種類は、以下のとおりです。

- 印刷範囲レイアウトで画像を確認する →P.308
- 画像で元画像を確認する →P.309
- ロール紙プレビューで画像を確認する →P.309

印刷範囲レイアウトで画像を確認する

印刷範囲レイアウトでは、設定した出力用紙サイズに合わせたレイアウトで、印刷される範囲以外もあわせて表示します。
[プレビュー]で、[印刷範囲レイアウト]を選択します。

メモ

- プレビュー表示上でカーソルが の状態になると、画像をドラッグして印刷位置を指定することができます。
- カーソルが の状態になるのは、[ページ設定]シートで以下の条件をすべて満たしているときです。
  - [フチなし印刷]のチェックマークが付いていない。
  - [拡大/縮小印刷]のチェックマークが付いていない、または[倍率を指定する]が選択されている。
  - [印刷レイアウト]で、[ロール紙幅の中央]が選択されていない。

画像で元画像を確認する

画像プレビューでは、入力された画像全体を確認することができます。
[プレビュー]で、[画像]を選択します。

メモ

- [プレビュー]で[画像]を選択している場合は、カーソルが の状態でプレビュー表示上をドラッグすると、[指定した範囲を印刷する]が有効になり、選択範囲だけを印刷することができます。
- カーソルが の状態でプレビュー表示上をクリックすると、選択が解除されます。

ロール紙プレビューで画像を確認する

ロール紙プレビューでは、ロール紙に印刷するときのレイアウトで、上部に出力用紙サイズとロール紙情報もあわせて表示します。
[プレビュー]で、[ロール紙プレビュー]を選択します。

メモ

- [プレビュー]で[ロール紙プレビュー]を選択するときは、[給紙方法]で[ロール紙]を選択してください。

お好みの画質で印刷する

お好みの解像度を指定して、印刷することができます。

1. [基本設定]シートを表示します。

2. [用紙の種類]で、プリンタにセットされている用紙を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

3. [プラグインへの入力解像度]で、画像を処理する解像度として[精細 300ppi]または[高精細 600ppi]のいずれかを選択します。

メモ

- [精細 300ppi]を選択すると、精細な解像度で画像処理を行います。印刷スピードとメモリ容量の抑制に効果があります。
- [高精細 600ppi]を選択すると、より高精細な解像度で画像処理を行います。最良の印刷結果が得られますが、[精細 300ppi]を選択した場合より印刷に時間がかかります。また、メモリ容量が多く必要になります。
- [用紙の種類]で選択した内容によっては、[高精細 600ppi]は表示されません。

4. [プラグインへの入力ビット数]で、画像を処理するビット数として[高階調 8bit]または[最高階調 16bit]のいずれかを選択します。

メモ
- [高階調 8bit]を選択すると、画像が 8bit/チャンネル(24 ビット)で画像処理されます。
- [最高階調 16bit]を選択すると、画像が 16bit/チャンネル(48 ビット)で画像処理されます。
- [用紙の種類]または[プラグインへの入力解像度]で選択した内容によっては、[最高階調 16bit]は表示されません。

5. [印刷モード]で、画像を処理する印刷モードを選択します。

メモ
- 選択できる設定は、設定した[用紙の種類]、[プラグインへの入力解像度]、[プラグインへの入力ビット数]によって異なります。

6. [印刷]ボタンをクリックします。

印刷が開始されます。

色を調整して印刷する

希望する色調で画像が印刷されるように調整することができます。
Print Plug-In で色を調整する方法として以下の 5 つを紹介します。

- プレビュー表示で確認しながら色を調整する(カラーの場合) →P.311
- プレビュー表示で確認しながら色を調整する(モノクロの場合) →P.313
- カラーマッチングで色を調整する →P.315
- Adobe RGB16bit 画像をきれいに印刷する →P.316
- 高品質なモノクロの写真を印刷する →P.318
- Adobe CMM を使用する →P.318

プレビュー表示で確認しながら色を調整する(カラーの場合)

プレビュー表示で調整内容を確認しながら、色を調整することができます。
以下の画像調整を例とした手順を説明しています。

- [シアン]を[弱く]
- [イエロー]を[強く]
- [鮮やかさ]を[弱く]
- [グレー色調]を[温黒]
- トーンカーブで明るさを強調

上記画像調整の適用前と適用後は、以下のとおりです。

1. [色設定]シートを表示します。

2. [シアン]で、スライドバーを[弱く]の方向にドラッグします。

3. [イエロー]で、スライドバーを[強く]の方向にドラッグします。

4. [鮮やかさ]で、スライドバーを[弱く]の方向にドラッグします。

5. [グレー色調]で、スライドバーを[温黒]の方向にドラッグします。

メモ

- 半角数字で入力しても、数値を変更することができます。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

6. [トーンカーブ]ボタンをクリックして、トーンカーブの中心付近をクリックします。

7. [入力]に 120 を、[出力]に 135 を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

8. [印刷]ボタンをクリックします。

画像調整が適用され、印刷が開始されます。

プレビュー表示で確認しながら色を調整する(モノクロの場合)

プレビュー表示で調整内容を確認しながら、色を調整することができます。
以下の画像調整を例とした手順を説明しています。

- [コントラスト]を[弱く]
- [ハイライト]を[明るく]
- [シャドー]を[明るく]
- トーンカーブで明るさを強調

上記画像調整の適用前と適用後は、以下のとおりです。

1. [基本設定]シートを表示します。

2. [出力プロファイル]で、[自動(モノクロ写真)]を選択します。

3. [色設定]シートを表示します。

4. [コントラスト]で、スライドバーを[弱く]の方向にドラッグします。

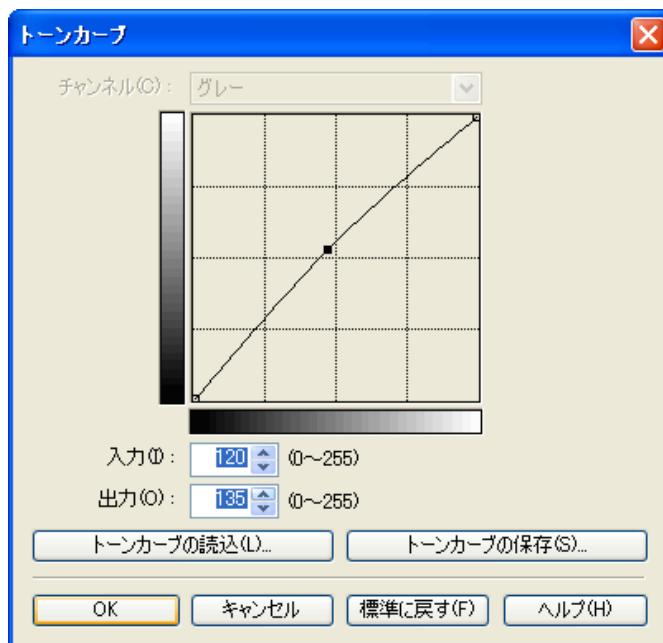
5. [ハイライト]で、スライドバーを[明るく]の方向にドラッグします。

6. [シャドー]で、スライドバーを[明るく]の方向にドラッグします。

メモ

- 半角数字で入力しても、数値を変更することができます。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

7. [トーンカーブ]ボタンをクリックして、トーンカーブの中心付近をクリックします。

8. [入力]に 120 を、[出力]に 135 を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

9. [印刷]ボタンをクリックします。

画像調整が適用され、印刷が開始されます。

カラーマッチングで色を調整する

スキャナやデジタルカメラなどから取り込んだカラー画像を印刷すると、画面上で見たイメージとは異なることがあります。それは、画面上で表示される色とプリンタが印刷する色に違いがあるためです。Print Plug-In では、メディアや解像度設定などに応じて最適な色変換を行う内蔵プロファイルの他、ICC（International Color Consortium）のカラープロファイルを設定したり、マッチングモードの設定を行うことによって、画面上で表示される色合いとプリンタで印刷した色合いをより近付けることができます。

1. [基本設定]シートを表示します。

4

2. [出力プロファイル]で、プロファイルを選択します。

メモ

- [プレビューでプルーフを行う]にチェックマークを付けると、カラーマッチングをプレビュー表示で確認することができます。[用紙の種類]で設定した内容によっては、表示されない場合があります。
- [出力プロファイル]で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されますが、指定したプロファイルが見つからない場合は、[自動(カラー)]に設定されます。
- [出力プロファイル]で ICC プロファイルを選択している場合は、色変換エンジンに Adobe CMM を選択することができます。詳しくは、Adobe CMM を使用する →P.318 を参照してください。

3. [マッチング方法]で、プロファイルのマッチング方法を選択します。

4. [印刷]ボタンをクリックします。

設定した出力プロファイルやマッチング方法で、印刷が開始されます。

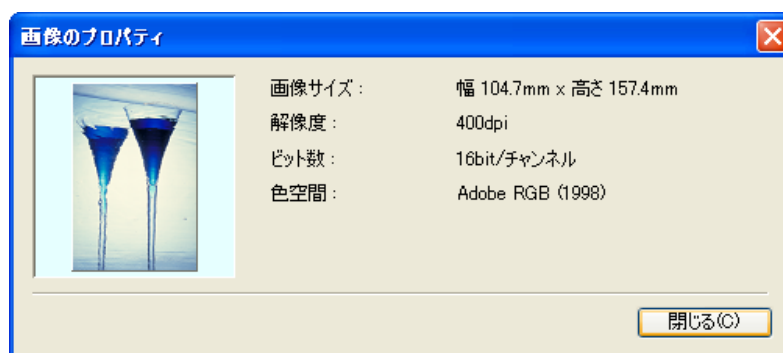
4

Adobe RGB16bit 画像をきれいに印刷する

高機能なデジタルカメラで撮影された Adobe RGB16bit の画像を高品位で印刷します。Print Plug-In では、Photoshop でレタッチした Adobe RGB16bit の画像データを広色域・高階調のまま直接印刷処理するため、画像の階調性を損なうことなく印刷することができます。

1. Photoshop で Adobe RGB16bit の画像データを選択して、Print Plug-In を起動します。(「Photoshop からの起動方法」参照) →P.285

2. ボタンをクリックします。

3. [画像のプロパティ]ダイアログボックスで、[ビット数]に[16bit/チャンネル]、[色空間]に[Adobe RGB]と表示されていることを確認して、[閉じる]ボタンをクリックします。

4. [基本設定]シートを表示します。

5. [プラグインへの入力解像度]で、[高精細 600dpi]を選択します。

6. [プラグインへの入力ビット数]で、[最高階調 16bit]を選択します。

7. [印刷モード]で、できるだけ高品質の印刷モードを選択します。

8. 必要があれば、カラーマッチングで色を調整します。

メモ
- カラーマッチングについて詳しくは、「カラーマッチングで色を調整する」を参照してください。 →P.315

9. [印刷]ボタンをクリックします。

Adobe RGB16bit 画像の印刷が開始されます。

高品質なモノクロの写真を印刷する

スキャナやデジタルカメラなどから取り込んだ画像を、高品質なモノクロで印刷できます。グレーに色がついて見える現象（色転び）を改善したり、光源の影響を小さくしたりすることができます。

1. ［基本設定］シートを表示します。

2. ［出力プロファイル］で、［自動（モノクロ写真）］を選択します。

メモ

- ［自動（モノクロ写真）］は一部の［用紙の種類］を選択した場合にのみ選択できます。

3. ［印刷］ボタンをクリックします。

最適なモノクロへの変換が行われ、印刷が開始されます。

Adobe CMM を使用する

Adobe CMM は Adobe 社製の色変換エンジンです。Adobe CMM を使用することにより、色変換結果の一貫性が得られ、また黒点補正機能が使用できるようになります。

Adobe CMM の入手方法

Adobe CMM は以下の手順で入手します。

1. Adobe 社のウェブサイト（http://www.adobe.com）を開きます。

2. 画面内の検索用入力ボックスに「Adobe CMM」と入力します。

3. 「Adobe Color Management Module（CMM）」の項目が検索されたら、Windows 版を選択します。

4. 画面の指示に従ってファイルをダウンロードします。

5. ダウンロードしたファイルのインストーラを起動し、インストールを行います。

重要

- Adobe CMM はバージョン 1.1 以上を使用してください。

Adobe CMM の動作環境

Adobe CMM の動作環境は、以下のとおりです。

- 対応 OS
  Windows XP SP2、Windows Vista

- 対応 CPU
  Intel Xeon、Xeon Dual、Intel Centrino、Pentium 4 プロセッサ

メモ

- 詳しくは Adobe 社にご確認ください。

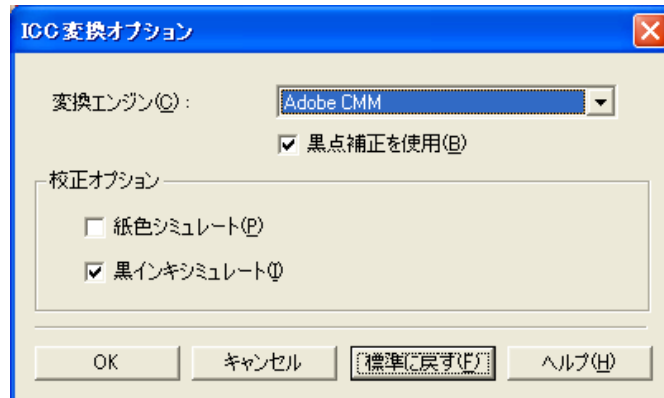
Adobe CMM の使用方法

Adobe CMM を使用する手順は、以下のとおりです。

1. [基本設定]シートを表示します。

2. [出力プロファイル]で、いずれかの ICC プロファイルを選択します。

3. [ICC 変換オプション]ボタンをクリックします。

4. [ICC 変換オプション]ダイアログボックスで、[変換エンジン]から[Adobe CMM]を選択します。

5. [OK]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを閉じます。

4

黒点補正を行う

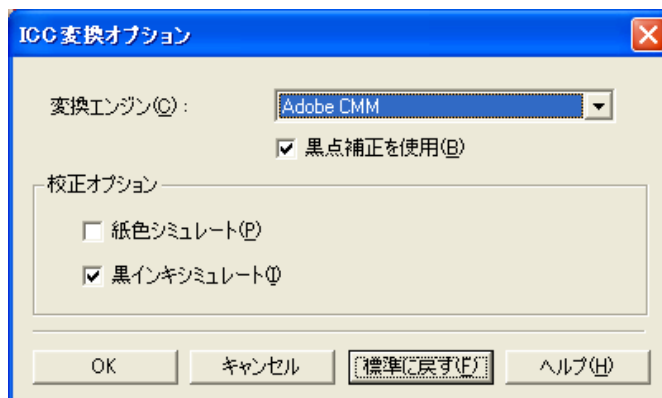
以下の手順により、Photoshop と同等の黒点補正を行うことができます。画像の暗部潰れを避けたいときに使用します。

1. [基本設定]シートを表示します。

2. [出力プロファイル]で、いずれかの ICC プロファイルを選択します。

3. [ICC 変換オプション]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを開きます。

4. [変換エンジン]で[Adobe CMM]を選択します。

5. [黒点補正を使用]にチェックマークを付けます。

6. [OK]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを閉じます。

重要

- 黒点補正を使用するには、Adobe CMM をインストールする必要があります。Adobe CMM のインストール方法は、Adobe CMM を使用する →P.318 を参照してください。

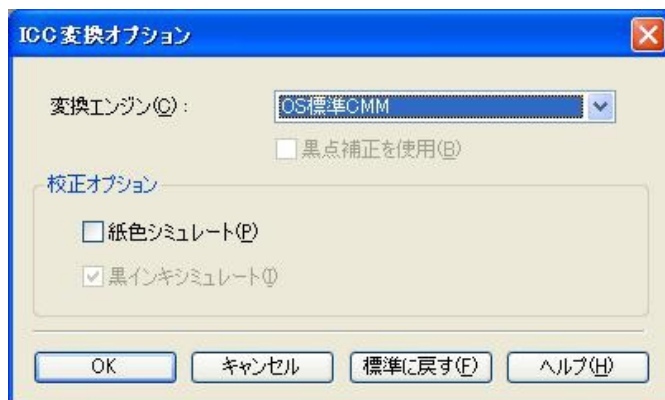
印刷機のシミュレーション印刷を行う

Japan Color や SWOP などの ICC プロファイルや印刷機用の ICC プロファイルを指定して、印刷機のシミュレーション印刷を行うことができます。

1. [基本設定]シートを表示します。

2. [出力プロファイル]で、いずれかの ICC プロファイルを選択します。

3. [校正]にチェックマークを付け、右のリストからターゲットにしたい印刷機のプロファイルを選択します。

4. [ICC 変換オプション]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを開きます。

5. 必要に応じて、[校正オプション]の設定を行います。

メモ
- 校正のオプションとして[紙色のシミュレート]と[黒インキシミュレート]があります。[変換エンジン]の設定によって、選択できるオプションは異なります。

4

6. [OK]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを閉じます。

7. [印刷]ボタンをクリックします。
印刷が開始されます。

拡大/縮小して印刷する

画像の実サイズよりも大きく印刷、または小さく印刷することができます。
拡大/縮小印刷するには、以下の 3 つの方法があります。

- 出力用紙サイズに合わせて拡大/縮小印刷する →P.322
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する →P.323
- 倍率を指定して拡大/縮小印刷する →P.325

出力用紙サイズに合わせて拡大/縮小印刷する

プリンタにセットされている用紙を指定することで、用紙の印刷領域に合わせて画像を拡大/縮小して印刷することができます。指定した出力用紙いっぱいに画像を印刷したいときに使用すると便利です。

メモ
- ロール紙の幅いっぱいに印刷したい場合は、「ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する」を参照してください。→P.323
- ロール紙への印刷に対して以下の手順を行うと、[出力用紙サイズ]で設定した出力用紙サイズに合わせて印刷されます。

1. [ページ設定]シートを表示します。

2. [出力用紙サイズ]で、出力したい用紙のサイズを選択します。

メモ
- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

3. [印刷の向き]で、画像に対する用紙の向きとして[縦]または[横]のいずれかを選択します。

メモ
- [縦]を選択すると、画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
- [横]を選択すると、画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

4. [拡大/縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

メモ
- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

5. [出力用紙サイズに合わせる]を選択します。

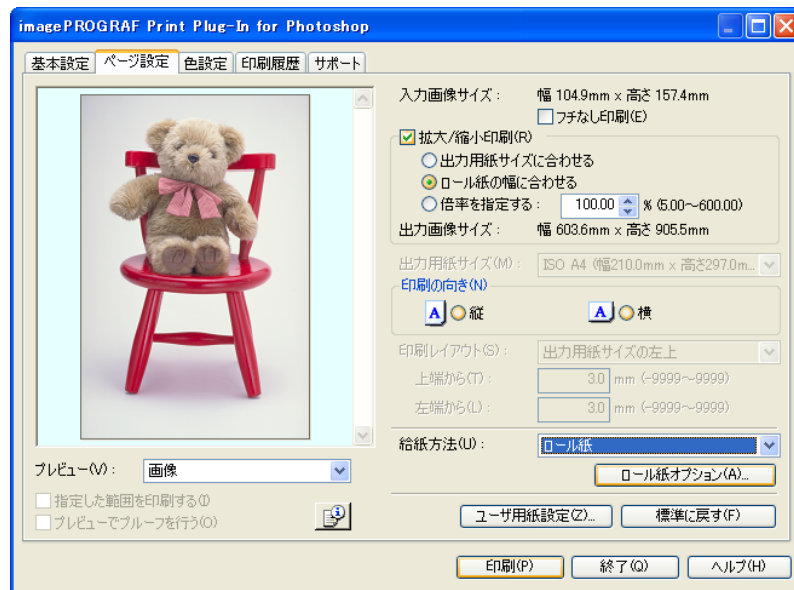
6. [印刷]ボタンをクリックします。

画像が出力用紙サイズいっぱいになるように印刷されます。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する

プリンタにセットされているロール紙の幅に合わせて画像を拡大/縮小して印刷することができます。ロール紙幅いっぱいに画像を印刷したいときに使用すると便利です。

メモ
- プリンタにロール紙がセットされていない場合は、正しく印刷されません。

1. [ページ設定]シートを表示します。

4

2. [給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

3. [ロール紙オプション]ボタンをクリックします。

4. ロール紙のオプションを設定して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- [ロール紙オプション]ダイアログボックスについて詳しくは、「ロール紙オプションダイアログボックス」を参照してください。 →P.304
- [標準に戻す]ボタンをクリックすると、ロール紙オプションの設定が初期値に戻ります。

5. [印刷の向き]で、画像に対する用紙の向きとして[縦]または[横]のいずれかを選択します。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

6. [ロール紙の幅に合わせる]を選択します。

7. [印刷]ボタンをクリックします。

画像がロール紙幅サイズいっぱいになるように印刷されます。

倍率を指定して拡大/縮小印刷する

画像を拡大/縮小するための倍率を指定して、印刷することができます。お好みの大きさで画像を印刷したいときに使用すると便利です。

1. [ページ設定]シートを表示します。

2. [出力用紙サイズ]で、出力したい用紙のサイズを選択します。

メモ
- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

3. [印刷の向き]で、画像に対する用紙の向きとして[縦]または[横]のいずれかを選択します。

メモ
- [縦]を選択すると、画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
- [横]を選択すると、画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

4. [拡大/縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

メモ
- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

5. [倍率を指定する]を選択して、半角数字で倍率を入力するか、プレビュー画面の四隅をドラッグします。

メモ
- 倍率は 0.01%単位で指定することができます。
- 倍率は、5.00～600.00%の範囲で、指定することができます。
- 縦横のサイズは等倍率で拡大/縮小されます。

6. [印刷範囲レイアウト]のプレビュー表示で画像をドラッグするか、[印刷レイアウト]で印刷位置を設定します。

7. [印刷]ボタンをクリックします。

設定した倍率で印刷が開始されます。

フチなしで印刷する

フチなし印刷機能を使用して、画像の周囲に余白を取らずに印刷することができます。

メモ

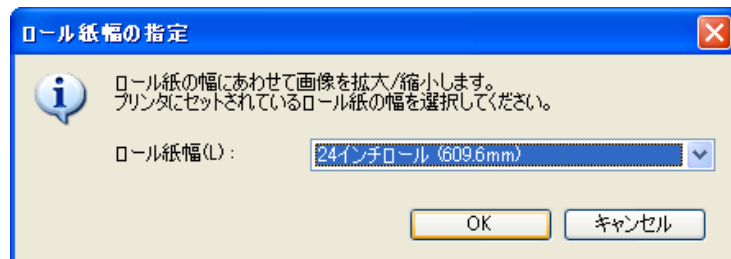
- 用紙の種類によっては、2 辺のみのフチなしで印刷されます。
- フチなし印刷機能を使用するには、プリンタに専用の用紙がセットされている必要があります。

1. [ページ設定]シートを表示します。

2. [給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

3. [フチなし印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

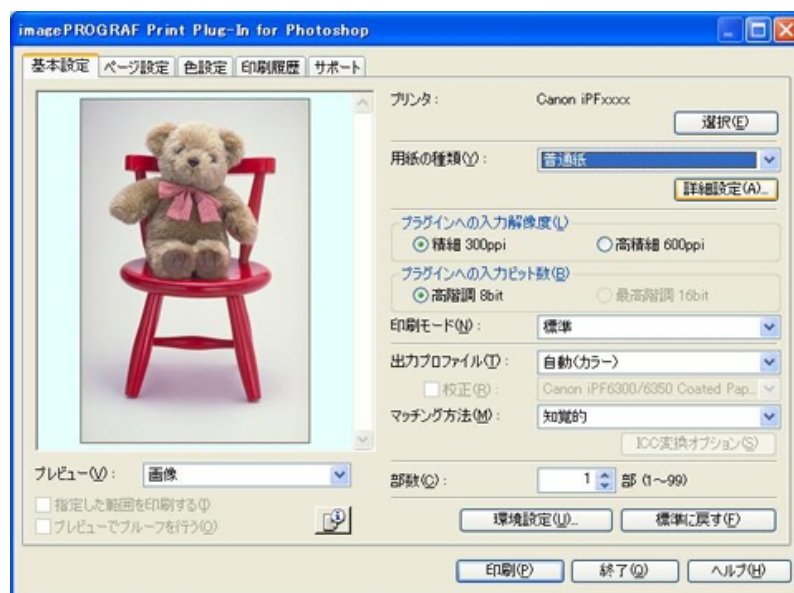
メモ

- [ロール紙幅の指定]ダイアログボックスの[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

4. [印刷]ボタンをクリックします。

フチなしの設定で印刷が開始されます。

用紙の設定をカスタマイズする

用紙の設定をカスタマイズすることができます。

1. [基本設定]シートを表示します。

2. [用紙の種類]で、カスタマイズしたい用紙の種類を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

3. [詳細設定]ボタンをクリックします。

4. 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.300 で、各種設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。

印刷履歴を活用する

Print Plug-In では各種設定を行って印刷すると、印刷履歴として各種設定が保存されます。ファイルとして書き出したり、読み込んだりすることができます。よく使用する印刷履歴は、お気に入りとして名前を付けて登録することもできます。

メモ

- 印刷履歴は、200 件まで保存することができます。印刷履歴数が 200 件を超えると、古い順から自動的に削除されます。

印刷履歴を活用してできることは、以下のとおりです。

- 印刷履歴の詳細を確認する →P.328
- 印刷履歴を画像に適用する →P.329
- 印刷履歴をお気に入りに登録する →P.329
- 印刷履歴を削除する →P.332
- お気に入りの印刷履歴を書き出す →P.334
- お気に入りに印刷履歴を読み込む →P.335

- お気に入りから印刷履歴を削除する →P.337
- 情報を画像とともに印刷するよう設定する →P.339

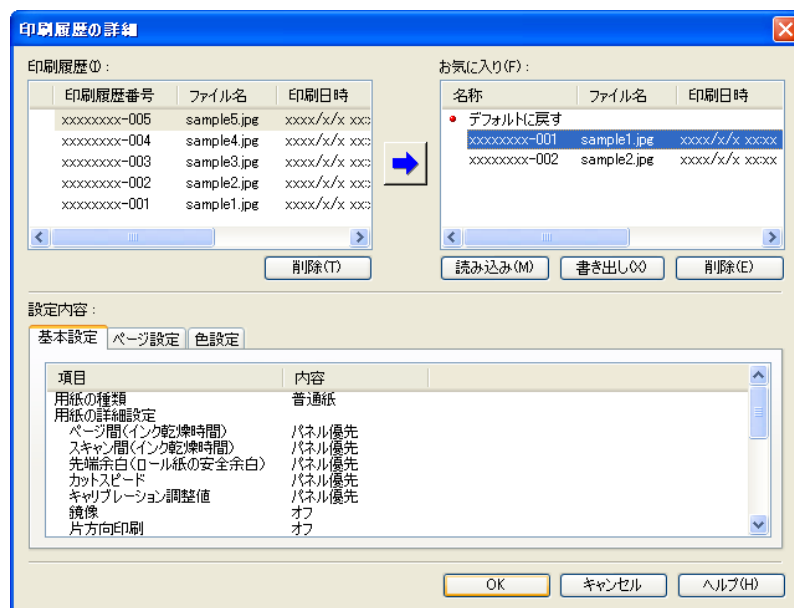
印刷履歴の詳細を確認する

印刷履歴の詳細を確認することができます。

1. [印刷履歴]シートを表示します。

2. [詳細]ボタンをクリックします。

メモ

- [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[印刷履歴]または[お気に入り]から詳細を確認したい印刷履歴を選択します。

3. [設定内容]で印刷履歴の詳細を確認して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ
- 印刷履歴の詳細内容は、シートを切り替えて表示することができます。

印刷履歴を画像に適用する

過去の印刷履歴を呼び出して、画像に適用することができます。

1. [印刷履歴]シートを表示します。

2. 必要があれば印刷履歴の詳細を確認します。(「印刷履歴の詳細を確認する」参照) →P.328

3. [印刷履歴とお気に入り]から適用したい印刷履歴を選択して、[適用]ボタンをクリックします。

印刷履歴をお気に入りに登録する

よく使用する印刷履歴をお気に入りとして登録することができます。お気に入りに登録しておくと個別の名称を付けられるだけでなく、簡単に呼び出すこともできます。

メモ
- お気に入りに登録できる印刷履歴は、200 件までです。

1. [印刷履歴]シートを表示します。

2. [詳細]ボタンをクリックします。

3. [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[印刷履歴]からお気に入りに登録したい印刷履歴を選択して、[設定内容]で印刷履歴の詳細を確認します。

4. [印刷履歴]からお気に入りに登録したい印刷履歴を選択して、ボタンをクリックします。

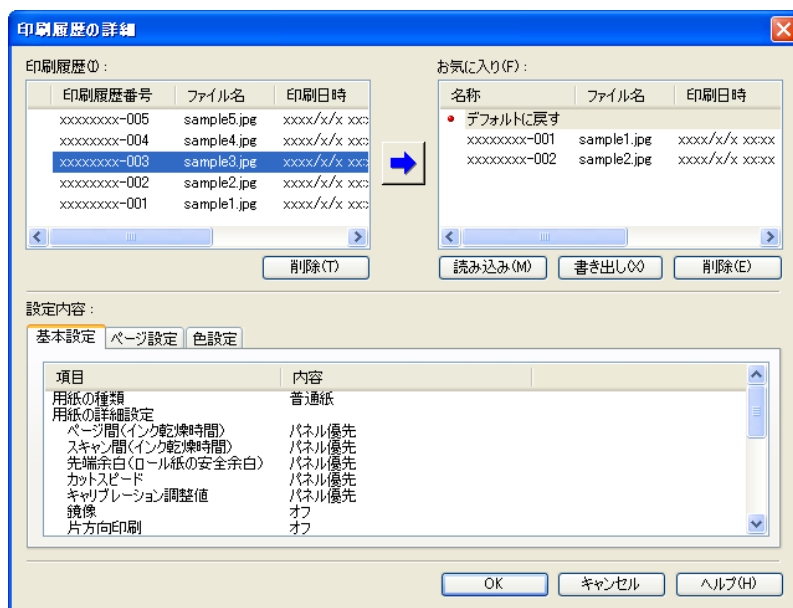
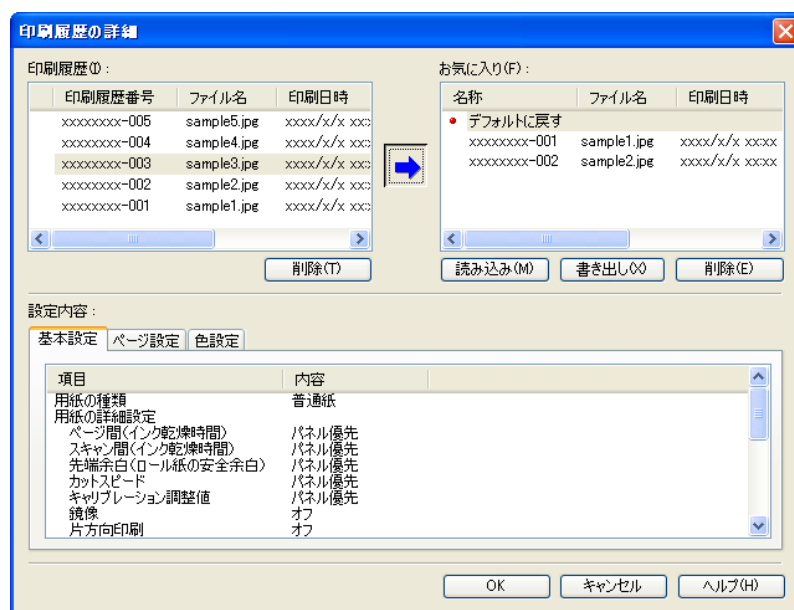
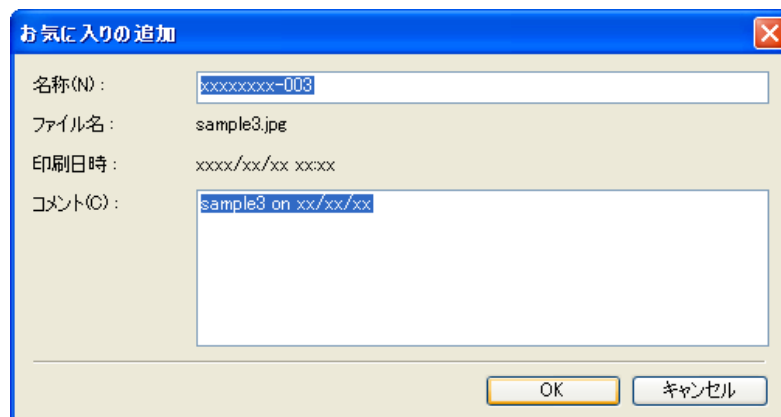
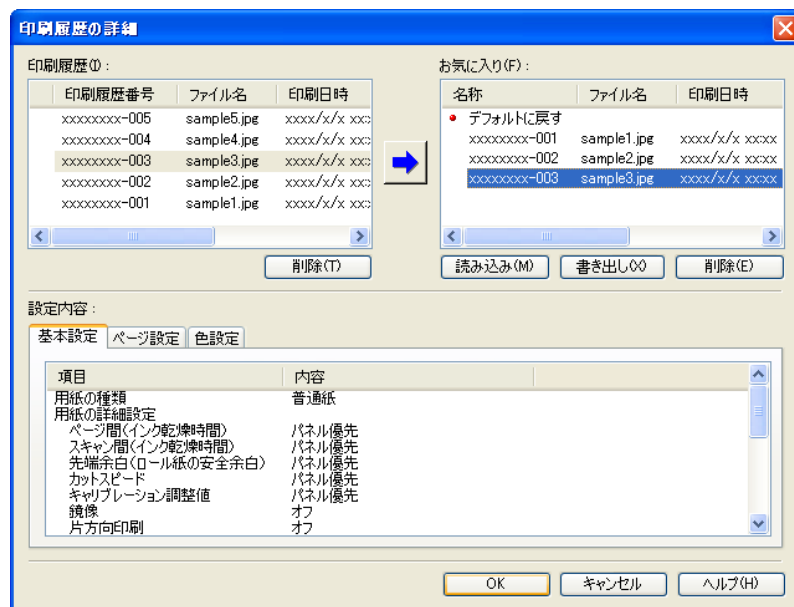
5. [お気に入りの追加]ダイアログボックスで、[名称]に印刷履歴の名称を入力し、[コメント]にコメントを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

4

6. [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

印刷履歴を削除する

印刷履歴を削除することができます。

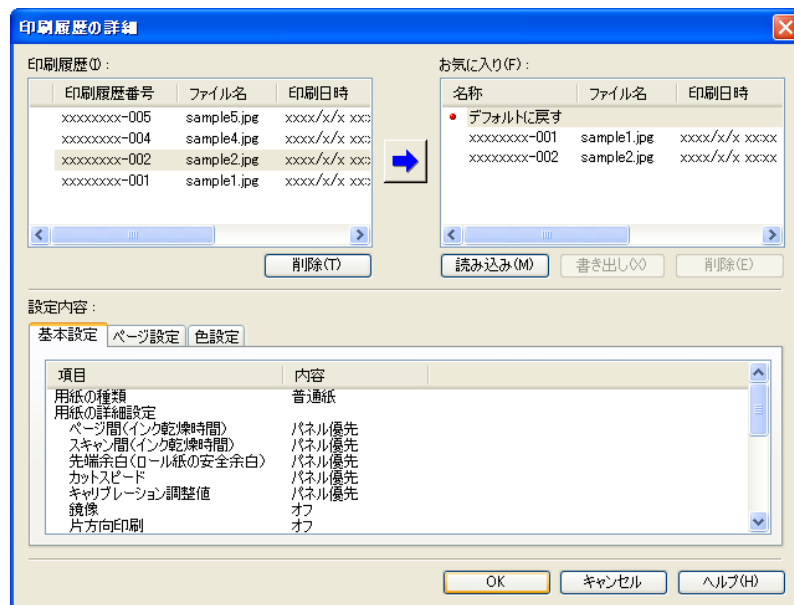
重要

- 削除した印刷履歴は元には戻せませんので、ご注意ください。

1. [印刷履歴]シートを表示します。

2. [詳細]ボタンをクリックします。

3. [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[印刷履歴]から削除したい印刷履歴を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

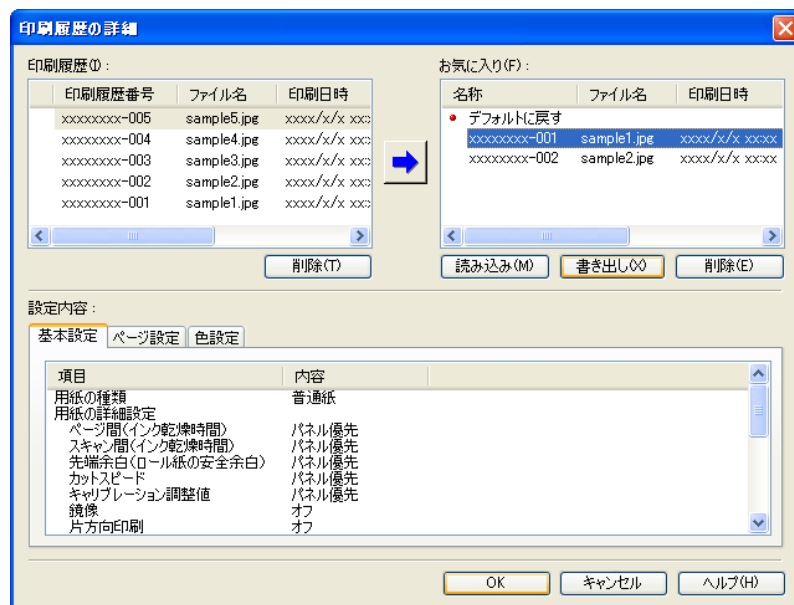
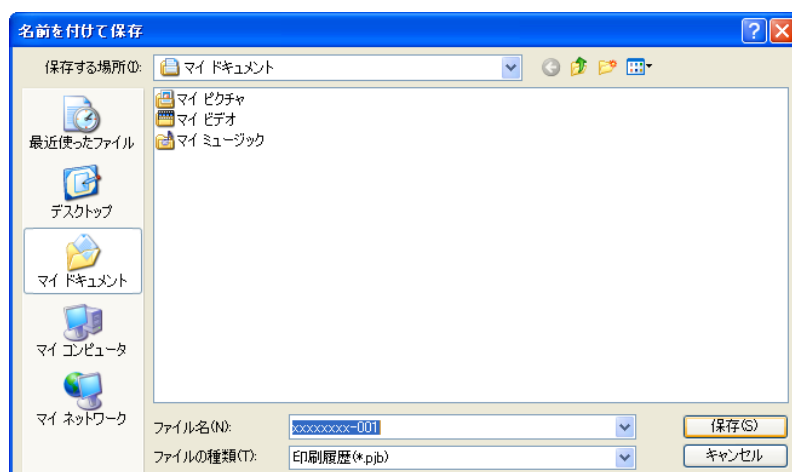
4. [OK]ボタンをクリックします。

5. [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

お気に入りの印刷履歴を書き出す

お気に入りに登録した印刷履歴をファイルに書き出すことができます。

1. [印刷履歴]シートを表示します。

2. [詳細]ボタンをクリックします。

3. [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[お気に入り]から書き出したい印刷履歴を選択して、[書き出し]ボタンをクリックします。

4. [名前を付けて保存]ダイアログボックスで、[ファイル名]に印刷履歴のファイル名を入力して、[保存]ボタンをクリックします。

指定したファイル名で印刷履歴が書き出されます。

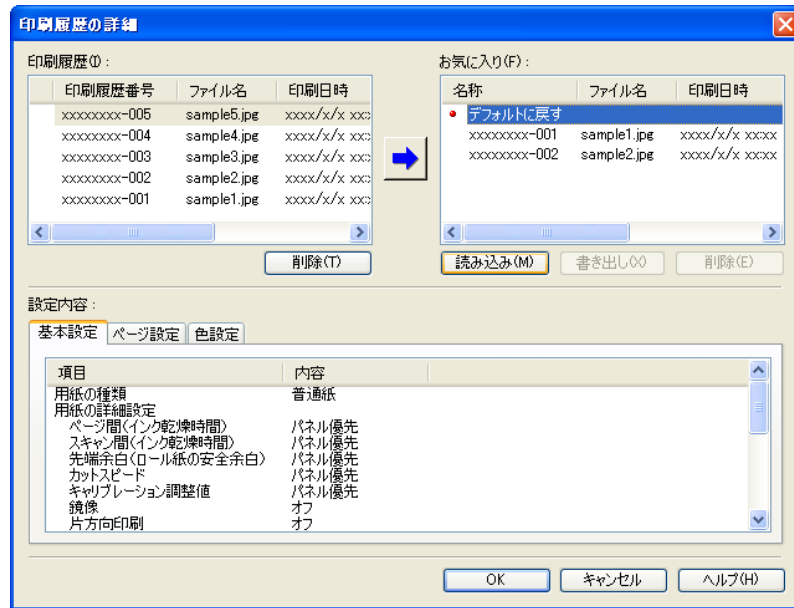
5. [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

お気に入りに印刷履歴を読み込む

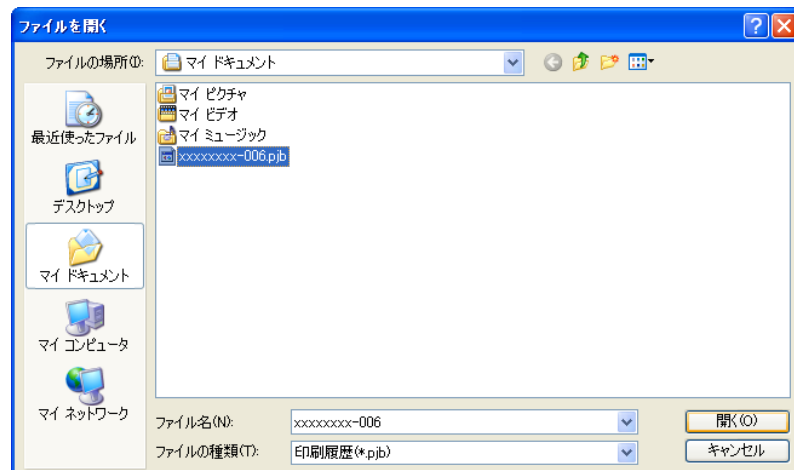
ファイル形式の印刷履歴を読み込んで、お気に入りに登録することができます。

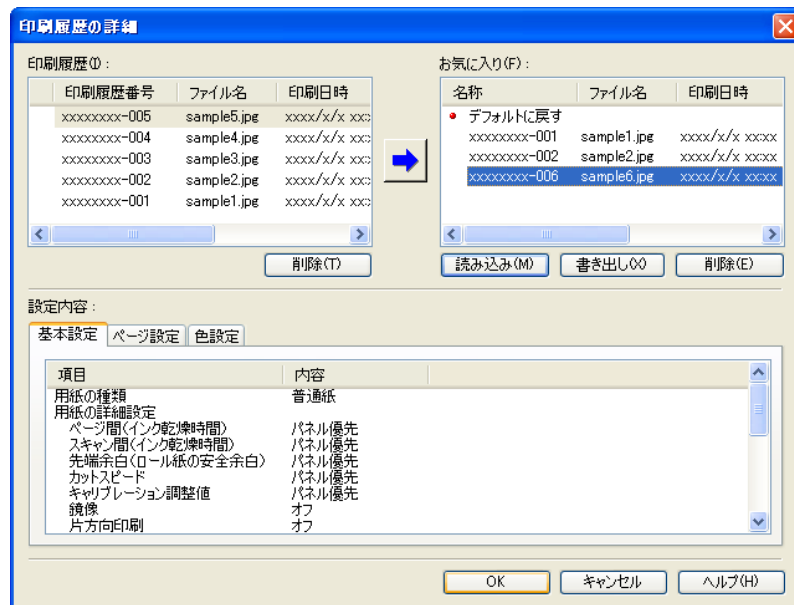
1. [印刷履歴]シートを表示します。

2. [詳細]ボタンをクリックします。

3. [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[お気に入り]の[読み込み]ボタンをクリックします。

4. [ファイルを開く]ダイアログボックスで、読み込みたい印刷履歴ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

印刷履歴が読み込まれます。

メモ

- 印刷履歴ファイルの拡張子は*.pjb です。
- 異なる OS の Print Plug-In で書き出された印刷履歴ファイルを読み込むことはできません。
- 異なるプリンタの Print Plug-In で書き出された印刷履歴ファイルを読み込むことはできません。

5. [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

お気に入りから印刷履歴を削除する

お気に入りに登録した印刷履歴をお気に入りから削除することができます。お気に入りは、200 件を超えて登録することはできません。

1. [印刷履歴]シートを表示します。

2. [詳細]ボタンをクリックします。

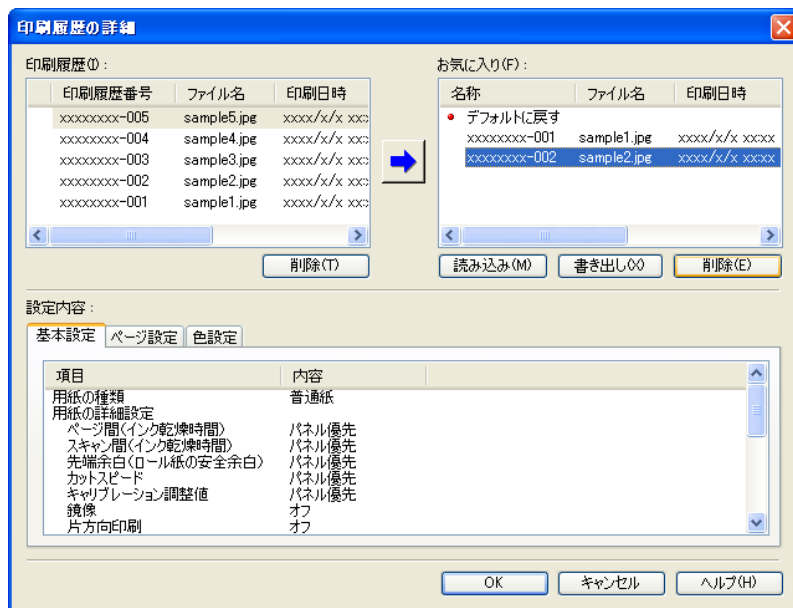
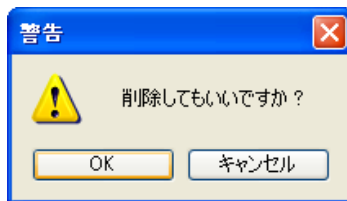
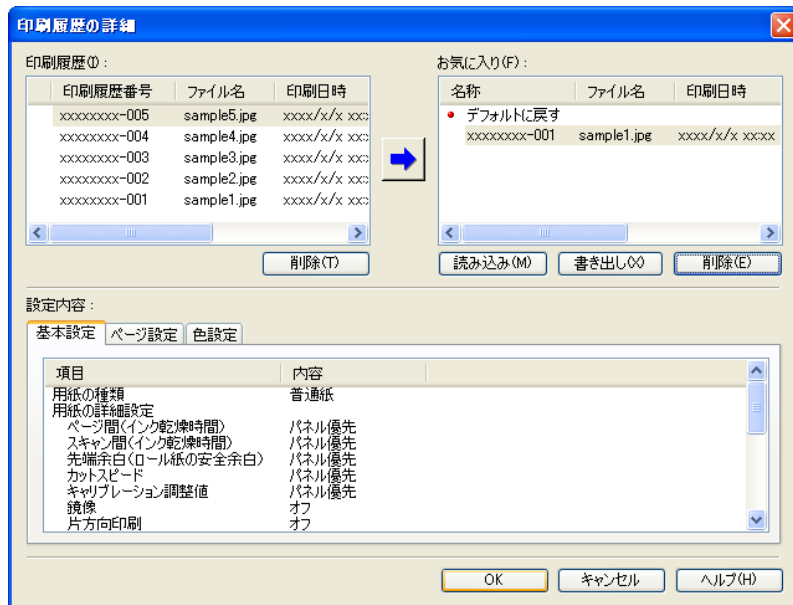
3. [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[お気に入り]から削除したい印刷履歴を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

4. [OK]ボタンをクリックします。

5. [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

情報を画像とともに印刷するよう設定する

ファイル名や印刷日時などの印刷に関連した情報を、画像といっしょに印刷することができます。

メモ

- フチなし印刷機能を使用して印刷する場合は、印刷に関連した情報は印刷されません。(「フチなしで印刷する」参照) →P.326
- 印刷される情報が長すぎて用紙内に収まらない場合は、途中で切れた状態で印刷されます。
- 画像データのサイズや拡大率、印刷位置の値によっては、画像データ上に情報が印刷されてしまうことがあります。
- プリンタ本体で[外形サイズ優先]が[オン]に設定されている場合は、印刷データの下部が一部印刷されないことがあります。

1. [印刷履歴]シートを表示します。

2. [情報を印刷する]をクリックしてチェックマークを付けます。

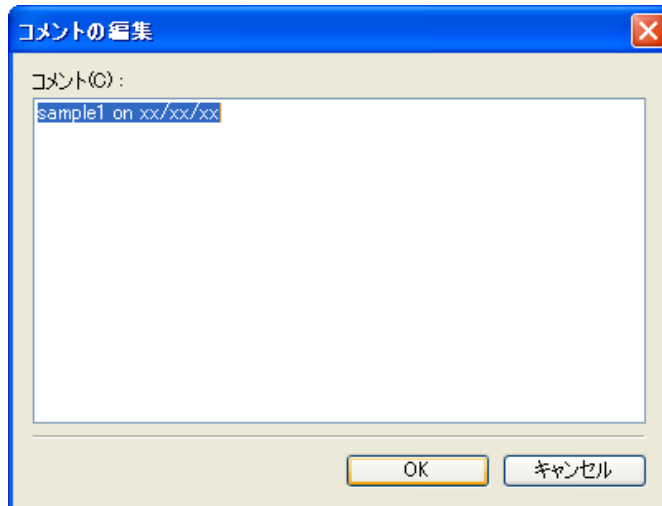
3. [情報の印刷位置]で、情報を印刷したい位置を選択します。

4. 印刷したい情報をクリックしてチェックマークを付けます。

5. コメントを編集したい場合は、[コメントの編集]ボタンをクリックします。

メモ

- コメントの編集が必要ない場合は手順 7 に進んでください。

6. [コメントの編集]ダイアログボックスで、コメントを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

7. [印刷]ボタンをクリックします。

コメントとともに画像が印刷されます。

Print Plug-In for Office

Print Plug-In for Office の特長

[Print Plug-In for Office]は[Microsoft Office]から簡単に印刷を行うための Plug-In です。

- ツールバー/リボンに表示されるので簡単にアクセスできます。
- ウィザード形式で選択していくだけで設定できます。
- [Microsoft Word]や[Microsoft PowerPoint]からは[長尺印刷]のカスタム用紙サイズの設定もウィザードで設定できます。
- [Microsoft Excel]では自動的にカスタム用紙サイズの設定ができます。
- 印刷前にプレビュー画面を起動し、レイアウトを確認することができます。

重要

- [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]をインストール後、[Microsoft Office]に[Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンが表示されないことがあります。
[imagePROGRAF Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンを表示する方法については、以下のトピックを参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.346

動作環境

[Print Plug-In for Office]の動作環境は、以下のとおりです。

- 対応 OS バージョン
Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7

- インストールが必要なソフトウェア
  Microsoft Office 2000/XP/2003/2007
  imagePROGRAF Printer Driver ver. 3.95 以降

- ハードウェア
  CPU Pentium4 2.0GHz 以上
  RAM 512MB 以上

重要

- [Internet Explorer]から Office ドキュメントを開いた場合、正常に動作しません。
- 埋め込みオブジェクトやリンクオブジェクトを編集している場合、正常に動作しません。
- [Microsoft Office 2007]のクイックアクセスツールバーに[imagePROGRAF Print Plug-In]リボンを追加した場合、正常に動作しません。

インストール手順

[Print Plug-In for Office]をインストールする手順は、以下のとおりです。

メモ

- インストールする前に Administrator 権限で Windows にログオンする必要があります。

1. CD-ROM ドライブに、「User Software CD-ROM」を挿入し、インストーラを起動します。

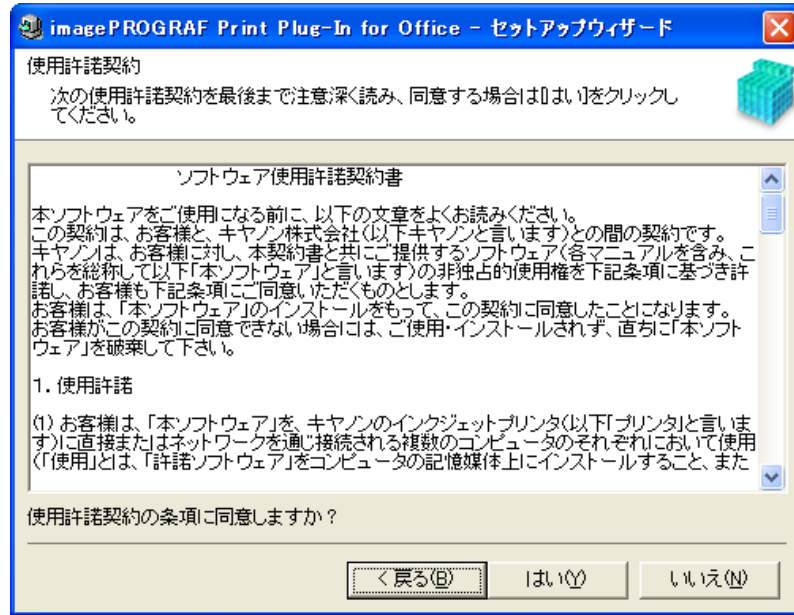
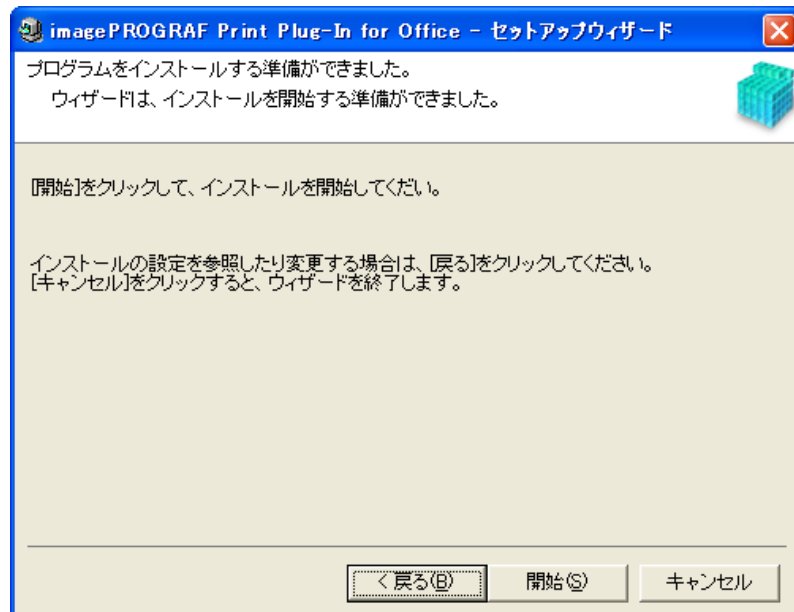
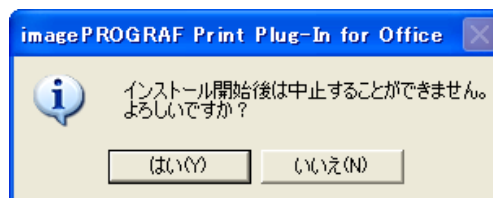
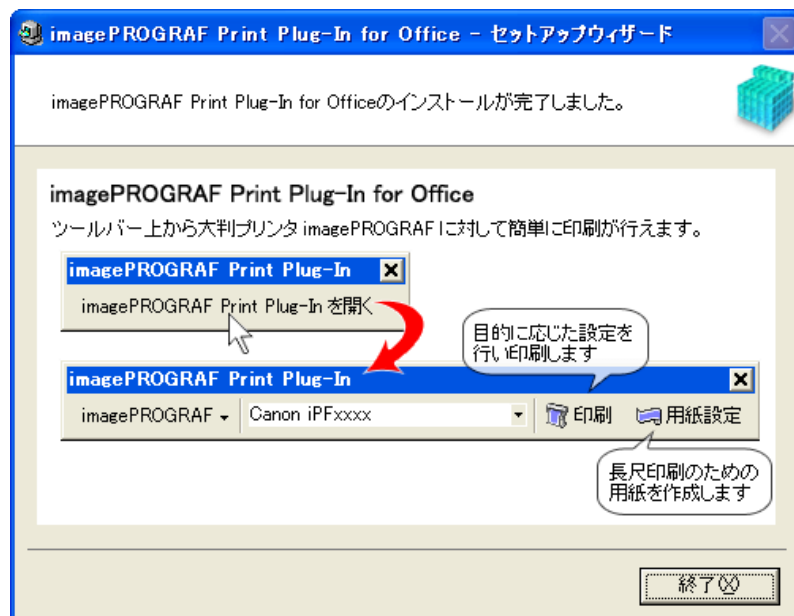
メモ

- インストーラの画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ]から CD-ROM アイコンを開き、[setup.exe]をクリックし、アイコンを開きます。

2. [ソフトウェア個別インストール]ボタンをクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]の[インストール]をクリックします。

4. [次へ]ボタンをクリックします。

5. [使用許諾契約]を読んで、[はい]ボタンをクリックします。

6. [開始]ボタンをクリックします。

7. [はい]ボタンをクリックします。

8. [終了]ボタンをクリックします。

[Print Plug-In for Office]のインストールが終了します。

重要

- 本ソフトウェアをインストールすると、仮想プリンタ[Canon imagePROGRAF PrintPlugIn]がインストールされる場合があります。本ソフトウェアを使用する場合、仮想プリンタ[Canon imagePROGRAF PrintPlugIn]をアンインストールしないでください。
- [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]はユーザごとにインストールする必要があります。1台のコンピュータに複数ユーザで使用する場合は、ユーザごとにインストールしてください。
- [imagePROGRAF Print Plug-In for Office]をインストール後、[Microsoft Office]に[Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンが表示されないことがあります。
[imagePROGRAF Print Plug-In for Office]ツールバー/リボンを表示する方法については、以下のトピックを参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.346

アンインストール手順

[Print Plug-In for Office]をアンインストールする手順は、以下のとおりです。

1. [Microsoft Office]を開いている場合は閉じます。

2. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。

3. [プログラムの追加と削除]を開きます。

4. [imagePROGRAF Print Plug-In]を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

メモ

- Office アプリケーションが起動していると[Print Plug-In for Office]のアンインストールはできません。メッセージが表示されたら、[キャンセル]を選択して起動している全ての Office アプリケーションを閉じてください。

Print Plug-In for Office が表示されないときには

[Word]、[PowerPoint]、[Excel]の Microsoft Office アプリケーションで、[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]ボタンなどが表示されず[Print Plug-In for Office]の機能が使用できないことがあります。
その場合は[Print Plug-In for Office]を再インストールしてください。
また、[Microsoft Office 2003]以降の場合はアドインを有効にし、[Print Plug-In for Office]を表示させることもできます。
再インストール、またはアドインを有効にする手順については以下を参照してください。

[Print Plug-In for Office]を再インストールする

- [Print Plug-In for Office]はユーザごとにインストールされます。1 台のコンピュータに複数ユーザで使用する場合は、ユーザごとにインストールしてください。
- [Microsoft Office]アプリケーションは、システムやアプリケーションなどの異常終了などが発生した場合、安全のためにアドインを無効にします。

これらの場合、[imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンを表示させるために、[Print Plug-In for Office]を再インストールする必要があります。

メモ

- Office アプリケーションが起動していると[Print Plug-In for Office]の再インストールはできません。メッセージが表示されたら、[キャンセル]を選択して起動している Office アプリケーションを閉じてください。

[Print Plug-In for Office]を再インストールするには、次の手順で操作します。

1. [Microsoft Office]を開いている場合は閉じます。

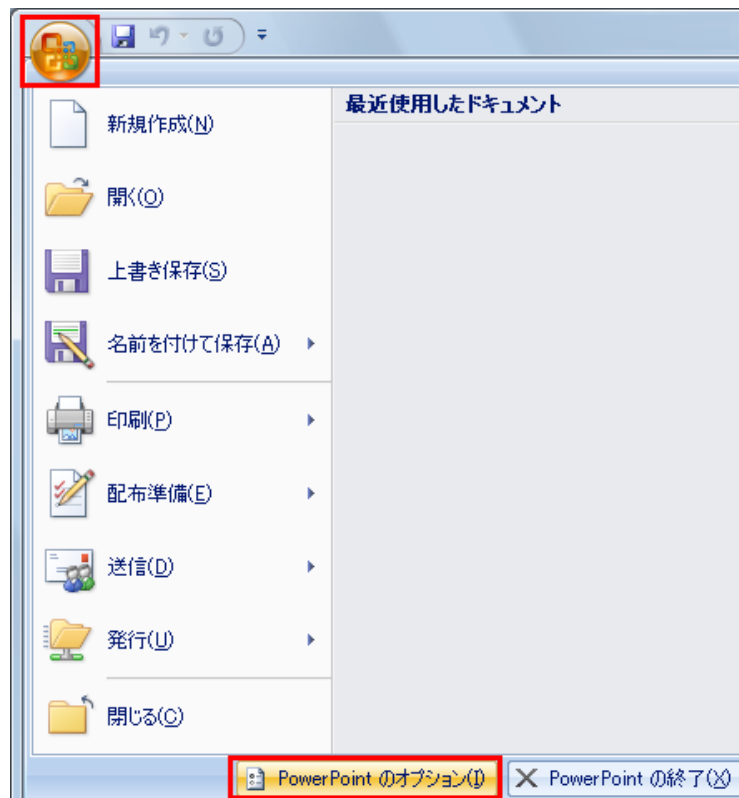
2. [Print Plug-In for Office]をインストールします。
   インストールについては、「インストール手順」を参照してください。 →P.342

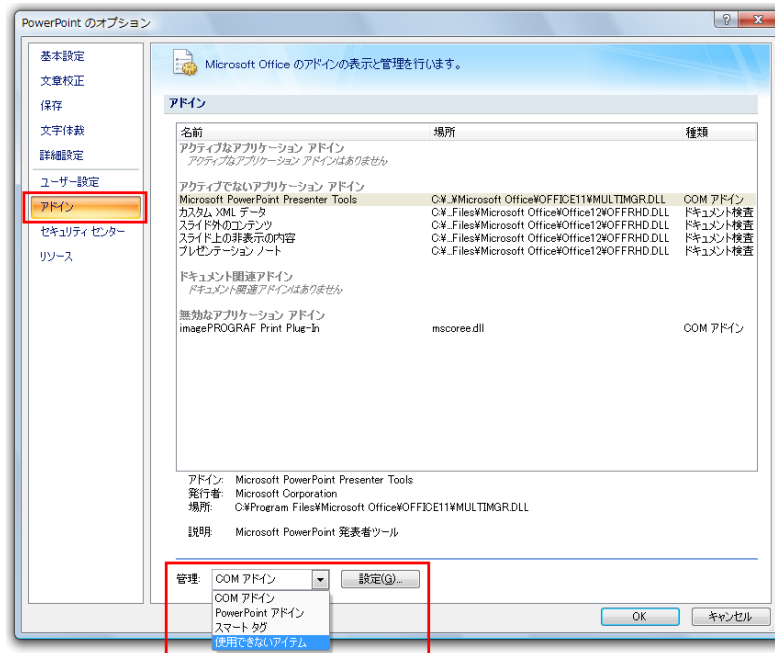
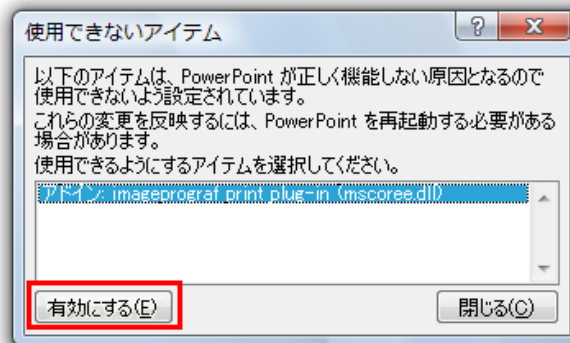
Office アプリケーションの使用できないアイテムで[Print Plug-In for Office]を有効にする

- [Microsoft Office]アプリケーションは、システムやアプリケーションなどの異常終了などが発生した場合、安全のためにアドインを無効にします。

その場合、[imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンを表示させるために、無効になっているアドインを復元させる必要があります。
[Microsoft Office]で無効になっているアドインを復元するには、次の手順で操作します。

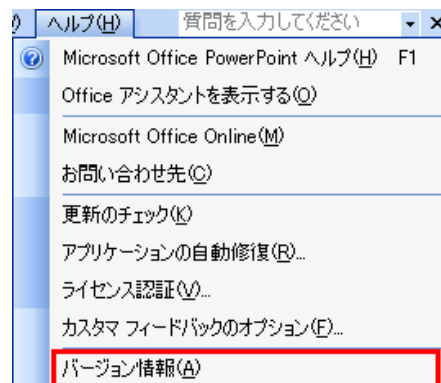
[Microsoft Office 2007]の場合

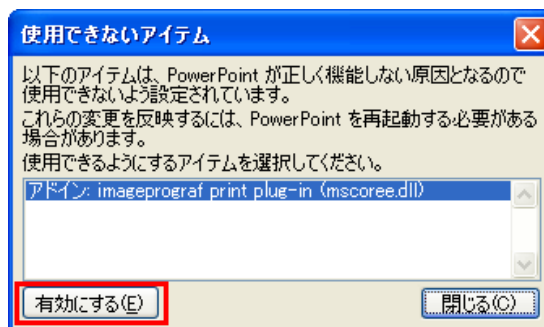
1. [Office] ボタンをクリックして、[<アプリケーション名>のオプション] ボタンをクリックします。

2. [<アプリケーション名>のオプション] ダイアログ左側のリストから [アドイン] を選択します。

3. ［管理］コンボボックスから［使用できないアイテム］を選択し［設定］ボタンをクリックします。

4. ［使用できないアイテム］ダイアログで［アドイン imageprograf print plug-in（mscoree.dll）］が表示されている場合、選択して［有効にする］ボタンをクリックします。

5. すべてのダイアログボックスを閉じ、Office アプリケーションを再起動します。

［Microsoft Office 2003］の場合

1. アプリケーションの［ヘルプ］メニューから［バージョン情報］をクリックします。

ヘルプ(H)　質問を入力してください
Microsoft Office PowerPoint ヘルプ(H)　F1
Office アシスタントを表示する(O)
Microsoft Office Online(M)
お問い合わせ先(C)
更新のチェック(K)
アプリケーションの自動修復(R)...
ライセンス認証(V)...
カスタマ フィードバックのオプション(F)...
バージョン情報(A)

2. [<アプリケーション>のバージョン情報] ダイアログで [使用できないアイテム] ボタンをクリックします。

3. [使用できないアイテム] ダイアログで [アドイン imageprograf print plug-in (mscoree.dll)] が表示されている場合、選択して [有効にする] ボタンをクリックします。

4. すべてのダイアログボックスを閉じ、Office アプリケーションを再起動します。

Microsoft Word からの起動方法

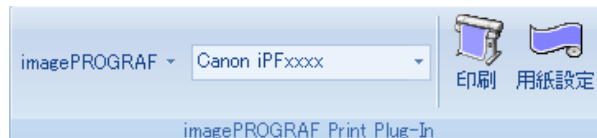
[Microsoft Word]から[Print Plug-In for Office]を起動する手順は、以下のとおりです。

1. [Microsoft Word]を起動します。

2. ツールバー/リボンに[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示された場合はクリックします。

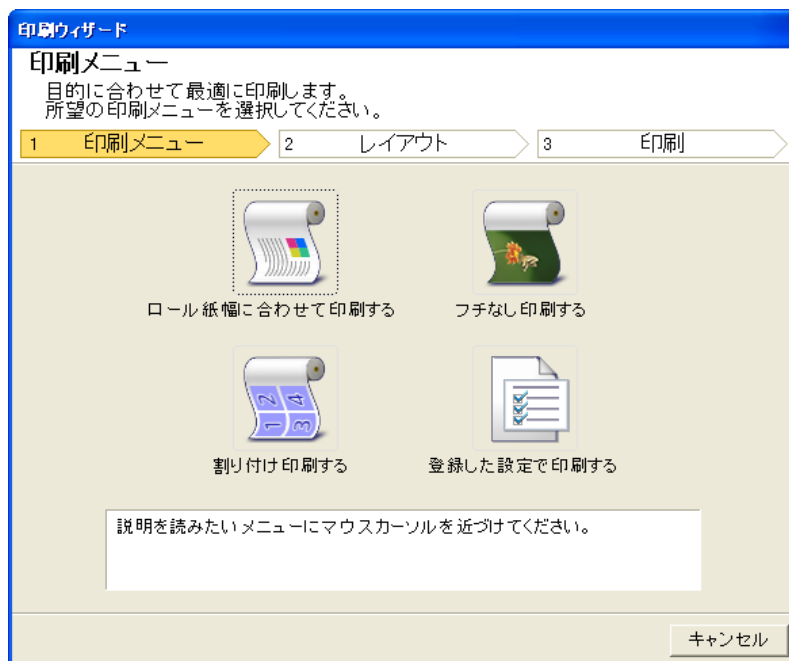
重要

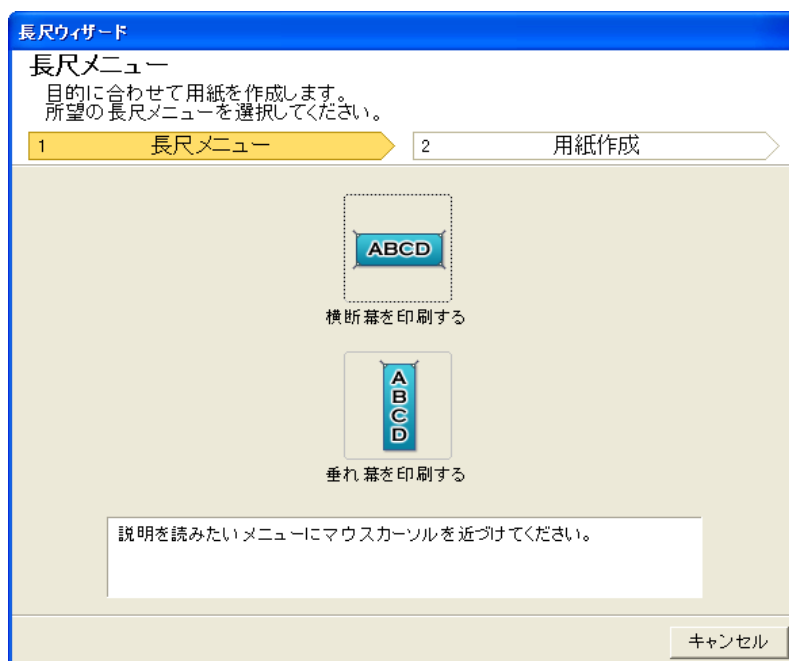
- [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されない場合は、以下を参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.346

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されていることを確認します。

4. 設定したい項目に応じてツールバー/リボンからボタンをクリックします。

アイコン	内容
imagePROGRAF メニュー	[バージョン情報]や[ヘルプ]、[処理オプション]ダイアログボックスを表示します。 [処理オプション]ダイアログボックスでは設定を変更することができます。 詳しくは、処理オプションを設定する →P.387 を参照してください。
Canon iPFxxxx プリンター覧	プリンタを選択します。 [すべてのプリンタを表示]を選択すると大判プリンタ[imagePROGRAF]の再表示を行います。すべてのプリンタドライバを表示したい場合や表示を更新したい場合に選択してください。
印刷 [印刷]ボタン	印刷ウィザードが表示されます。 [ロール紙幅に合わせて印刷する]、[フチなし印刷する]、[割り付け印刷する]、[登録した設定で印刷する]の設定ができます。
用紙設定 [用紙設定]ボタン	長尺ウィザードが表示されます。 垂れ幕または横断幕の設定ができます。

[印刷ウィザード]ダイアログボックス

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき､別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください｡表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります｡

[長尺ウィザード]ダイアログボックス

重要

- [長尺ウィザード]が開いているとき､別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください｡表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります｡
- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります｡そのときは再度データを修正してください｡

ロール紙幅に合わせて印刷する（Word）

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

1. [Microsoft Word]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [ロール紙幅に合わせて印刷する]をクリックします。

5. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6. 画像のサイズを選択します。

7. レイアウトを選択します。

8. [次へ]を選択します。

9. [用紙の種類]を選択します。

10. [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

11. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12. [プリント]を押すと印刷を開始します。

フチなし印刷する(Word)

フチなし印刷します。写真やポスターを周囲に余白をとらずに印刷することができます。

1. [Microsoft Word]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき､別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください｡表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります｡

4. [フチなし印刷する]をクリックします｡

5. 確認のメッセージダイアログボックスが表示されます｡原稿いっぱいにデータが作成されている場合は[動作の選択]で[このまま続ける]が選択されていることを確認し､[OK]を押してください｡

メモ

- データを修正する場合は[アプリケーションに戻る]を選択して[OK]を押してください｡[Print Plug-In for Office]を終了しアプリケーションへ戻ります｡

6. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します｡

7. レイアウトを選択します｡

8. [次へ]を選択します。

9. [用紙の種類]を選択します。

10. [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

11. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- フチなし印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

12. [プリント]を押すと印刷を開始します。

割り付け印刷する（Word）

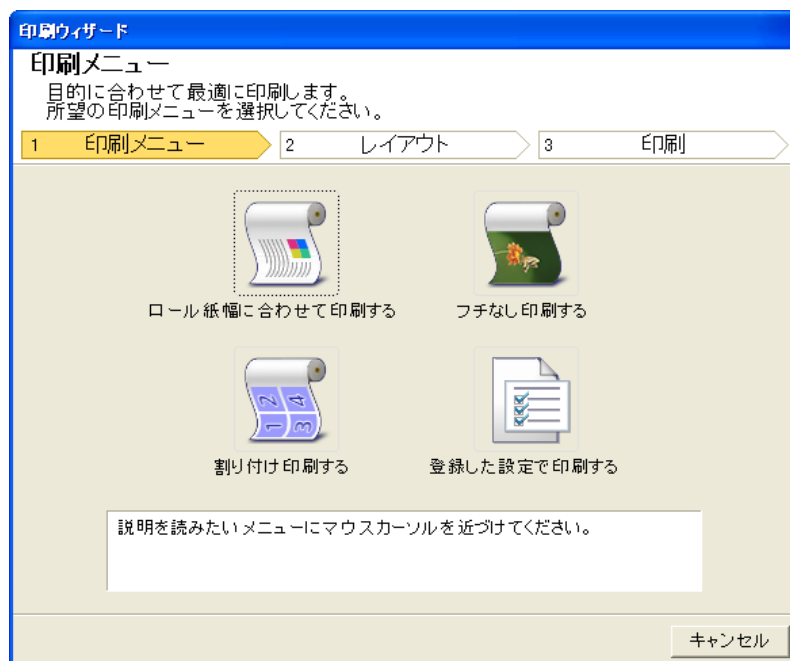
複数ページを 1 枚にまとめて印刷を行います。配布資料を 1 ページにまとめたり、ページ数の多い文書を印刷することができます。

1. [Microsoft Word]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

imagePROGRAF Print Plug-Inを開く
imagePROGRAF Print Plug-In

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバーの操作ができない場合があります。

4. [割り付け印刷する]をクリックします。

5. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6. [レイアウト選択]からレイアウトを選択します。

7. [次へ]を選択します。

8. [用紙の種類]を選択します。

9. [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

10. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 割り付け印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

11. [プリント]を押すと印刷を開始します。

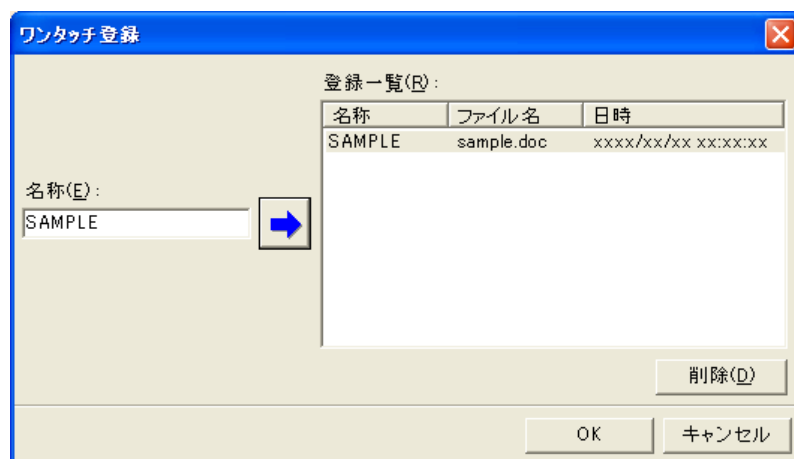
設定を登録する（Word）

同じ設定で繰り返し印刷する場合は[ワンタッチ登録]することができます。登録した設定は[登録した設定で印刷する]から呼び出すことができます。

1. [印刷メニュー]の[ロール紙幅に合わせて印刷する]、[フチなし印刷する]または[割り付け印刷する]で[印刷]画面まで設定をします。

メモ

- 20 個まで登録することができます。
- 設定できる項目については以下をご覧ください。
  - ロール紙幅に合わせて印刷する（Word） →P.352
  - フチなし印刷する（Word） →P.354
  - 割り付け印刷する（Word） →P.356

2. [ワンタッチ登録]ボタンをクリックします。

3. [名称]に名称を入力します。
   31 文字まで入力できます。

4. をクリックします。入力した名称が[登録一覧]に表示されます。

5. [OK]をクリックし、[印刷]画面へ戻ります。

6. 印刷する場合は[プリント]、印刷を中止する場合は[キャンセル]をクリックします。

メモ

- [印刷]画面で[キャンセル]をクリックしても登録した設定は削除されません。

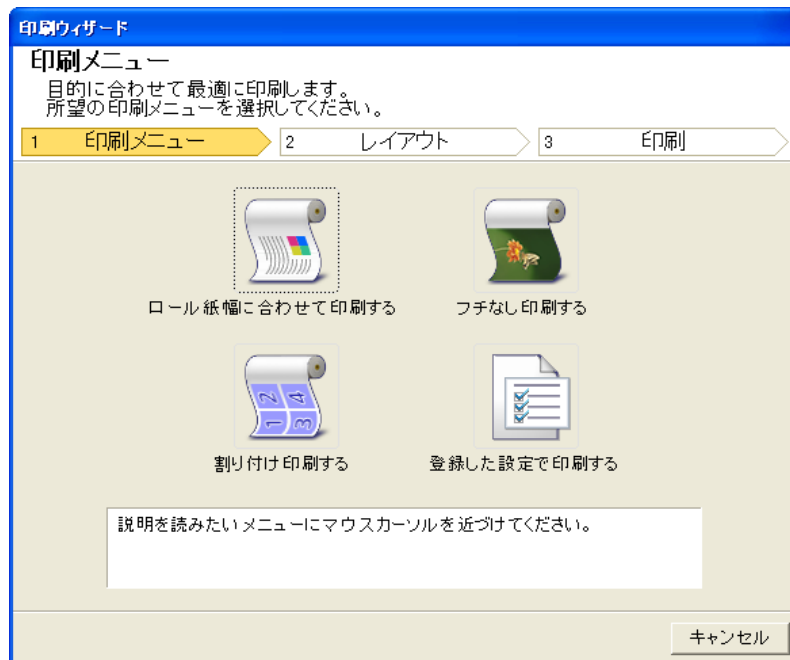
登録した設定で印刷する（Word）

登録した設定で印刷を行います。

1. [Microsoft Word]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [登録した設定で印刷する]をクリックします。

5. [次へ]ボタンをクリックします。

6. [用紙の種類]を選択します。

7. [印刷範囲]を[全てのページ]、[現在のページ]、[ページ指定]から選択します。
[ページ指定]の場合はページ番号を入力します。

8. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 登録した設定で印刷する場合の最大印刷長は、ロール紙幅の 5.587 倍または 18.0 m の小さい方となります。

9. [プリント]を押すと印刷を開始します。

垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する（Word）

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

垂れ幕/横断幕の用紙を作成する

[長尺ウィザード]を使用し垂れ幕の場合は縦長、横断幕の場合は横長の用紙を作成します。

1. [Microsoft Word]を起動します。

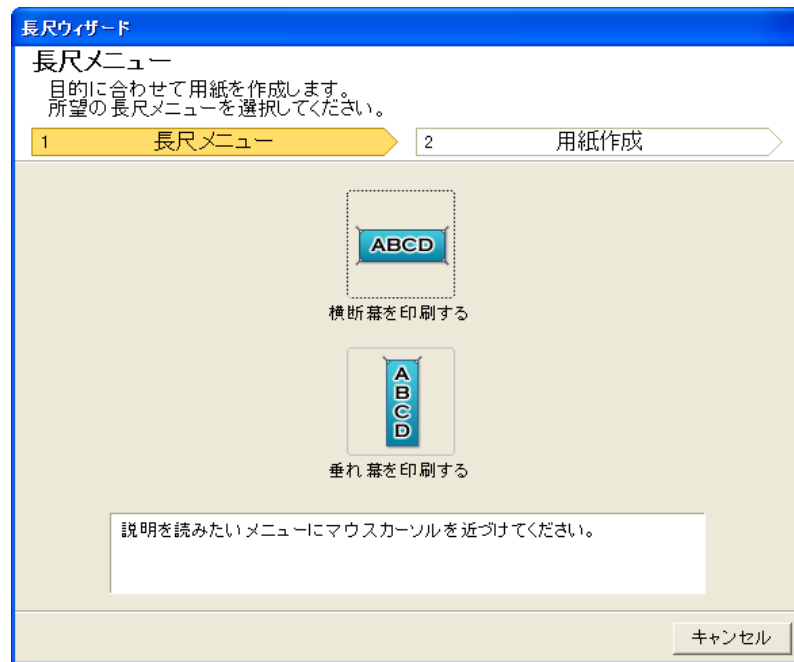
2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[用紙設定]をクリックします。
   [長尺ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- [長尺ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [垂れ幕を印刷する]または[横断幕を印刷する]をクリックします。

メモ

• ここでは垂れ幕作成を例に手順を説明します。

5. [長さ]をリストボックス、スライドバーのどちらかで調整します。

6. [用紙作成]ボタンをクリックします。

7. メッセージが表示された場合は[OK]をクリックします。

8. 編集し、原稿を作成してください。

メモ

- 印刷は[印刷ウィザード]の[ロール紙幅に合わせて印刷する]で行います。[ロール紙幅に合わせて印刷する]について詳しくは、「ロール紙幅に合わせて印刷する(Word)」を参照してください。 →P.352

重要

- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります。そのときは再度データを修正してください。

Microsoft PowerPoint からの起動方法

[Microsoft PowerPoint]から[Print Plug-In for Office]を起動する手順は、以下のとおりです。

1. [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2. ツールバー/リボンに[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示された場合はクリックします。

重要

- [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されない場合は、以下を参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.346

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されていることを確認します。

4. 設定したい項目に応じてツールバー/リボンからボタンをクリックします。

アイコン	内容
imagePROGRAF メニュー	[バージョン情報]や[ヘルプ]、[処理オプション]ダイアログボックスを表示します。(「処理オプションを設定する」参照) →P.387
Canon iPFxxxx プリンタ一覧	プリンタを選択します。 [すべてのプリンタを表示]を選択すると大判プリンタ[imagePROGRAF]の再表示を行います。すべてのプリンタドライバを表示したい場合や表示を更新したい場合に選択してください。
印刷 [印刷]ボタン	印刷ウィザードが表示されます。 [ロール紙幅に合わせて印刷する]、[フチなし印刷する]、[割り付け印刷する]、[登録した設定で印刷する]の設定ができます。
用紙設定 [用紙設定]ボタン	長尺ウィザードが表示されます。 垂れ幕または横断幕の設定ができます。

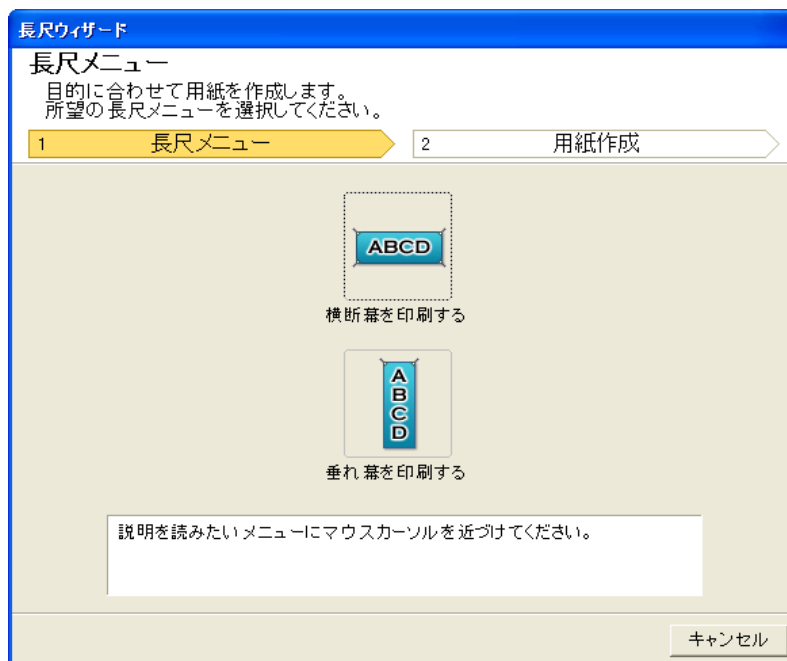
[印刷ウィザード]ダイアログボックス

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

メモ

- パスワードが設定されているドキュメントを読み取り専用で開いた場合、[印刷ウィザード]を実行できません。

[長尺ウィザード]ダイアログボックス

重要

- [長尺ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。
- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります。そのときは再度データを修正してください。

メモ

- パスワードが設定されているドキュメントを読み取り専用で開いた場合、[長尺ウィザード]を実行できません。パスワードの設定を解除してください。

ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint)

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

1. [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [ロール紙幅に合わせて印刷する]をクリックします。

5. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6. 画像のサイズを選択します。

7. レイアウトを選択します。

8. [次へ]を選択します。

9. [用紙の種類]を選択します。

10. [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

11. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は、[Microsoft PowerPoint 2000]ではロール紙幅の 13.44 倍, [Microsoft PowerPoint 2002]以降ではロール紙幅の 14.22 倍, または 18.0 m の小さい方となります。

12. [プリント]を押すと印刷を開始します。

フチなし印刷する(PowerPoint)

フチなし印刷します。写真やポスターを周囲に余白をとらずに印刷することができます。

1. [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [フチなし印刷する]をクリックします。

5. 確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。原稿いっぱいにデータが作成されている場合は[動作の選択]で[このまま続ける]が選択されていることを確認し、[OK]を押してください。

メモ

- データを修正する場合は[アプリケーションに戻る]を選択して[OK]を押してください。[Print Plug-In for Office]を終了しアプリケーションへ戻ります。

6. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

7. レイアウトを選択します。

8. [次へ]を選択します。

9. [用紙の種類]を選択します。

10. [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

11. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- フチなし印刷する場合の最大印刷長は、[Microsoft PowerPoint 2000]ではロール紙幅の 13.44 倍，[Microsoft PowerPoint 2002]以降ではロール紙幅の 14.22 倍，または 18.0 m の小さい方となります。

12. [プリント]を押すと印刷を開始します。

4

割り付け印刷する(PowerPoint)

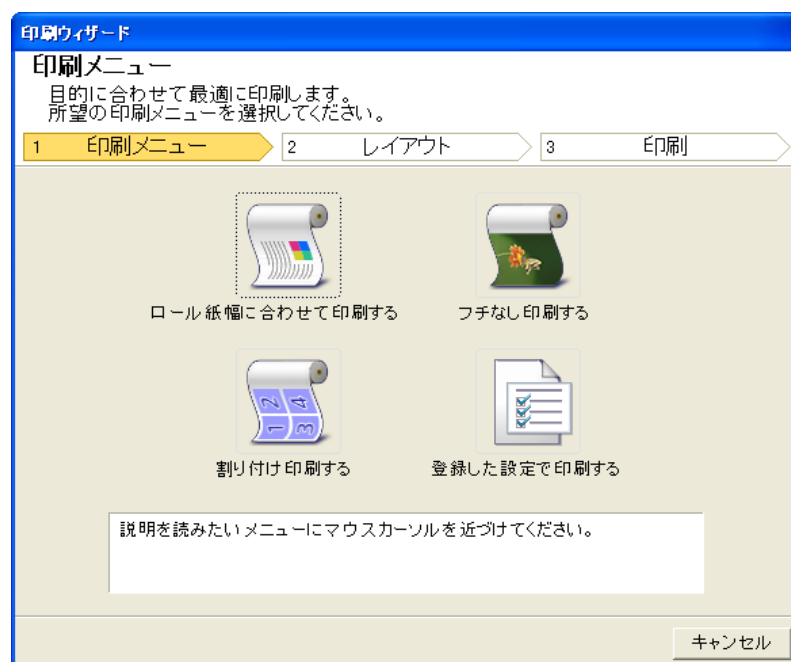
複数ページを 1 枚にまとめて印刷を行います。配布資料を 1 ページにまとめたり、ページ数の多い文書を印刷することができます。

1. [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

imagePROGRAF Print Plug-Inを開く
imagePROGRAF Print Plug-In

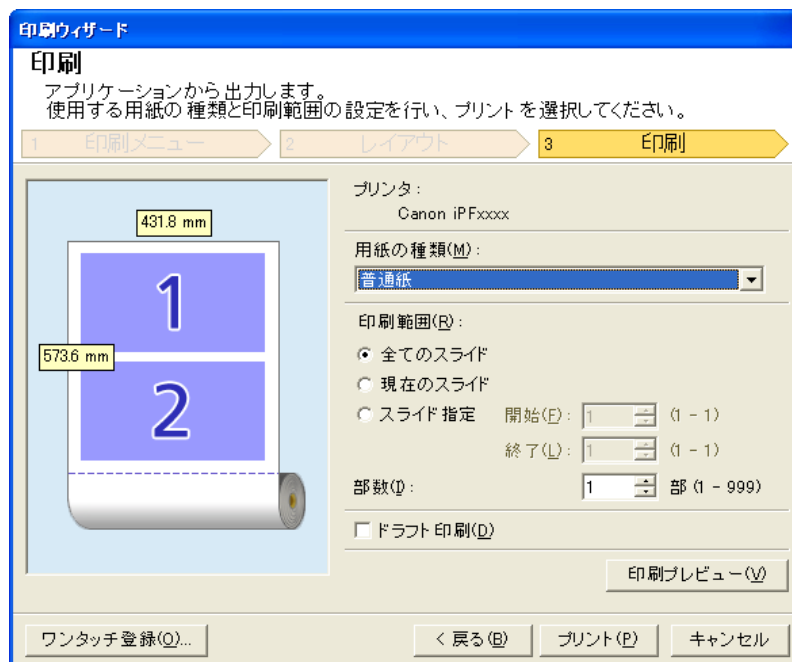
3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [割り付け印刷する]をクリックします。

5. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6. [レイアウト選択]からレイアウトを選択します。

7. [次へ]を選択します。

8. [用紙の種類]を選択します。

9. [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

10. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [ワンタッチ登録]ボタンを押すと設定を登録することができます。同じ設定で何度も印刷する場合に便利です。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 割り付け印刷する場合の最大印刷長は、[Microsoft PowerPoint 2000]ではロール紙幅の 13.44 倍，[Microsoft PowerPoint 2002]以降ではロール紙幅の 14.22 倍，または 18.0 m の小さい方となります。

11. [プリント]を押すと印刷を開始します。

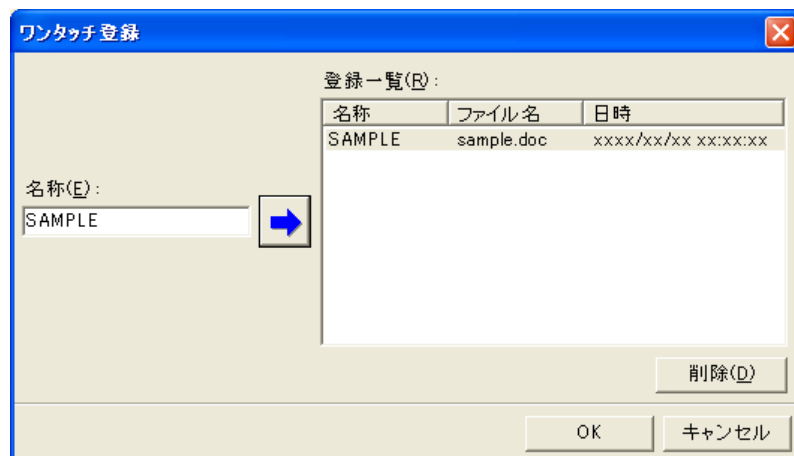
4

設定を登録する（PowerPoint）

同じ設定で繰り返し印刷する場合は[ワンタッチ登録]することができます。登録した設定は[登録した設定で印刷する]から呼び出すことができます。

1. [印刷メニュー]の[ロール紙幅に合わせて印刷する]、[フチなし印刷する]または[割り付け印刷する]で[印刷]画面まで設定をします。

メモ

- 20 個まで登録することができます。
- 設定できる項目については以下をご覧ください。
  - ロール紙幅に合わせて印刷する（PowerPoint） →P.366
  - フチなし印刷する（PowerPoint） →P.368
  - 割り付け印刷する（PowerPoint） →P.371

2. [ワンタッチ登録]ボタンをクリックします。

3. [名称]に名称を入力します。
31 文字まで入力できます。

4. をクリックします。入力した名称が[登録一覧]に表示されます。

5. [OK]をクリックし、[印刷]画面へ戻ります。

6. 印刷する場合は[プリント]、印刷を中止する場合は[キャンセル]をクリックします。

メモ
- [印刷]画面で[キャンセル]をクリックしても登録した設定は削除されません。

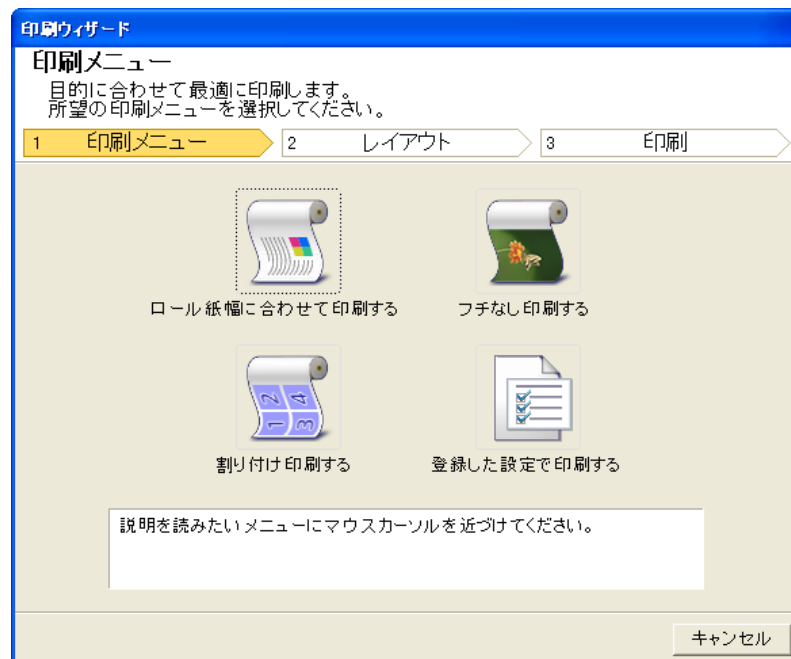
登録した設定で印刷する(PowerPoint)

登録した設定で印刷を行います。

1. [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。
[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要
- [印刷ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [登録した設定で印刷する]をクリックします。

5. [次へ]ボタンをクリックします。

6. [用紙の種類]を選択します。

7. [印刷範囲]を[全てのスライド]、[現在のスライド]、[スライド指定]から選択します。
[スライド指定]の場合はスライド番号を入力します。

8. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- 登録した設定で印刷する場合の最大印刷長は、[Microsoft PowerPoint 2000]ではロール紙幅の 13.44 倍，[Microsoft PowerPoint 2002]以降ではロール紙幅の 14.22 倍，または 18.0 m の小さい方となります。

9. [プリント]を押すと印刷を開始します。

垂れ幕を印刷する/横断幕を印刷する（PowerPoint）

ロール紙幅いっぱいに印刷します。掲示物やポスターを大きく印刷したり、[長尺ウィザード]で作成した横断幕や垂れ幕を印刷することができます。

垂れ幕/横断幕の用紙を作成する

[長尺ウィザード]を使用し垂れ幕の場合は縦長、横断幕の場合は横長の用紙を作成します。

1. [Microsoft PowerPoint]を起動します。

2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

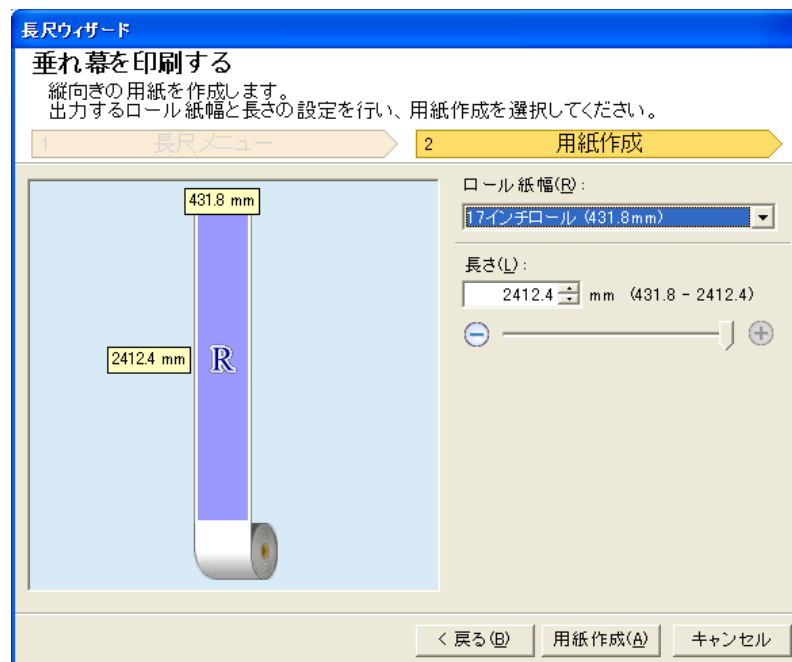
3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[用紙設定]をクリックします。
[長尺ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

重要

- [長尺ウィザード]が開いているとき、別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[長尺ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください。表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります。

4. [垂れ幕を印刷する]または[横断幕を印刷する]をクリックします。

メモ

- ここでは垂れ幕作成を例に手順を説明します。

5. [長さ]をリストボックス、スライドバーのどちらかで調整します。

6. [用紙作成]ボタンをクリックします。

7. メッセージが表示された場合は[OK]をクリックします。

8. 編集し、原稿を作成してください。

重要

- 既存のデータに対して用紙を作成するとレイアウトなどが崩れる場合があります。そのときは再度データを修正してください。

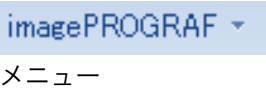
メモ

- 印刷は[印刷ウィザード]の[ロール紙幅に合わせて印刷する]で行います。[ロール紙幅に合わせて印刷する]について詳しくは、「ロール紙幅に合わせて印刷する(PowerPoint)」を参照してください。 →P.366

Microsoft Excel からの起動方法

[Microsoft Excel]から[Print Plug-In for Office]を起動する手順は、以下のとおりです。

1. [Microsoft Excel]を起動します。

2. ツールバー/リボンに[imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示された場合はクリックします。

4

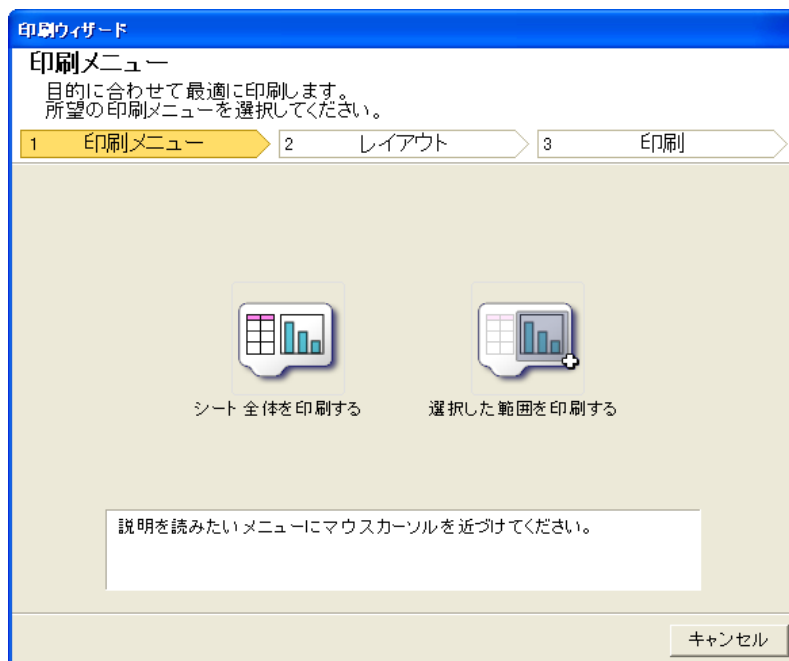
重要

- [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されない場合は、以下を参照してください。
  - Print Plug-In for Office が表示されないときには →P.346

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンが表示されていることを確認します。

4. 設定したい項目に応じてツールバー/リボンからボタンをクリックします。

アイコン	内容
imagePROGRAF メニュー	[バージョン情報]や[ヘルプ]、[処理オプション]ダイアログボックスを表示します。(「処理オプションを設定する」参照) →P.387
Canon iPFxxxx プリンタ一覧	プリンタを選択します。 [すべてのプリンタを表示]を選択すると大判プリンタ[imagePROGRAF]の再表示を行います。すべてのプリンタドライバを表示したい場合や表示を更新したい場合に選択してください。
印刷 [印刷]ボタン	印刷ウィザードが表示されます。 [シート全体を印刷する]、[選択した範囲を印刷する]の設定ができます。

[印刷ウィザード]ダイアログボックス

重要

- [印刷ウィザード]が開いているとき､別のファイルや他のアプリケーションに表示を切り替える場合は[印刷ウィザード]ダイアログボックスを閉じてください｡表示の切り替えやツールバー/リボンの操作ができない場合があります｡
- セル編集中は､ツールバー/リボンの[印刷]ボタンをクリックしても[印刷ウィザード]を起動しません｡
- 複数のシートが選択されている場合は､[印刷ウィザード]を実行できません｡1 シートのみ選択し直してから再度[印刷]をクリックしてください｡
- オブジェクトが選択されているとき､ツールバー/リボンの[印刷]ボタンをクリックしても[印刷ウィザード]を起動しません｡
- Excel の用紙サイズが空白になっている場合は､[印刷ウィザード]を実行できません｡エクセルの[ファイル]メニューの[ページ設定]で[用紙サイズ]を確認してください｡

メモ

- グラフが選択されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると､印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます｡[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります｡
- 改ページが設定されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると､印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます｡[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります｡設定された改ページを使用しない場合は､改ページプレビューを確認して変更してください｡
- 印刷範囲が設定されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると､印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます｡[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります｡設定された印刷範囲を使用しない場合は､改ページプレビューを確認して変更してください｡
- シートやセルが保護されている状態で[印刷]ボタンをクリックすると､印刷を続行するか確認するメッセージダイアログボックスが表示されます｡[いいえ]をクリックするとアプリケーションへ戻ります｡設定を変更する場合はシートやセルの保護を解除してください｡

シート全体を印刷する（Excel）

シート全体をロール紙幅いっぱいに印刷します。現在表示しているシートを大きく印刷する場合は、こちらを選択してください。

1. [Microsoft Excel]を起動します。

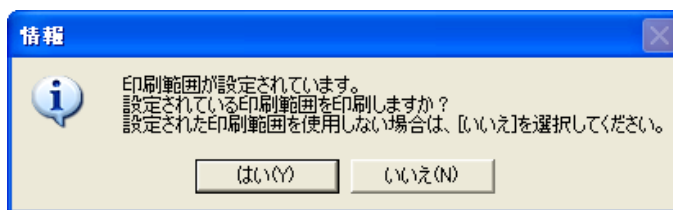
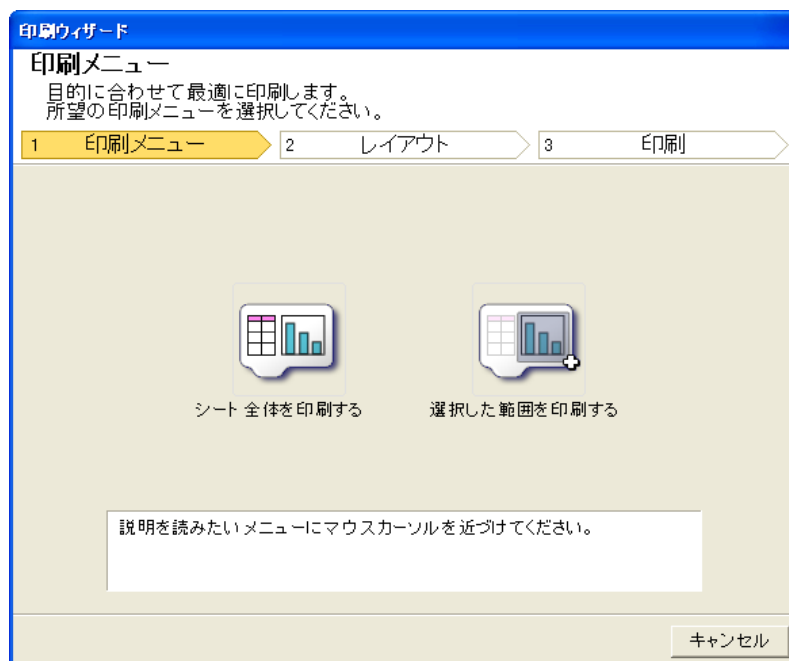
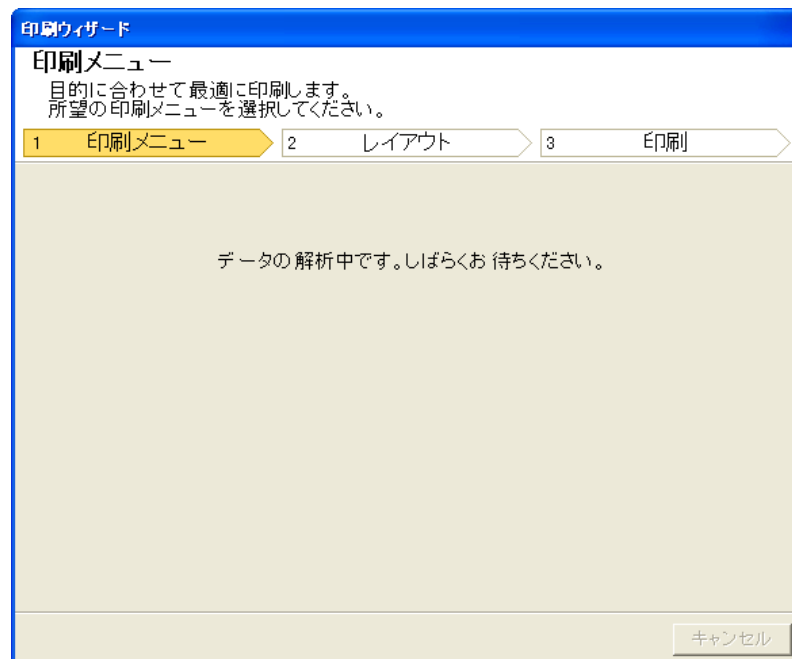
2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

imagePROGRAF Print Plug-Inを開く
imagePROGRAF Print Plug-In

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。

重要

- 複数のシートが選択されている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。1 シートのみ選択し直してから再度[印刷]をクリックしてください。

印刷範囲が設定されている場合は確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。
シート全体を印刷したい場合は、印刷範囲の設定を解除してください。

[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

4. [シート全体を印刷する]をクリックします。
解析中のメッセージが表示されます。

自動的にレイアウトメニューが表示されます。

重要

- 列 A または行 1 が非表示になっている場合はデータを解析することができません。再表示を行ってから実行してください。

メモ

- データ解析に時間がかかる場合は、メッセージダイアログが表示されます。[いいえ]を選択するとアプリケーションへ戻ります。

5. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6. 画像のサイズを選択します。

7. レイアウトを選択します。

8. [とじしろ]を設定する場合は[とじしろ設定]ボタンをクリックします。
[とじしろ]の設定手順についてはとじしろを設定する（Excel） →P.386 を参照してください。

9. [次へ]を選択します。

10. [用紙の種類]を選択します。

11. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は 18.0m です。

12. 上下の余白が多い場合は[上下余白なし（用紙節約）]をチェックしてください。
上下余白は[印刷プレビュー]で確認することができます。

13. [プリント]を押すと印刷を開始します。

重要

- 複数ページに分かれてしまう場合は、データを小さくするか、または選択する範囲を小さくしてみてください。
- 表示されているデータが何もないシートでは、[プリント]や[印刷プレビュー]を選択しても実行することができません。

選択した範囲を印刷する(Excel)

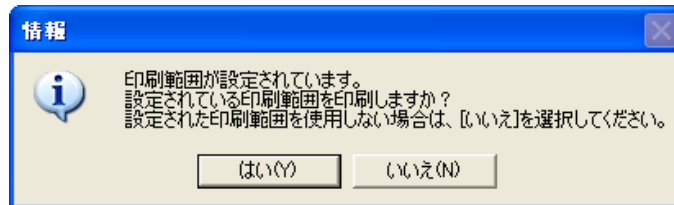
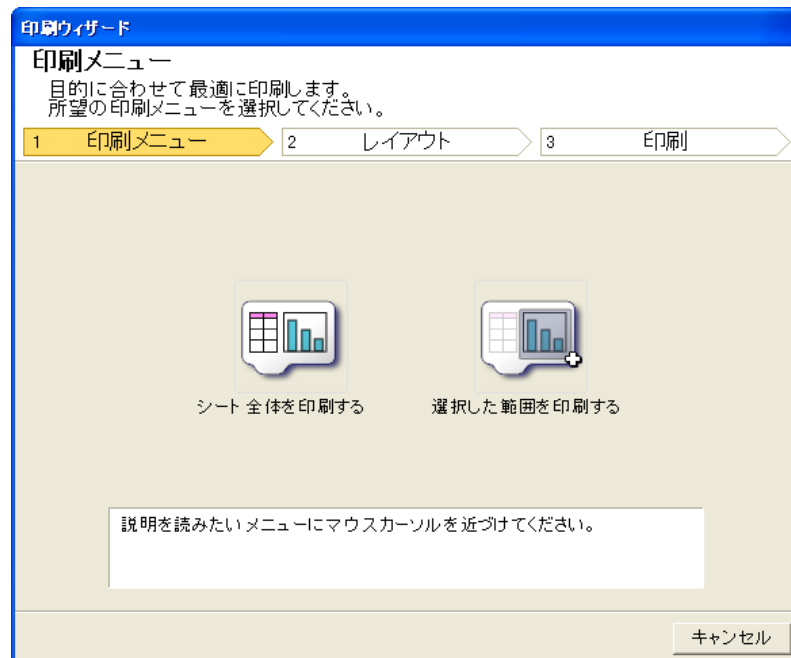
選択した範囲のセルをロール紙幅いっぱいに印刷します。シートの特定の部分を大きく印刷する場合は、こちらを選択してください。

1. [Microsoft Excel]を起動します。

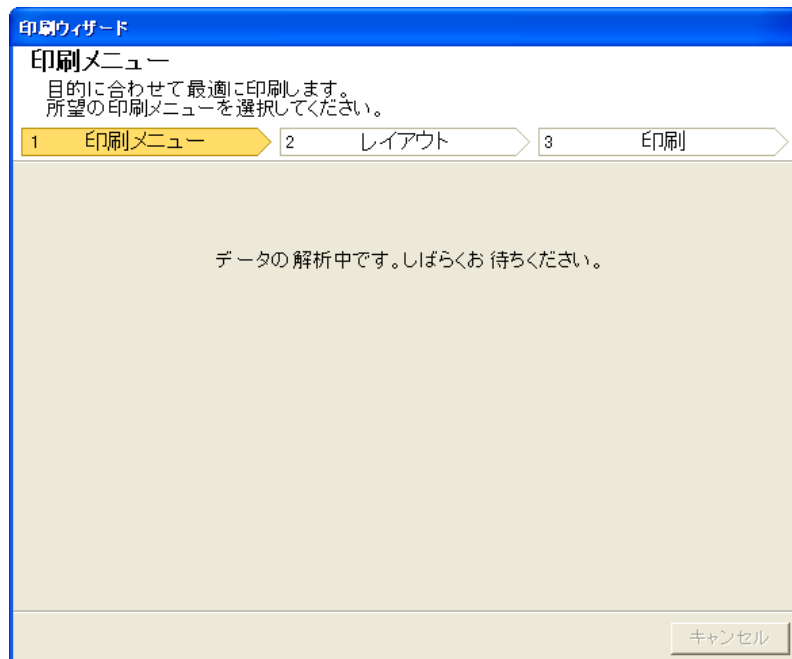
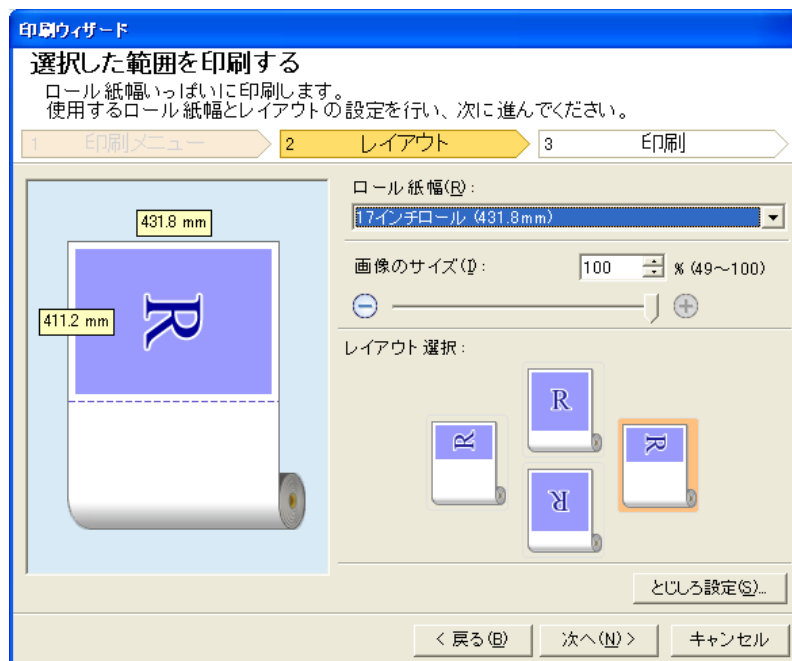
2. [imagePROGRAF Print Plug-In を開く]が表示されている場合はクリックします。

3. [imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバー/リボンから[印刷]をクリックします。

重要
• 複数のシートが選択されている場合は、[印刷ウィザード]を実行できません。1 シートのみ選択し直してから再度[印刷]をクリックしてください。

印刷範囲が設定されている場合は確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。
選択した範囲を印刷したい場合は、印刷範囲の設定を解除してください。

[印刷ウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

4. [選択した範囲を印刷する]をクリックします。

重要
• 複数のセルが選択されていない場合は、[選択した範囲を印刷する]を選択できません。

解析中のメッセージが表示されます。

自動的にレイアウトメニューが表示されます。

重要

- [Excel 2007]で選択されている範囲が大きすぎる場合はデータを解析することができません。選択する範囲を小さくしてから実行してください。
- 列 A または行 1 が非表示になっている場合はデータを解析することができません。再表示を行ってから実行してください。

メモ

- データ解析に時間がかかる場合は、メッセージダイアログが表示されます。[いいえ]を選択するとアプリケーションへ戻ります。

5. プリンタにセットされている[ロール紙幅]を選択します。

6. 画像のサイズを選択します。

7. レイアウトを選択します。

8. [とじしろ]を設定する場合は[とじしろ設定]ボタンをクリックします。
[とじしろ]の設定手順についてはとじしろを設定する(Excel) →P.386 を参照してください。

9. [次へ]を選択します。

10. [用紙の種類]を選択します。

11. [部数]を入力します。

メモ

- [ドラフト印刷]をオンにすると高速で印刷します。ただし、印刷品質は低下します。
- [印刷プレビュー]ボタンを押すと、プレビュー画面が表示されレイアウトの確認や変更を行う事ができます。
- ロール紙幅いっぱいに印刷する場合の最大印刷長は 18.0m です。

12. 上下の余白が多い場合は[上下余白なし(用紙節約)]をチェックしてください。
上下余白は[印刷プレビュー]で確認することができます。

13. [プリント]を押すと印刷を開始します。

重要

- 複数ページに分かれてしまう場合は、データを小さくするか、または選択する範囲を小さくしてみてください。
- 表示されているデータが何もないシートでは、[プリント]や[印刷プレビュー]を選択しても実行することができません。

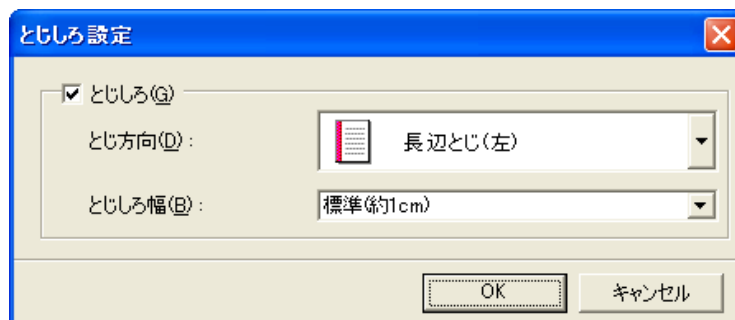
とじしろを設定する（Excel）

印刷物を閉じるための余白である[とじしろ]を設定することができます。

1. [シート全体を印刷する]または[選択した範囲を印刷する]で[レイアウト]画面の[レイアウト選択]まで設定します。
設定方法についてはシート全体を印刷する（Excel） →P.380 、選択した範囲を印刷する（Excel） →P.383
を参照してください。

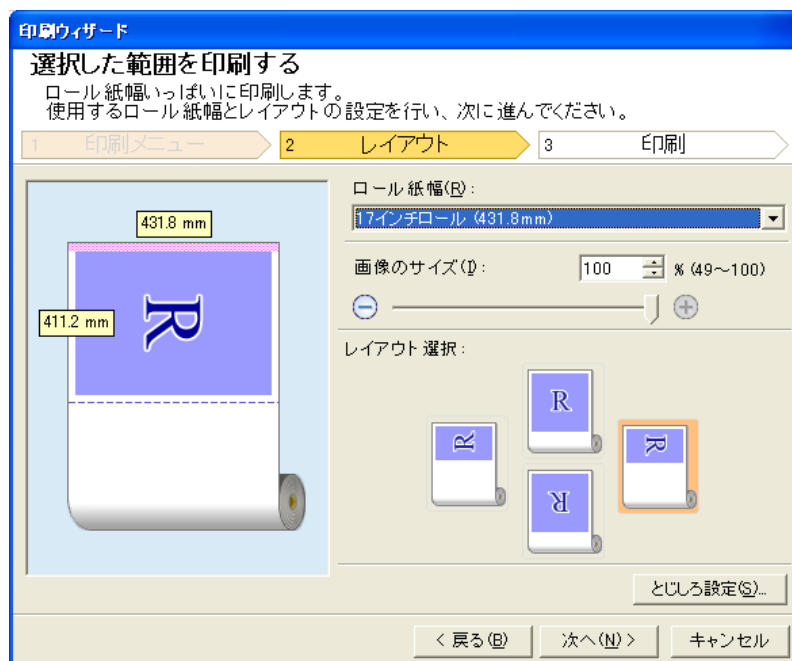
2. [とじしろ設定]ボタンをクリックします。

重要
- 以下の場合は[とじしろ設定]ボタンをクリックできません。
  - [画像のサイズ]が[100%]に設定されている場合
  - グラフが選択されている場合
  - 改ページが設定されている状態
  - シート、またはセルが保護されている場合

[とじしろ設定]ダイアログボックスが開きます。

3. [とじしろ]チェックボックスがオンになっていない場合はチェックしてオンにします。

4. [とじ方向]を選択します。

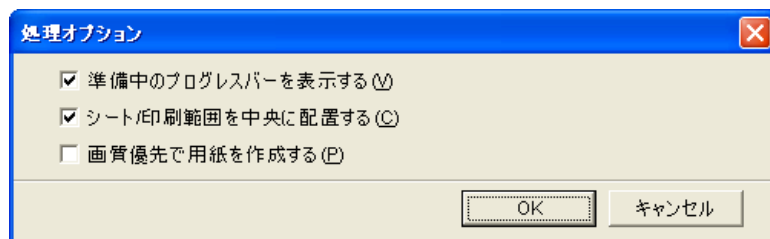
5. [とじしろ幅]を選択します。

6. [OK]ボタンをクリックします。
[レイアウト]画面に戻ります。

プレビュー画面に[とじしろ]の設定が反映されていることを確認します。

7. [印刷ウィザード]ダイアログボックスの設定を行います。

処理オプションを設定する

[imagePROGRAF Print Plug-In]ツールバーから[処理オプション]を設定することができます。

1. ツールバーの[imagePROGRAF]をクリックし、[処理オプション]を選択します。

2. 設定を変更したい項目のチェックボックスをオンまたはオフにします。

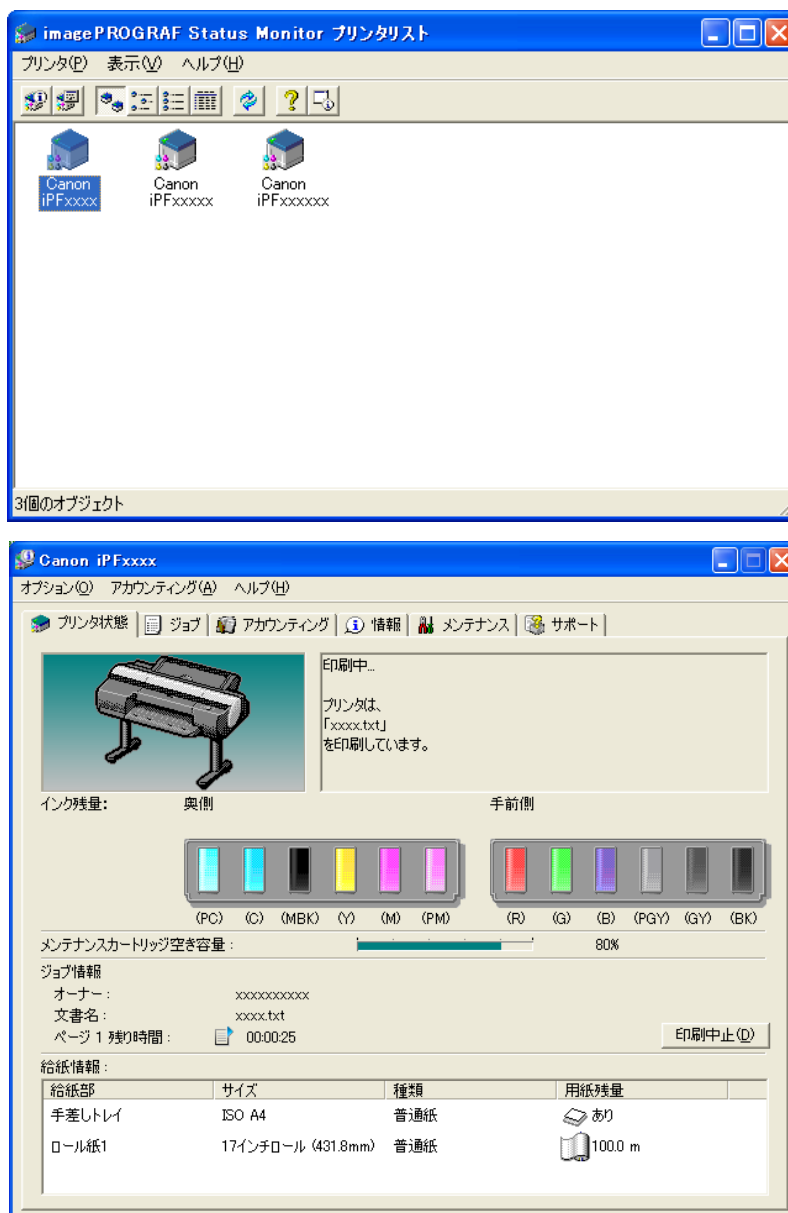
項目	内容
[準備中のプログレスバーを表示する]	オフにすると準備中に表示されるプログレスバーを非表示にします。
[画質優先で用紙を作成する]	オンにすると原稿を最大のサイズで作成します。印刷の際に拡大率が低くなるので写真などの画質の劣化が最小限になります。 この機能は[Microsoft PowerPoint]のみで有効になります。
[シート/印刷範囲を中央に配置する]	オフにすると配置を変更せずに印刷します。オンになっている場合は上下左右の余白が片寄らないように配置をして印刷します。オフにすると配置を変更せずに印刷します。 この機能は[Microsoft Excel]のみで有効になります。

3. [OK]をクリックして[処理オプション]ダイアログボックスを閉じます。

4

Status Monitor

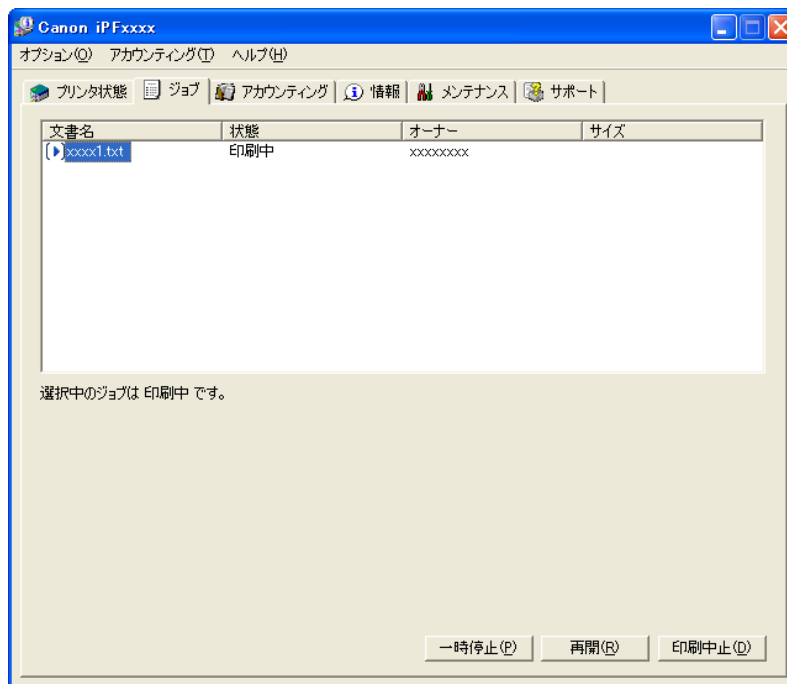
imagePROGRAF Status Monitor の特長

imagePROGRAF Status Monitor は、プリンタの状態を確認したり、印刷ジョブを管理したりするためのユーティリティソフトウェアです。
imagePROGRAF Status Monitor は、プリンタを一覧表示する[プリンタリスト]と、個別のプリンタの詳細を表示する[ステータスモニタ]の二つの画面で構成されています。

- ご使用のコンピュータにドライバがインストールされているプリンタ、またはコンピュータに接続されているプリンタやネットワーク上で検索されたプリンタの一覧を表示させることができます。
- プリンタの状態をコンピュータの画面上でリアルタイムに確認できます。
- プリンタにエラーが発生したとき、どのように対処したらよいかを即座に確認できます。

- プリンタの各色のインクの量を表示します。インクが残り少なくなると、アイコンやメッセージで知らせます。
- 各給紙部にセットされている用紙のサイズと種類が表示されます。また、用紙の有無を確認できます。
- プリンタの情報を確認したり、最良の印刷結果を得るためにプリンタのメンテナンスができます。
- プリンタにエラーなどが発生した場合に、あらかじめ設定しておいたメールアドレスに自動的にエラー情報を通知するように設定できます。
- アカウンティング機能を使ってプリンタのジョブ履歴を収集し、そのコストなどを調べることができます。
  アカウンティング機能について詳しくは、アカウンティングについて →P.391 を参照してください。

メモ
- 詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Status Monitor によるジョブ管理

imagePROGRAF Status Monitor の[ジョブ]シートでは、印刷ジョブの一時停止や中止などの操作を行うことができます。

印刷を一時停止/再開する

印刷ジョブを選択して[一時停止]ボタンをクリックすると、選択したジョブの印刷処理が一時的に停止されます。
一時停止中のジョブを選択して[再開]ボタンをクリックすると、印刷処理を再開します。

メモ
- 印刷データがすべてプリンタに送られた時点で、一時停止/再開の操作は行えなくなります。

印刷を中止する

印刷ジョブを選択して[印刷中止]ボタンをクリックすると、選択したジョブの印刷が中止されます。

メモ
- 他のユーザの印刷を中止することはできません。

アカウンティング

アカウンティングについて

アカウンティングは、プリンタのジョブ履歴を収集し、そのコストなどを調べるための機能です。
アカウンティングを利用すると次のようなメリットがあります。

- ジョブ履歴の収集
  いつ誰がどんなドキュメントをどのプリンタから印刷したのかを確認できます。
- 使用した用紙枚数や金額の集計
  収集したジョブ履歴から、印刷したページ数や用紙枚数、印刷にかかったコストなどを集計できます。
- ジョブの定期取得
  定期的に印刷ジョブを自動収集できます。
- ジョブ情報の書き出し
  収集したジョブ情報を CSV 形式のファイルに書き出すことができます。

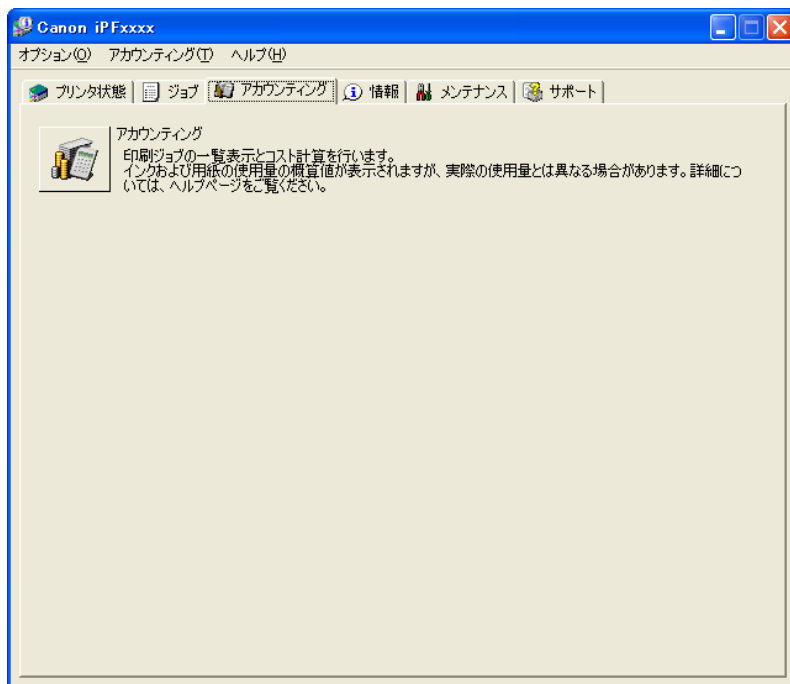
重要

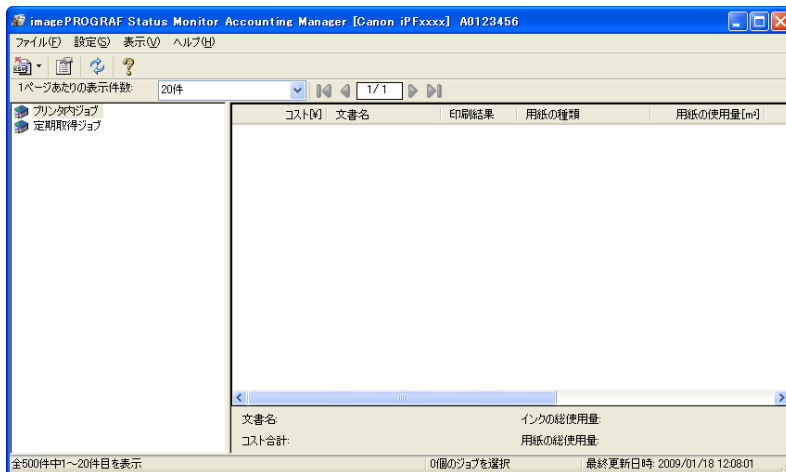
- Status Monitor のアカウンティングでは、ジョブごとに消費されるインクおよび用紙の使用量の概算値が表示されます。この概算値の正確性について、当社は保証するものではありません。お客様のご使用状況に応じて、この概算値は変動します。
- 操作パネルの[設定/調整ﾒﾆｭｰ]→[ﾌﾟﾘﾝﾀの情報]→[ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示]が[ｵﾌ]になっているときには、ジョブ履歴の収集が行われません。ただし、
  - [ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示]を[ｵﾌ]にしても、その時点で既に取得済みの定期取得ジョブは表示されます。
  - [ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示]を再び[ｵﾝ]にしたときには、その時点でプリンタの中にあるジョブがすべて表示されます。

アカウンティングの起動方法

アカウンティングを起動する手順は、以下のとおりです。

1. imagePROGRAF Status Monitor の画面を開きます。

2. [アカウンティング]メニューから[アカウンティング]を選択します。
または、[アカウンティング]シートを開き、[アカウンティング]ボタンをクリックします。

アカウンティング メインウィンドウ

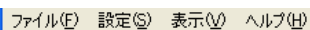
アカウンティングのメインウィンドウは、タイトルバー、メニューバー、ツールバー、表示ジョブの切替エリア、ジョブ一覧エリア、集計エリア、ステータスバーで構成されています。

タイトルバー

プリンタの機種名、使用しているポート名、およびシリアルナンバーが表示されます。

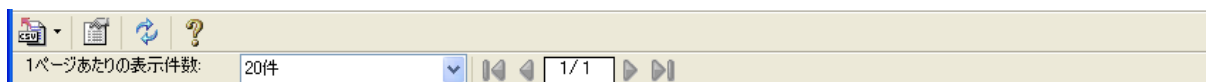
imagePROGRAF Status Monitor Accounting Manager [Canon iPFxxxx] A0123456

メニューバー

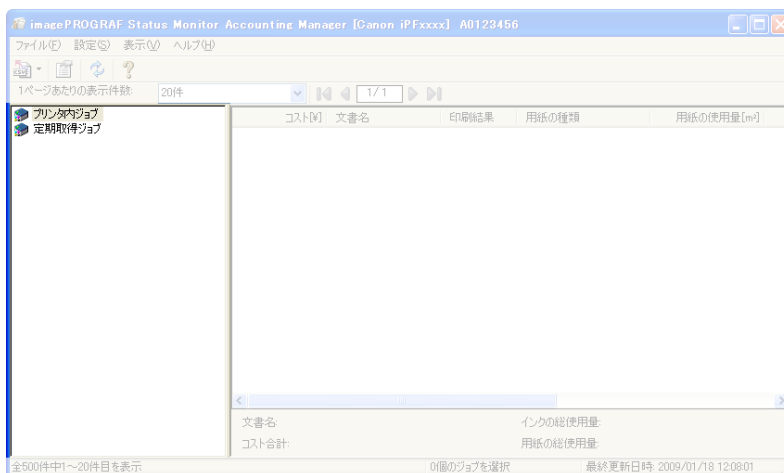
操作に必要なメニューを選択できます。

ファイル(F)　設定(S)　表示(V)　ヘルプ(H)

ツールバー

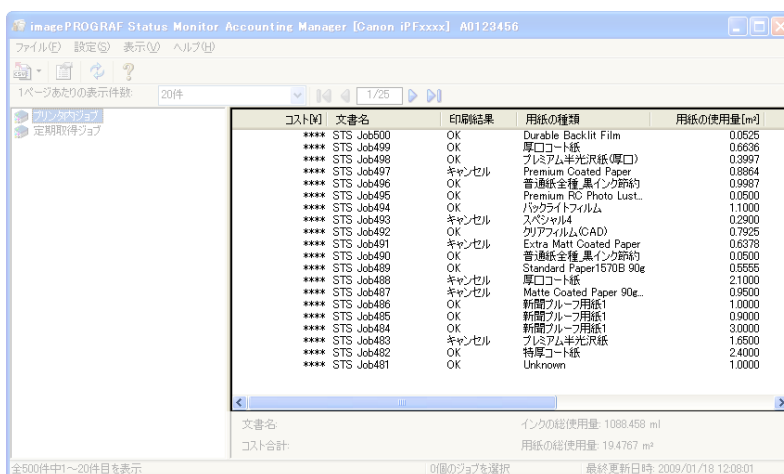
主な操作のツールボタンやプルダウンを選択できます。

メモ

- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

表示ジョブの切り替えエリア

どのジョブ履歴を表示させるかをここで選択して切り替えます。
定期取得を行っている場合は、指定した期間ごとにまとめてジョブ履歴を表示できます。

表示の切り替え方法について詳しくは、プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える →P.399 を参照してください。

ジョブリストエリア

取得したジョブの詳細情報が一覧表示されます。
プリンタ内のジョブまたは定期取得したジョブを一覧表示します。用紙とインクの使用量とコスト、用紙の種類や印刷にかかった時間などの情報が表示されます。

メモ

- インクと用紙の単価が設定されていないときには、コスト欄には[****]が表示されます。

集計エリア

選択したジョブのコスト合計、および用紙とインクの使用量が表示されます。

メモ

- 定期取得ジョブを表示している場合は、画面左側で期間を選択すると、その期間のコスト合計、および用紙とインクの使用量が表示されます。

ステータスバー

メッセージなどが表示されます。

アカウンティングの基本的な手順

初めて使用するときは、以下の手順で設定を行います。

1. 用紙やインクなどの単価を設定します。
   単価の設定について詳しくは、アカウンティングの単価を設定する →P.395 を参照してください。

2. 表示させる単位などを設定します。
   単位の設定について詳しくは、アカウンティングの表示と単位の設定をする →P.398 を参照してください。

3. ジョブを定期的に取得する場合は、定期取得の設定を行います。
   定期取得の設定について詳しくは、ジョブ履歴を定期的に自動取得する →P.399 を参照してください。

4. 一覧表示させたいジョブを指定します。
一覧表示の設定について詳しくは、プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える →P.399 を参照してください。

これで必要なジョブ履歴と詳細情報が一覧表示されます。

アカウンティングの単価を設定する

[設定]メニューから[単価設定]を選択すると、[単価設定]ダイアログボックスが表示されます。ここで単価を設定します。

メモ

- ジョブを選択してから[単価設定]ダイアログボックスを開くと、そのジョブで単価がまだ設定されていない項目がフォーカスされた状態で表示されます。

- インクの単価を設定する →P.395
- 用紙の単価を設定する →P.396
- インクと用紙以外の価格を設定する →P.397

インクの単価を設定する

[インク]シートを開きます。このシートでインクの単価を設定します。

すべてのインクを同じ単価にする場合

1. [すべてのインクに同じ単価を使う]チェックボックスを選択します。

2. [タンク容量]と、それに対する[価格]を入力します。

3. [OK]ボタンをクリックします。

重要
- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

色ごとにインクの単価を変える場合

1. 設定したいインクの色を選択します。

2. [タンク容量]と、それに対する[価格]を入力します。

3. [上書き]ボタンをクリックします。

4. すべてのインクに対して、手順 1〜3 を繰り返します。

5. [OK]ボタンをクリックします。

重要
- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

用紙の単価を設定する

[用紙]シートを開きます。このシートで用紙の単価を設定します。

1. [用紙の種類]で、用紙の種類を選択します。

2. 用紙の[幅]、[長さ]、および、設定した幅×長さに対する面積あたりの[価格]を入力します。

3. [追加]ボタンをクリックします。既に設定済みの用紙種類の単価を変更する場合は、[上書き]ボタンをクリックします。

4. [OK]ボタンをクリックします。

重要

- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

インクと用紙以外の価格を設定する

[その他]シートを開きます。このシートでインクと用紙以外の価格を自由に設定します。

1. [名称]に任意の名称を入れます。

2. [単価]を入力します。

3. ジョブにかかったコストとして計上するかしないかを、[計上]で選択します。

4. [追加]ボタンをクリックします。既に設定済みの用紙種類の単価を変更する場合は、[上書き]ボタンをクリックします。

5. [OK]ボタンをクリックします。

メモ

- 最大で 5 件まで設定できます。

重要

- [OK]ボタンをクリックするまでは、設定内容は反映されません。

アカウンティングの表示と単位の設定をする

[設定]メニューから[単位と表示の設定]を選択すると、[単位と表示の設定]ダイアログボックスが表示されます。ここで表示に関する設定をします。

[日付の表示形式]

日付の表示形式を選択します。YYYY は年、MM は月、DD は日を表します。

[通貨単位]

通貨単位を入れます。3 文字以内で任意に入力します。

[桁区切り記号]

桁区切りに使用する記号を選択します。記号は数字 3 桁ごとに入ります。

[小数点の記号]

小数点として使用する記号を選択します。

[インク量]

インク量の単位を選択します。

[用紙の幅]

用紙の幅方向の長さの単位を選択します。

[用紙の長さ]

用紙の長さの単位を選択します。

[面積の表示形式]

用紙の面積の単位を選択します。

ジョブ履歴を定期的に自動取得する

プリンタからジョブ履歴を定期的に収集し、お使いのコンピュータに保存します。

1. [設定]メニューから[定期取得設定]を選択します。

2. [印刷ジョブのログを定期的に取得する]を選択します。

3. [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ

- 定期取得の設定を行った直後はジョブが表示されません。しばらく待ってから、[表示]メニューで[最新の情報に更新]を選択すると表示されます。
- ジョブ履歴は最大で 10000 件まで保存され、これを超えた場合は古いジョブ履歴から順に削除されます。古いデータを保存する場合は、CSV ファイルに書き出すことをおすすめします。
ジョブ履歴を CSV ファイルに書き出す方法について詳しくは、ジョブ情報を CSV ファイルに出力する →P.400 を参照してください。

重要

- 操作パネルの[設定/調整ﾒﾆｭｰ]→[ﾌﾟﾘﾝﾀの情報]→[ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示]が[ｵﾌ]になっているときには、ジョブ履歴の収集が行われません。ただし、[ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示]を[ｵﾌ]にしても、その時点で既に取得済みの定期取得ジョブは表示されます。

ジョブ履歴の定期取得を解除する

プリンタからの定期的なジョブ履歴の取得を解除することができます。

1. [設定]メニューから[定期取得設定]を選択します。

2. [印刷ジョブのログを定期的に取得する]のチェックマークをはずします。

3. [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの表示を切り替える

アカウンティングで表示するジョブ履歴には、プリンタ内ジョブと定期取得ジョブの二種類があります。
プリンタ内ジョブと定期取得ジョブは、画面左の表示ジョブの切り替えエリアで指定して表示を切り替えます。

[プリンタ内ジョブ]

現在プリンタ内にあるジョブを一覧表示します。
ツールバーまたは[表示]メニューの[1 ページあたりの表示件数]で、1 ページに表示する件数を変えることができます。
ツールバーまたは[表示]メニューの[移動]で表示するページを移動する事ができます。

メモ

- ハードディスクを搭載するプリンタの場合は、プリンタ 1 台あたり 500 件まで表示できます。
- ハードディスクを搭載しないプリンタの場合は、プリンタ 1 台あたり 32 件まで表示できます。ただし、プリンタの電源をオフにすると、表示できるジョブは 10 件になります。

[定期取得ジョブ]

定期的に取得したジョブを一覧表示します。
ある一定の期間ごとにまとめてジョブを表示する場合は、ツールバーまたは[表示]メニューの[期間]および[集計開始日](または[集計開始曜日]、[集計開始月])で期間を指定します。
例えば、毎月 1 日から 1 か月分の単位でジョブ履歴を表示するときは、[期間]を[1 ヶ月ごと]に、[集計開始日]を[1]に設定します。

メモ

- 定期取得ジョブはプリンタ 1 台あたり最大 10000 件まで表示されます。

ジョブ情報を CSV ファイルに出力する

[ファイル]メニューから[コスト情報の書き出し]を選択すると、収集したジョブの情報を CSV ファイルに出力することができます。

メモ

- [コスト情報の書き出し]は、ツールバーのアイコンから選択することもできます。

[選択しているジョブ]

ジョブ一覧の中で選択されているジョブの情報を CSV ファイルに出力します。

メモ

- Shift キーまたは Ctrl キーを押しながらクリックすることで、複数のジョブを選択することができます。

[リストに表示されているジョブ]

現在リストに表示されているジョブの情報を CSV ファイルに出力します。

ジョブのプロパティを表示する

ジョブ一覧中のジョブを選択し、[ファイル]メニューから[ジョブのプロパティを表示]を選択すると、[ジョブのプロパティ]ダイアログが表示され、コストの詳細情報などを確認できます。
[コピー]ボタンをクリックすると、このダイアログボックス内の文字情報をクリップボードにコピーします。

メモ

- ジョブを選択して右クリックし、[ジョブのプロパティを表示]を選択して表示させることもできます。また、ツールバーのアイコンから表示させることもできます。
- 複数のジョブを選択してから[ジョブのプロパティ]ダイアログを開くと、その合計のコストが表示されます。

設定した単価情報の表示、保存、読み込みをする

[単価情報の表示]

[ファイル]メニューから[単価情報の表示]を選択すると、[単価情報]ダイアログボックスが表示されます。設定されているインクや用紙などの単価が一覧表示されます。
[コピー]ボタンをクリックすると、このダイアログボックス内の文字情報をクリップボードにコピーします。

[単価情報の保存]

[ファイル]メニューの[単価情報の保存]で保存先を選択します。設定されているインクや用紙などの単価情報をファイルに保存します。

[単価情報の読み込み]

[ファイル]メニューの[単価情報の読み込み]で単価情報のファイルを選択すると、単価情報を読み込みます。

インクと用紙の総使用量を表示する

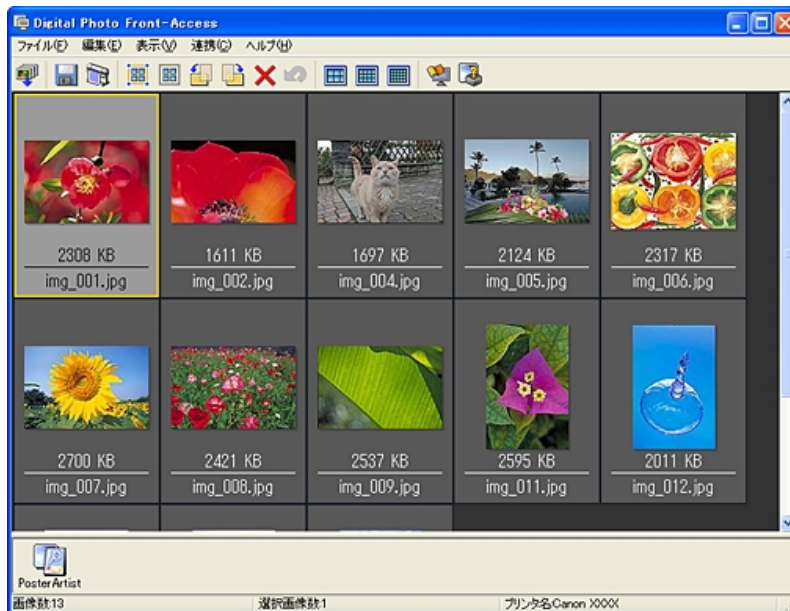
[ファイル]メニューから[インクと用紙の使用量を表示]を選択すると、[インクと用紙の使用量を表示]ダイアログボックスが表示されます。
プリンタが今までに使用したインクと用紙の総量を一覧表示します。
[コピー]ボタンをクリックすると、このダイアログボックス内の文字情報をクリップボードにコピーします。

メモ

- 用紙は、使用量の多い順に 7 種類まで表示されます。それ以外の用紙は、合計使用量が[その他]として表示されます。

Digital Photo Front-Access

Digital Photo Front-Access

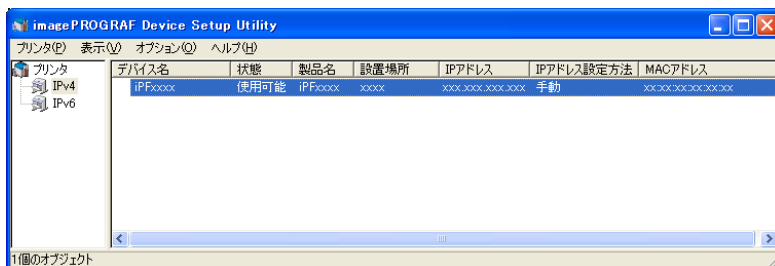
Digital Photo Front-Access は、キヤノン製デジタルカメラで撮影した写真など、コンピュータに取り込んだ画像と各種アプリケーションを簡単に連携させることができるアプリケーションソフトです。

- 画像を選択して、起動したいアプリケーションソフトのアイコンをクリックするだけで、簡単にアプリケーションを起動することができます。
- Digital Photo Front-Access から印刷することもでき、Digital Photo Front-Access を中心に、編集から印刷まで各種アプリケーションを有効に活用することができます。
- Digital Photo Front-Access には、画像補正機能もあります。補正したい画像を選択し、画像補正を選択すると、自動的に画像が補正されます。
- すべての画像を自動で補正してから表示させることもできるので、補正の手間もかかりません。

メモ

- 詳細については、Digital Photo Front-Access のヘルプを参照してください。

Device Setup Utility

imagePROGRAF Device Setup Utility

imagePROGRAF Device Setup Utility は、ご使用のコンピュータとプリンタが通信できるように設定するためのユーティリティソフトウェアです。プリンタを新規に導入した場合などは、最初に imagePROGRAF Device Setup Utility を使用してネットワーク設定を行います。

- imagePROGRAF Device Setup Utility を起動すると、ネットワーク上のプリンタを検索して一覧表示します。この中から設定したいプリンタ(MAC アドレス)を選択し、ご使用のコンピュータからプリンタの IP アドレスやネットワークのフレームタイプなどの基本的な設定を行います。
- 使用するコンピュータとプリンタが正しく通信できる状態にあるかどうかは、プリンタリストの一覧で確認できます。

メモ

- imagePROGRAF Device Setup Utility による設定作業は、ネットワーク管理者またはプリンタ管理者が行ってください。
- 詳細については、imagePROGRAF Device Setup Utility のヘルプを参照してください。

imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする

imagePROGRAF Device Setup Utility は、プリンタに付属の User Software CD-ROM から、以下の手順でインストールします。

重要

- Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows 7 の場合は、[Administrator]アカウントに相当する管理者権限が必要です。

1. User Software CD-ROM を、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
2. [Setup Menu]ウィンドウで、[ソフトウェア個別インストール]をクリックします。
3. imagePROGRAF Device Setup Utility の[インストール]をクリックします。
4. 画面の指示に従ってインストールします。

imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する

Windows のコンピュータをご使用の場合は、プリンタに付属のユーティリティソフト imagePROGRAF Device Setup Utility でプリンタの IP アドレスを設定できます。ここでは、imagePROGRAF Device Setup Utility を使用し、IP アドレスを設定する手順を説明します。

重要

- ネットワークの設定には[Administrator]アカウントに相当する管理者権限が必要です。ネットワークの設定は、ネットワーク管理者が行うことをお勧めします。
- imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする方法については、「imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする」を参照してください。 →P.403

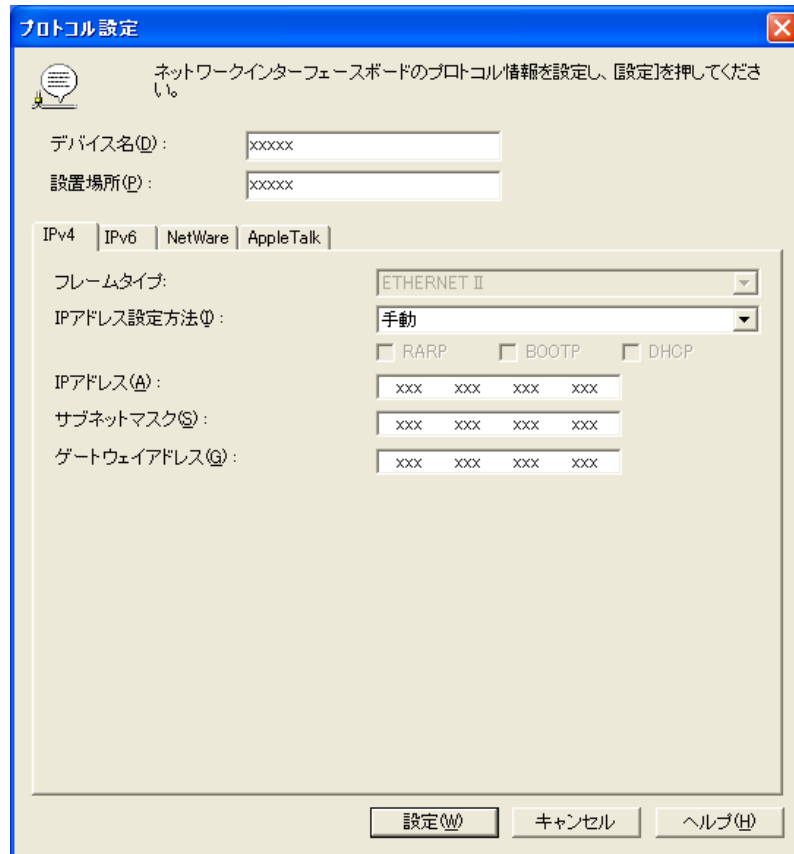
IPv4 の IP アドレスを設定する場合

1. [スタート]メニューから imagePROGRAF Device Setup Utility を起動します。

2. 一覧に表示される[デバイス名]から、設定するプリンタを選択します。

3. [プリンタ]メニューから[プロトコル設定]を選択します。

4

4. [IPv4]タブを選択します。

5. [IP アドレス設定方法]の一覧から[手動]を選択します。

6. プリンタに割り当てる IP アドレスを入力し、[設定]をクリックします。

7. [確認]メッセージダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

8. imagePROGRAF Device Setup Utility を終了します。

メモ

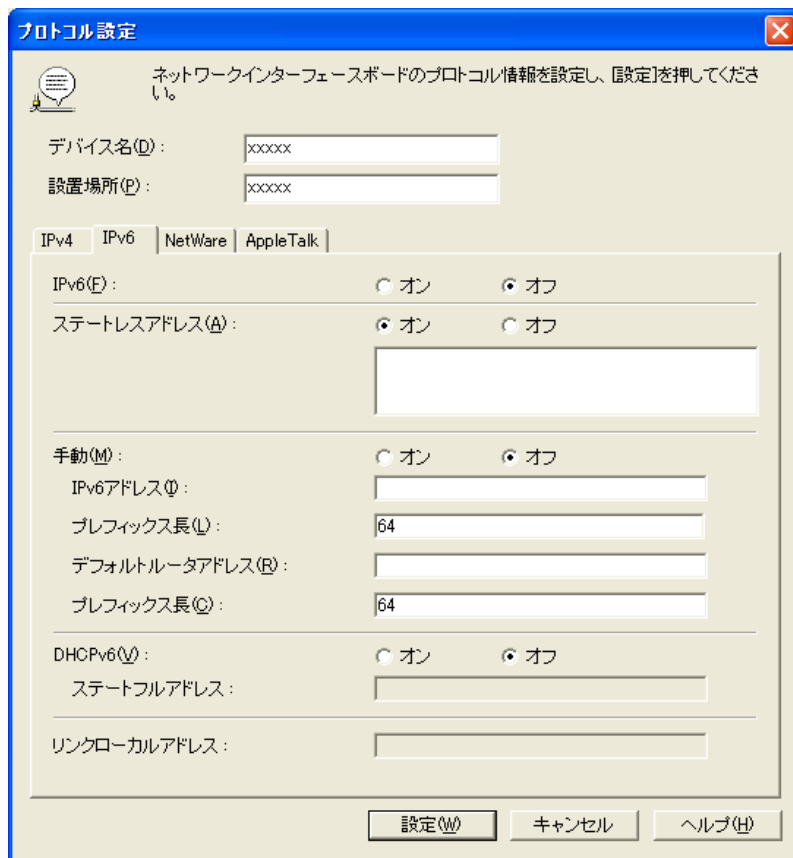
- IP アドレスを自動で設定する場合は、[IP アドレス設定方法]の一覧から[自動]を選択し、[DHCP]、[BOOTP]、[RARP]のうち、使用する項目のチェックボックスをオンにします。
- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイも設定できます。

IPv6 の IP アドレスを設定する場合

1. [スタート]メニューから imagePROGRAF Device Setup Utility を起動します。

2. 一覧に表示される[デバイス名]から、設定するプリンタを選択します。

3. [プリンタ]メニューから[プロトコル設定]を選択します。

4. [IPv6]タブを選択します。

5. [IPv6]で[オン]を選択します。

6. ネットワーク環境に IPv6 に対応したルータがある場合は、[ステートレスアドレス]で[オン]を選択します。
または、ネットワーク環境に DHCPv6 サーバがある場合は、[DHCPv6]で[オン]を選択します。

メモ
- IPv6 に対応したルータおよび DHCPv6 サーバのいずれもない場合は、[手動]で[オン]を選択し、[IPv6 アドレス]と[プレフィックス長]を入力してください。

7. [設定]をクリックします。

8. [確認]メッセージダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

9. imagePROGRAF Device Setup Utility を終了します。

Media Configuration Tool

Media Configuration Tool の特長

Media Configuration Tool の主な特長は以下のとおりです。

- プリンタがサポートするメディア(用紙の種類)が追加されたときに、その用紙情報をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加することができます。
- プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバのダイアログボックスで使用される用紙種類の表示順や用紙名称を変更することができます。
- カスタム用紙(キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙のいずれにも該当しない用紙)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加することができます。

重要

- User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールすると、通常 Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。さらに新たな用紙情報を追加したり、既存の用紙情報を編集したい方は、このソフトウェアをお使いください。
- Media Configuration Tool による用紙情報の管理はプリンタの管理者が行ってください。
- カスタム用紙(キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙のいずれにも該当しない用紙)の印刷品位および紙搬送性について、キヤノンは一切保証いたしません。
- キヤノン純正紙において、Media Configuration Tool の[カスタム用紙の追加]を使用した場合は、印刷品位および紙搬送性は保証できません。
- キヤノン出力確認紙において、Media Configuration Tool の[カスタム用紙の追加]を使用した場合は、紙搬送性は保証できません。また、キヤノンは、キヤノン出力確認紙の印刷品位を保証するものではありません。

メモ

- キヤノン純正紙やキヤノン出力確認紙は、用紙リファレンスガイドに記載されている用紙です。それ以外の用紙をカスタム用紙と呼びます。

動作環境

Media Configuration Tool は、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF プリンタドライバ

インストール手順

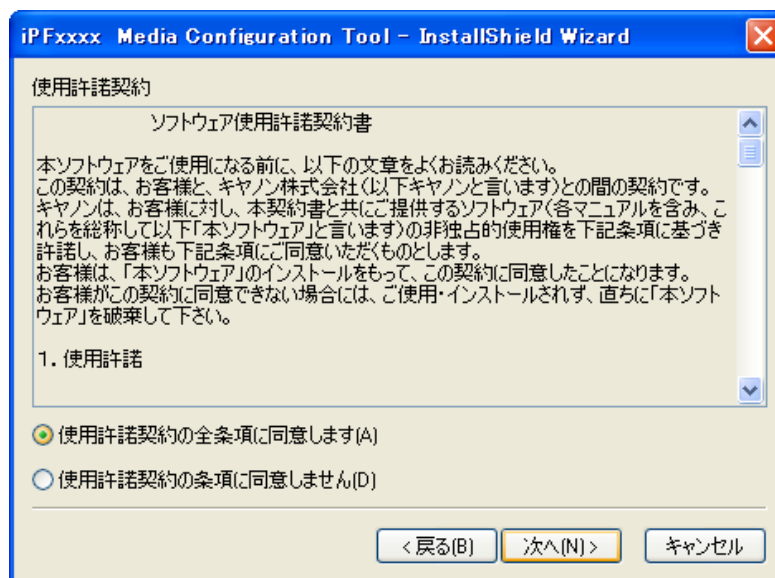
新しいバージョンの Media Configuration Tool のインストーラを起動すると、Media Configuration Tool のインストール画面が表示されます。この画面からインストールする手順は、以下のようになります。

重要

- User Software CD-ROM からプリンタドライバをインストールすると、Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。そのため通常は、以下の手順を行う必要はありません。キヤノンのホームページから新しいバージョンの Media Configuration Tool をダウンロードした場合など、User Software CD-ROM を使わずに Media Configuration Tool をインストールする場合は、以下の手順で行ってください。
- Windows にソフトウェアをインストールするときは、管理者としてログインする必要があります。

1. Media Configuration Tool のインストーラを起動します。
   [次へ]ボタンをクリックします。

2. プリンタを使用する国または地域の選択画面が表示されます。
国または地域を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

3. [使用許諾契約]が表示されます。
[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

4. [インストール先の選択]画面が表示されます。
インストール先を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

5. [インストール準備の完了]画面が表示されます。
[インストール]ボタンをクリックします。

6. 必要なファイルがお使いのコンピュータにコピーされ、[InstallShield Wizard の完了]画面が表示されます。
[完了]ボタンをクリックします。

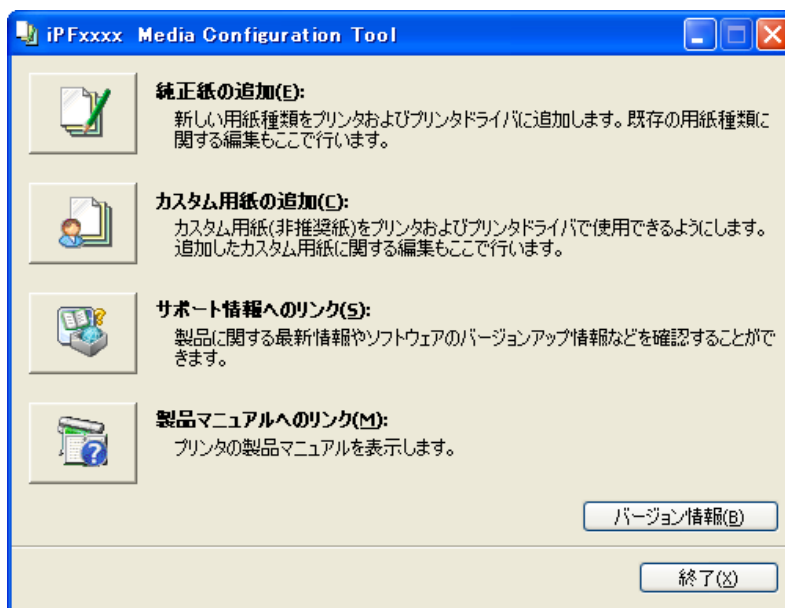
Media Configuration Tool のインストールが完了します。

Media Configuration Tool の起動方法

Media Configuration Tool を起動する手順は、以下のとおりです。
[スタート]メニューから[プログラム]>[iPFxxxx Media Configuration Tool]>[iPFxxxx Media Configuration Tool]を選択します。
Media Configuration Tool メインウィンドウが表示されます。

Media Configuration Tool メインウィンドウ

ここでは、Media Configuration Tool メインウィンドウについて説明しています。

メモ

- Media Configuration Tool メインウィンドウを開く手順について詳しくは、「Media Configuration Tool の起動方法」を参照してください。 →P.411

[純正紙の追加]ボタン

ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示され、キヤノンよりリリースされた用紙情報ファイルをプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録することができます。名称変更や表示/非表示の切り替え、追加した用紙種類の削除も可能です。
キヤノン純正紙やカスタム用紙の表示順序を変更することもできます。
[純正紙の追加]について詳しくは、用紙種類情報を編集する →P.413 を参照してください。

[カスタム用紙の追加]ボタン

ボタンをクリックすると、[カスタム用紙の追加]ダイアログボックスが表示され、カスタム用紙(キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙のいずれにも該当しない用紙)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加することができます。
[カスタム用紙の追加]について詳しくは、純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する →P.425 を参照してください。

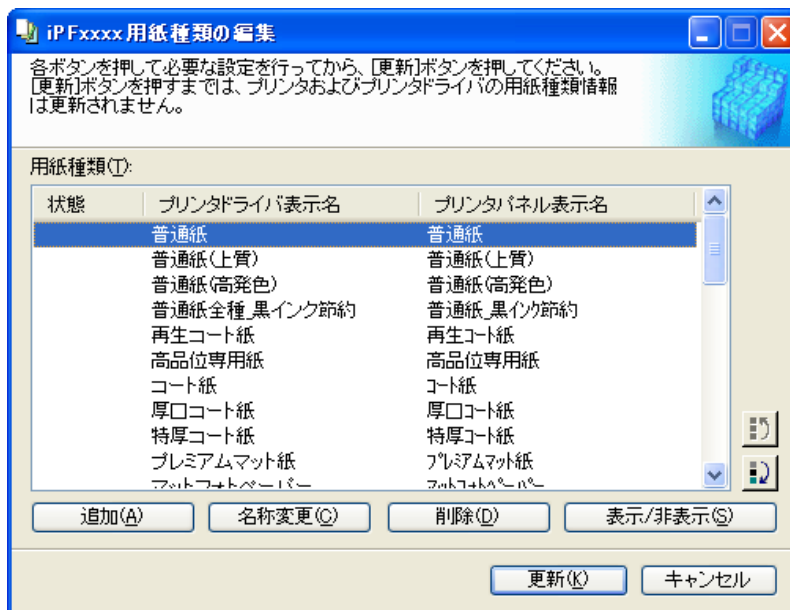
[サポート情報へのリンク]ボタン

[imagePROGRAF サポート情報]が開きます。製品に関する最新情報やソフトウェアのバージョンアップ情報などを確認することができます。

[製品マニュアルへのリンク]ボタン

ボタンをクリックすると、プリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、お使いのコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

用紙種類情報を編集する

Media Configuration Tool メインウィンドウの[純正紙の追加]ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示されます。

この画面では、以下の操作を行うことができます。

- 用紙種類の追加 →P.413
- 用紙名称の変更 →P.416
- 追加した用紙種類の削除 →P.418
- 用紙種類の表示/非表示を切り替える →P.420
- 用紙種類の表示順序を変更する →P.421

重要

- 用紙種類情報を更新する場合は、そのプリンタを使用する他の全てのコンピュータでも同様の更新を行ってください。
- 用紙種類の追加、削除、表示/非表示の切り替え、用紙名称の変更は、キヤノン純正紙および出力確認紙のみ可能です。カスタム用紙の追加、編集、削除は、「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する →P.425 」を参照してください。カスタム用紙は、[用紙種類]のリストの[状態]に「カスタム」と表示されます。
- 用紙種類の追加を行う場合は、キヤノンのホームページからあらかじめ用紙情報ファイル(.amf ファイル)をダウンロードしておいてください。

メモ

- 削除、表示/非表示、表示順の変更は条件によって行うことができない場合があります。

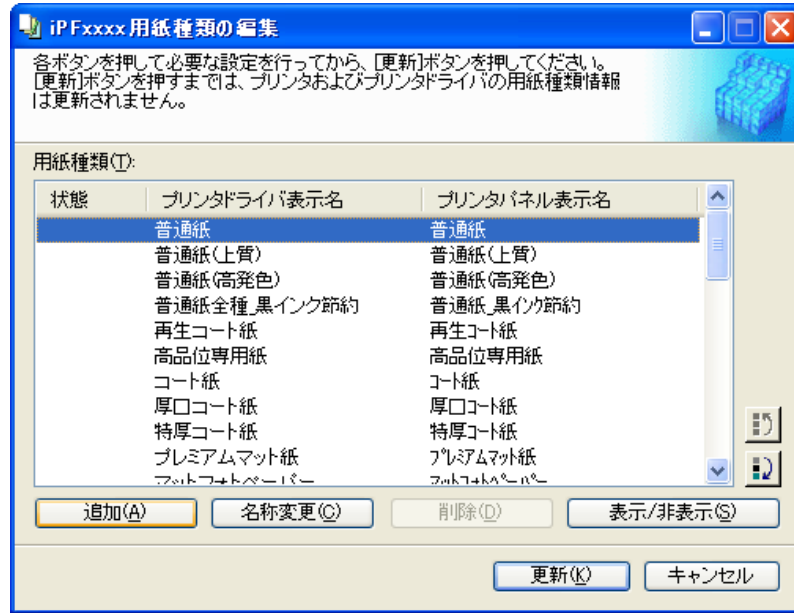
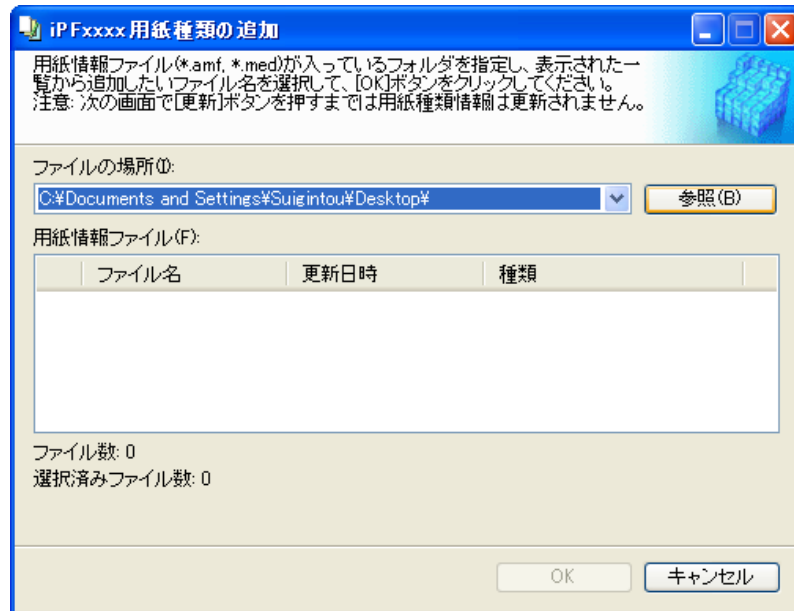
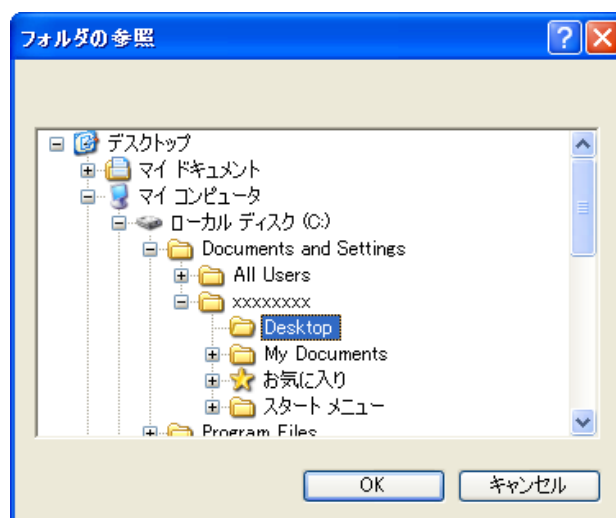
用紙種類の追加

キヤノンよりリリースされた用紙情報ファイル(.amf ファイル)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録します。

重要

- 用紙種類の追加を行っている間は、対象のプリンタで印刷を実行しないでください。

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

4

2. [用紙種類の追加]ダイアログボックスが表示されます。
[参照]ボタンをクリックします。

3. [フォルダの参照]ダイアログボックスが表示されます。
用紙情報ファイル(.amf ファイル)が含まれるフォルダを選択して、[OK]ボタンをクリックします。

4. [用紙種類の追加]ダイアログボックスの[用紙情報ファイル]に[フォルダの参照]ダイアログボックスで選択したフォルダ内の用紙情報ファイル名が表示されます。追加したい用紙のチェックボックスにチェックマークを付け、[OK]ボタンをクリックします。

重要

- [用紙情報ファイル]の[種類]に[基本用紙情報ファイル]と表示されている場合は、用紙種類の表示順序や用紙種類の表示/非表示の設定が初期化されます。基本用紙情報ファイルの追加を行った後、再度設定しなおしてください。

5. 確認画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

6. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.423

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙名称の変更

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、名称を変更したい用紙を選択します。
[名称変更]ボタンをクリックします。

3. [用紙種類名称の変更]ダイアログボックスが表示されます。
[プリンタドライバ表示名]および[プリンタパネル表示名]を編集して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- [元に戻す]ボタンをクリックすると、初期状態の名称が設定されます。

4. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.423

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

追加した用紙種類の削除

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、削除したい用紙を選択します。
[削除]ボタンをクリックします。

メモ

- [用紙種類]のリストの[状態]に[追加]と表示されている用紙のみ削除できます。

3. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.423

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙種類の表示/非表示を切り替える

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、表示/非表示にしたい用紙を選択します。
[表示/非表示]ボタンをクリックします。
選択した用紙の表示と非表示が切り替わります。

メモ

- 非表示の用紙は、[用紙種類]のリスト上でグレーアウト表示されます。
- [表示/非表示]ボタンをクリックするごとに、プリンタドライバとプリンタパネルの両方表示→両方非表示→プリンタパネルのみ表示と切り替わります。

3. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.423

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙種類の表示順序を変更する

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、表示順を変更したい用紙を選択して、表示順変更ボタン(または)をクリックします。
選択した行が一行ずつ上または下に移動します。

3. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.423

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙の種類を更新する

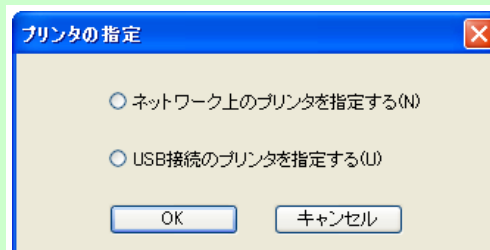
[用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックすると、[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。このウィザードでは、お使いのプリンタとプリンタドライバの用紙情報を新しい情報に置き換えることができます。
[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順は、以下のようになります。

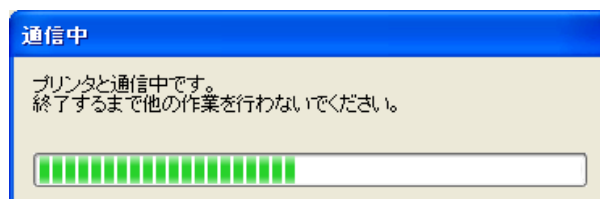
重要

- 用紙種類情報を更新する場合は、そのプリンタを使用する他の全てのコンピュータでも同様の更新を行ってください。

1. [用紙種類の更新 - プリンタの選択]ダイアログボックスの[プリンタ]に用紙情報を更新するプリンタが自動的に表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- プリンタドライバがインストールされていない場合は、以下のようなダイアログボックスが表示されます。更新対象のプリンタの接続方法を選択します。

2. プリンタとの通信が開始され、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

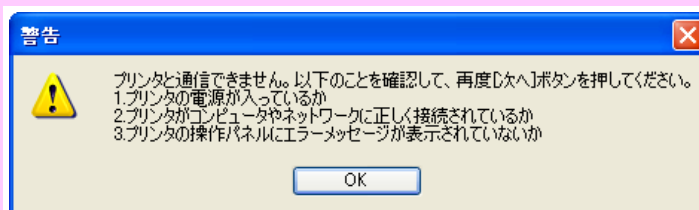
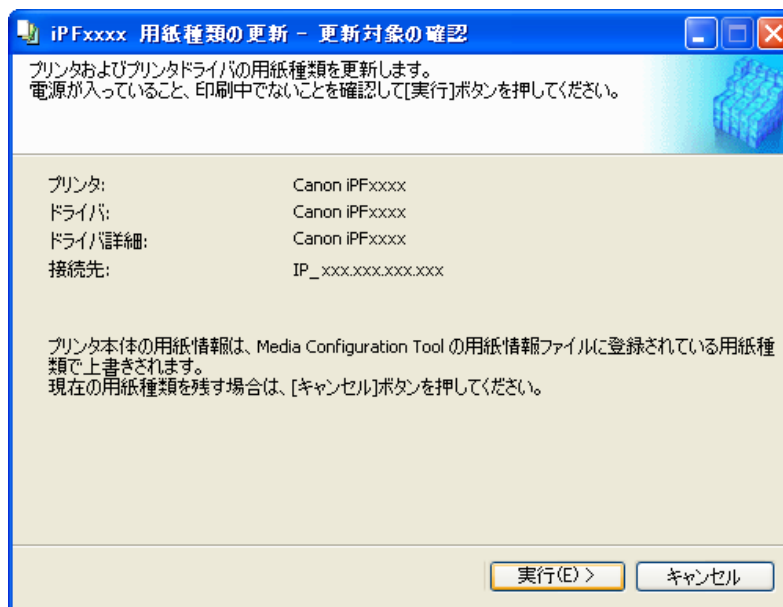
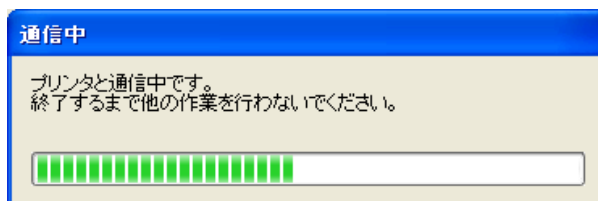
重要

- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。
- プリンタと通信できない場合には、以下の警告メッセージが表示されます。

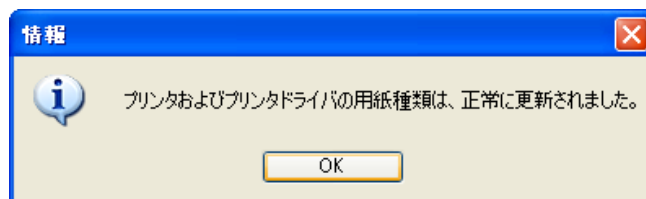
3. プリンタとの通信が終了すると、画面表示が、[用紙種類の更新 - 更新対象の確認]ダイアログボックスに切り替わります。プリンタから取得した情報を確認します。
確認した内容で更新する場合には、[実行]ボタンをクリックします。

重要

- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

4. プリンタとの通信が開始され、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

重要

- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。
- プリンタと通信できない場合には、以下の警告メッセージが表示されます。

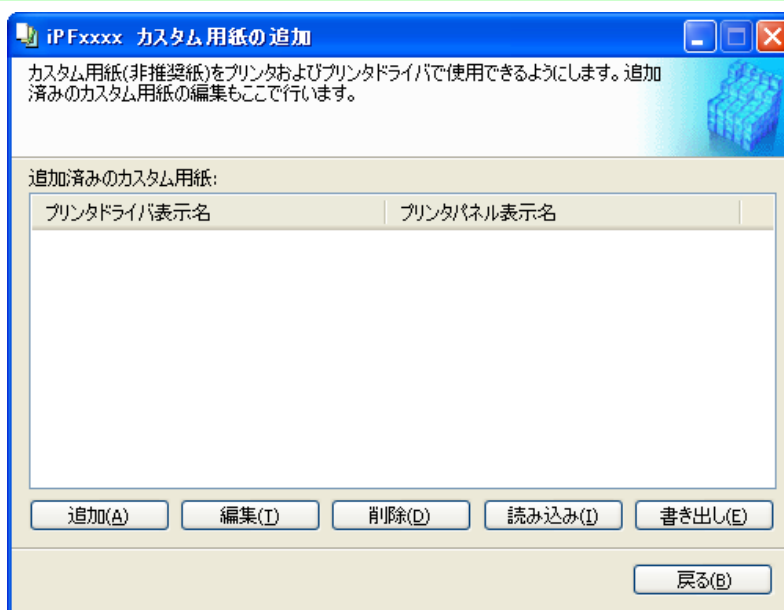
5. [OK]ボタンをクリックします。

メモ

- 別の同機種プリンタにも同じ更新をかけたい場合は、メインウィンドウの[純正紙の追加]ボタンをクリックして[用紙種類の編集]ダイアログボックスを開き、[更新]ボタンをクリックします。手順 1 で更新をかけたいプリンタを選択し、[用紙種類の更新]ウィザードに従って用紙情報を更新します。

純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する

Media Configuration Tool メインウィンドウの[カスタム用紙の追加]ボタンをクリックすると、[カスタム用紙の追加]ダイアログボックスが表示されます。
カスタム用紙のプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバへの追加は、この画面から行います。

メモ

- カスタム用紙とは、キヤノン純正紙や出力確認紙(用紙リファレンスガイドに記載されている用紙)以外の用紙です。

この画面では、以下の操作を行うことができます。

- カスタム用紙の追加 →P.427
- カスタム用紙の編集 →P.437
- カスタム用紙の削除 →P.435
- カスタム用紙の書き出し →P.438
- カスタム用紙の読み込み →P.439

重要

- カスタム用紙の追加/編集/削除を行った場合は、対象のプリンタを使用する他の全てのコンピュータでも同様の変更を行ってください。カスタム用紙の書き出し機能でカスタム用紙情報ファイル(.am1 ファイル)を生成し、他のコンピュータでそのファイルを読み込むと簡単に変更できます。
- カスタム用紙を別のプリンタで使用する場合は、必ずそのプリンタにカスタム用紙を追加してから使用してください。
- このダイアログボックスでは、キヤノン純正紙および出力確認紙の変更は行えません。「用紙種類情報を編集する →P.413 」を参照してください。
- プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに表示されている用紙種類の表示順序を変更する場合は、キヤノン純正紙、カスタム用紙にかかわらず、[用紙種類の編集]ダイアログボックスから行います。「用紙種類情報を編集する →P.413 」を参照してください。

使用できる用紙

用紙仕様

厚さやサイズなど、カスタム用紙として追加できる用紙の仕様は、「仕様」の「用紙」を参照してください。(「仕様」参照) →P.797

使用環境についてのご注意

低湿度環境(40%以下)では、以下のようなトラブルが発生することがあります。

- 用紙にカールやシワが発生する
- 用紙とプリントヘッドが接触しやすくなり、印地面にキズがついたり、プリントヘッドを損傷する場合がある
- カットした印刷物がプリンタにはりつき、下に落ちない(フィルム系用紙)
- 用紙がプリンタにはりつき、搬送不良となり正常に排紙されない(フィルム系用紙)
- 印刷ムラが発生する(フィルム系用紙)

高湿度環境(60%以上)では、以下のようなトラブルが発生することがあります。

- 印刷物が乾燥しない
- 用紙表面の波うち(凹凸)が激しくなる
- きれいにカットできない(クロス系用紙)
- フチなし印刷で余白が残る

重要

- カスタム用紙(キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙のいずれにも該当しない用紙)の印刷品位および紙搬送性について、キヤノンは一切保証いたしません。

カスタム用紙の追加

カスタム用紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに新規追加するには、まずキヤノン純正紙や出力確認紙の中から基準とする用紙種類を選択します。その基準用紙に必要に応じてさまざまな設定を行った後、それをカスタム用紙として追加します。

重要

- カスタム用紙の追加を行っている間は、対象のプリンタで印刷を実行しないでください。
- カスタム用紙の追加を行う場合は、「使用できる用紙 →P.426 」で、追加可能な用紙の仕様を確認してください。
- カスタム用紙の追加機能で追加したカスタム用紙は、プリンタドライバでのみ使用できます。他のソフトウェアでは使用できません。

1. [カスタム用紙の追加]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

2. [用紙種類の更新 - プリンタの選択]ダイアログボックスの[プリンタ]に用紙情報を更新するプリンタが表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

3. [Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスが表示されます。[用紙のカテゴリー]で、追加するカスタム用紙の基準とする用紙種類のカテゴリーを選択します。

重要

- 追加するカスタム用紙に最も近いと思われるカテゴリーを選択してください。

4. [用紙種類名]に、選択したカテゴリー中の、キヤノン純正紙および出力確認紙の用紙種類名が表示されます。カスタム用紙の基準とする用紙種類を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- カスタム用紙の基準とする用紙種類が分からない場合は、[アシスト]ボタンをクリックして、[用紙種類選択アシスト]ダイアログボックスを開き、[重さ(坪量)]または[厚さ]を設定してください。選択した用紙のカテゴリーの中から適切なものを Media Configuration Tool が自動で選択します。または、表示されている[用紙種類名]の中から、[汎用]と書かれている用紙種類を選択してください。
- 選択したカテゴリーによっては、[汎用]と書かれている用紙種類はありません。
- 選択したカテゴリーによっては、[アシスト]ボタンは無効です。

5. [Step2 カスタム用紙名称の設定]ダイアログボックスが表示されます。
プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバで表示させる任意の名称を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- [プリンタドライバ表示名]には、半角カナ、半角かな、全角英数は使用できません。
- [プリンタパネル表示名]には、全角カナ、半角かな、全角英数は使用できません。
- [用紙名称 (英語)]は、ロール紙残量管理やステータスプリントなどで使用されます。

6. プリンタにカスタム用紙をセットした後、[OK]ボタンをクリックします。

重要

- カールしている用紙や、一度印刷した用紙をセットしないでください。

7. [Step3 給紙方法の設定]ダイアログボックスが表示されます。カスタム用紙をセットした給紙口を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

8. [Step4 紙送り調整]ダイアログボックスが表示されます。[実行]ボタンをクリックして、紙送り調整を実行します。
調整パターンが印刷され、印刷結果をもとに用紙の送り量が自動的に調整されます。
紙送り調整が終了したら、[次へ]ボタンをクリックします。

重要

- 排紙ガイド上に用紙が残っていないことを確認してください。
- [紙送り調整]を実行しない場合、印刷物に色味の違う横スジが入ることがあります。紙送り調整は、二度以上実行する必要はありません。カスタム用紙を 1 つ追加するごとに、一度だけ実行してください。

9. [ロール紙の設定]ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- [Step3 給紙方法の設定]ダイアログボックスで、[ロール紙]以外の給紙方法を選択した場合は、この画面は表示されません。

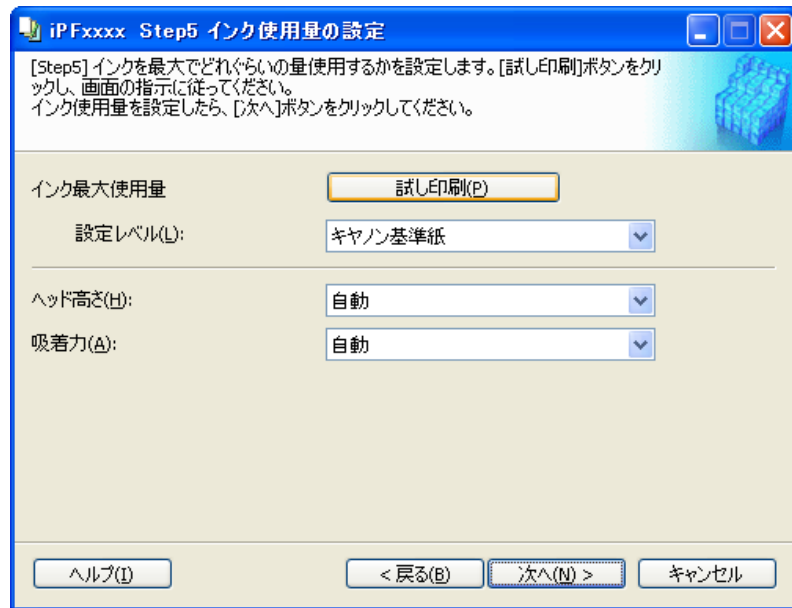
必要に応じて以下を設定し、[次へ]ボタンをクリックします。

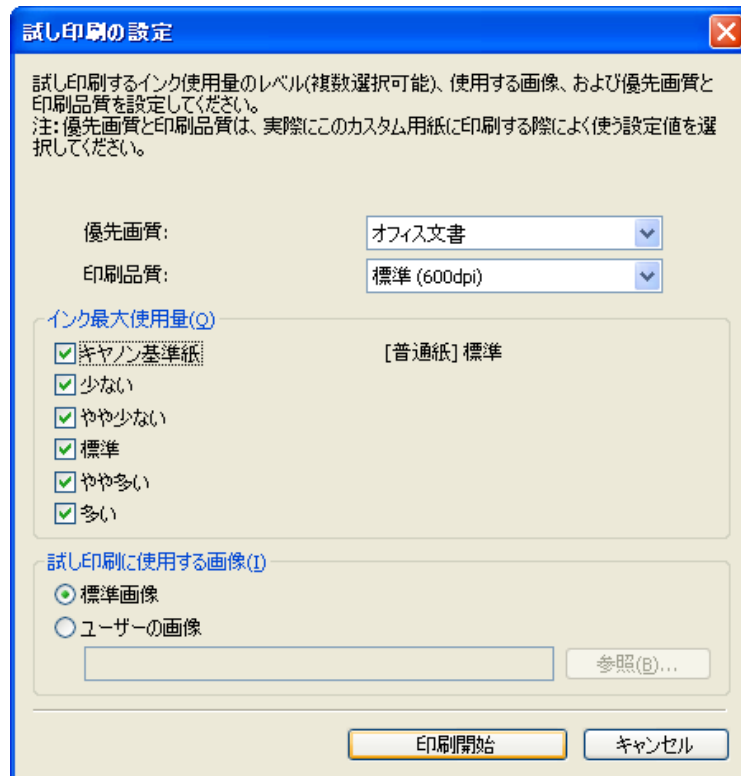
設定項目	内容
[オートカット設定]	印刷後、排紙したときのロール紙のカット方法を設定します。 • [自動カット]:カッターユニットでロール紙を自動的にカットします。 • [イジェクトカット]:プリンタの操作パネルで[用紙カット]キーを押すと、カッターユニットでロール紙をカットします。インクの乾燥を待つときなど、印刷直後に印刷物を落下させたくない場合に選択します。 • [ユーザーカット]:カッターユニットではカットしません。1 枚ずつはさみでロール紙をカットしてください。カッターユニットでカットできない用紙の場合に選択します。
[インク乾燥時間]	インクを乾燥させるための待ち時間を設定できます。 • [オフ]:印刷終了後、すぐに排紙されます。 • [30 秒/1 分/3 分/5 分/10 分/30 分/60 分]:印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙されます。
[フチなし印刷]	フチなし印刷を許可するかしないかを設定します。 • [許可する]:フチなし印刷を許可します。 • [許可しない]:フチなし印刷を許可しません。

重要

- 用紙によっては、カッターユニットでカットできないものや、カッターの劣化を早めたりカッターを損傷させるものがあります。厚い用紙や硬い用紙などはカッターユニットを使用せず、印刷後にロール紙をはさみなどでカットしてください。この場合は、[オートカット設定]で[ユーザーカット]を選択してください。
- インクの乾きが悪い用紙にフチなし印刷する場合、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、正しくカットできないことがあります。このような場合は[インク乾燥時間]で、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定してください。また、カッターでうまく用紙がカットできない場合は、[オートカット設定]を[ユーザーカット]に設定してロール紙をはさみなどでカットしてください。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。「使用できる用紙 →P.426 」を参照してください。
- [オートカット設定]を[ユーザーカット]に設定する必要があるカスタム用紙は、[フチなし印刷]は[許可しない]を設定してください。

10. [Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスが表示されます。
この画面では、カスタム用紙への印刷に使用するインク量の上限を、複数のレベルの中から選択し設定します。
まず[試し印刷]ボタンをクリックして各レベルの試し印刷を行います。

重要

- カスタム用紙の基準用紙に、[新聞プルーフ用紙]を選択した場合は、インク最大使用量の試し印刷および設定はできません。

11. [試し印刷の設定]ダイアログボックスが表示されます。
[優先画質]と[印刷品質]で、試し印刷の優先画質と印刷品質を選択します。
[インク最大使用量]で試し印刷するレベルを、[試し印刷に使用する画像]で使用する画像を設定し、[印刷開始]ボタンをクリックします。

12. インクのにじみやかすれがないか、試し印刷の結果を見て最もよいと思われるインク量レベルを判断し、設定します。

メモ

- ヘルプを参考にして、最適なインク量レベルを判断してください。
- どのインク最大使用量を選択しても、十分な印刷品位が得られない場合は、カスタム用紙の基準とする用紙を[Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスで別の用紙に変更して設定をやり直してください。

重要

- 印刷に使用するインク量の上限を設定するため、画像によってはレベルを変更しても印刷結果が変わらないことがあります。
- Media Configuration Tool では色味の設定はできません。インク最大使用量を変更すると色味が変わることがありますが、ここではインクのにじみやかすれがないかにのみ着目して最適なレベルを選択してください。色味の調整が必要な場合は、お使いの用紙に合った ICC カラープロファイルを用意して、ソフトウエアでその ICC カラープロファイルを指定してください。
- インク最大使用量の設定によっては、プリンタドライバの一部の印刷品質が選択できなくなることがあります。

13. [ヘッド高さ]と[吸着力]を必要に応じて設定し、[次へ]ボタンをクリックします。
通常は設定する必要はありません。

重要

- [ヘッド高さ]を自動で設定された( )内の高さより低くする場合は、用紙にこすれないことを確認してください。(プリントヘッドが用紙にこすれると印刷結果に傷が入ります。)プリントヘッドが用紙にこすれるとプリントヘッドの故障につながることがあります。
- [吸着力]を変更する場合は、プリントヘッドが用紙にこすれないことを確認してください。(プリントヘッドが用紙にこすれると印刷結果に傷が入ります。)プリントヘッドが用紙にこすれるとプリントヘッドの故障につながることがあります。
- [ヘッド高さ]と[吸着力]について詳しくは、ヘルプを参照してください。

14. [Step6 設定内容の確認]ダイアログボックスが表示されます。
カスタム用紙の設定内容を確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

4

15. [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
更新対象を確認し、[実行]ボタンをクリックします。

プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバにカスタム用紙が追加されます。

重要

- [POP ボード/厚紙]カテゴリーの用紙を基準用紙としてカスタム用紙を追加した場合は、セットしたカスタム用紙をプリンタから取り外してください。

メモ

- カスタム用紙がプリンタドライバに正しく追加されると、Media Configuration Tool メインウィンドウの[純正紙の追加]で開く[用紙種類の編集]ダイアログボックスに、追加したカスタム用紙名称が表示されます。

カスタム用紙の削除

追加済みのカスタム用紙を、プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバから削除することができます。

1. [カスタム用紙の追加]ダイアログボックスを開きます。

2. [追加済みのカスタム用紙]のリストから、削除したい用紙を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

3. カスタム用紙を削除したいプリンタを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

4. [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
更新対象を確認し、[実行]ボタンをクリックします。

プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバから、カスタム用紙が削除されます。

カスタム用紙の編集

追加済みのカスタム用紙の設定を変更することができます。

1. [カスタム用紙の追加]ダイアログボックスを開きます。

2. [追加済みのカスタム用紙]のリストから、編集したい用紙を選択して、[編集]ボタンをクリックします。

3. [用紙種類の更新 - プリンタの選択]ダイアログボックスが表示されます。
以降、画面の指示に従い、必要に応じて設定を変更します。

メモ

- 各設定方法については、「カスタム用紙の追加 →P.427 」の手順 5～15 を参照してください。

カスタム用紙の書き出し

追加済みのカスタム用紙の用紙情報を、ファイルに書き出し、保存することができます。
保存されたカスタム用紙情報ファイルは、別のプリンタやコンピュータに読み込んで使用することができます。「カスタム用紙の読み込み」について詳しくは、「カスタム用紙の読み込み →P.439 」を参照してください。

1. [カスタム用紙の追加]ダイアログボックスを開きます。

2. [追加済みのカスタム用紙]のリストから、用紙情報ファイルを書き出したい用紙を選択して、[書き出し]ボタンをクリックします。

3. カスタム用紙情報ファイルの保存先を指定します。

カスタム用紙情報ファイル(.am1 ファイル)が保存されます。

カスタム用紙の読み込み

フォルダに保存されているカスタム用紙情報ファイルを読み込んで、プリンタの操作パネルやお使いのコンピュータのプリンタドライバに追加することができます。

1. [カスタム用紙の追加]ダイアログボックスを開きます。

2. [読み込み]ボタンをクリックします。

3. カスタム用紙を追加するプリンタを選択します。

メモ

- カスタム用紙情報ファイルをダブルクリックすると、Media Configuration Tool が起動し、この画面が表示されます。

4. 読み込むカスタム用紙情報ファイル(.am1 ファイル)を選択します。

5. [更新対象の確認]ダイアログボックスが開きます。
[実行]ボタンをクリックします。

プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバにカスタム用紙が追加されます。

メモ

- カスタム用紙がプリンタドライバに正しく追加されると、Media Configuration Tool メインウィンドウの[純正紙の追加]で開く[用紙種類の編集]ダイアログボックスに、追加したカスタム用紙名称が表示されます。

注意事項

キヤノン純正紙/出力確認紙以外のカスタム用紙をプリンタドライバおよびプリンタ本体に追加する場合は、以下の点にご注意ください。

カッターについて

- 用紙によっては、カッターユニットでカットできないものや、カッターの劣化を早めたりカッターを損傷させるものがあります。厚い用紙や硬い用紙などはカッターユニットを使用せず、印刷後にロール紙をはさみなどでカットしてください。この場合は、[ロール紙の設定]ダイアログボックスの[オートカット設定]で[ユーザーカット]を選択してください。

メモ

- カッターが故障した場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
- ロール紙のカット方法について詳しくは、「ロール紙のカット方法を設定する」を参照してください。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.684

プリントヘッドについて

- 印刷したときにプリントヘッドが用紙にこすれると、プリントヘッドの故障につながることがあります。プリントヘッドがこすれる場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[吸着力]を以下のように設定してください。
  - 厚口コート紙のように紙ベースの用紙の場合:[やや強い]または[強い]に設定
  - トレーシングペーパー(CAD)のようにフィルムベースの場合:[標準]、[やや強い]または[強い]に設定

- 厚さが 0.1mm 以下の薄い用紙の場合:[弱い]に設定

メモ

- [吸着力]を変更してもこすれる場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[ヘッド高さ]を高く設定してください。
- プリントヘッドがこすれる場合の対応については、「プリントヘッドが用紙にこすれる」を参照してください。(「プリントヘッドが用紙にこすれる」参照) →P.891

フチなし印刷について

- インクの乾きが悪い用紙にフチなし印刷する場合、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、正しくカットできないことがあります。このような場合は[ロール紙の設定]ダイアログボックスの[インク乾燥時間]で、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定してください。
  また、カッターでうまく用紙がカットできない場合は、[ロール紙の設定]ダイアログボックスの[オートカット設定]を[ユーザーカット]に設定してロール紙をはさみなどでカットしてください。

印刷品位について

- 画像の端部がぼやける場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[吸着力]を弱く設定してください。
- 線がゆがんだりかすれたりする場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[ヘッド高さ]を低く設定してください。
- インクの使用量が多すぎると印刷物にしわがよったり、インクがにじんだりする場合があります。またインクの使用量が少なすぎると、発色が悪くなったり、線がかすれることがあります。そのような場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスでインクの使用量を変更してください。
- 印刷物に色味の違う横スジが入る場合は、[Step4 紙送り調整]ダイアログボックスの[紙送り調整]を実行してください。[紙送り調整]をすでに実行済みの場合は、プリンタの操作パネルで[紙送り微調整]を実行し、用紙の送り量を微調整してください。

メモ

- [紙送り微調整]について詳しくは、「用紙の送り量を微調整する(紙送り微調整)」を参照してください。(「用紙の送り量を微調整する(紙送り微調整)」参照) →P.721
- [紙送り微調整]を実行しても横スジが入る場合は、「困ったときには」の「色味の違うスジが入る」を参照してください。(「色味の違うスジが入る」参照) →P.894

- カット紙の印刷物の最後端部(およそ 20～30 mm 付近)に色味の違うスジが入る場合は、カット紙後端の送り量を調整してください。(「カット紙後端の色味を調整する」参照) →P.723
- 十分な印刷品位が得られない場合は、インク最大使用量を変更したり、[Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスでカスタム用紙の基準とする用紙の種類を変更してください。
- 印刷物に光沢感がない場合は、カスタム用紙の基準とする用紙に、黒インクにフォトインクを使用する用紙を選択してください。
  使用する黒インクの種類は、[Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスの各用紙種類の右側に表示されています。

メモ

- 印刷品質のトラブルについては、「印刷品質のトラブル」も参照してください。(「印刷品質のトラブル →P.890 」参照)

色味について

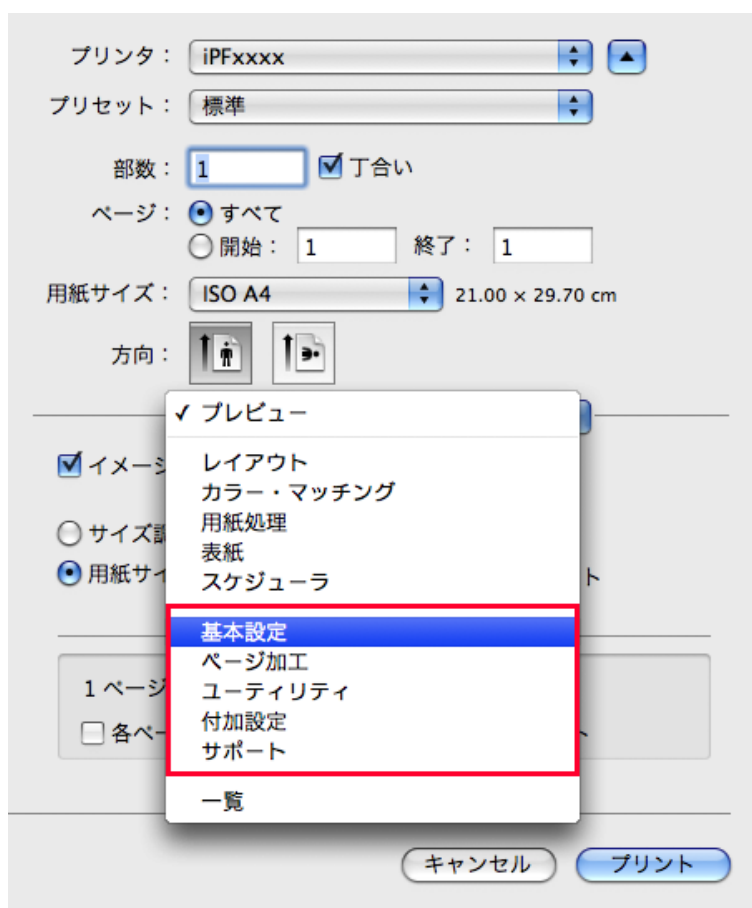
- Media Configuration Tool では色味の設定はできません。色味の調整が必要な場合は、お使いの用紙に合った ICC カラープロファイルを用意して、ソフトウエアでその ICC カラープロファイルを指定してください。
- カスタム用紙は、環境光補正機能とカラーマッチング方法のモニタマッチングは使用できません。

Mac OS X ソフトウエア

プリンタドライバ

プリンタドライバの設定項目

Mac OS X 版プリンタドライバの開き方については、以下を参照してください。

- アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く →P.450

Mac OS X 版プリンタドライバの設定項目については、以下を参照してください。

- 基本設定パネル →P.451
  用紙の種類、カラー、印刷画質、印刷プレビューについて設定できます。目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]があります。
  - 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.456
  - 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.457
  - 色設定パネル（カラー） →P.464
  - 調整の対象ダイアログボックス（カラー） →P.465
  - マッチングパネル →P.458
  - 環境光補正設定ダイアログボックス →P.461
  - Light Source Check Tool →P.463
  - 色設定パネル（モノクロ） →P.466
  - 調整の対象ダイアログボックス（モノクロ） →P.467
  - グレー調整パネル →P.468
- ページ加工パネル →P.469
  給紙方法、印刷する用紙サイズ、原稿の拡大/縮小率、フチなし印刷、印刷の向きについて設定できます。
- ユーティリティパネル →P.471
  プリントヘッドや用紙送りに関するメンテナンス、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]に関する設定を行えます。
- 付加設定パネル →P.472
  プリンタへの印刷ジョブの送信方法について設定できます。
- サポートパネル →P.472
  サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

[imagePROGRAF Free Layout]という機能で、アプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。詳細は、Free Layout →P.502 を参照してください。
[imagePROGRAF Preview]という機能で、印刷前にレイアウトを確認したりプレビュー画面を見ながらレイアウトや拡大率などの設定を変更することができます。詳細は、Preview →P.474 を参照してください。
[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]という機能で、[Color imageRUNNER]でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷することができます。詳細は、Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.535 を参照してください。

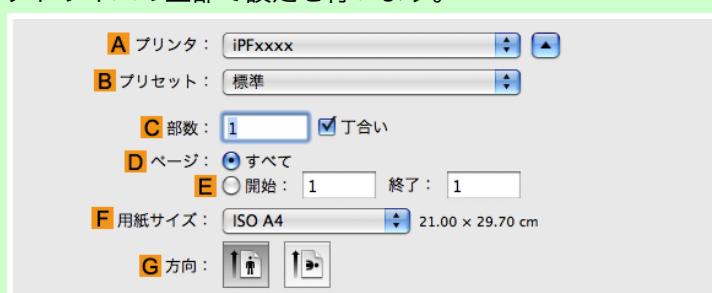
プリンタドライバで用紙を指定する

用紙を交換した場合にプリンタドライバでは以下の設定が必要です。

1. B[対象プリンタ]と C[用紙サイズ]の設定をします。

メモ

- ご使用の OS やアプリケーションソフトにより、設定方法が異なります。
  アプリケーションのメニューに[ページ設定]が表示される場合は、[ページ設定]から[ページ属性]ダイアログボックスを開き設定を行います。

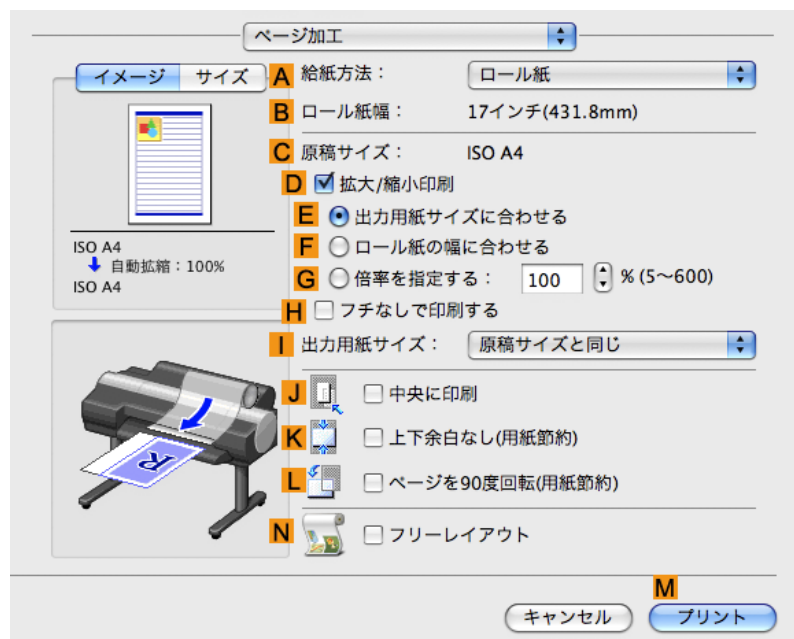
  表示されない場合は、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択し、表示されるプリンタドライバの上部で設定を行います。

2. A[プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. F[用紙サイズ]の一覧から原稿のサイズを選択します。

4. [ページ属性]ダイアログボックスで設定した場合、F[OK]をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

5. [基本設定]パネルを表示します。

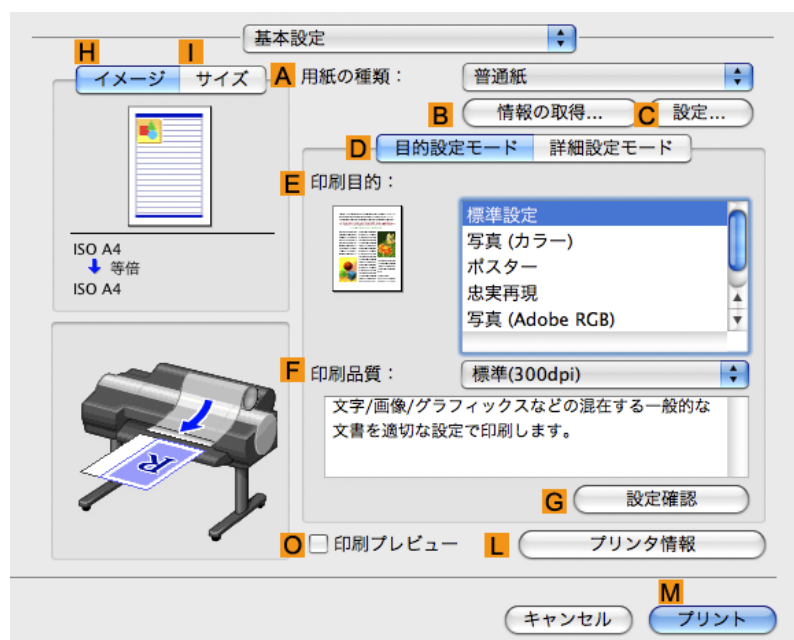
6. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類を選択します。

7. [ページ加工]パネルを表示します。

8. A[給紙方法]の一覧から給紙方法を選択します。

9. A[給紙方法]で[手差し]を選択した場合は、C[原稿サイズ]で、[ページ設定]で選択したサイズが表示されていることを確認します。A[給紙方法]で[ロール紙]を選択した場合は、B[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されていることを確認します。

メモ

- B[ロール紙幅]に、プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されない場合は、[基本設定]パネルの L[プリンタ情報]をクリックし、プリンタ情報を更新してください。

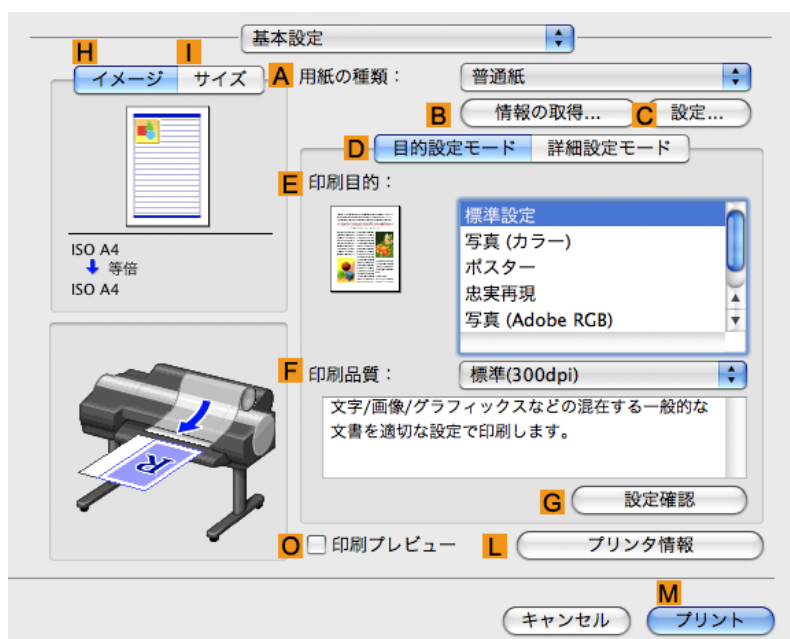
メモ

- プリンタドライバでは、印刷の目的に合わせていろいろな設定ができます。
  設定できる印刷条件については、「プリンタドライバの設定項目 →P.444 」を参照してください。

印刷の設定を確認する

設定した印刷条件を確認するには、以下の 2 種類の方法があります。

- 設定プレビューで確認する
- 印刷プレビューで確認する

設定プレビューで確認する

設定プレビューは、[基本設定]パネル、[ページ加工]パネル、[ユーティリティ]パネル、[付加設定]パネルの左側の部分に表示されます。原稿サイズ、印刷の向き、給紙方法など、現在の設定状況をイラストや数値で確認できます。

表示部分	表示される情報
H[イメージ]タブをクリックして表示されるパネル	上部には、原稿のサイズ、用紙のサイズ、印刷の向き、ページレイアウト、フチなし印刷、カラーモードなどの設定状況がイラストで表示されます。その下には、原稿サイズ、出力用紙サイズ、拡大/縮小の方法、倍率などが表示されます。
I[サイズ]タブをクリックして表示されるパネル	用紙サイズの詳細が数値で表示されます。
プリンタと用紙のイラストのパネル	給紙方法、印刷の向き、フチなし印刷などの設定状況がイラストで表示されます。

メモ

- [目的設定モード]で選択した[印刷目的]の設定値を確認したい場合は、[基本設定]パネルで G[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開きます。

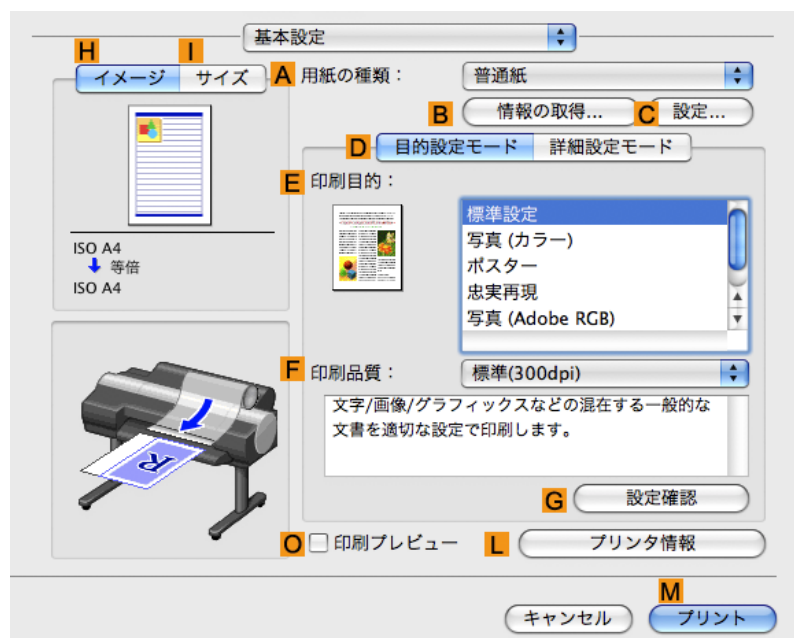
印刷プレビューで確認する

原稿の印刷イメージそのものを確認できます。
印刷する前に印刷イメージを確認できるため、印刷の失敗を未然に防止できます。
印刷プレビューの詳細については、「印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.166」を参照してください。

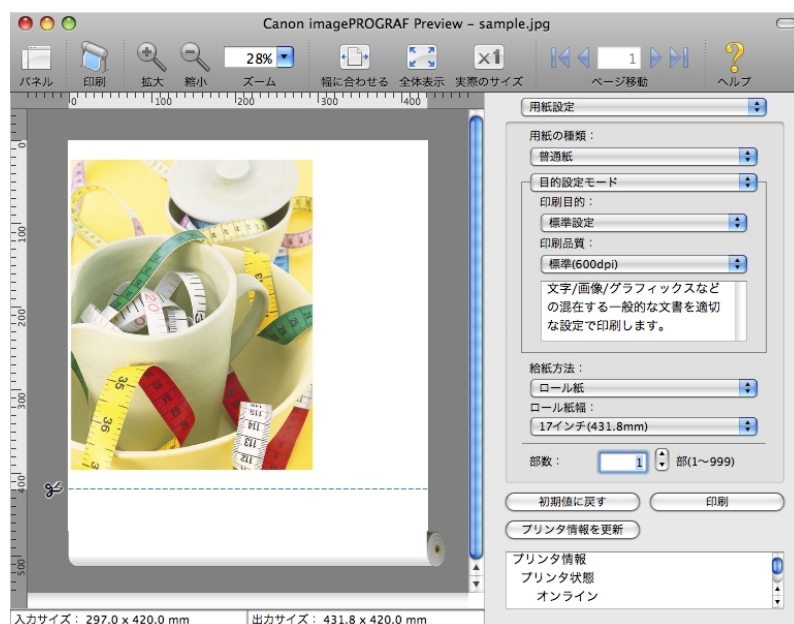
印刷前にプレビューでレイアウトを確認する

ここでは、[Canon imagePROGRAF Preview]という機能で、印刷する前にレイアウトを確認する手順を説明します。

1. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2. [基本設定]パネルを表示します。

3. O[印刷プレビュー]チェックボックスをオンにします。

4. M[プリント]をクリックします。

5. [Canon imagePROGRAF Preview]のウィンドウが開きます。

6. [Canon imagePROGRAF Preview]のウィンドウで、レイアウトの確認や設定の変更を行います。

7. [Canon imagePROGRAF Preview]のメニューから印刷します。

メモ

- [imagePROGRAF Preview]機能についての詳細は、Preview →P.474 を参照してください。

お気に入りの設定で印刷する

Mac OS X では、[プリセット]機能を使用してお気に入りの設定で印刷できます。

メモ

- 印刷ダイアログボックスの[プリセット]の一覧から[別名で保存]をクリックすることで、現在の印刷条件の設定を保存できます。これは OS がサポートする機能です。詳細については、Mac OS のマニュアルを参照してください。

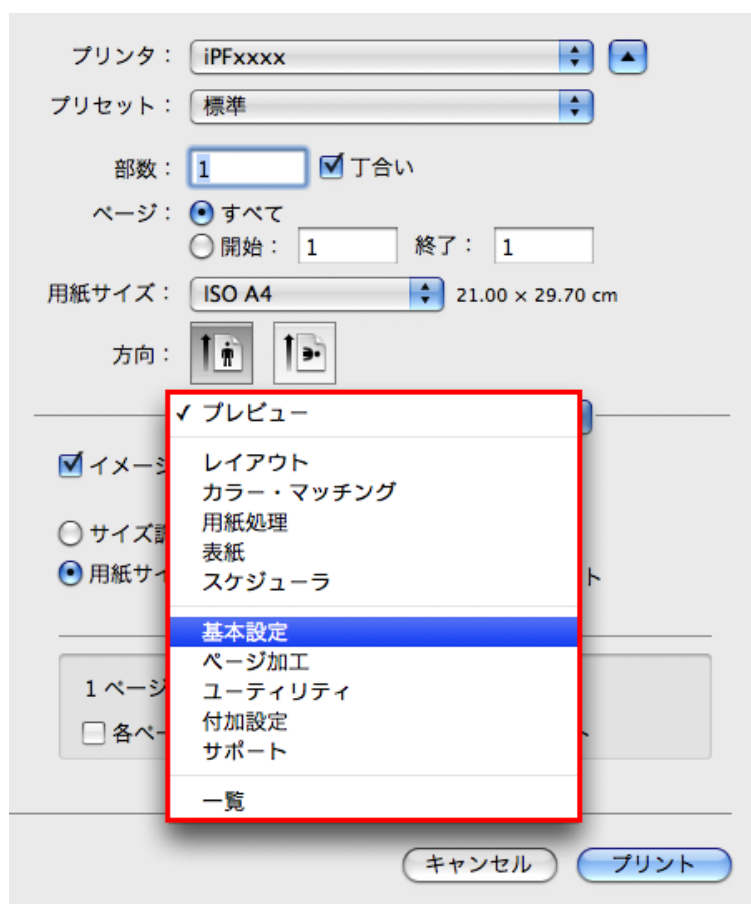
アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[プリント]を選択し、印刷条件を設定するダイアログボックスを開きます。

メモ

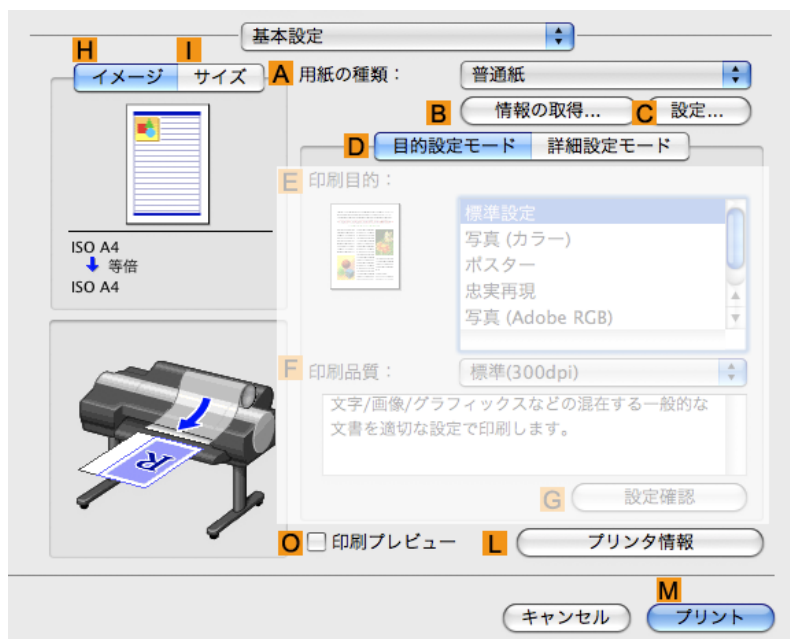
- このダイアログボックスで、印刷に使用するプリンタを選択したり、印刷するページや印刷部数などの基本的な印刷条件を設定できます。

2. [プリンタ]の一覧からプリンタを選択します。

3. [プリント]をクリックして印刷を開始します。
拡大/縮小印刷やフチなし印刷など、さまざまな印刷の設定は、図のように、ダイアログボックスのパネルを切り替えて行います。

基本設定パネル

[基本設定]パネルでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- [基本設定]パネルは、目的に応じて簡単に印刷の設定が行える[目的設定モード]と、より細かな設定を自由に行える[詳細設定モード]を切り替えて使用することができます。

共通項目

A[用紙の種類]

用紙の種類を選択できます。
プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.663 」参照)

B[情報の取得]

[プリンタの用紙情報]を表示します。給紙方法を選択し、プリンタドライバの給紙方法、用紙の種類およびロール紙幅に反映させることができます。

- プリンタの用紙情報ダイアログボックス →P.455

C[設定]

[用紙の詳細設定]を表示します。インクの乾燥時間など、用紙の種類に合わせた印刷の方法を設定できます。

- 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.456

O[印刷プレビュー]

オンにすると、印刷前に[imagePROGRAF Preview]が起動します。
イメージを画面上で確認してから印刷できます。

重要

- [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]がオンになっている場合は選択できません。

- 印刷前にプレビューでレイアウトを確認する →P.166

L[プリンタ情報]

[プリンタ情報]を表示します。インクの残量などのプリンタの情報を表示できます。

[目的設定モード]を選択した場合

E[印刷目的]

印刷物に適した設定を選択できます。

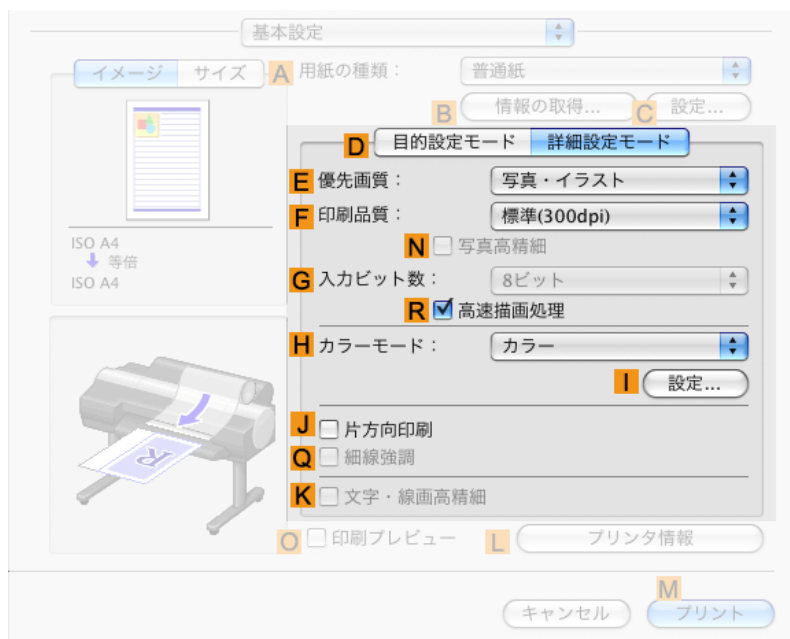
- 写真やイラストを印刷する →P.17
- オフィスの文書を印刷する →P.33

F[印刷品質]

印刷品質を選択できます。

G[設定確認]

クリックすると[設定確認]ダイアログボックスが開き、E[印刷目的]の一覧から選択した項目の設定値を確認したり、E[印刷目的]の一覧に表示される項目の順番を変更できます。

- 印刷目的の設定確認ダイアログボックス →P.457

[詳細設定モード]を選択した場合

E[優先画質]

印刷結果で優先する要素を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.49

F[印刷品質]

印刷品質を選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.49

N[写真高精細]

階調性や均一性を向上させ、特に写真を高画質で印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。

メモ

- A[用紙の種類]によっては N[写真高精細]を選択できない場合があります。
- N[写真高精細]と、K[文字・線画高精細]を同時にチェックすることはできません。
- 印刷品質の向上のため、プリントヘッドの位置調整が必要な場合があります。(「印刷品質を向上させる →P.708 」参照)

G[入力ビット数]

印刷データの階調を[8 ビット]または[16 ビット]から選択します。階調性の高いデータを印刷するときに[16 ビット]を選択すると、最適な出力結果を得られることがあります。例えば、Photoshop で 16bit/チャンネルに指定して作成した画像を出力する場合に適しています。
(Mac OS X 10.4 以降)

R[高速描画処理]

チェックマークを付けると、通常よりも高速で印刷することができます。

H[カラーモード]

カラーモードを選択できます。

- 印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.49

I [設定]

クリックすると[色設定]ダイアログボックスが開き、色を詳細に設定できます。

- プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.40

J [片方向印刷]

チェックボックスをオンにすると、罫線ずれなどを防ぎ、印刷品質が向上します。ただし、印刷スピードは遅くなります。

Q [細線強調]

オンにすると、細い線をくっきりと印刷します。

K [文字・線画高精細]

インクの着弾精度を高め、特に文字や線画をくっきりと印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。

メモ

- A [用紙の種類]によっては K [文字・線画高精細]を選択できない場合があります。
- 印刷品質の向上のため、プリントヘッドの位置調整が必要な場合があります。(「印刷品質を向上させる →P.708 」参照)

プリンタの用紙情報ダイアログボックス

[プリンタの用紙情報]ダイアログボックスでは、プリンタの用紙情報を取得して、プリンタドライバの用紙の種類を設定することができます。

メモ

- [プリンタの用紙情報]ダイアログボックスは、[基本設定]パネルで[用紙の種類]の[情報の取得]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.451 」参照)

A [給紙方法]

プリンタで使用可能な[給紙方法]とセットされている用紙の種類が表示されます。[給紙方法]を選択して[OK]をクリックすると、プリンタドライバに用紙の種類が設定されます。

用紙の詳細設定ダイアログボックス

[用紙の詳細設定]ダイアログボックスでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

メモ

- [用紙の詳細設定]ダイアログボックスは、[基本設定]パネルで[用紙の種類]の[設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.451 」参照)

A [用紙の種類]

用紙の種類を選択できます。
プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.663 」参照)

B [インク乾燥時間]

インクを乾燥させるための待ち時間を設定できます。[インク乾燥時間]の設定は、ロール紙のみ有効となります。

- (「ロール紙のインク乾燥時間を設定する →P.682 」参照)

C [ページ間]

1 ページ分を印刷してから、用紙を排紙するまでの待ち時間を設定できます。

D [スキャン間]

ページ内で 1 ラインを印刷してから、次の 1 ラインを印刷するまでの時間を設定できます。

E[ロール紙の安全余白]

カールの強い用紙をプラテンにしっかりと吸着させるために、用紙の先端に確保する余白の長さを指定することができます。

F[先端余白]

ロール紙の[先端余白]の長さを設定できます。

G[カットスピード]

オートカットのスピードを選択できます。オートカットできれいにカットできないときに調整できます。

H[オートカット]

オートカットの有効/無効やカットラインの印刷を設定できます。一覧からオートカットの[パネル優先]/[なし]や[カットラインを印刷]を設定します。

I[キャリブレーション調整値]

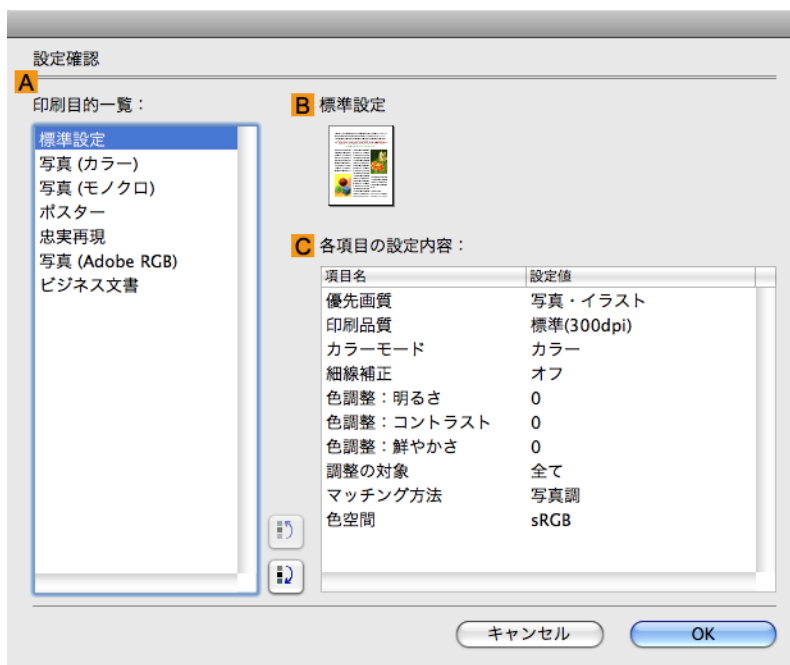
プリンタで実行したキャリブレーション結果を画像処理に適用するかを指定することができます。

J[鏡像]

鏡像印刷を行うかどうかを選択できます。クリックしてチェックボックスをオンにすると、文書や画像を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

印刷目的の設定確認ダイアログボックス

[設定確認]ダイアログボックスでは、選択した印刷目的の詳細を確認することができます。

メモ

- [設定確認]ダイアログボックスは、[基本設定]パネルで[印刷目的]の[設定確認]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.451 」参照)

A[印刷目的一覧]

[印刷目的]のすべての項目が表示されます。

B[名称]

[印刷目的一覧]から選択した項目の名称とアイコンが表示されます。

C[各項目の設定内容]

[印刷目的]の一覧から選択した項目の細かな設定値を確認することができます。

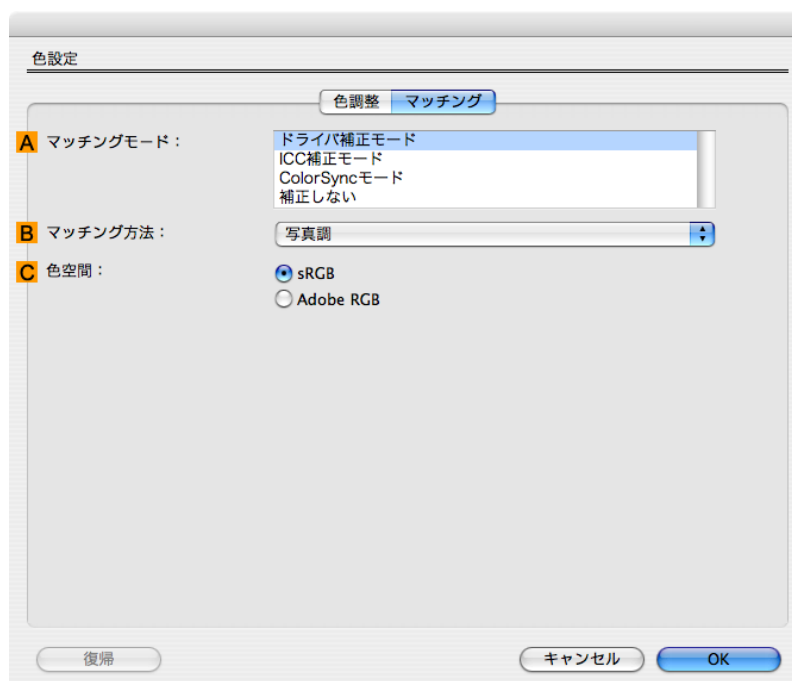
マッチングパネル

[マッチング]パネルでは、異なるデバイス間で色を合わせるカラーマッチングを設定することができます。

重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]パネルは表示されません。

メモ

- [マッチング]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックし、[マッチング]タブをクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.451」参照)

[ドライバ補正モード](MacOS X 10.3.9 をご使用の場合)

A[マッチングモード]

使用するカラーマッチングを選択できます。

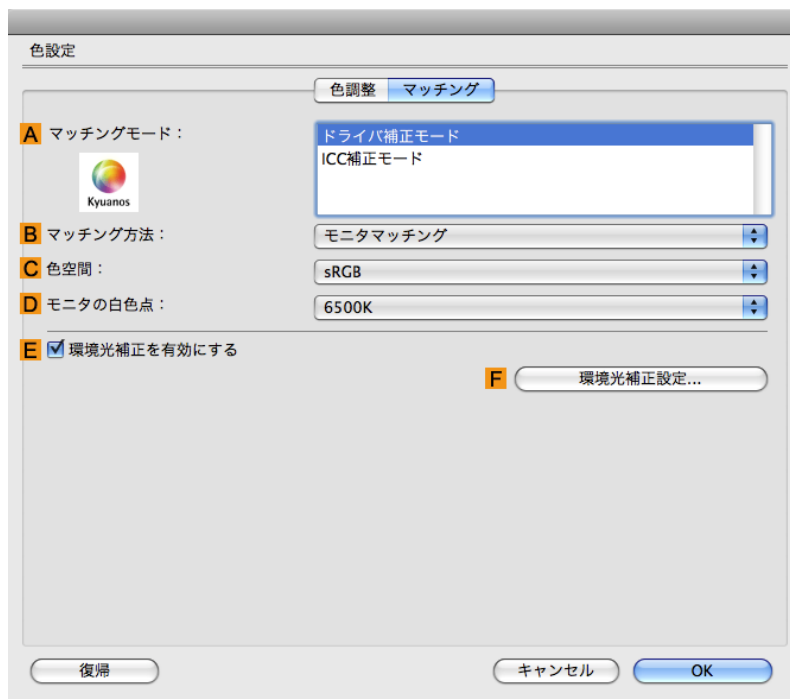
B[マッチング方法]

印刷する内容に合わせてカラーマッチング方法を選択できます。B[マッチング方法]は、選択した A[マッチングモード]によって設定できる項目が異なります。

C[色空間]

出力する色空間を選択できます。

[ドライバ補正モード](MacOS X 10.4 以降をご使用の場合)

A[マッチングモード]の一覧から[ドライバ補正モード]を選択したときに、以下の項目を設定できます。

A[マッチングモード]

使用するカラーマッチングを選択できます。
通常は、[ドライバ補正モード]を選択します。ICC プロファイルを使用したカラーマッチングを行いたい場合は、使用するカラーマッチングシステムに応じて[ICC 補正モード]を選択します。

B[マッチング方法]

印刷する内容に合わせてカラーマッチング方法を選択できます。B[マッチング方法]は、選択した A[マッチングモード]によって設定できる項目が異なります。

C[色空間]

出力する色空間を選択できます。

D[モニタの白色点]

モニタで設定されている色温度を入力します。
B[マッチング方法]で[モニタマッチング]が選択されている場合に表示されます。

E[環境光補正を有効にする]

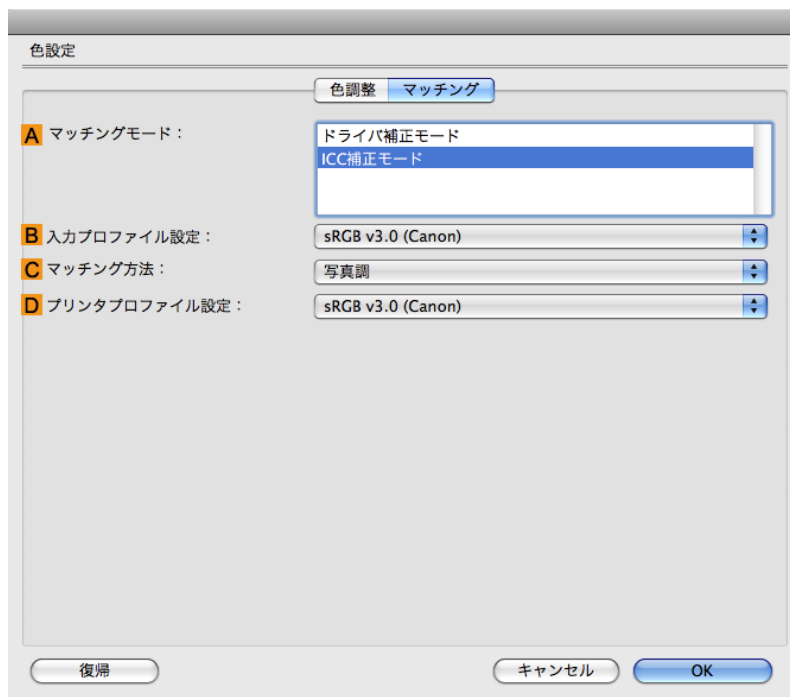
環境光補正を行う場合はクリックしてチェックマークをつけます。

F[環境光補正設定]

クリックすると[環境光補正設定]ダイアログボックスが開き、環境光にあわせて印刷をするための設定をすることができます。

- 環境光補正設定ダイアログボックス →P.461

[ICC 補正モード]

A[マッチングモード]の一覧から[ICC 補正モード]を選択したときは、以下の項目を設定できます。

メモ

- [マッチング]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックし、[マッチング]タブをクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.451」参照)

A[マッチングモード]

使用するカラーマッチングを選択できます。

B[入力プロファイル設定]

[入力プロファイル]を選択することができます。
選択されている A[マッチングモード]によって選択できる項目が異なります。

C[マッチング方法]

C[マッチング方法]を選択することができます。
選択されている A[マッチングモード]によって選択できる項目が異なります。

D[プリンタプロファイル設定]

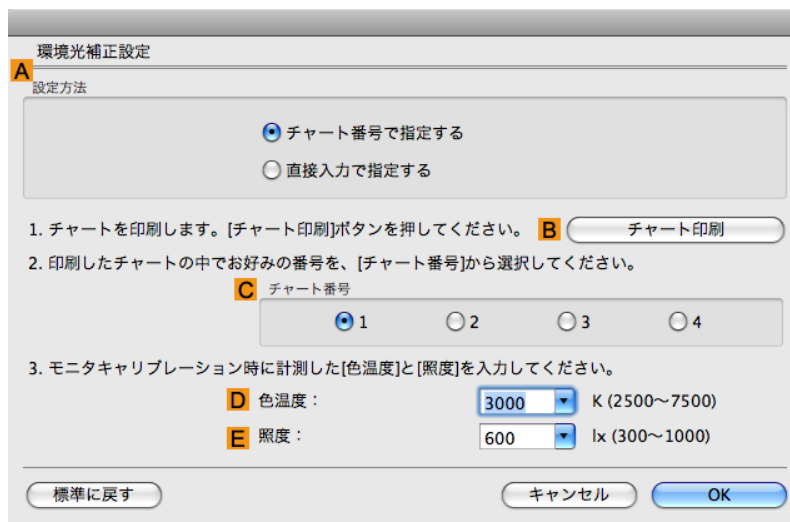
プリンタのプロファイルを設定することができます。

メモ

- 各選択項目の詳細については、プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.40 を参照してください。

環境光補正設定ダイアログボックス

[環境光補正設定]ダイアログボックスでは、設定方法を選択したり、設定に必要な情報の入力や選択をします。

[設定方法]で[チャート番号で指定する]を選択した場合

A [設定方法]

[チャート]を使用して設定を実行するか、光測定器 i1 を使用して設定を実行するか、を選択できます。

B [チャート印刷]

クリックすると[Light Source Check Tool]が起動し、[チャート]を印刷することができます。

- Light Source Check Tool →P.463

C [チャート番号]

[チャート]の中からお好みの色味のパターンの数値を選択します。

D [色温度]

モニタキャリブレーション時に計測した D[色温度]を入力します。[マッチング]パネルの B[マッチング方法]で[モニタマッチング]が選択されている場合に表示されます。

E [照度]

モニタキャリブレーション時に計測した E[照度]を入力します。[マッチング]パネルの B[マッチング方法]で[モニタマッチング]が選択されている場合に表示されます。

[設定方法]で[直接入力で指定する]を選択した場合

A [設定方法]

[チャート]を使用して設定を実行するか、光測定器 i1 を使用して設定を実行するか、を選択できます。

B [光源の種類]

光測定器 i1 で測定された光源を選択します。

D [色温度]

光測定器 i1 で測定された D [色温度]を入力します。

E [照度]

光測定器 i1 で測定された E [照度]を入力します。
[マッチング]パネルの B [マッチング方法]で[モニタマッチング]が選択されている場合に表示されます。

メモ

- 各選択項目の詳細については、プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.40 を参照してください。

Light Source Check Tool

[Light Source Check Tool]では、[チャート]を印刷します。

A [プリンタ名]

プリンタ名が表示されます。

B [用紙の種類]

用紙の種類を選択できます。[ドライバ補正モード]に対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.663 」参照)

C [給紙方法]

用紙の給紙方法を選択できます。
[基本設定]パネルの B [用紙の種類]で選択した項目によって、表示される項目が異なります。

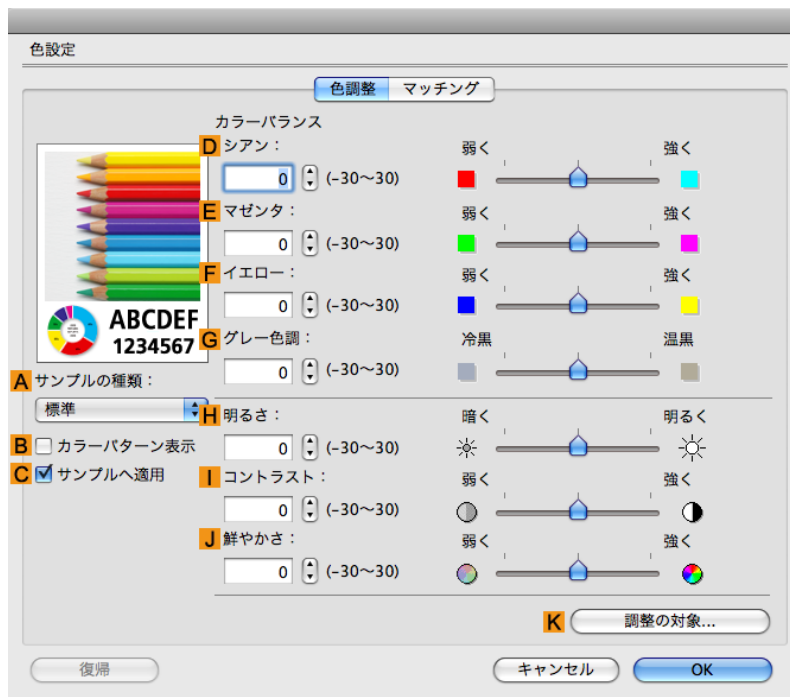
D [印刷]

クリックすると[チャート]を印刷します。

色設定パネル(カラー)

色は、基本的にアプリケーションソフトで調整されます。印刷結果が思いどおりの色調にならない場合は、プリンタドライバでカラーを調整することもできます。

[色調整]パネル(カラー)

[色調整]パネルでは、印刷結果が思いどおりの色調にならない場合に調整することができます。

メモ

- [色調整]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[カラーモード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.451 」参照)

A[サンプルの種類]

サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。

B[カラーパターン表示]

チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。

C[サンプルへ適用]

チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。

D[シアン]/E[マゼンタ]/F[イエロー]

各色の強弱を調整することで色合いを補正できます。

G[グレー色調]

グレーの色調を調整できます。[冷黒]にすると青みがかった色合いになり、[温黒]にすると赤みがかった色合いになります。

H[明るさ]

画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

I [コントラスト]

最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。[コントラスト]を強くするとメリハリが付き[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

J [鮮やかさ]

色の濃さを調整できます。[鮮やかさ]の設定を強くするとビビッドな色合いになり、[鮮やかさ]を弱くするとくすんだ色合いになります。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.40」を参照してください。

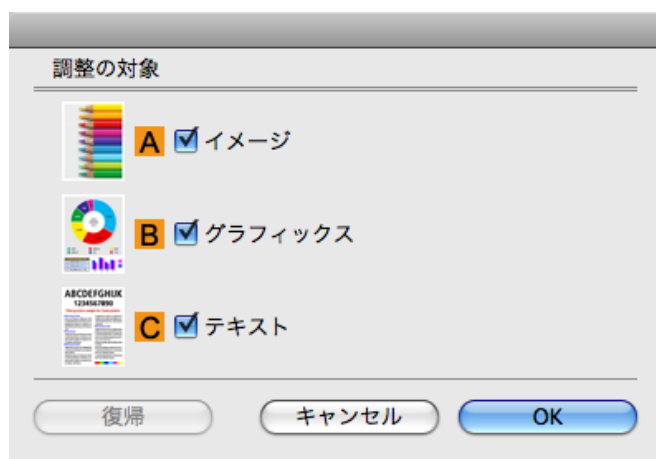
K [調整の対象]

[調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。

- 調整の対象ダイアログボックス(カラー) →P.465

調整の対象ダイアログボックス(カラー)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]パネルの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

A [イメージ]

チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

B [グラフィックス]

チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

C [テキスト]

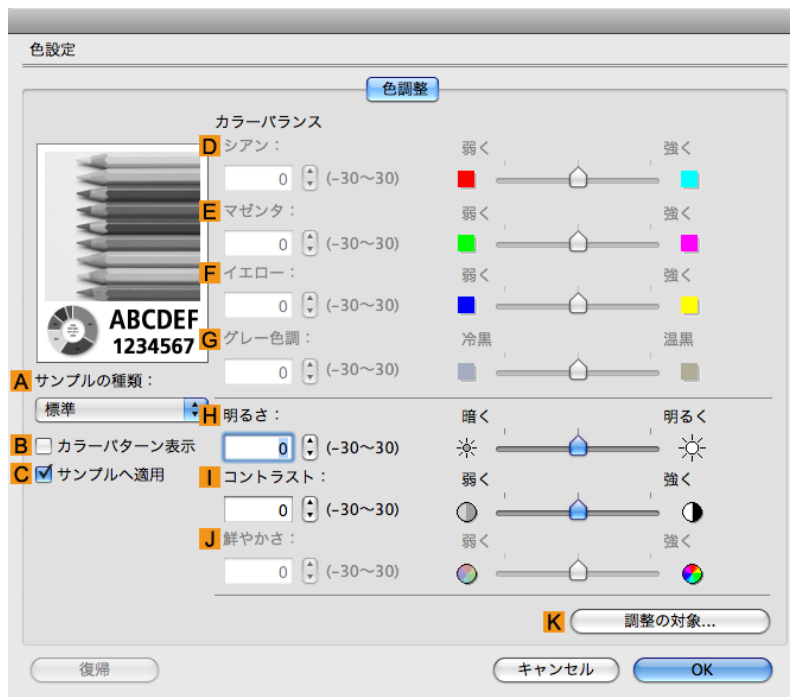
チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

色設定パネル(モノクロ)

モノクロの[色設定]パネルでは以下の項目を設定できます。

[色調整]パネル(モノクロ)

モノクロ用の[色調整]パネルでは、明るさとコントラストを調整することができます。

メモ

- [色調整]パネルは、[基本設定]パネルで[詳細設定モード]の[色設定]をクリックすると表示できます。(「基本設定パネル →P.451」参照)

A[サンプルの種類]

サンプル画像を[標準]、[人物]、[風景]、[グラフィックス]から選択することができます。

B[カラーパターン表示]

チェックボックスをオンにすると、カラーパターンを表示します。

C[サンプルへ適用]

チェックボックスをオンにすると、変更した設定がサンプル画像に反映されます。

D[シアン]/E[マゼンタ]/F[イエロー]

設定できません。

G[グレー色調]

設定できません。

H[明るさ]

画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

I[コントラスト]

最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。I[コントラスト]を強くするとメリハリが付き I[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

J[鮮やかさ]

設定できません。

メモ

- 各選択項目の詳細については、「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.40 」を参照してください。

K[調整の対象]

[調整の対象]ダイアログボックスが表示され、色を調整する対象を選択できます。
(Mac OS X 10.3.9-10.6 のみ対応)

- 調整の対象ダイアログボックス(モノクロ) →P.467

調整の対象ダイアログボックス(モノクロ)

[調整の対象]ダイアログボックスでは、色の調整をどの種類の印刷ジョブに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合に、それぞれに対して調整を行うかどうかを選択できます。

メモ

- [調整の対象]ダイアログボックスは、[色調整]パネルの[調整の対象]をクリックすると表示できます。

A[イメージ]

チェックボックスをオンにすると、写真などのイメージ部分に対して調整を適用できます。

B[グラフィックス]

チェックボックスをオンにすると、線や円などのグラフィックス部分に対して調整を適用できます。

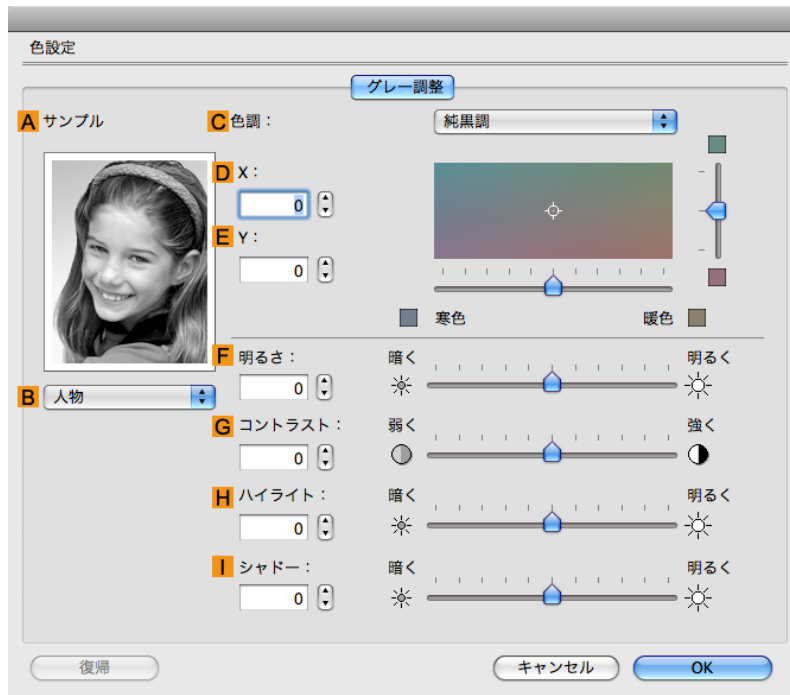
C[テキスト]

チェックボックスをオンにすると、テキスト部分に対して調整を適用できます。

グレー調整パネル

[グレー調整]パネルでは、以下の項目を設定できます。

[グレー調整]

[グレー調整]パネルでは、色調、明るさ、コントラストなどを調整することができます。

メモ

- [グレー調整]パネルは、基本設定パネル →P.451 で[詳細設定モード]の[カラーモード]で[モノクロ(写真)]を選択し、[色設定]をクリックすると表示できます。
- 用紙の種類によって[モノクロ(写真)]は選択できない場合があります。

A[サンプル]

シート上の各項目の設定を変更すると、左側のイメージに反映され、調整結果を確認できます。

B[サンプルリスト]

サンプルの画像を選択することができます。

C[色調]

リストをクリックして目的に合った色調を選択することができます。

D[X]/E[Y]

調整領域では色合いを確認しながら、色調の調整をすることができます。
中央の四角領域をマウスでクリック、またはドラッグして調整することができます。
水平・垂直のスライドバーを左右、上下にドラッグして調整することができます。
D[X](横方向)、E[Y](縦方向)の数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して色調を調整することができます。

F[明るさ]

画像全体の明るさを調整することができます。印刷結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やコンピュータ画面上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや暗いときに、明るさを調整できます。

G[コントラスト]

最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。G[コントラスト]を強くするとメリハリが付き G[コントラスト]を弱くするとやわらかくなります。

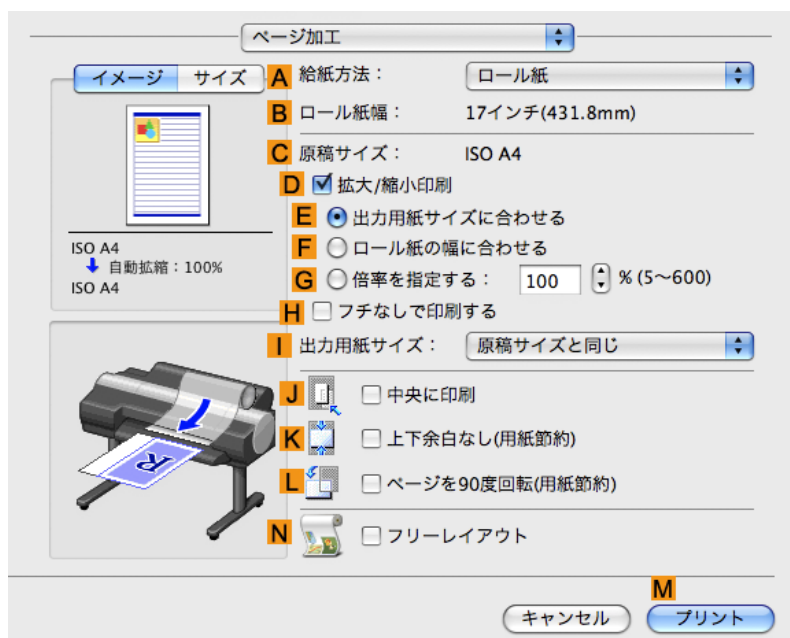
H[ハイライト]

最も明るい部分の明るさを調整することができます。

I[シャドー]

最も暗い部分の明るさを調整することができます。

ページ加工パネル

[ページ加工]パネルでは、以下の項目を設定できます。設定する値の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

A[給紙方法]

用紙の給紙方法を選択できます。
[基本設定]パネルの A[用紙の種類]で選択した項目によって、表示される項目が異なります。

B[ロール紙幅]

プリンタにセットされているロール紙の幅が表示されます。プリンタがロール紙の幅を認識できない場合は、[不明]と表示されます。

C[原稿サイズ]

アプリケーションソフトのページ設定で設定されている原稿のサイズが表示されます。
アプリケーションソフトで選択できる原稿のサイズについては、「用紙のサイズ →P.666」を参照してください。

D[拡大/縮小印刷]

チェックボックスをオンにすると、以下の項目を選択できます。

- 用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する →P.58
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する →P.64
- 指定した倍率で拡大/縮小して印刷する →P.69

E[出力用紙サイズに合わせる]

原稿を、印刷する用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷できます。

F[ロール紙の幅に合わせる]

原稿を、ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷できます。

G[倍率を指定する]

原稿を、指定した倍率で拡大/縮小して印刷できます。[5～600]の値を入力できます。

H[フチなしで印刷する]

A[給紙方法]の一覧からロール紙を選択すると有効になります。
オンにすると、印刷する用紙のサイズや幅に合わせて、フチなしで印刷できます。

- 用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する →P.90
- ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する →P.96
- 原寸大のフチなしで印刷する →P.83

I[出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択できます。
[すべての出力用紙サイズを表示]をクリックすると、選択可能な用紙のサイズの一覧が表示されます。
選択できる用紙のサイズについては、「用紙のサイズ →P.666 」を参照してください。

J[中央に印刷]

チェックボックスをオンにすると、原稿を用紙の中央に印刷できます。

- 原稿をロール紙の中央に印刷する →P.140
- 原稿をカット紙の中央に印刷する →P.146

K[上下余白なし(用紙節約)]

チェックボックスをオンにすると、原稿の上下に余白がある場合、余白を除いて印刷し、用紙を節約できます。

- 原稿の上下の余白分のロール紙を節約する →P.157

L[ページを 90 度回転(用紙節約)]

チェックボックスをオンにすると、原稿を 90 度回転して印刷できます。

- 原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.152

N[フリーレイアウト]

チェックボックスをオンにすると、印刷前に[imagePROGRAF Free Layout]が起動します。
複数の原稿を並べて印刷することができます。

重要

- [基本設定]パネルの[印刷プレビュー]がオンになっている場合は選択できません。

- 複数の原稿を並べて印刷する →P.120

ユーティリティパネル

[ユーティリティ]パネルでは、以下の項目を設定できます。

A[設定]

クリックすると[プリンタ情報]ダイアログボックスが開き、以下のプリンタのメンテナンスを実行できます。

- ノズル(インクの噴き出し口)のクリーニング
- ヘッドの位置の調整
- 用紙の送り量の調整

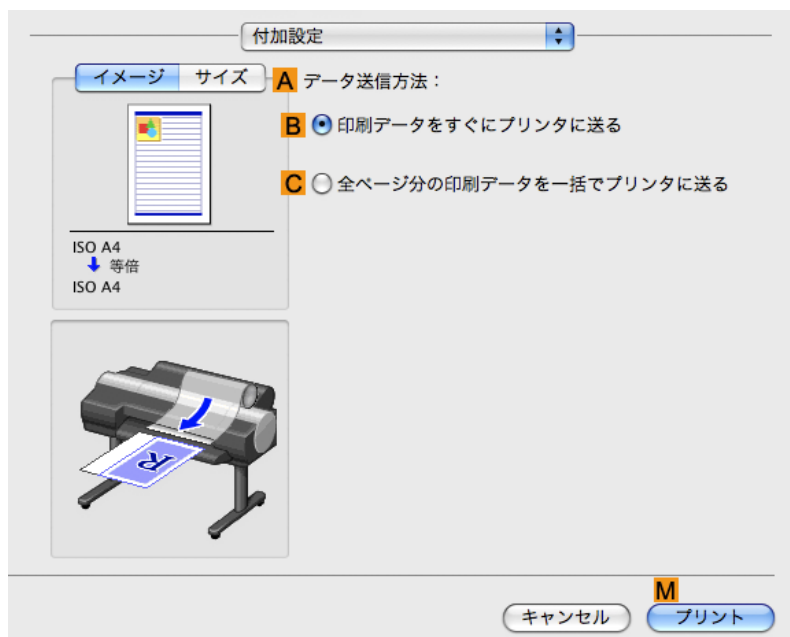
B[表示]

クリックすると[imagePROGRAF Printmonitor]が起動し、印刷ジョブの状態などを表示できます。

C[設定]

クリックすると、Color imageRUNNER 連携拡大コピー(iR 連携)の設定を行うことができます。
詳細は Color imageRUNNER 連携拡大コピー →P.535 を参照してください。

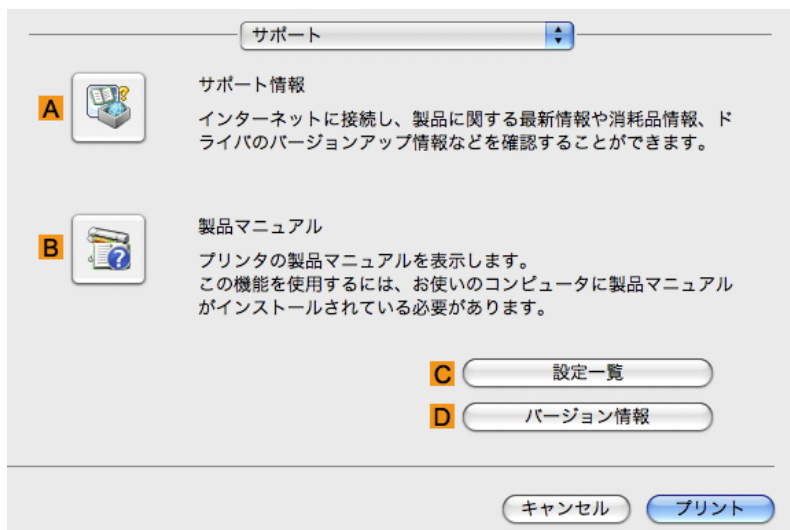
付加設定パネル

[付加設定]パネルでは､以下の項目を設定できます。

A[データ送信方法]

印刷ジョブをプリンタに送信する方法を選択できます。

- B[印刷データをすぐにプリンタに送る]
- C[全ページ分の印刷データを一括でプリンタに送る]

サポートパネル

[サポート]パネルでは、サポート情報や製品マニュアルを表示できます。

A[サポート情報]

クリックするとインターネットに接続し､製品に関する最新の情報や消耗品の情報､プリンタドライバのバージョンアップ情報などを確認することができます。

B [製品マニュアル]

クリックするとプリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、ご使用のコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

C [設定一覧]

設定をファイルとして保存することができます。クリックすると[ファイル保存]ダイアログボックスが開き、保存先を指定してファイルを保存します。

D [バージョン情報]

プリンタドライバのバージョン情報を表示できます。

Preview

Preview の特長

Preview の主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を、プレビュー画面を見ながらレイアウトや拡大率などの設定を変更することができます。
- 設定を変更するだけでなく、変更した内容はただちにプレビュー画面に反映され、プレビュー画面をそのまま印刷することができます。

メモ
- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、Preview 上の設定と異なる場合があります。

動作環境

Preview は、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Mac OS X（10.3.9～10.6）
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF Printer Driver

Preview の起動方法

Preview を起動する手順は、以下のとおりです。

1. ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。

2. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

メモ

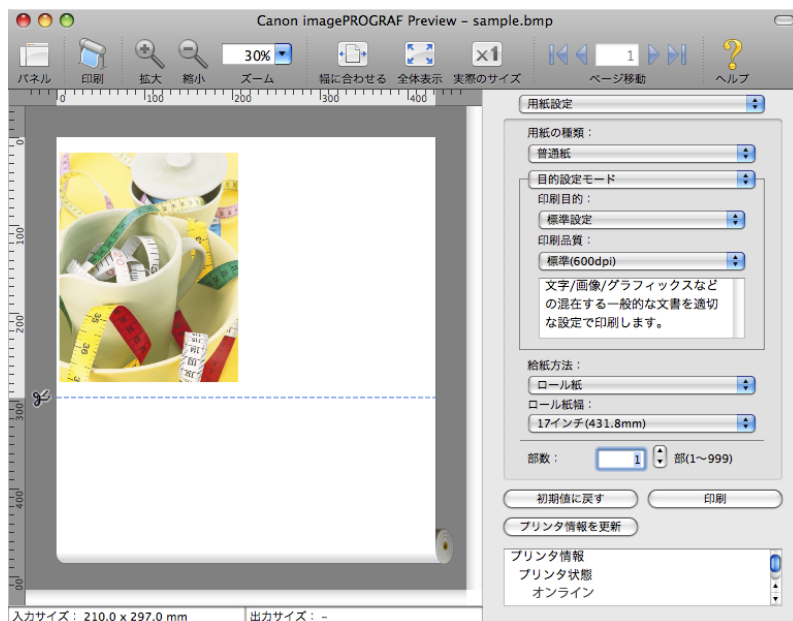
• 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

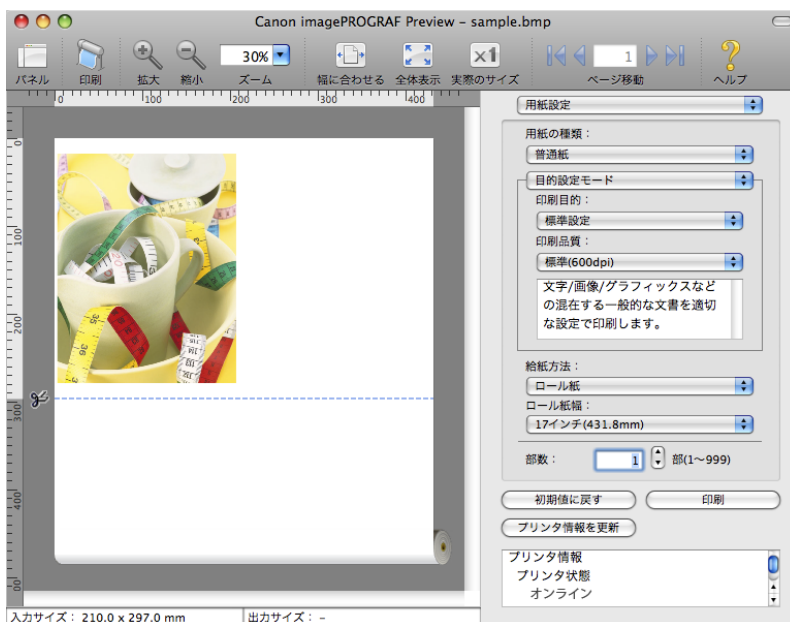
3. [基本設定]パネルの[印刷プレビュー]をクリックしてチェックマークを付けます。

4. [プリント]ダイアログボックスの[プリント]ボタンをクリックします。

メモ

• この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

5. Preview メインウィンドウが表示されます。

Preview メインウィンドウ

Preview のメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、プレビューエリア、ダイアログエリア、パネルエリア、ステータスエリアで構成されています。

メモ

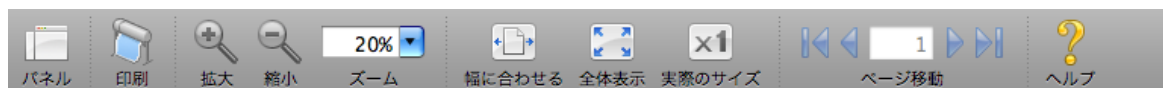
- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

メニューバー

操作に必要なメニューを選択できます。

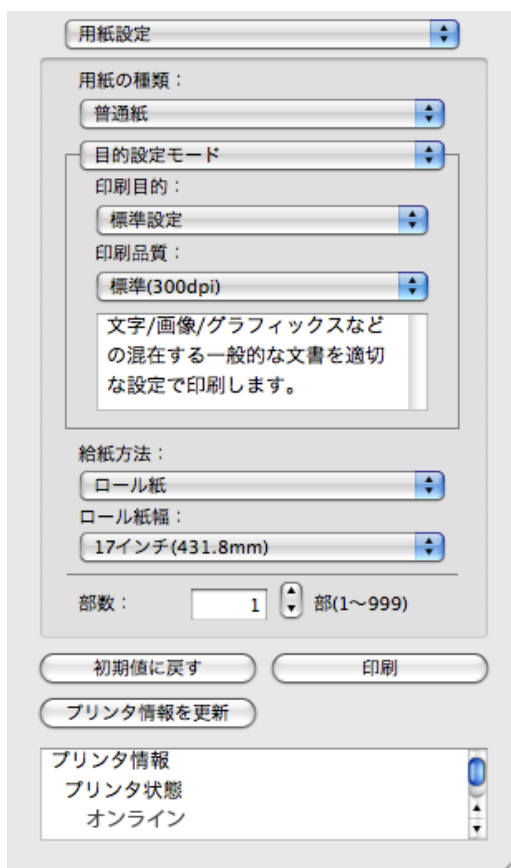
imagePROGRAF Advanced Preview　ファイル　編集　表示　オブジェクト　ウインドウ　ヘルプ

ツールバー

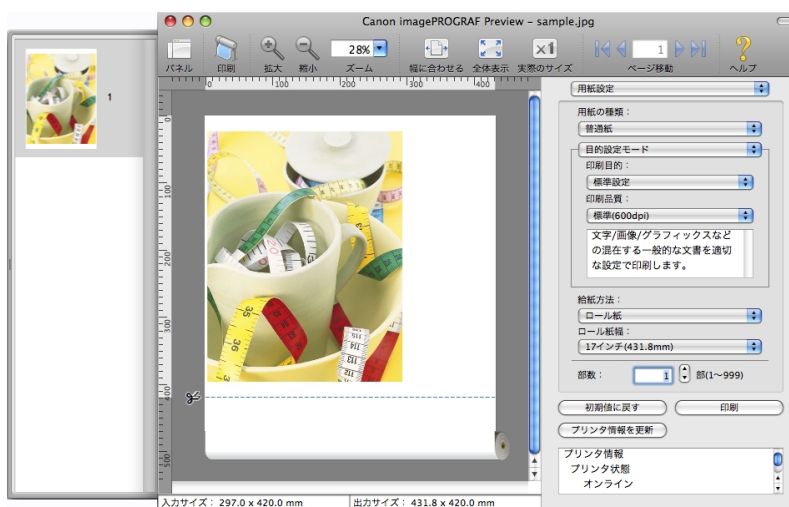
主な操作のツールボタンを選択できます。

プレビューエリア

設定した内容がどのように反映されるのかを確認することができます。

ダイアログエリア

印刷条件を設定したり、印刷を実行することができます。

パネルエリア

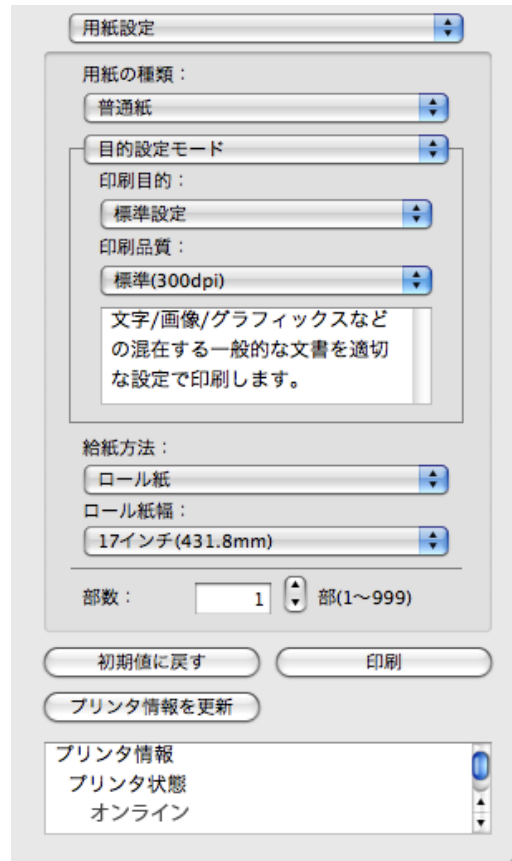
原稿のサムネイルを表示することができます。

ツールバーの [パネル]をクリックすると、表示されます。
または[表示]メニューから[パネル]を選択します。

ステータスエリア

[入力サイズ]と[出力サイズ]が表示されます。

入力サイズ： 420.0 x 594.0 mm	出力サイズ： 609.6 x 594.0 mm

用紙設定パネル

ダイアログエリアから[用紙設定]を選択すると、表示されます。

[用紙の種類]

用紙の種類を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

[目的設定モード]/[詳細設定モード]

最適な印刷の設定を行うために 2 つのモードがあります。
各モードで設定できる項目については以下をご覧ください。

- 目的設定モード →P.481
- 詳細設定モード →P.482

[給紙方法]

給紙方法を選択します。
給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[手差し]	手差しによる印刷の場合に選びます。
[手差し(余白 3mm)]	手差しによる印刷で、用紙後端の余白を小さくしたい場合に選びます。
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。

メモ

• [給紙方法]で[手差し(余白 3mm)]を選択すると、用紙によっては画像の後端が乱れる場合があります。この場合は、他の給紙方法を選択してください。

[ロール紙幅]

プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

メモ

• [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ

• 入力できる数値は 1〜999 です。
• [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Preview の起動時の設定に戻ります。

[印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

[プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

目的設定モード

印刷目的のリストから原稿の内容に合った項目を選択するだけで、目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。

[印刷目的]

目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。
[印刷目的]の各項目を選択すると、その項目に関するコメントがリストの下に表示されます。

設定項目	内容
[標準設定]	文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
[写真(カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
[写真 (Adobe RGB)]	Adobe RGB の色空間を使用して作成された画像を最適な色で印刷します。
[ビジネス文書]	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

[印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[600dpi]/[300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

詳細設定モード

印刷品質やカラーモードなどの詳細な設定を自分で行うことできます。

[優先画質]

印刷の内容に応じて適切な画質のモードを選択することができます。

設定項目	内容
[写真・イラスト]	写真画像やイラストに最適なモードで印刷します。
[線画・文字]	CAD 図面などの線画を印刷する場合、または壁新聞など文字が多い原稿を印刷する場合に最適なモードです。ただし、写真や塗り潰しの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。この時は[写真・イラスト]を選んでください。
[オフィス文書]	提案書や配布資料など、一般オフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

[印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[600dpi]/[300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

[写真高精細]

階調性や均一性を向上させ、特に写真を高画質で印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。

メモ

- この機能は、用紙の種類などの設定によっては選択できません。

出力設定パネル

ダイアログエリアから[出力設定]を選択すると、表示されます。

[拡大／縮小印刷]

拡大／縮小印刷の方法を選択します。
拡大／縮小印刷には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[出力用紙サイズに合わせる]	出力する用紙サイズに合わせて、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。[出力用紙サイズ]から実際に出力したいサイズを選びます。
[ロール紙の幅に合わせる]	原稿の幅がロール紙の幅に合うように、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。 *[用紙設定]パネルの[ロール紙幅]に、プリンタに取り付けたロール紙の幅が正しく設定されていることを確認してください。 *[給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ表示されます。
[倍率を指定する]	指定した倍率で、原稿全体を拡大／縮小して印刷します。倍率を半角数字で入力してください。設定できる倍率は 5〜600%です。 *[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。 *出力用紙サイズより大きくなるように倍率を指定することは可能ですが、用紙に入りきらない部分は印刷されません。 *[フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、選択できません。

[フチなしで印刷する]

特定の幅のロール紙、および特定の種類の用紙を用いた場合に四辺の縁のない印刷を行うことができます。
[フチなしで印刷する]について詳しくは、「フチなしで印刷する」を参照してください。→P.496

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。
- [中央に印刷]が設定されている場合は、選択できません。

[出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ

- [拡大／縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、選択できません。

[中央に印刷]

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷します。
[中央に印刷]について詳しくは、「中央に印刷する」を参照してください。→P.497

メモ

- [フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、選択できません。

[上下余白なし(用紙節約)]

用紙の上下に空白領域がある印刷データの場合に、空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。
[上下余白なし(用紙節約)]について詳しくは、「上下の余白を印刷しない」を参照してください。→P.498

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[ページを回転]

ページを回転する方法を選択します。
ページを回転には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[右 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを右 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。
[左 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを左 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。
[180 度回転]	文書や画像を 180 度回転させて印刷します。

[初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Preview の起動時の設定に戻ります。

[印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

[プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

色設定パネル

ダイアログエリアから[色設定]を選択すると、表示されます。

[カラーモード]

印刷の内容に応じてカラーモードを選択することができます。

設定項目	内容
[カラー]	カラー印刷を有効にします。
[モノクロ(写真)]	モノクロ写真の画像データを、色転び(グレーに色がついて見える現象)のないグレー階調で印刷します。
[モノクロ]	カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。
[色補正なし]	プリンタドライバでカラーマッチングを行わずに印刷します。Adobe Photoshop などのアプリケーションでカラーマッチングを行う場合や、プロファイル作成ツールでカラーチャートを印刷する場合に選択してください。

メモ
- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

[色調整]/[グレー調整]/[マッチング]

色調整とマッチングの設定を行うことができます。

- 色調整 →P.487
- グレー調整 →P.489
- マッチング →P.491

メモ

- [グレー調整]は、[カラーモード]で[モノクロ(写真)]を選択した場合のみ、選択できます。
- [マッチング]は[カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは表示されません。

[初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Preview の起動時の設定に戻ります。

[印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

[プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

色調整

色調整の設定を行うことができます。

カラーを調整する

カラーは基本的にアプリケーションソフトで選択され調整されます。ただし、印刷結果が希望する色調にならない場合は、カラーを調整することもできます。

1. [色設定]パネルの[カラーモード]で、[カラー]を選択します。

2. [色調整]を選択します。

3. 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[シアン]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[マゼンタ]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[イエロー]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強くしてください。
[鮮やかさ]	ビビッドな色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを調整できます。
[グレー色調]	グレーの色を、冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで調整できます。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

モノクロを調整する

スキャナやデジタルカメラで取り込んだカラー写真または他のカラー画像を、モノクロで印刷するための設定をします。

1. [色設定]パネルの[カラーモード]で、[モノクロ]を選択します。

2. [色調整]を選択します。

3. 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強くしてください。

メモ
- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

グレー調整

グレー調整を行うことができます。

モノクロ(写真)を調整する

スキャナやデジタルカメラから取り込んだモノクロ写真の画像データを、モノクロで印刷するための設定をします。

1. [色設定]パネルの[カラーモード]で、[モノクロ(写真)]を選択します。

2. [グレー調整]を選択します。

3. [色調]のリストをクリックして色調を選びます。

設定項目	内容
[冷黒調]	冷黒(青みがかった色合い)系のグレーに調整します。
[純黒調]	ニュートラルなグレーに調整します。
[温黒調]	温黒(赤みがかった色合い)系のグレーに調整します。

メモ

- [X]、[Y]のスライドバーを左右にドラッグして調整することもできます。
- [X]、[Y]の数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

4. 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強くしてください。
[ハイライト]	最も明るい部分の明るさを調整することができます。
[シャドー]	最も暗い部分の明るさを調整することができます。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。
- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

マッチング

マッチングの設定を行うことができます。

重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]は表示されません。

[マッチングモード]

印刷の内容に応じてマッチングモードを選択することができます。

設定項目	内容
ドライバ補正モード →P.493	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。通常はこのモードを選択してください。
ICC 補正モード →P.494	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
ColorSync モード →P.495	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。

メモ

- プリンタドライバで各モードが設定されている必要があります。
- Mac OS X 10.5 以降をご使用の場合、[ColorSync モード]を選択するにはドライバの[カラー・マッチング]パネルで[ColorSync モード]が設定されている必要があります。

[マッチング方法]

印刷の内容に応じてマッチング方法を選択することができます。

[色空間]

色空間を選択します。

メモ

- [マッチングモード]で[ドライバ補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

[入力プロファイル]

入力プロファイルを選択します。

メモ

- [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

[プリンタプロファイル]

プリンタプロファイルを選択します。

メモ

- (MacOS X 10.3.9～10.4 をご使用の場合)[マッチングモード]で[ICC 補正モード]または[ColorSync モード]を選択した場合のみ、選択できます。
- (MacOS X 10.5 以降をご使用の場合)[マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

[ソフトプルーフ]

チェックマークを付けると、[ColorSync モード]がプレビューエリアに適用されます。

メモ

- [マッチングモード]で[ColorSync モード]を選択した場合のみ、選択できます。

ドライバ補正モード

1. [マッチングモード]で、[ドライバ補正モード]を選択します。

2. [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストのそれぞれに最適なカラーマッチングを行います。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[写真調(人肌・暗部優先)]	室内で撮影された人物写真や、薄暗い風景写真など、ローキーな写真を印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。暗部の階調つぶれを防止すると共に、人物の肌を温かみのある色合いで再現できます。

3. 出力する[色空間]を選択します。

設定項目	内容
[sRGB]	標準的なモニタの色空間を使用します。一般的なアプリケーションの印刷に適しています。

設定項目	内容
[Adobe RGB]	より広い色空間を使用します。Adobe RGB の色空間を使用して作成された画像を印刷する場合に使用してください。

ICC 補正モード

1. [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択します。

2. [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。

3. [入力プロファイル]のリストをクリックし、入力プロファイルを選びます。

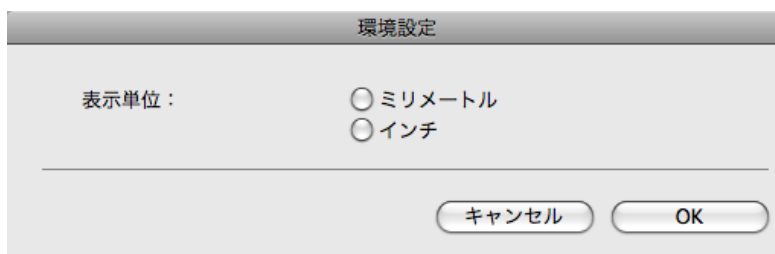
4. [プリンタプロファイル]のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

ColorSync モード

1. [マッチングモード]で、[ColorSync モード]が選択されていることを確認します。

2. [ColorSync モード]をプレビューに適用する場合は、[ソフトプルーフ]にチェックマークをつけます。

環境設定ダイアログボックス

[imagePROGRAF Advanced Preview]メニューから[環境設定]を選択すると、表示されます。Preview の環境設定を行うことができます。

[表示単位]

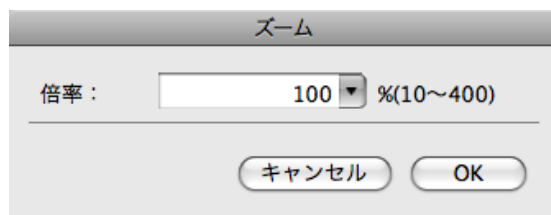
用紙の長さや余白などの単位を選択します。

ズームダイアログボックス

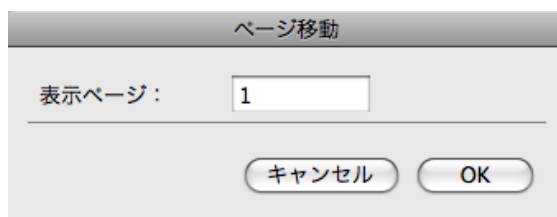
[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、表示されます。画面表示を拡大／縮小できます。

[倍率]

画面表示の拡大／縮小倍率を設定します。

メモ

- 入力できる数値は 10～400 です。
- [▼]を押して、倍率を選択することもできます。

ページ移動ダイアログボックス

[表示]メニューから[ページ移動]を選択すると、表示されます。

メモ

- 原稿が 1 ページしかない場合は、[ページ移動]を選択することができません。

[表示ページ]

プレビューエリアに表示するページを半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は、原稿のページ数の範囲です。

フチなしで印刷する

フチなし印刷機能を使用して、画像の周囲に余白を取らずに印刷することができます。

メモ

- 用紙の種類によっては、2 辺のみのフチなしで印刷されます。
- フチなし印刷機能を使用するには、プリンタに専用の用紙がセットされている必要があります。

1. 用紙設定パネル →P.479 の[給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

2. [出力設定]パネルの[拡大／縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

3. [ロール紙の幅に合わせる]を選択します。

4. [フチなしで印刷する]をクリックしてチェックマークを付けます。

5. [印刷]ボタンをクリックします。

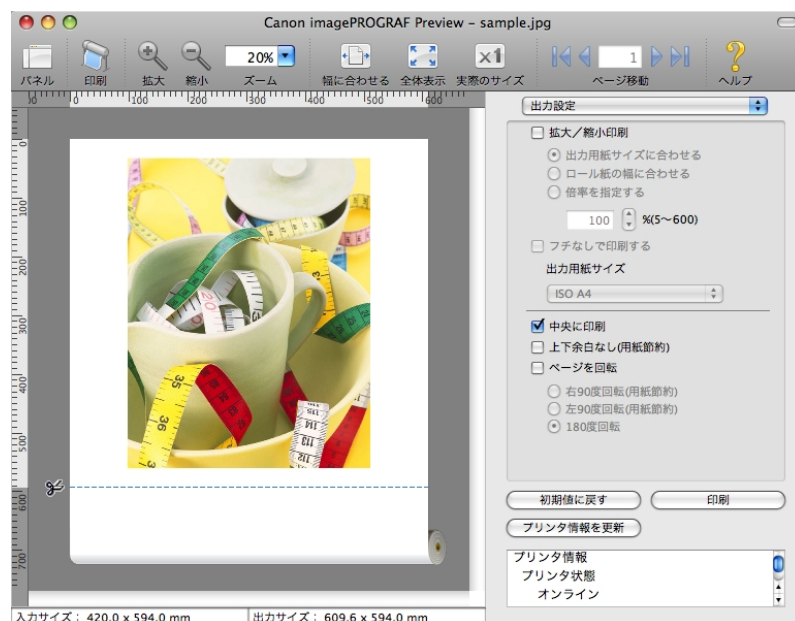
フチなしの設定で印刷が開始されます。

中央に印刷する

プリンタにセットされている用紙の中央に配置して印刷します。

メモ

- [フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

1. [出力設定]パネルの[中央に印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

2. [印刷]ボタンをクリックします。

用紙の中央に印刷が開始されます。

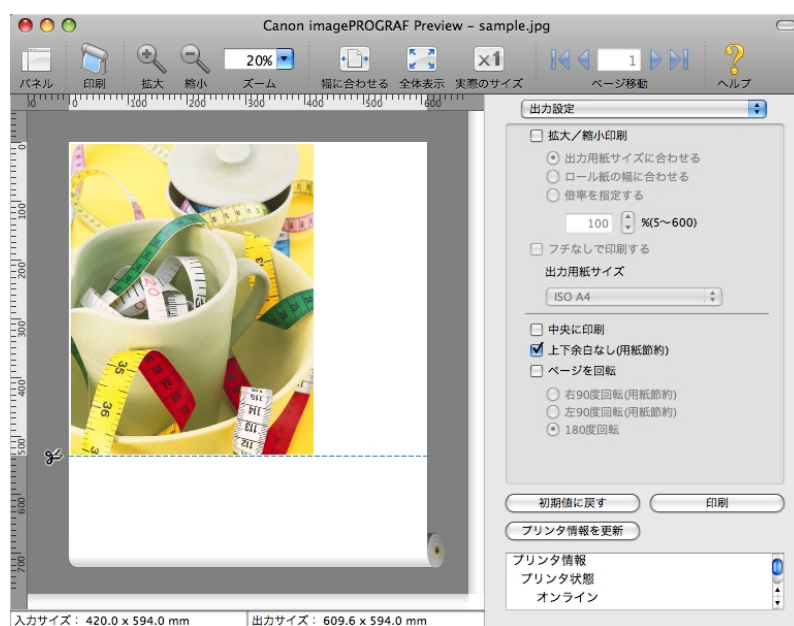
上下の余白を印刷しない

用紙の上下に空白領域のあるデータを印刷するとき、マージン以外の空白部分はロール紙を送らず、用紙を節約できます。

メモ

- [フチなしで印刷する]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

1. 用紙設定パネル →P.479 の[給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

2. [出力設定]パネルの[上下余白なし(用紙節約)]をクリックしてチェックマークを付けます。

3. [印刷]ボタンをクリックします。

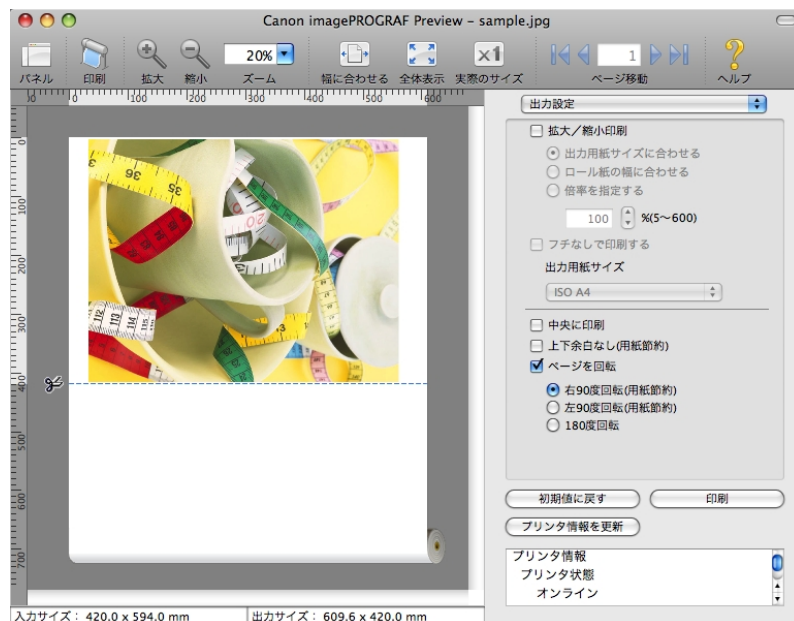
上下余白なしの設定で印刷が開始されます。

ページを 90 度回転して印刷する

ロール紙上に横長に印刷されるため、用紙を節約できます。

1. 用紙設定パネル →P.479 の[給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

2. [出力設定]パネルの[ページを回転]をクリックしてチェックマークを付けます。

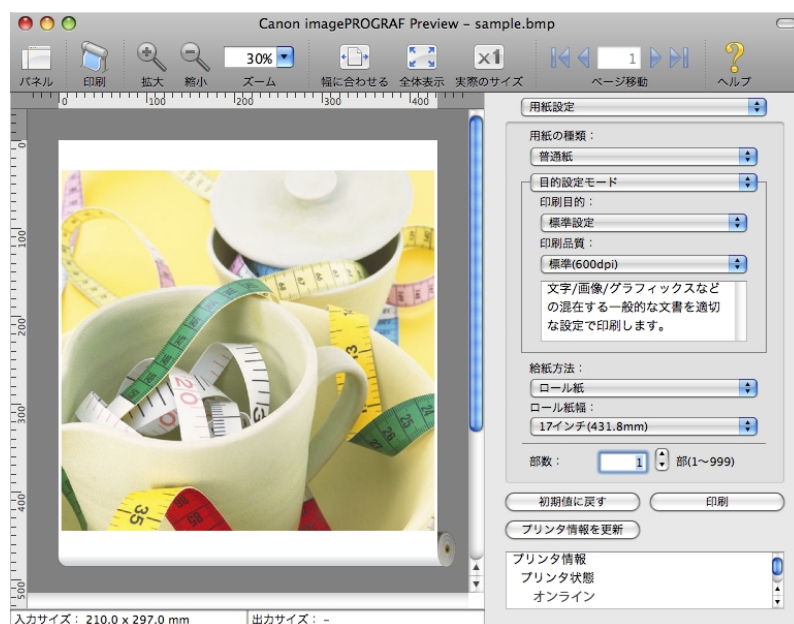
3. [右 90 度回転(用紙節約)]または[左 90 度回転(用紙節約)]を選択します。

4. [印刷]ボタンをクリックします。

ページを 90 度回転して印刷が開始されます。

用紙の幅に合わせて表示する

プレビューエリアに用紙の幅に合わせて表示することができます。

1. ツールバーから [幅に合わせる]を選択します。

2. 用紙の幅に合わせて表示されます。

全体を表示する

プレビューエリアに全体を表示することができます。

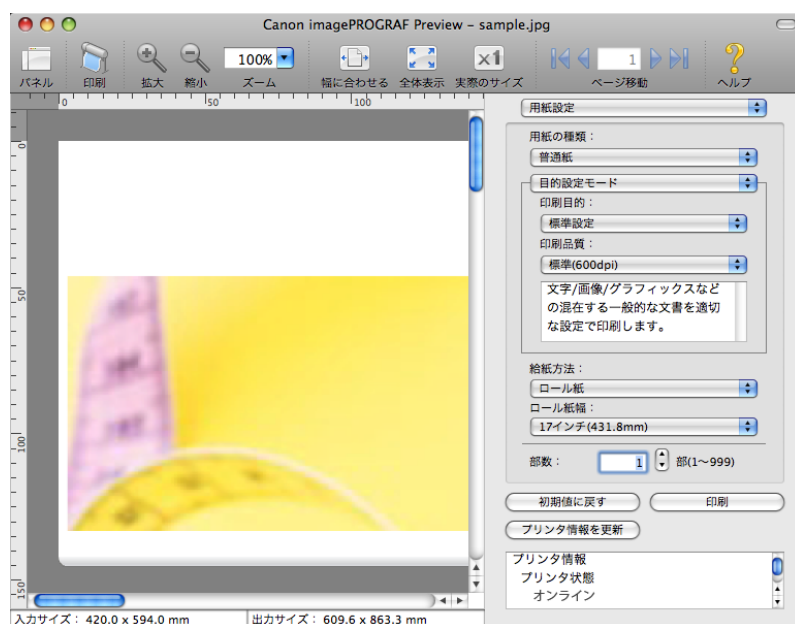
1. ツールバーから [全体表示]を選択します。

2. 全体が表示されます。

実際のサイズで表示する

実際のサイズで表示することができます。

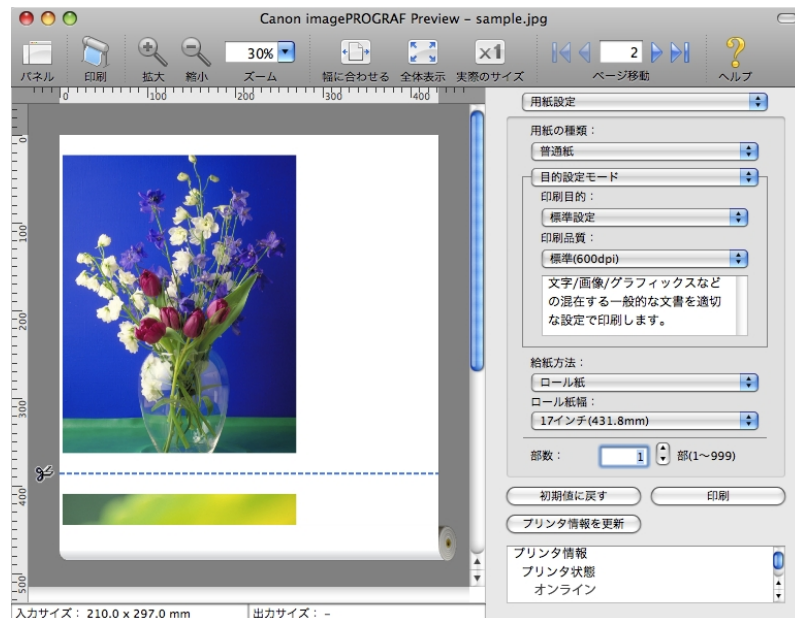
1. ツールバーから [実際のサイズ]を選択します。

2. 実際のサイズで表示されます。

ページを移動する

プレビューエリアに表示するページを移動する事が出来ます。

1. ツールバーの[ページ移動]の各ボタンを選択します。

ボタン	内容
	最初のページに移動します。
	前のページに移動します。
	次のページに移動します。
	最後のページに移動します。

2. 移動先のページが表示されます。

メモ
- サムネイルでページをクリックして、ページを移動することもできます。

Free Layout

Free Layout の特長

Free Layout の主な特長は以下のとおりです。

- アプリケーションソフトで作成した原稿を自由に配置して印刷することができます。
- 複数のページを 1 ページに配置するだけでなく、複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷したり、複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

メモ
- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が Free Layout 上の設定と異なる場合があります。

動作環境

Free Layout は、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Mac OS X(10.3.9〜10.6)
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF Printer Driver

Free Layout の起動方法

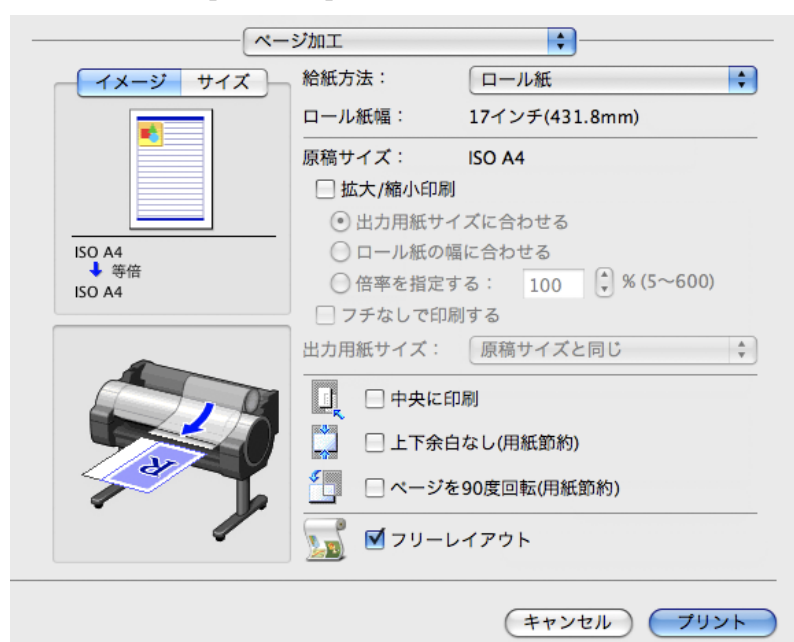
Free Layout を起動する手順は、以下のとおりです。

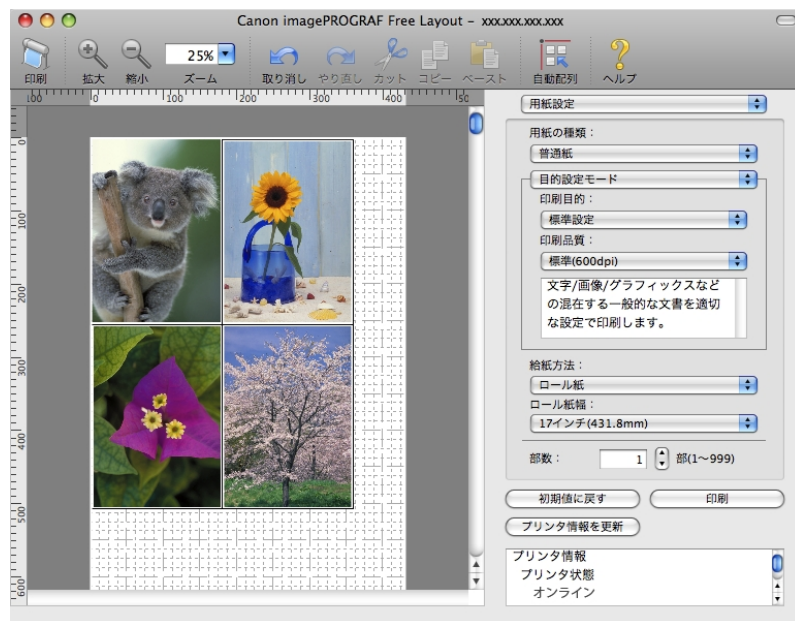
1. ご使用になるアプリケーションソフトを起動します。

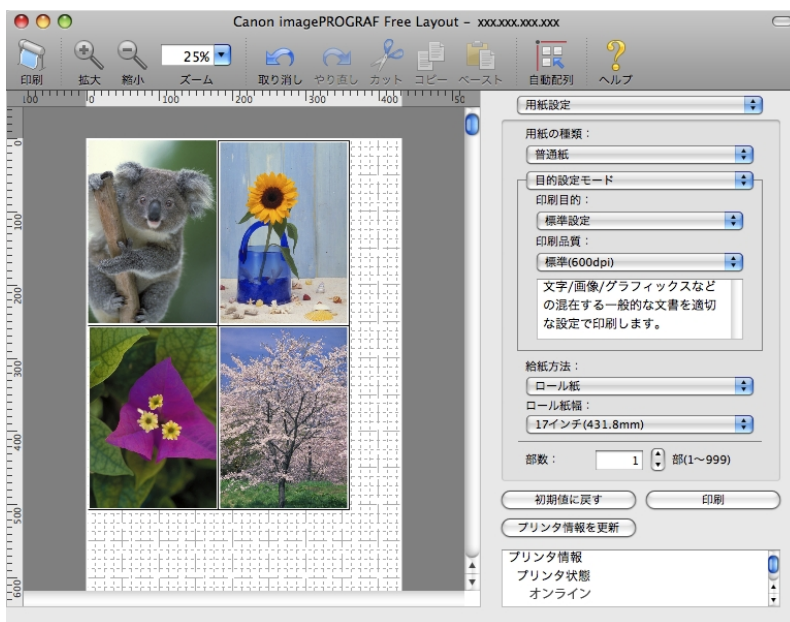
2. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

メモ
• 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

3. [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]をクリックしてチェックマークを付けます。

4. [プリント]ダイアログボックスの[プリント]ボタンをクリックします。

メモ
• この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

5. Free Layout メインウィンドウが表示されます。

Free Layout メインウィンドウ

Free Layout のメインウィンドウは、メニューバー、ツールバー、レイアウトエリア、ダイアログエリアで構成されています。

メモ

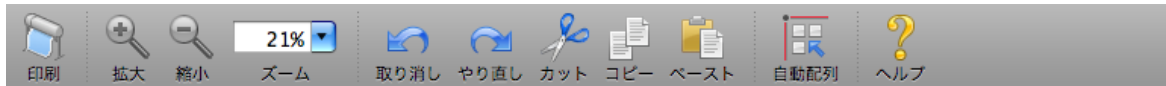
- ツールバーは[表示]メニューで表示/非表示を切り換えられます。

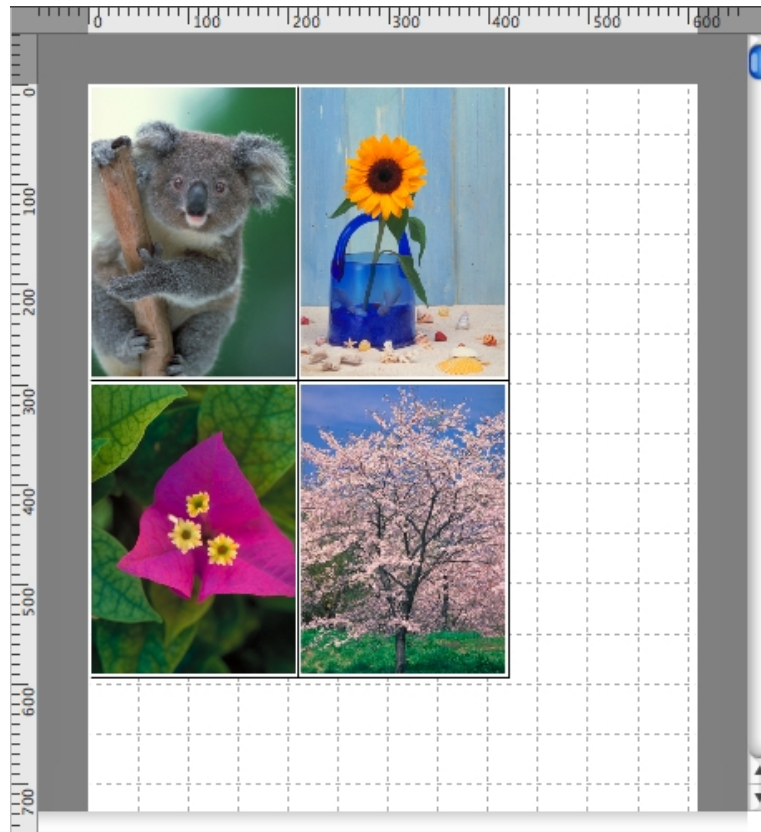
メニューバー

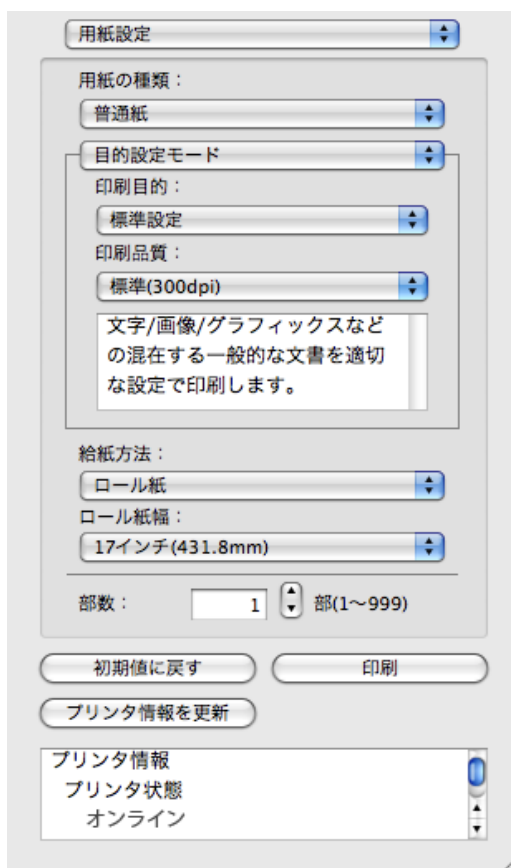
操作に必要なメニューを選択できます。

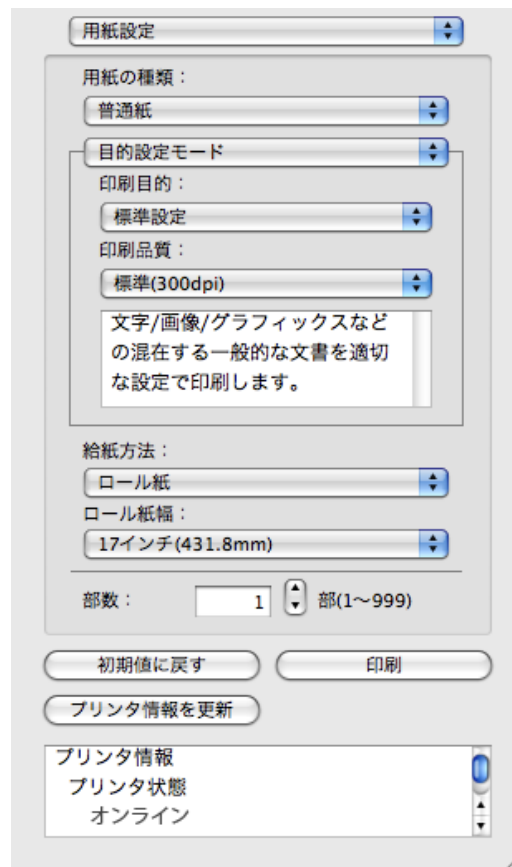
imagePROGRAF Advanced Preview　ファイル　編集　表示　オブジェクト　ウインドウ　ヘルプ

ツールバー

主な操作のツールボタンを選択できます。

レイアウトエリア

オブジェクトの配置、サイズ、向きを編集できます。

ダイアログエリア

印刷条件を設定したり、印刷を実行することができます。

用紙設定パネル

ダイアログエリアから[用紙設定]を選択すると、表示されます。

[用紙の種類]

用紙の種類を選択します。

メモ

• 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

[目的設定モード]/[詳細設定モード]

最適な印刷の設定を行うために 2 つのモードがあります。
各モードで設定できる項目については以下をご覧ください。

- 目的設定モード →P.509
- 詳細設定モード →P.510

[給紙方法]

給紙方法を選択します。
給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。
[手差し]	手差しによる印刷の場合に選びます。
[手差し(余白 3mm)]	手差しによる印刷で、用紙後端の余白を小さくしたい場合に選びます。

メモ

- [給紙方法]で[手差し(余白 3mm)]を選択すると、用紙によっては画像の後端が乱れる場合があります。この場合は、他の給紙方法を選択してください。

[ロール紙幅]

プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 1〜999 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Free Layout の起動時の設定に戻ります。

[印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

[プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

目的設定モード

印刷目的のリストから原稿の内容に合った項目を選択するだけで、目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。

[印刷目的]

目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。
[印刷目的]の各項目を選択すると、その項目に関するコメントがリストの下に表示されます。

設定項目	内容
[標準設定]	文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
[写真(カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
[写真 (モノクロ)]	モノクロ写真を最適な設定で印刷します。
[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
[写真 (Adobe RGB)]	Adobe RGB の色空間を使用して作成された画像を最適な色で印刷します。
[ビジネス文書]	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

[印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[600dpi]/[300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

詳細設定モード

優先画質や印刷品質などの詳細な設定を自分で行うことできます。

[優先画質]

印刷の内容に応じて適切な画質のモードを選択することができます。

設定項目	内容
[写真･イラスト]	写真画像やイラストに最適なモードで印刷します。

設定項目	内容
[線画・文字]	CAD 図面などの線画を印刷する場合、または壁新聞など文字が多い原稿を印刷する場合に最適なモードです。ただし、写真や塗り潰しの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。この時は[写真・イラスト]を選んでください。
[オフィス文書]	提案書や配布資料など、一般オフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

[印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[600dpi]/[300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

[写真高精細]

階調性や均一性を向上させ、特に写真を高画質で印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。

メモ

- この機能は、用紙の種類などの設定によっては選択できません。

色設定パネル

ダイアログエリアから[色設定]を選択すると、表示されます。

[カラーモード]

印刷の内容に応じてカラーモードを選択することができます。

設定項目	内容
[カラー]	カラー印刷を有効にします。
[モノクロ(写真)]	モノクロ写真の画像データを、色転び(グレーに色がついて見える現象)のないグレー階調で印刷します。
[モノクロ]	カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。
[色補正なし]	プリンタドライバでカラーマッチングを行わずに印刷します。Adobe Photoshop などのアプリケーションでカラーマッチングを行う場合や、プロファイル作成ツールでカラーチャートを印刷する場合に選択してください。

メモ

• 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

[色調整]/[グレー調整]/[マッチング]

色調整とマッチングの設定を行うことができます。

- 色調整 →P.513
- グレー調整 →P.515
- マッチング →P.517

メモ

- [グレー調整]は、[カラーモード]で[モノクロ(写真)]を選択した場合のみ、選択できます。
- [マッチング]は[カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは表示されません。

[初期値に戻す]ボタン

ボタンを押すと、Free Layout の起動時の設定に戻ります。

[印刷]ボタン

ボタンを押すと、印刷が開始されます。

[プリンタ情報を更新]ボタン

ボタンを押すと、プリンタ情報を取得できます。

色調整

色調整の設定を行うことができます。

カラーを調整する

カラーは基本的にアプリケーションソフトで選択され調整されます。ただし、印刷結果が希望する色調にならない場合は、カラーを調整することもできます。

1. [色設定]パネルの[カラーモード]で、[カラー]を選択します。

2. [色調整]を選択します。

3. 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[シアン]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[マゼンタ]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[イエロー]	強弱を調整することで色合いが補正できます。
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強く設定してください。
[鮮やかさ]	ビビッドな色合いからくすんだ色合いまで、鮮やかさを調整できます。
[グレー色調]	グレーの色を、冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで調整できます。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

モノクロを調整する

スキャナやデジタルカメラで取り込んだカラー写真または他のカラー画像を、モノクロで印刷するための設定をします。

1. [色設定]パネルの[カラーモード]で、[モノクロ]を選択します。

2. [色調整]を選択します。

3. 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強く設定してください。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

グレー調整

グレー調整の設定を行うことができます。

モノクロ(写真)を調整する

スキャナやデジタルカメラから取り込んだモノクロ写真の画像データを、モノクロで印刷するための設定をします。

1. [色設定]パネルの[カラーモード]で、[モノクロ(写真)]を選択します。

2. [グレー調整]を選択します。

3. [色調]のリストをクリックして色調を選びます。

設定項目	内容
[冷黒調]	冷黒(青みがかった色合い)系のグレーに調整します。
[純黒調]	ニュートラルなグレーに調整します。
[温黒調]	温黒(赤みがかった色合い)系のグレーに調整します。

メモ
- X、Y のスライドバーを左右にドラッグして調整することもできます。
- X、Y の数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。

4. 各項目のスライドバーを左右にドラッグして調整します。

設定項目	内容
[明るさ]	画像全体の明るさを調整することができます。出力した結果が元の画像(スキャナで読み込む前の写真やモニタ上で作成されたグラフィックスなど)に比べて明るいときや、明るさを変えて出力したいときなどに使用します。
[コントラスト]	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさを相対的に調整できます。 *軟調にしたい場合はコントラストを弱く、硬調にしたい場合はコントラストを強く設定してください。
[ハイライト]	最も明るい部分の明るさを調整することができます。
[シャドー]	最も暗い部分の明るさを調整することができます。

メモ

- 数値の入力欄で矢印ボタンをクリックするか、直接数値を入力して調整することもできます。
- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

マッチング

マッチングの設定を行うことができます。

重要

- [カラーモード]で[色補正なし]が選択されているときは[マッチング]は表示されません。

[マッチングモード]

印刷の内容に応じてマッチングモードを選択することができます。

設定項目	内容
ドライバ補正モード →P.519	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。通常はこのモードを選択してください。
ICC 補正モード →P.520	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
ColorSync モード →P.521	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。

メモ
- プリンタドライバで各モードが設定されている必要があります。
- Mac OS X 10.5 以降をご使用の場合、[ColorSync モード]を選択するにはドライバの[カラー・マッチング]パネルで[ColorSync モード]が設定されている必要があります。

[マッチング方法]

印刷の内容に応じてマッチング方法を選択することができます。

[色空間]

色空間を選択します。

メモ
- [マッチングモード]で[ドライバ補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

[入力プロファイル]

入力プロファイルを選択します。

メモ
- [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

[プリンタプロファイル]

プリンタプロファイルを選択します。

メモ
- (MacOS X 10.3.9～10.4 をご使用の場合)[マッチングモード]で[ICC 補正モード]または[ColorSync モード]を選択した場合のみ、選択できます。
- (MacOS X 10.5 以降をご使用の場合)[マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択した場合のみ、選択できます。

[ソフトプルーフ]

チェックマークを付けると、[ColorSync モード]がレイアウトエリアに適用されます。

メモ
- [マッチングモード]で[ColorSync モード]を選択した場合のみ、選択できます。

ドライバ補正モード

1. [マッチングモード]で、[ドライバ補正モード]を選択します。

2. [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストのそれぞれに最適なカラーマッチングを行います。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[写真調(人肌・暗部優先)]	室内で撮影された人物写真や、薄暗い風景写真など、ローキーな写真を印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。暗部の階調つぶれを防止すると共に、人物の肌を温かみのある色合いで再現できます。

3. 出力する[色空間]を選択します。

設定項目	内容
[sRGB]	標準的なモニタの色空間を使用します。一般的なアプリケーションの印刷に適しています。

設定項目	内容
[Adobe RGB]	より広い色空間を使用します。Adobe RGB の色空間を使用して作成された画像を印刷する場合に使用してください。

ICC 補正モード

1. [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択します。

2. [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。

3. [入力プロファイル]のリストをクリックし、入力プロファイルを選びます。

4. [プリンタプロファイル]のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

ColorSync モード

1. [マッチングモード]で、[ColorSync モード]が選択されていることを確認します。

2. [ソフトプルーフ]にチェックマークを付けると、レイアウトエリアに出力結果がシミュレーションして表示されます。

環境設定ダイアログボックス

imagePROGRAF Advanced Preview メニューから[環境設定]を選択すると、表示されます。Free Layout の環境設定を行うことができます。

[表示単位]

用紙の長さや余白などの単位を選択します。

[グリッド線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の幅を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は「10.0〜200.0(mm)」「0.39〜7.87(inch)」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[分割線]

オブジェクトの配置の目安となるように、グリッド線の分割数を変更します。

メモ

- 入力できる数値は 1〜10 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[グリッドの色]

グリッド線の色を選択します。

[オブジェクト枠を印刷する]

オブジェクトの枠線を印刷することができます。

メモ

- オブジェクトの枠線を印刷しない場合は、[オブジェクト枠を印刷する]チェックボックスをオフにします。

[オブジェクト枠の種類]

印刷するオブジェクトの枠線を選択することができます。
オブジェクト枠の種類には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[実線]	実線を枠として印刷します。
[点線]	点線を枠として印刷します。
[破線]	破線を枠として印刷します。

[自動配列間隔]

オブジェクトを自動配列する際の、オブジェクト間の間隔を設定します。

メモ

- 入力できる数値は「0.0〜100.0（mm）」「0.00〜3.94（inch）」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

ページ設定ダイアログボックス

[ファイル]メニューから[ページ設定]を選択すると、表示されます。このダイアログボックスで、印刷の向き、用紙サイズなどを設定します。

[用紙の向き]

用紙の向きを選択します。
用紙の向きには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[縦]	アプリケーションで作成した図や文章をそのままの向きで印刷します。
[横]	アプリケーションで作成した図や文章の向きを、横に 90 度回転して印刷します。

[ロール紙長さ]

ロール紙に印刷する 1 ページの長さを設定します。

[自動設定]にチェックマークを付けると、配置したオブジェクトが 1 ページで印刷されるように、ロール紙に印刷する 1 ページの長さが自動で設定されます。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。
- 入力できる数値は「203.2～18000.0（mm）」「8.00～708.66（inch）」です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[配置順]

オブジェクトの配置順を設定します。
配置順には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[左上から右向き]	左上から右方向に、オブジェクトが配置されます。
[左上から下向き]	左上から下方向に、オブジェクトが配置されます。

メモ

- [ロール紙長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[縦]を選択している場合は、[左上から右向き]のみが選択できます。
- [ロール紙長さ]で[自動設定]を選択し、[用紙の向き]で[横]を選択している場合は、[左上から下向き]のみが選択できます。

5

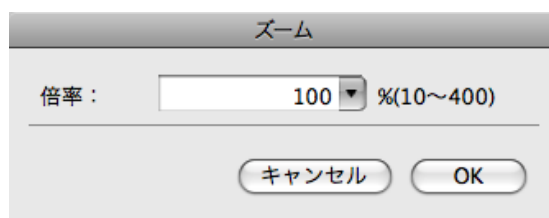
[用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ

- [給紙方法]で[ロール紙]が設定されている場合は、選択できません。

ズームダイアログボックス

[表示]メニューから[ズーム]を選択すると、表示されます。画面表示を拡大/縮小できます。

[倍率]

画面表示の拡大/縮小倍率を設定します。

メモ

- 入力できる数値は 10～400 です。
- [▼]を押して、倍率を選択することもできます。

書式設定ダイアログボックス

オブジェクトを選択後、[オブジェクト]メニューから[書式設定]を選択すると、表示されます。オブジェクトを回転したり、拡大/縮小できます。

メモ
- オブジェクトが選択されていない場合は、[書式設定]を選択することができません。

[回転]

チェックマークを付けると、[右 90 度]または[左 90 度]を選択することができます。

設定項目	内容
[右 90 度]	時計回りに 90 度回転します。
[左 90 度]	反時計回りに 90 度回転します。

メモ
- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[回転]を選択することができません。

[倍率]

オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。

メモ
- 入力できる数値は 25〜400 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[オブジェクトのサイズ]

オブジェクトのサイズを確認できます。

メモ
- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[オブジェクトのサイズ]は表示されません。

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置する

複数のファイルの原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

メモ
• 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

2. [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]をクリックしてチェックマークを付けます。

3. [プリント]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[プリント]ボタンをクリックします。
Free Layout が起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

4. Free Layout を起動したまま、アプリケーションソフトで他のファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置する

複数のアプリケーションソフトで作成した原稿を 1 ページに配置して印刷することができます。

1. アプリケーションソフトの[ファイル]メニューからプリンタの設定を行うメニューを選択し、[プリント]ダイアログボックスを開きます。

メモ
• 通常、[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

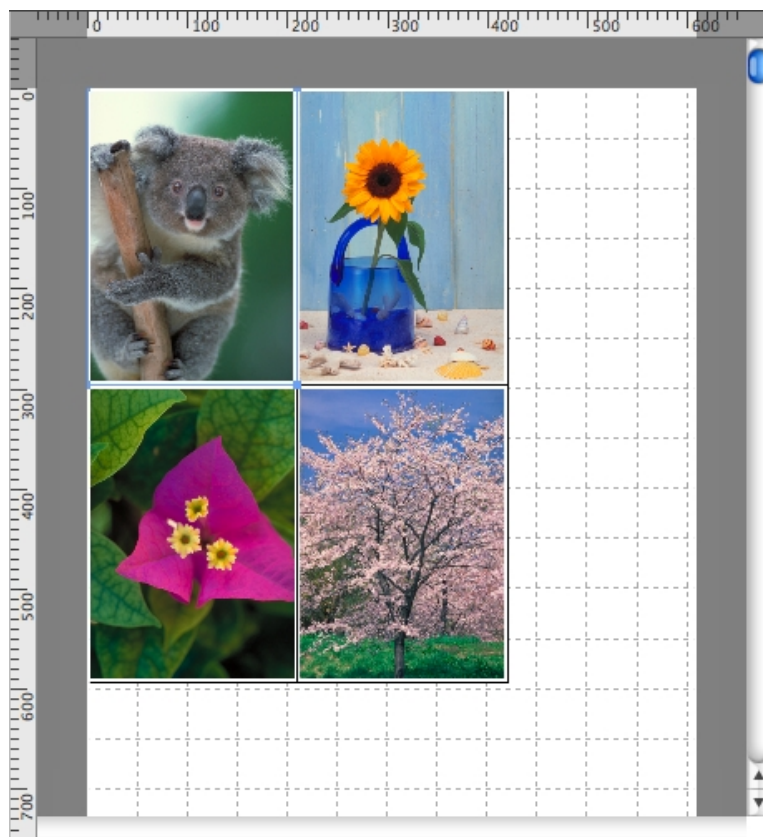
2. [ページ加工]パネルの[フリーレイアウト]をクリックしてチェックマークを付けます。

3. [プリント]ダイアログボックスで印刷するページや印刷部数を選択し、[プリント]ボタンをクリックします。
Free Layout が起動し、アプリケーションソフトで作成した原稿がオブジェクトとしてレイアウトエリアに配置されます。

4. Free Layout を起動したまま、他のアプリケーションソフトでファイルを開き、上記の手順を繰り返します。

オブジェクトを選択する

オブジェクトが選択されると、オブジェクトの周囲に選択ボックス（青い枠線）が表示されます。

メモ

- 1 つのオブジェクトを選択する場合は、オブジェクトをクリックします。
- 連続したオブジェクトを複数選択する場合は、shift キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- 任意のオブジェクトを複数選択する場合は、command キーを押しながら、オブジェクトをクリックします。
- すべてのオブジェクトを選択する場合は、[編集] メニューから [すべてを選択] を選択します。

オブジェクトのサイズを変更する

オブジェクトのサイズを変更する手順には、マウス操作による方法と、拡大/縮小倍率を指定する方法があります。

メモ

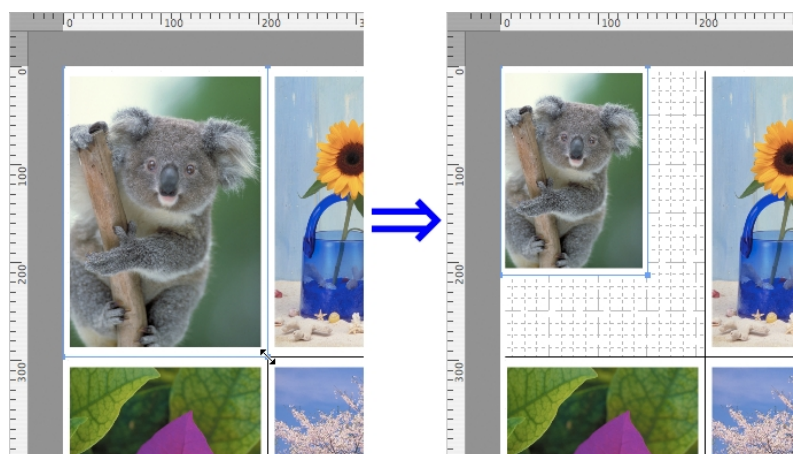
- オブジェクトの縦横の比率は変わらずに、拡大/縮小されます。

マウス操作によってサイズを変更する場合

1. オブジェクトを選択します。

2. オブジェクトの周囲の選択ボックスの角にポインタを置いて矢印ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトのサイズを変更します。

拡大/縮小倍率を指定する場合

5

1. オブジェクトを選択します。

2. 書式設定ダイアログボックス →P.525 を開きます。

3. [倍率]で拡大/縮小倍率を設定します。オブジェクトの拡大/縮小率を半角数字で入力します。

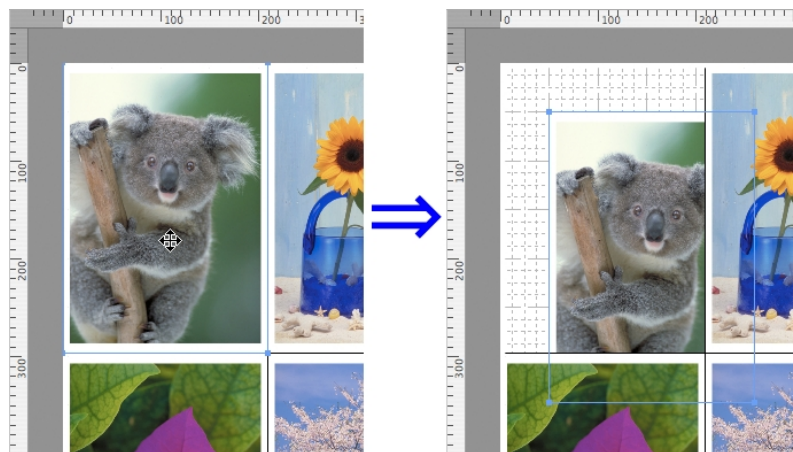
メモ
- 入力できる数値は 25～400 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

4. [OK]をクリックします。

オブジェクトを移動する

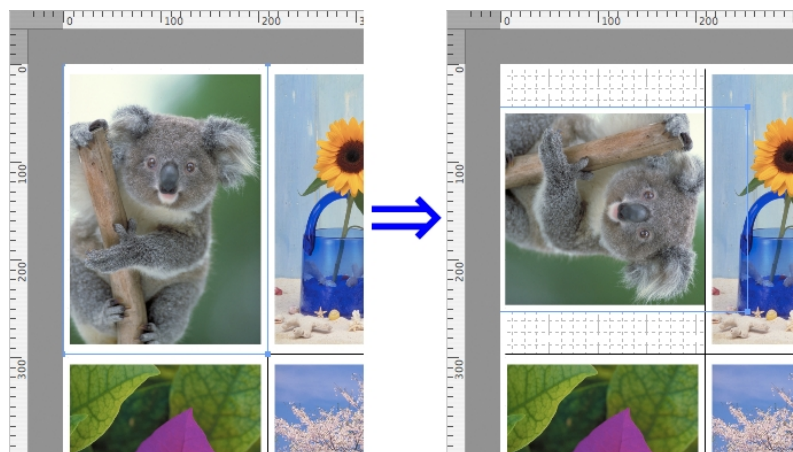
選択したオブジェクトの位置を移動することができます。

1. オブジェクトを選択します。

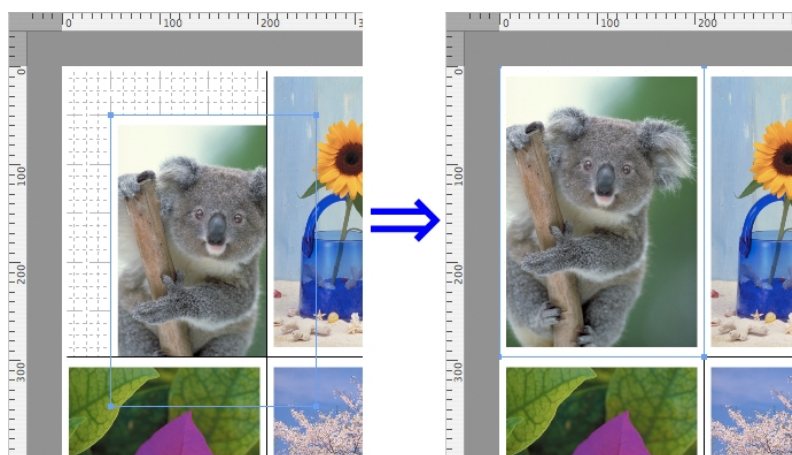
2. オブジェクトの選択ボックス内にポインタを置いて十字ハンドルを表示し、ドラッグしてオブジェクトを移動します。

オブジェクトを回転する

選択したオブジェクトを回転することができます。

1. オブジェクトを選択します。

2. ツールバーから[左 90 度回転]または[右 90 度回転]を選択します。
   または、書式設定ダイアログボックス →P.525 の[回転]チェックボックスをオンにし、[右 90 度]または[左 90 度]を選択し、[OK]をクリックします。

メモ
- 複数のオブジェクトが選択されている場合は、[回転]を選択することができません。

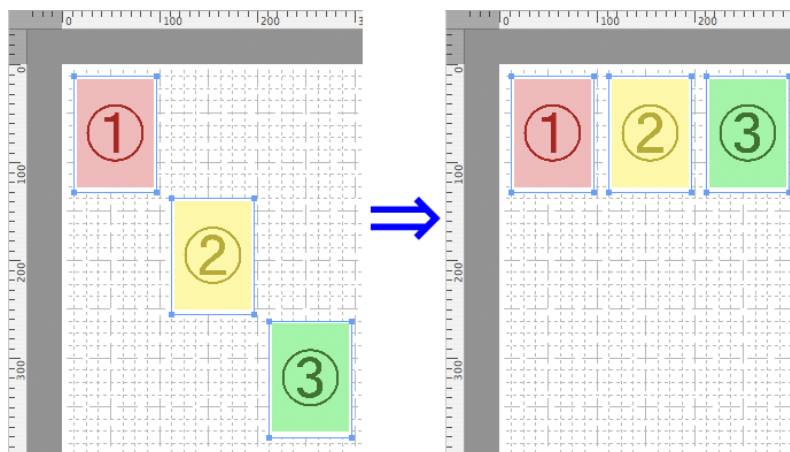
オブジェクトを自動配置する

ツールバーの[自動配列]をクリックします。オブジェクトが自動的に配置されます。または、[オブジェクト]メニューから[オブジェクトの自動配列]を選択します。

メモ
- オブジェクトの配置順は、ページ設定ダイアログボックス →P.523 の[配置順]の設定によって異なります。

オブジェクトを整列する

オブジェクトを規則的に整列させることができます。

1. 複数のオブジェクトを選択します。

2. [オブジェクト]メニューから整列用のメニューを選択します。

[上揃え]

オブジェクトを上端に揃えて配置します。

[上下中央揃え]

オブジェクトを垂直方向の中央に揃えて配置します。

[下揃え]

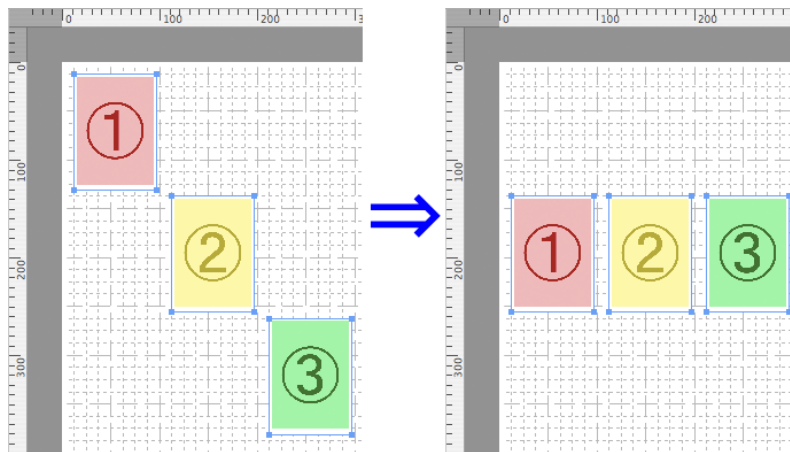
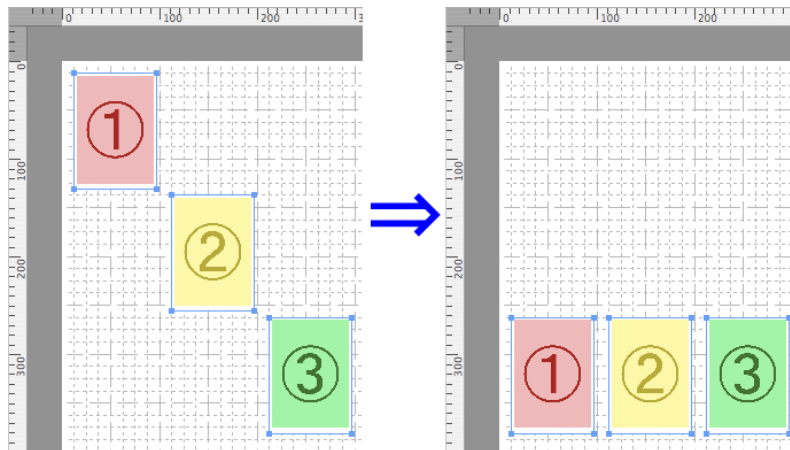
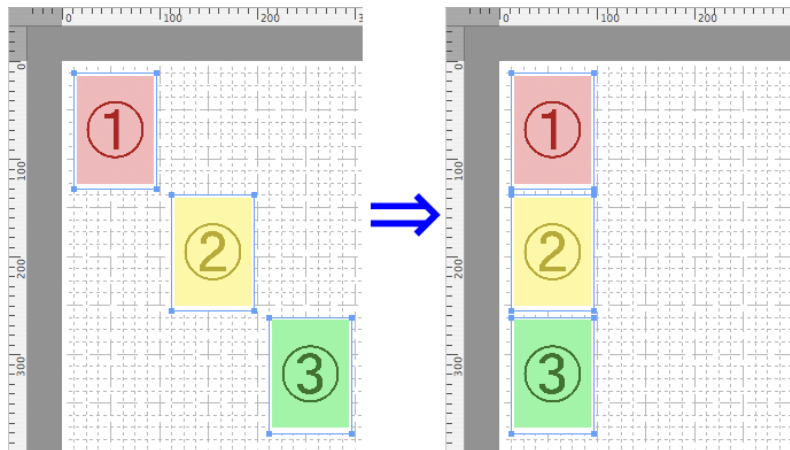
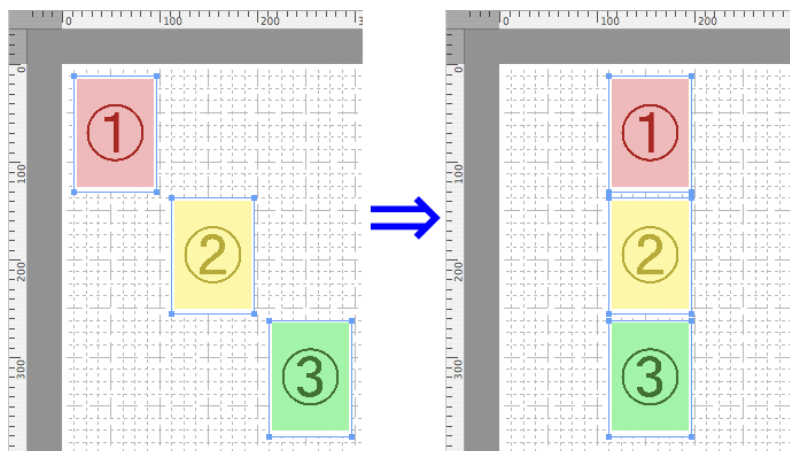
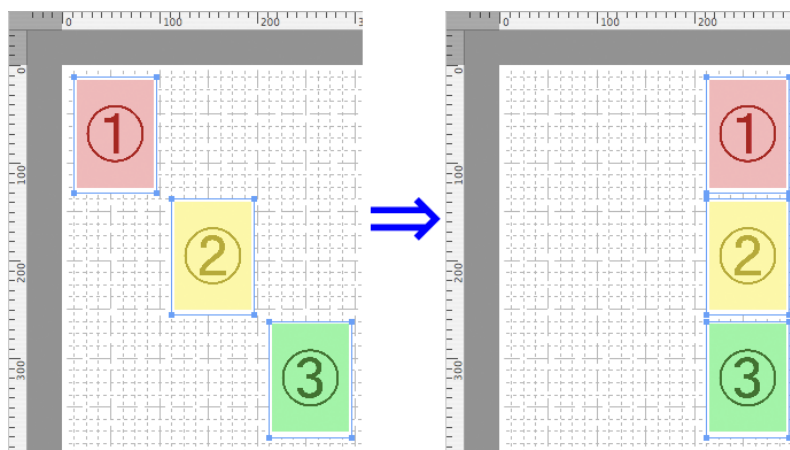
オブジェクトを下端に揃えて配置します。

[左揃え]

オブジェクトを左端に揃えて配置します。

[左右中央揃え]

オブジェクトを水平方向の中央に揃えて配置します。

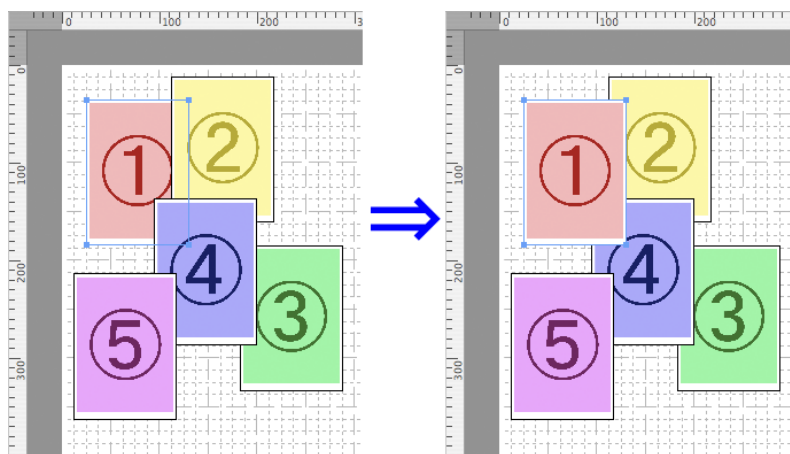
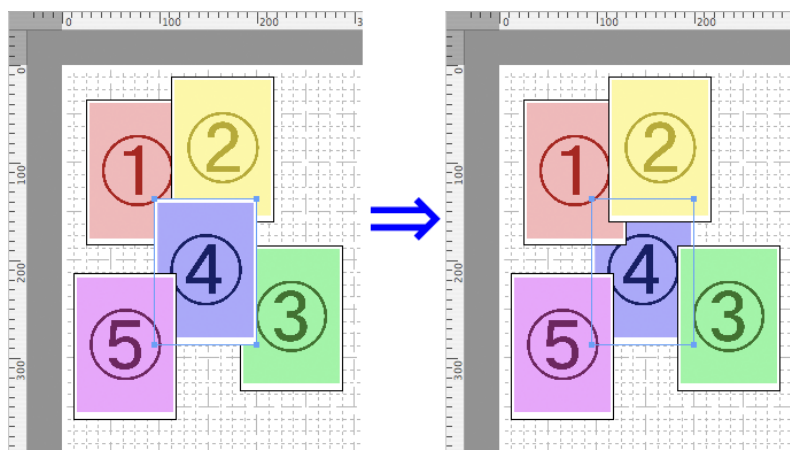
[右揃え]

オブジェクトを右端に揃えて配置します。

オブジェクトの重なり順を変更する

オブジェクトの重なり順を変更することができます。

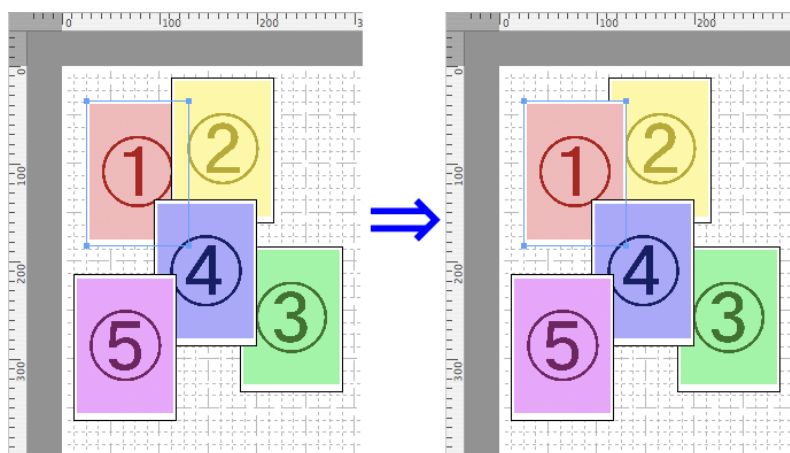
1. オブジェクトを選択します。

2. [オブジェクト]メニューから重なり順のメニューを選択します。

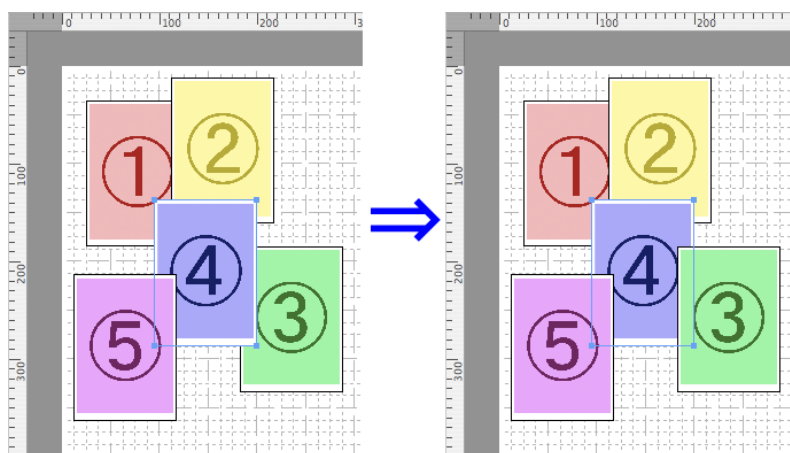
[最前面へ移動]

オブジェクトを最前面に移動します。

[最背面へ移動]

オブジェクトを最背面に移動します。

[前面へ移動]

オブジェクトを 1 つ前に移動します。

[背面へ移動]

オブジェクトを 1 つ後ろに移動します。

コピーまたは切り取ったオブジェクトを貼り付ける

1. ツールバーから[コピー]または[カット]をクリックします。
   または[編集]メニューから[コピー]または[カット]を選択します。

2. ツールバーから[ペースト]をクリックします。
   または[編集]メニューから[ペースト]を選択します。

メモ

- コピーまたは切り取ったオブジェクトがページの一番最後に配置されます。

Color imageRUNNER 連携拡大コピー

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの特長

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの主な特長は以下のとおりです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿を、自動的に拡大して印刷することができます。
- プリンタの選択、用紙の種類、出力プロファイルの選択やマッチング方法などの基本的なプリンタの設定に加えて、フチなし印刷、拡大縮小処理などもプリンタドライバを経由せずに設定できます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、連携拡大コピー機能上の設定と異なる場合があります。

動作環境

Color imageRUNNER 連携拡大コピーは、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Mac OS X（10.3.9～10.6）
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF Printer Driver

Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法

Color imageRUNNER 連携拡大コピーを起動する手順は、以下のとおりです。

1. [プリント]ダイアログボックスの[ユーティリティ]パネルを開きます。

メモ

- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

2. [Color imageRUNNER 連携拡大コピーの設定を行います。]の[設定]ボタンをクリックし、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [アプリケーション]>[Canon Utilities]> [iR Enlargement Copy] >[Color imageRUNNER 連携拡大コピー.app]アイコンをクリックして直接起動することもできます。

Color imageRUNNER 連携拡大コピーダイアログボックス

ここでは、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスについて説明しています。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法 →P.536 をご覧ください。

[フォルダ内のファイルを削除]

ホットフォルダの一覧からホットフォルダを選択して[削除]ボタンをクリックすると、ホットフォルダ内のファイルのみを削除できます。

[フォルダごと削除、および上記リストから削除]

ホットフォルダの一覧からホットフォルダを選択して[削除]ボタンをクリックすると、ホットフォルダを削除できます。

[削除]ボタン

[フォルダ内のファイルを削除]または[フォルダごと削除、および上記リストから削除]を選択してボタンをクリックすると、ホットフォルダまたはホットフォルダ内のファイルのみを削除できます。

[追加]ボタン

ボタンをクリックすると、[出力先選択]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを追加できます。

[編集]ボタン

ホットフォルダの一覧からホットフォルダを選択してこのボタンをクリックすると、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスが開き、ホットフォルダを編集できます。

[ホットフォルダを常に監視する]

チェックボックスをオンにすると、次回 OS X を起動したときから、Dock に Color imageRUNNER 連携拡大コピーユーティリティのアイコンが表示されます。

ホットフォルダ

ホットフォルダとは、Color imageRUNNER 連携拡大コピーで使用されるフォルダです。

- Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータがコンピュータのホットフォルダに転送されると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
- ホットフォルダは、自由に作成、編集、削除したり、印刷について設定することができます。

メモ

- ホットフォルダは 10 個まで作成できます。

ホットフォルダを新規作成する

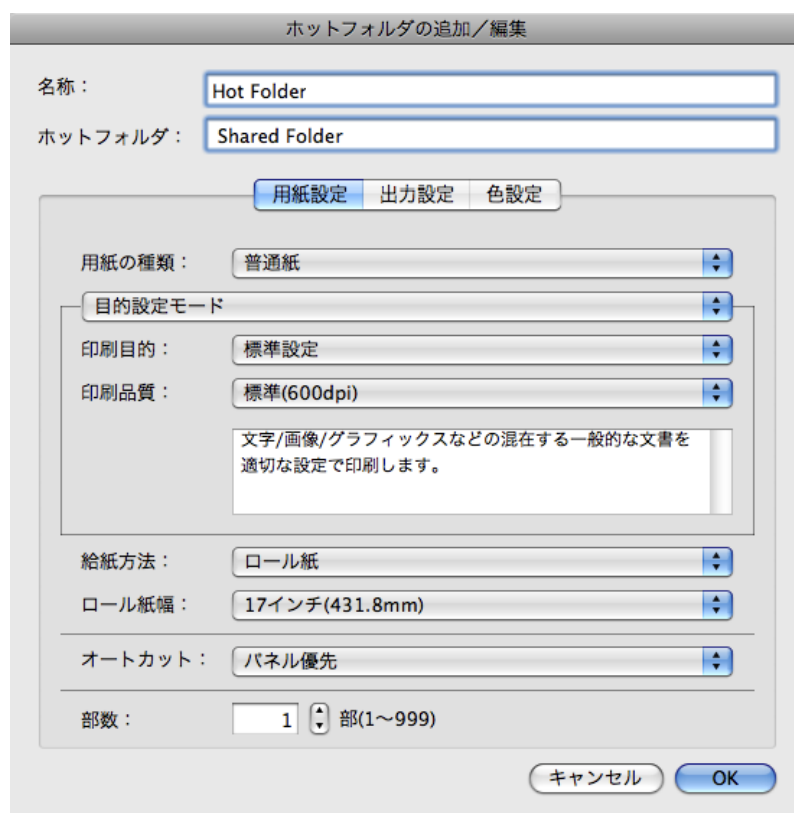
1. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

メモ

- [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開く手順については、Color imageRUNNER 連携拡大コピーの起動方法 →P.536 をご覧ください。

2. [拡大コピー用設定]の[追加]ボタンをクリックし、[出力先選択]ダイアログボックスを開きます。

3. [出力先]にプリンタ一覧の中から、出力先のプリンタを選択します。

4. [OK]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスを開きます。

5. [名称]に、ホットフォルダのリストで表示するための名称を入力します。

6. [ホットフォルダ]にホットフォルダ名を入力します。

7. [OK]ボタンをクリックします。[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスの一覧に、作成したホットフォルダが表示されます。

8. [閉じる]ボタンをクリックし、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを終了させます。

9. [アップル]メニューから[システム環境設定]の[共有]ダイアログボックスを開きます。

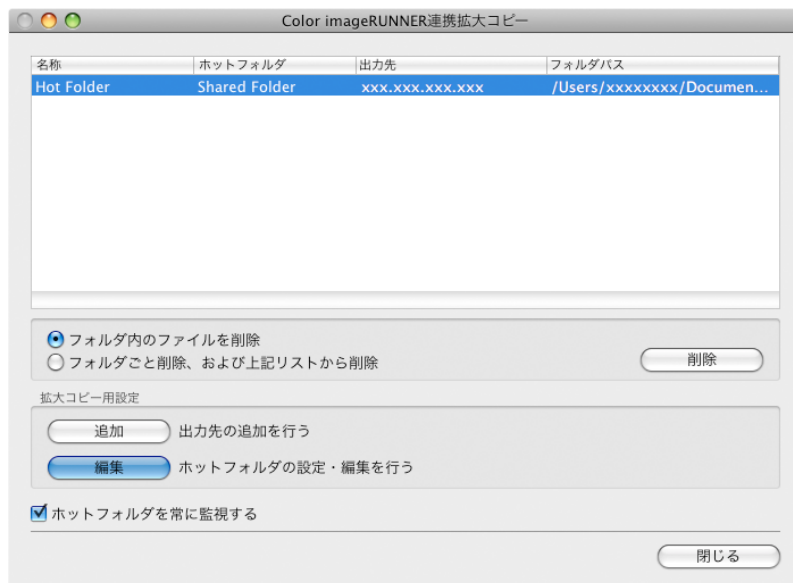
10. [ファイル共有]のチェックボックスをチェックし、[オプション]ボタンをクリックします。

11. [FTP を使用してファイルやフォルダを共有]、[SMB を使用してファイルやフォルダを共有]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。

メモ

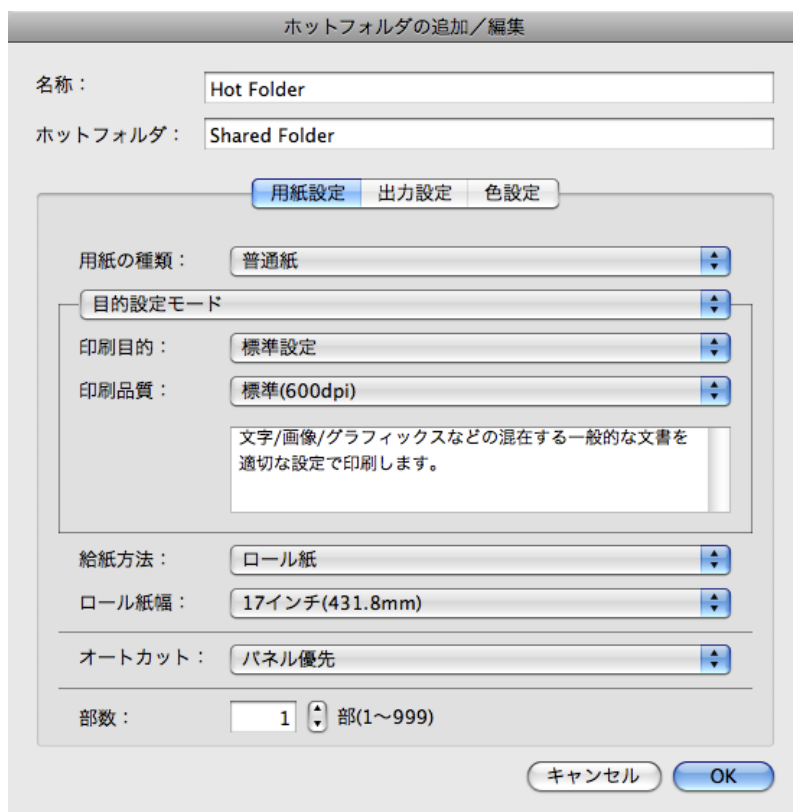
- ホットフォルダは 10 個まで作成できます。

ホットフォルダを編集する(印刷条件の設定)

1. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

2. ホットフォルダのリストから作成済みのホットフォルダを選択します。

3. [拡大コピー用設定]の[編集]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスを開きます。

4. 用紙設定パネル →P.544 で必要な項目を設定します。

ホットフォルダの追加／編集
名称： Hot Folder
ホットフォルダ： Shared Folder
用紙設定 出力設定 色設定
用紙の種類： 普通紙
目的設定モード
印刷目的： 標準設定
印刷品質： 標準(600dpi)
文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
給紙方法： ロール紙
ロール紙幅： 17インチ(431.8mm)
オートカット： パネル優先
部数： 1 部(1～999)
キャンセル OK

5. 出力設定パネル →P.548 で必要な項目を設定します。

ホットフォルダの追加／編集

名称：Hot Folder

ホットフォルダ：Shared Folder

用紙設定 出力設定 色設定

拡大／縮小印刷

出力用紙サイズに合わせる

ロール紙の幅に合わせる

倍率を指定する 100 %(5～600)

フチなしで印刷する

出力用紙サイズ：ISO A4

中央に印刷

上下余白なし(用紙節約)

ページを回転

右90度回転(用紙節約)

左90度回転(用紙節約)

180度回転

キャンセル OK

6. 色設定パネル →P.550 で必要な項目を設定します。

ホットフォルダの追加／編集

名称：Hot Folder

ホットフォルダ：Shared Folder

用紙設定 出力設定 色設定

カラーモード：カラー

マッチングモード：ドライバ補正モード

マッチング方法：写真調

入力プロファイル：

sRGB v3.0 (Canon)

プリンタプロファイル：

sRGB v3.0 (Canon)

キャンセル OK

7. [OK]ボタンをクリックし、[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスを終了させます。

8. [アップル]メニューから[システム環境設定]の[共有]ダイアログボックスを開きます。

9. [ファイル共有]のチェックボックスをチェックし、[オプション]ボタンをクリックします。

10. [FTP を使用してファイルやフォルダを共有]、[SMB を使用してファイルやフォルダを共有]のチェックボックスをチェックし、共有設定をします。

メモ
- ホットフォルダを新規作成した際、共有設定を行っている場合は、手順 8〜10 は必要ありません。

ホットフォルダを削除する

1. [Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

2. ホットフォルダのリストから削除したいホットフォルダを選択します。

3. [フォルダごと削除、および上記リストから削除]を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

4. メッセージの内容を確認して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ
- ホットフォルダ内のファイルのみを削除するには、[フォルダ内のファイルを削除]を選択します。

印刷について設定する

[ホットフォルダの追加／編集]ダイアログボックスの設定パネルで印刷条件を設定することができます。
各パネルで設定できる項目については以下をご覧ください。

- 用紙設定パネル →P.544
- 出力設定パネル →P.548
- 色設定パネル →P.550

用紙設定パネル

[目的設定モード]/[詳細設定モード]

最適な印刷の設定を行うために 2 つのモードがあります。
各モードで設定できる項目については以下をご覧ください。

- 目的設定モード →P.546
- 詳細設定モード →P.547

[用紙の種類]

用紙の種類を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

[給紙方法]

給紙方法を選択します。
給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[手差し]	手差しによる印刷の場合に選びます。
[手差し(余白 3mm)]	手差しによる印刷で、用紙後端の余白を小さくしたい場合に選びます。
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。

メモ

- [給紙方法]で[手差し(余白 3mm)]を選択すると、用紙によっては画像の後端が乱れる場合があります。この場合は、他の給紙方法を選択してください。

[ロール紙幅]

プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[オートカット]

ロール紙のカットを自動で行うか、またはカットラインを印刷するかを設定します。
オートカットには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[パネル優先]	本体の操作パネルに設定されている値になります。
[なし]	印刷が終わると、1 ページごとにロール紙をカットしないで、連続して次のデータを印刷します。
[カットラインを印刷]	印刷が終わると、1 ページごとに手動でカットするためのカットラインを印刷し、連続して次のデータを印刷します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 1〜999 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

目的設定モード

印刷目的のリストから原稿の内容に合った項目を選択するだけで、目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。

[印刷目的]

目的に応じた最適な設定の印刷を簡単に行うことができます。
[印刷目的]の各項目を選択すると、その項目に関するコメントがリストの下に表示されます。

設定項目	内容
[標準設定]	文字/画像/グラフィックスなどの混在する一般的な文書を適切な設定で印刷します。
[写真(カラー)]	デジタルカメラで撮影した写真画像を最適な設定で印刷します。
[ポスター]	ポスターに最適な設定です。彩度を高く、インパクトのある鮮やかな色で印刷します。
[忠実再現]	色差最小で印刷します。印刷結果が鮮やかすぎる場合やスキャナ画像を印刷する場合に適しています。
[写真 (Adobe RGB)]	Adobe RGB の色空間を使用して作成された画像を最適な色で印刷します。
[ビジネス文書]	配布資料など、一般的なオフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

[印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[600dpi] / [300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

詳細設定モード

優先画質や印刷品質などの詳細な設定を自分で行うことできます。

[優先画質]

印刷の内容に応じて適切な画質のモードを選択することができます。

設定項目	内容
[写真･イラスト]	写真画像やイラストに最適なモードで印刷します。
[線画･文字]	CAD 図面などの線画を印刷する場合、または壁新聞など文字が多い原稿を印刷する場合に最適なモードです。ただし、写真や塗り潰しの多い画像を印刷すると十分な品位が得られないことがあります。この時は[写真･イラスト]を選んでください。
[オフィス文書]	提案書や配布資料など、一般オフィス文書を見やすく印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類によって選択できる設定が変わります。

[印刷品質]

画質と印刷速度のバランスで印刷品質を選択できます。

印刷品質と解像度のレベルは以下の組み合わせで表示されます。

設定項目	内容
印刷品質	[最高]/[きれい]/[標準]/[速い]
解像度	[600dpi] / [300dpi]

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。
- [きれい]は[速い]よりも印刷時間とインクの消費は多くなりますが、印刷品質は高くなります。
- [速い]は[きれい]よりも印刷時間とインクの消費は少なくなりますが、印刷品質は低くなります。

[写真高精細]

階調性や均一性を向上させ、特に写真を高画質で印刷します。ただし、通常よりも印刷に時間がかかります。

メモ

- この機能は、用紙の種類などの設定によっては選択できません。

出力設定パネル

ホットフォルダの追加／編集

名称：

ホットフォルダ：

用紙設定 出力設定 色設定

拡大／縮小印刷

出力用紙サイズに合わせる

ロール紙の幅に合わせる

倍率を指定する 100 %(5〜600)

フチなしで印刷する

出力用紙サイズ： ISO A4

中央に印刷

上下余白なし(用紙節約)

ページを回転

右90度回転(用紙節約)

左90度回転(用紙節約)

180度回転

キャンセル OK

[拡大／縮小印刷]

拡大／縮小印刷の方法を選択します。
拡大／縮小印刷には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[出力用紙サイズに合わせる]	出力する用紙サイズに合わせて、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。[出力用紙サイズ]から実際に出力したいサイズを選びます。
[ロール紙の幅に合わせる]	原稿の幅がロール紙の幅に合うように、自動的に原稿全体を拡大／縮小して印刷します。 *[用紙設定]パネルの[ロール紙幅]に、プリンタに取り付けたロール紙の幅が正しく設定されていることを確認してください。 *[給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ表示されます。
[倍率を指定する]	指定した倍率で、原稿全体を拡大／縮小して印刷します。倍率を半角数字で入力してください。設定できる倍率は 5〜600%です。 *[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。 *出力用紙サイズより大きくなるように倍率を指定することは可能ですが、用紙に入りきらない部分は印刷されません。 *[フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

[フチなしで印刷する]

特定の幅のロール紙、および特定の種類の用紙を用いた場合に四辺の縁のない印刷を行うことができます。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ

- [拡大／縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

[中央に印刷]

画像をカット紙の中央に配置して印刷したいときや、ロール紙の幅に対して左右の余白を均等にとって印刷したいときには、この機能を使用します。

メモ

- [倍率を指定する]の機能を使って拡大または縮小印刷するときにも、この機能を使うと便利です。画像の倍率を指定すると、必ずそのページの左上の角に固定された始点を基準に拡大または縮小されます。そのため、縮小して印刷すると、用紙の下側と右側の余白が大きくなります。このときにこの機能を使用すると、上下左右の余白が均等になります。

[上下余白なし(用紙節約)]

印刷データの上下に空白部分がある場合に空白部分をなくして印刷します。空白部分については、紙を送らないので用紙を節約することができます。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[ページを回転]

ページを回転する方法を選択します。
ページを回転には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[右 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを右 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。 *[拡大／縮小印刷]で[ロール紙の幅に合わせる]が選択されている場合、ロール紙幅に合わせて回転後の画像を拡大／縮小します。
[左 90 度回転(用紙節約)]	縦長で作成したページを左 90 度回転して横長で印刷します。ページを回転させたとき、ロール紙幅に収まるときには自動的にページを回転し、ロール紙幅に収まらない場合は回転しません。 *[拡大／縮小印刷]で[ロール紙の幅に合わせる]が選択されている場合、ロール紙幅に合わせて回転後の画像を拡大／縮小します。
[180 度回転]	文書や画像を 180 度回転させて印刷します。

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

色設定パネル

[カラーモード]

印刷の内容に応じてカラーモードを選択することができます。

設定項目	内容
[カラー]	カラー印刷を有効にします。
[モノクロ(写真)]	モノクロ写真の画像データを、色転び(グレーに色がついて見える現象)のないグレー階調で印刷します。

設定項目	内容
[モノクロ]	カラー印刷を無効にし、カラーデータの連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。

メモ

- 選択した用紙の種類や優先画質によって選択できる設定が変わります。

[マッチングモード]

[マッチングモード]でマッチングモードを選びます。

設定項目	内容
ドライバ補正モード →P.551	ドライバ独自のカラープロファイルを用いて最適な色合いで印刷します。通常はこのモードを選択してください。
ICC 補正モード →P.552	ICC プロファイルを用いて、カラーマッチングを行います。入力プロファイル、プリンタプロファイル、マッチング方法を詳細に指定して印刷する場合に選択してください。デジタルカメラやスキャナの ICC プロファイル、プロファイル作成ツールで作成した ICC プロファイルなどを使用できます。
ColorSync モード →P.553	MacOS の ColorSync 機能を用いて、カラーマッチングを行います。ColorSync を使ったソフトプルーフを行って印刷する場合に選択してください。
[補正しない]	カラーマッチングを実行しません。アプリケーションでマッチングを実行する場合に選択します。

ドライバ補正モード

1. [マッチングモード]で[ドライバ補正モード]を選択します。

ホットフォルダの追加／編集
名称： Hot Folder
ホットフォルダ： Shared Folder
用紙設定 出力設定 色設定
カラーモード： カラー
マッチングモード： ドライバ補正モード
マッチング方法： 写真調
入力プロファイル：
sRGB v3.0 (Canon)
プリンタプロファイル：
sRGB v3.0 (Canon)
キャンセル OK

2. [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[自動]	イメージ、グラフィックス、テキストのそれぞれに最適なカラーマッチングを行います。
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[写真調(人肌・暗部優先)]	室内で撮影された人物写真や、薄暗い風景写真など、ローキーな写真を印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。暗部の階調つぶれを防止すると共に、人物の肌を温かみのある色合いで再現できます。

ICC 補正モード

1. [マッチングモード]で[ICC 補正モード]を選択します。

2. [マッチング方法]のリストをクリックし、設定を選びます。

設定項目	内容
[写真調]	一般的な写真を美しく印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。滑らかな階調性が特徴です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。

設定項目	内容
[鮮やかな色に]	ポスターなどを鮮やかに印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。
[色差最小]	画像データを、入力の色空間に忠実な色で印刷する目的に適したカラーマッチングを行います。色味を調整して印刷したい場合には最も扱いやすいモードです。ただし、プリンタの色再現領域よりも広い範囲の色は階調が失われる事があります。一般的に相対カラリメトリックとも呼ばれます。
[色差最小(白色点補正なし)]	カラーマッチングの処理方法は[色差最小]と同じです。さらに紙の色まで再現したい場合に使用します。一般的に絶対カラリメトリックとも呼ばれます。

3. [入力プロファイル]のリストをクリックし、入力プロファイルを選びます。

メモ

- 望みどおりの色で印刷されない場合は、お使いの Color imageRUNNER の iR 連携拡大コピー用の入力プロファイルを選択してください。

4. [プリンタプロファイル]のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

ColorSync モード

1. [マッチングモード]で[ColorSync モード]を選択します。

2. [プリンタプロファイル]のリストをクリックし、プリンタプロファイルを選びます。

メモ

- Mac OS X 10.3.9～10.4 で選択できます。

Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をプリンタで自動的に拡大して印刷することができます。
Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダへ送信すると、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。
この一連の機能を Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能と呼びます。
Color imageRUNNER 連携拡大コピー機能を使用するために、あらかじめ以下の流れで設定を行います。

1. コンピュータにホットフォルダを作成します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータを送信するホットフォルダをコンピュータに作成し、拡大コピーするための設定を行います。
2. Color imageRUNNER に読取設定を登録します。
   Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。

上記の設定が完了したら、Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信し、拡大印刷することができます。

コンピュータにホットフォルダを作成する

ホットフォルダとは、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]（iR 連携）機能で使用するフォルダです。Color imageRUNNER でスキャンした原稿のデータを格納するホットフォルダを、コンピュータに作成します。ホットフォルダには、このフォルダに送信されたデータを印刷する際の、画質や用紙サイズなどの印刷条件を設定できます。ホットフォルダを作成、編集するには、以下の手順を行います。

1. [アプリケーション]フォルダ内の[Canon Utilities]―[iR Enlargement Copy]フォルダにある[Color imageRUNNER 連携拡大コピー.app]アイコンをクリックするか、[ユーティリティ]パネルの[設定]をクリックし、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]ダイアログボックスを開きます。

メモ
- この画面の左下にはお使いのプリンタの絵が表示されます。

2. [拡大コピー用設定]の[追加]または[編集]をクリックし、ホットフォルダを作成、編集します。
ホットフォルダを作成、編集する手順については、[Color imageRUNNER 連携拡大コピー]のヘルプを参照してください。

Color imageRUNNER に読取設定を登録する

Color imageRUNNER でスキャンした原稿をホットフォルダに送信するための設定を行います。読取設定と送信先を Color imageRUNNER の[定型業務]ボタンとして登録すると、ホットフォルダへ簡単に送信できます。
Color imageRUNNER の[定型業務]ボタンに読取設定と送信先を登録する手順については、Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

原稿をスキャンして拡大印刷する

Color imageRUNNER で原稿をスキャンして、拡大印刷するには、以下の手順を行います。手順の詳細については、Color imageRUNNER のマニュアルを参照してください。

1. Color imageRUNNER の原稿台ガラスまたはフィーダに原稿をセットします。

2. [送信/ファクス](または[送信])を押し、送信画面を表示します。

3. [定型業務]ボタンを押し、ホットフォルダ用に登録した[定型業務]ボタンを押します。

4. 操作パネルの[スタート]ボタンを押します。原稿台ガラスで原稿をスキャンした場合は、すべての原稿をスキャンした後にタッチパネルディスプレイの[読込終了]を押してください。
スキャンした原稿がホットフォルダに送信され、ホットフォルダに設定されている印刷条件に従って、プリンタから自動的に拡大印刷されます。

Print Plug-In for Photoshop/Digital Photo Professional

Print Plug-In の特長

Print Plug-In の主な特長は以下のとおりです。

- sRGB 用または Adobe RGB 用の画像の色空間を自動認識し、最適なプロファイルを自動的に設定できます。このため、面倒な設定をすることなく Adobe RGB の印刷が実現できます。
- Photoshop 上の画像データを直接加工し、プリンタに画像データを転送することができます。これにより、RGB8bit だけでなく RGB16bit の画像データを処理することができます。
- 実画像を元にした画像プレビュー表示機能、出力用紙サイズ上の画像配置を元にしたレイアウトプレビュー機能によって、印刷レイアウトの確認や色調整ができます。
- プリンタの選択、用紙の種類、出力プロファイルの選択やマッチング方法などの基本的なプリンタの設定に加えて、フチなし印刷、拡大縮小処理などもプリンタドライバを経由せずに設定できます。
- 印刷履歴管理機能により、過去の印刷設定パラメータの読み込みができます。また、お気に入りをファイルとして保存できます。

メモ

- 用紙の種類、画像のサイズ、用紙の詳細設定、プリンタ本体の設定によっては、実際の出力が、Print Plug-In 上の設定(レイアウトプレビュー上の画像の配置、印刷開始位置、出力用紙サイズ)と異なる場合があります。

- 黒点補正を行うことにより、暗部の階調の潰れを軽減することができます。

メモ

- 黒点補正の機能を使用するには、Adobe CMM が必要です。

- 印刷機のプロファイルを指定して、印刷機のシミュレーション印刷を行うことができます。

動作環境

Print Plug-In の動作環境は、以下のとおりです。

- 対応 OS バージョン
  Mac OS X(10.3.9 以上)
- 対応 Photoshop バージョン
  Photoshop CS4、Photoshop CS3、Photoshop CS2、Photoshop CS
- 対応 Digital Photo Professional バージョン
  Digital Photo Professional バージョン 3.6x 以上
- インストールが必要なソフトウェア
  Photoshop または Digital Photo Professional、imagePROGRAF プリンタドライバ

メモ

- Photoshop のバージョンごとに、対応する OS のバージョンは異なります。詳しくは Adobe 社にご確認ください。
- Digital Photo Professional のバージョンごとに、対応する OS のバージョンは異なります。
- Mac OS X の Classic 環境での動作は、保証していません。

インストール手順

Print Plug-In をインストールする手順は、以下のとおりです。

メモ

- Print Plug-In をインストールする前に、必ずプリンタドライバをインストールしてください。

1. CD-ROM ドライブに、「User Software CD-ROM」を挿入します。

2. 「User Software CD-ROM」内の［Plug-in］フォルダを開き、［iPFxxxx PlugIn InstallerX］アイコンを開きます。

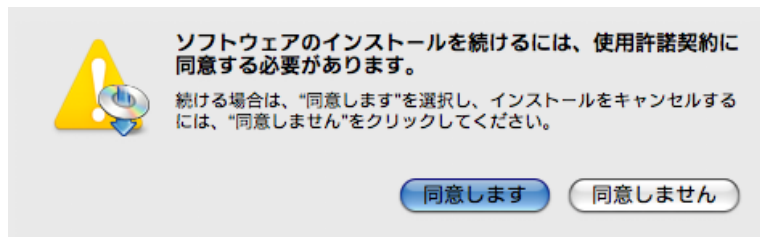
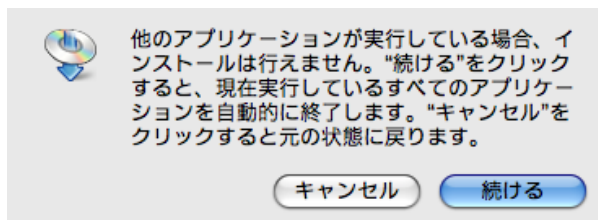
メモ

- アイコンの iPFxxxx はご使用のプリンタ名になります。

5

3. 管理者の名前とパスワードを入力して、［OK］ボタンをクリックします。

4. ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、［続ける］ボタンをクリックします。

5. [同意します]ボタンをクリックします。

6. [カスタムインストール]を選択し、ご使用の Print Plug-In にチェックマークを付けて、[インストール]ボタンをクリックします。

7. 他のアプリケーションを終了するために、[続ける]ボタンをクリックします。

8. [終了]ボタンをクリックします。

Print Plug-In のインストールが終了します。

アンインストール手順

Print Plug-In をアンインストールする手順は、以下のとおりです。

- Print Plug-In for Photoshop のアンインストール

1. Photoshop を終了します。
2. Finder で[Print Plugin for iPFxxxx]フォルダを表示させます。
3. [Print Plugin for iPFxxxx]フォルダを削除します。

メモ

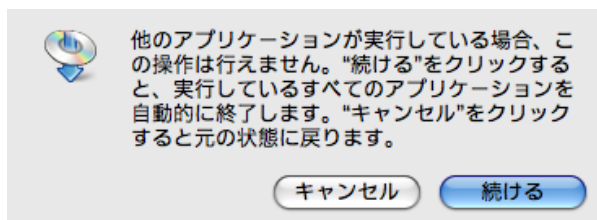
- iPFxxxx は、ご使用のプリンタ名になります。

- Print Plug-In for Digital Photo Professional のアンインストール

1. インストール手順の 1〜5 を行います。

2. [アンインストール]を選択します。

3. [アンインストール]ボタンをクリックします。

4. 他のアプリケーションを終了するために、[続ける]ボタンをクリックします。

5. [終了]ボタンをクリックします。

Photoshop からの起動方法

Photoshop から Print Plug-In を起動する手順は、以下のとおりです。

1. Photoshop を起動します。

2. 印刷したい画像を開きます。

3. 必要に応じて印刷する範囲を選択します。

メモ

- Print Plug-In で扱える画像は、幅または高さが 60,000pixel 未満のものです。画像の幅または高さが 60,000pixel 以上の画像は、選択範囲を小さくするか画像処理で小さくしてから、手順 3 を行ってください。

4. [ファイル]メニューから[書き出し](または[データ書き出し])を選択して、ご使用のプリンタに合った出力プラグインを選択します。
imagePROGRAF Print Plug-In for Photoshop ウィンドウ(以下、Print Plug-In ウィンドウ と呼びます)が表示されます。

メモ

- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、最新の imagePROGRAF プリンタドライバをインストールしてから、手順 3 を行ってください。
  [imagePROGRAF Print Plug-In をインストールするには、最新のバージョンの imagePROGRAF プリンタドライバがインストールされている環境が必要です。]
- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、Photoshop を単独で起動してください。
  [Photoshop を複数起動している場合は、プラグインを起動できない場合があります。]
- 以下のメッセージが表示されて、Print Plug-In ウィンドウが表示されない場合は、画像の色空間を RGB カラーかグレースケールに変換してから、手順 3 を行ってください。
  [画像の色空間を RGB カラーかグレースケールに設定してください。]

Digital Photo Professional からの起動方法

Digital Photo Professional から Print Plug-In を起動する手順は、以下のとおりです。

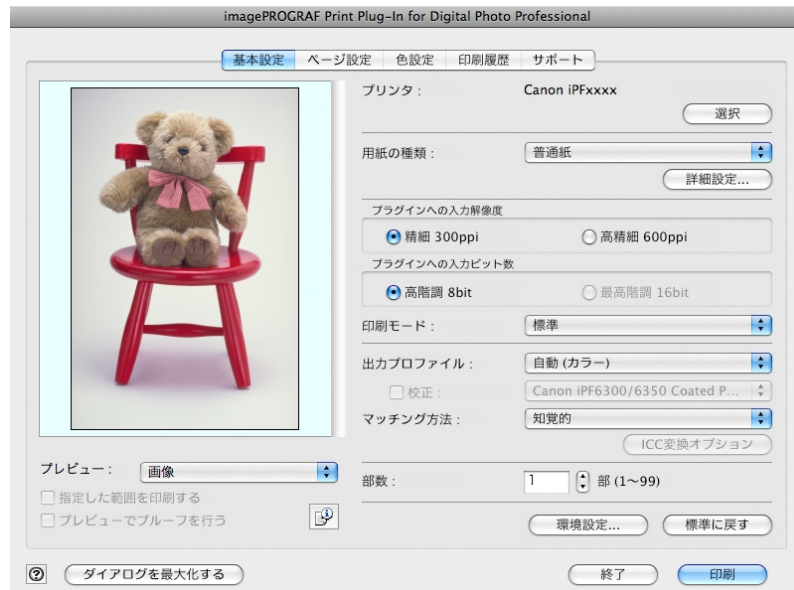
1. Digital Photo Professional を起動します。

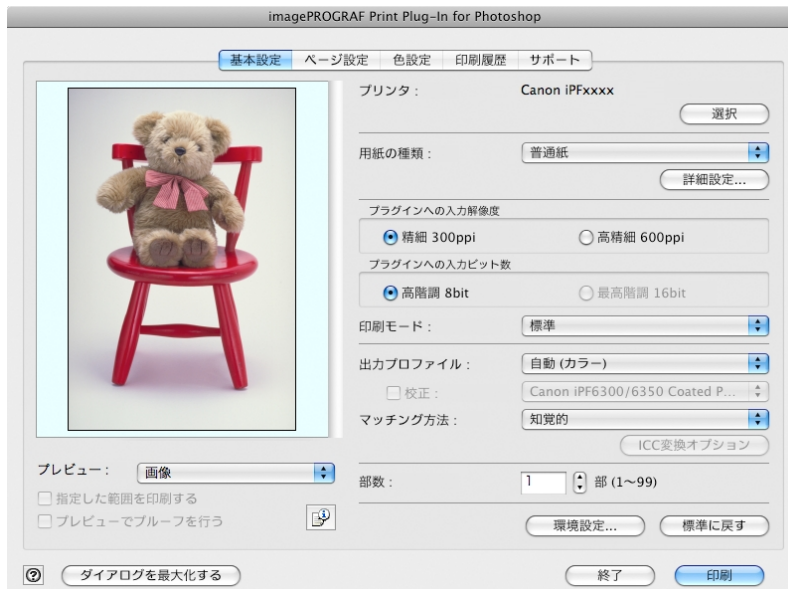
2. 印刷したい RGB カラーの画像を開きます。

3. 必要に応じて印刷する範囲を選択します。

メモ

- Print Plug-In で扱える画像は、幅または高さが 6,000pixel 未満のものです。画像の幅または高さが 6,000pixel 以上の画像は、選択範囲を小さくするか画像処理で小さくしてから、手順 3 を行ってください。

4. [ファイル]メニューから[プラグイン印刷]を選択して、ご使用のプリンタに合った出力プラグインを選択します。
imagePROGRAF Print Plug-In for Digital Photo Professional ウィンドウ(以下、Print Plug-In ウィンドウ と呼びます)が表示されます。

Print Plug-In の画面構成

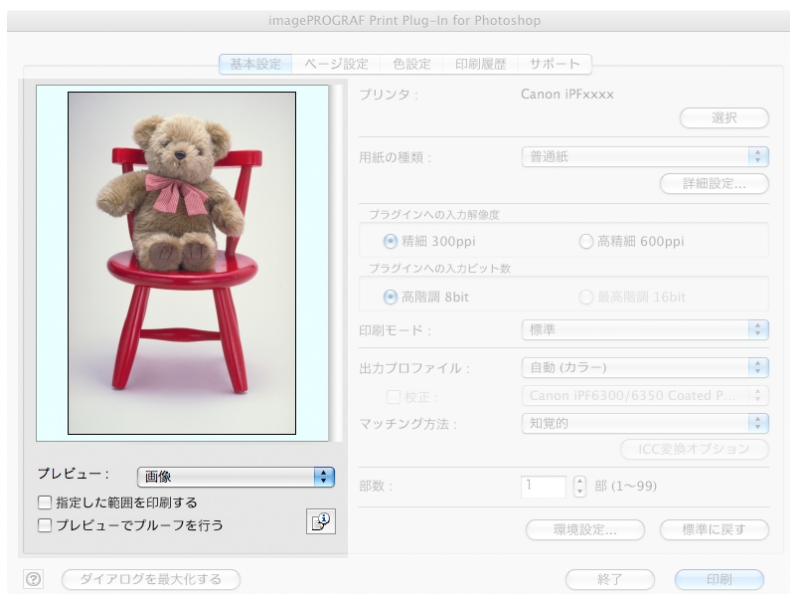
Print Plug-In ウィンドウは、パネル選択エリア、プレビューエリア、ボタンエリアで構成されています。ここでは、Print Plug-In を各部位に分けて説明します。

パネル選択エリア

Print Plug-In ウィンドウ上で各パネルを切り替えるためのタブが表示されています。

タブを選択すると、各パネルが表示されます。各パネルで設定できる項目については以下をご覧ください。

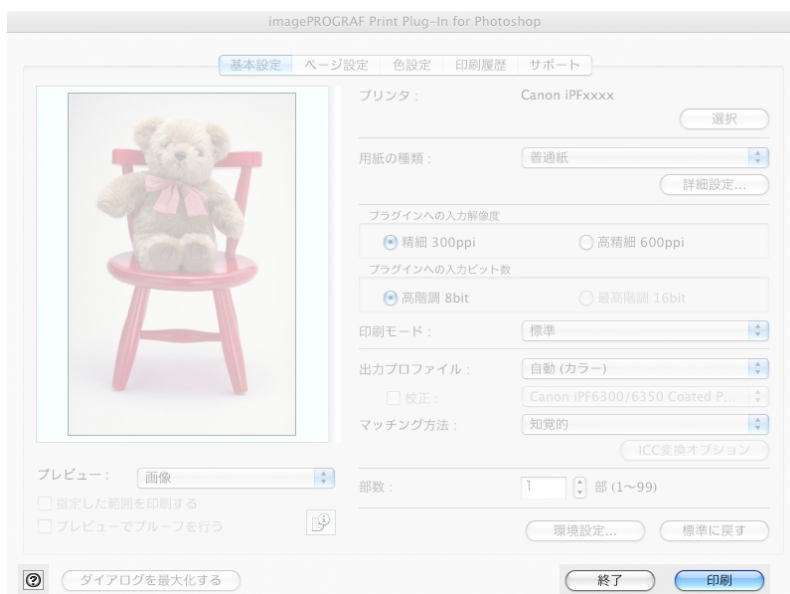
- 基本設定パネル →P.568
- ページ設定パネル →P.571
- 色設定パネル →P.574
- 印刷履歴パネル →P.575
- サポートパネル →P.576

プレビューエリア

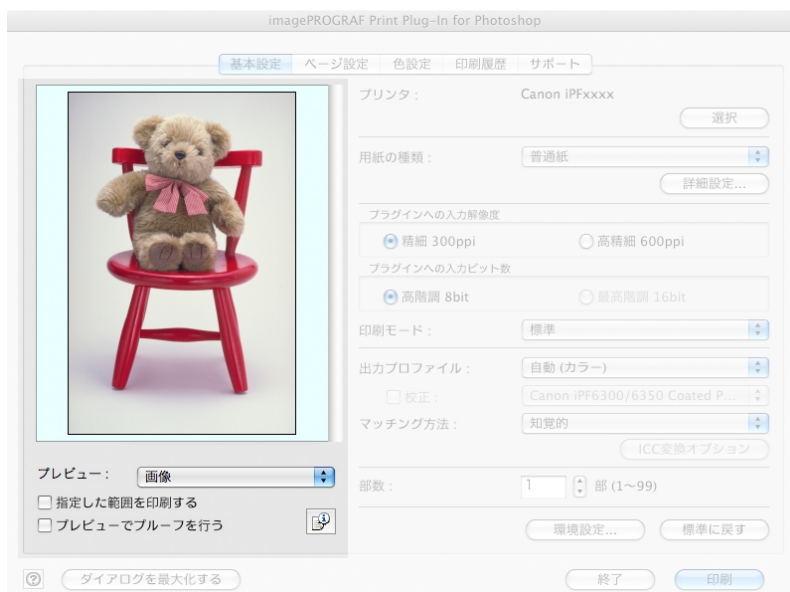
設定した内容が画像にどのように反映されるのかを確認することができます。

プレビューエリアで設定できる項目については、「プレビューエリア」を参照してください。→P.566

ボタンエリア

[印刷]、[終了]、[ヘルプ]のボタンがあります。

5

- [印刷]ボタン
  ボタンをクリックすると、印刷が開始されます。
- [終了]ボタン
  ボタンをクリックすると、Print Plug-In ウィンドウを閉じ、アプリケーションに戻ります。
- ボタン
  ボタンをクリックすると、Print Plug-In のヘルプが表示されます。

プレビューエリア

設定した内容が画像にどのように反映されるのかを確認することができます。

[プレビュー]

プレビュー表示の方法を選択します。

プレビューについて詳しくは、「3 種類のプレビューを活用する」を参照してください。→P.585

設定項目	内容
[印刷範囲レイアウト]	設定した[出力用紙サイズ]に合わせたレイアウトで、印刷される範囲以外もあわせて表示します。 *カーソルが 表示のときに画像をドラッグすると、画像の印刷位置を変更できます。
[画像]	画像全体が表示されます。 *カーソルが 表示のときに画像をドラッグすると、印刷範囲を選択することができます。 *カーソルが 表示のときに、画像をクリックすると、選択が解除されます。
[ロール紙プレビュー]	ロール紙に印刷するときのレイアウトで、上部に出力用紙サイズとロール紙情報もあわせて表示します。 *[ロール紙プレビュー]を選択するときは、[給紙方法]で[ロール紙]を選択してください。

[指定した範囲を印刷する]

チェックマークを付けると、選択範囲だけが印刷されます。

メモ

- [プレビュー]で[画像]を選択し、プレビュー表示で画像の一部を選択すると有効になります。

[プレビューでプルーフを行う]

チェックマークを付けると、プレビューに出力結果の色がシミュレーションして表示されます。

メモ

- [出力プロファイル]に[[自動(カラー)]を選択した場合、一部の用紙の種類に対して有効です。
- [出力プロファイル]に ICC プロファイルを選択した場合、常に有効です。
- ご使用の環境や条件などにより、シミュレーションの結果と、実際の印刷結果の色合いが異なる場合があります。また、[出力プロファイル]で、使用するプリンタやメディアに対応しない ICC プロファイルを選択した場合、実際の印刷結果とは異なる色合いになります。

[画像のプロパティ]ボタン

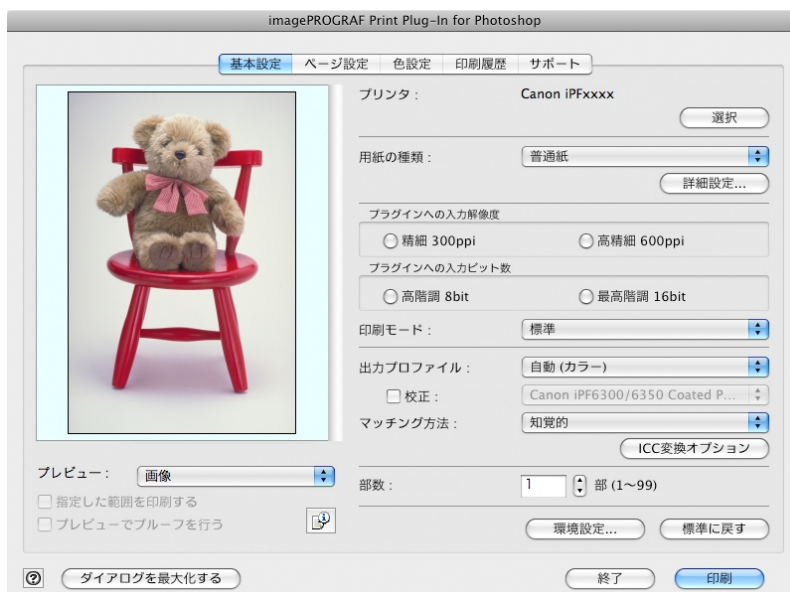
ボタンをクリックすると、[画像のプロパティ]ダイアログボックスが表示され、Print Plug-In に読み込んだ画像の[画像サイズ]、[解像度]、[ビット数]、[色空間]情報が表示されます。
[閉じる]ボタンをクリックすると、Print Plug-In に戻ります。

画像のプロパティ

画像サイズ： 幅 105.0mm x 高さ 157.5mm
解像度： 400dpi
ビット数： 8bit/チャンネル
色空間： sRGB IEC61966-2.1

閉じる

基本設定パネル

プリンタの選択、用紙の種類設定や画像の品質など、基本的な設定を行います。

[プリンタ]

プリンタの機種が表示されます。

[選択]ボタン

ボタンをクリックすると、[プリンタの選択]ダイアログボックスが表示されます。
[プリンタの選択]ダイアログボックスでプリンタを選択して[OK]ボタンをクリックすると、Print Plug-In に対応するプリンタを変更することができます。

[用紙の種類]

用紙の種類を選択します。
詳しくは、「用紙の設定をカスタマイズする」を参照してください。→P.607

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

[詳細設定]ボタン

ボタンをクリックすると、[用紙の詳細設定]ダイアログボックスが表示されます。
用紙の詳細設定について詳しくは、「用紙の詳細設定ダイアログボックス」を参照してください。→P.577

[プラグインへの入力解像度]

Print Plug-In で処理する画像の解像度を選択します。
解像度には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[精細 300ppi]	精細な解像度で画像処理が行われます。印刷速度とメモリ容量の抑制に効果があります。
[高精細 600ppi]	より高精細な解像度で画像処理が行われます。最良の印刷結果が得られますが、[精細 300ppi]を選択した場合より印刷に時間がかかります。また、メモリ容量が多く必要になります。

設定項目	内容
[高精細 600ppi]	*[用紙の種類]で設定した内容によっては、表示されない場合があります。

[プラグインへの入力ビット数]

Print Plug-In で処理するビット数を選択します。
入力ビット数には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[高階調 8bit]	8bit/チャンネル(24 ビット)で画像処理が行われます。
[最高階調 16bit]	16bit/チャンネル(48 ビット)で画像処理が行われます。 *[用紙の種類]と[プラグインへの入力解像度]で設定した内容によっては、表示されない場合があります。

[印刷モード]

画質と印刷速度のバランスで印刷モードを選択できます。
印刷モードには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[最高]	最高の解像度で、品質を重視する場合の設定です。他の選択肢と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、最も品質の高い印刷結果を得られます。
[きれい]	高解像度で、品質を重視する場合の設定です。[標準]や[速い]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは多くなりますが、印刷品質は高くなります。
[標準]	標準的な解像度で、品質と印刷時間の両方を重視する場合の設定です。[最高]や[きれい]と比較して、印刷にかかる時間を短縮することができます。
[速い]	印刷にかかる時間を短縮したい場合の設定です。レイアウトの確認などを効率よく行えます。
[最高(最大パス数)]	[最高]にしても暗部の濃度や階調性に不満がある場合に使用します。ただし、印刷にかかる時間は非常に遅くなります。

メモ

- 選択できる設定は、設定した[用紙の種類]、[プラグインへの入力解像度]、[プラグインへの入力ビット数]によって異なります。

[出力プロファイル]

出力プロファイルを選択します。
出力プロファイルには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[自動(カラー)]	入力画像データの色空間情報(sRGB, Adobe RGB)や、用紙の設定などから最適な色変換が行われます。通常はこの設定を選択してください。
[自動(モノクロ写真)]	入力画像データの色空間情報(sRGB, Adobe RGB)や、用紙の設定等から最適なモノクロへの変換を行います。
[なし(色補正しない)]	プラグインで色変換を行いません。オリジナルの ICC プロファイルを作成する場合に便利です。
[外部 ICC プロファイル]	OS 標準のフォルダに保存されている ICC プロファイルから、出力するプリンタの ICC プロファイルを選択します。入力データの色空間情報と、選択した ICC プロファイルを使用して色変換が行われます。

メモ

- [自動(モノクロ写真)]は、対応する用紙の種類にのみ選択できます。

重要

- ICCv4 プロファイルを使用するためには、Adobe CMM をインストールする必要があります。Adobe CMM のインストール方法は、Adobe CMM を使用する →P.598 を参照してください。

[校正]

[出力プロファイル]で ICC プロファイルを選択しているときに表示されます。
チェックマークを付けると、印刷機のシミュレーション印刷を行うことができます。
印刷機のシミュレーション印刷について詳しくは、印刷機のシミュレーション印刷を行う →P.601 を参照してください。

[マッチング方法]

色変換を行う際の処理方法を選択します。
マッチング方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[知覚的]	自然な色合いや階調に変換されます。写真の色補正に適しています。
[知覚的(人肌・暗部優先)]	暗い部分の多いローキーな写真に対して、人肌や暗部を美しく再現するために最適なカラーマッチングを行います。
[彩度]	色の鮮やかさを重視して変換されます。写真やイラストの色合いが変わることがあります。
[相対的な色域を維持]	画像の色合いを重視して変換されます。写真やイラストの色補正に適しています。

メモ

- [出力プロファイル]が、[自動(モノクロ写真)]および[なし(色補正しない)]の場合、選択することはできません。

[ICC 変換オプション]ボタン

[出力プロファイル]で ICC プロファイルを選択しているときに表示されます。
ボタンをクリックすると、[ICC 変換オプション]ダイアログボックスが表示され、カラー変換に関する設定を行うことができます。
ICC 変換オプションについて詳しくは、ICC 変換オプションダイアログボックス →P.580 を参照してください。

[部数]

印刷する部数を半角数字で入力します。

メモ

- 入力できる数値は 1〜99 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンをクリックしても、数値を変更することができます。

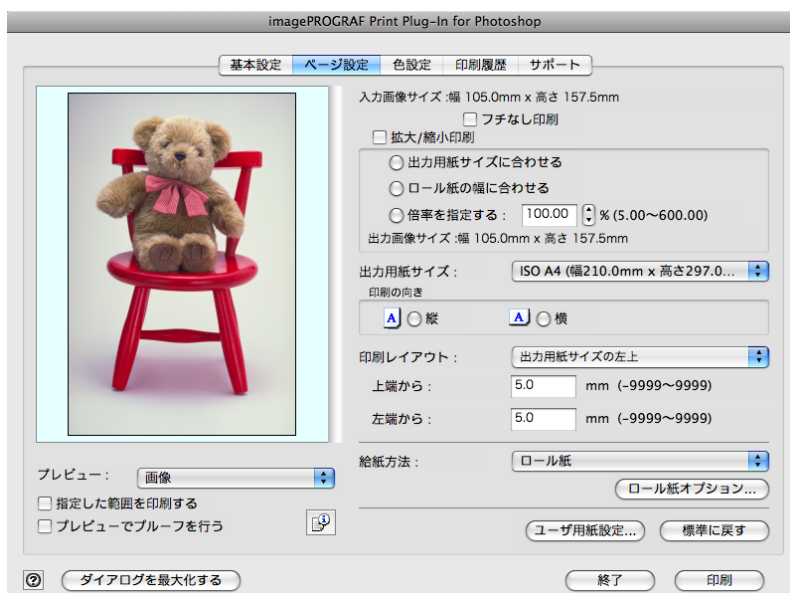
[環境設定]ボタン

ボタンをクリックすると、[環境設定]ダイアログボックスが表示され、シャープネスや画像拡大方法を設定することができます。
[環境設定]について詳しくは、「環境設定ダイアログボックス」を参照してください。→P.579

[標準に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、[基本設定]パネルで設定した項目が初期値に戻ります。

ページ設定パネル

印刷する画像のサイズや用紙のサイズ、画像の拡大/縮小などについて設定します。

[入力画像サイズ]

Print Plug-In に読み込んだ画像のサイズが表示されます。

[フチなし印刷]

チェックマークを付けると、[ロール紙幅の指定]ダイアログボックスが表示され、画像をフチなしで印刷するよう設定することができます。
[フチなし印刷]について詳しくは、「フチなしで印刷する」を参照してください。→P.606

メモ

- [給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ選択できます。

[拡大/縮小印刷]

チェックマークを付けると、画像を拡大/縮小して印刷することができます。
画像を拡大/縮小する場合は拡大/縮小の方法を選択します。選択した方法に合わせて、[出力画像サイズ]にプリンタに送信される画像サイズが表示されます。
拡大/縮小印刷には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[出力用紙サイズに合わせる]	Print Plug-In に読み込んだ画像が、出力する用紙サイズに合わせて、全体的に拡大/縮小されて印刷されます。
[ロール紙の幅に合わせる]	Print Plug-In に読み込んだ画像が、ロール紙の幅に合わせて、全体的に拡大/縮小されて印刷されます。 *[給紙方法]でロール紙が設定されている場合のみ表示されます。
[倍率を指定する]	Print Plug-In に読み込んだ画像が指定した倍率で拡大/縮小されます。倍率を半角数字で入力してください。設定できる倍率は 5〜600%です。

設定項目	内容
[倍率を指定する]	*[▲]ボタンまたは[▼]ボタンをクリックしても、数値を変更することができます。

メモ
- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

[出力画像サイズ]

出力される画像サイズがミリ単位で小数点以下 1 桁まで表示されます。

メモ
- [出力用紙サイズ]が[出力画像サイズ]よりも小さい場合、画像が一部欠けて印刷されます。

[出力用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを選択します。

メモ
- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

[印刷の向き]

印刷の向きを選択します。
印刷の向きには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[縦]	画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
[横]	画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

[印刷レイアウト]

用紙に対する画像を印刷する位置を選択します。
印刷レイアウトには、以下の設定があります。

[印刷レイアウト]

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>[出力用紙サイズの左上]</td><td colspan="2">[出力用紙サイズ]に対して、有効な印刷領域の左上に合わせて画像を印刷します。</td></tr>
<tr><td>[出力用紙サイズの中央]</td><td colspan="2">画像の中心が、選択した[出力用紙サイズ]の中心になるように印刷します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">[印刷開始位置を指定]</td><td colspan="2">[出力用紙サイズ]に対して、印刷領域の上端の開始位置と左端の開始位置を[上端から]と[左端から]に指定して印刷することができます。</td></tr>
<tr><td>[上端から]</td><td>用紙の上からの余白を半角数字で入力します。
*入力できる数値は、-9999～9999mm です。</td></tr>
<tr><td>[左端から]</td><td>用紙の左からの余白を半角数字で入力します。
*入力できる数値は、-9999～9999mm です。</td></tr>
</table>

メモ
- [印刷レイアウト]を選択するときは、[プレビュー]で[印刷範囲レイアウト]または[画像]を選択してください。

[ロール紙レイアウト]

設定項目	内容
[ロール紙幅の左上]	出力用紙サイズの左上が、選択したロール紙の左上にくるように印刷します。
[ロール紙幅の中央]	出力用紙サイズの中心が、選択したロール紙幅の中心にくるように印刷します。

メモ

- [ロール紙レイアウト]を選択するときは、[プレビュー]で[ロール紙プレビュー]を選択してください。

[給紙方法]

給紙方法を選択します。
給紙方法には、以下の設定があります。

設定項目	内容
[手差し]	手差しによる印刷の場合に選びます。
[手差し(余白 3mm)]	手差しによる印刷で、用紙後端の余白を小さくしたい場合に選びます。
[ロール紙]	ロール紙に印刷する場合に選びます。

メモ

- [給紙方法]で[手差し(余白 3mm)]を選択すると、用紙によっては画像の後端が乱れる場合があります。この場合は、他の給紙方法を選択してください。

[ロール紙オプション]ボタン

ボタンをクリックすると、[ロール紙オプション]ダイアログボックスが表示され、ロール紙の幅やオートカット設定などを設定することができます。
ロール紙オプションについて詳しくは、「ロール紙オプションダイアログボックス」を参照してください。
→P.581

[ユーザ用紙設定]ボタン

ボタンをクリックすると、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスが表示され、用紙名や、用紙サイズなどを設定できます。
ユーザ用紙設定について詳しくは、「ユーザ用紙設定ダイアログボックス」を参照してください。→P.581

[標準に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、[ページ設定]パネルで設定した項目が初期値に戻ります。

色設定パネル

画像の色調、[明るさ]、[コントラスト]、[鮮やかさ]などを調整して、印刷結果をより思いどおりの色合いに設定することができます。

[シアン]/[マゼンタ]/ [イエロー]

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、各色の強弱が調整されます。

メモ

- 調整具合は、プレビューで確認することができます。

[グレー色調]

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、グレーの色が冷黒(青みがかった色合い)から温黒(赤みがかった色合い)まで調整されます。

メモ

- 調整具合は、プレビューで確認することができます。

[明るさ]

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分を損なわずに印刷結果の明るさが調整されます。

メモ

- 調整具合は、プレビューで確認することができます。

[コントラスト]

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、最も明るい部分と最も暗い部分の明るさが相対的に調整されます。

メモ

- 調整具合は、プレビューで確認することができます。

[鮮やかさ]

半角数字で数値を入力するか、スライドバーをドラッグして動かすことで、ビビッドな色合いからくすんだ色合いまで鮮やかさが調整されます。

メモ

- 調整具合は、プレビューで確認することができます。

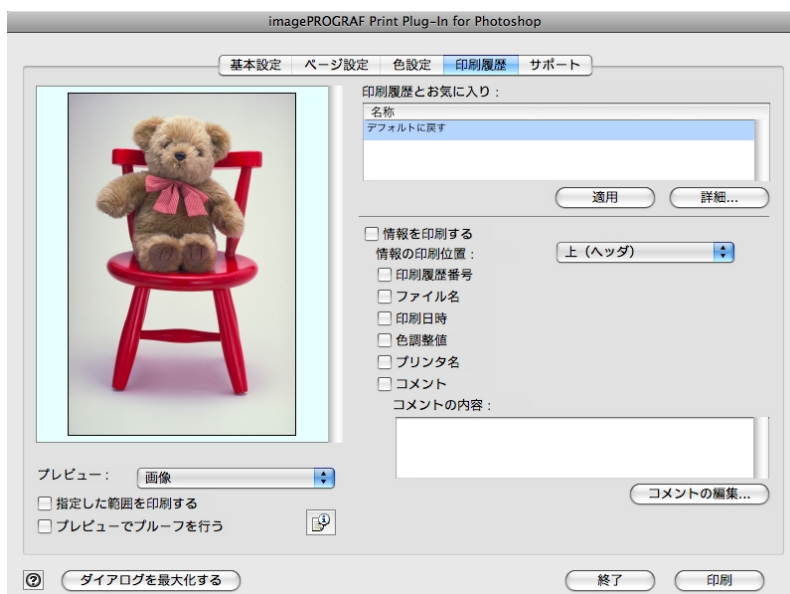
[トーンカーブ]ボタン

ボタンをクリックすると、[トーンカーブ]ダイアログボックスが表示され、[チャンネル]などを設定することができます。
[トーンカーブ]について詳しくは、「トーンカーブダイアログボックス」を参照してください。→P.583

[標準に戻す]ボタン

ボタンをクリックすると、[色設定]パネルで設定した項目が初期値に戻ります。

印刷履歴パネル

印刷に使用した設定の履歴を適用したり、画像のファイル名などの情報を画像とともに印刷する設定を行います。

[印刷履歴とお気に入り]

登録されたお気に入りが一覧で表示されます。
あらかじめ設けてある[デフォルトに戻す]を選択し、[適用]ボタンをクリックすると、全ての設定値が初期値に戻ります。

メモ

- 一覧上部には、お気に入りが 3 件まで表示されます。

[適用]ボタン

ボタンをクリックすると、[印刷履歴とお気に入り]で選択された印刷履歴の設定内容が画像に適用されます。

[詳細]ボタン

ボタンをクリックすると、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスが表示され、印刷履歴の管理を詳細に行うことができます。
印刷履歴の詳細について詳しくは、「印刷履歴の詳細ダイアログボックス」を参照してください。→P.584

[情報を印刷する]

チェックマークを付けると、画像とともにファイル名や印刷日時などを印刷することができます。印刷する位置や内容については、以下の項目を設定する必要があります。
[情報を印刷する]について詳しくは、「情報を画像とともに印刷するよう設定する」を参照してください。
→P.618

設定項目	内容	
[情報の印刷位置]	情報を印刷する位置を選択します。	
	[上(ヘッダ)]	画像の上に情報が印刷されます。
	[下(フッタ)]	画像の下に情報が印刷されます。
[印刷履歴番号]	チェックマークを付けると、印刷履歴番号が印刷されます。	
[ファイル名]	チェックマークを付けると、ファイル名が印刷されます。	
[印刷日時]	チェックマークを付けると、印刷日時が印刷されます。	
[色調整値]	チェックマークを付けると、色調整値が印刷されます。	
[プリンタ名]	チェックマークを付けると、プリンタ名が印刷されます。	
[コメント]	チェックマークを付けると、コメントの内容が印刷されます。	
[コメントの内容]	チェックマークを付けると、コメントの内容が表示されます。	

[コメントの編集]ボタン

ボタンをクリックすると、[コメントの編集]ダイアログボックスが表示され、コメントを編集することができます。

サポートパネル

製品に関するサポート情報や電子マニュアルを表示します。

[サポート情報]ボタン

ボタンをクリックすると、製品に関する最新情報を記載したウェブサイトを表示します。

メモ

- 各ウェブサイトを閲覧するには、インターネットに接続する必要があります。

[製品マニュアル]ボタン

ボタンをクリックすると、コンピュータにインストールされているプリンタの製品マニュアルを表示します。

メモ

- 製品マニュアルがお使いのコンピュータにインストールされている必要があります。

[バージョン情報]ボタン

ボタンをクリックすると、Print Plug-In のバージョン情報ウィンドウが表示されます。バージョン情報ウィンドウの[OK]ボタンをクリックすると、Print Plug-In ウィンドウに戻ります。

用紙の詳細設定ダイアログボックス

[基本設定]パネルで、[詳細設定]ボタンをクリックすると、表示されます。用紙の種類に対して[インク乾燥時間]や[ロール紙の安全余白]などを詳細に設定することができます。

[インク乾燥時間]

[ページ間]
インク乾燥のため、用紙を排紙するまでの待ち時間を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	印刷終了後、すぐに排紙されます。
[30 秒] / [1 分] / [3 分] / [5 分] / [10 分] / [30 分] / [60 分]	印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙されます。

[スキャン間]
1 ラインを印刷後、次のラインを印刷するまでの待ち時間を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[なし]	1 ライン印刷後、すぐに次のラインが印刷されます。
[1 秒] / [3 秒] / [5 秒] / [7 秒] / [9 秒]	1 ライン印刷後、設定した時間が経過してから次のラインが印刷されます。 *ページ内でにじみが発生したときや、フチなし印刷時に色ムラが発生したときには時間を増やしてください。

[ロール紙の安全余白]

[先端余白]
ロール紙の先端余白の長さを選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[3mm]	定型サイズで印刷されます。 *印刷に特に問題がないときに選択してください。
[20mm]	用紙サイズが定型サイズよりも紙送り方向に 17mm 大きく印刷されます。 *カールの強い用紙を使用した場合など、プリントヘッドのこすれが発生する場合に選択してください。

[カットスピード]

オートカットのスピード設定を選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[高速]	[標準]の設定で切断面がきれいにならないときに選びます。
[標準]	オートカットで特に問題ない場合に選びます。
[低速]	[標準]の設定で切断面がきれいにならないときに選びます。

[キャリブレーション調整値]

プリンタ本体でカラーキャリブレーションを行った場合に、その結果を印刷時に使用するかしないかを選択します。

設定項目	内容
[パネル優先]	プリンタ本体の操作パネルでの設定が適用されます。
[有効]	キャリブレーション結果を使用して印刷します。
[無効]	キャリブレーション結果を使用しないで印刷します。カラーキャリブレーションによって印刷中の画像の色味が変わってしまうことを避けたい場合に選択します。

[鏡像]

鏡像印刷を行うかどうかを選択できます。クリックしてチェックボックスをオンにすると、文書や画像を鏡に映したように左右を反転させて印刷します。

[片方向印刷]

チェックボックスをオンにすると、罫線ずれなどを防ぎ、印刷品質が向上します。ただし、印刷スピードは遅くなります。

[文字･線画高精細]

インクの着弾精度を高め､特に文字や線画をくっきりと印刷します。ただし､通常よりも印刷に時間がかかります。

メモ

- 印刷モードで[最高(最大パス数)]が選択されているときには､[文字･線画高精細]は選択できません。

環境設定ダイアログボックス

[基本設定]パネルで､[環境設定]ボタンをクリックすると､表示されます。シャープネスや画像拡大方法を設定することができます。

[シャープネス]

シャープネス(輪郭強調)の設定を行います。

[画像拡大方法]

画像拡大方法を選択します。
画像拡大方法には､以下の設定があります。

設定項目	内容
[ニアレストネイバー]	単純拡大を行います。
[バイリニア]	線形拡大を行います。
[バイキュービック]	周辺のピクセルの色調や明るさなどの要素を計算して､ピクセルを補完します。

[バックグラウンド印刷を行う]

チェックマークを付けると､プラグインからの印刷をバックグラウンドで行います。

[印刷後にプラグインを閉じる]

チェックマークを付けると､印刷終了時にプラグインを終了します。

メモ

- キャンセルやエラーなどで印刷が正常に終了しなかった場合は､終了しません。

[すべての警告ダイアログボックスを初期化]

チェックマークを付けると、「次回からこの画面は表示しない」設定にしたすべての警告ダイアログを表示するようにします。

ICC 変換オプションダイアログボックス

[基本設定]パネルの[出力プロファイル]リストで ICC プロファイルを選択し、[ICC 変換オプション]ボタンをクリックすると、表示されます。カラーマッチングに関する詳細を設定することができます。

[変換エンジン]

色変換の際に使用する変換エンジンを選択します。

メモ

- [Adobe CMM]を使用するためには、Adobe CMM をインストールする必要があります。Adobe CMM のインストール方法は、Adobe CMM を使用する →P.598 を参照してください。

[黒点補正を使用]

黒点補正を行う場合にチェックマークをつけます。黒点補正を行うと、暗部の階調の潰れを改善できます。

メモ

- [変換エンジン]で[Adobe CMM]が選択されているときに使用できます。

[校正オプション]

印刷機シミュレーションに関する設定を行います。
校正オプションには以下の設定があります。

設定項目	内容
[紙色シミュレート]	紙色のシミュレートを行うときに選択します。

ロール紙オプションダイアログボックス

[ページ設定]パネルで、[ロール紙オプション]ボタンをクリックすると、表示されます。ロール紙の幅やオートカット設定などを設定することができます。

[ロール紙幅]

プリンタ本体で設定されたロール紙の幅を選択します。

[オートカット]

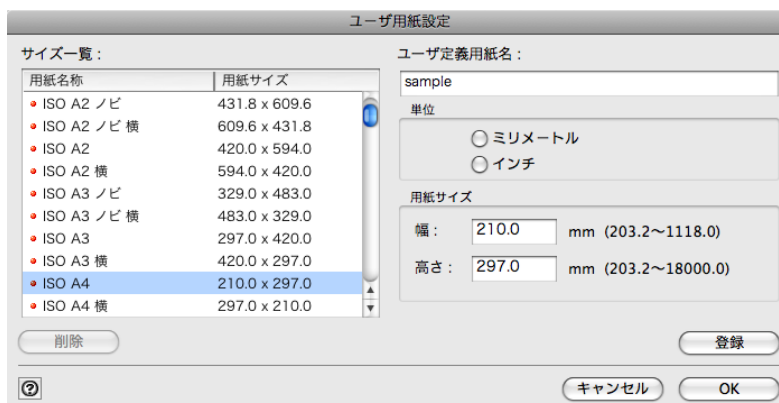
ロール紙のカットを自動で行うか、またはカットラインを印刷するかを設定します。
オートカットには、以下の設定があります。

設定項目	内容
[あり]	印刷が終わると、自動的に用紙がカットされます。
[なし]	印刷が終わると、1 ページごとにロール紙をカットしないで、連続して次のデータを印刷します。
[カットラインを印刷]	印刷が終わると、1 ページごとに線を印刷し連続して次のデータを印刷します。

[上下余白なし(用紙節約)]

チェックマークを付けると、ロール紙の上下に余白を設定せずに印刷されます。

ユーザ用紙設定ダイアログボックス

[ページ設定]パネルで、[ユーザ用紙設定]ボタンをクリックすると、表示されます。用紙名や、用紙サイズなどを設定できます。

[サイズ一覧]

標準サイズとユーザ定義用紙の全てを表示します。

[ユーザ定義用紙名]

任意の名称を、半角で最大 63 文字、全角で最大 31 文字の範囲で入力します。

[単位]

ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位を選択します。これを切り替えると、Print Plug-In の全ての単位が切り替わります。

[用紙サイズ]

[幅]
用紙サイズの幅を入力します。

[高さ]
用紙サイズの高さを入力します。

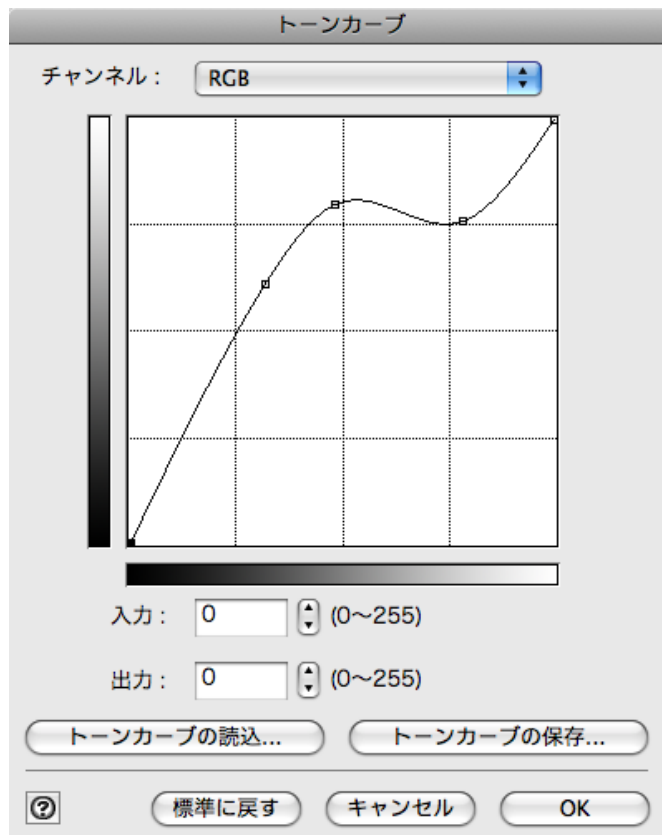
メモ

- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[登録]ボタン

ボタンをクリックすると、設定した内容を登録します。

トーンカーブダイアログボックス

[色設定]パネルで、[トーンカーブ]ボタンをクリックすると、表示されます。[チャンネル]などを設定することができます。

[チャンネル]

[RGB]、[レッド]、[グリーン]、[ブルー]のいずれかを選択します。

メモ

- モノクロ印刷の場合は[グレー]と表示され、選択することはできません。

[入力]

入力値を入力します。

メモ

- 入力できる数値は、0〜255 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[出力]

出力値を入力します。

メモ

- 入力できる数値は、0〜255 です。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

[トーンカーブの読込]ボタン

ボタンをクリックすると、保存したトーンカーブの設定を読み込みます。

[トーンカーブの保存]ボタン

ボタンをクリックすると、トーンカーブの現在の設定を保存します。

印刷履歴の詳細ダイアログボックス

[印刷履歴]パネルで、[詳細]ボタンをクリックすると、表示されます。印刷履歴の管理を行います。[印刷履歴の詳細]について詳しくは、「印刷履歴を活用する」を参照してください。→P.607

[印刷履歴]

印刷履歴が一覧で表示されます。

表示項目	内容
[印刷履歴番号]	印刷履歴の管理番号が表示されます。
[ファイル名]	画像のファイル名が表示されます。
[印刷日時]	印刷日時が表示されます。
[コメント]	コメントの内容が表示されます。

メモ

- 表示可能な印刷履歴は最大 200 件までです。200 件を超えると、古い履歴から削除されます。
- キャンセルやエラーにより正常に印刷できなかった場合、印刷履歴番号の左側に ✕ が表示されます。

[削除]ボタン

ボタンをクリックすると、選択されている印刷履歴が削除されます。

[登録]ボタン

ボタンをクリックすると、選択されている印刷履歴がお気に入りに登録されます。

メモ

- お気に入りは最大 200 件まで追加できます。

[お気に入り]

お気に入りに登録した印刷履歴が一覧で表示されます。

メモ
- 選択してドラッグすると、並び順を変更することができます。

[読み込み]ボタン

ボタンをクリックすると、ファイルとして保存されている印刷履歴を読み込むことができます。

[書き出し]ボタン

ボタンをクリックすると、お気に入りに登録されている印刷履歴をファイルとして保存することができます。

[削除]ボタン

ボタンをクリックすると、お気に入りに登録された印刷履歴を削除することができます。

[設定内容]

[印刷履歴]または[お気に入り]で選択された印刷履歴の内容が表示されます。

表示項目	内容
[基本設定]	選択すると、[基本設定]パネルで設定した内容が表示されます。
[ページ設定]	選択すると、[ページ設定]パネルで設定した内容が表示されます。
[色設定]	選択すると、[色設定]パネルで設定した内容が表示されます。

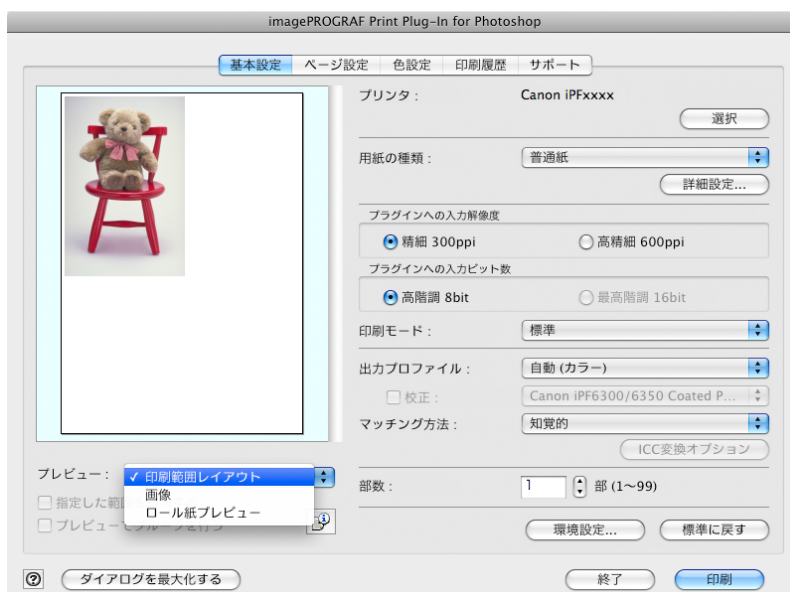
3 種類のプレビューを活用する

Print Plug-In では、3 種類のプレビュー表示で画像を確認することができます。
プレビュー表示の種類は、以下のとおりです。

- 印刷範囲レイアウトで画像を確認する →P.586
- 画像で元画像を確認する →P.587
- ロール紙プレビューで画像を確認する →P.587

印刷範囲レイアウトで画像を確認する

印刷範囲レイアウトでは、設定した出力用紙サイズに合わせたレイアウトで、印刷される範囲以外もあわせて表示します。
[プレビュー]で、[印刷範囲レイアウト]を選択します。

メモ

- プレビュー表示上でカーソルが の状態になると、画像をドラッグして印刷位置を指定することができます。
- カーソルが の状態になるのは、[ページ設定]パネルで以下の条件をすべて満たしているときです。
  - [フチなし印刷]のチェックマークが付いていない。
  - [拡大/縮小印刷]のチェックマークが付いていない、または[倍率を指定する]が選択されている。
  - [印刷レイアウト]で、[ロール紙幅の中央]が選択されていない。

画像で元画像を確認する

画像プレビューでは、入力された画像全体を確認することができます。
[プレビュー]で、[画像]を選択します。

メモ

- [プレビュー]で[画像]を選択している場合は、カーソルが ＋ の状態でプレビュー表示上をドラッグすると、[指定した範囲を印刷する]が有効になり、選択範囲だけを印刷することができます。
- カーソルが 🔍 の状態でプレビュー表示上をクリックすると、選択が解除されます。

ロール紙プレビューで画像を確認する

ロール紙プレビューでは、ロール紙に印刷するときのレイアウトで、上部に出力用紙サイズとロール紙情報もあわせて表示します。
[プレビュー]で、[ロール紙プレビュー]を選択します。

メモ

- [プレビュー]で[ロール紙プレビュー]を選択するときは、[給紙方法]で[ロール紙]を選択してください。

お好みの画質で印刷する

お好みの解像度を指定して、印刷することができます。

1. [基本設定]パネルを表示します。

2. [用紙の種類]で、プリンタにセットされている用紙を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

3. [プラグインへの入力解像度]で、画像を処理する解像度として[精細 300ppi]または[高精細 600ppi]のいずれかを選択します。

メモ

- [精細 300ppi]を選択すると、精細な解像度で画像処理を行います。印刷スピードとメモリ容量の抑制に効果があります。
- [高精細 600ppi]を選択すると、より高精細な解像度で画像処理を行います。最良の印刷結果が得られますが、[精細 300ppi]を選択した場合より印刷に時間がかかります。また、メモリ容量が多く必要になります。
- [用紙の種類]で選択した内容によっては、[高精細 600ppi]は表示されません。

4. [プラグインへの入力ビット数]で、画像を処理するビット数として[高階調 8bit]または[最高階調 16bit]のいずれかを選択します。

メモ

- [高階調 8bit]を選択すると、画像が 8bit/チャンネル(24 ビット)で画像処理されます。
- [最高階調 16bit]を選択すると、画像が 16bit/チャンネル(48 ビット)で画像処理されます。
- [用紙の種類]または[プラグインへの入力解像度]で選択した内容によっては、[最高階調 16bit]は表示されません。

5. [印刷モード]で、画像を処理する印刷モードを選択します。

メモ

- 選択できる設定は、設定した[用紙の種類]、[プラグインへの入力解像度]、[プラグインへの入力ビット数]によって異なります。

6. [印刷]ボタンをクリックします。

印刷が開始されます。

色を調整して印刷する

希望する色調で画像が印刷されるように調整することができます。
Print Plug-In で色を調整する方法として以下の 5 つを紹介します。

- プレビュー表示で確認しながら色を調整する(カラーの場合) →P.589
- プレビュー表示で確認しながら色を調整する(モノクロの場合) →P.591
- カラーマッチングで色を調整する →P.595
- Adobe RGB16bit 画像をきれいに印刷する →P.596
- 高品質なモノクロの写真を印刷する →P.598
- Adobe CMM を使用する →P.598

プレビュー表示で確認しながら色を調整する(カラーの場合)

プレビュー表示で調整内容を確認しながら、色を調整することができます。
以下の画像調整を例とした手順を説明しています。

- [シアン]を[弱く]
- [イエロー]を[強く]
- [鮮やかさ]を[弱く]
- [グレー色調]を[温黒]
- トーンカーブで明るさを強調

上記画像調整の適用前と適用後は、以下のとおりです。

1. [色設定]パネルを表示します。

2. [シアン]で、スライドバーを[弱く]の方向にドラッグします。

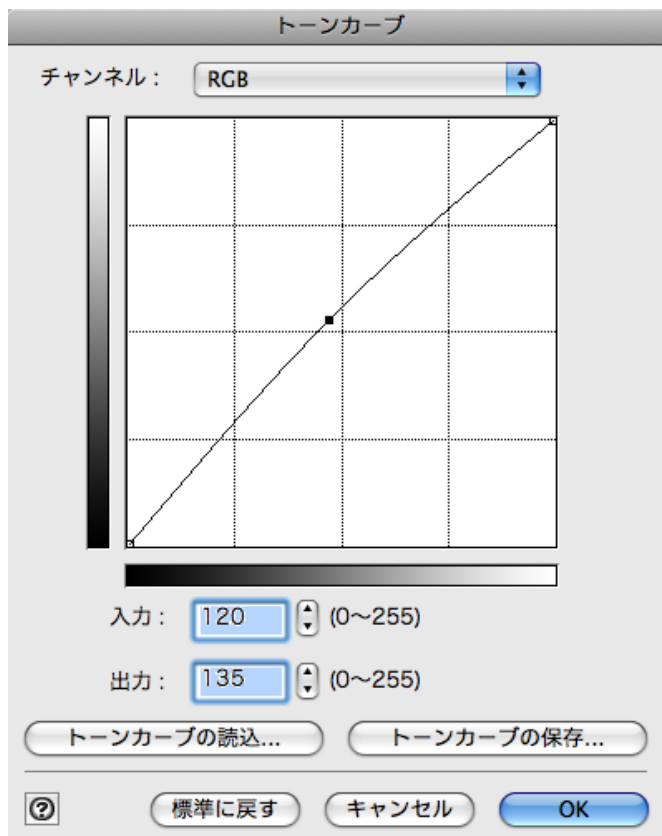
3. [イエロー]で、スライドバーを[強く]の方向にドラッグします。

4. [鮮やかさ]で、スライドバーを[弱く]の方向にドラッグします

5. [グレー色調]で、スライドバーを[温黒]の方向にドラッグします。

メモ
- 半角数字で入力しても、数値を変更することができます。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

6. [トーンカーブ]ボタンをクリックして、トーンカーブの中心付近をクリックします。

7. [入力]に 120 を、[出力]に 135 を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

8. [印刷]ボタンをクリックします。

画像調整が適用され、印刷が開始されます。

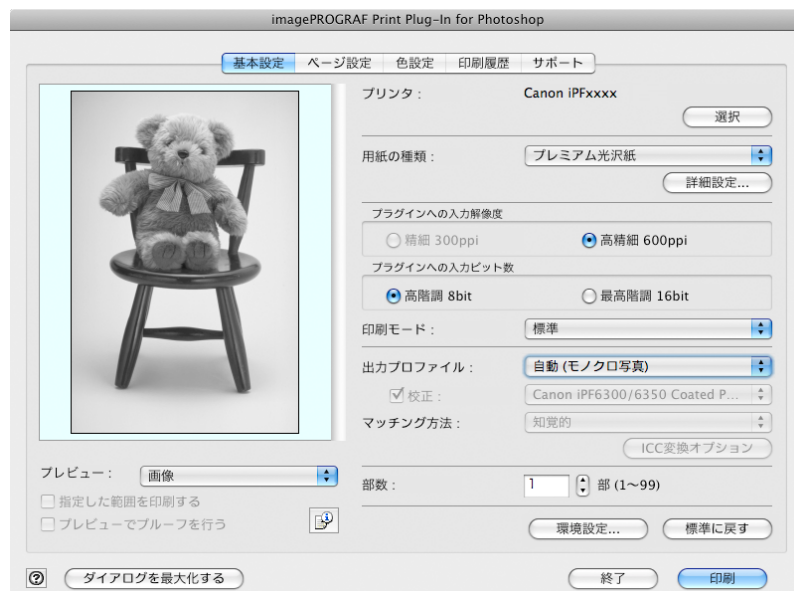
プレビュー表示で確認しながら色を調整する(モノクロの場合)

プレビュー表示で調整内容を確認しながら、色を調整することができます。
以下の画像調整を例とした手順を説明しています。

- [コントラスト]を[弱く]
- [ハイライト]を[明るく]
- [シャドー]を[明るく]
- トーンカーブで明るさを強調

上記画像調整の適用前と適用後は、以下のとおりです。

1. [基本設定]パネルを表示します。

2. [出力プロファイル]で、[自動(モノクロ写真)]を選択します。

3. [色設定]パネルを表示します。

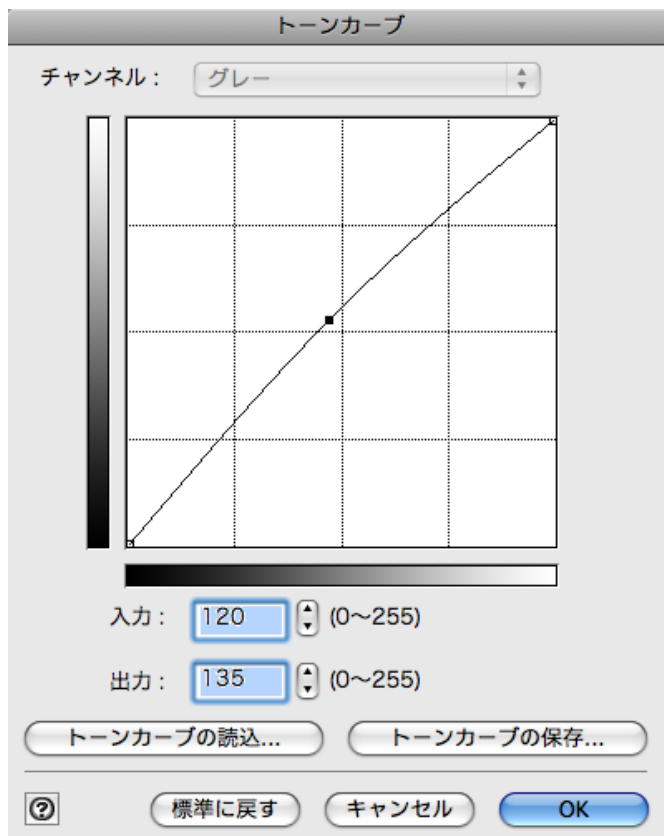
4. [コントラスト]で、スライドバーを[弱く]の方向にドラッグします。

5. [ハイライト]で、スライドバーを[明るく]の方向にドラッグします。

6. [シャドー]で、スライドバーを[明るく]の方向にドラッグします。

メモ
- 半角数字で入力しても、数値を変更することができます。
- [▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押しても、数値を変更することができます。

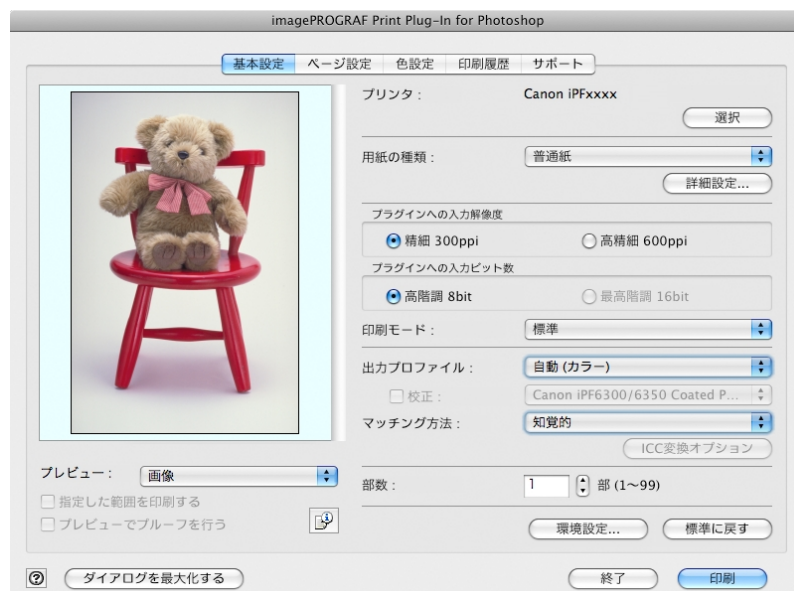
7. [トーンカーブ]ボタンをクリックして、トーンカーブの中心付近をクリックします。

8. [入力]に 120 を、[出力]に 135 を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

9. [印刷]ボタンをクリックします。

画像調整が適用され、印刷が開始されます。

カラーマッチングで色を調整する

スキャナやデジタルカメラなどから取り込んだカラー画像を印刷すると、画面上で見たイメージとは異なることがあります。それは、画面上で表示される色とプリンタが印刷する色に違いがあるためです。Print Plug-In では、メディアや解像度設定などに応じて最適な色変換を行う内蔵プロファイルの他、ICC（International Color Consortium）のカラープロファイルを設定したり、マッチングモードの設定を行うことによって、画面上で表示される色合いとプリンタで印刷した色合いをより近付けることができます。

1. [基本設定]パネルを表示します。

2. [出力プロファイル]で、プロファイルを選択します。

メモ

- [プレビューでプルーフを行う]にチェックマークを付けると、カラーマッチングをプレビュー表示で確認することができます。[用紙の種類]で設定した内容によっては、表示されない場合があります。
- [出力プロファイル]で設定した内容は、Print Plug-In を終了しても保存されますが、指定したプロファイルが見つからない場合は、[自動（カラー）]に設定されます。
- [出力プロファイル]で ICC プロファイルを選択している場合は、色変換エンジンに Adobe CMM を選択することができます。詳しくは、Adobe CMM を使用する →P.598 を参照してください。

3. [マッチング方法]で、プロファイルのマッチング方法を選択します。

4. [印刷]ボタンをクリックします。

設定した出力プロファイルやマッチング方法で、印刷が開始されます。

Adobe RGB16bit 画像をきれいに印刷する

高機能なデジタルカメラで撮影された Adobe RGB16bit の画像を高品位で印刷します。Print Plug-In では、Photoshop でレタッチした Adobe RGB16bit の画像データを広色域・高階調のまま直接印刷処理するため、画像の階調性を損なうことなく印刷することができます。

1. Photoshop で Adobe RGB16bit の画像データを選択して、Print Plug-In を起動します。（「Photoshop からの起動方法」参照） →P.562

2. ボタンをクリックします。

3. ［画像のプロパティ］ダイアログボックスで、［ビット数］に［16bit/チャンネル］、［色空間］に［Adobe RGB］と表示されていることを確認して、［閉じる］ボタンをクリックします。

4. [基本設定]パネルを表示します。

5. [プラグインへの入力解像度]で、[高精細 600dpi]を選択します。

6. [プラグインへの入力ビット数]で、[最高階調 16bit]を選択します。

7. [印刷モード]で、できるだけ高品質の印刷モードを選択します。

8. 必要があれば、カラーマッチングで色を調整します。

メモ

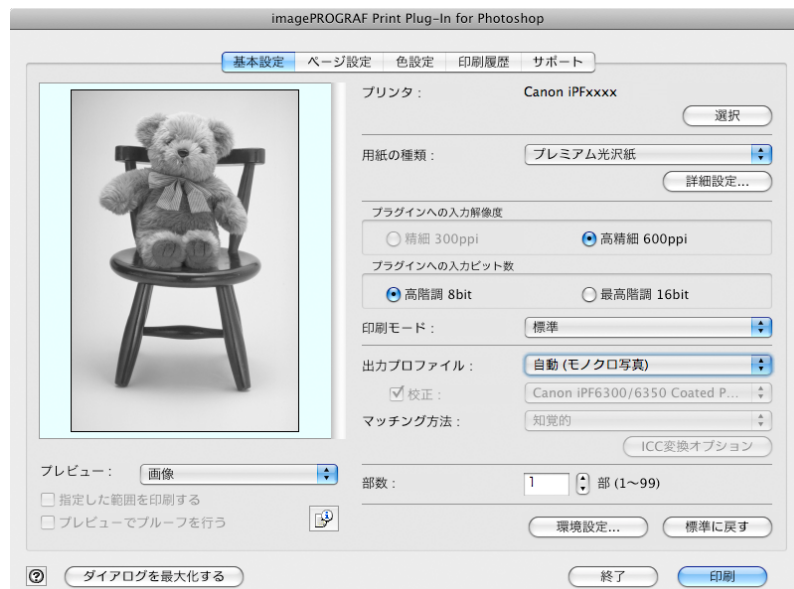
- カラーマッチングについて詳しくは、「カラーマッチングで色を調整する」を参照してください。 →P.595

9. [印刷]ボタンをクリックします。

Adobe RGB16bit 画像の印刷が開始されます。

高品質なモノクロの写真を印刷する

スキャナやデジタルカメラなどから取り込んだ画像を、高品質なモノクロで印刷できます。グレーに色がついて見える現象(色転び)を改善したり、光源の影響を小さくしたりすることができます。

1. [基本設定]パネルを表示します。

2. [出力プロファイル]で、[自動(モノクロ写真)]を選択します。

メモ
- [自動(モノクロ写真)]は一部の[用紙の種類]を選択した場合にのみ選択できます。

3. [印刷]ボタンをクリックします。
   最適なモノクロへの変換が行われ、印刷が開始されます。

Adobe CMM を使用する

Adobe CMM は Adobe 社製の色変換エンジンです。Adobe CMM を使用することにより、色変換結果の一貫性が得られ、また黒点補正機能が使用できるようになります。

Adobe CMM の入手方法

Adobe CMM は以下の手順で入手します。

1. Adobe 社のウェブサイト(http://www.adobe.com)を開きます。
2. 画面内の検索用入力ボックスに「Adobe CMM」と入力します。
3. 「Adobe Color Management Module (CMM)」の項目が検索されたら、Macintosh 版を選択します。
4. 画面の指示に従ってファイルをダウンロードします。

5. ダウンロードしたファイルのインストーラを起動し、インストールを行います。

重要
- Adobe CMM はバージョン 1.1 以上を使用してください。

Adobe CMM の動作環境

Adobe CMM の動作環境は、以下のとおりです。

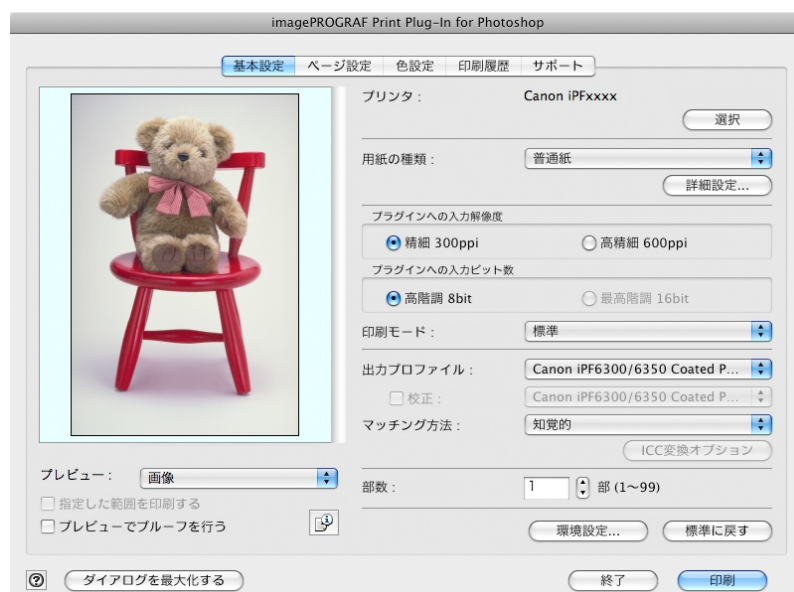
- 対応 OS
  Mac OS X 10.4.8 以上

- 対応 CPU
  PowerPC G4 または G5
  Intel Core Duo、Intel Core 2 Duo、Intel Xeon プロセッサ

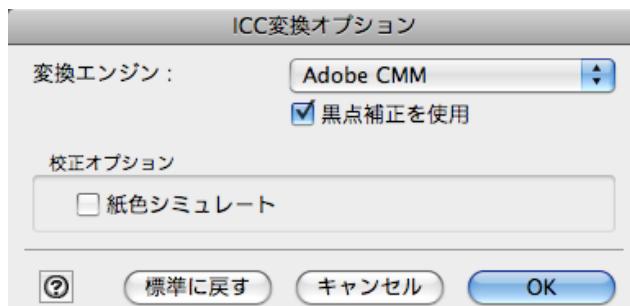
メモ
- 詳しくは Adobe 社にご確認ください。

Adobe CMM の使用方法

Adobe CMM を使用する手順は、以下のとおりです。

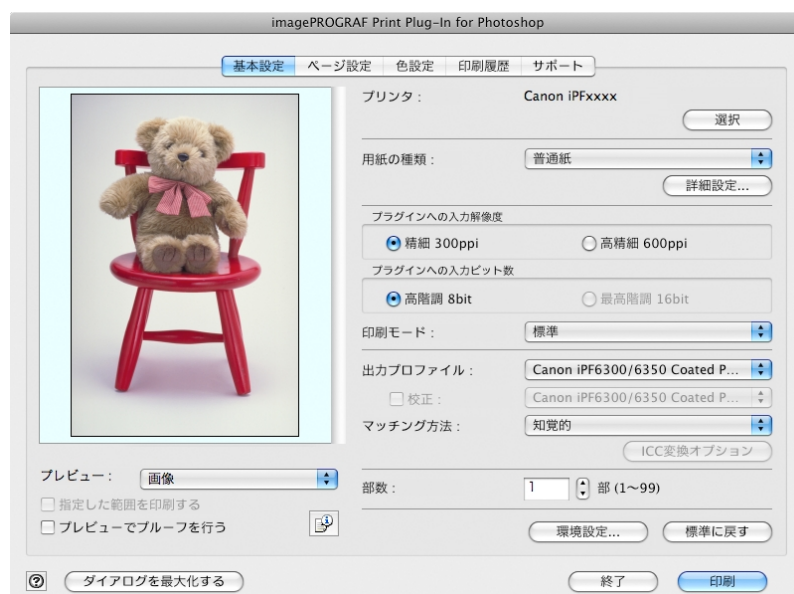
1. [基本設定]パネルを表示します。

2. [出力プロファイル]で、いずれかの ICC プロファイルを選択します。

3. [ICC 変換オプション]ボタンをクリックします。

4. [ICC 変換オプション]ダイアログボックスで、[変換エンジン]から[Adobe CMM]を選択します。

5. [OK]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを閉じます。

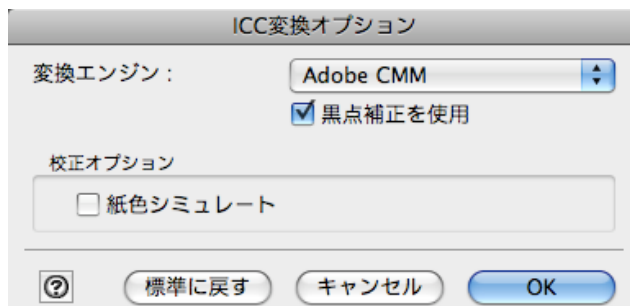
黒点補正を行う

以下の手順により、Photoshop と同等の黒点補正を行うことができます。画像の暗部潰れを避けたいときに使用します。

1. [基本設定]パネルを表示します。

2. [出力プロファイル]で、いずれかの ICC プロファイルを選択します。

3. [ICC 変換オプション]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを開きます。

4. [変換エンジン]で[Adobe CMM]を選択します。

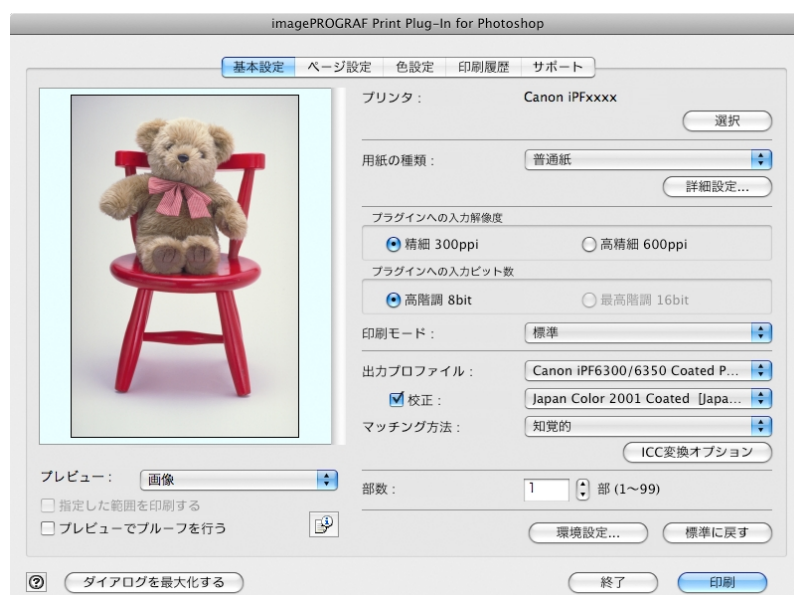
5. [黒点補正を使用]にチェックマークを付けます。

6. [OK]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを閉じます。

重要

- 黒点補正の設定を有効にするためには、Photoshop または Digital Photo Professional をいったん終了してから、再度起動してください。
- 黒点補正を使用するには、Adobe CMM をインストールする必要があります。Adobe CMM のインストール方法は、Adobe CMM を使用する →P.598 を参照してください。

印刷機のシミュレーション印刷を行う

Japan Color や SWOP などの ICC プロファイルや印刷機用の ICC プロファイルを指定して、印刷機のシミュレーション印刷を行うことができます。

1. [基本設定]パネルを表示します。

2. [出力プロファイル]で、いずれかの ICC プロファイルを選択します。

3. [校正]にチェックマークを付け、右のリストからターゲットとしたい印刷機のプロファイルを選択します。

4. [ICC 変換オプション]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを開きます。

5. 必要に応じて、[校正オプション]の設定を行います。

メモ
- 校正のオプションとして[紙色のシミュレート]があります。

6. [OK]ボタンをクリックして[ICC 変換オプション]ダイアログボックスを閉じます。

7. [印刷]ボタンをクリックします。
印刷が開始されます。

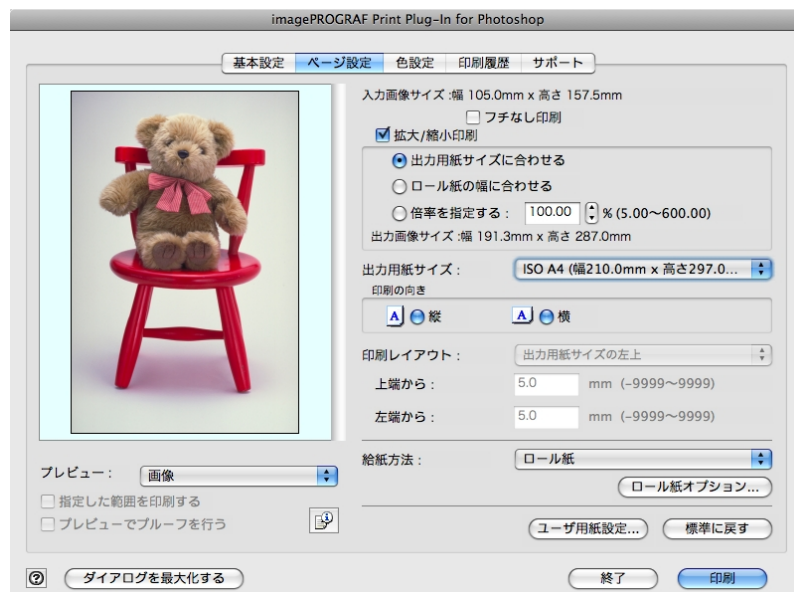
拡大/縮小して印刷する

画像の実サイズよりも大きく印刷、または小さく印刷することができます。
拡大/縮小印刷するには、以下の 3 つの方法があります。

- 出力用紙サイズに合わせて拡大/縮小印刷する →P.602
- ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する →P.603
- 倍率を指定して拡大/縮小印刷する →P.605

出力用紙サイズに合わせて拡大/縮小印刷する

プリンタにセットされている用紙を指定することで、用紙の印刷領域に合わせて画像を拡大/縮小して印刷することができます。指定した出力用紙いっぱいに画像を印刷したいときに使用すると便利です。

メモ
- ロール紙の幅いっぱいに印刷したい場合は、「ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する」を参照してください。→P.603
- ロール紙への印刷に対して以下の手順を行うと、[出力用紙サイズ]で設定した出力用紙サイズに合わせて印刷されます。

1. [ページ設定]パネルを表示します。

2. [出力用紙サイズ]で、出力したい用紙のサイズを選択します。

メモ
- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

3. [印刷の向き]で、画像に対する用紙の向きとして[縦]または[横]のいずれかを選択します。

メモ
- [縦]を選択すると、画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
- [横]を選択すると、画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

4. [拡大/縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

メモ
- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

5. [出力用紙サイズに合わせる]を選択します。

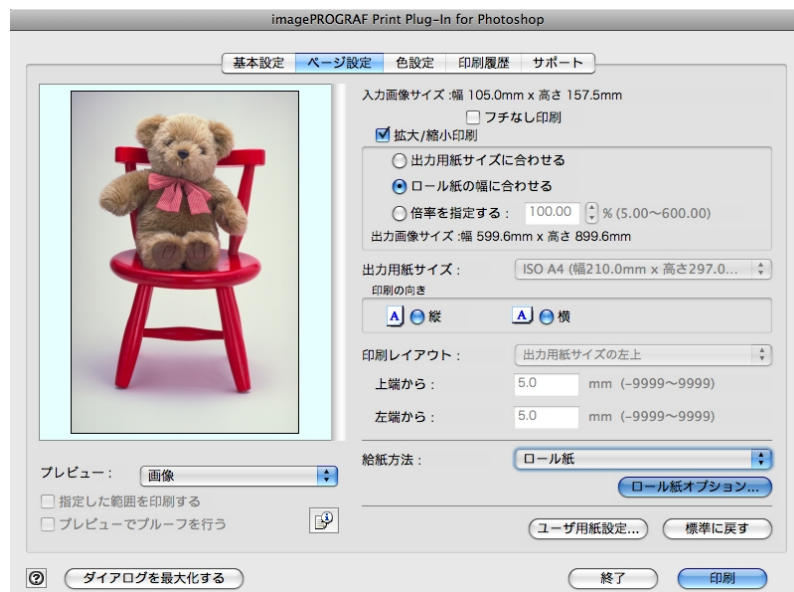
6. [印刷]ボタンをクリックします。

画像が出力用紙サイズいっぱいになるように印刷されます。

ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小印刷する

プリンタにセットされているロール紙の幅に合わせて画像を拡大/縮小して印刷することができます。ロール紙幅いっぱいに画像を印刷したいときに使用すると便利です。

メモ
- プリンタにロール紙がセットされていない場合は、正しく印刷されません。

1. [ページ設定]パネルを表示します。

5

2. [給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

3. [ロール紙オプション]ボタンをクリックします。

4. ロール紙のオプションを設定して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- [ロール紙オプション]ダイアログボックスについて詳しくは、「ロール紙オプションダイアログボックス」を参照してください。 →P.581
- [標準に戻す]ボタンをクリックすると、ロール紙オプションの設定が初期値に戻ります。

5. [印刷の向き]で、画像に対する用紙の向きとして[縦]または[横]のいずれかを選択します。

メモ

- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

6. [ロール紙の幅に合わせる]を選択します。

7. [印刷]ボタンをクリックします。

画像がロール紙幅サイズいっぱいになるように印刷されます。

倍率を指定して拡大/縮小印刷する

画像を拡大/縮小するための倍率を指定して、印刷することができます。お好みの大きさで画像を印刷したいときに使用すると便利です。

1. [ページ設定]パネルを表示します。

2. [出力用紙サイズ]で、出力したい用紙のサイズを選択します。

メモ
- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。
- [拡大/縮小印刷]の[ロール紙の幅に合わせる]が設定されている場合は、表示されません。

3. [印刷の向き]で、画像に対する用紙の向きとして[縦]または[横]のいずれかを選択します。

メモ
- [縦]を選択すると、画像が用紙に対してそのまま印刷されます。
- [横]を選択すると、画像が用紙に対して 90 度回転して印刷されます。

4. [拡大/縮小印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

メモ
- [フチなし印刷]にチェックマークが付いている場合は、表示されません。

5. [倍率を指定する]を選択して、半角数字で倍率を入力するか、プレビュー画面の四隅をドラッグします。

メモ
- 倍率は 0.01%単位で指定することができます。
- 倍率は、5.00〜600.00%の範囲で、指定することができます。
- 縦横のサイズは等倍率で拡大/縮小されます。

6. [印刷範囲レイアウト]のプレビュー表示で画像をドラッグするか、[印刷レイアウト]で印刷位置を設定します。

7. [印刷]ボタンをクリックします。

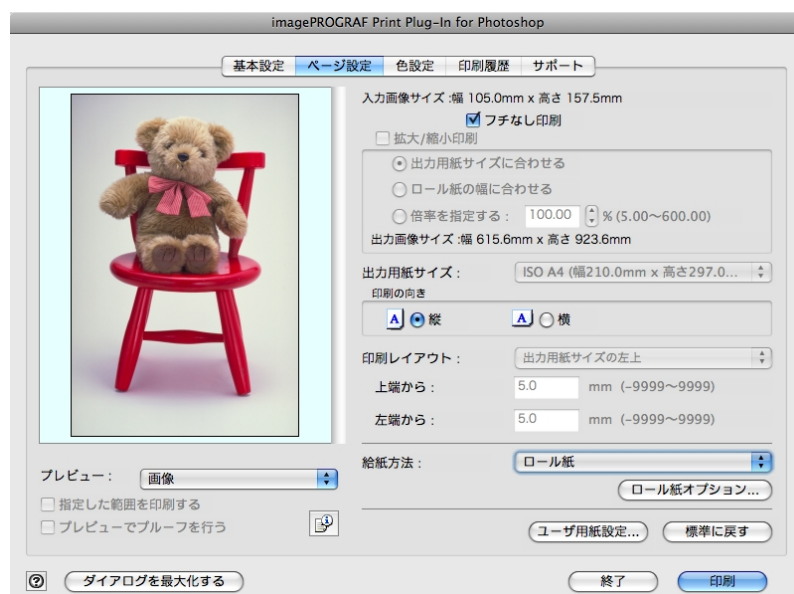
設定した倍率で印刷が開始されます。

フチなしで印刷する

フチなし印刷機能を使用して、画像の周囲に余白を取らずに印刷することができます。

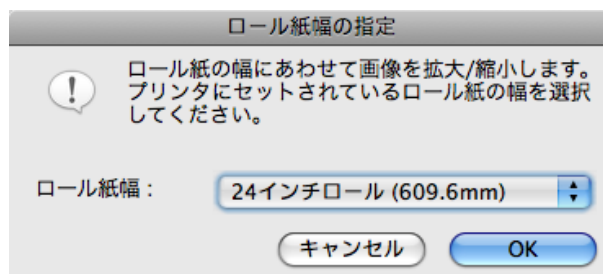
メモ

- 用紙の種類によっては、2 辺のみのフチなしで印刷されます。
- フチなし印刷機能を使用するには、プリンタに専用の用紙がセットされている必要があります。

1. [ページ設定]パネルを表示します。

2. [給紙方法]で、[ロール紙]を選択します。

3. [フチなし印刷]をクリックしてチェックマークを付けます。

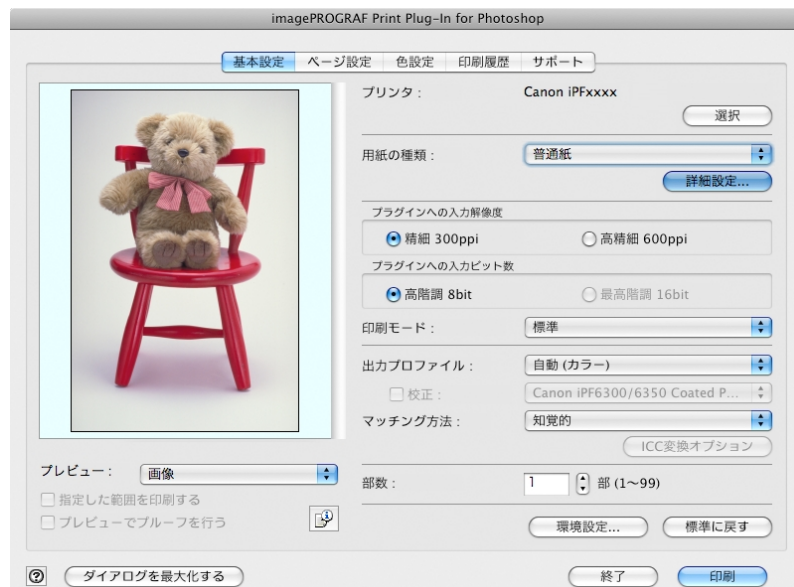
メモ

- [ロール紙幅の指定]ダイアログボックスの[ロール紙幅]で、プリンタにセットされているロール紙の幅を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

4. [印刷]ボタンをクリックします。

フチなしの設定で印刷が開始されます。

用紙の設定をカスタマイズする

用紙の設定をカスタマイズすることができます。

1. [基本設定]パネルを表示します。

2. [用紙の種類]で、カスタマイズしたい用紙の種類を選択します。

メモ

- 必ず実際にプリンタにセットされている用紙の種類を選択してください。プリンタにセットしている用紙と選択した用紙が異なると、正しい印刷結果が得られないことがあります。

3. [詳細設定]ボタンをクリックします。

4. 用紙の詳細設定ダイアログボックス →P.577 で、各種設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。

印刷履歴を活用する

Print Plug-In では各種設定を行って印刷すると、印刷履歴として各種設定が保存されます。ファイルとして書き出したり、読み込んだりすることができます。よく使用する印刷履歴は、お気に入りとして名前を付けて登録することもできます。

メモ

- 印刷履歴は、200 件まで保存することができます。印刷履歴数が 200 件を超えると、古い順から自動的に削除されます。

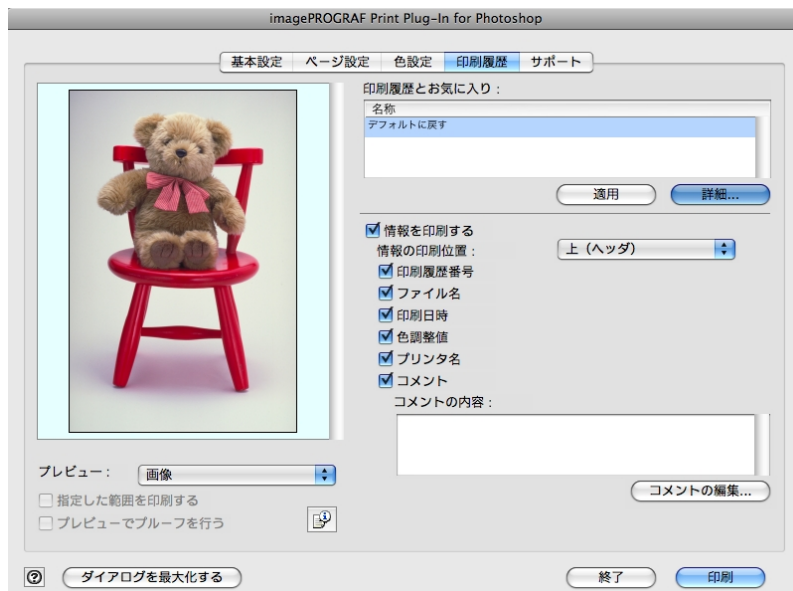
印刷履歴を活用してできることは、以下のとおりです。

- 印刷履歴の詳細を確認する →P.608
- 印刷履歴を画像に適用する →P.609
- 印刷履歴をお気に入りに登録する →P.609
- 印刷履歴を削除する →P.612
- お気に入りの印刷履歴を書き出す →P.613
- お気に入りに印刷履歴を読み込む →P.615

- お気に入りから印刷履歴を削除する →P.617
- 情報を画像とともに印刷するよう設定する →P.618

印刷履歴の詳細を確認する

印刷履歴の詳細を確認することができます。

1. [印刷履歴]パネルを表示します。

2. [詳細]ボタンをクリックします。

メモ

- [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[印刷履歴]または[お気に入り]から詳細を確認したい印刷履歴を選択します。

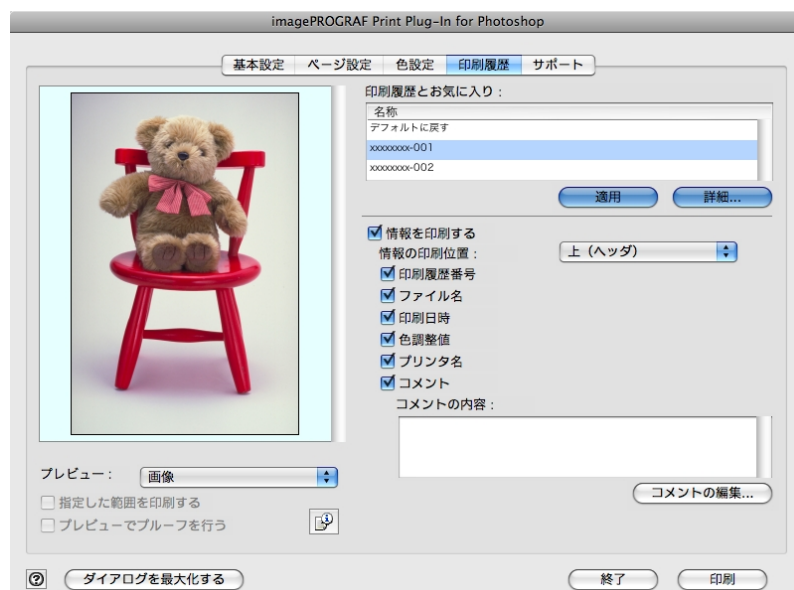
3. [設定内容]で印刷履歴の詳細を確認して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- 印刷履歴の詳細内容は、パネルを切り替えて表示することができます。

印刷履歴を画像に適用する

過去の印刷履歴を呼び出して、画像に適用することができます。

1. [印刷履歴]パネルを表示します。

2. 必要があれば印刷履歴の詳細を確認します。（「印刷履歴の詳細を確認する」参照） →P.608

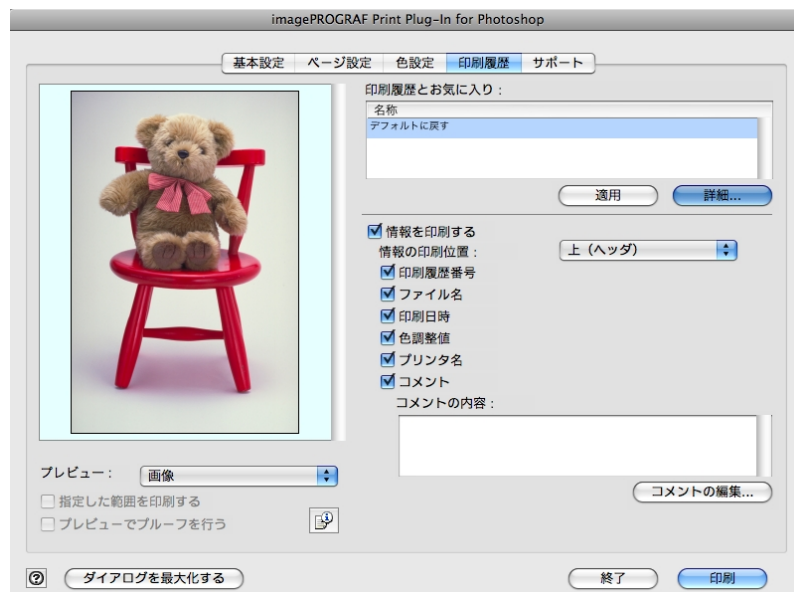
3. [印刷履歴とお気に入り]から適用したい印刷履歴を選択して、[適用]ボタンをクリックします。

印刷履歴をお気に入りに登録する

よく使用する印刷履歴をお気に入りとして登録することができます。お気に入りに登録しておくと個別の名称を付けられるだけでなく、簡単に呼び出すこともできます。

メモ

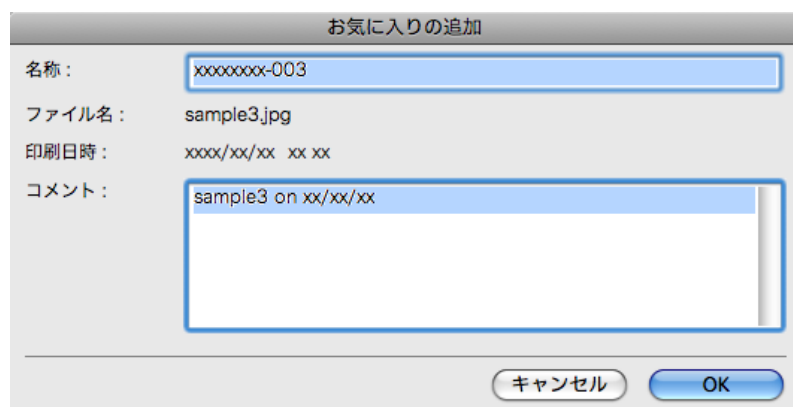
- お気に入りに登録できる印刷履歴は、200 件までです。

1. [印刷履歴]パネルを表示します。

5

2. [詳細]ボタンをクリックします。

3. [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[印刷履歴]からお気に入りに登録したい印刷履歴を選択して、[設定内容]で印刷履歴の詳細を確認します。

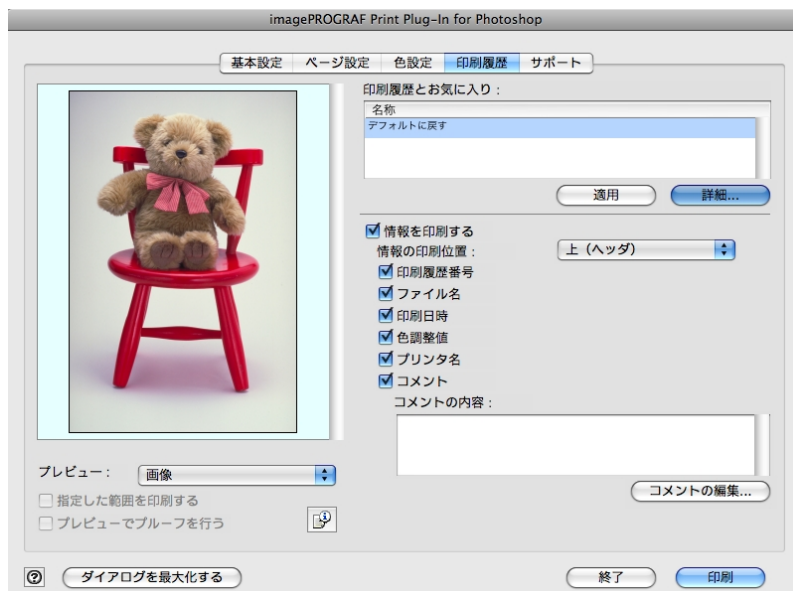
4. [印刷履歴]からお気に入りに登録したい印刷履歴を選択して、 ボタンをクリックします。

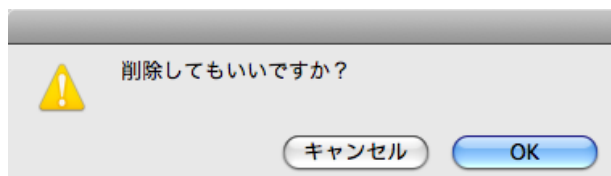
5. [お気に入りの追加]ダイアログボックスで、[名称]に印刷履歴の名称を入力し、[コメント]にコメントを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

6. [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

印刷履歴を削除する

印刷履歴を削除することができます。

重要
- 削除した印刷履歴は元には戻せませんので、ご注意ください。

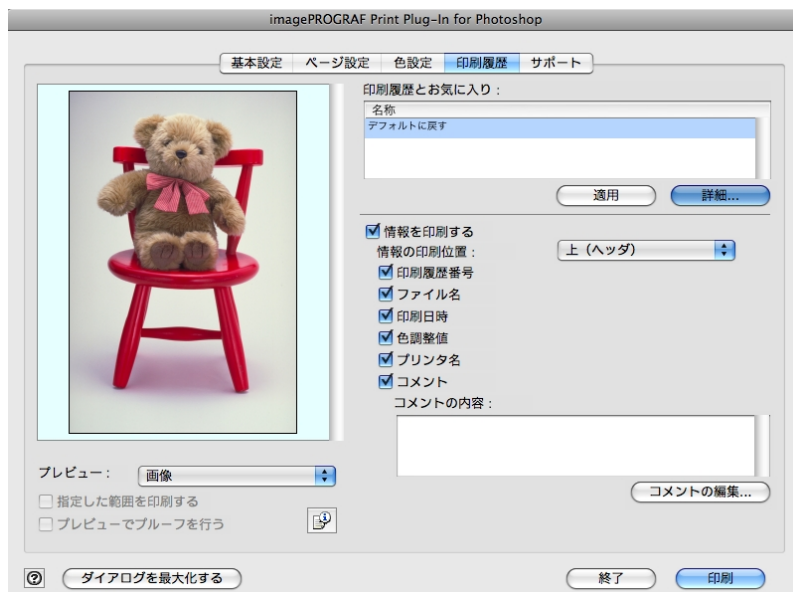
1. [印刷履歴]パネルを表示します。

2. [詳細]ボタンをクリックします。

3. [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[印刷履歴]から削除したい印刷履歴を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

4. [OK]ボタンをクリックします。

5. [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

お気に入りの印刷履歴を書き出す

お気に入りに登録した印刷履歴をファイルに書き出すことができます。

1. [印刷履歴]パネルを表示します。

2. [詳細]ボタンをクリックします。

3. [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[お気に入り]から書き出したい印刷履歴を選択して、[書き出し]ボタンをクリックします。

4. [保存]ダイアログボックスで、[名前]に印刷履歴のファイル名を入力して、[保存]ボタンをクリックします。

指定したファイル名で印刷履歴が書き出されます。

5. [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

お気に入りに印刷履歴を読み込む

ファイル形式の印刷履歴を読み込んで、お気に入りに登録することができます。

1. [印刷履歴]パネルを表示します。

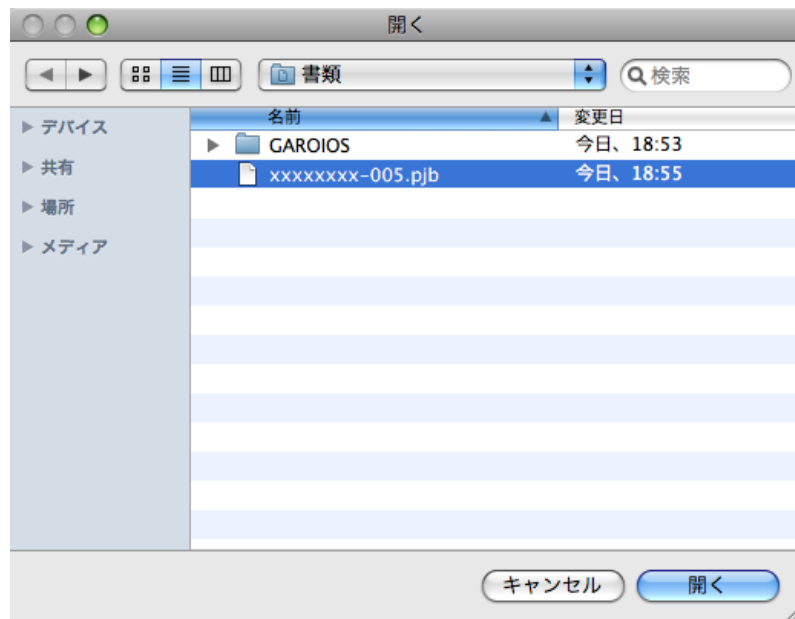
2. [詳細]ボタンをクリックします。

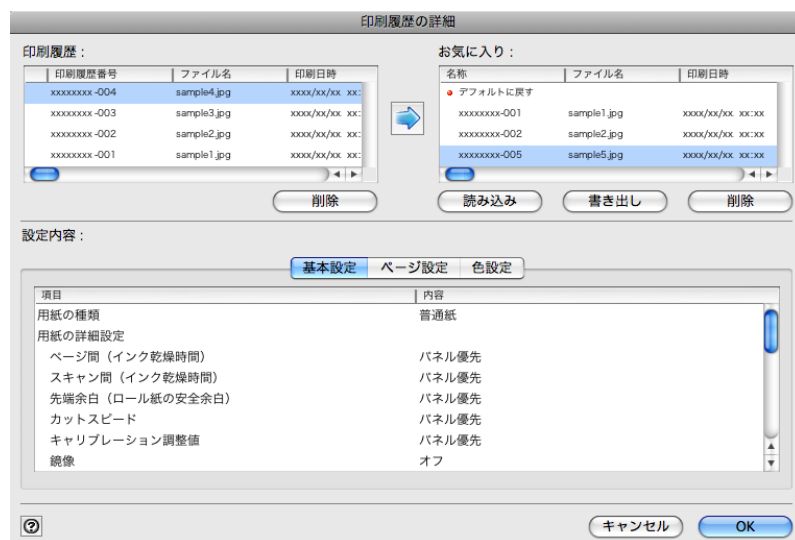
3. [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[お気に入り]の[読み込み]ボタンをクリックします。

4. [ファイルを開く]ダイアログボックスで、読み込みたい印刷履歴ファイルを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

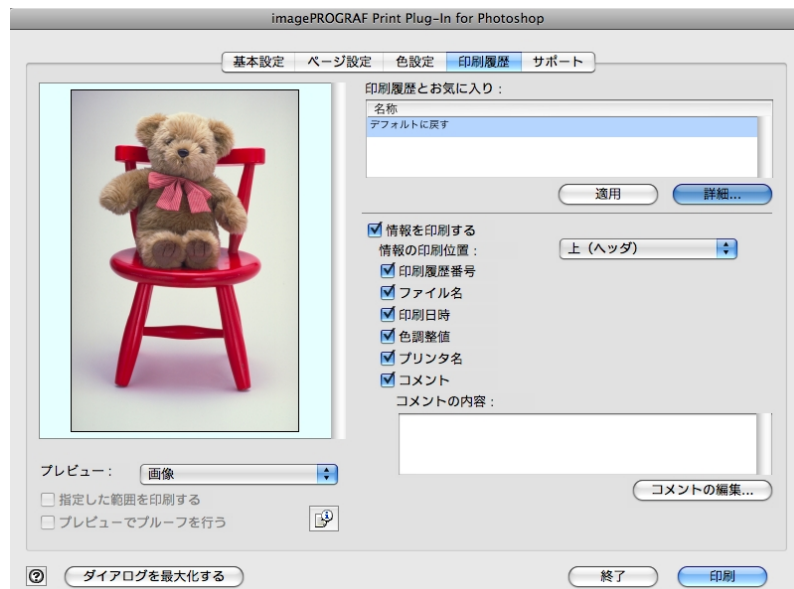
5

印刷履歴が読み込まれます。

メモ

- 印刷履歴ファイルの拡張子は*.pjb です。
- 異なる OS の Print Plug-In で書き出された印刷履歴ファイルを読み込むことはできません。
- 異なるプリンタの Print Plug-In で書き出された印刷履歴ファイルを読み込むことはできません。

5. [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

お気に入りから印刷履歴を削除する

お気に入りに登録した印刷履歴をお気に入りから削除することができます。お気に入りは、200 件を超えて登録することはできません。

1. [印刷履歴]パネルを表示します。

2. [詳細]ボタンをクリックします。

3. [印刷履歴の詳細]ダイアログボックスで、[お気に入り]から削除したい印刷履歴を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

4. [OK]ボタンをクリックします。

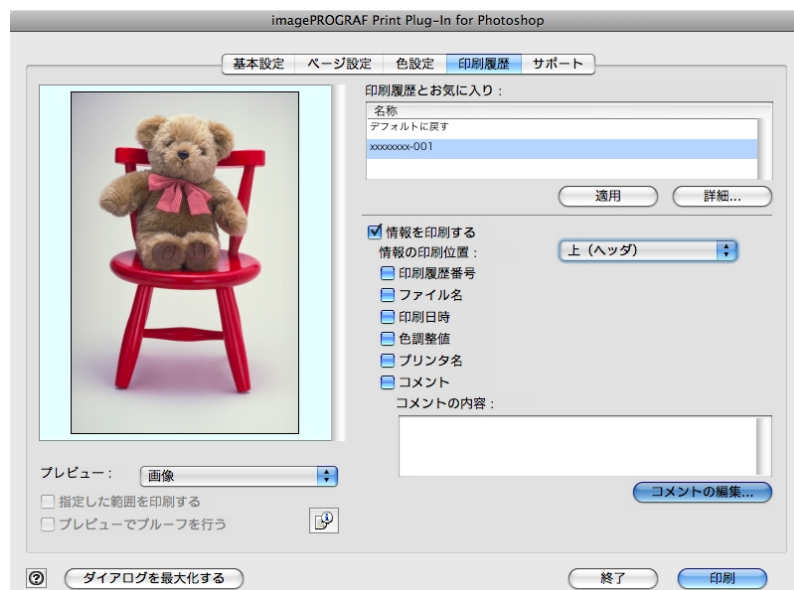
5. [OK]ボタンをクリックして、[印刷履歴の詳細]ダイアログボックスを閉じます。

情報を画像とともに印刷するよう設定する

ファイル名や印刷日時などの印刷に関連した情報を、画像といっしょに印刷することができます。

メモ

- フチなし印刷機能を使用して印刷する場合は、印刷に関連した情報は印刷されません。(「フチなしで印刷する」参照) →P.606
- 印刷される情報が長すぎて用紙内に収まらない場合は、途中で切れた状態で印刷されます。
- 画像データのサイズや拡大率、印刷位置の値によっては、画像データ上に情報が印刷されてしまうことがあります。
- プリンタ本体で[外形サイズ優先]が[オン]に設定されている場合は、印刷データの下部が一部印刷されないことがあります。

1. [印刷履歴]パネルを表示します。

2. [情報を印刷する]をクリックしてチェックマークを付けます。

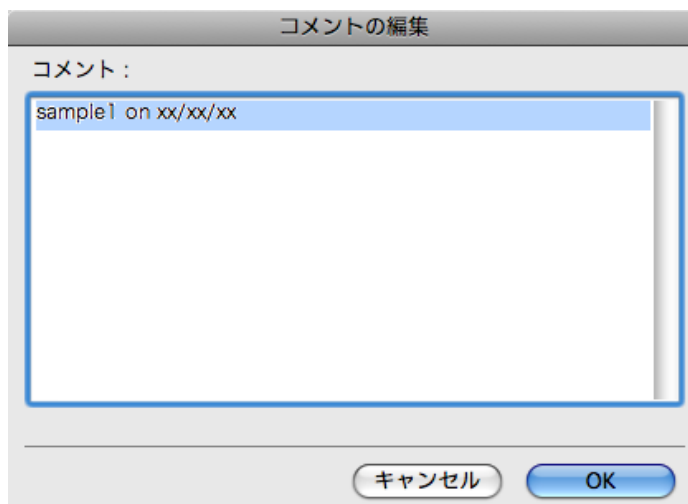
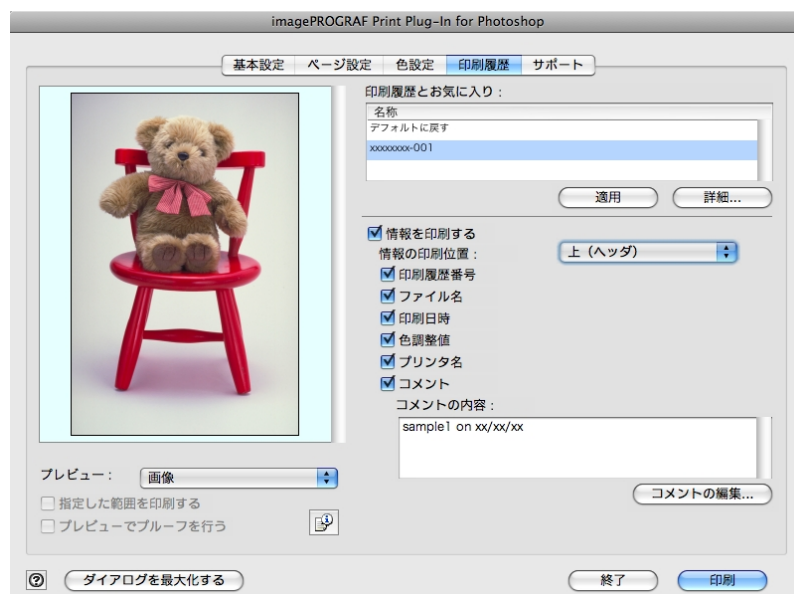
3. [情報の印刷位置]で、情報を印刷したい位置を選択します。

4. 印刷したい情報をクリックしてチェックマークを付けます。

5. コメントを編集したい場合は、[コメントの編集]ボタンをクリックします。

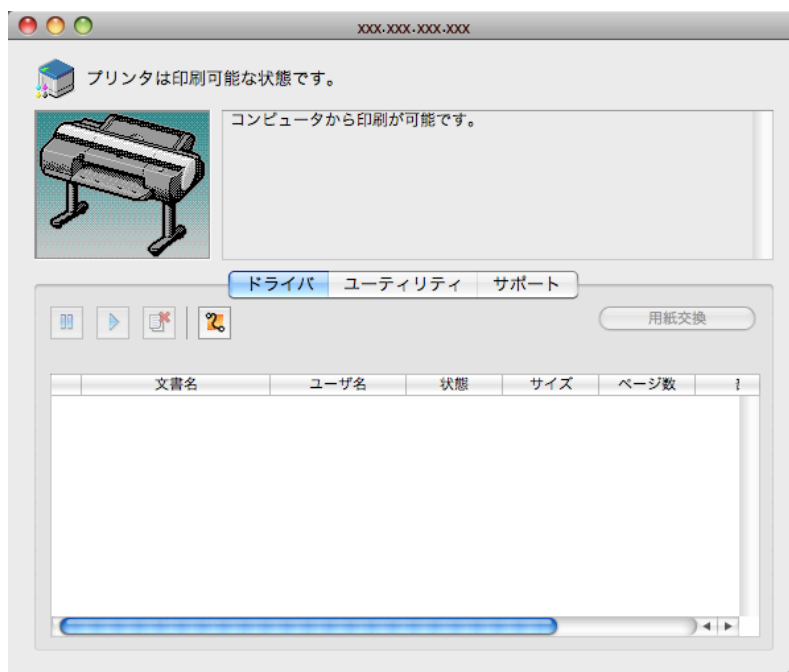
メモ

- コメントの編集が必要ない場合は手順 7 に進んでください。

6. [コメントの編集]ダイアログボックスで、コメントを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

7. [印刷]ボタンをクリックします。

コメントとともに画像が印刷されます。

Printmonitor

imagePROGRAF Printmonitor の特長

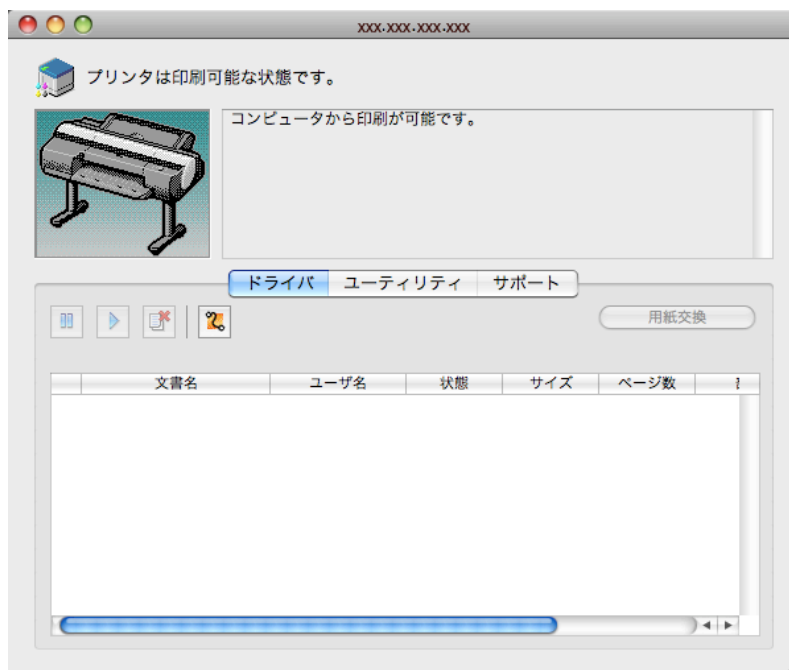
imagePROGRAF Printmonitor は、プリンタの状態を確認したり、印刷ジョブを管理したりするためのユーティリティソフトウェアです。

- プリンタの状態をコンピュータの画面上でリアルタイムに確認できます。
- 印刷ジョブの状態を確認したり、削除などの操作を行ったりすることができます。
- プリンタにエラーが発生したとき、どのように対処したらよいかを即座に確認できます。
- プリンタにエラーなどが発生した場合に、あらかじめ設定しておいたメールアドレスに自動的にエラー情報を通知するように設定できます。

メモ

- imagePROGRAF Printmonitor に目的のプリンタの状態が表示されなかった場合は、以下の手順でプリンタを選択し直してください。

  1. 目的のプリンタがネットワークまたはローカルポートに接続されていて、電源がオンになっていることを確認します。
  2. [プリンタ]メニューから目的のプリンタ名を選択します。目的のプリンタを認識すると、プリンタの状態が表示されます。
  3. 2.の手順で目的のプリンタの情報が表示されない場合は、[プリンタ]メニューの[監視プリンタを検索]を選択します。[プリンタ]メニューのプリンタ名が現在認識されているプリンタ名に更新されます。
  4. [プリンタ]メニューから目的のプリンタ名を選択します。目的のプリンタを認識すると、プリンタの状態が表示されます。

imagePROGRAF Printmonitor によるジョブ管理

imagePROGRAF Printmonitor の[ドライバ]パネルでは、印刷ジョブの一時停止や中止などの操作を行うことができます。

印刷を一時停止/再開する

印刷ジョブを選択して をクリックすると、選択したジョブの印刷処理が一時的に停止されます。

一時停止中のジョブを選択して をクリックすると、印刷処理を再開します。

メモ

- 印刷データがすべてプリンタに送られた時点で、一時停止/再開の操作は行えなくなります。

印刷を中止する

印刷ジョブを選択して ボタンをクリックすると、選択したジョブの印刷が中止されます。

メモ

- 他のユーザの印刷を中止することはできません。

Media Configuration Tool

Media Configuration Tool の特長

Media Configuration Tool の主な特長は以下のとおりです。

- プリンタがサポートするメディア(用紙の種類)が追加されたときに、その用紙情報をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加することができます。
- プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバのダイアログボックスで使用される用紙種類の表示順や用紙名称を変更することができます。
- カスタム用紙(キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙のいずれにも該当しない用紙)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加することができます。

重要

- User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールすると、通常 Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。さらに新たな用紙情報を追加したり、既存の用紙情報を編集したい方は、このソフトウェアをお使いください。
- Media Configuration Tool による用紙情報の管理はプリンタの管理者が行ってください。
- カスタム用紙(キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙のいずれにも該当しない用紙)の印刷品位および紙搬送性について、キヤノンは一切保証いたしません。
- キヤノン純正紙において、Media Configuration Tool の[カスタム用紙の追加]を使用した場合は、印刷品位および紙搬送性は保証できません。
- キヤノン出力確認紙において、Media Configuration Tool の[カスタム用紙の追加]を使用した場合は、紙搬送性は保証できません。また、キヤノンは、キヤノン出力確認紙の印刷品位を保証するものではありません。

メモ

- キヤノン純正紙やキヤノン出力確認紙は、用紙リファレンスガイドに記載されている用紙です。それ以外の用紙をカスタム用紙と呼びます。

動作環境

Media Configuration Tool は、以下の環境で使用することができます。

- 対応 OS バージョン
  Mac OS X（10.3.9 以上）
- インストールが必要なソフトウェア
  imagePROGRAF プリンタドライバ

インストール手順

新しいバージョンの Media Configuration Tool のインストーラを起動して Media Configuration Tool をインストールする手順は、以下のとおりです。

重要

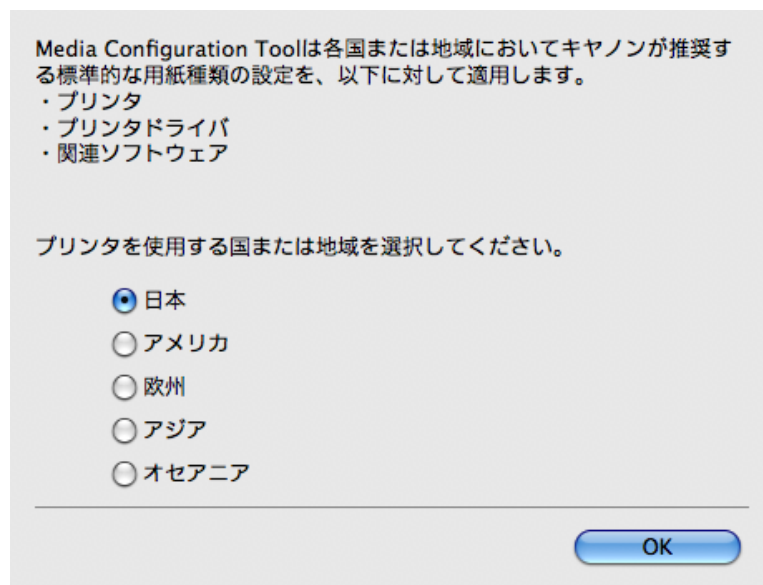
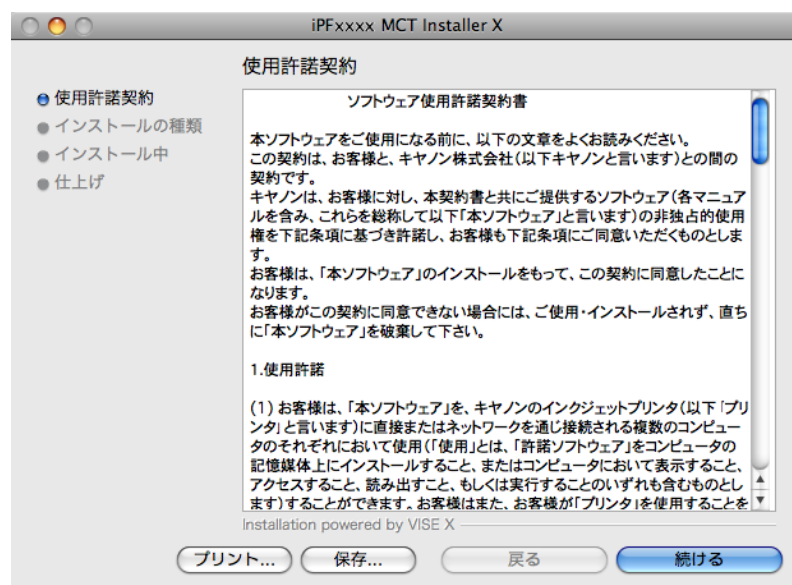
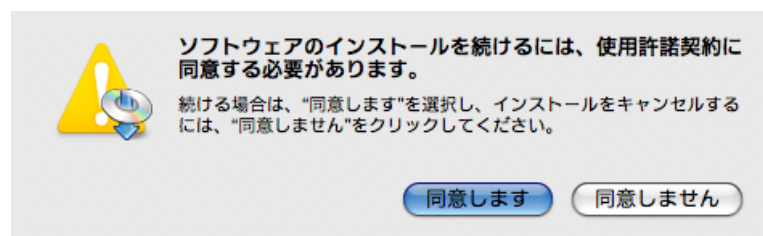
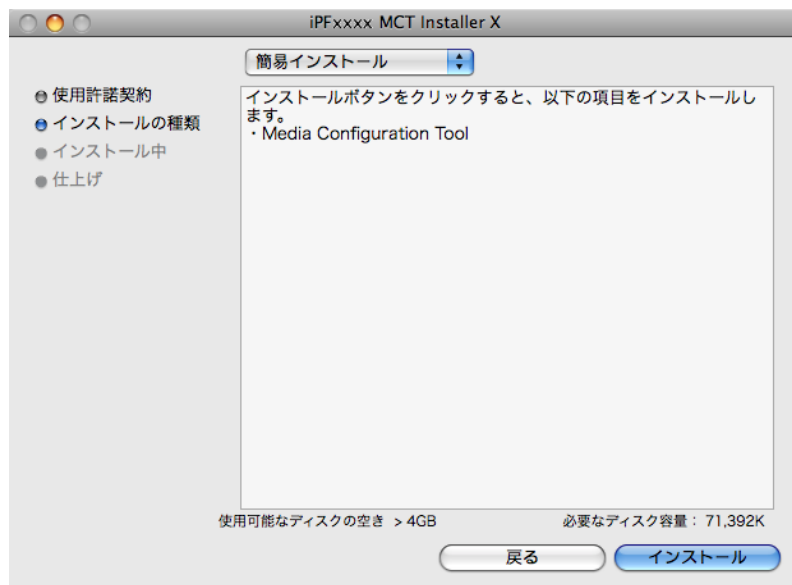
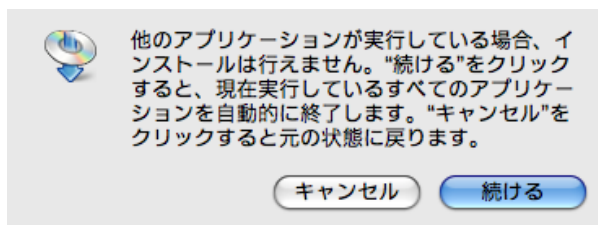
- User Software CD-ROM からプリンタドライバをインストールすると、Media Configuration Tool もインストールされ、メディア情報も設定されます。そのため通常は、以下の手順を行う必要はありません。キヤノンのホームページから新しいバージョンの Media Configuration Tool をダウンロードした場合など、User Software CD-ROM を使わずに Media Configuration Tool をインストールする場合は、以下の手順で行ってください。

1. [MCT Installer iPFxxxx for X]アイコンを開き、Media Configuration Tool のインストーラを起動します。

メモ

- アイコンの[iPFxxxx]はご使用のプリンタ名になります。

2. 管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

3. プリンタを使用する国または地域の選択画面が表示されます。
国または地域を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

4. [使用許諾契約]が表示されます。
ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、[続ける]ボタンをクリックします。

5. [同意します]ボタンをクリックします。

6. [簡易インストール]を選択して、[インストール]ボタンをクリックします。

7. 他のアプリケーションを終了するために、[続ける]ボタンをクリックします。

8. 以下のメッセージが表示されたら、[終了]ボタンをクリックします。

Media Configuration Tool のインストールが終了します。

メモ

- インストールが正常に終了すると、以下のフォルダに[Media Configuration Tool]フォルダが保存されます。
  [アプリケーション]>[Canon Utilities]> [iPFxxxx Media Configuration Tool]
- 上記フォルダの[iPFxxxx]の部分はご使用のプリンタ名になります。

アンインストール手順

1. [MCT Installer iPFxxxx for X]アイコンを開き、Media Configuration Tool のインストーラを起動します。

メモ

- アイコンの[iPFxxxx]はご使用のプリンタ名になります。

2. 管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

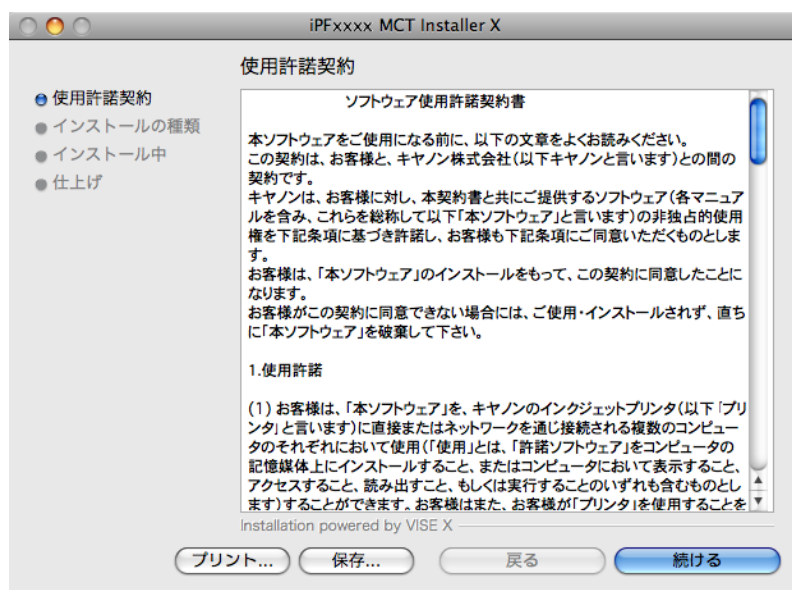
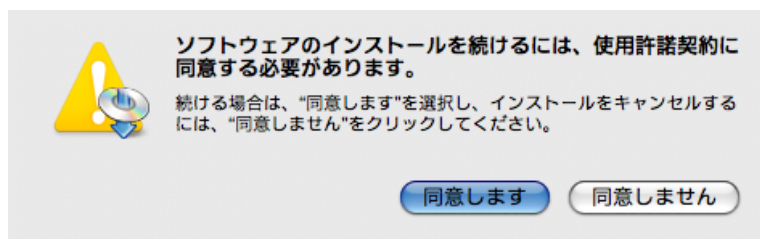
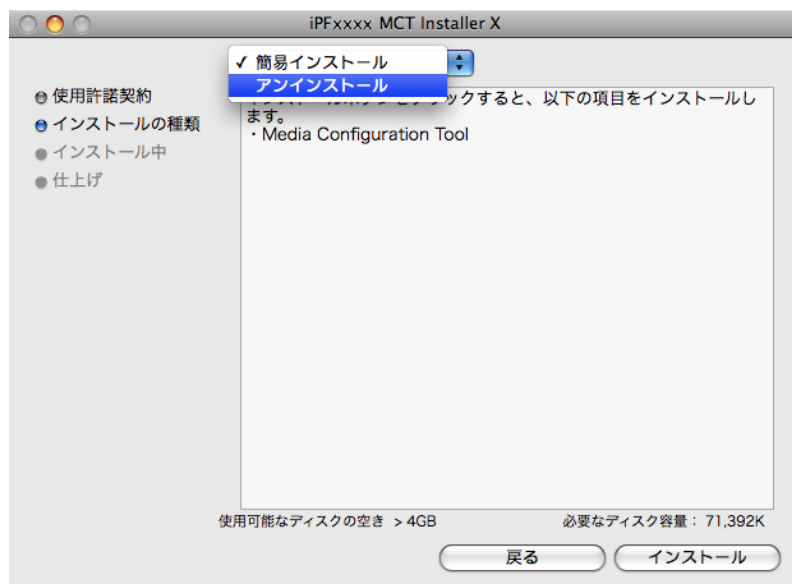
3. プリンタを使用する国または地域の選択画面が表示されます。
国または地域を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

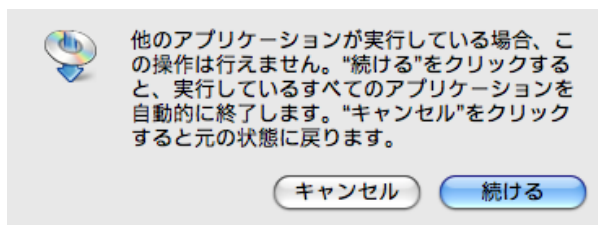
Media Configuration Toolは各国または地域においてキヤノンが推奨する標準的な用紙種類の設定を、以下に対して適用します。
・プリンタ
・プリンタドライバ
・関連ソフトウェア

プリンタを使用する国または地域を選択してください。

- 日本
- アメリカ
- 欧州
- アジア
- オセアニア

OK

4. [使用許諾契約]が表示されます。
ソフトウェア使用許諾契約書を読んで、[続ける]ボタンをクリックします。

5. [同意します]ボタンをクリックします。

6. [アンインストール]を選択します。

7. [アンインストール]ボタンをクリックします。

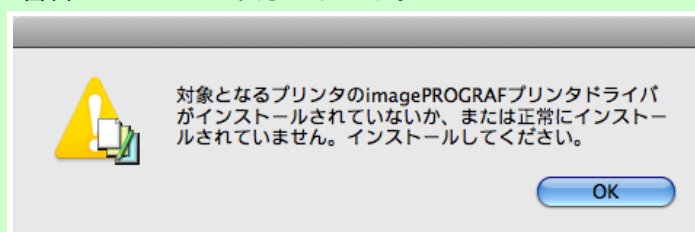
8. 他のアプリケーションが実行されている場合は、[続ける]ボタンをクリックします。

9. 以下のメッセージが表示されたら、[終了]ボタンをクリックします。

Media Configuration Tool のアンインストールが終了します。

Media Configuration Tool の起動方法

Media Configuration Tool を起動する手順は、以下のとおりです。
［アプリケーション］メニューから［Canon Utilities］> ［iPFxxxx Media Configuration Tool］ > ［MCTxxxx.app］を選択します。
Media Configuration Tool メインウィンドウが表示されます。

メモ

- 対象機種のプリンタドライバがインストールされていない場合、Media Configuration Tool は起動しません。プリンタドライバがインストールされていない状態で Media Configuration Tool を起動すると、以下の警告メッセージが表示されます。

Media Configuration Tool メインウィンドウ

ここでは、Media Configuration Tool メインウィンドウについて説明しています。

メモ

- Media Configuration Tool メインウィンドウを開く手順について詳しくは、「Media Configuration Tool の起動方法」を参照してください。 →P.629

[純正紙の追加]ボタン

ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示され、キヤノンよりリリースされた用紙情報ファイルをプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録することができます。名称変更や表示/非表示の切り替え、追加した用紙種類の削除も可能です。
キヤノン純正紙やカスタム用紙の表示順序を変更することもできます。
[純正紙の追加]について詳しくは、用紙種類情報を編集する →P.631 を参照してください。

[カスタム用紙の追加]ボタン

ボタンをクリックすると、[カスタム用紙の追加]ダイアログボックスが表示され、カスタム用紙(キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙のいずれにも該当しない用紙)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加することができます。
[カスタム用紙の追加]について詳しくは、純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する →P.643 を参照してください。

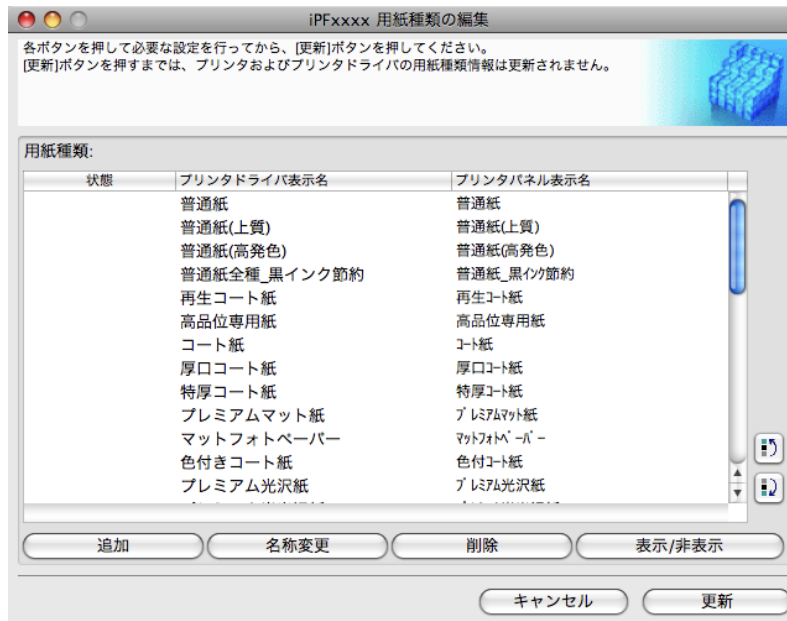
[サポート情報へのリンク]ボタン

[imagePROGRAF サポート情報]が開きます。製品に関する最新情報やソフトウェアのバージョンアップ情報などを確認することができます。

[製品マニュアルへのリンク]ボタン

ボタンをクリックすると、プリンタの製品マニュアルを表示します。この機能を使用するには、お使いのコンピュータに製品マニュアルがインストールされている必要があります。

用紙種類情報を編集する

Media Configuration Tool メインウィンドウの[純正紙の追加]ボタンをクリックすると、[用紙種類の編集]ダイアログボックスが表示されます。

この画面では、以下の操作を行うことができます。

- 用紙種類の追加 →P.631
- 用紙名称の変更 →P.634
- 追加した用紙種類の削除 →P.636
- 用紙種類の表示/非表示を切り替える →P.637
- 用紙種類の表示順序を変更する →P.639

重要

- 用紙種類情報を更新する場合は、そのプリンタを使用する他の全てのコンピュータでも同様の更新を行ってください。
- 用紙種類の追加、削除、表示/非表示の切り替え、用紙名称の変更は、キヤノン純正紙および出力確認紙のみ可能です。カスタム用紙の追加、編集、削除は、「純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する →P.643 」を参照してください。カスタム用紙は、[用紙種類]のリストの[状態]に「カスタム」と表示されます。
- 用紙種類の追加を行う場合は、キヤノンのホームページからあらかじめ用紙情報ファイル(.amf ファイル)をダウンロードしておいてください。

メモ

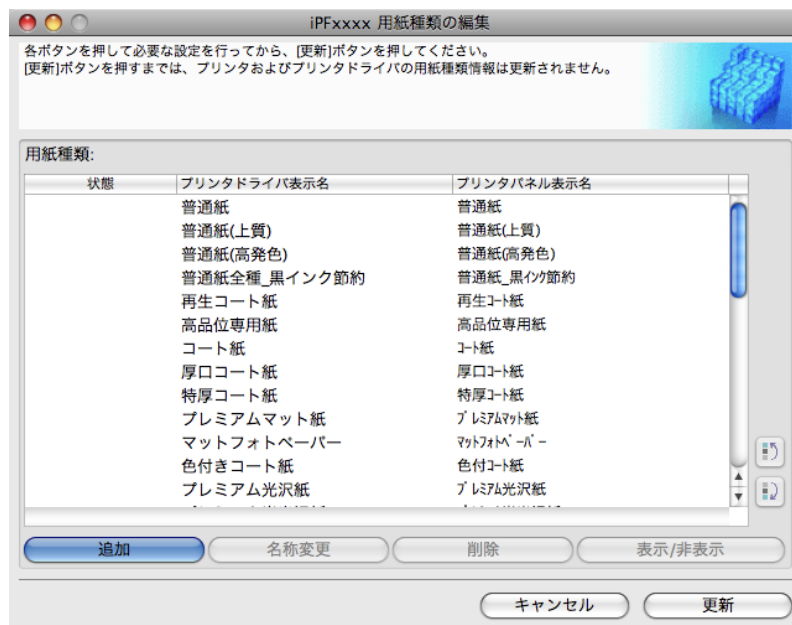
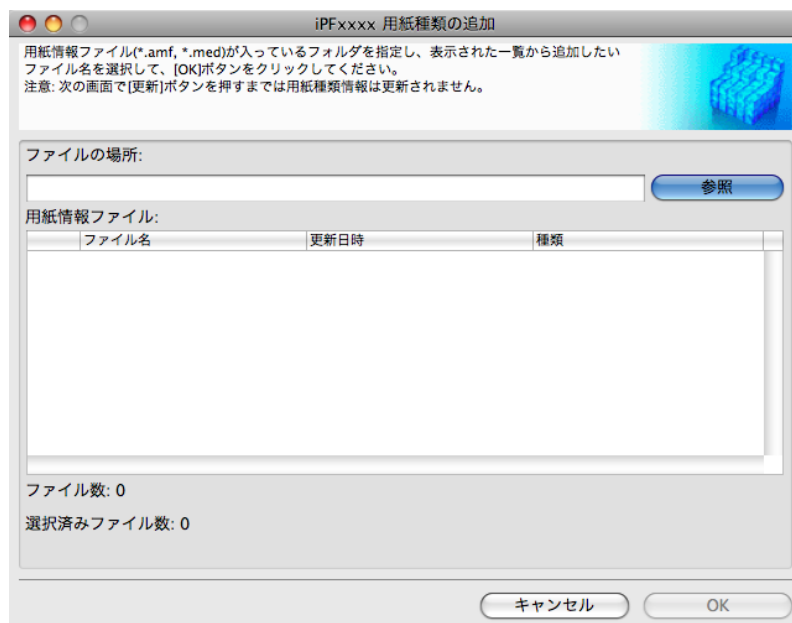
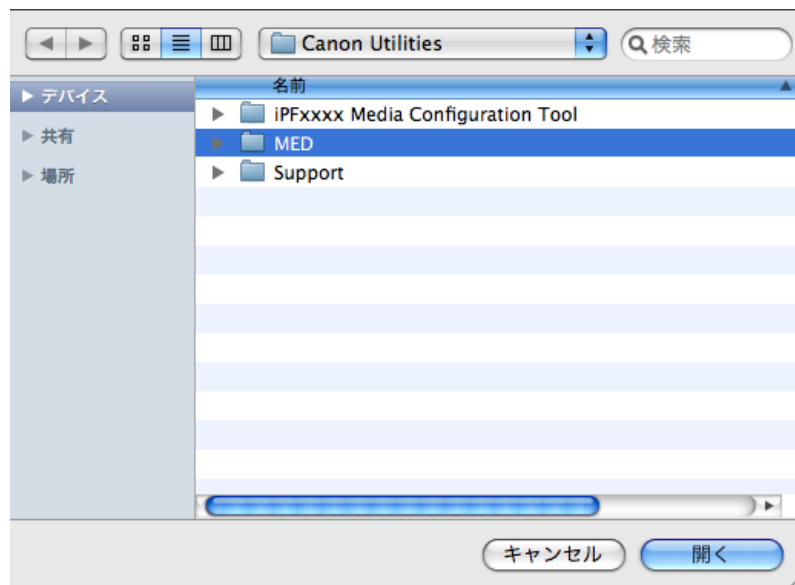
- 削除、表示/非表示、表示順の変更は条件によって行うことができない場合があります。

用紙種類の追加

キヤノンよりリリースされた用紙情報ファイル(.amf ファイル)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに登録します。

重要

- 用紙種類の追加を行っている間は、対象のプリンタで印刷を実行しないでください。

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

2. [用紙種類の追加]ダイアログボックスが表示されます。
[参照]ボタンをクリックします。

3. 用紙情報ファイル(.amf ファイル)が含まれるフォルダを選択して、[開く]ボタンをクリックします。

4. [用紙種類の追加]ダイアログボックスの[用紙情報ファイル]に[フォルダの選択]ダイアログボックスで選択したフォルダ内の用紙情報ファイル名が表示されます。追加したい用紙のチェックボックスにチェックマークを付け、[OK]ボタンをクリックします。

重要

- [用紙情報ファイル]の[種類]に[基本用紙情報ファイル]と表示されている場合は、用紙種類の表示順序や用紙種類の表示/非表示の設定が初期化されます。基本用紙情報ファイルの追加を行った後、再度設定しなおしてください。

5. 確認画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックします。

6. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、｢用紙の種類を更新する｣を参照してください。→P.640

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙名称の変更

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、名称を変更したい用紙を選択します。
[名称変更]ボタンをクリックします。

3. [用紙種類名称の変更]ダイアログボックスが表示されます。
[プリンタドライバ表示名]および[プリンタパネル表示名]を編集して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ

- [元に戻す]ボタンをクリックすると、初期状態の名称が設定されます。

4. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.640

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

追加した用紙種類の削除

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、削除したい用紙を選択します。
[削除]ボタンをクリックします。

メモ

- [用紙種類]のリストの[状態]に[追加]と表示されている用紙のみ削除できます。

3. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.640

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙種類の表示/非表示を切り替える

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、表示/非表示にしたい用紙を選択します。
[表示/非表示]ボタンをクリックします。
選択した用紙の表示と非表示が切り替わります。

メモ

- 非表示の用紙は、[用紙種類]のリスト上でグレーアウト表示されます。
- [表示/非表示]ボタンをクリックするごとに、プリンタドライバとプリンタパネルの両方表示→両方非表示→プリンタパネルのみ表示と切り替わります。

3. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.640

重要

- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙種類の表示順序を変更する

1. [用紙種類の編集]ダイアログボックスを開きます。

2. [用紙種類]のリストから、表示順を変更したい用紙を選択して、表示順変更ボタン(または)をクリックします。
選択した行が一行ずつ上または下に移動します。

3. [用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックします。

5

[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順について詳しくは、「用紙の種類を更新する」を参照してください。→P.640

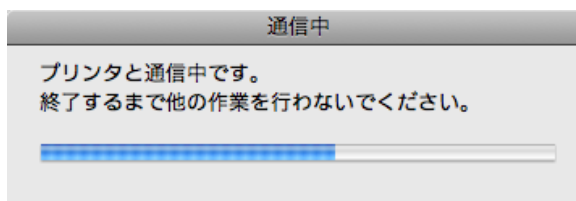
重要
- 用紙種類の更新は必ず行ってください。更新を行わないとプリンタおよびプリンタドライバに変更が反映されません。

用紙の種類を更新する

[用紙種類の編集]ダイアログボックスの[更新]ボタンをクリックすると、[用紙種類の更新]ウィザードが開始されます。このウィザードでは、お使いのプリンタとプリンタドライバの用紙情報を新しい情報に置き換えることができます。
[用紙種類の更新]ウィザードで用紙情報を更新する手順は、以下のようになります。

重要
- 用紙種類情報を更新する場合は、そのプリンタを使用する他の全てのコンピュータでも同様の更新を行ってください。

1. [用紙種類の更新 - プリンタの選択]ダイアログボックスの[プリンタ]に用紙情報を更新するプリンタが自動的に表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

2. プリンタとの通信が開始され、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

重要

- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。
- プリンタと通信できない場合には、以下の警告メッセージが表示されます。

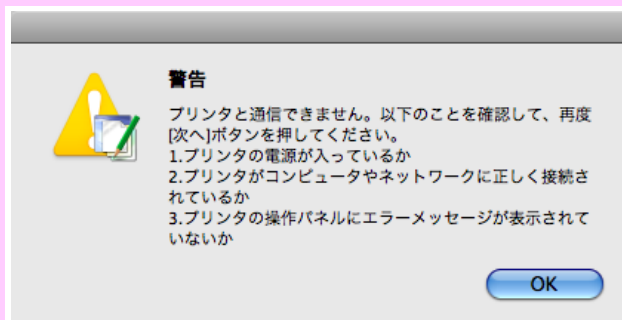
5

3. プリンタとの通信が終了すると、画面表示が、[用紙種類の更新 - 更新対象の確認]ダイアログボックスに切り替わります。プリンタから取得した情報を確認します。
確認した内容で更新する場合には、[実行]ボタンをクリックします。

重要

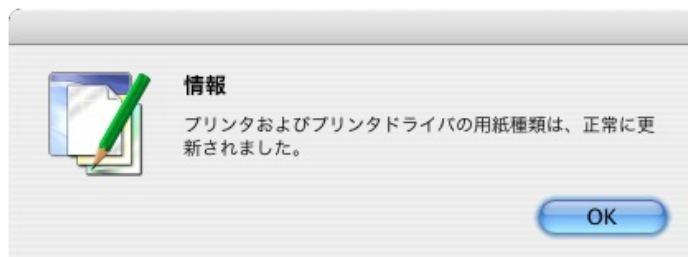
- これから更新するデータと異なったデータがプリンタに設定されている場合、選択した用紙情報ファイルで更新されます。プリンタに設定されているデータを残したい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

4. プリンタとの通信が開始され、以下のようなダイアログボックスが表示されます。

重要

- プリンタと通信中は、印刷を実行したり、電源を切ったりしないでください。
- プリンタと通信できない場合には、以下の警告メッセージが表示されます。

メモ

- 認証の画面が出た場合は、管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。

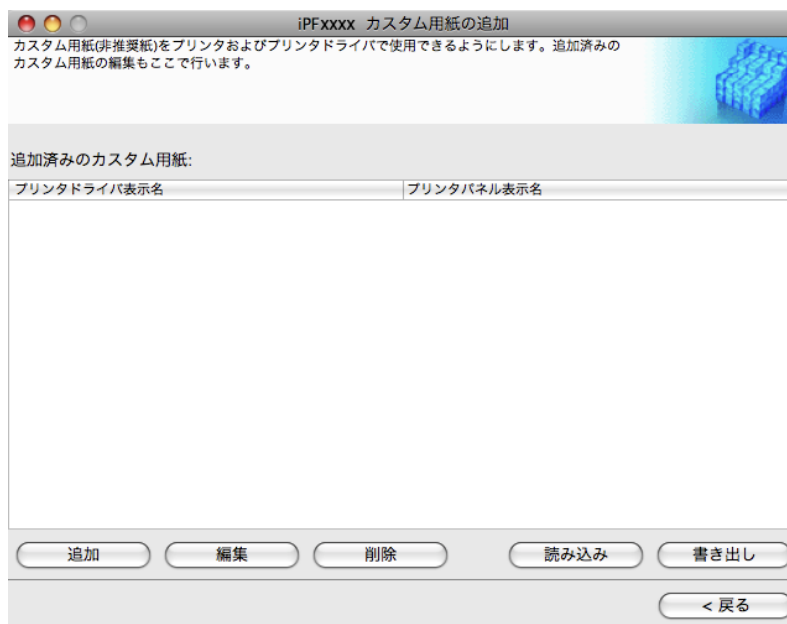
5. [OK]ボタンをクリックします。

メモ

- 別の同機種プリンタにも同じ更新をかけたい場合は、メインウィンドウの[純正紙の追加]ボタンをクリックして[用紙種類の編集]ダイアログボックスを開き、[更新]ボタンをクリックします。手順 1 で更新をかけたいプリンタを選択し、[用紙種類の更新]ウィザードに従って用紙情報を更新します。

純正紙/出力確認紙以外の用紙を使用する

Media Configuration Tool メインウィンドウの[カスタム用紙の追加]ボタンをクリックすると、[カスタム用紙の追加]ダイアログボックスが表示されます。
カスタム用紙のプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバへの追加は、この画面から行います。

メモ

- カスタム用紙とは、キヤノン純正紙や出力確認紙(用紙リファレンスガイドに記載されている用紙)以外の用紙です。

この画面では、以下の操作を行うことができます。

- カスタム用紙の追加 →P.645
- カスタム用紙の編集 →P.655
- カスタム用紙の削除 →P.654
- カスタム用紙の書き出し →P.656
- カスタム用紙の読み込み →P.657

重要

- カスタム用紙の追加/編集/削除を行った場合は、対象のプリンタを使用する他の全てのコンピュータでも同様の変更を行ってください。カスタム用紙の書き出し機能でカスタム用紙情報ファイル(.am1 ファイル)を生成し、他のコンピュータでそのファイルを読み込むと簡単に変更できます。
- カスタム用紙を別のプリンタで使用する場合は、必ずそのプリンタにカスタム用紙を追加してから使用してください。
- このダイアログボックスでは、キヤノン純正紙および出力確認紙の変更は行えません。「用紙種類情報を編集する →P.631 」を参照してください。
- プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに表示されている用紙種類の表示順序を変更する場合は、キヤノン純正紙、カスタム用紙にかかわらず、[用紙種類の編集]ダイアログボックスから行います。「用紙種類情報を編集する →P.631 」を参照してください。

使用できる用紙

用紙仕様

厚さやサイズなど、カスタム用紙として追加できる用紙の仕様は、「仕様」の「用紙」を参照してください。(「仕様」参照) →P.797

使用環境についてのご注意

低湿度環境(40%以下)では、以下のようなトラブルが発生することがあります。

- 用紙にカールやシワが発生する
- 用紙とプリントヘッドが接触しやすくなり、印地面にキズがついたり、プリントヘッドを損傷する場合がある
- カットした印刷物がプリンタにはりつき、下に落ちない(フィルム系用紙)
- 用紙がプリンタにはりつき、搬送不良となり正常に排紙されない(フィルム系用紙)
- 印刷ムラが発生する(フィルム系用紙)

高湿度環境(60%以上)では、以下のようなトラブルが発生することがあります。

- 印刷物が乾燥しない
- 用紙表面の波うち(凹凸)が激しくなる
- きれいにカットできない(クロス系用紙)
- フチなし印刷で余白が残る

重要

- カスタム用紙(キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙のいずれにも該当しない用紙)の印刷品位および紙搬送性について、キヤノンは一切保証いたしません。

カスタム用紙の追加

カスタム用紙をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに新規追加するには、まずキヤノン純正紙や出力確認紙の中から基準とする用紙種類を選択します。その基準用紙に必要に応じてさまざまな設定を行った後、それをカスタム用紙として追加します。

重要

- カスタム用紙の追加を行っている間は、対象のプリンタで印刷を実行しないでください。
- カスタム用紙の追加を行う場合は、「使用できる用紙 →P.644 」で、追加可能な用紙の仕様を確認してください。
- カスタム用紙の追加機能で追加したカスタム用紙は、プリンタドライバでのみ使用できます。他のソフトウェアでは使用できません。

1. [カスタム用紙の追加]ダイアログボックスを開き、[追加]ボタンをクリックします。

2. [用紙種類の更新 - プリンタの選択]ダイアログボックスの[プリンタ]に用紙情報を更新するプリンタが表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

3. [Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスが表示されます。[用紙のカテゴリー]で、追加するカスタム用紙の基準とする用紙種類のカテゴリーを選択します。

重要

- 追加するカスタム用紙に最も近いと思われるカテゴリーを選択してください。

4. [用紙種類名]に、選択したカテゴリー中の、キヤノン純正紙および出力確認紙の用紙種類名が表示されます。カスタム用紙の基準とする用紙種類を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- カスタム用紙の基準とする用紙種類が分からない場合は、[アシスト]ボタンをクリックして、[用紙種類選択アシスト]ダイアログボックスを開き、[重さ(坪量)]または[厚さ]を設定してください。選択した用紙のカテゴリーの中から適切なものを Media Configuration Tool が自動で選択します。または、表示されている[用紙種類名]の中から、[汎用]と書かれている用紙種類を選択してください。
- 選択したカテゴリーによっては、[汎用]と書かれている用紙種類はありません。
- 選択したカテゴリーによっては、[アシスト]ボタンは無効です。

5. [Step2 カスタム用紙名称の設定]ダイアログボックスが表示されます。
プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバで表示させる任意の名称を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

メモ

- [プリンタドライバ表示名]には、半角カナ、半角かな、全角英数は使用できません。
- [プリンタパネル表示名]には、全角カナ、半角かな、全角英数は使用できません。
- [用紙名称 (英語)]は、ロール紙残量管理やステータスプリントなどで使用されます。

6. プリンタにカスタム用紙をセットした後、[OK]ボタンをクリックします。

重要

- カールしている用紙や、一度印刷した用紙をセットしないでください。

7. [Step3 給紙方法の設定]ダイアログボックスが表示されます。カスタム用紙をセットした給紙口を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

8. [Step4 紙送り調整]ダイアログボックスが表示されます。[実行]ボタンをクリックして、紙送り調整を実行します。
調整パターンが印刷され、印刷結果をもとに用紙の送り量が自動的に調整されます。
紙送り調整が終了したら、[次へ]ボタンをクリックします。

重要

- 排紙ガイド上に用紙が残っていないことを確認してください。
- [紙送り調整]を実行しない場合、印刷物に色味の違う横スジが入ることがあります。紙送り調整は、二度以上実行する必要はありません。カスタム用紙を 1 つ追加するごとに、一度だけ実行してください。

9. [ロール紙の設定]ダイアログボックスが表示されます。

メモ

- [Step3 給紙方法の設定]ダイアログボックスで、[ロール紙]以外の給紙方法を選択した場合は、この画面は表示されません。

必要に応じて以下を設定し、[次へ]ボタンをクリックします。

設定項目	内容
[オートカット設定]	印刷後、排紙したときのロール紙のカット方法を設定します。 • [自動カット]:カッターユニットでロール紙を自動的にカットします。 • [イジェクトカット]:プリンタの操作パネルで[用紙カット]キーを押すと、カッターユニットでロール紙をカットします。インクの乾燥を待つときなど、印刷直後に印刷物を落下させたくない場合に選択します。 • [ユーザーカット]:カッターユニットではカットしません。1 枚ずつはさみでロール紙をカットしてください。カッターユニットでカットできない用紙の場合に選択します。
[インク乾燥時間]	インクを乾燥させるための待ち時間を設定できます。 • [オフ]:印刷終了後、すぐに排紙されます。 • [30 秒/1 分/3 分/5 分/10 分/30 分/60 分]:印刷終了後、設定した時間が経過してから排紙されます。
[フチなし印刷]	フチなし印刷を許可するかしないかを設定します。 • [許可する]:フチなし印刷を許可します。 • [許可しない]:フチなし印刷を許可しません。

重要

- 用紙によっては、カッターユニットでカットできないものや、カッターの劣化を早めたりカッターを損傷させるものがあります。厚い用紙や硬い用紙などはカッターユニットを使用せず、印刷後にロール紙をはさみなどでカットしてください。この場合は、[オートカット設定]で[ユーザーカット]を選択してください。
- インクの乾きが悪い用紙にフチなし印刷する場合、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、正しくカットできないことがあります。このような場合は[インク乾燥時間]で、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定してください。また、カッターでうまく用紙がカットできない場合は、[オートカット設定]を[ユーザーカット]に設定してロール紙をはさみなどでカットしてください。
- フチなし印刷できる用紙は、用紙の種類とロール紙の幅が限られています。「使用できる用紙 →P.644 」を参照してください。
- [オートカット設定]を[ユーザーカット]に設定する必要があるカスタム用紙は、[フチなし印刷]は[許可しない]を設定してください。

10. [Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスが表示されます。
この画面では、カスタム用紙への印刷に使用するインク量の上限を、複数のレベルの中から選択し設定します。
まず[試し印刷]ボタンをクリックして各レベルの試し印刷を行います。

重要

- カスタム用紙の基準用紙に、[新聞プルーフ用紙]を選択した場合は、インク最大使用量の試し印刷および設定はできません。

11. [試し印刷の設定]ダイアログボックスが表示されます。
[優先画質]と[印刷品質]で、試し印刷の優先画質と印刷品質を選択します。
[インク最大使用量]で試し印刷するレベルを、[試し印刷に使用する画像]で使用する画像を設定し、[印刷開始]ボタンをクリックします。

試し印刷の設定

試し印刷するインク使用量のレベル(複数選択可能)、使用する画像、および優先画質と印刷品質を設定してください。
注：優先画質と印刷品質は、実際にこのカスタム用紙に印刷する際によく使う設定値を選択してください。

優先画質: オフィス文書
印刷品質: 標準(600dpi)

インク最大使用量
- キヤノン基準紙
- 少ない
- やや少ない
- 普通
- やや多い
- 多い

試し印刷に使用する画像
- 標準画像
- ユーザー画像

参照

キャンセル　印刷開始

12. インクのにじみやかすれがないか、試し印刷の結果を見て最もよいと思われるインク量レベルを判断し、設定します。

インク最大使用量の選択

印刷結果が最も良かったレベルを選択してください。
注：印刷結果にキズがある場合は、次の画面で吸着力またはヘッド高さの設定を変えてください。

レベル
- キヤノン基準紙
- 少ない
- やや少ない
- 普通
- やや多い
- 多い

キャンセル　OK

メモ

- ヘルプを参考にして、最適なインク量レベルを判断してください。
- どのインク最大使用量を選択しても、十分な印刷品位が得られない場合は、カスタム用紙の基準とする用紙を[Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスで別の用紙に変更して設定をやり直してください。

重要

- 印刷に使用するインク量の上限を設定するため、画像によってはレベルを変更しても印刷結果が変わらないことがあります。
- Media Configuration Tool では色味の設定はできません。インク最大使用量を変更すると色味が変わることがありますが、ここではインクのにじみやかすれがないかにのみ着目して最適なレベルを選択してください。色味の調整が必要な場合は、お使いの用紙に合った ICC カラープロファイルを用意して、ソフトウエアでその ICC カラープロファイルを指定してください。
- インク最大使用量の設定によっては、プリンタドライバの一部の印刷品質が選択できなくなることがあります。

13. [ヘッド高さ]と[吸着力]を必要に応じて設定し、[次へ]ボタンをクリックします。
通常は設定する必要はありません。

重要

- [ヘッド高さ]を自動で設定された( )内の高さより低くする場合は、用紙にこすれないことを確認してください。(プリントヘッドが用紙にこすれると印刷結果に傷が入ります。)プリントヘッドが用紙にこすれるとプリントヘッドの故障につながることがあります。
- [吸着力]を変更する場合は、プリントヘッドが用紙にこすれないことを確認してください。(プリントヘッドが用紙にこすれると印刷結果に傷が入ります。)プリントヘッドが用紙にこすれるとプリントヘッドの故障につながることがあります。
- [ヘッド高さ]と[吸着力]について詳しくは、ヘルプを参照してください。

14. [Step6 設定内容の確認]ダイアログボックスが表示されます。
カスタム用紙の設定内容を確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

15. [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
更新対象を確認し、[実行]ボタンをクリックします。

メモ

- 認証の画面が出た場合は、管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。

プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバにカスタム用紙が追加されます。

重要

- [POP ボード/厚紙]カテゴリーの用紙を基準用紙としてカスタム用紙を追加した場合は、セットしたカスタム用紙をプリンタから取り外してください。

メモ

- カスタム用紙がプリンタドライバに正しく追加されると、Media Configuration Tool メインウィンドウの[純正紙の追加]で開く[用紙種類の編集]ダイアログボックスに、追加したカスタム用紙名称が表示されます。

カスタム用紙の削除

追加済みのカスタム用紙を、プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバから削除することができます。

1. [カスタム用紙の追加]ダイアログボックスを開きます。

2. [追加済みのカスタム用紙]のリストから、削除したい用紙を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

3. カスタム用紙を削除したいプリンタを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

4. [更新対象の確認]ダイアログボックスが表示されます。
更新対象を確認し、[実行]ボタンをクリックします。

メモ

- 認証の画面が出た場合は、管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。

プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバから、カスタム用紙が削除されます。

カスタム用紙の編集

追加済みのカスタム用紙の設定を変更することができます。

1. [カスタム用紙の追加]ダイアログボックスを開きます。

2. [追加済みのカスタム用紙]のリストから、編集したい用紙を選択して、[編集]ボタンをクリックします。

3. [用紙種類の更新 - プリンタの選択]ダイアログボックスが表示されます。
以降、画面の指示に従い、必要に応じて設定を変更します。

メモ

- 各設定方法については、「カスタム用紙の追加 →P.645 」の手順 5〜15 を参照してください。

カスタム用紙の書き出し

追加済みのカスタム用紙の用紙情報を、ファイルに書き出し、保存することができます。
保存されたカスタム用紙情報ファイルは、別のプリンタやコンピュータに読み込んで使用することができます。「カスタム用紙の読み込み」について詳しくは、「カスタム用紙の読み込み →P.657 」を参照してください。

1. [カスタム用紙の追加]ダイアログボックスを開きます。

2. [追加済みのカスタム用紙]のリストから、用紙情報ファイルを書き出したい用紙を選択して、[書き出し]ボタンをクリックします。

3. カスタム用紙情報ファイルの保存先を指定します。

カスタム用紙情報ファイル(.am1 ファイル)が保存されます。

カスタム用紙の読み込み

フォルダに保存されているカスタム用紙情報ファイルを読み込んで、プリンタの操作パネルやお使いのコンピュータのプリンタドライバに追加することができます。

1. [カスタム用紙の追加]ダイアログボックスを開きます。

2. [読み込み]ボタンをクリックします。

3. カスタム用紙を追加するプリンタを選択します。

メモ

- カスタム用紙情報ファイルをダブルクリックすると、Media Configuration Tool が起動し、この画面が表示されます。

4. 読み込むカスタム用紙情報ファイル(.am1 ファイル)を選択します。

5. [更新対象の確認]ダイアログボックスが開きます。
[実行]ボタンをクリックします。

メモ

- 認証の画面が出た場合は、管理者の名前とパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。

プリンタの操作パネルおよびお使いのコンピュータのプリンタドライバにカスタム用紙が追加されます。

メモ

- カスタム用紙がプリンタドライバに正しく追加されると、Media Configuration Tool メインウィンドウの[純正紙の追加]で開く[用紙種類の編集]ダイアログボックスに、追加したカスタム用紙名称が表示されます。

注意事項

キヤノン純正紙/出力確認紙以外のカスタム用紙をプリンタドライバおよびプリンタ本体に追加する場合は、以下の点にご注意ください。

カッターについて

- 用紙によっては、カッターユニットでカットできないものや、カッターの劣化を早めたりカッターを損傷させるものがあります。厚い用紙や硬い用紙などはカッターユニットを使用せず、印刷後にロール紙をはさみなどでカットしてください。この場合は、[ロール紙の設定]ダイアログボックスの[オートカット設定]で[ユーザーカット]を選択してください。

メモ

- カッターが故障した場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
- ロール紙のカット方法について詳しくは、「ロール紙のカット方法を設定する」を参照してください。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.684

プリントヘッドについて

- 印刷したときにプリントヘッドが用紙にこすれると、プリントヘッドの故障につながることがあります。プリントヘッドがこすれる場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[吸着力]を以下のように設定してください。
  - 厚口コート紙のように紙ベースの用紙の場合:[やや強い]または[強い]に設定
  - トレーシングペーパー(CAD)のようにフィルムベースの場合:[標準]、[やや強い]または[強い]に設定
  - 厚さが 0.1mm 以下の薄い用紙の場合:[弱い]に設定

メモ

- [吸着力]を変更してもこすれる場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[ヘッド高さ]を高く設定してください。
- プリントヘッドがこすれる場合の対応については、「プリントヘッドが用紙にこすれる」を参照してください。(「プリントヘッドが用紙にこすれる」参照) →P.891

フチなし印刷について

- インクの乾きが悪い用紙にフチなし印刷する場合、カッターユニットが印刷面に接触して傷が付いたり、正しくカットできないことがあります。このような場合は[ロール紙の設定]ダイアログボックスの[インク乾燥時間]で、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定してください。
また、カッターでうまく用紙がカットできない場合は、[ロール紙の設定]ダイアログボックスの[オートカット設定]を[ユーザーカット]に設定してロール紙をはさみなどでカットしてください。

印刷品位について

- 画像の端部がぼやける場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[吸着力]を弱く設定してください。
- 線がゆがんだりかすれたりする場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスで[ヘッド高さ]を低く設定してください。
- インクの使用量が多すぎると印刷物にしわがよったり、インクがにじんだりする場合があります。またインクの使用量が少なすぎると、発色が悪くなったり、線がかすれることがあります。そのような場合は、[Step5 インク使用量の設定]ダイアログボックスでインクの使用量を変更してください。
- 印刷物に色味の違う横スジが入る場合は、[Step4 紙送り調整]ダイアログボックスの[紙送り調整]を実行してください。[紙送り調整]をすでに実行済みの場合は、プリンタの操作パネルで[紙送り微調整]を実行し、用紙の送り量を微調整してください。

メモ

- [紙送り微調整]について詳しくは､｢用紙の送り量を微調整する(紙送り微調整)｣を参照してください｡(｢用紙の送り量を微調整する(紙送り微調整)｣参照) →P.721
- [紙送り微調整]を実行しても横スジが入る場合は､｢困ったときには｣の｢色味の違うスジが入る｣を参照してください｡(｢色味の違うスジが入る｣参照) →P.894

- カット紙の印刷物の最後端部(およそ 20～30 mm 付近)に色味の違うスジが入る場合は､カット紙後端の送り量を調整してください｡(｢カット紙後端の色味を調整する｣参照) →P.723
- 十分な印刷品位が得られない場合は､インク最大使用量を変更したり､[Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスでカスタム用紙の基準とする用紙の種類を変更してください｡
- 印刷物に光沢感がない場合は､カスタム用紙の基準とする用紙に､黒インクにフォトインクを使用する用紙を選択してください｡
  使用する黒インクの種類は､[Step1 基準用紙の選択]ダイアログボックスの各用紙種類の右側に表示されています｡

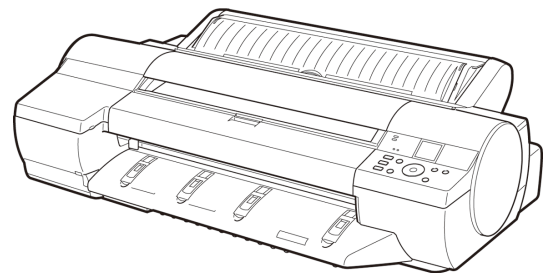
メモ

- 印刷品質のトラブルについては､｢印刷品質のトラブル｣も参照してください｡(｢印刷品質のトラブル →P.890 ｣参照)

色味について

- Media Configuration Tool では色味の設定はできません｡色味の調整が必要な場合は､お使いの用紙に合った ICC カラープロファイルを用意して､ソフトウエアでその ICC カラープロファイルを指定してください｡
- カスタム用紙は､環境光補正機能とカラーマッチング方法のモニタマッチングは使用できません｡

用紙の取り扱い

6

用紙について

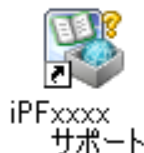
用紙の種類

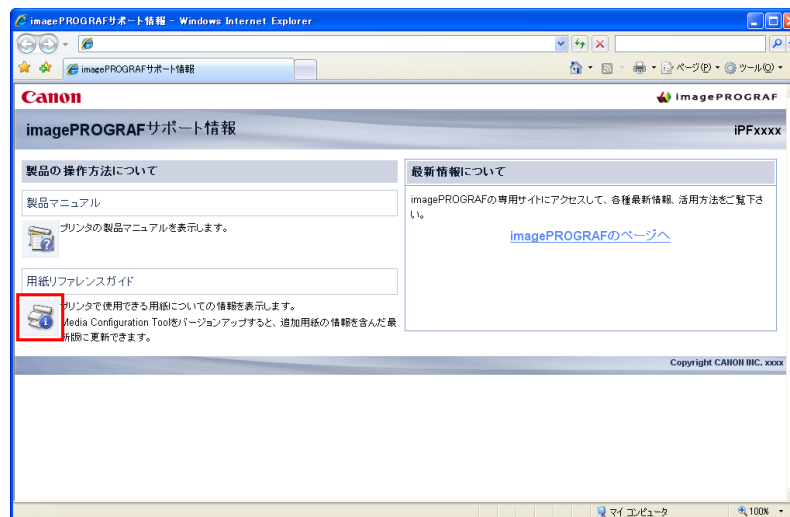
プリンタに対応する用紙(普通紙、コート紙、フォト用紙(光沢紙など)、プルーフ用紙、CAD 専用など)については、用紙リファレンスガイドを参照してください。用紙リファレンスガイドには、用紙の種類や仕様、プリンタドライバの設定、用紙の取り扱い方法などが記載されています。(「用紙リファレンスガイド」参照)
Media Configuration Tool の最新版を imagePROGRAF ホームページからダウンロードすることで、用紙リファレンスガイドやプリンタの操作パネル、プリンタドライバの用紙情報を最新の情報に更新できます。
また、Media Configuration Tool を使って、カスタム用紙(キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙のいずれにも該当しない用紙)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加することができます。

用紙リファレンスガイドを[imagePROGRAF サポート情報]から表示する

用紙リファレンスガイドは、[imagePROGRAF サポート情報]からも参照できます。ご使用の OS に合わせて、操作してください。

- Windows の場合

1. デスクトップの[iPFxxxx サポート]アイコンをダブルクリックします(iPFxxxx はプリンタ名)。

[imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

2. [用紙リファレンスガイド]ボタンをクリックします。

用紙リファレンスガイドが表示されます。

- Mac OS X の場合

1. [Dock]内の[iPF サポート]アイコンをクリックします。

[imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

2. [用紙リファレンスガイド]ボタンをクリックします。

用紙リファレンスガイドが表示されます。

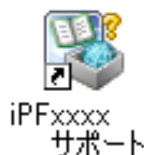
最新の用紙情報に更新する

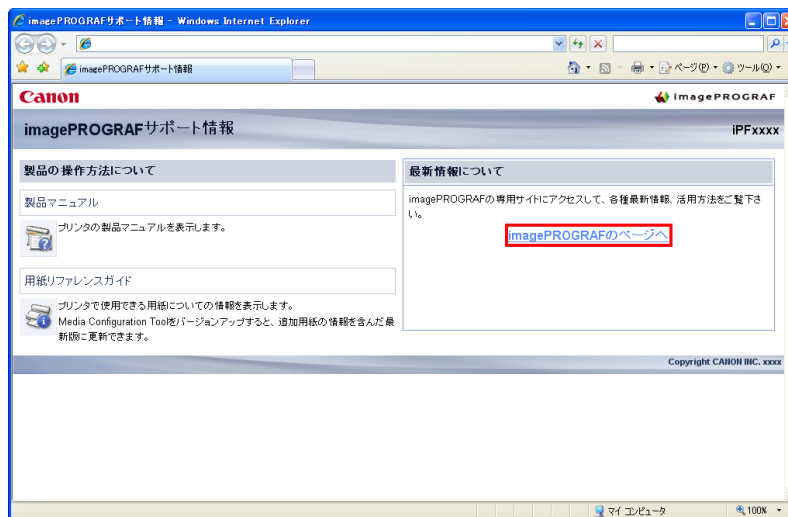
用紙リファレンスガイドとプリンタの最新の用紙情報は、imagePROGRAF のホームページから Media Configuration Tool の最新版をダウンロードして更新します。Media Configuration Tool については、Media Configuration Tool →P.407（Windows）または Media Configuration Tool →P.622（Macintosh）を参照してください。
imagePROGRAF のホームページは、[imagePROGRAF サポート情報]から参照できます。

重要

- Media Configuration Tool で用紙の種類を更新した場合、プリンタの操作パネルおよびプリンタドライバ、関連ソフトウェアの用紙の種類が変更されます。

- Windows の場合

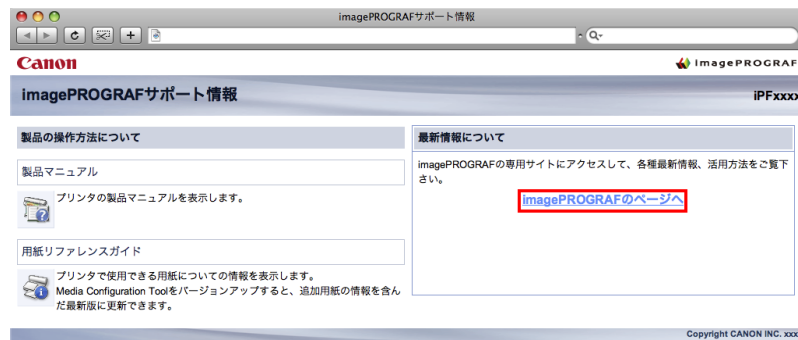
1. デスクトップの[iPFxxxx サポート]アイコンをダブルクリックします（iPFxxxx はプリンタ名）。

[imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

2. [imagePROGRAF のページへ]をクリックします。

ご使用のコンピュータの標準ブラウザが起動し、imagePROGRAF のホームページが表示されます。

- Mac OS X の場合

1. [Dock]内の[iPF サポート]アイコンをクリックします。

[imagePROGRAF サポート情報]のウィンドウが開きます。

2. [imagePROGRAF のページへ]をクリックします。

ご使用のコンピュータの標準ブラウザが起動し、imagePROGRAF のホームページが表示されます。

カスタム用紙を追加する

Media Configuration Tool を使って、カスタム用紙(キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙のいずれにも該当しない用紙)をプリンタの操作パネルおよびプリンタドライバに追加することができます。
Media Configuration Tool については、Media Configuration Tool →P.407 または Media Configuration Tool →P.622 を参照してください。

重要

- カスタム用紙(キヤノン純正紙およびキヤノン出力確認紙のいずれにも該当しない用紙)の使用に起因してプリンタに不具合が生じた場合は、無償保証期間内であっても有償対応となります。

用紙のサイズ

ロール紙

以下のすべての条件に合ったロール紙を使用できます。

- 外径 150 mm 以内
- 紙管の内径 2 インチまたは 3 インチ
- 表(外側)が印刷面

ロール紙の幅	プリンタドライバの[ロール紙幅]の設定(*1 →P.667)	フチなし印刷(*1 →P.667)
609.6 mm(24.00 インチ)	[24 インチロール(609.6mm)]	可
594.0 mm(23.39 インチ)	[ISO A1/A2 ロール(594.0mm)]	可(*2 →P.667)
515.0 mm(20.28 インチ)	[JIS B2/B3 ロール(515.0mm)]	可
431.8 mm(17.00 インチ)	[17 インチロール(431.8mm)]	可
420.0 mm(16.54 インチ)	[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]	可(*2 →P.667)
406.4 mm(16.00 インチ)	[16 インチロール(406.4mm)]	可
355.6 mm(14.00 インチ)	[14 インチロール(355.6mm)]	可
329.0 mm(12.95 インチ)	[A3+ロール(329.0mm)]	不可
300.0 mm(11.81 インチ)	[300mm ロール(300.0mm)]	不可
297.0 mm(11.69 インチ)	[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]	不可
257.0 mm(10.12 インチ)	[JIS B4 ロール(257.0mm)]	可
254.0 mm(10.00 インチ)	[10 インチロール(254.0mm)]	可
203.2 mm(8.00 インチ)	[8 インチロール(203.2mm)]	不可

ロール紙の幅	プリンタドライバの[ロール紙幅]の設定(*1 →P.667)	フチなし印刷(*1 →P.667)
[ユーザ定義用紙]	203.2 mm(8.00 インチ) ～ 610.0 mm(24.02 インチ)	

*1: フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663

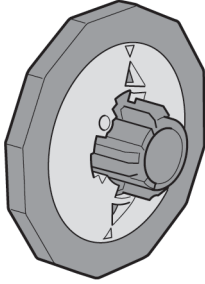
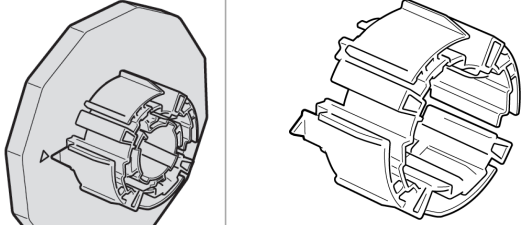
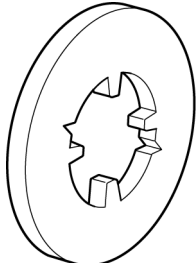
*2:フチなし印刷用スペーサーが必要です。

カット紙

以下のサイズのカット紙を使用できます。

用紙のサイズ	寸法
[ISO A1]	594.0 × 841.0 mm(23.39 × 33.11 インチ)
[ISO A2]	420.0 × 594.0 mm(16.54 × 23.39 インチ)
[ISO A2 ノビ]	431.8 × 609.6 mm(17.00 × 24.00 インチ)
[ISO A3]	297.0 × 420.0 mm(11.69 × 16.54 インチ)
[ISO A3 ノビ]	329.0 × 483.0 mm(12.95 × 19.02 インチ)
[ISO A4]	210.0 × 297.0 mm(8.27 × 11.69 インチ)
[ISO B2]	500.0 × 707.0 mm(19.69 × 27.83 インチ)
[ISO B3]	353.0 × 500.0 mm(13.90 × 19.69 インチ)
[ISO B4]	250.0 × 353.0 mm(9.84 × 13.90 インチ)
[JIS B2]	515.0 × 728.0 mm(20.28 × 28.66 インチ)
[JIS B3]	364.0 × 515.0 mm(14.33 × 20.28 インチ)
[JIS B4]	257.0 × 364.0 mm(10.12 × 14.33 インチ)
[22"x34"(ANSI D)]	558.8 × 863.6 mm(22.00 × 34.00 インチ)
[17"x22"(ANSI C)]	431.8 × 558.8 mm(17.00 × 22.00 インチ)
[11"x17"(Ledger)]	279.4 × 431.8 mm(11.00 × 17.00 インチ)
[13"x19"(Super B)]	330.2 × 482.6 mm(13.00 × 19.00 インチ)
[Letter(8.5"x11")]	215.9 × 279.4 mm(8.50 × 11.00 インチ)
[Legal(8.5"x14")]	215.9 × 355.6 mm(8.50 × 14.00 インチ)
[24"x36"(ARCH D)]	609.6 × 914.4 mm(24.00 × 36.00 インチ)
[18"x24"(ARCH C)]	457.2 × 609.6 mm(18.00 × 24.00 インチ)
[12"x18"(ARCH B)]	304.8 × 457.2 mm(12.00 × 18.00 インチ)
[9"x12"(ARCH A)]	228.6 × 304.8 mm(9.00 × 12.00 インチ)
[DIN C2]	458.0 × 648.0 mm(18.03 × 25.51 インチ)
[DIN C3]	324.0 × 458.0 mm(12.76 × 18.03 インチ)
[DIN C4]	229.0 × 324.0 mm(9.02 × 12.76 インチ)
[大全 (20"x24")]	508.0 × 609.6 mm(20.00 × 24.00 インチ)
[全紙 (18"x22")]	457.2 × 558.8 mm(18.00 × 22.00 インチ)
[半切 (14"x17")]	355.6 × 431.8 mm(14.00 × 17.00 インチ)
[小半切 (12"x16")]	304.8 × 406.4 mm(12.00 × 16.00 インチ)
[四切 (10"x12")]	254.0 × 304.8 mm(10.00 × 12.00 インチ)
[四切ワイド (10"x15")]	254.0 × 381.0 mm(10.00 × 15.00 インチ)
[US フォト (16"x20")]	406.4 × 508.0 mm(16.00 × 20.00 インチ)

用紙のサイズ		寸法
[ポスター 20"x30"]		508.0 × 762.0 mm(20.00 × 30.00 インチ)
[13"x22"]		329.0 × 558.0 mm(12.95 × 21.97 インチ)
[ポスター 300x900mm]		300.0 × 900.0 mm(11.81 × 35.43 インチ)
[ユーザ定義用紙]	手差し上面給紙口	203.2 × 279.0 mm(8.00 × 10.98 インチ) ～ 610.0 × 1600.0 mm(24.02 × 62.99 インチ)
	手差し前面給紙口	250.0 × 350.0 mm(9.84× 13.78 インチ) ～ 610.0 × 914.0 mm(24.02 × 35.98 インチ)

メモ

- Windows 版プリンタドライバでは、初期状態では無効になっている用紙サイズがあります。有効にしたい場合は、以下の手順を行います。

  1. プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
  2. [ページ設定]タブをクリックし、[ページ設定]シートを表示します。
  3. [ユーザ用紙設定]をクリックし、[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスを開きます。
  4. サイズ系列の[オーバーサイズ]チェックボックスをオンにします。

- 定形外の[ユーザ定義用紙]については、「定形外の用紙に印刷する」を参照してください。→P.113
- カット紙では、フチなし印刷できません。

ロール紙の取り扱い

ロール紙をロールホルダーにセットする

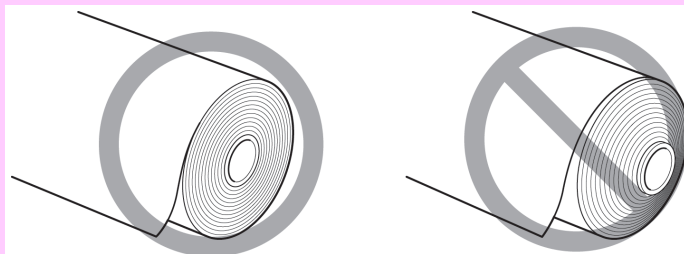
ロール紙に印刷する場合は、ロール紙にロールホルダーを取り付けます。
ロール紙の紙管には 2 インチと 3 インチの 2 つの種類があるため、紙管に合ったアタッチメントを取り付けてください。工場出荷状態では 2 インチ紙管アタッチメントが取り付けられています。
A1 サイズ(594 mm)、A2 サイズ(420 mm)のロール紙にフチなし印刷する場合は、付属のフチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けます。

2 インチ紙管のロール紙を使用する場合		3 インチ紙管のロール紙を使用する場合	
ホルダーストッパ	ロールホルダー側	ホルダーストッパ	ロールホルダー側
2 インチ紙管用	アタッチメント不要	3 インチ紙管用	3 インチ紙管アタッチメント
• A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合 フチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けます。			

注意

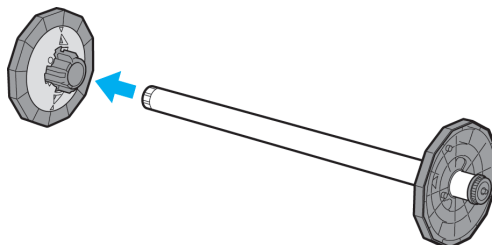
- ロール紙は、転がり落ちないように、机の上など平面に横置きにしてセットしてください。ロール紙を落とすと、けがをする場合があります。

重要

- ロール紙を取り扱うときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。
- ロール紙の端面は、巻き揃えておいてください。給紙不良の原因になります。

- ロール紙の先端に折れや汚れがある場合は[用紙ｶｯﾄ]の操作を行って、ロール紙の先端をカットしてください。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.684
- 用紙が大きく折れ曲がっている場合は、はさみなどでカットしてからプリンタにロール紙をセットし、[用紙ｶｯﾄ]の操作を行って、ロール紙の先端をカットしてください。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.684

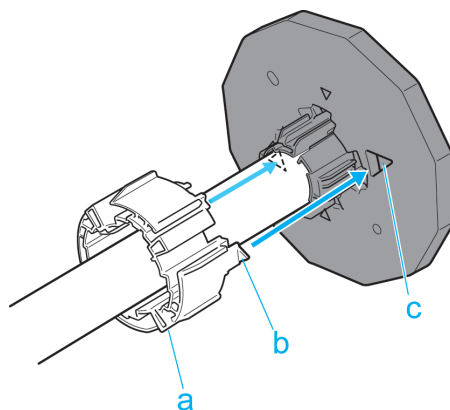
メモ

- 使用できるロール紙のサイズと種類については、[用紙のサイズ]、または用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙のサイズ」参照) →P.666 (「用紙の種類」参照) →P.663
- [ナビ]キーを押すと、操作説明を見ながらロールホルダーをセットすることができます。(「ナビの見かた」参照) →P.765

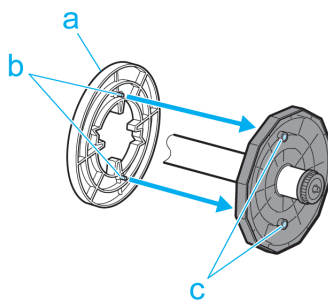
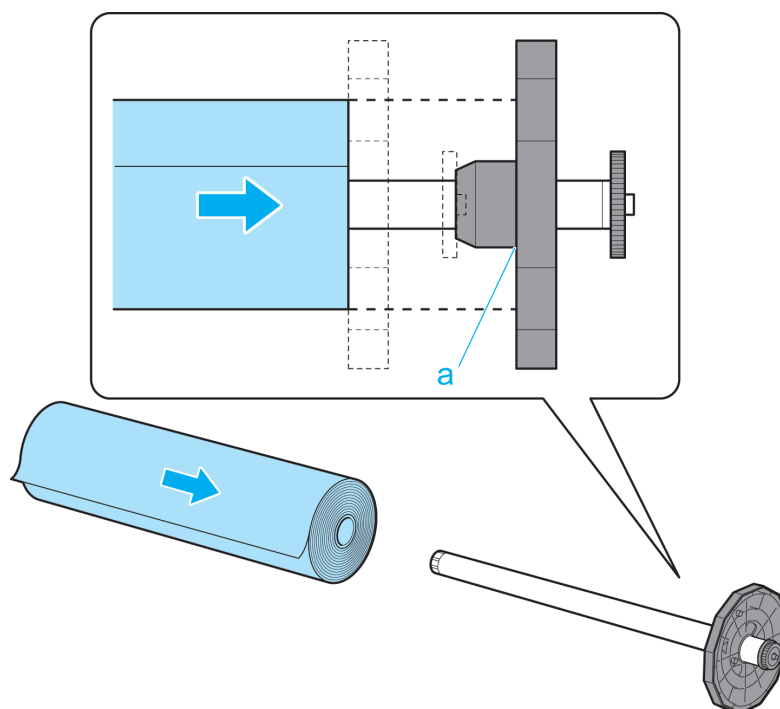
1. ロールホルダーからホルダーストッパを取り外します。

2. ロールホルダーに、使用するロール紙のアタッチメントを取り付けます。

- 3 インチ紙管の用紙を使用する場合

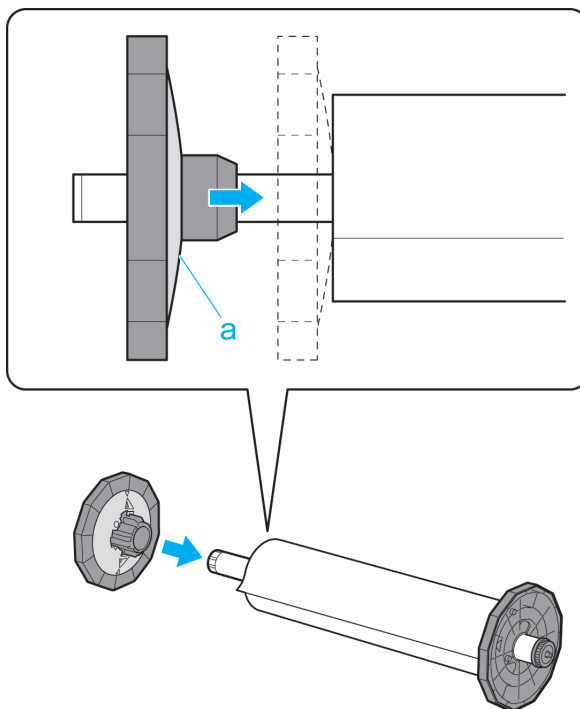
付属の 3 インチ紙管アタッチメントをロールホルダーに取り付けます。

図のように、3 インチ紙管アタッチメント(a)の三角の部分(b)とロールホルダーの三角の部分(c)を合わせ、3 インチ紙管アタッチメントをロールホルダーに差し込みます。

ホルダーストッパは 3 インチ紙管用のものを使用してください。

• A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合

付属のフチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けます。
図のように、フチなし印刷用スペーサー(a)の突起(b)を、ロールホルダーの穴(c)に差し込みます。

3. 図のようにロールホルダーを横に置いて、ロール紙の先端を手前に向けて、ロール紙を左側からロールホルダーに差し込みます。ロール紙はロールホルダーのフランジ(a)に隙間なく突き当たるまでしっかりと差し込みます。

重要

- ロールホルダーは必ず横に置いてロール紙をセットしてください。ロールホルダーを立てた状態でロール紙をセットすると、ロールホルダーが破損することがあります。

4. 図のように、ホルダーストッパを左側からロールホルダーに差し込み、ホルダーストッパのフランジ(a)がロール紙に突き当たるまでしっかりと押し込みます。
紙管に合ったホルダーストッパを取り付けてください。

ロール紙をプリンタにセットする

以下の手順でロール紙をプリンタにセットします。

重要

- ロール紙は、必ず電源を入れた状態でセットしてください。電源を入れない状態でロール紙をセットした場合、電源を入れたときに正しく給紙されないことがあります。

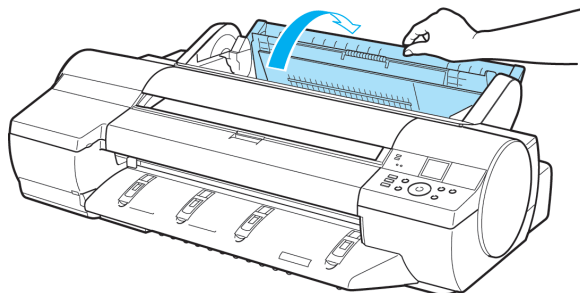
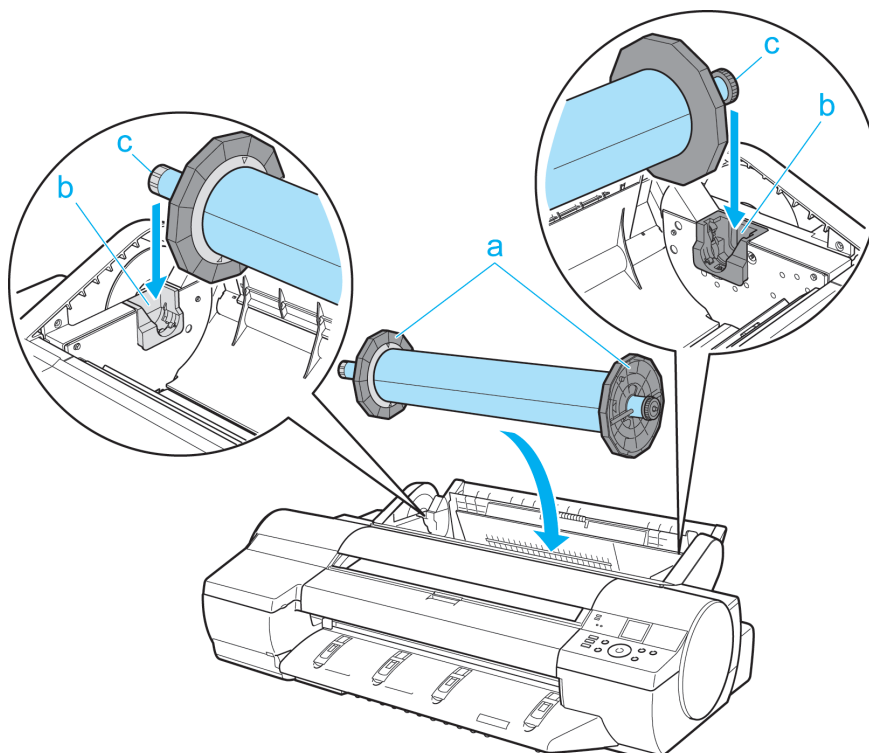
メモ

- ロール紙をセットする前に、上カバー内部や排紙ガイドが汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをお勧めします。(「上カバー内部を清掃する」参照) →P.864

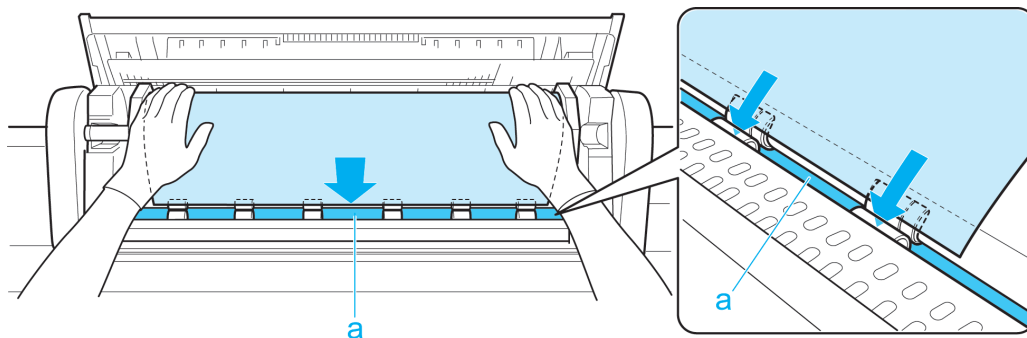
1. [用紙交換]キーを押します。

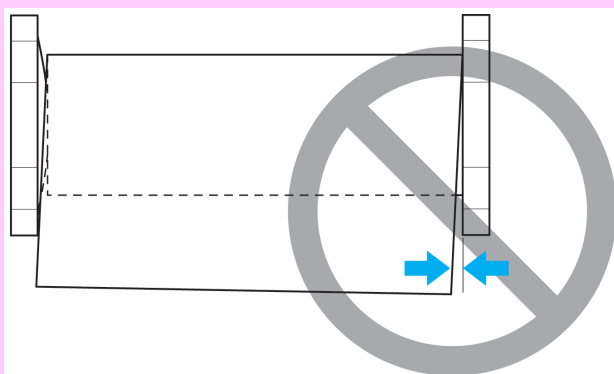
2. [▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙]を選択し、[OK]キーを押します。

メモ
- 使用しない用紙が給紙されている場合は、用紙を外すメッセージが表示されます。[▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。用紙を取り外し、次の手順に進んでください。

3. ロールル紙ユニットカバーを開きます。

4. ロールホルダーのフランジ(a)を持って、ロールホルダーの軸をロールホルダースロットの左右のガイド溝(b)に合わせてセットします。このとき、ガイド溝の色とロールホルダーの軸(c)の色が同じになるようにセットします。

注意
- ロールホルダーの左右を間違えた状態で無理にセットしないでください。プリンタやロールホルダーを破損する場合があります。
- ロールホルダースロットにセットするまでフランジから手を離さないでください。
- セットするときに、ガイド溝(b)とロールホルダーの軸(c)の間に指が挟まれないように注意してください。

メモ
- プリンタの前面からセットしにくい場合は、プリンタの背面からセットしてください。

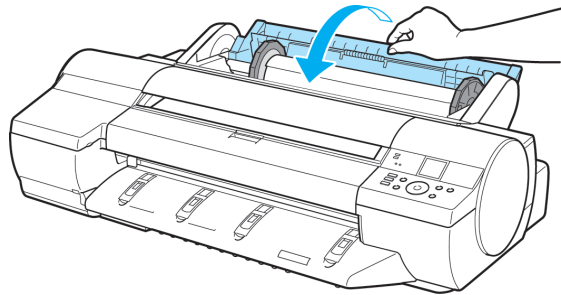
5. ロール紙の先端を給紙口(a)に差し込み、給紙音がするまで送り込みます。

重要

- ロール紙を送り込むときは、印刷面を汚さないように注意してください。印刷品質が低下する場合があります。ロール紙は、印刷面を保護するために、清潔な布手袋を着用して取り扱うことをお勧めします。
- 用紙にしわやカールがある場合は、しわやカールを取ってからセットしてください。
- 用紙が斜めにならないようにセットしてください。

6. 給紙動作が開始されると、[ﾛｰﾙ紙残量管理]の設定やロール紙に印刷されているバーコードによって、以下の操作が必要になります。(「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.681

[ﾛｰﾙ紙残量管理]	バーコード	給紙後の動作
[ｵﾌ]	印刷されている	ディスプレイに用紙の種類を選択するメニューが自動的に表示されます。 [▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。
	印刷されていない	
[ｵﾝ]	印刷されている	ロール紙に印刷されているバーコードから用紙の種類と残量が自動で検知されます。 用紙の種類、長さを選択する必要はありません。
	印刷されていない	ディスプレイに用紙の種類と長さを選択するメニューが自動的に表示されます。 [▲]キー、[▼]キーを押してセットした用紙の種類と長さを選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- 選択する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663

7. ロール紙ユニットカバーを閉じます。

メモ

- セットした用紙でヘッド位置調整を行うと、印刷品質が向上する場合があります。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710
- ロール紙の先端に折れがあり、はさみなどでカットした場合や、汚れがある場合は、給紙完了後ロール紙の先端をカットします。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.684

用紙の種類を変更する

用紙のセット後にプリンタに設定した用紙の種類を変更する場合は、以下の手順で変更してください。
同じ種類の用紙を使い続ける場合は、[用紙種類の固定]を[オン]に設定すると、用紙をセットする際に、[オン]に設定する前に選択した用紙の種類が自動的に選択され、用紙の種類を設定する手間が省けます。(「同じ種類の用紙を使い続ける場合」参照) →P.676

重要

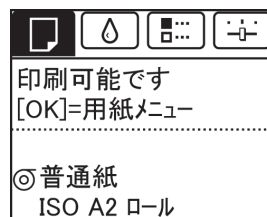
- このプリンタは、最良の印刷品質を得るために、用紙の種類ごとに用紙の送り量を微調整しています。印刷するときは、給紙する用紙の種類を正しく選択してください。
- 用紙の種類ごとに用紙の送り量を微調整しているため、用紙の種類によって画像のサイズやマージンが変わることがあります。画像のサイズやマージンが思うような結果にならない場合は、用紙の送り量の調整を行ってください。
(「用紙の送り量を調整する」参照) →P.716

用紙の種類を変更する

メモ

- ロール紙をセットすると、ディスプレイに用紙の種類を選択するメニューが自動的に表示されます。用紙の種類を選択して[OK]キーを押してください。
ロール紙にバーコードが印刷されていなくて、[ロール紙残量管理]が[オン]に設定されている場合は、用紙の種類を選択した後、続けて、用紙の長さを選択してください。(「用紙の長さを設定する」参照) →P.677

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙種類の変更]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して現在給紙されている用紙の種類([ﾛｰﾙ紙]または[手差し])を選択し、[OK]キーを押します。

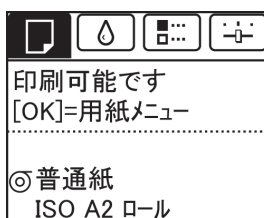
5. [▲]キー、[▼]キーを押してプリンタにセットされている用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

メモ
- 用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663 工場出荷時は、普通紙が選択されています。
- 必ず正しい用紙の種類を選択してください。セットした用紙の種類と設定値が合っていないと、用紙送りのエラーや印刷品質の低下の原因になります。

同じ種類の用紙を使い続ける場合

現在設定されている用紙種類が、今後用紙をセットする際に自動的に選択されるように設定します。

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙種類の固定]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｵﾝ]を選択し、[OK]キーを押します。

メモ
- 以下の場合は、設定した用紙種類が更新されます。
  - カット紙を使用する場合、用紙セット前に印刷ジョブを送信すると、印刷ジョブで設定した用紙種類に更新されます。
  - 操作パネルのメニューで[ﾛｰﾙ紙残量管理]が[ｵﾝ]に設定されていて、ロール紙にバーコードが印刷されている場合は、バーコードに登録されている用紙種類に更新されます。
- 用紙の種類を変更したい場合は、「用紙の種類を変更する」を参照してください。 →P.675

用紙の長さを設定する

用紙の給紙後に用紙の長さを変更する場合は、以下の手順で用紙の長さを設定してください。

メモ

- ロール紙の長さの設定は、[ﾛｰﾙ紙残量管理]が[ｵﾝ]に設定されている場合に行います。(「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.681

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
   [用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙ｻｲｽﾞの変更]を選択し、[OK]キーを押します。
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾛｰﾙ紙の長さ]を選択し、[OK]キーを押します。
5. [▲]キー、[▼]キーを押してプリンタにセットされている用紙の長さを設定し、[OK]キーを押します。
   用紙の長さは、以下の手順で設定します。
   1. [◀]キー、[▶]キーを押して、入力フィールドを移動します。
   2. [▲]キー、[▼]キーを押して数値を入力します。
   3. 手順 1、2 を繰り返して数値を入力し、[OK]キーを押します。

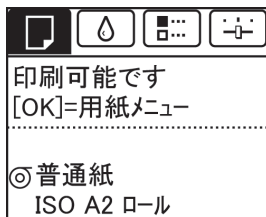
ロール紙をプリンタから取り外す

以下の手順でロール紙をプリンタから取り外します。

重要

- ロール紙が給紙された状態で無理に用紙を引き抜かないでください。ロール紙が給紙できなくなり、ロール紙の残量も管理できなくなります。
  誤って引き抜いてしまった場合は、以下のロール紙を取り外す手順を行ない、給紙口を開きます。

メモ

- ロール紙をカットする必要がある場合は、「ロール紙のカット方法を設定する」を参照してください。→P.684

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

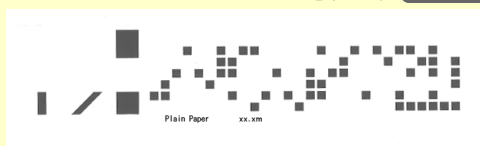
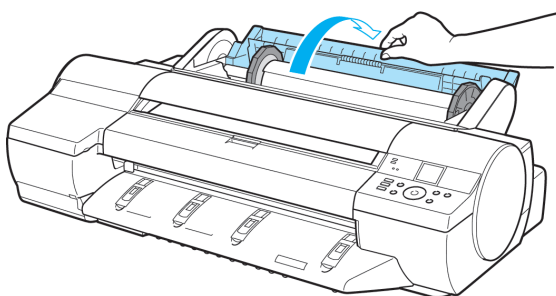
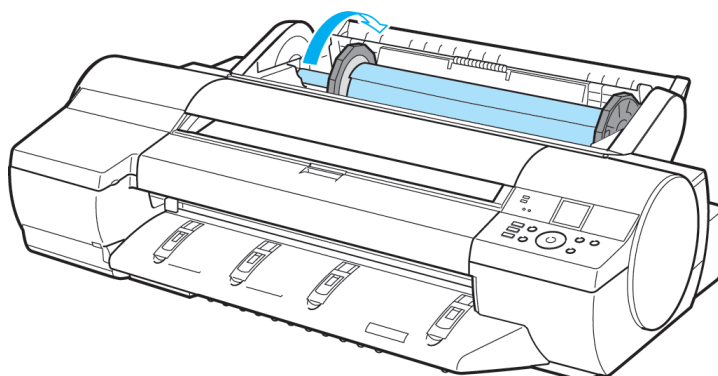
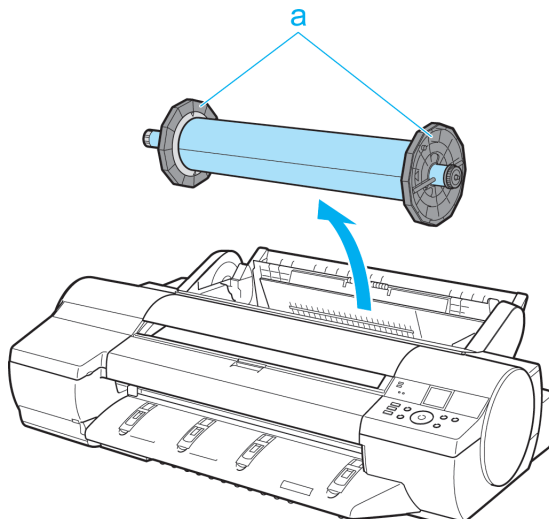
• [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

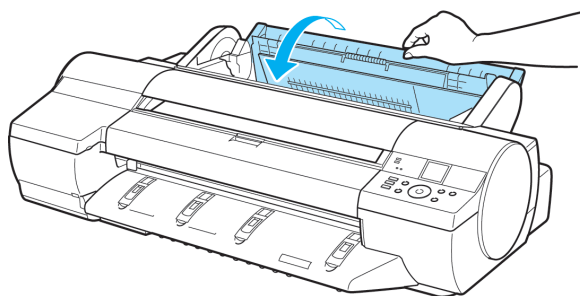
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙の取り外し]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。
ロール紙が巻き戻され、排紙されます。

注意

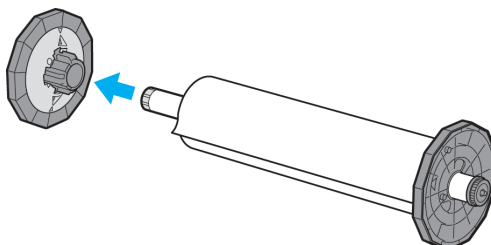
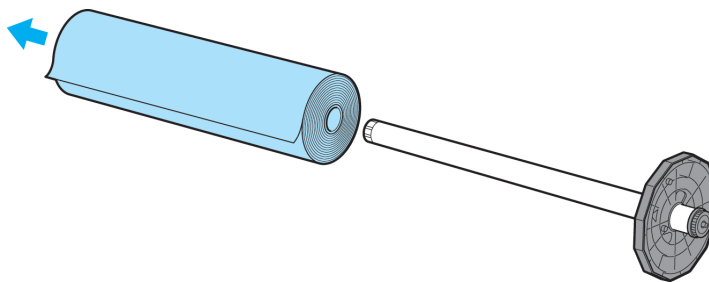
• 操作パネルのメニューで[ﾛｰﾙ紙残量管理]を[ｵﾝ]に設定している場合は、ロール紙の先端にバーコードが印刷されます。
バーコードが印刷される前にロール紙を取り出さないでください。ロール紙の残量を管理できなくなります。(「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.681

5. ロール紙ユニットカバーを開きます。

6. 両手でロールホルダーを後方に回してロール紙を巻き取ります。

7. ロールホルダーのフランジ(a)を持って、ロールホルダースロットから取り外します。

メモ

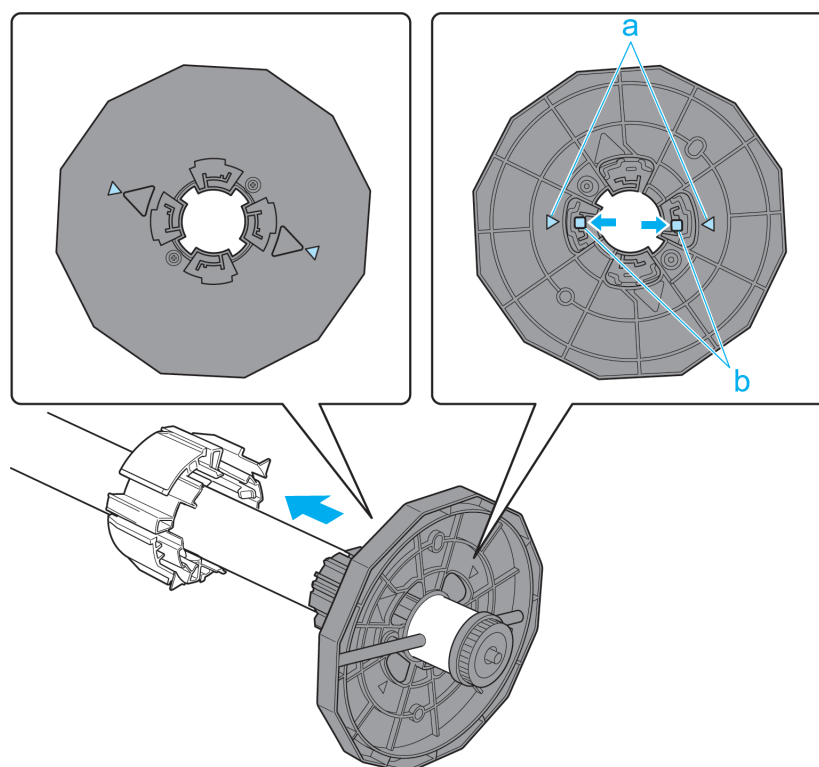
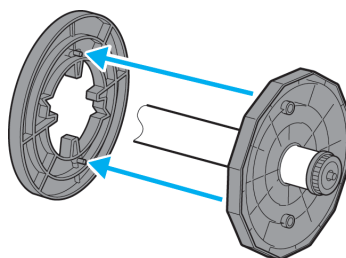
- ロール紙をロールホルダーから取り外す手順は「ロール紙をロールホルダーから取り外す」を参照してください。→P.679

8. ロール紙ユニットカバーを閉じます。

メモ

- 新しく用紙をプリンタに取り付る場合は、引き続き「ロール紙をプリンタにセットする」を参照してください。 →P.672

ロール紙をロールホルダーから取り外す

1. ホルダーストッパをロールホルダーから取り外します。

2. ロール紙をロールホルダーから取り外します。

3. アタッチメントを取り外す場合は、以下のように取り外します。

- 3 インチ紙管アタッチメント
  図のように、ロールホルダーの三角のラベル(a)部にある、外側に突き出た 3 インチ紙管アタッチメントのツメ(b)を広げ、3 インチ紙管アタッチメントを取り外します。

- フチなし印刷用スペーサー
  図のように、フチなし印刷用スペーサーをロールホルダーから取り外します。

重要

- ロール紙は入っていた袋または箱に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。正しく保管しておかないと、印刷時に、印刷面がこすれたり、印刷品質が低下する場合があります。

ロール紙を手動で送る

ロール紙の給紙後に[用紙送り]キーを押すと、ロール紙を[▲]キー、[▼]キーで前後に送ることができます。

1. [用紙送り]キーを押します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押してロール紙を前後に送ります。
[▲]キーを押すと、ロール紙を手動で後ろに戻すことができます。
[▼]キーを押すと、ロール紙を手動で前に送ることができます。

メモ
- 1 秒未満[▲]キー、[▼]キーを押すと、ロール紙は約 1 mm 送られます。
1 秒以上[▲]キー、[▼]キーを押し続けると、キーから指を離すまでロール紙が送られます。ディスプレイに[紙送り量のﾘﾐｯﾄに達しました。これ以上紙送りできません。]が表示された場合は、指を離します。

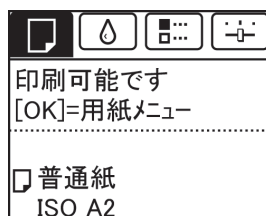
ロール紙の残量を管理する

操作パネルの[用紙ﾒﾆｭｰ]で[ﾛｰﾙ紙残量管理]を[ｵﾝ]に設定すると、用紙を取り外す際にロール紙の残量と用紙種類情報がバーコードとテキストで印刷されます。[ﾛｰﾙ紙残量管理]が[ｵﾝ]に設定されているときにバーコードが印刷されたロール紙をセットすると、そのロール紙をセットしたときに、ロール紙の残量と用紙種類が自動的に検知されます。バーコード部分は読み取り後にカットされます。

重要
- ロール紙のバーコードが検知されなかったときは、操作パネルで用紙種類と長さを入力します。

[ﾛｰﾙ紙残量管理]を[ｵﾝ]に設定する場合は、以下の手順で行います。

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙残量管理]を選択し、[OK]キーを押します。

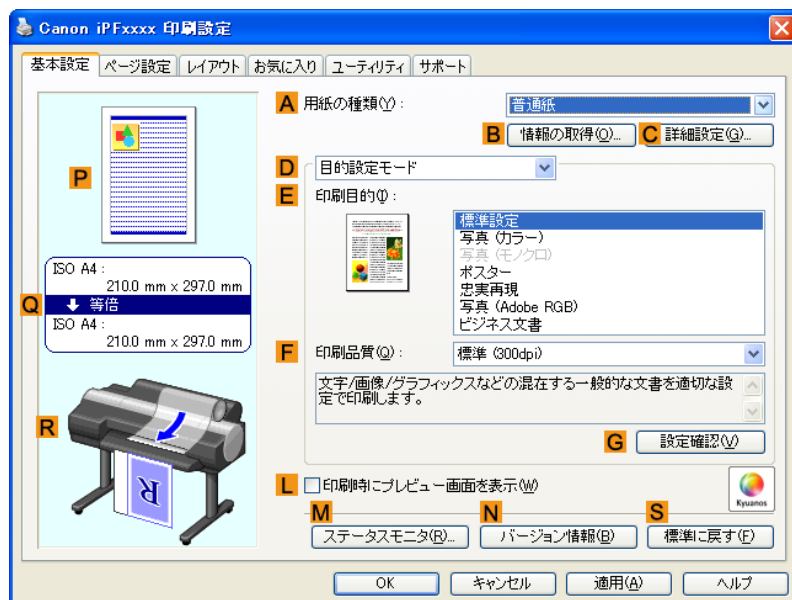
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[オン]を選択し、[OK]キーを押します。

ロール紙のインク乾燥時間を設定する

インクの定着が悪い用紙の場合、カッターがインクの乾いていない印刷面と接触したときに、傷が発生したり切断面がみだれる場合や、排紙時の転写により、用紙の表面が汚れる場合があります。その場合は、印刷した後にインクが乾くまでの待ち時間を設定することで、改善できることがあります。

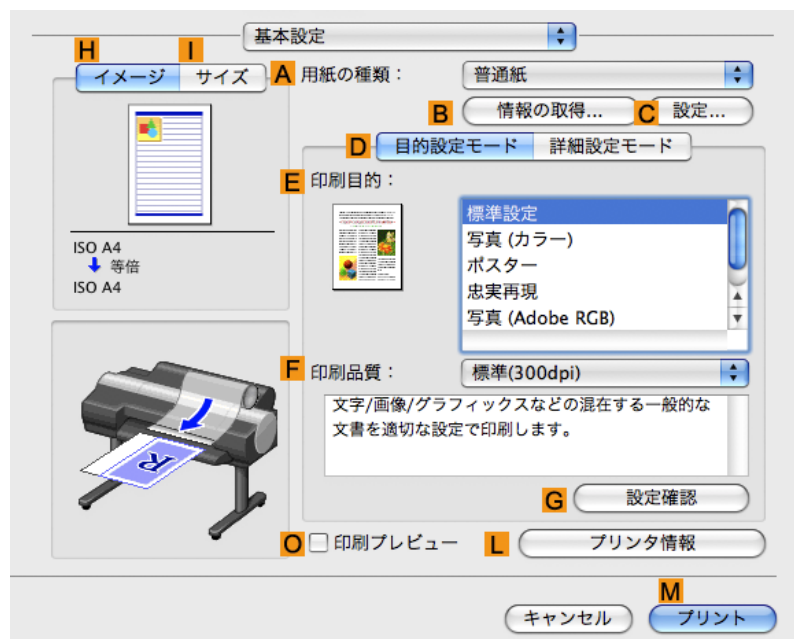
Windows の場合

1. プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。
(「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows）」参照） →P.193

2. [基本設定]シートを選択し、A[用紙の種類]の C[詳細設定]をクリックします。

3. [用紙の詳細設定]ダイアログボックスが開いたら、A[インク乾燥時間]の B[ページ間]と C[スキャン間]で、それぞれの一覧から任意の値を選択し、[OK]をクリックします。
(「用紙の詳細設定ダイアログボックス（Windows）」参照） →P.199

Mac OS X の場合

1. アプリケーションソフトのメニューから[プリント]を選択します。

2. [基本設定]パネルを選択し、A[用紙の種類]の C[設定]をクリックします。

3. [用紙の詳細設定]ダイアログボックスが開いたら、B[インク乾燥時間]の C[ページ間]と D[スキャン間]で、それぞれの一覧から任意の値を選択し、[OK]をクリックします。
（「用紙の詳細設定ダイアログボックス（Mac OS X）」参照） →P.456

用紙の詳細設定
A
用紙の種類：　普通紙
B インク乾燥時間
C ページ間：　パネル優先
D スキャン間：　パネル優先
E ロール紙の安全余白
F 先端余白：　パネル優先
G カットスピード：　パネル優先
H オートカット：　パネル優先
I キャリブレーション調整値：　パネル優先
J 鏡像
復帰　キャンセル　OK

メモ

- [インク乾燥時間]は、工場出荷時の状態では全用紙[ｵﾌ]になっています。
- 印刷直後に印刷物を落下させずにインクの乾燥を待つ場合は、プリンタのメニューの[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]を[ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]に設定します。
(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.684

ロール紙のカット方法を設定する

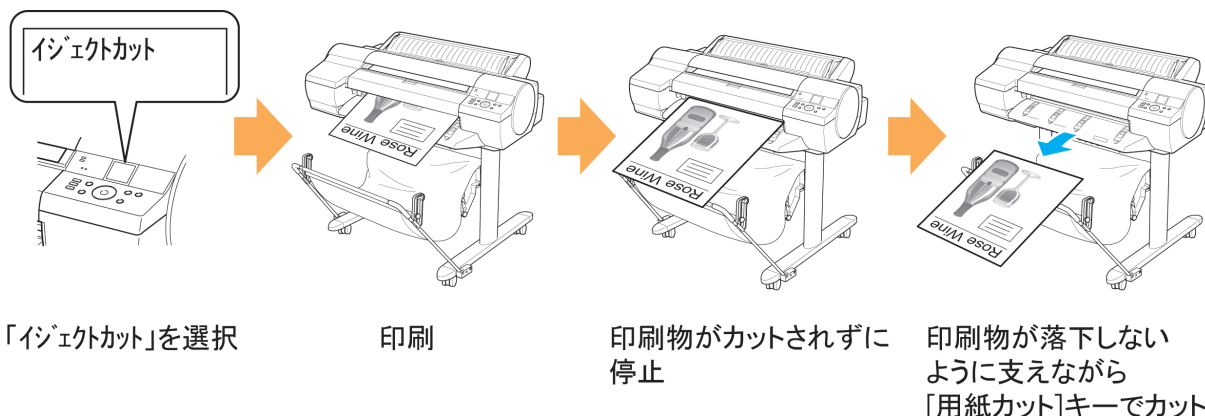
プリンタの設定によって、排紙したときのロール紙のカット方法は異なります。

カット方法		プリンタの設定		ドライバの設定	
自動カット	プリンタドライバの設定によって、カッターユニットでロール紙を自動的にカットします。	[用紙ﾒﾆｭｰ]ー[用紙詳細設定]ー(各用紙種類)ー[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]	[自動ｶｯﾄ]	[オートカット設定](「印刷後にロール紙をカットする」参照) →P.177	[あり]
イジェクトカット →P.685	インクの乾燥を待つときなど、印刷直後に印刷物を落下させたくない場合に選択します。 [用紙カット]キーを押して、カッターユニットでロール紙をカットします。		[ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]		[あり]
ユーザーカット →P.686	カッターユニットでカットできない用紙の種類の場合に選択します。 1 枚ずつはさみでロール紙をカットします。連続印刷した後にカットしたい場合は、[オートカット設定]で[あり]または[カットラインを印刷]を選択します。		[ﾕｰｻﾞｰｶｯﾄ]		[なし] [あり] [カットラインを印刷]
用紙カット →P.687	プリンタドライバの[オートカット設定]で、[なし]または[カットラインを印刷]を選択して印刷した後で、カッターユニットをボタン操作で動作させて、ロール紙をカットしたい場合に選択します。 またはロール紙のセット後に用紙の先端をカットしたい場合に選択します。	[用紙カット]キー押下	[する]		[なし] [カットラインを印刷]

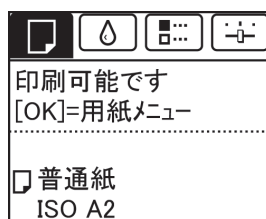
メモ

- 自動カット、イジェクトカットは、プリンタドライバの[オートカット設定]が[あり]の場合のみ動作します。
- イジェクトカットで連続印刷をする場合は、印刷後にロール紙をカットしないと次の印刷が開始しません。
- 用紙の種類によっては、あらかじめ[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]が[ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]に設定されている用紙があります。これらの用紙はカット方法を変更しないことをお勧めします。
- 自動カット、イジェクトカット、用紙カットで印刷長さが短い場合、カット不良や排紙不良を防ぐためロール紙を規定の長さ送ってカットするので、用紙の下端余白が長くなる場合があります。

以下の場合に、ロール紙を手動でカットしてください。

イジェクトカット(印刷した後にインクの乾燥を待つ場合)

重要

- 幅の広い用紙をイジェクトカットするときは、用紙を 2 人で支えてください。用紙が落下すると、印刷物に傷を付ける原因になります。
- カットする前に印刷物を支えるときは、用紙を持ち上げないでください。用紙が浮き上がると、印刷品質が低下したり、切断面がみだれる場合があります。

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。[用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

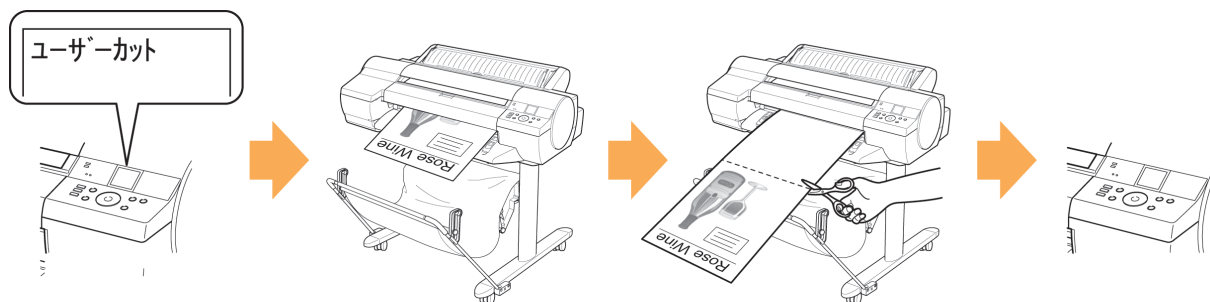
4. [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]を選択し、[OK]キーを押します。

7. 印刷します。
印刷が終わると、カットされずに自動的に停止します。

8. 印刷物が落下しないように支えながら、[用紙カット]キーを押してロール紙をカットします。

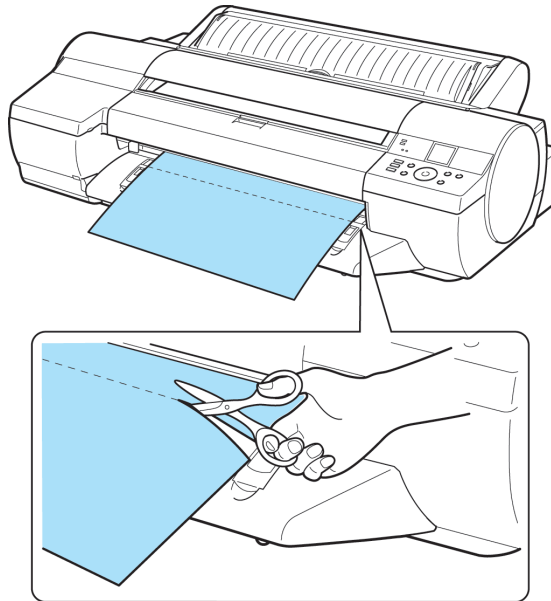
ユーザーカット(カッターユニットでカットできない用紙の場合)

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

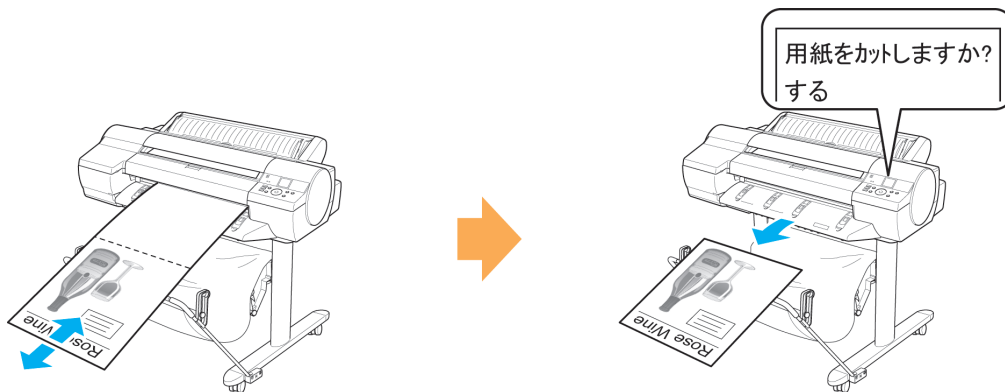
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。[用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。
4. [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。
5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]を選択し、[OK]キーを押します。
6. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾕｰｻﾞｰｶｯﾄ]を選択し、[OK]キーを押します。
7. 印刷します。
   印刷が終わると、停止します。
8. [用紙送り]キーを押します。

カットする位置まで自動的に用紙が送られ、停止します。

9. 手動でロール紙をはさみなどでカットします。

10. [OK]キーを押します。

ロール紙が巻き戻され、自動的に止まります。

用紙カット（任意の位置でロール紙をカットしたい場合）

1. [用紙送り]キーを押します。

2. [▼]キーを押して、カットしたい位置までロール紙を送ります。

3. [用紙カット]キーを押します。

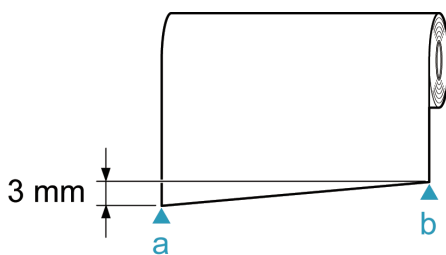
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
ロール紙がカットされ、自動的に巻き戻されます。

ロール紙の先端を自動でカットする

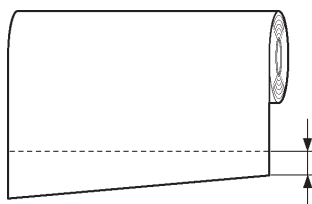
ロール紙の先端が斜めになっていたり、ゆがんでいると、エラーメッセージを表示して正しく印刷できません。その場合は、操作パネルの[用紙ﾒﾆｭｰ]から[先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]を[自動]または[ｵﾝ]に設定すると、ロール紙のセット時に先端を切り揃えることができます。
[先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]には以下の設定があります。

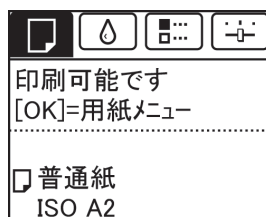
- [自動]

  ロール紙のセット時に、左右の先端(a)と(b)の差が 3 mm 以上あれば、斜め量に応じて先端を切り揃えて白紙の紙片を排紙します。3 mm 以下の場合はカットしません。ただし、先端の状態によってはカットされる場合があります。

- [ｵﾌ]

  先端は切り揃えられず白紙の紙片も排紙されません。一部の用紙を除き、工場出荷時の状態では[ｵﾌ]に設定されています。詳細については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663

- [ｵﾝ]

  ロール紙のセット時に、先端をカットして白紙の紙片を排紙します。用紙先端のカット量は、用紙の種類によって異なります。詳細については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663

[先端プレカット]の設定を変更する場合は、以下の手順を行ってください。

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

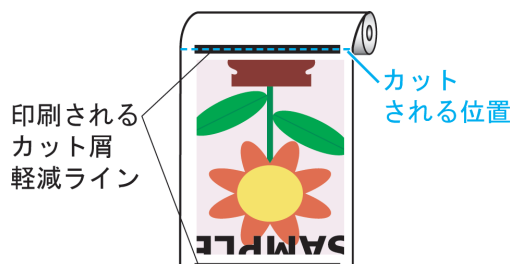
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[先端プレカット]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して設定を選択し、[OK]キーを押します。
次回ロール紙をセットするときから、設定が有効になります。

ロール紙のカット屑を軽減する

バックライトフィルムなどカット屑が出やすい用紙の場合、操作パネルの[用紙ﾒﾆｭｰ]から[ｶｯﾄ屑軽減]を[ｵﾝ]に設定することで、印刷物の先端と後端に黒い線が印刷され、カット屑を軽減できます。これによって、プリントヘッドの故障が減る場合があります。[ｶｯﾄ屑軽減]は、用紙の種類ごとに設定できます。

重要
- 普通紙や薄い用紙など波打ちが起きやすい用紙の場合は、[ｶｯﾄ屑軽減]を[ｵﾝ]に設定しないでください。正常にカットされず、用紙がつまる場合があります。
- [ｶｯﾄ屑軽減]を[ｵﾝ]に設定している場合は、フチなし印刷できません。フチなし印刷する場合は、[ｶｯﾄ屑軽減]を[ｵﾌ]に設定してください。

以下の手順で[ｶｯﾄ屑軽減]を[ｵﾝ]に設定します。

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

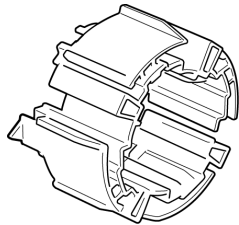
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

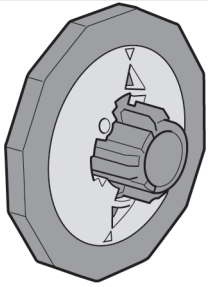
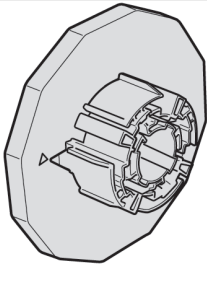
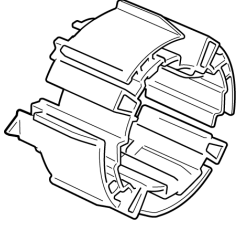
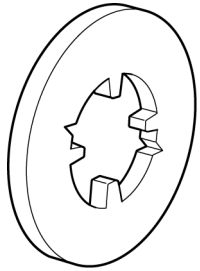
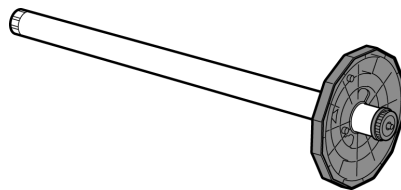
2. [OK]キーを押します。
[用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押してプリンタにセットされている用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｶｯﾄ屑軽減]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｵﾝ]を選択し、[OK]キーを押します。

ロールホルダーセット

ロール紙はロールホルダーにセットしてプリンタに取り付けます。ロールホルダーセット RH2-24 のロールホルダーは 2 インチ/3 インチ紙管兼用でお使いいただけます。紙管に合ったアタッチメントを取り付けてご使用ください。A1 サイズ(594 mm)、A2 サイズ(420 mm)のロール紙にフチなし印刷する場合は、フチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けてください。(「ロール紙をロールホルダーにセットする」参照)
→P.669

- ロールホルダーセット RH2-24
  - ロールホルダー(2 インチ/3 インチ紙管兼用)

  - アタッチメント

2 インチ紙管のロール紙を使用する場合	3 インチ紙管のロール紙を使用する場合	
ホルダーストッパ(2 インチ紙管用)	ホルダーストッパ(3 インチ紙管用)	3 インチ紙管アタッチメント

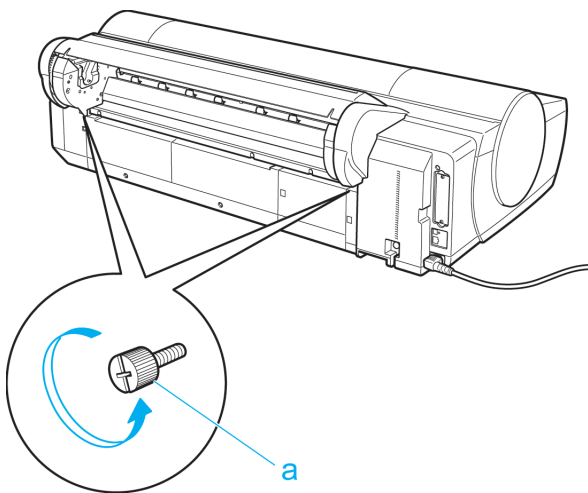
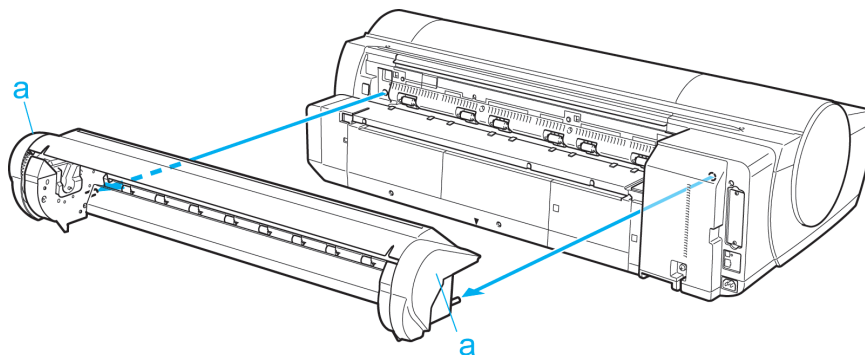
2 インチ紙管のロール紙を使用する場合	3 インチ紙管のロール紙を使用する場合	
		3 インチ紙管アタッチメント
• A1、A2 サイズのロール紙にフチなし印刷する場合 フチなし印刷用スペーサー 		

ロール紙ユニットを取り外す

重要

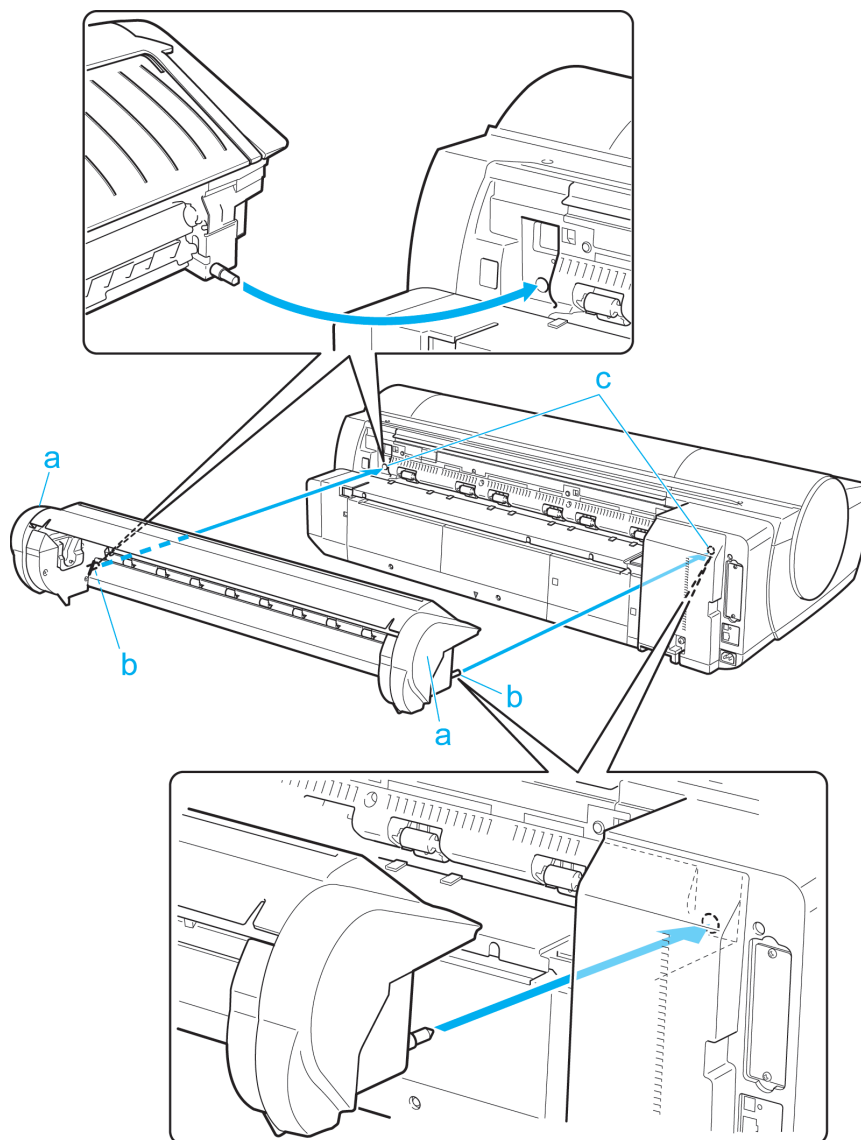
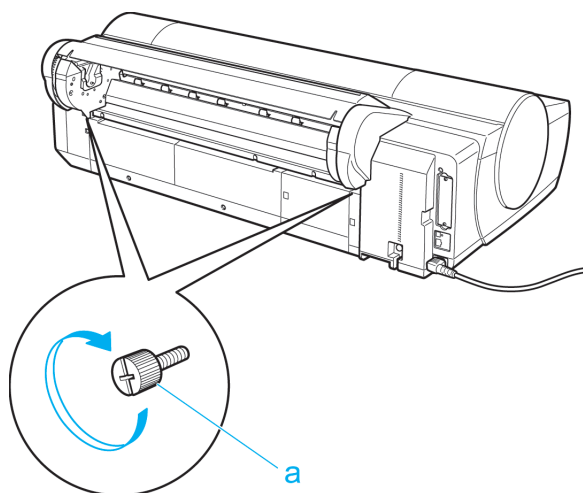
- ロール紙ユニットを取り外す場合は、必ずプリンタの電源をオフにしてください。

1. ロール紙をロール紙ユニットから取り外します。(「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.677

2. ロール紙ユニット背面にある左右のねじ(a)をコインまたは市販のドライバで緩めて、取り外します。

3. ロール紙ユニットの運搬用取っ手(a)を持ち、ロール紙ユニットをプリンタから取り外します。

ロール紙ユニットを取り付ける

重要

- ロール紙ユニットを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにしてください。

1. ロール紙ユニットの運搬用取っ手(a)を持ち、ロール紙ユニットのピン 2 本(b)をプリンタ背面の 2 つの穴(c)に差し込みます。

2. ロール紙ユニット背面にある左右のねじ(a)をコインまたは市販のドライバで締めて、固定します。

カット紙の取り扱い

カット紙を手差しでセットする

手差しの場合は、用紙を手差し上面給紙口にセットします。ただし、POP ボードなどの厚紙に印刷する場合は、用紙を手差し前面給紙口にセットします。

給紙元と用紙の種類を選択する

- 事前に印刷ジョブを受信している場合

自動的にカット紙が選択され、ディスプレイに印刷ジョブで指定した用紙の種類とサイズが表示されます。

1. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙をｾｯﾄする]を選択し、[OK]キーを押します。

2. 印刷ジョブで指定した用紙の種類に合わせて、手差し上面給紙口または手差し前面給紙口に用紙をセットします。
   - [POPﾎﾞｰﾄﾞ]以外を選択した場合
     用紙を手差し上面給紙口にセットする →P.695
   - [POPﾎﾞｰﾄﾞ]を選択した場合
     厚紙を手差し前面給紙口にセットする →P.696

- 事前に印刷ジョブを受信していない場合

1. [用紙交換]キーを押します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[手差し用紙]を選択し、[OK]キーを押します。

メモ
- 使用しない用紙が給紙されている場合は、用紙を外すメッセージが表示されます。
  [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。用紙を取り外し、次の手順に進んでください。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。
   厚紙に印刷する場合は、[POPﾎﾞｰﾄﾞ]を選択し、手差し前面給紙口にセットしてください。(「厚紙を手差し前面給紙口にセットする」参照) →P.696
   その他の用紙に印刷する場合は、印刷する用紙の種類を選択し、手差し上面給紙口にセットしてください。(「用紙を手差し上面給紙口にセットする」参照) →P.695

メモ
- 選択する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663

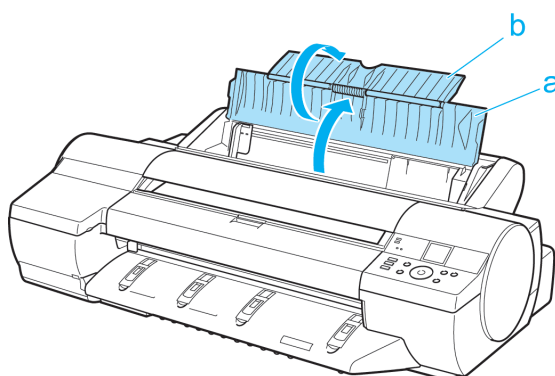
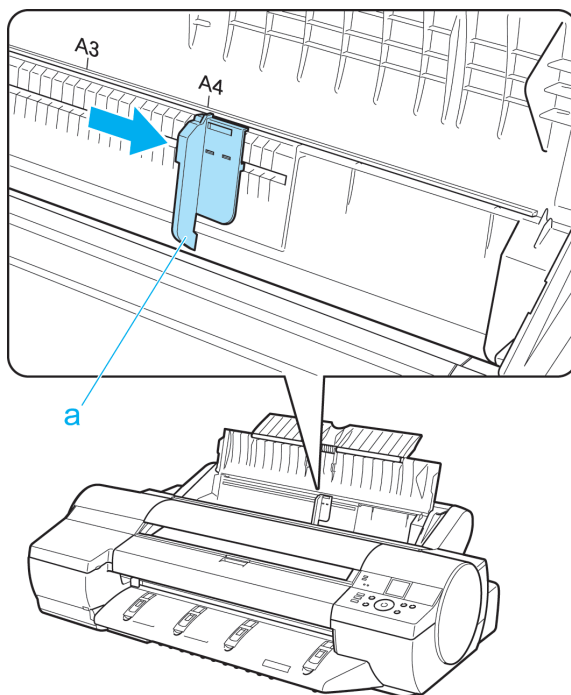
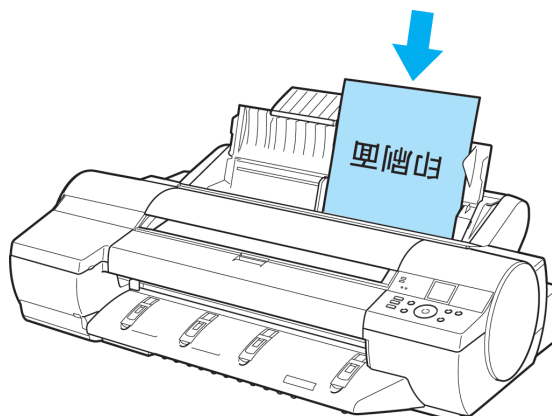
用紙を手差し上面給紙口にセットする

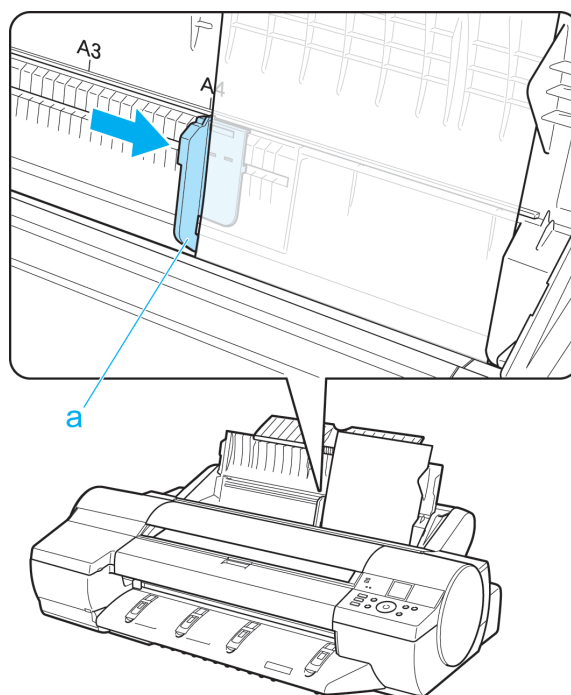
重要

- 手差し上面給紙口にセットできる用紙は 1 枚です。2 枚以上セットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 給紙前や印刷前に、用紙が手差しカバーに沿っていることを確認してください。用紙が手前に倒れた状態で給紙および印刷をすると、紙づまりの原因になります。

メモ

- 使用しない用紙は入っていた袋に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 用紙が波打っていたり、たわんでいる場合、紙づまりの原因になります。用紙は平らな状態に直してからセットしてください。
- 用紙はまっすぐにセットしてください。斜めにセットすると斜行エラーになります。

1. 手差しカバー(a)を開き、さらに用紙サポート(b)を開きます。

2. 幅ガイド(a)をつまんでスライドし、セットする用紙のサイズの刻印に合わせます。

3. 印刷面を上にし、手差し上面給紙口に用紙を 1 枚セットします。
その際、用紙の先端が軽く突き当たる所まで、差し込んでください。

> **注意**
> • A2 サイズよりも大きな用紙をセットする場合、用紙の重みで用紙がプリンタ背面に落ちる場合があります。用紙の印刷面の裏側に手を添え、用紙が落ちないようにしてください。

4. 幅ガイド（a）の位置をセットした用紙のサイズに合わせて調整します。
セットした用紙が傾いたりしわにならないように、幅ガイドを用紙にぴったり合わせてください。

5. [OK]キーを押します。

- **事前に印刷ジョブを受信している場合**
  給紙後、印刷が開始されます。
- **事前に印刷ジョブを受信していない場合**
  給紙が開始されます。

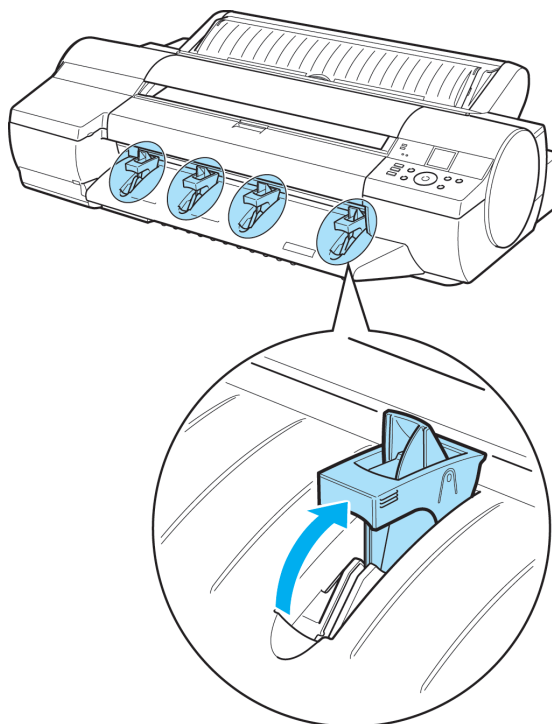
厚紙を手差し前面給紙口にセットする

重要

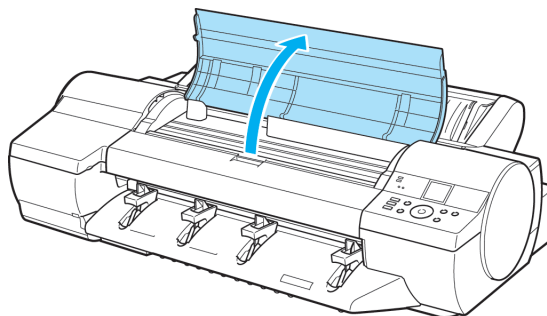
- ［POPﾎﾞｰﾄﾞ］は必ず手差し前面給紙口にセットして印刷してください。他の給紙方法でセットすると、動作不良や故障の原因になります。
- 用紙は 1 枚だけセットできます。

メモ

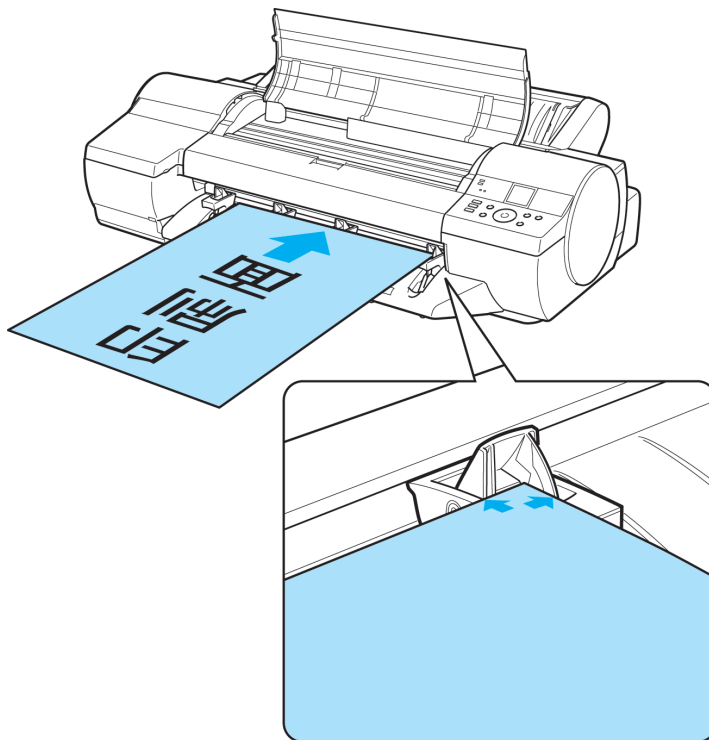
- 使用しない用紙は入っていた袋に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 用紙に反りがある場合、用紙の反りを直してからセットしてください。
- 用紙はまっすぐにセットしてください。斜めにセットすると斜行エラーになります。
- 一度セットすると、用紙は横にずらすことができません。用紙はまっすぐセットしておいてください。

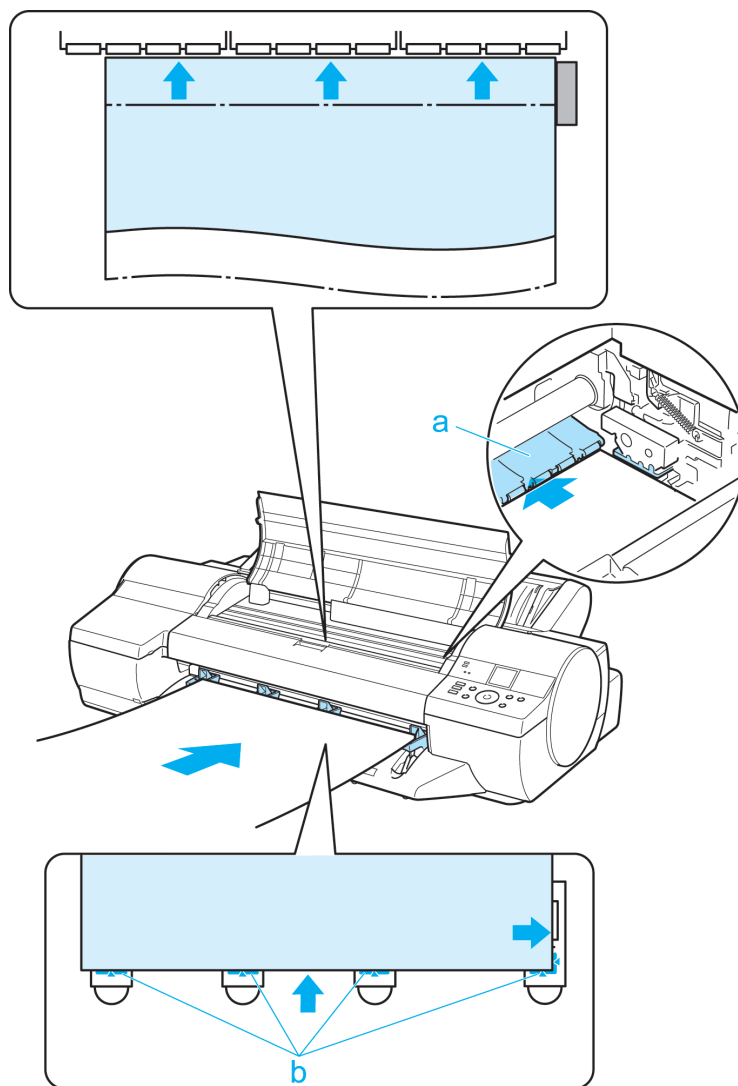
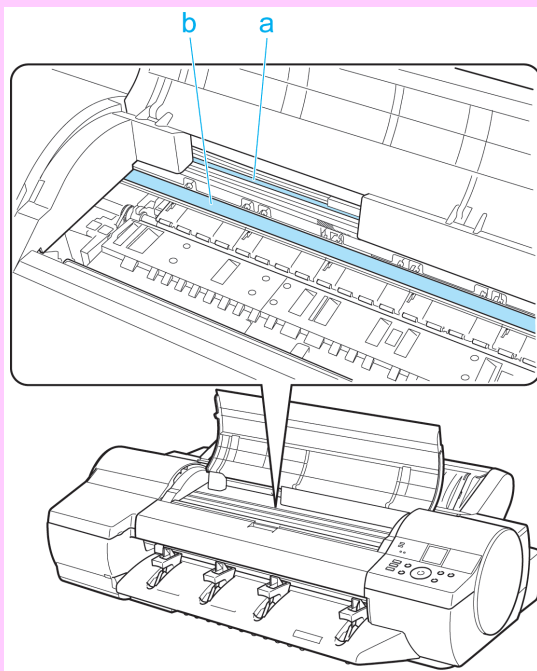
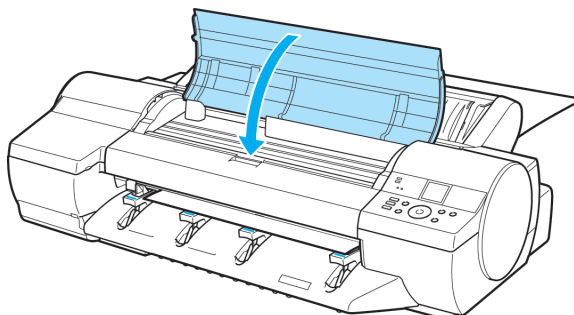
1. ［ﾌﾟﾘﾝﾀ背面に 70cm/28"の空間を確保してください。］と表示されたらプリンタ背面のスペースを確認し、排紙ガイド上の 4 つの前面給紙ガイドを引き上げて立て、［OK］キーを押します。

メモ

- 手差し前面給紙口に用紙をセットするためには、プリンタ背面に十分なスペースが必要です。設置面積については、「仕様」を参照してください。→P.797

2. ［上ｶﾊﾞｰを開けてください。］と表示されたら、上カバーを開きます。

3. 印刷面を上にして用紙 1 枚の先端を前面給紙ガイドの上に載せ、手差し前面給紙口に水平に差し込みます。

注意

- 用紙を手差し前面給紙口に差し込む際は、給紙口に水平に差し込んでください。印刷面に傷がつく場合があります。

4. 上カバー内部を見ながら、用紙の先端を用紙押さえ(a)に対して平行にしてプラテンと用紙押さえ(a)の間に差し込み、前面給紙ガイドの紙合わせライン(b)に合わせます。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

5. [上ｶﾊﾞｰを閉じてください。]と表示されたら、上カバーを閉じ、[OK]キーを押します。

プラテンと背面カバーの間に固定され、給紙されます。

- 事前に印刷ジョブを受信している場合

  給紙後、印刷が開始されます。

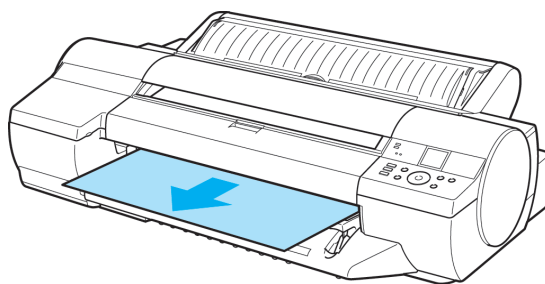
- 事前に印刷ジョブを受信していない場合

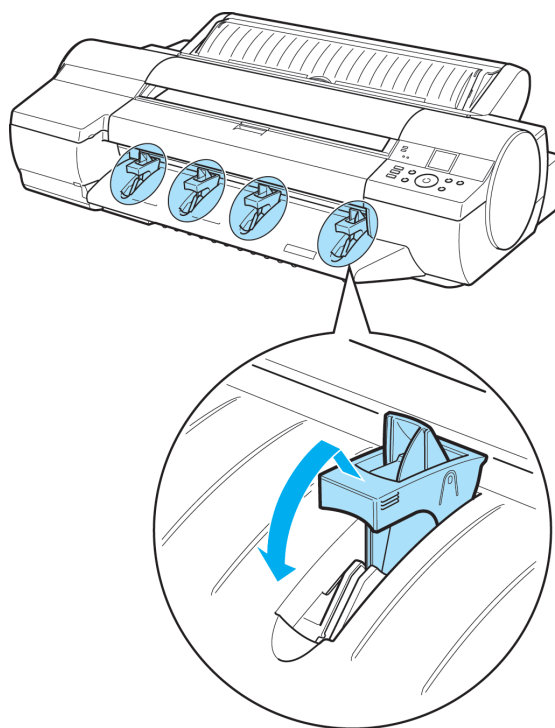
  給紙が開始されます。

6. 印刷後、用紙は落下防止のため後端が排紙ローラに保持された状態でいったん停止します。
[OK]キーを押して、用紙を取り外せる状態にします。

7. 用紙を手前側に水平に引き出して、取り外します。

注意

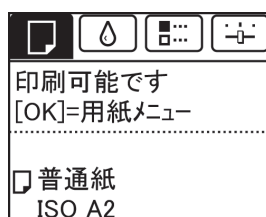
- [POPﾎﾞｰﾄﾞ]を引き出すときは、手前側に水平に引き出さないと、印刷面に傷がつく場合があります。

8. [OK]キーを押します。

9. 排紙ガイド上の 4 つの前面給紙ガイドを引き上げて手前に格納し、[OK]キーを押します。

カット紙を取り外す

以下の手順でカット紙をプリンタから取り外します。

- 手差し上面給紙のカット紙を取り外す →P.701
- 手差し前面給紙の厚紙を取り外す →P.702

手差し上面給紙のカット紙を取り外す

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

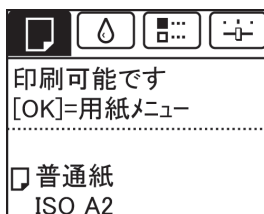
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙の取り外し]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。
カット紙は前側に排紙されます。

注意

- カット紙後端が排紙されない場合は、カット紙を手前側に水平に引き出して取り外します。カット紙を引き出すときは、手前側に水平に引き出さないと、印刷面に傷がつく場合があります。

手差し前面給紙の厚紙を取り外す

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

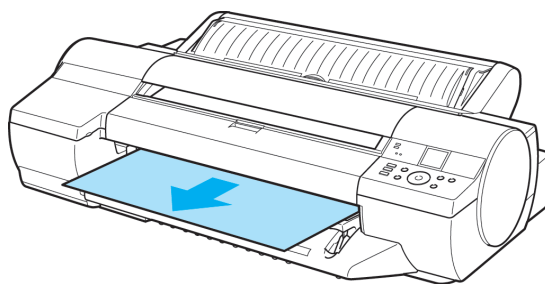
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙の取り外し]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。
用紙が排紙され、用紙後端が排紙ローラに保持された状態でいったん停止します。

5. [OK]キーを押します。
用紙が取り外せる状態になります。

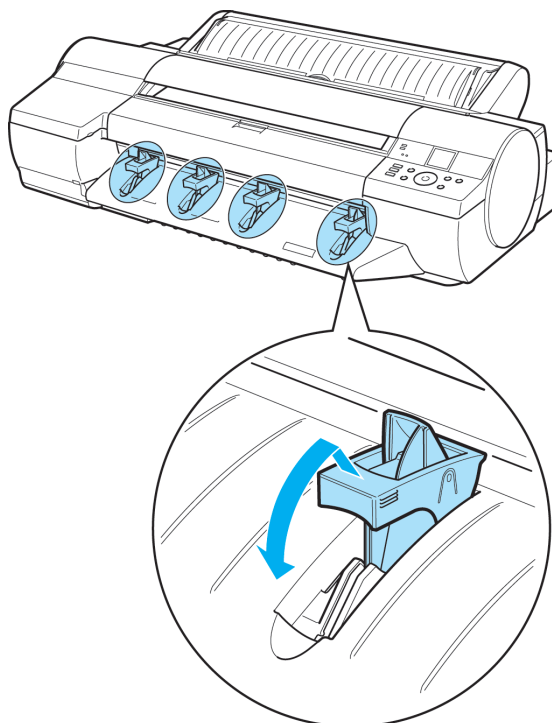
6. 用紙を手前側に水平に引き出して、取り外します。

注意

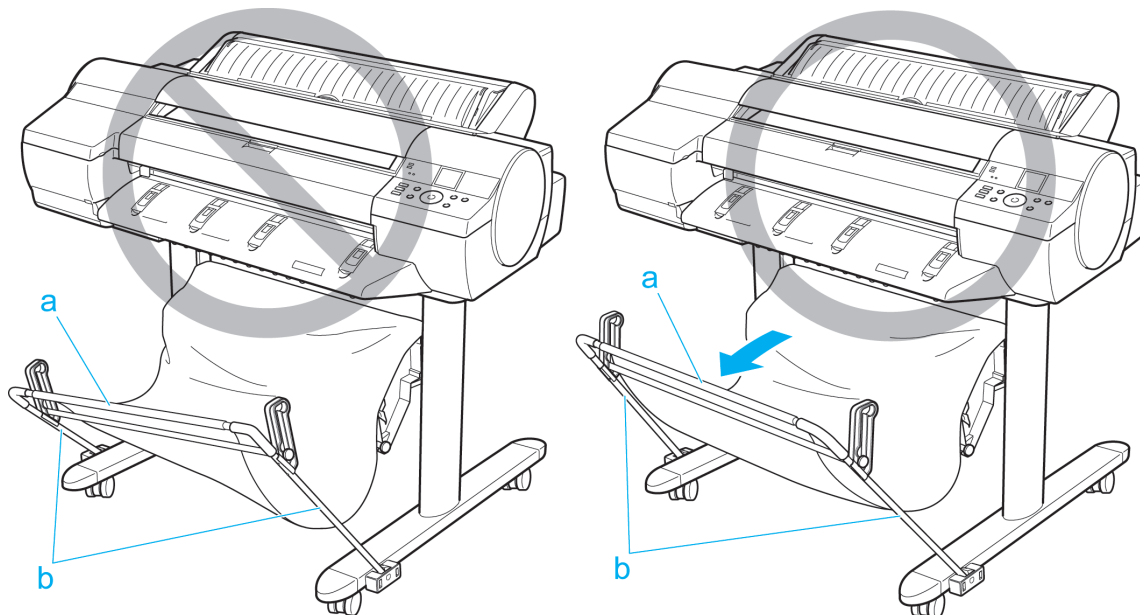
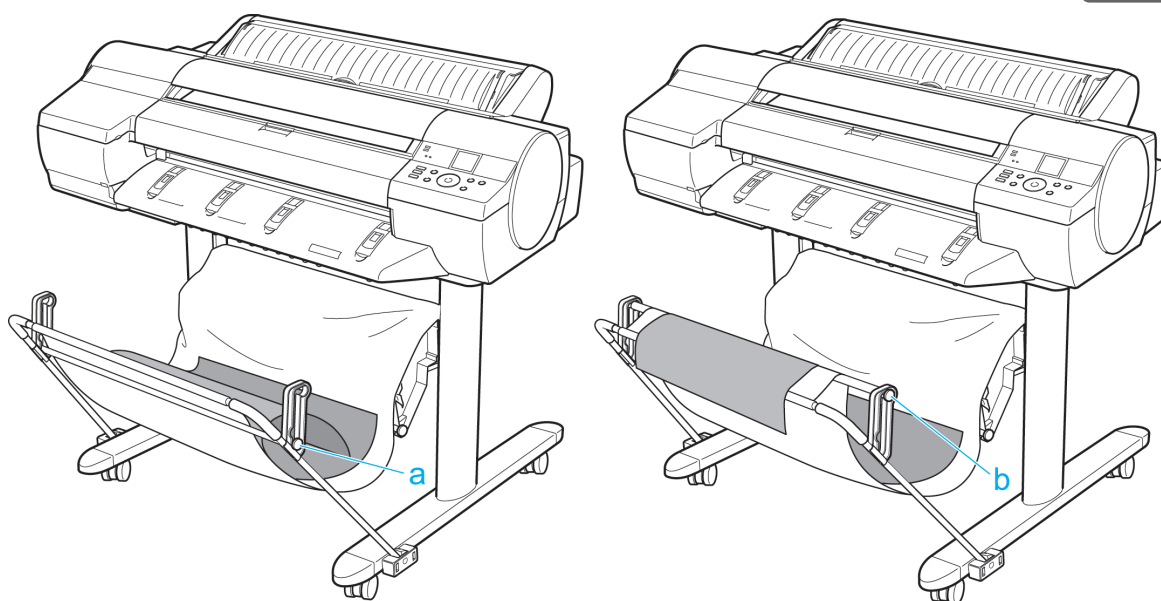
- [POPﾎﾞｰﾄﾞ]を引き出すときは、手前側に水平に引き出さないと、印刷面に傷がつく場合があります。

7. [OK]キーを押します。

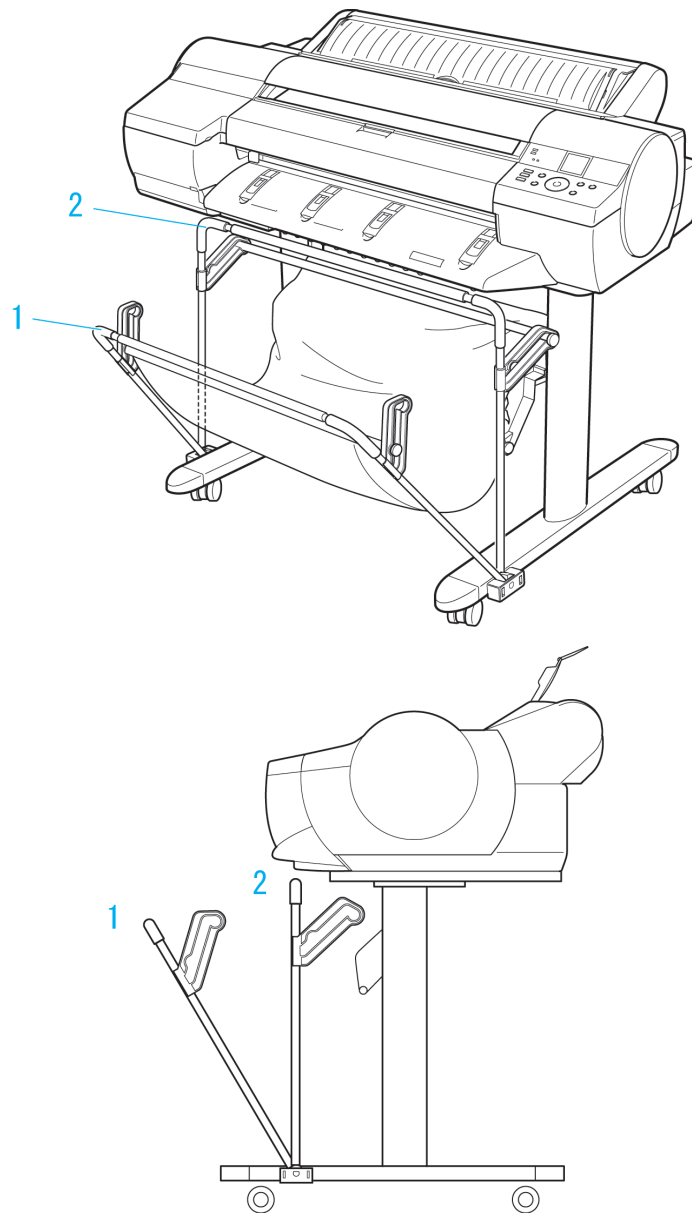
注意

- 必ず用紙を取り外してから[OK]キーを押してください。用紙を取り外さずに手順 7 の操作を行うと、用紙がプリンタ内部に巻き戻され、用紙後端に帯状のローラ跡が付く場合があります。

8. 排紙ガイド上の 4 つの前面給紙ガイドを引き上げて手前に格納し、[OK]キーを押します。

バスケット

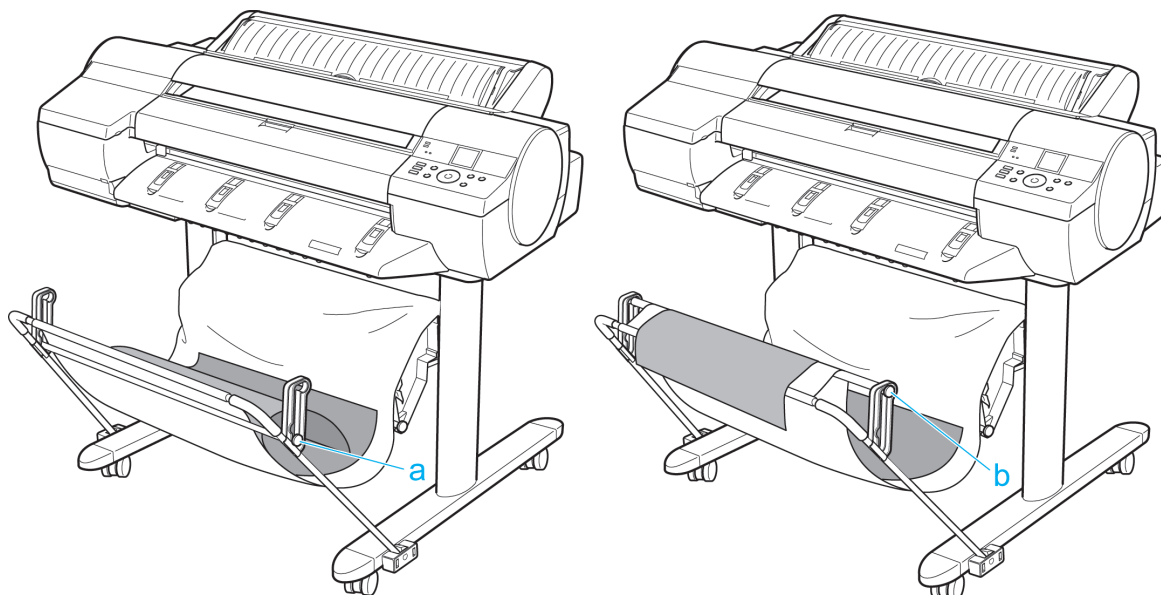
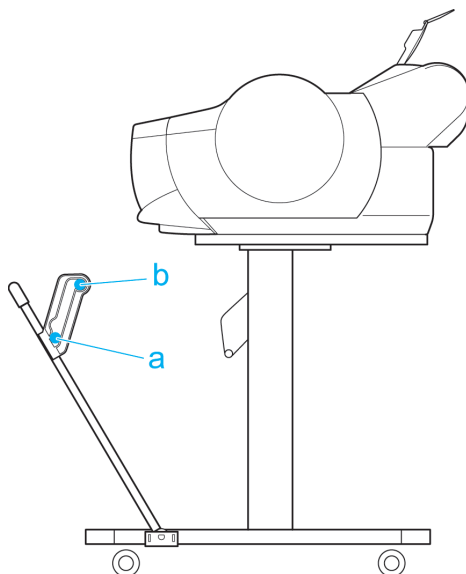
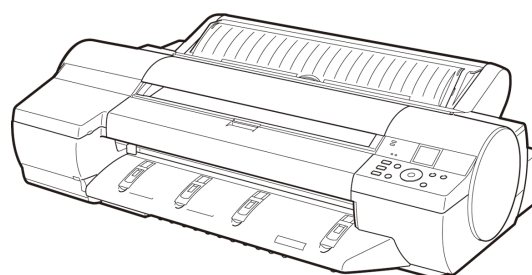
バスケット使用上の注意

ロール紙に印刷したときに、印刷物をバスケットに収容することができます。
バスケットを使用するときは、バスケットロッド 2（a）が斜めにならないように、左右均等にバスケットロッド 1（b）を手前いっぱいに倒してください。

バスケットに収容できる枚数は 1 枚です。複数ページを印刷する場合は、1 枚ずつ取り出してから印刷してください。
バスケットは、通常ポジション（a）で使用してください。ただし、一部の用紙は取り出しポジション（b）でも使用できます。取り出しポジションの場合、用紙を簡単に取り出すことができます。取り出しポジションに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。（「用紙の種類」参照） →P.663

バスケットを使用する

バスケットの使用方法について説明します。
バスケットに印刷物を収容するときは、(1)の位置で使用します。
バスケットを使用しないときは、たたんで(2)の位置に収納します。

重要

- バスケットに印刷物を収容するときは、必ず(1)の位置で使用してください。(1)の位置で使用しないと、印刷物がバスケットに入らず、印刷面が汚れる場合があります。
- バスケットに収容できる枚数は 1 枚です。複数ページを印刷する場合は、1 枚ずつ取り出してから印刷してください。

バスケットは、通常ポジション(a)で使用してください。
一部の用紙は取り出しポジション(b)でも使用できます。補助ロッドを(b)の位置に移動させることで、取り出しポジションに切り替えることができます。取り出しポジションの場合、用紙を簡単に取り出すことができます。

取り出しポジションに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663

画質の調整と改善

高画質印刷の調整

印刷品質を向上させる

用紙の種類や環境条件によっては、印刷する用紙で以下の調整を実行することで、細かい文字や細線または写真の印刷品質が向上する場合があります。
本調整はプリントヘッドの高さを[自動]の状態で実行する「標準調整」と、「標準調整」で印刷品質が向上しない場合に実行する「追加調整」があります。

重要

- プリントヘッドの高さが[自動]の場合、本調整や印刷に適した環境条件の目安は、温度:20～30 ℃、湿度:30～60 %の範囲です。それ以外の環境条件では印刷品質が向上しない場合があります。

メモ

- 本調整に使用する用紙に必要な条件は以下の通りです。
  種類:光沢、半光沢系のフォト用紙またはプルーフ用紙(いずれもロール紙のみ)
  仕様:厚み 300 µm 以下、または坪量 300 g/㎡以下
  紙幅:25.4 cm(10 インチ)以上

標準調整

標準調整はプリントヘッドの高さが[自動]の状態で実行します。

1. 用紙をプリンタにセットします
   - ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.672

2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [自動(拡張)]がメニューに表示されているのに選択できない場合があります。
  この場合は、一度[自動(詳細)]を実行してください。
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
   [設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾍｯﾄﾞ 位置調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[自動(拡張)]を選択し、[OK]キーを押します。

調整用パターンが印刷されます。完了までに約 11 分かかります。

メモ

- 上記の調整を実行しても印刷品質が向上しない場合は、次の「追加調整」を実行すると、より良い印刷品質が得られる場合があります。

追加調整

追加調整はプリントヘッドの高さを[最も低い]に設定して実行します。

重要

- [ヘッド高さ]が[最も低い]の状態で印刷を実行すると、より良い印刷品質が得られる場合がありますが、用紙がプリントヘッドにこすれたり引っかかったりして、印刷物を汚したり紙詰まりが発生する原因となることがありますのでご注意ください。

1. [ヘッド高さ]を[最も低い]に設定します。(「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714

メモ

- [最も低い]が設定できない場合は[低い]を選択してください。

2. [ﾍｯﾄﾞ 位置調整]の[自動(拡張)]を実行します。

メモ

- プリントヘッドの位置調整でプリントヘッドが用紙にこすれたり用紙が詰まったりする場合は、[ヘッド高さ]を現在の設定より一段高くしてから、もう一度[自動(拡張)]を実行してください。

3. [ヘッド高さ]を[自動]に戻します。

重要

- [ヘッド高さ]を[自動]に戻さない場合は、プリントヘッドの高さが[最も低い]に固定された状態で印刷が実行されます。(「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714

プリントヘッドの調整

プリントヘッドを調整する

印刷物に以下のような現象が発生した場合は、プリントヘッドを調整します。

- 印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合
  [ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ ﾌﾟﾘﾝﾄ]を実行し、プリントヘッドのノズルがつまっていないかを確認します。
  確認方法については、「ノズルのつまりをチェックする」を参照してください。→P.846
- 印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合
  [ﾍｯﾄﾞ 位置調整]を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。
  通常は、[自動(標準)]、[自動(詳細)]、または[自動(拡張)]を実行してください。ただし、特殊な用紙や、[自動(詳細)]を実行しても改善されない場合は、[手動]を実行してください。
  (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710
  (「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.712
- プリントヘッドが用紙にこすれる場合や、画像の端部がぼやける場合
  [ﾍｯﾄﾞ 高さ]を実行し、プリントヘッドの高さを変更すると、改善されることがあります。
  (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714

縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)

印刷物の縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、[ﾍｯﾄﾞ 位置調整]を実行します。調整パターンが印刷され、印刷結果からプリントヘッドの位置が自動的に調整されます。
プリントヘッドの位置を自動で調整する方法には、[自動(標準)]、[自動(詳細)]、および[自動(拡張)]があります。

- [自動(標準)]
  微小なゆがみや色ずれなどを改善します。

- [自動(詳細)]
  [自動(標準)]を実行しても、印刷結果が改善されない場合に実行します。

- [自動(拡張)]
  プリンタドライバで[写真高精細]チェックボックスまたは[文字･線画高精細]チェックボックスをチェックして印刷したときに、縦線がゆがんだり、色ずれがおきた場合に実行します。

重要

- トレーシングペーパー(CAD)、半透明マットフィルム(CAD)は使用できません。
  透過性の高いフィルム系などの用紙や、特殊な用紙で思ったように調整できない場合は、他の用紙で調整するか、[手動]を実行してください。
  (「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.712

メモ

- 調整結果は、用紙の種類に依存するため、実際に印刷に使用する用紙で調整してください。また、用紙の種類を変更した場合にも[自動(詳細)]で調整することをお勧めします。
- [自動(詳細)]を実行しても印刷結果が改善されない場合は、[手動]を実行してください。
  (「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.712
- 光沢・半光沢のフォト用紙またはプルーフ用紙に対して、細かい文字や細線を精細に印刷する場合は、詳細な調整を実行することで、高い印刷品質が得られます。
  (「印刷品質を向上させる」参照) →P.708

用意するもの

ロール紙を使用する場合	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙を使用する場合	[自動(標準)]: 未使用の A4/レターサイズの用紙 2 枚 [自動(詳細)]: 未使用の A4/レターサイズの用紙 10 枚(ただし、A2 サイズの場合は 5 枚) [自動(拡張)]: 未使用の A4/レターサイズの用紙 7 枚(ただし、A2 サイズの場合は 4 枚)

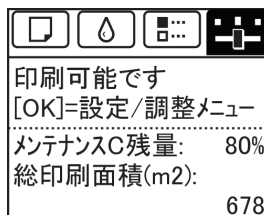
以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットします。
   - ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.672
   - カット紙を手差しでセットする →P.694

重要

- プリンタにセットした用紙とプリンタに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
   [設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾍｯﾄﾞ 位置調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[自動(標準)]、[自動(詳細)]、または[自動(拡張)]を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターンが印刷されます。
ロール紙に印刷した場合は、ここで調整は終了します。

メモ
- [自動(拡張)]がメニューに表示されているのに選択できない場合があります。
  この場合は、一度[自動(詳細)]を実行してください。

7. カット紙に印刷した場合は、ディスプレイに印刷の続行を確認するメッセージが表示されます。[OK]キーを押して、ディスプレイの指示に従って操作を続けてください。

縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整)

印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、[ﾍｯﾄﾞ 位置調整]を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。
通常は、[自動(標準)]、[自動(詳細)]、または[自動(拡張)]を実行してください。
(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710
ただし、特殊な用紙に印刷する場合や、[自動(詳細)]を実行しても印刷結果が改善されない場合は、[手動]を実行してください。
[手動]を実行すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果を見て設定値を入力してください。

メモ
- [手動]がメニューに表示されているのに選択できない場合があります。
  この場合は、一度[自動(詳細)]を実行してください
- プリンタにセットした用紙とプリンタに設定した用紙種類は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。
- 使用頻度が最も高い用紙で調整することをお勧めします。

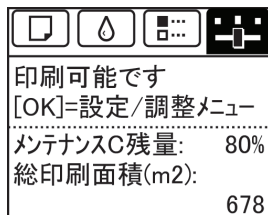
用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	未使用の A4/レターサイズの用紙 2 枚(ただし、A2 サイズの場合は 1 枚)

以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットします。
   - ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.672
   - カット紙を手差しでセットする →P.694

2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して （設定/調整タブ）を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
[設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

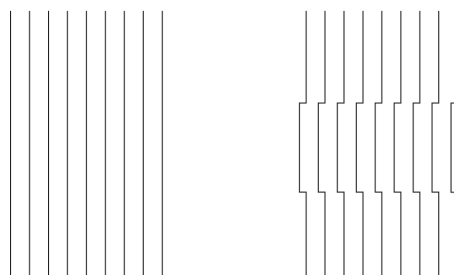
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾍｯﾄﾞ 位置調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[手動]を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターンが印刷されます。

7. [▲]キー、[▼]キーを押して[D]を選択し、[OK]キーを押します。

8. [▲]キー、[▼]キーを押して[D-1]を選択し、[OK]キーを押します。

9. 調整用パターンの[D-1]を見て、線がまっすぐの番号を確認します。

メモ
- 並んだ 2 つのパターンを見て、どちらを選択するか迷った場合は、中間の値を選択してください。
例えば、番号が 10 と 12 のパターンで迷った場合は、11 を選択します。

10. [▲]キー、[▼]キーを押して、確認した番号を選択し、[OK]キーを押します。

11. 手順 8〜10 を繰り返し、[D-1]〜[D-5]、[D-7]〜[D-12]、[D-25]〜[D-29]、[D-31]〜[D-36]を設定します。

12. [戻る]キーを押します。

13. [▲]キー、[▼]キーを押して[設定登録]を選択し、[OK]キーを押します。

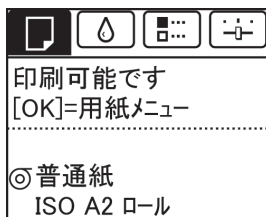
14. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
調整値が登録され、調整が終了します。

用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)

プリントヘッドの高さの設定は、印刷品質に影響します。
プリントヘッドの高さを低めに設定すると、ぼやけが改善され、印刷品質が向上しますが、用紙がプリントヘッドにこすれることがあります。
また、プリントヘッドの高さを高めに設定すると、印刷品質が低下しますが、用紙がプリントヘッドにこすれることを防止します。

重要
- 用紙がプリントヘッドにこすれたりひっかかったりすると、印刷物を汚したり、用紙のつまりが発生する原因となることがありますので注意してください。

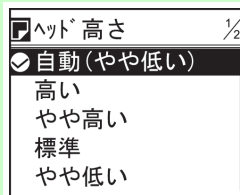
メモ
- プリントヘッドの高さは、症状に応じて設定してください。
(「プリントヘッドが用紙にこすれる」参照) →P.891
(「用紙の端が汚れる」参照) →P.891
(「画像の端部がぼやけたり、白スジが入る」参照) →P.896

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

メモ
- [ﾍｯﾄﾞ 高さ]が[自動]に設定されている場合、現在給紙されている用紙の種類を選択すると、[自動]の右側に、前回印刷時に選択された設定値を表示させることができます。
ただし、電源を切るか、用紙を交換するとリセットされ、表示されなくなります。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾍｯﾄﾞ 高さ]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して設定値を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- [自動]に設定した場合、印刷時のプリントヘッドの高さは、使用環境の温度や湿度に応じて最適な高さに調整されます。また、[自動]以外に設定した場合は、常に選択した設定値で印刷されます。
- 用紙の種類によっては、選択できない設定値があります。

用紙送りの調整

用紙の送り量を調整する

印刷物に以下のような現象が発生した場合は、用紙の送り量を調整します。

- 印刷物に色味の違うスジが入る
- 用紙送り方向に印刷された罫線の長さが正確でない

用紙の送り量を調整する場合は、以下の順に設定してください。

1. 現象に応じて、用紙の種類に対する[優先設定]の設定を変更します。
(「用紙の送り量の調整方法を選択する(紙送り調整)」参照) →P.716

2. [優先設定]の設定に応じて、[画質調整]または[長さ調整]を実行します。
(「横スジを自動で調整する(画質調整)」参照) →P.717
(「横スジを手動で調整する(画質調整)」参照) →P.719
(「罫線の長さを調整する(長さ調整)」参照) →P.721

3. [画質調整]を実行した後に、さらに微調整が必要な場合は、[紙送り微調整]を実行します。
(「用紙の送り量を微調整する(紙送り微調整)」参照) →P.721

用紙の送り量の調整方法を選択する(紙送り調整)

用紙の送り方向への調整方法は、[優先設定]で設定されています。
[優先設定]の設定は、印刷目的に応じて変更してください。

- [画質優先]: 印刷物の横スジを目立たなくするように調整します。
[画質調整]の設定が適用されます。[紙送り微調整]を実行した場合は、[画質調整]の設定に加えて[紙送り微調整]の設定も適用されます。
- [長さ優先]: 印刷物の罫線の長さを合わせるように調整します。
[長さ調整]の[A:きれい]または[B:標準/速い]の設定が適用されます。
- [自動]: 印刷時にプリンタドライバで選択された[優先画質]により、[画質優先]または[長さ優先]が選択されます。
[写真・イラスト]または[オフィス文書]:[画質優先]が選択されます。
[線画・文字]:[長さ優先]が選択されます。

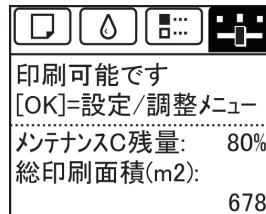
メモ

- [長さ調整]メニューの[A:きれい]、[B:標準/速い]は、印刷時のプリンタドライバの設定によりいずれかが適用されます。
- プリンタドライバで[目的設定モード]を選択した場合は、以下の手順で[優先画質]を確認してください。
  - Windows :[基本設定]タブで[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開いてください。
  - Mac OS X :[基本設定]パネルで[設定確認]をクリックし、[設定確認]ダイアログボックスを開いてください。

以下の手順で設定します。

1. 用紙をセットします。
   - ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.672
   - カット紙を手差しでセットする →P.694

2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
   [設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[優先設定]を選択し、[OK]キーを押します。

7. [▲]キー、[▼]キーを押して[自動]、[画質優先]または[長さ優先]を選択し、[OK]キーを押します。

横スジを自動で調整する(画質調整)

印刷物に色味の違う横スジが入る場合は、[画質調整]を実行し、用紙の送り量を調整します。
横スジを自動調整する方法には、[自動(純正紙)]と[自動(その他)]があり、調整パターンが印刷され、印刷結果をもとに用紙の送り量が自動的に調整されます。

- [自動(純正紙)]
  用紙リファレンスガイドに記載されている用紙を使用する場合に実行します。
  (「用紙の種類」参照) →P.663
- [自動(その他)]
  用紙リファレンスガイドに記載されていない用紙を使用する場合や、[自動(純正紙)]を実行しても横スジが改善されない場合に実行します。

（「用紙の種類」参照） →P.663

メモ

- [自動(純正紙)]および[自動(その他)]を実行する前に、必ず[優先設定]の設定値を確認してください。
（「用紙の送り量の調整方法を選択する(紙送り調整)」参照） →P.716
- 透過性の高い用紙などは、[自動(純正紙)]および[自動(その他)]で調整できません。
この場合は、[手動]を実行してください。
（「横スジを手動で調整する(画質調整)」参照） →P.719
- [自動(純正紙)]および[自動(その他)]を実行後、さらに微調整が必要な場合は、[紙送り微調整]を実行してください。
（「用紙の送り量を微調整する(紙送り微調整)」参照） →P.721
- CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、[長さ調整]を実行してください。
（「罫線の長さを調整する(長さ調整)」参照） →P.721
- 用紙の種類によっては、時間がかかる場合があります。
- 調整に使用する用紙の種類とサイズは、実際の印刷に使用する用紙と同じにしてください。

用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	[自動(純正紙)]: 未使用の A4/レターサイズの用紙 1 枚 [自動(その他)]: 未使用の A4/レターサイズの用紙 2 枚(ただし、A2 サイズの場合は 1 枚)

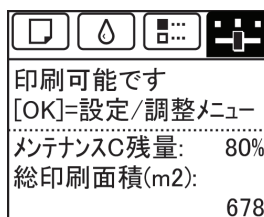
以下の手順で調整します。

1. 用紙をセットします。
   - ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.672
   - カット紙を手差しでセットする →P.694

メモ

- プリンタにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して （設定/調整タブ）を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
[設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[画質調整]を選択し、[OK]キーを押します。

7. [▲]キー、[▼]キーを押して[自動(純正紙)]または[自動(その他)]を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターンが印刷されます。
ロール紙または A2 サイズ以上のカット紙に印刷した場合は、ここで調整は終了します。

8. [自動(その他)]で A2 サイズより小さい用紙に印刷した場合は、ディスプレイに印刷の続行を確認するメッセージが表示されます。
[OK]キーを押して、ディスプレイの指示に従って操作を続けてください。

横スジを手動で調整する(画質調整)

印刷物に色味の違うスジが入る場合は、[画質調整]を実行し、用紙の送り量を調整します。
[手動]は、透過性の高い用紙など、[自動(純正紙)]または[自動(その他)]で調整できない用紙に対して実行します。
(「横スジを自動で調整する(画質調整)」参照) →P.717
[手動]を実行すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果をもとに設定値を入力してください。

メモ

- [手動]を実行する前に、必ず[優先設定]の設定値を確認してください。
(「用紙の送り量の調整方法を選択する(紙送り調整)」参照) →P.716
- [手動]を実行後、さらに微調整が必要な場合は、[紙送り微調整]を実行してください。
(「用紙の送り量を微調整する(紙送り微調整)」参照) →P.721
- CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、[長さ調整]を実行してください。
(「罫線の長さを調整する(長さ調整)」参照) →P.721
- 調整に使用する用紙の種類とサイズは、実際の印刷に使用する用紙と同じにしてください。

用意するもの

ロール紙	未使用の 10 インチサイズ以上の用紙
カット紙	未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 2 枚

以下の手順で調整します。

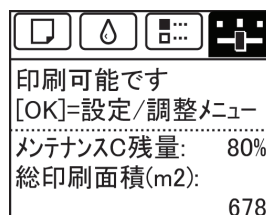
1. 用紙をセットします。

- ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669
- ロール紙をプリンタにセットする →P.672
- カット紙を手差しでセットする →P.694

メモ

- プリンタにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
[設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[画質調整]を選択し、[OK]キーを押します。

7. [▲]キー、[▼]キーを押して[手動]を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターン A が印刷されます。

メモ
- カット紙に印刷した場合は、ディスプレイの指示に従ってカット紙を取り外してください。

8. 調整用パターン A を見て、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認します。

メモ
- 並んだ 2 つのパターンを見て、どちらを選択するか迷った場合は、中間の値を選択してください。
例えば、番号が 10 と 12 のパターンで迷った場合は、11 を選択します。

9. [▲]キー、[▼]キーを押して、確認した番号を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターン B が印刷されます。

メモ
- 調整用パターン A をカット紙に印刷した場合は、ディスプレイの指示に従って同じ種類のカット紙を取り付けてください。
また、調整用パターン B の印刷後は、ディスプレイの指示に従ってカット紙を取り外してください。

10. 調整用パターン B を見て、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認します。

11. [▲]キー、[▼]キーを押して、確認した番号を選択し、[OK]キーを押します。
調整値が登録され、調整が終了します。

用紙の送り量を微調整する(紙送り微調整)

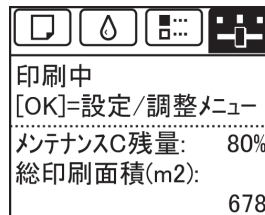
印刷物に 50mm 程度の周期的な濃淡差が発生した場合、または色味の違うスジが入る場合は、印刷中に[紙送り微調整]を実行し、用紙の送り量を微調整します。

メモ

- [紙送り微調整]を実行する前に、必ず[画質調整]を実行しておいてください。
  [画質調整]を実行すると、[紙送り微調整]の設定値は 0 に戻ります。
  (「横スジを自動で調整する(画質調整)」参照) →P.717
  (「横スジを手動で調整する(画質調整)」参照) →P.719

以下の手順で調整します。

1. 印刷中に、操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
   [設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り微調整]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して-5〜+5 の範囲で設定値を選択し、[OK]キーを押します。
   設定が有効になります。

罫線の長さを調整する(長さ調整)

CAD 図の罫線の長さを正確に印刷したい場合は、[長さ調整]を実行し、用紙の送り量を調整します。
[長さ調整]には[調整ﾌﾟﾘﾝﾄ]と[調整値の変更]があります。

- [調整ﾌﾟﾘﾝﾄ]
  調整用パターンが印刷されますので、印刷結果をもとに誤差を測定します。
- [調整値の変更]
  調整用パターンが印刷されませんので、あらかじめ印刷物を測定し、誤差を測定しておいてください。

また、[調整ﾌﾟﾘﾝﾄ]と[調整値の変更]には、それぞれ[A:きれい]と[B:標準/速い]がありますので、印刷目的に応じて選択してください。

- [A:きれい]
  印刷時にプリンタドライバの[印刷品質]で[最高]または[きれい]が選択された場合に設定が適用されます。
- [B:標準/速い]
  印刷時にプリンタドライバの[印刷品質]で[標準]または[速い]が選択された場合に設定が適用されます。

メモ

- [長さ調整]を実行する前に、必ず[優先設定]の設定値を確認してください。(「用紙の送り量の調整方法を選択する(紙送り調整)」参照) →P.716
- 調整に使用する用紙の種類とサイズは、実際の印刷に使用する用紙と同じにしてください。

用意するもの

ロール紙	• 未使用の 10 インチサイズ以上の用紙 • 精度の高いものさし
カット紙	• 未使用の A4/レターサイズ以上の用紙 1 枚 • 精度の高いものさし

以下の手順で調整します。

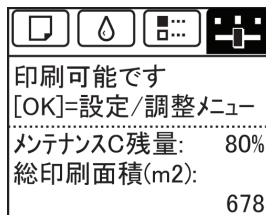
1. 用紙をセットします。

   - ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.672
   - カット紙を手差しでセットする →P.694

メモ

- プリンタにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

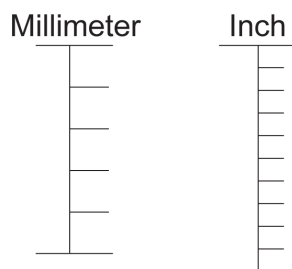
メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
   [設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[紙送り調整]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[長さ調整]を選択し、[OK]キーを押します。

7. [▲]キー、[▼]キーを押して[調整ﾌﾟﾘﾝﾄ]または[調整値の変更]を選択し、[OK]キーを押します。
[調整ﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択した場合は、調整用パターンが印刷されますので、スケールを測定し、誤差を計算します。[Millimeter]には 50 mm 間隔、[Inch]には 1 インチ間隔のスケールが表示されます。

メモ

- 調整用パターンは、[A:きれい]を選択した場合は黒で、[B:標準/速い]を選択した場合はマゼンタでそれぞれ印刷されます。
- 調整用パターンの印刷を中止する場合は、[ストップ]キーを押します。[印刷を中止しますか?]と表示されたら、[▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。

8. [▲]キー、[▼]キーを押して誤差を入力し、[OK]キーを押します。
スケールが実際の長さより短かった場合は+側に、長かった場合は-側に設定します。
設定値は、0.02%ごとに変更できます。

カット紙後端の色味を調整する

カット紙の印刷物の最後端部(およそ 20〜30 mm 付近)に色味の違うスジが入る場合は、カット紙後端の送り量を調整します。

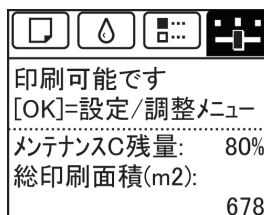
メモ

- カット紙の後端部だけではなく、カット紙およびロール紙の印刷面全体に色味の違うスジが入る場合は、用紙の送り量を調整します。(「横スジを自動で調整する(画質調整)」参照) →P.717
- この調整は、手差し上面給紙口から後端余白を 3 mm に設定できる用紙を給紙した場合のみ実行できます。後端余白を 3 mm に設定できない用紙を使用した場合は、自動的に排紙され、調整ができません。

1. A4/レターサイズ以上で未使用のカット紙を、1 枚セットします。

メモ

- プリンタにセットした用紙と用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。
- 使用頻度が最も高い用紙で調整することをお勧めします。

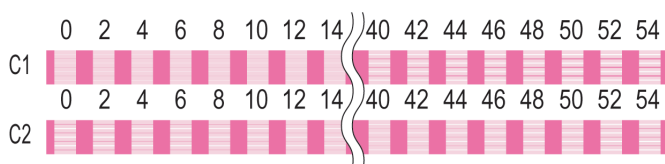
2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
[設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[後端送り補正]を選択し、[OK]キーを押します。

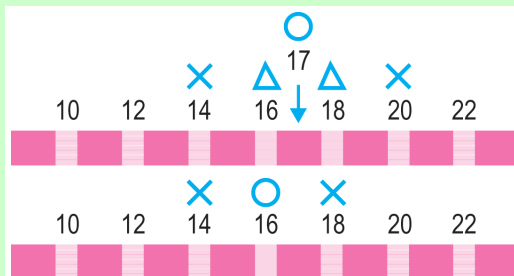
6. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
調整用パターンが印刷されます。

操作パネルに[C1]と表示されます。

7. 調整用パターンの[C1]の行から、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認し、[▲]キー、[▼]キーを押してその番号を選択し、[OK]キーを押します。
操作パネルに[C2]と表示されます。

7

8. 調整用パターンの[C2]の行から、横スジが最も目立たないパターンの番号を確認し、[▲]キー、[▼]キーを押してその番号を選択し、[OK]キーを押します。
調整値が登録され、調整が終了します。

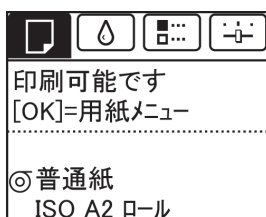
メモ

- 横スジが最も目立たないパターンを 2 つのパターンで迷う場合は、中間の値を選択してください。例えば、番号が 16 と 18 のパターンで判断できない場合は、17 を選択します。

用紙の吸着力を変更する(吸着力)

厚い用紙や、カールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷したときに、プリントヘッドが用紙にこすれる場合は、プラテン上での用紙の吸着力を変更すると、改善されることがあります。

重要

- 用紙がプリントヘッドにこすれたりひっかかったりすると、印刷物を汚したり、用紙のつまりが発生する原因となることがありますので注意してください。

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (用紙タブ)を選択します。

メモ

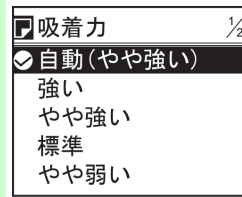
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙詳細設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して用紙の種類を選択し、[OK]キーを押します。

メモ

- [吸着力]が[自動]に設定されている場合、現在給紙されている用紙の種類を選択すると、[自動]の右側に、前回印刷時に選択された設定値を表示させることができます。
ただし、電源を切るか、用紙を交換するとリセットされ、表示されなくなります。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[吸着力]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して設定値を選択し、[OK]キーを押します。

色の調整

カラーキャリブレーションで色味を調整する

カラーキャリブレーションは、プリントヘッドの個体差や印刷環境によって変化する色味のばらつきを補正する機能です。
以下の場合は、カラーキャリブレーションの実行をお勧めします。

- 初期設置時
- プリントヘッドを交換したとき
- 以前と比べて色味の変化を感じたとき（ただし、環境や印刷の条件は、同一に揃えてください。）
- 複数のプリンタから色味を揃えて印刷したいとき（ただし、ファームウェアおよびプリンタドライバのバージョンや設定項目は、同一に揃えてください。）

カラーキャリブレーションを実行すると調整用パターンが印刷され、自動的に印刷結果を反映した補正値が設定されます。

重要

- カラーキャリブレーションを実行するには、以下のいずれかの用紙が必要です。ただし、用紙ごとに用紙の推奨使用環境が異なります。プリンタは、印刷する用紙の推奨環境範囲内で使用してください。用紙の推奨使用環境については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663
  - [厚口ｺｰﾄ紙]
  - [ﾌﾟﾚﾐｱﾑﾏｯﾄ紙]
  - [ﾌｫﾄ光沢紙 HG]
  - [ﾌｫﾄ半光沢紙 HG]
  - [ﾌｫﾄ光沢 HG 厚口]
  - [ﾌｫﾄ半光沢 HG 厚口]
  - [ﾌﾟﾚﾐｱﾑ光沢紙]
  - [ﾌﾟﾚﾐｱﾑ半光沢紙]
  - [ﾌﾟﾚﾐｱﾑ光沢紙厚口]
  - [ﾌﾟﾚﾐｱﾑ半光沢厚口]
  - [ﾌｫﾄ半光沢紙ﾎﾟｽﾀｰ]
  - [ﾌｫﾄ半光沢ﾎﾟｽﾀ-2]
  - [ﾌｫﾄ 光沢ｺﾞｰﾙﾄﾞ]
  - [光沢 ﾌﾟﾗﾁﾅｸﾞﾚｰﾄﾞ]
  - [ﾌﾟﾙｰﾌ用紙 2]
  - [ﾌｧｲﾝｱｰﾄ(ﾌｫﾄ)]
  - [ﾌｧｲﾝｱｰﾄ ﾌｫﾄ厚口]
- カラーキャリブレーションによる補正値は、カラーキャリブレーションを実行した用紙以外の種類の用紙についても、印刷するときに最適値が適用されます。
- プリンタドライバまたは操作パネルのメニューでカラーキャリブレーションを印刷に適用するかどうかを設定できます。プリンタドライバの設定が優先されます。
  操作パネルのメニューの詳細については、「メニューの設定値」を参照してください。→P.777
  プリンタドライバの設定については、以下を参照してください。
  - プリンタドライバの設定項目(Windows) →P.183
  - プリンタドライバの設定項目(Mac OS X) →P.444
- カラーキャリブレーションを実行するときは、プリンタに直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。
- プリンタドライバを再インストールする場合に Media Configuration Tool の地域選択を変更すると、インストール前にプリンタに登録されていた地域限定の用紙情報は削除されます。情報が削除された用紙でカラーキャリブレーションを実行していた場合、すべての種類の用紙でカラーキャリブレーションが適用されなくなります。カラーキャリブレーションを適用させたい場合は、新しく選択した地域に合ったカラーキャリブレーションに対応している用紙で、カラーキャリブレーションをやり直してください。(「Media Configuration Tool →P.407 」、「Media Configuration Tool →P.622 」参照)
- 操作パネルのメニューの[ｼｽﾃﾑ設定]の[用紙設定初期化]で[する]を選択すると、工場出荷時の設定値に戻ります。Media Configuration Tool により追加または更新した用紙の情報も消去されるため、Media Configuration Tool で情報を追加した用紙でカラーキャリブレーションを実行していた場合、すべての種類の用紙でカラーキャリブレーションが適用されなくなります。カラーキャリブレーションを適用させたい場合は、工場出荷時に設定されている用紙の種類の中でカラーキャリブレーションに対応している用紙を使用して、カラーキャリブレーションをやり直してください。(「Media Configuration Tool →P.407 」、「Media Configuration Tool →P.622 」参照)

メモ

- カラーキャリブレーションは、1 種類の用紙で実行することを推奨します。キャリブレーションを実行する際に、同一種類の用紙を使用することで、色安定の精度がより向上します。
- 色安定精度をより高めるために、カラーキャリブレーションを実行する際の温湿度環境は、毎回一定に揃えることを推奨します。
- カラーキャリブレーションを実施した後でさらに好みの色に調整したい場合は、プリンタドライバで色の調整を行います。(「プリンタドライバで色を調整して印刷する」参照) →P.40
- カラーキャリブレーションの実行日や実行した用紙などの情報は、操作パネルのメニュー、[ステータスプリント]、imagePROGRAF Status Monitor(Windows)/imagePROGRAF Printmonitor(Macintosh)から確認できます。
  操作パネルのメニューの詳細については、「メニューの設定値」を参照してください。→P.777
  imagePROGRAF Status Monitor の詳細については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。
  imagePROGRAF Printmonitor の詳細については、imagePROGRAF Printmonitor のヘルプを参照してください。

用意するもの

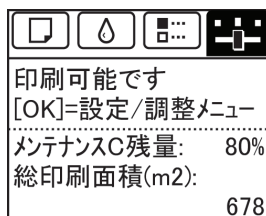
ロール紙	未使用の 10 インチ(254 mm)幅以上の用紙
カット紙	未使用の A4 縦サイズまたはレター縦サイズ(8.5×11 インチ)以上の用紙 1 枚

以下の手順で、カラーキャリブレーションを実行することができます。

1. 用紙をセットします。

- ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669
- ロール紙をプリンタにセットする →P.672
- カット紙を手差しでセットする →P.694

2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
[設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[印字調整]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｷｬﾘﾌﾞ ﾚｰｼｮﾝ]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[自動調整]を選択し、[OK]キーを押します。
環境測定や用紙の確認が行われた後、カラーキャリブレーション調整用パターンが印刷されます。印刷結果を反映した補正値が自動的に設定されます。

印刷物を使用する環境光に適した色で印刷する

ご使用の環境の光に適した色で印刷することができます。
光に合わせて色味を調整する方法は、以下の 2 種類があります。

[チャート]から色味を選択して印刷する

印刷した[チャート]からお好みの色味のチャート番号を選択して印刷します。

重要

- この機能は、Windows と Mac OSX 10.4 以降でのみ使用できます。
- この機能は、OS(Windows 32bit/64bit,Macintosh)により、僅かに色味が異なる場合があります。

[チャート]から色味を選択して印刷する方法については、以下のトピックを参照してください。

- チャートから色味を選択して印刷する(Windows) →P.729
- チャートから色味を選択して印刷する(Mac OS X) →P.733

測定した光に合わせた色で印刷する

光を測定し、結果をドライバに入力して印刷します。

重要

- この機能を使用する場合は、光測定器 i1 が必要となります。また環境光測定ツールがインストールされている必要があります。
- 環境光測定ツールは User Software CD-ROM からインストールすることができます。
- 対応する i1 については、環境光測定ツールに付属のマニュアルを参照してください。
- この機能は、Windows と Mac OSX 10.4 以降でのみ使用できます。
- この機能は、OS(Windows 32bit/64bit,Macintosh)により、僅かに色味が異なる場合があります。

光を測定して印刷する方法については、以下のトピックを参照してください。

- 測定した光に合わせた色で印刷する(Windows) →P.737
- 測定した光に合わせた色で印刷する(Mac OS X) →P.740

チャートから色味を選択して印刷する(Windows)

[チャート]を印刷し、お好みの色味のチャート番号をドライバに入力して印刷することができます。

重要

- この機能を使用する場合は、[Light Source Check Tool]がインストールされている必要があります。
- [Light Source Check Tool]は、User Software CD-ROM からインストールすることができます。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.191」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、例えば[プレミアム光沢紙]を選択します。

重要

- 環境光補正は、ご使用の用紙の種類により設定できない場合があります。詳しくは、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.663 」参照)

5. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6. F[印刷品質]で[最高]または[きれい]をクリックします。

重要

- [環境光補正設定]は、F[印刷品質]で[最高]または[きれい]が設定されているときのみ実行することができます。

7. G[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

8. H[色設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

9. [マッチング]タブをクリックし、[マッチング]シートを表示します。

10. A[マッチングモード]で[ドライバ補正モード]が選択されていることを確認します。

メモ

- モニタマッチングの設定を行っている場合は B[マッチング方法]で[モニタマッチング]を選択します。その場合、C[色空間]はデータを開いたときと同じ色空間を選択し、D[モニタの白色点]はモニタに設定されている色温度を選択してください。

11. E[環境光補正を有効にする]をチェックします。

12. F[環境光補正設定]をクリックし、[環境光補正設定]ダイアログボックスを開きます。

13. A[設定方法]で[チャート番号で指定する]が選択されていることを確認します。
選択されていない場合は選択します。

14. B[チャート印刷]をクリックします。
[Light Source Check Tool]が起動します。

15. 設定を確認して D[印刷]をクリックします。
[チャート]が印刷されます。

16. [チャート]で縦 4 つの絵すべてが総合的にお好みの色味になるチャート番号をご使用の環境で確認します。

メモ

- 人物、空の青色、イチゴの赤色などが、全体として違和感なく見えるチャート番号を選択してください。

17. [環境光補正設定]ダイアログボックスの C[チャート番号]でお好みのチャート番号を選択します。

18. [マッチング]シートの[マッチング方法]で[モニタマッチング]を選択している場合、モニタキャリブレーション時に計測した D[色温度]と E[照度]を入力してください。

19. [OK]をクリックします。

20. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

チャートから色味を選択して印刷する(Mac OS X)

[チャート]を印刷し、お好みの色味のチャート番号をドライバに入力して印刷することができます。

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Mac OS X)」参照) →P.450

3. [基本設定]パネルが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、例えば[プレミアム光沢紙]を選択します。

重要

- 環境光補正は、ご使用の用紙の種類により設定できない場合があります。詳しくは、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663

5. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6. F[印刷品質]で[最高]または[きれい]をクリックします。

重要

- [環境光補正設定]は、F[印刷品質]で[最高]または[きれい]が設定されているときのみ実行することができます。

7. H[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

8. I[設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

9. [マッチング]タブをクリックし、[マッチング]パネルを表示します。

10. A[マッチングモード]で[ドライバ補正モード]が選択されていることを確認します。

メモ

- モニタマッチングの設定を行っている場合は B[マッチング方法]で[モニタマッチング]を選択します。その場合、C[色空間]はデータを開いたときと同じ色空間を選択し、D[モニタの白色点]はモニタに設定されている色温度を選択してください。

11. E[環境光補正を有効にする]をチェックします。

12. F[環境光補正設定]をクリックし、[環境光補正設定]ダイアログボックスを開きます。

7

13. A[設定方法]で[チャート番号で指定する]が選択されていることを確認します。
選択されていない場合は選択します。

14. B[チャート印刷]をクリックします。
[Light Source Check Tool]が起動します。

15. 設定を確認して D[印刷]をクリックします。
[チャート]が印刷されます。

16. [チャート]で縦 4 つの絵すべてが総合的にお好みの色味になるチャート番号をご使用の環境で確認します。

メモ

- 人物、空の青色、イチゴの赤色などが、全体として違和感なく見えるチャート番号を選択してください。

17. [環境光補正設定]ダイアログボックスの C[チャート番号]でお好みのチャート番号を選択します。

18. [マッチング]パネルの[マッチング方法]で[モニタマッチング]を選択している場合、モニタキャリブレーション時に計測した D[色温度]と E[照度]を入力してください。

19. [OK]をクリックします。

20. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

測定した光に合わせた色で印刷する（Windows）

光を測定し、結果をドライバに入力して印刷します。

重要

- この機能を使用する場合は、光測定器 i1 が必要となります。また環境光測定ツールがインストールされている必要があります。
- 環境光測定ツールは User Software CD-ROM からインストールすることができます。
- 対応する i1 については、環境光測定ツールに付属のマニュアルを参照してください。

1. 光測定器 i1 および環境光測定ツールを使用して、[光源の種類]、[色温度]、[照度]をご使用の環境で確認します。

メモ

- i1 と環境光測定ツールの詳しい操作説明については、付属の説明書を参照してください。

2. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

3. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Windows） →P.191 」参照）

4. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

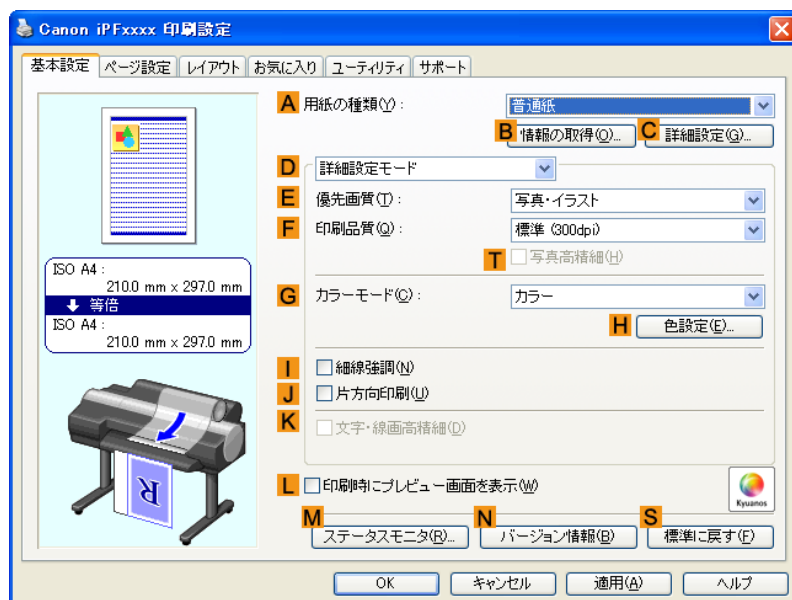
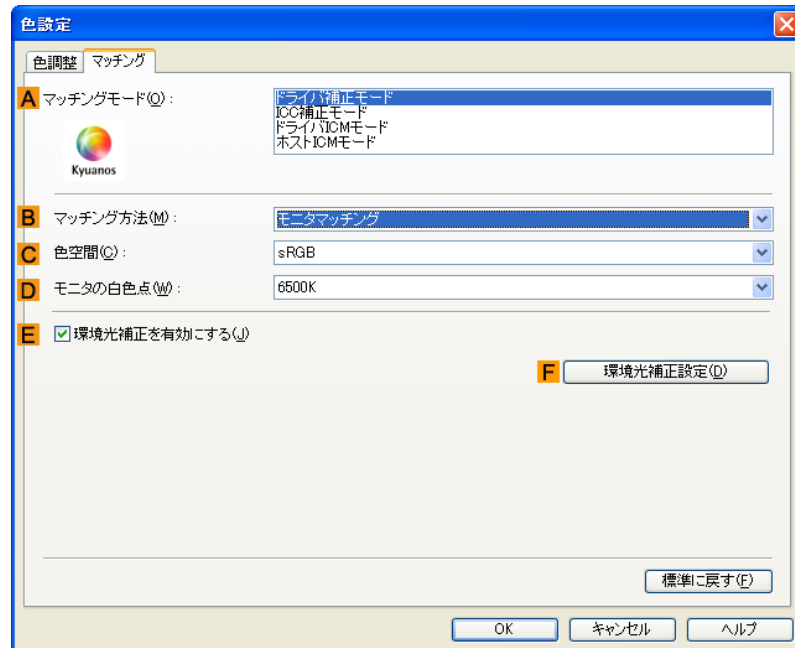
5. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、例えば[プレミアム光沢紙]を選択します。

重要

- 環境光補正は、ご使用の用紙の種類により設定できない場合があります。詳しくは、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.663 」参照)

6. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

7. F[印刷品質]で[最高]または[きれい]をクリックします。

重要

- [環境光補正設定]は、F[印刷品質]で[最高]または[きれい]が設定されているときのみ実行することができます。

8. G[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

9. H[色設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

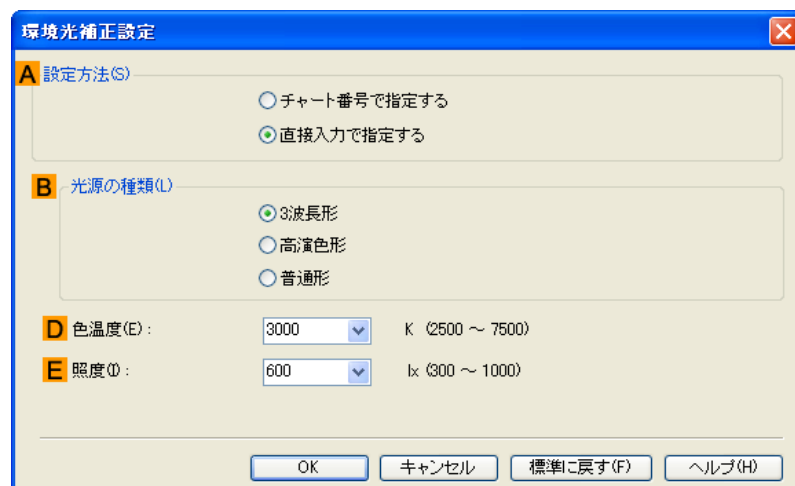
10. [マッチング]タブをクリックし、[マッチング]シートを表示します。

11. A[マッチングモード]で[ドライバ補正モード]が選択されていることを確認します。

メモ

- モニタマッチングの設定を行っている場合は B[マッチング方法]で[モニタマッチング]を選択します。その場合、C[色空間]はデータを開いたときと同じ色空間を選択し、D[モニタの白色点]はモニタに設定されている色温度を選択してください。

12. E[環境光補正を有効にする]をチェックします。

13. F[環境光補正設定]をクリックし、[環境光補正設定]ダイアログボックスを開きます。

14. A[設定方法]で[直接入力で指定する]を選択します。

15. 手順 1 で確認した **B**[光源の種類]と **D**[色温度]を選択します。
[マッチング]シートの[マッチング方法]で[モニタマッチング]が選択されている場合は **E**[照度]も選択します。

メモ

- 一度設定した値で繰り返し印刷する場合は、システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開き、設定しておくことをお勧めします。(「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.193」参照)

16. [OK]をクリックします。

17. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

測定した光に合わせた色で印刷する(Mac OS X)

光を測定し、結果をドライバに入力して印刷します。

重要

- この機能を使用する場合は、光測定器 i1 が必要となります。また環境光測定ツールがインストールされている必要があります。
- 環境光測定ツールは User Software CD-ROM からインストールすることができます。
- 対応する i1 については、環境光測定ツールに付属のマニュアルを参照してください。

7

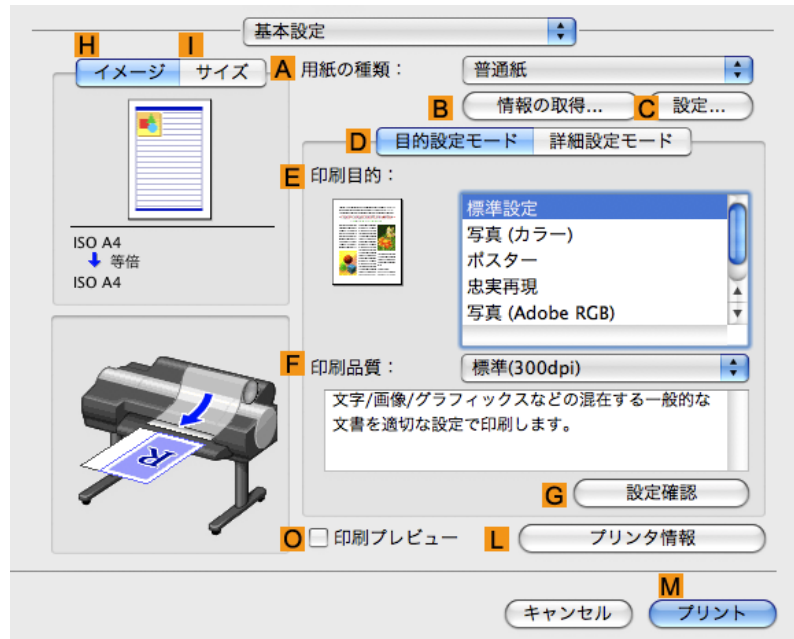
1. 光測定器 i1 および環境光測定ツールを使用して、[光源の種類]、[色温度]、[照度]をご使用の環境で確認します。

メモ

- i1 と環境光測定ツールの詳しい操作説明については、付属の説明書を参照してください。

2. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

3. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Mac OS X)」参照) →P.450

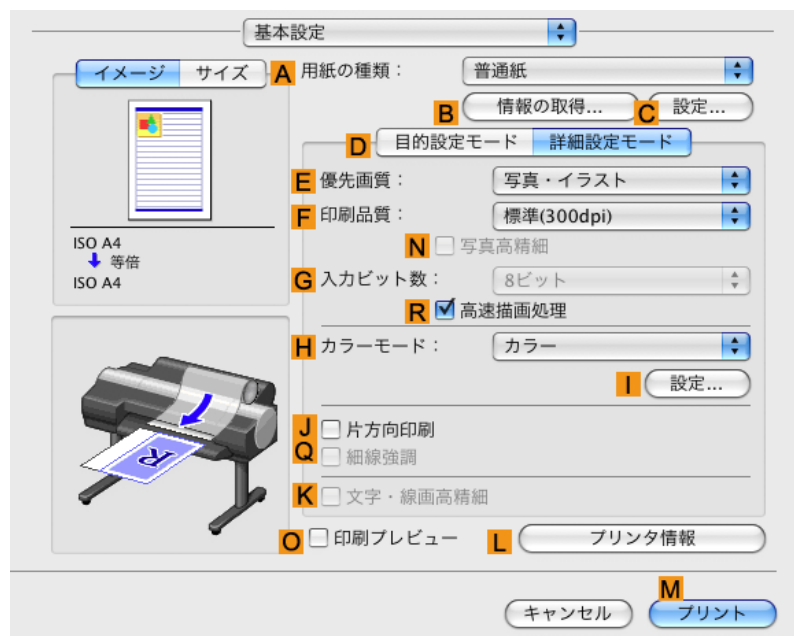
4. [基本設定]パネルが表示されていることを確認します。

5. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、例えば[プレミアム光沢紙]を選択します。

重要

- 環境光補正は、ご使用の用紙の種類により設定できない場合があります。詳しくは、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663

6. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

7. F[印刷品質]で[最高]または[きれい]をクリックします。

重要

- [環境光補正設定]は、F[印刷品質]で[最高]または[きれい]が設定されているときのみ実行することができます。

8. H[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

9. I[設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

10. [マッチング]タブをクリックし、[マッチング]パネルを表示します。

11. A[マッチングモード]で[ドライバ補正モード]が選択されていることを確認します。

メモ

- モニタマッチングの設定を行っている場合は B[マッチング方法]で[モニタマッチング]を選択します。その場合、C[色空間]はデータを開いたときと同じ色空間を選択し、D[モニタの白色点]はモニタに設定されている色温度を選択してください。

12. E[環境光補正を有効にする]をチェックします。

13. F[環境光補正設定]をクリックし、[環境光補正設定]ダイアログボックスを開きます。

7

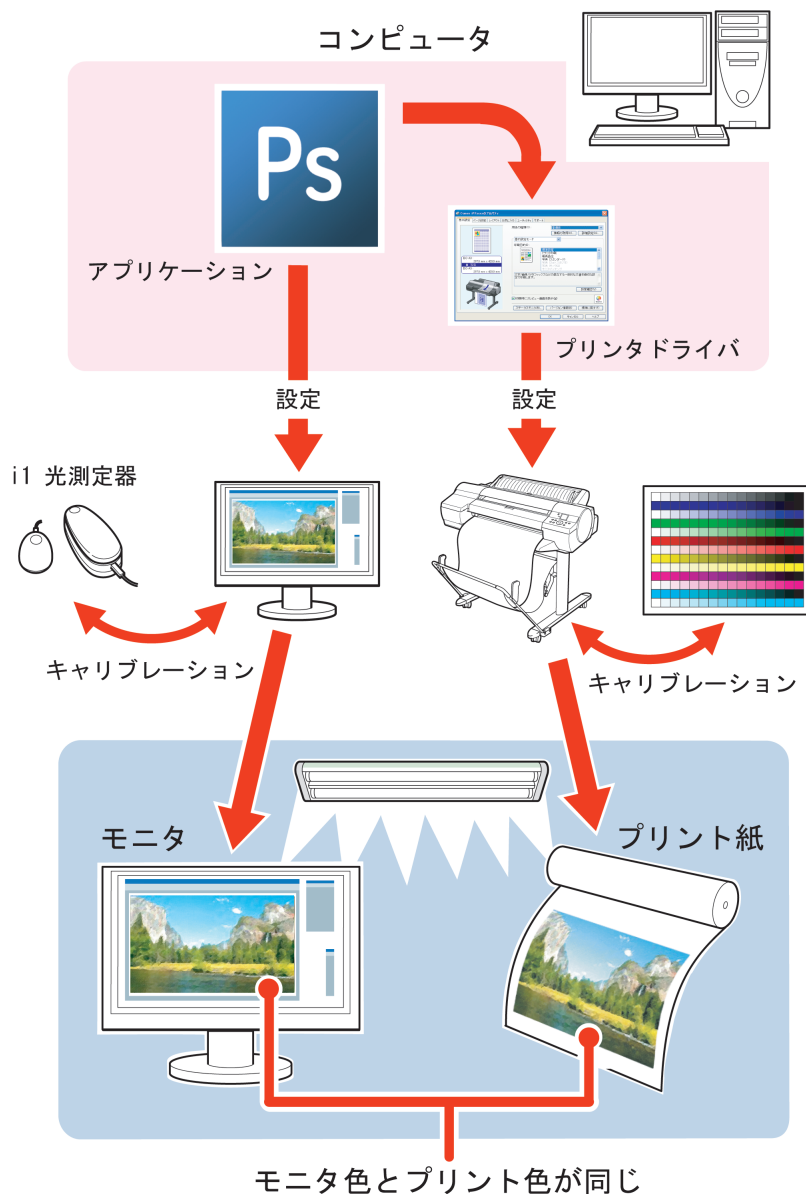
14. A[設定方法]で[直接入力で指定する]を選択します。

15. 手順 1 で確認した B[光源の種類]と D[色温度]を選択します。
[マッチング]パネルの[マッチング方法]で[モニタマッチング]が選択されている場合は E[照度]も選択します。

16. [OK]をクリックします。

17. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

画像をモニタと同じ色味で出力する

モニタと出力物の色を近づけるように調整を行うことをモニタマッチングとよびます。モニタ、アプリケーション、データ、ドライバをそれぞれ調整し、設定を行います。

重要

- ご使用のモニタ、アプリケーションによっては、モニタマッチングに適さない、または設定や調整ができない場合があります。

メモ

- モニタで表示できる色の範囲とプリンタで出力できる色の範囲が異なるため完全に同じ色にはならない場合があります。
- モニタの調整を行うために測定器が必要となります。
- 太陽光は時間により色の見え方が異なるため太陽光の入らない室内での作業をお勧めします。

[モニタマッチング]

モニタマッチングの流れは以下の通りです。

1. プリンタのキャリブレーションを行います。
カラーキャリブレーションは、プリントヘッドの個体差や印刷環境によって変化する色味のばらつきを補正します。
(「カラーキャリブレーションで色味を調整する」参照) →P.726

2. モニタのキャリブレーションを行います。
通常は[i1-Display]などの測定器を使って行います。
[白色点]を[6500K]または[5000K]、[ガンマ]を[2.2]、[輝度]を[120cd]に設定し、環境光測定を ON にします。
具体的な手順はモニタや測定器によって異なります。

3. データを開き、アプリケーションの設定をします。
データを sRGB もしくは、AdobeRGB で表示されるように開きます。
アプリケーション側で色変換をしない設定にします。
Photoshop CS3 の場合は[プリント]ダイアログボックスで[カラーマネジメント]を選択し、[カラー処理]の一覧から[カラーマネジメントなし]を選択します。

4. プリンタドライバで設定や調整を行います。
[マッチング方法]で[モニタマッチング]を選択し、モニタのキャリブレーションで設定した[モニタの白色点]と環境光測定した[色温度]、[照度]を設定します。
[色空間]にデータをアプリケーションで表示している色空間を選択します。
[i1- Pro]をお持ちの場合は環境光測定ツールを使用し、より高精度な環境光測定を行う事が可能です。

メモ

- 一度設定した値で繰り返し印刷する場合は、システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開き、設定しておくことをお勧めします。(「システムのメニューからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows) →P.193 」参照)

モニタマッチングのプリンタドライバの設定方法については、ご使用のコンピュータや OS に応じて、以下のトピックを参照してください。

- 画像をモニタと同じ色味で出力する(Windows) →P.744
- 画像をモニタと同じ色味で出力する(Mac OS X) →P.747

画像をモニタと同じ色味で出力する(Windows)

事前にモニタのキャリブレーションや、画像アプリケーションの設定を行う事によりモニタとできるだけ同じ色味で印刷するための設定をすることができます。

重要

- この機能を使用する場合は、事前にモニタのキャリブレーションやアプリケーションの設定が必要になります。(「画像をモニタと同じ色味で出力する →P.743 」参照)

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷](プリント)を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。(「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く(Windows)→P.191」参照)

3. [基本設定]シートが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、例えば[プレミアム光沢紙]を選択します。

重要

- 環境光補正は、ご使用の用紙の種類により設定できない場合があります。詳しくは、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類 →P.663」参照)

5. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6. F[印刷品質]で[最高]または[きれい]をクリックします。

重要

- [環境光補正設定]は、F[印刷品質]で[最高]または[きれい]が設定されているときのみ実行することができます。

7. G[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

8. H[色設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

9. [マッチング]タブをクリックし、[マッチング]シートを表示します。

10. A[マッチングモード]で[ドライバ補正モード]が選択されていることを確認します。

11. B[マッチング方法]で[モニタマッチング]を選択します。

12. C[色空間]にデータをアプリケーションで表示している色空間を選択します。

13. D[モニタの白色点]でモニタに設定されている色温度を選択します。

メモ

- より高い精度でモニタマッチングを行う場合は、環境光補正の設定を行う事をお勧めします。(「印刷物を使用する環境光に適した色で印刷する →P.729」参照)

14. [OK]をクリックします。

15. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

画像をモニタと同じ色味で出力する（Mac OS X）

事前にモニタのキャリブレーションや、画像アプリケーションの設定を行う事によりモニタとできるだけ同じ色味で印刷するための設定をすることができます。

重要

- この機能を使用する場合は、事前にモニタのキャリブレーションやアプリケーションの設定が必要になります。（「画像をモニタと同じ色味で出力する」参照） →P.743

1. アプリケーションソフトのメニューから[印刷]（プリント）を選択します。

2. 表示されるダイアログボックスでプリンタを選択し、プリンタドライバのダイアログボックスを開きます。（「アプリケーションソフトからプリンタドライバのダイアログボックスを開く（Mac OS X）」参照） →P.450

3. [基本設定]パネルが表示されていることを確認します。

4. A[用紙の種類]の一覧から、プリンタにセットされている用紙の種類、例えば[プレミアム光沢紙]を選択します。

重要

- 環境光補正は、ご使用の用紙の種類により設定できない場合があります。詳しくは、用紙リファレンスガイドを参照してください。（「用紙の種類」参照） →P.663

5. D[詳細設定モード]をクリックし、印刷の設定モードを切り替えます。

6. F[印刷品質]で[最高]または[きれい]をクリックします。

重要

- [環境光補正設定]は、F[印刷品質]で[最高]または[きれい]が設定されているときのみ実行することができます。

7. H[カラーモード]の一覧から[カラー]をクリックします。

8. I[設定]をクリックし、[色設定]ダイアログボックスを開きます。

9. [マッチング]タブをクリックし、[マッチング]パネルを表示します。

10. A[マッチングモード]で[ドライバ補正モード]が選択されていることを確認します。

11. B[マッチング方法]で[モニタマッチング]を選択します。

12. C[色空間]にデータをアプリケーションで表示している色空間を選択します。

13. D[モニタの白色点]でモニタに設定されている色温度を選択します。

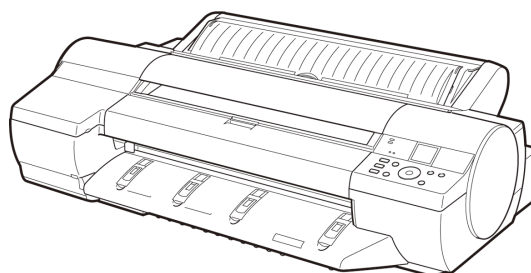
メモ

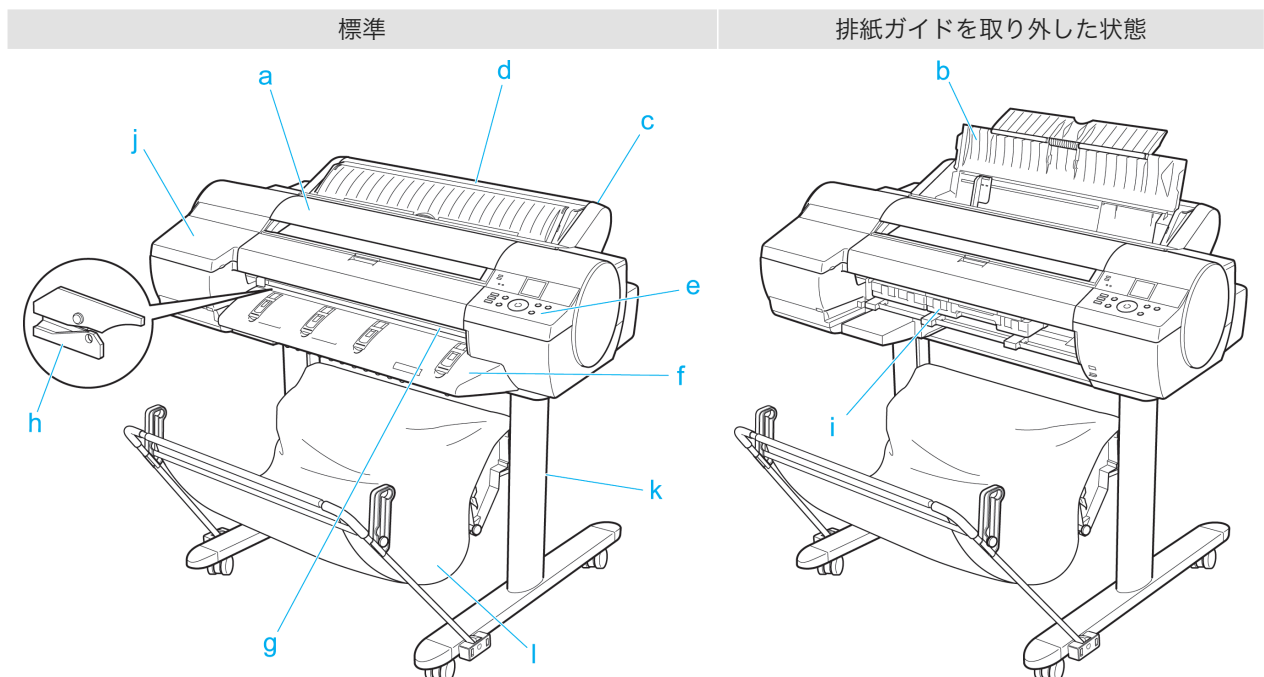
- より高い精度でモニタマッチングを行う場合は、環境光補正の設定を行う事をお勧めします。(「印刷物を使用する環境光に適した色で印刷する」参照) →P.729

14. [OK]をクリックします。

15. 印刷の設定を確認し、印刷を開始します。

プリンタの各部

各部の説明

前面

標準	排紙ガイドを取り外した状態

a. 上カバー

このカバーを開き、プリントヘッドを取り付けたり、プリンタ内部につまった用紙を取り除きます。(「上カバー内部」参照) →P.753

b. 手差しカバー

このカバーを開き、手差し上面給紙口にカット紙をセットします。(「手差し給紙部」参照) →P.754

c. ロール紙ユニット

ロール紙をこのユニットにセットします。手差しでカット紙をセットすることもできます。

d. ロール紙ユニットカバー

このカバーを開き、ロール紙をセットします。(「ロール紙ユニットカバー内部」参照) →P.755

e. 操作パネル

このパネルで、プリンタを操作したり、プリンタの状態を確認します。(「操作パネル」参照) →P.758

f. 排紙ガイド

排紙された用紙が浮き上がらないように支えます。

g. 排紙口（手差し前面給紙口）

すべての印刷物はここから排紙されます。厚紙をセットするときには、ここに厚紙を差し込みます。(「手差し給紙部」参照) →P.754

h. カッターユニット

ロール紙を自動でカットするための丸刃カッターです。カットしていないときは、収納されています。

i. メンテナンスカートリッジ

余分なインクを吸収します。

j. インクタンクカバー

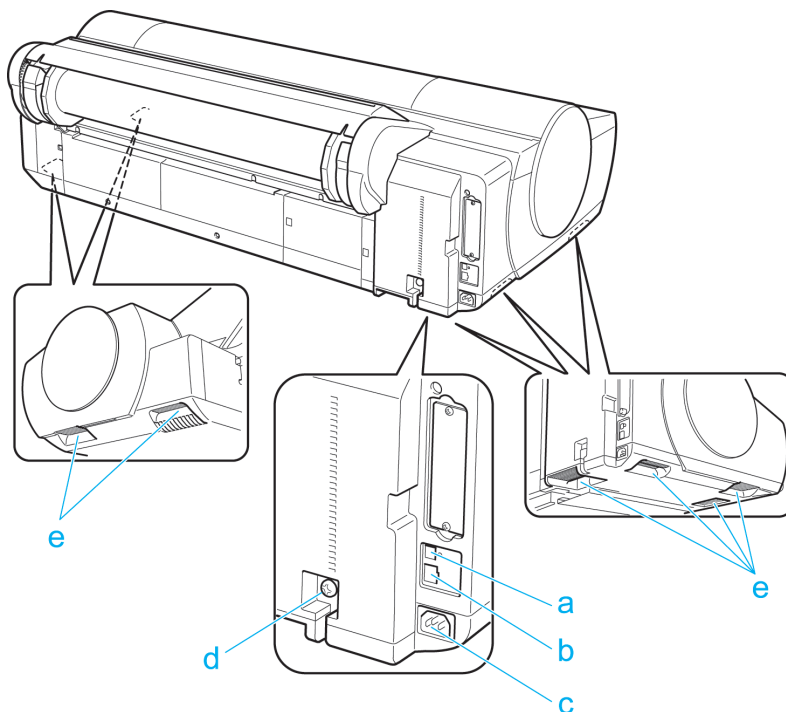
このカバーを開き、インクタンクを交換します。(「インクタンクカバー内部」参照) →P.756

k. スタンド

プリンタの取り付け台です。キャスター付きで簡単に移動できます。(「スタンド」参照) →P.796

l. バスケット

排紙された印刷物を受け止めます。バスケットに収容できる枚数は 1 枚です。(「バスケット使用上の注意」参照) →P.704

背面

a. USB ポート

USB ケーブルをこのポートに接続します。Hi-Speed USB に対応しています。

b. Ethernet コネクタ

Ethernet ケーブルをこのコネクタに接続します。

c. 電源コネクタ

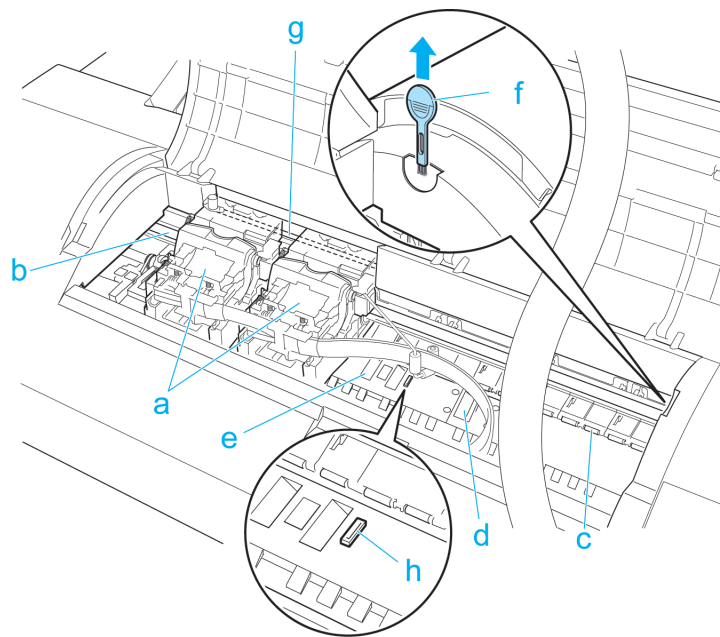
電源コードをこのコネクタに接続します。

d. アース端子

アース線をこの端子に接続します。

e. 運搬用取っ手（6 か所）

左右底面のこの部分を持って、プリンタを運びます。

上カバー内部

a. キャリッジ

プリントヘッドを動かします。印刷するための重要な部品です。(「キャリッジ」参照) →P.755

b. キャリッジシャフト

この部分をキャリッジが移動します。

c. 用紙押さえ

用紙を送るための重要な部品です。この部分で用紙を保持しています。

d. プラテン

この部分をプリントヘッドが移動し、印刷が行われます。表面には吸引口があり、用紙の浮き上がりを防ぎます。

e. フチなし印刷インク受け溝

フチなし印刷するときに、用紙の外側にはみ出したインクを受けます。

f. クリーナブラシ

上カバー内部を清掃するときに、このブラシでプラテン上の紙粉を掃き取ります。
また、プラテン上の青いスイッチを動かす際に使用します。

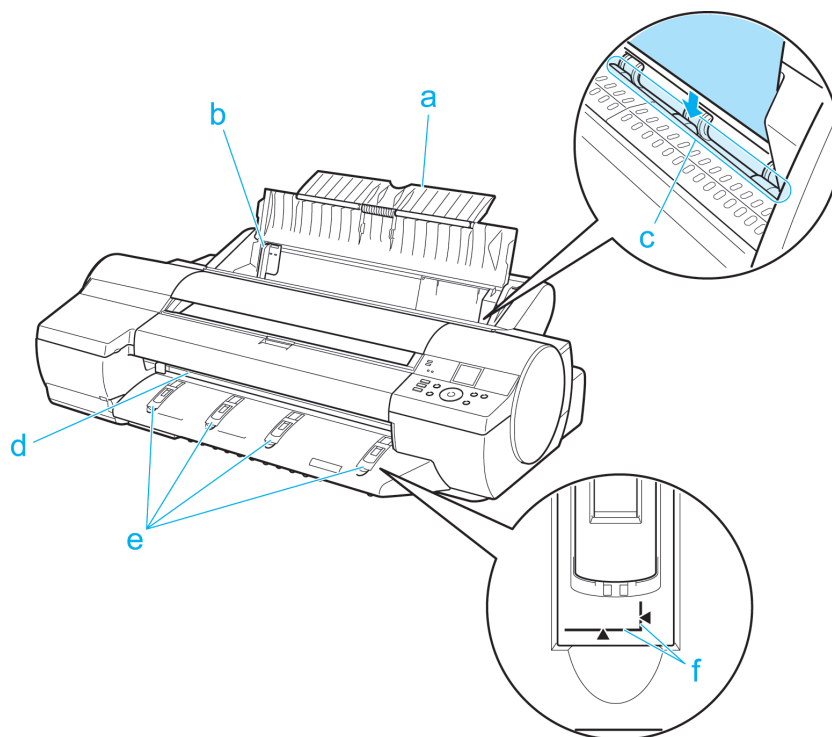
g. リニアスケール

キャリッジの位置を検出するための重要な部品です。上カバー内部で清掃や紙づまり処理を行うときは、絶対に触れないでください。

h. スイッチ

印刷した画像の端部がぼやける場合などに、●の反対側に設定します。フチなし印刷をする際は●側に戻してから印刷してください。(「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.896

手差し給紙部

8

a. 用紙サポート

手差しでセットするときは、手差しカバーを開いてからこのトレイを開きます。

b. 幅ガイド

カット紙をセットするときに、用紙のサイズに合わせてこのガイドを移動します。

c. 手差し上面給紙口

カット紙をセットするときに、ここにカット紙を差し込みます。

d. 手差し前面給紙口（排紙口）

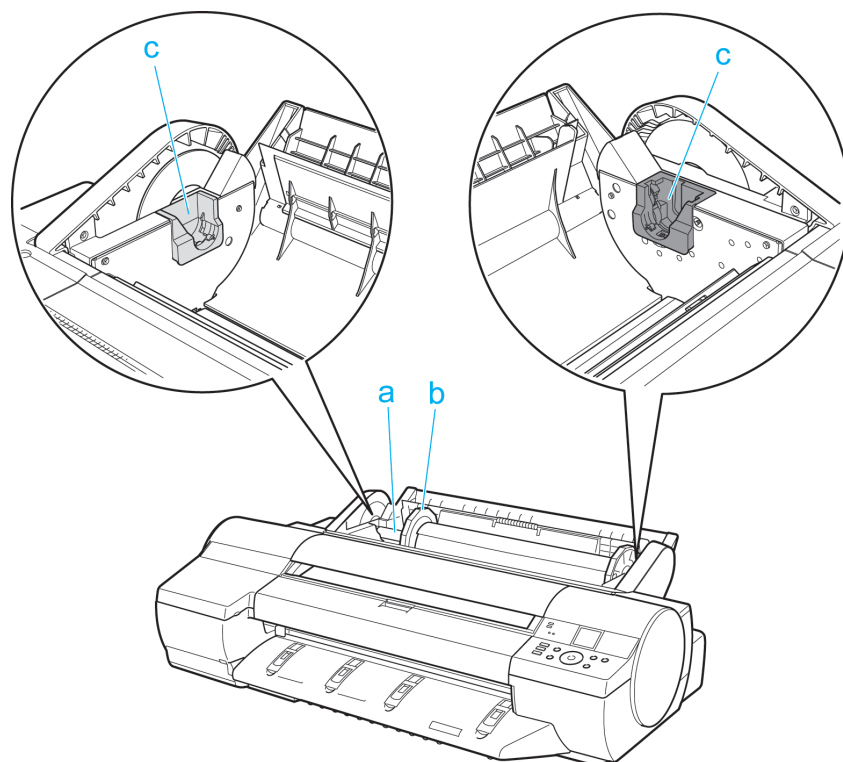
厚紙をセットするときに、ここに厚紙を差し込みます。すべての印刷物はここから排紙されます。

e. 前面給紙ガイド

厚紙を印刷するときにこのガイドをすべて立てます。厚紙を給紙するときは、厚紙をこのガイド上に載せて、右側に寄せながら厚紙の手前端がこのガイドの紙合わせラインに合う位置まで差し込みます。

f. 紙合わせライン

厚紙を手差しでセットするときに、このラインと平行になるようにセットします。

ロール紙ユニットカバー内部

a. ロールホルダー

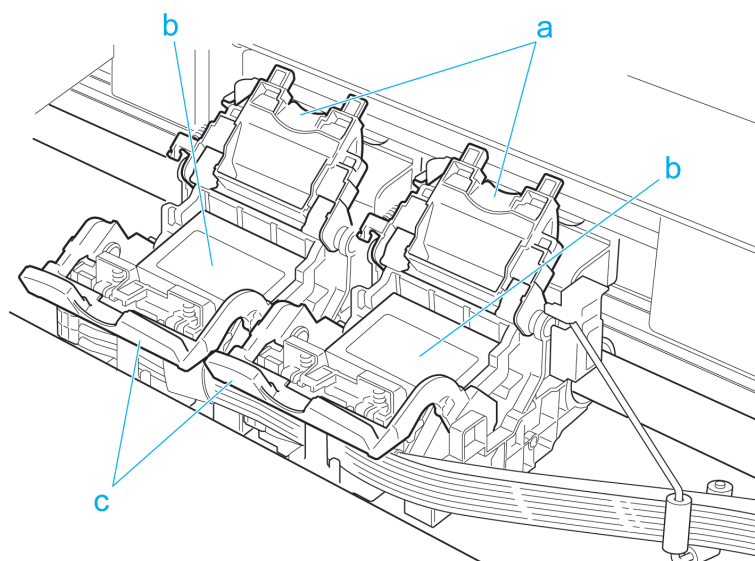
ロール紙をこのホルダーにセットします。

b. ホルダーストッパ

ロールホルダーにロール紙をこの部品で固定します。

c. ロールホルダースロット

ロールホルダーをこのガイド溝にセットします。

キャリッジ

a. プリントヘッド固定カバー

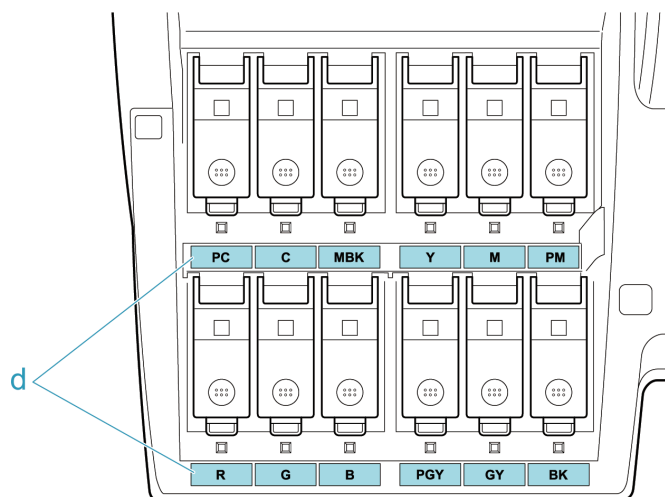
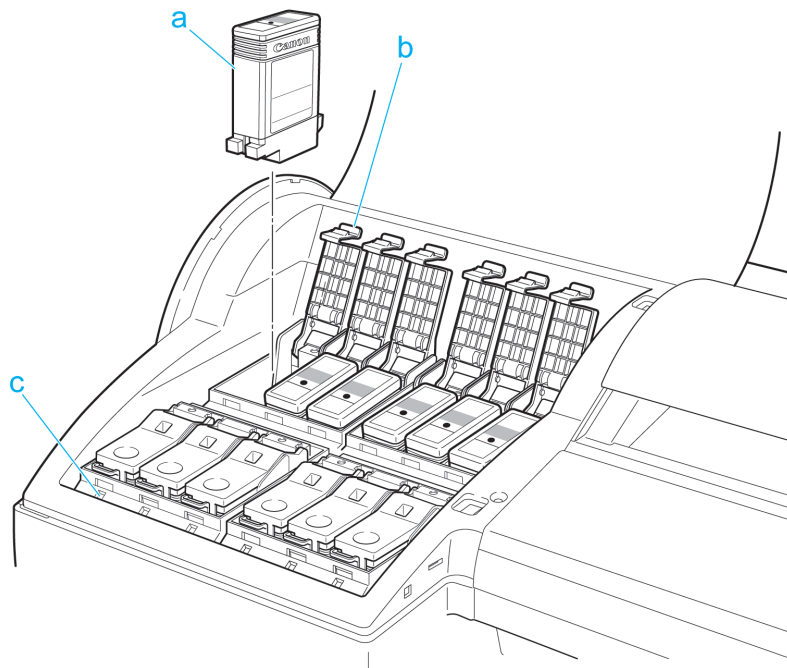
プリントヘッドを固定します。プリントヘッドを交換するとき以外は開かないでください。

b. プリントヘッド

ノズルが装着されています。印刷するための重要な部品です。

c. プリントヘッド固定レバー

プリントヘッド固定カバーをロックします。プリントヘッドを交換するとき以外は開かないでください。

インクタンクカバー内部

a. インクタンク

各色のインクのカートリッジです。

b. インクタンク固定レバー

インクタンクを保護し、ロックします。インクタンクを交換するときに、このレバーを開閉します。

c. インクランプ（赤）

インクタンクカバーを開いたときに、以下のようにインクタンクの状態を示します。

- 点灯

  インクタンクが正常にセットされています。

- 消灯

  インクタンクがセットされていない、またはインク残量検知機能がオフになっています。
- 遅い点滅

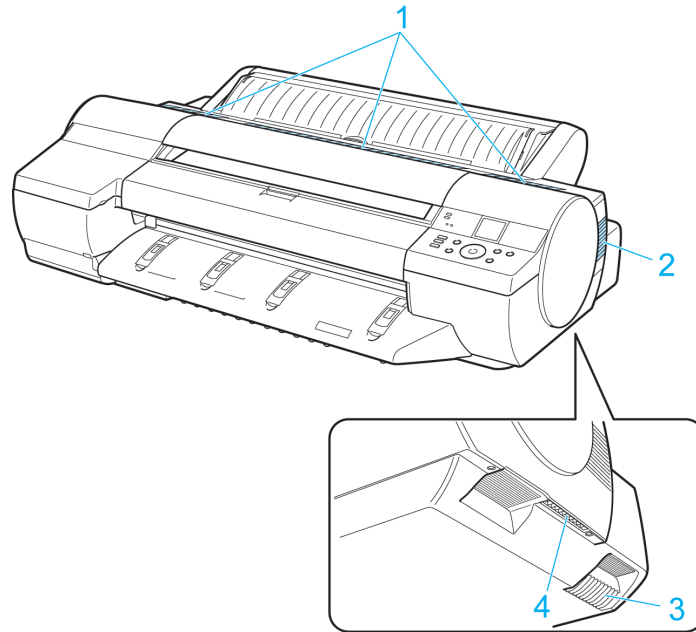
  インクの残量が少なくなっています。
- 速い点滅

  インクがありません。

d. インク色ラベル

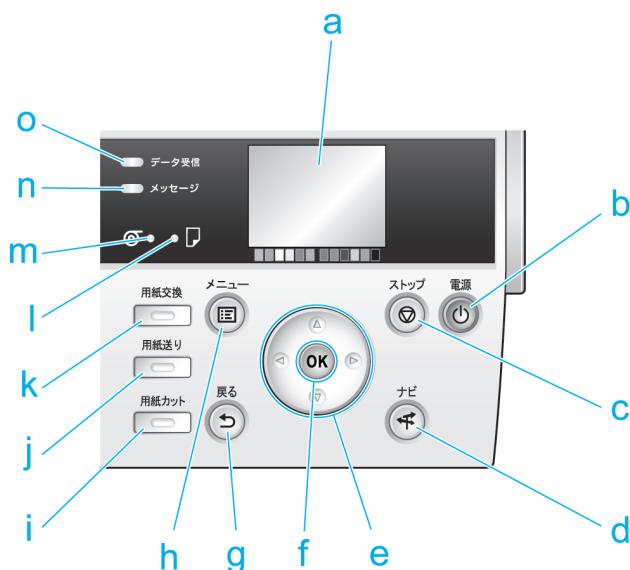
ラベルの色と名称に合わせてインクタンクをセットします。

通気口

図のように、プリンタの上面(1)、右側面(2)、右下面(3 と 4)に 4 箇所の通気口があります。

注意

- プリンタの使用中は、通気口をふさがないでください。
- 通気口の近くに、紙などの軽いものを置かないでください。

操作パネル

操作パネル

a. ディスプレイ

プリンタのメニュー、状態、またはメッセージが表示されます。

b. ［電源］キー（緑）

プリンタの電源をオン/オフにします。（「電源をオン/オフにする」参照） →P.760
電源がオンまたはスリープ状態のとき、[電源]キーが点灯します。

c. ［ストップ］キー

処理中のジョブや実行中のインク乾燥を中止します。

d. ［ナビ］キー

用紙のセット/取り外し方法、インクタンクの交換方法、プリントヘッドの交換方法などの手順を確認できます。（「ナビの見かた」参照） →P.765

e. 方向キー

- ［◀］キー

  [タブ選択画面]でこのキーを押すと、タブを移動します。
  数値を入力するメニューのときに、数値の桁を移動します。

- [▲] キー

メニュー内でこのキーを押すと、次の項目または設定値が表示されます。

- [▶] キー

[タブ選択画面]でこのキーを押すと、タブを移動します。
数値を入力するメニューのときに、数値の桁を移動します。

- [▼] キー

メニュー内でこのキーを押すと、次の項目または設定値が表示されます。

f. [OK] キー

[タブ選択画面]でこのキーを押すと、表示されているタブのメニューが表示されます。
各タブのメニューで、メニューの左側に ⊞ がある項目でこのキーを押すと、メニュー項目の下階層に移動し、メニュー項目の実行や値の設定を行うことができます。
ディスプレイに[OK]キーを押すメッセージが表示された場合も、このキーを押します。

g. [戻る] キー

現在表示している画面の 1 つ前の画面が表示されます。

h. [メニュー] キー

[タブ選択画面]が表示されます。(「メニューの設定値」参照) →P.777

i. [用紙カット] キー

操作パネルのメニューで[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]が[自動ｶｯﾄ]または[ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]に設定されていて、ロール紙がセットされているときにこのキーを押すと、用紙をカットします。(「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.684

j. [用紙送り] キー

ロール紙がセットされているときにこのキーを押すと、用紙の位置を変更できます。(「ロール紙を手動で送る」参照) →P.681

k. [用紙交換] キー

用紙をセット/交換するときに、このキーを押します。
(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672
(「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694

l. [カット紙ランプ] (緑)

給紙元に手差しトレイまたは手差し前面給紙口が選択されているときに点灯します。

m. [ロール紙ランプ] (緑)

給紙元にロール紙が選択されているときに点灯します。

n. [メッセージランプ] (オレンジ)

- 点灯

警告メッセージの表示中を示します。

- 点滅

エラーメッセージの表示中を示します。

- 消灯

正常または電源がオフの状態を示します。

o. [データ受信ランプ] (緑)

- 点滅

印刷しているときは、印刷ジョブの受信中または処理中を示します。印刷していないときは、印刷ジョブの一時停止中またはファームウェアのデータの受信中を示します。

- 消灯

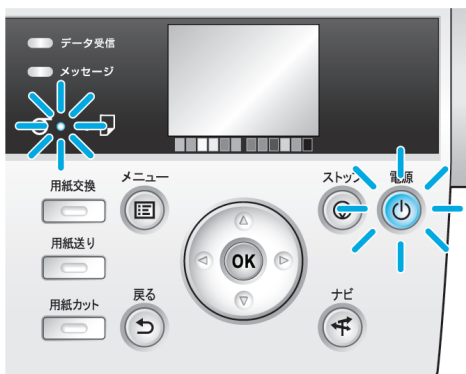
印刷ジョブがない状態を示します。

メモ
- スリープ中は、[電源]キー以外のいずれかのキーを押すと、スリープ状態から復帰します。

電源をオン/オフにする

電源をオンにする

1. [電源]キーを押して、プリンタの電源をオンにします。
   プリンタが起動します。
   ディスプレイにキヤノンのロゴが表示され、続いて[起動中です。しばらくお待ちください。]と表示されます。

2. 起動が完了すると、[電源ランプ]が点灯し、[スタンバイ]になります。

以下の場合は、[スタンバイ]になりません。必要な処置を行ってください。

- 上カバーが開いている場合
  上カバーを閉じてください。
- インクタンクカバーが開いている場合
  インクタンクカバーを閉じてください。
- プリントヘッドがセットされていない場合
  「プリントヘッドを交換する」を参照してください。→P.848
- インクタンクがセットされていない場合
  「インクタンクを交換する」を参照してください。→P.837
- ディスプレイに [ｴﾗｰ] が表示された場合
  (「エラーメッセージ一覧 →P.910 」参照)

- ［電源ランプ］や［メッセージランプ］が一度も点灯しなかったり、ディスプレイに何も表示されない場合

電源コードやコンセントの接続を確認してください。

重要

- プリンタと Macintosh を USB ケーブルで接続している場合、プリンタの電源をオンにすると、シャットダウンしていた Macintosh も同時に起動することがあります。同時に起動させたくない場合は、USB ケーブルを取り外してからプリンタの電源をオンにしてください。なお、USB ハブを使用してプリンタと Macintosh を接続すると、この問題が解決される場合があります。

電源をオフにする

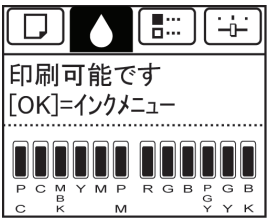
重要

- プリンタの動作中は、絶対に電源供給を切ったり、電源コードを抜かないでください。プリンタの故障や破損の原因になります。

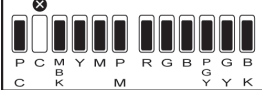
1. プリンタが動作中でないことを確認します。

[メッセージランプ]が点滅している場合は、ディスプレイのメッセージを確認して必要な処置を行ってください。(「エラーメッセージ一覧 →P.910 」参照)

[データ受信ランプ]が点滅している場合は、印刷ジョブを受信中です。印刷が終了してから電源をオフにしてください。

2. [電源]キーを 1 秒以上押し続けます。

ディスプレイに[終了します。しばらくお待ちください。]と表示され、電源がオフになります。

操作パネルのディスプレイ

プリンタが起動すると、ディスプレイには[タブ選択画面]が表示されます。
タブは 4 種類あり、それぞれのタブに関連する状態、メニュー、エラーの情報が表示されます。

タブの種類

[タブ選択画面]には 4 つのタブがあります。タブはディスプレイの上段にアイコンとして表示されます。[◀]キーまたは[▶]キーでタブを移動します。

用紙タブ	用紙に関連する状態やメニューをまとめたタブです。このタブを反転表示中に[OK]キーを押すと、[用紙ﾒﾆｭｰ]が表示されます。
	• ディスプレイ上段 用紙のアイコンが反転表示されます。 • ディスプレイ中段 プリンタの状態とメニュー名が表示されます。 • ディスプレイ下段 1 段目に用紙の種類、2 段目に用紙のサイズが表示されます。

インクタブ	インクに関連する状態やメニューをまとめたタブです。このタブを反転表示中に[OK]キーを押すと、[ｲﾝｸﾒﾆｭｰ]が表示されます。
	• ディスプレイ上段 インクのアイコンが反転表示されます。 • ディスプレイ中段 プリンタの状態とメニュー名が表示されます。 • ディスプレイ下段 現在セットされているインクの残量が表示されます。(「インクタンクの残量を確認する」参照) →P.844

ジョブタブ	印刷ジョブに関連する状態やメニューをまとめたタブです。このタブを反転表示中に[OK]キーを押すと、[ｼﾞｮﾌﾞﾒﾆｭｰ]が表示されます。
	• ディスプレイ上段 ジョブのアイコンが反転表示されます。 • ディスプレイ中段 プリンタの状態とメニュー名が表示されます。

設定/調整タブ	設定/調整に関連する状態やメニューをまとめたタブです。このタブを反転表示中に[OK]キーを押すと、[設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。
	• ディスプレイ上段 設定/調整のアイコンが反転表示されます。 • ディスプレイ中段 プリンタの状態とメニュー名が表示されます。 • ディスプレイ下段 1 段目にメンテナンスカートリッジの残り容量、2 段目に[総印刷面積]が表示されます。[総印刷面積]の表示単位は[長さの単位]メニューで設定できます。(「メニューの設定値」参照) →P.777

状態の種類

プリンタの状態には、以下の 5 種類があります。

[スタンバイ]	プリンタがコンピュータからの印刷ジョブを受信できる状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信すると、すぐに印刷を開始します。
 印刷可能です [OK]=用紙メニュー ◎普通紙 ISO A2 ロール	

[印刷一時停止]	プリンタが印刷を一時停止している状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信しても、印刷せずに待機します。
 印刷停止中です [OK]=ジョブメニュー 保留されたジョブがあります。 (用紙が一致しません)	

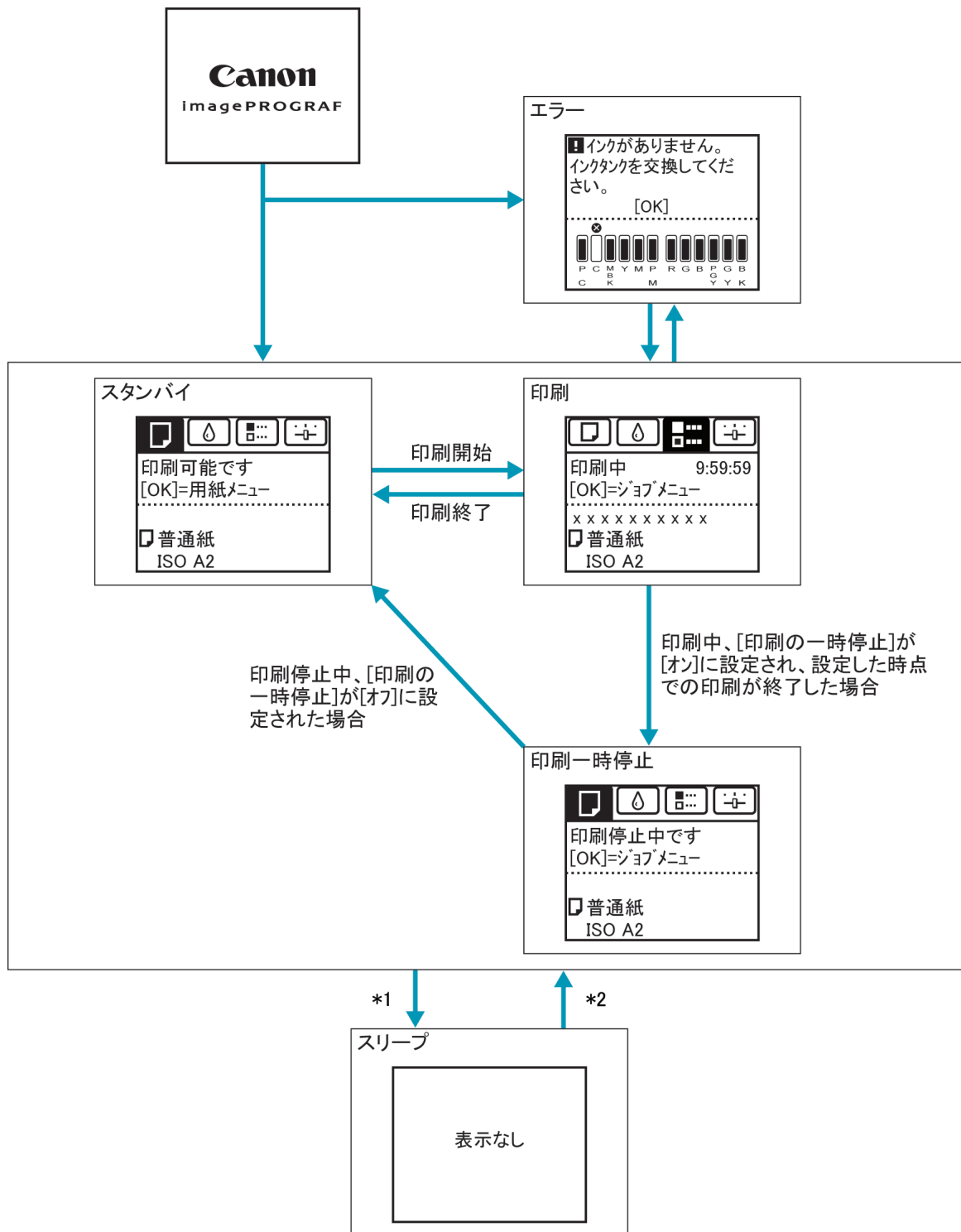
[印刷]	プリンタが印刷ジョブを印刷している状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信すると、現在印刷中の印刷ジョブを印刷後、印刷を開始します。画面の右上には、印刷の残り時間(10 時間未満)が表示されます。
 印刷中 9:59:59 [OK]=ジョブメニュー xxxxxxxxxx 普通紙 ISO A2	

[スリープ]	プリンタが節電している状態です。プリンタのカバーがすべて閉じた状態で、印刷ジョブの受信やプリンタの操作を一定時間(工場出荷時の状態では 5 分)以上行わないと、自動的にスリープ状態になり、消費電力を節約します。 [スリープ]への移行時間は、プリンタの[スリープ タイマー]メニューで設定できます。(「メニューの設定値」参照) →P.777 [スタンバイ]から[スリープ]に移行した場合は、印刷ジョブを受信すると自動的に復帰し、印刷を行います。
表示なし	

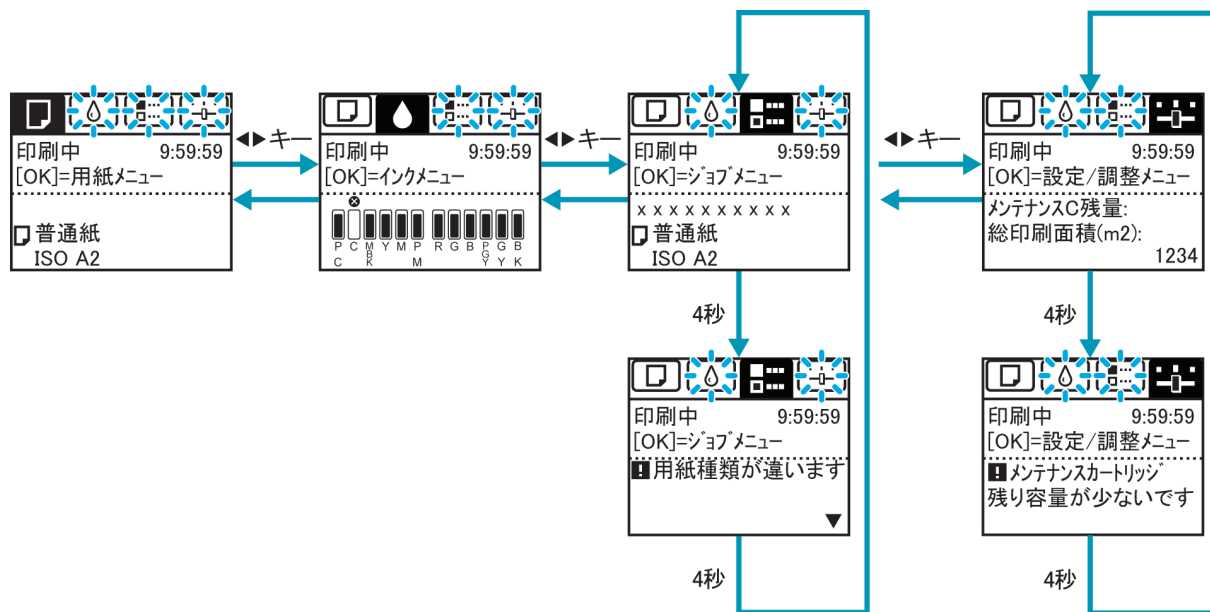
[エラー]	プリンタが処置を必要としている状態です。コンピュータから印刷ジョブを受信しても、処理できない状態です。発生しているエラーに関連するタブが表示されます。 複数のエラーが発生している場合のディスプレイ表示は、「エラー表示」を参照してください。 →P.765
インクがありません。 インクタンクを交換してください。 [OK] 	

状態の遷移

- 状態表示

プリンタの状態表示を以下に示します。

*1: プリンタのカバーがすべて閉じた状態で、印刷ジョブの受信やプリンタの操作を一定時間(工場出荷時の状態では 5 分)以上行わないと、自動的に[スリープ]になります。ただし、エラーメッセージが表示されている場合、および[用紙送り]キーを押して、ロール紙を手動で送ることができる状態では、[スリープ]にはなりません。
*2:[スリープ]中は、[電源]キー以外のいずれかのキーを押すと、[スリープ]から復帰します。また、印刷ジョブの受信時やリモート UI による操作時も、[スリープ]から復帰します。

- エラー表示
  エラー表示の遷移を以下に示します。

複数のエラーが発生している場合、現在表示しているタブ以外のエラーが発生しているタブが点滅します。[◀]キーまたは[▶]キーでタブを移動してエラーを確認できます。ジョブタブ、設定/調整タブで複数のエラーが発生している場合は、エラーメッセージが各タブ内で 4 秒毎に切り替わります。

ナビの見かた

用紙をセットする手順やインクタンクの交換手順などを、操作パネルのディスプレイで確認できます。

1. [ナビ]キーを押します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して、ナビのメニューを選択します。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して、[操作ガイドを見る]を選択し、[OK]キーを押します。
   ナビが開始されます。

・例：カット紙のセット

用紙がありません
[OK]=用紙メニュー
用紙をセットしてください。
[ナビ]キー
ナビ 1/2
ロール紙のセット
手差し用紙のセット
用紙の取り外し
ロール紙の送り方法
[OK]キー
手差し用紙のセット
操作ガイドを見る
実行する
戻る
[OK]キー
操作ガイドを見る
手差し（上面）セット
手差し（前面）セット
戻る
[OK]キー
[メニュー]を押して、メニュー画面を表示します。
[◀停止]
1/11
[◀]を押して、用紙メニューを表示させて、[OK]を押します。
[◀停止]
2/11
[用紙のセット]を選んで[OK]を押します。
[◀停止]
3/11
[▼]を押して、[手差し]を選んで[OK]を押します。
[◀停止]
4/11
セットする用紙の種類を選んで[OK]を押します。
[◀停止]
5/11
手差しカバーを開いてください。
[◀停止]
6/11
用紙サポートを開いてください。
[◀停止]
7/11
用紙の印刷面を手前にして、右側のガイドに合わせてください。
[◀停止]
8/11
用紙を給紙口にまっすぐ差し込んでください。
9/11
幅ガイドを用紙幅に合わせてください。
[◀停止]
10/11
[OK]を押すと用紙セットを開始します。
[◀停止]
11/11

プリンタのメニューでできること

プリンタのメニューには、印刷していないときに操作できるメニューと印刷中のみ操作できるメニューがあります。

- 印刷していないときのメニュー操作 →P.767
- 印刷中のメニュー操作 →P.767

印刷していないときのメニュー操作

[タブ選択画面]でタブを選択し、[OK]キーを押すと各タブに関連するメニューが表示されます。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

メニューでは、以下の操作を行えます。

- [用紙ﾒﾆｭｰ]
  用紙メニューの設定
- [ｲﾝｸﾒﾆｭｰ]
  インクメニューの操作
- [ｼﾞｮﾌﾞﾒﾆｭｰ]
  ジョブメニューの操作
- [設定/調整ﾒﾆｭｰ]
  プリンタの調整、メンテナンスに関するメニューの操作

メニューで実行できる具体的な項目については、「メニューの設定値」を参照してください。→P.777
メニューの設定方法については、「メニューを操作する」を参照してください。→P.768

メモ

- メニューで設定した値は、プリンタの初期値としてすべての印刷ジョブに適用されます。ただし、プリンタドライバに同じ設定項目がある場合は、プリンタドライバの設定値が優先されます。

印刷中のメニュー操作

印刷中に、操作パネルの[タブ選択画面]でタブを選択し、[OK]キーを押すとメニューが表示されます。その他のメニューは印刷が終了してから操作してください。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

印刷中のメニューでは、以下の操作を行えます。

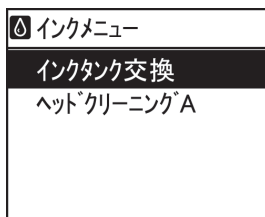
- [ｲﾝｸﾒﾆｭｰ]
  インクメニューの操作
- [ｼﾞｮﾌﾞﾒﾆｭｰ]
  ジョブメニューの操作
- [設定/調整ﾒﾆｭｰ]
  紙送りの微調整
  プリンタに関する情報の表示

印刷中のメニューで実行できる具体的な項目については、「印刷中のメニューの設定値」を参照してください。→P.786
印刷中のメニューの設定方法については、「メニューを操作する」を参照してください。→P.768

メニューを操作する

[タブ選択画面]でタブを選択し、[OK]キーを押すと、各タブに関連するメニューを表示できます。詳細については「メニューの設定値」を参照してください。→P.777

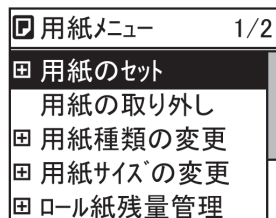
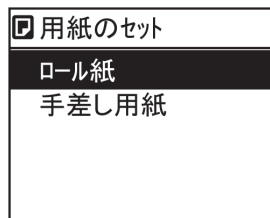
- メニュー(インクタブを選択し、[OK]キーを押した場合)

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

操作パネルのキーを押すだけで、[タブ選択画面]から各タブのメニューに移動したり、[メニュー]の項目を設定または実行できます。
ここでは、メニューの操作方法について説明します。

- 各メニューに移動する →P.768
- メニューの項目を設定する →P.769
- メニューの項目で数値を設定する →P.770
- メニューの項目を実行する →P.770

各メニューに移動する

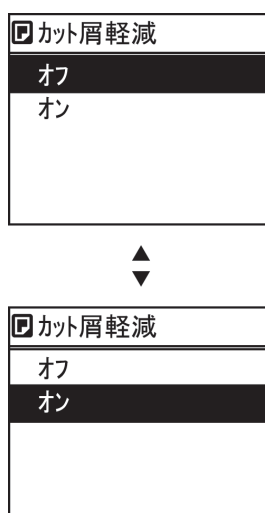
プリンタのメニューは、機能ごとに分類され、階層構造になっています。
メニューの 1 段目が選択されている状態で表示されます。操作パネルのキーを押すと、各メニューに移動できます。

- 同じ画面の上部のメニューに移動する場合は[戻る]キー、下部のメニューに移動する場合は[OK]キーを押します。画面に表示しきれないメニューが上部にある場合は[▲]キー、画面に表示しきれないメニューが下部にある場合は[▼]キーを押し続けます。選択されているメニューは、反転表示されます。

画面の右側にあるスライドバーは、選択されているメニューがメニュー全体に対してどの位置にあるかを示します。

- 下の階層にメニューがある場合は、2 段目以降のメニューの左側に ⊞ が表示されます。下の階層のメニューに移動する場合は、メニューを選択し、[OK]キーを押します。

メニューの項目を設定する

以下の手順で、メニューの項目を設定できます。

1. [▲]キー、[▼]キーを押して設定する項目を選択し、[OK]キーを押します。

2 秒後に、1 つ上の階層のメニューに戻ります。

メモ

- 設定の登録を確認するメッセージが表示された場合は、[OK]キーを押します。設定が登録されて、[スタンバイ]になります。

メニューの項目で数値を設定する

ネットワークなどの設定項目で数値を入力するときに、以下の手順で、数値を設定できます。

1. [◀]キー、[▶]キーを押して、入力フィールドを移動します。

IPv4設定
000.000.000.000
◀▶ : 桁の変更
▼▲ : 数値の変更
[OK]=選択

2. [▲]キー、[▼]キーを押して数値を入力します。

メモ
- [▲]キーや[▼]キーを押し続けると、数値を連続して増減できます。

3. 手順 1〜2 を繰り返して、設定が完了したら[OK]キーを押します。

メモ
- 設定の登録を確認するメッセージが表示された場合は、[OK]キーを押します。設定が登録されて、[スタンバイ]になります。

メニューの項目を実行する

以下の手順で、メニューの項目を実行できます。

1. [▲]キー、[▼]キーを押して実行する項目を選択し、[OK]キーを押します。
メニュー項目が実行されます。

メニューの階層

メニューの階層を、各タブ毎に以下に分類して示します。項目の右側の*は、初期値を示します。

- 用紙ﾒﾆｭｰ →P.770
- ｲﾝｸﾒﾆｭｰ →P.772
- ｼﾞｮﾌﾞﾒﾆｭｰ →P.772
- 設定/調整ﾒﾆｭｰ →P.772

設定方法については、「メニューを操作する」を参照してください。 →P.768
各項目の詳細については、「メニューの設定値」を参照してください。→P.777

[用紙ﾒﾆｭｰ]

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
[用紙のｾｯﾄ]	[ﾛｰﾙ紙] [手差し用紙]		
[用紙の取り外し]			
[用紙種類の変更](*1 →P.772)	[ﾛｰﾙ紙]	(用紙の種類が表示される)(*1 →P.772)	
	[手差し用紙]	(用紙の種類が表示される)(*1 →P.772)	
[用紙ｻｲｽﾞの変更]	[手差し用紙ｻｲｽﾞ]	(用紙のサイズが表示される)(*2 →P.772)	
	[ﾛｰﾙ紙の長さ](*3 →P.772)		

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
[ﾛｰﾙ紙残量管理]	[ｵﾌ]* [ｵﾝ]		
[用紙詳細設定]	(用紙の種類が表示される)(*1 →P.772)	[ﾍｯﾄﾞ高さ]	[自動]* [高い] [やや高い] [標準] [やや低い] [低い] [最も低い]
		[斜行検知精度]	[高精度] [標準]* [ゆるめ] [ｵﾌ]
		[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]	[自動ｶｯﾄ]* [ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ] [ﾕｰｻﾞｰｶｯﾄ]
		[ｶｯﾄｽﾋﾟｰﾄﾞ]	[速い] [標準] [遅い]
		[先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]	[自動] [ｵﾌ] [ｵﾝ]
		[ｶｯﾄ屑軽減]	[ｵﾌ] [ｵﾝ]
		[吸着力]	[自動]* [強い] [やや強い] [標準] [やや弱い] [弱い]
		[ｽｷｬﾝ間ｳｪｲﾄ]	[ｵﾌ]* [1 秒] [3 秒] [5 秒] [7 秒] [9 秒]
		[ﾛｰﾙ紙乾燥時間]	[ｵﾌ] [30 秒] [1 分] [3 分] [5 分] [10 分] [30 分] [60 分]
		[ﾛｰﾙ紙先端余白]	[3mm] [20mm]
		[ｶｯﾄ紙先端余白]	[3mm] [20mm]
		[ﾌﾁなし余白設定]	[自動] [固定]
		[手差し給紙]	[前面給紙] [上面給紙]
		[初期値に戻す]	

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
[用紙詳細ﾌﾟﾘﾝﾄ]			
[用紙種類の固定]	[ｵﾌ]* [ｵﾝ]		

*1: プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663 User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。(「Media Configuration Tool →P.407 」、「Media Configuration Tool →P.622 」参照)

*2: プリンタに対する用紙サイズについては、「用紙のサイズ」を参照してください。 →P.666

*3: [ﾛｰﾙ紙残量管理]で[ｵﾝ]が設定されている場合のみ設定可能です。

[ｲﾝｸﾒﾆｭｰ]

第 1 階層
[ｲﾝｸﾀﾝｸ交換]
[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞA]

[ｼﾞｮﾌﾞﾒﾆｭｰ]

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層
[ｼﾞｮﾌﾞ履歴]	(最近の印刷ジョブの履歴 3 件から選択できる)	[ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ名] [ﾕｰｻﾞｰ] [ﾍﾟｰｼﾞ数]		
		[ｼﾞｮﾌﾞｽﾃｰﾀｽ]	[OK] [ｷｬﾝｾﾙ]	
		[ﾌﾟﾘﾝﾄ開始時刻]	[yyyy/mm/dd hh:mm:ss]	
		[ﾌﾟﾘﾝﾄ終了時刻]	[yyyy/mm/dd hh:mm:ss]	
		[ﾌﾟﾘﾝﾄ時間]	[xxx 秒]	
		[出力用紙ｻｲｽﾞ]	[xxxxxxxxsq.mm]	
		[用紙種類]		
		[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ]	[USB] [ﾈｯﾄﾜｰｸ]	
		[ｲﾝｸ使用量]	(インクタンク総使用量、インクの色が表示される)	[xxx.xxx ml]
		[印刷設定] [ﾍｯﾄﾞ高さ] [温湿度] [調整条件]		
[ｼﾞｮﾌﾞ履歴ﾌﾟﾘﾝﾄ]				
[印刷の一時停止]	[ｵﾌ]* [ｵﾝ]			

[設定/調整ﾒﾆｭｰ]

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層
[ﾃｽﾄﾌﾟﾘﾝﾄ]	[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸﾌﾟﾘﾝﾄ] [ｽﾃｰﾀｽﾌﾟﾘﾝﾄ] [ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定ﾌﾟﾘﾝﾄ]					

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層
[ﾃｽﾄﾌﾟﾘﾝﾄ]	[用紙詳細ﾌﾟﾘﾝﾄ] [ｼﾞｮﾌﾞ履歴ﾌﾟﾘﾝﾄ] [ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ]					
[印字調整]	[ﾍｯﾄﾞ位置調整]	[自動(標準)] [自動(詳細)] [自動(拡張)](*1 →P.776) [手動](*1 →P.776)				
	[紙送り調整]	[優先設定](*2 →P.776)	[自動]* [画質優先] [長さ優先]			
		[画質調整](*2 →P.776)(*3 →P.776)	[自動(純正紙)] [自動(その他)] [手動]			
		[長さ調整](*2 →P.776)(*4 →P.776)	[調整ﾌﾟﾘﾝﾄ]	[A:きれい] [B:標準/速い]		
			[調整値の変更]	[A:きれい] [B:標準/速い]		
	[後端送り補正]					
	[ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ]	[自動調整]				
		[実行履歴]	[日付] [用紙種類]			
		[調整値有効設定]	[無効] [有効]*			
		[初期値に戻す]				
[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]	[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]	[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞA] [ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞB]				
	[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸﾌﾟﾘﾝﾄ]					
	[ﾍｯﾄﾞ交換]	[ﾍｯﾄﾞL] [ﾍｯﾄﾞR]				
	[ﾒﾝﾃﾅﾝｽC交換]					
	[ﾌﾟﾗﾃﾝｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]					
[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]	[EOPﾀｲﾏｰ](*5 →P.776)	[10秒] [30秒] [1分] [2分] [5分] [10分]* [30分] [60分]				
	[TCP/IP](*5 →P.776)	[IPv4]	[IPv4ﾓｰﾄﾞ]	[自動] [手動]*		
			[ﾌﾟﾛﾄｺﾙ](*6 →P.776)	[DHCP]	[ｵﾝ] [ｵﾌ]*	
				[BOOTP]	[ｵﾝ] [ｵﾌ]*	
				[RARP]	[ｵﾝ] [ｵﾌ]*	

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層
[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]	[TCP/IP] (*5 →P.776)	[IPv4]	[IPv4 設定] (*7 →P.776)	[IP ｱﾄﾞﾚｽ]	xxx.xxx.xxx.xxx	
				[ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ]	xxx.xxx.xxx.xxx	
				[ﾃﾞﾌｫﾙﾄ G/W]	xxx.xxx.xxx.xxx	
			[DNS 設定] (*7 →P.776)	[DNS 動的更新]	[ｵﾝ] [ｵﾌ]*	
				[ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ] [ｾｶﾝﾀﾞﾘDNSｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ] [DNSﾎｽﾄ名] [DNSﾄﾞﾒｲﾝ名]		
		[IPv6]	[IPv6 の使用]	[使う] [使わない]*		
			[IPv6ｽﾃｰﾄﾚｽｱﾄﾞﾚｽ] (*8 →P.776)	[使う]* [使わない]		
			[DHCPv6] (*8 →P.776)	[使う] [使わない]*		
			[DNS 設定] (*7 →P.776)、(*8 →P.776)	[DNS 動的更新]	[ｽﾃｰﾄﾌﾙｱﾄﾞﾚｽ]	[ｵﾝ] [ｵﾌ]*
					[ｽﾃｰﾄﾚｽｱﾄﾞﾚｽ]	[ｵﾝ] [ｵﾌ]*
				[ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ] [ｾｶﾝﾀﾞﾘDNSｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ] [DNSﾎｽﾄ名] [DNSﾄﾞﾒｲﾝ名]		
	[NetWare] (*5 →P.776)	[NetWare]	[使う] [使わない]*			
		[ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ] (*9 →P.777)	[自動検出] [Ethernet 2] [Ethernet 802.2]* [Ethernet 802.3] [Ethernet SNAP]			
		[ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾋﾞｽ] (*9 →P.777)	[BinderyPServer] [RPrinter] [NDSPServer]* [NPrinter]			
	[AppleTalk] (*5 →P.776)	[使う] [使わない]*				
	[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ] (*5 →P.776)	[自動検出]	[ｵﾝ]* [ｵﾌ]			
		[通信方式] (*10 →P.777)	[半二重]* [全二重]			
		[Ethernet 種類] (*10 →P.777)	[10 Base-T]* [100 Base-TX] [1000 Base-T]			

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層
[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]	[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ](*5 →P.776)	[ｽﾊﾟﾆﾝｸﾞﾂﾘｰ]	[対応しない]* [対応する]			
		[MAC ｱﾄﾞﾚｽ]	xxxxxxxxxxxx			
	[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定ﾌﾟﾘﾝﾄ](*5 →P.776)					
	[初期値に戻す](*5 →P.776)					
[ｼｽﾃﾑ設定]	[ｽﾘｰﾌﾟﾀｲﾏｰ]	[5 分]* [10 分] [15 分] [20 分] [30 分] [40 分] [50 分] [60 分] [240 分]				
	[ﾌﾞｻﾞｰ]	[ｵﾌ] [ｵﾝ]*				
	[画面ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整]	-4,-3,-2,-1,0*,+1,+2,+3,+4				
	[日時設定](*5 →P.776)	[日付設定]	[yyyy/mm/dd](*11 →P.777)			
			[時刻設定]	[hh:mm]		
	[日付形式](*5 →P.776)	[yyyy/mm/dd]* [dd/mm/yyyy] [mm/dd/yyyy]				
	[表示言語]	[English] [日本語]* [Français] [Italiano] [Deutsch] [Español] [Русский] [**中文(簡体字)**] [한국어]				
	[ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ](*5 →P.776)	[0:ﾛﾝﾄﾞﾝ(GMT)] [+1:ﾊﾟﾘ,ﾛｰﾏ] [+2:ｱﾃﾈ,ｶｲﾛ] [+3:ﾓｽｸﾜ] [+4:ｴﾚﾊﾞﾝ,ﾊﾞｸｰ] [+5:ｲｽﾗﾏﾊﾞｰﾄﾞ] [+6:ﾀﾞｯｶ] [+7:ﾊﾞﾝｺｸ] [+8:香港] [+9:東京,ｿｳﾙ] [+10:ｷｬﾝﾍﾞﾗ] [+11:ﾆｭｰｶﾚﾄﾞﾆｱ] [+12:ｳｪﾘﾝﾄﾝ] [-12:ｴﾆｳｪﾄｸ] [-11:ﾐｯﾄﾞｳｪｰ島] [-10:ﾊﾜｲ(AHST)] [-9:ｱﾗｽｶ(AKST)] [-8:ｵﾚｺﾞﾝ(PST)] [-7:ｱﾘｿﾞﾅ(MST)]				

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層	第 6 階層	第 7 階層
[ｼｽﾃﾑ設定]	[ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ] (*5 →P.776)	[-6:ﾃｷｻｽ (CST)] [-5:ﾆｭｰﾖｰｸ (EST)] [-4:ｻﾝﾃｨｱｺﾞ] [-3:ﾌﾞｴﾉｽｱｲﾚｽ] [-2:中央大西洋] [-1:ｶｰﾎﾞﾍﾞﾙﾃﾞ諸島]				
	[長さの単位]	[ﾒｰﾄﾙ]* [ﾌｨｰﾄ/ｲﾝﾁ]				
	[用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知]	[一時停止する] [警告表示する] [検知しない]*				
	[用紙ｻｲｽﾞ優先]	[ﾛｰﾙ紙優先設定 1]	[ISO A3 (297mm)]* [300mm ﾛｰﾙ]			
		[ﾛｰﾙ紙優先設定 2]	[10inch (254mm)]* [JIS B4 (257mm)]			
	[外形ｻｲｽﾞ優先]	[ｵﾌ]* [ｵﾝ]				
	[ﾛｰﾙ退避時ﾌﾟﾚｶｯﾄ]	[自動] [ｵﾌ]* [ｵﾝ]				
	[ﾍｯﾄﾞ交換後ﾌﾟﾘﾝﾄ]	[ｵﾌ] [ｵﾝ]*				
	[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ設定]	[間隔]	[標準]* [1ﾍﾟｰｼﾞ]			
		[警告]	[ｵﾌ]* [ｵﾝ]			
	[RemoteUIの使用] (*5 →P.776)	[使う]* [使わない]				
	[用紙設定初期化] (*5 →P.776)					
	[ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示] (*5 →P.776)	[ｵﾌ] [ｵﾝ]*				
[移動の準備]						
[管理者ﾒﾆｭｰ] (*5 →P.776)	[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更] (*7 →P.776) [ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの初期化] (*7 →P.776)					
[ﾌﾟﾘﾝﾀの情報]	[用紙の情報] [ｲﾝｸの情報]					
	[ｼｽﾃﾑ情報] [ｴﾗｰ履歴] [その他のｶｳﾝﾀ]					

*1: 一度[ﾍｯﾄﾞ位置調整]の[自動(詳細)]を行った後に設定可能です。
*2: 用紙がプリンタにセットされている場合に表示されます。
*3: [優先設定]で[自動]または[画質優先]が設定されている場合に設定可能です。
*4: [優先設定]で[自動]または[長さ優先]が設定されている場合に設定可能です。
*5: 管理者は表示/設定可能、管理者以外のユーザーは表示のみ可能です。
*6: [IPv4ﾓｰﾄﾞ]で[手動]が設定されている場合は表示しません。
*7: 管理者のみ表示/設定可能です。
*8: [IPv6 の使用]で[使わない]が設定されている場合は表示しません。

*9: [NetWare]で[使わない]が設定されている場合は表示しません。
*10: [自動検出]で[ｵﾝ]が設定されている場合は表示しません。
*11: [日付形式]の設定に従います。

メニューの設定値

メニューの各項目について、以下に示します。
設定方法については、「メニューを操作する」を参照してください。 →P.768
メニューの階層と設定値については、「メニューの階層」を参照してください。 →P.770

[用紙ﾒﾆｭｰ]

設定項目			機能説明/設定方法
[用紙のｾｯﾄ]			手差し用紙、ロール紙のいずれかを選択しセットします。
[用紙の取り外し]			現在セットされている用紙を取り外します。
[用紙種類の変更](*1 →P.778)			セットされている用紙種類を変更します。(「用紙の種類を変更する」参照) →P.675
[用紙ｻｲｽﾞの変更]			セットされている用紙サイズを変更します。(「用紙の長さを設定する」参照) →P.677 (「用紙のサイズ」参照) →P.666
[ﾛｰﾙ紙残量管理]			[ｵﾝ]を選択すると、ロール紙を取り外すときにバーコードを印刷します。印刷されたバーコードによってロール紙の残量を管理できます。[ｵﾌ]を選択すると、バーコードは印刷されません。 (「ロール紙の残量を管理する」参照) →P.681
[用紙詳細設定]	(用紙の種類が表示されます)(*1 →P.778)	[ﾍｯﾄﾞ高さ]	プリントヘッドの高さを調整します。(「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714
		[斜行検知精度]	幅が一定ではない用紙の場合に、[ゆるめ]を選択して用紙の斜行検知機能の精度を緩めたり、[ｵﾌ]を選択して斜行検知機能を無効にします。ただし、[ｵﾌ]を選択したときに用紙が斜めにセットされると、紙づまりが起こり、プラテン上が汚れる場合があります。
		[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]	標準装備の丸刃カッターでカットするかどうかを選択します。 [自動ｶｯﾄ]を選択すると、プリンタドライバの設定によって、カッターユニットでロール紙を自動的にカットします。[ﾕｰｻﾞｰｶｯﾄ]を選択すると、印刷後にカットしないでカット位置に線を印刷します。 [ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]はインクの乾燥を待つときなど、印刷直後に印刷物を落下させたくない場合に選択します。
		[ｶｯﾄｽﾋﾟｰﾄﾞ]	用紙をカットする速度を選択します。初期状態では用紙の種類により最適なカットスピードが適用されています。この設定のまま使用することをお勧めします。 糊付きの用紙の場合は、[遅い]を選択すると、カッターに糊が付きにくくなり、カッターの切断性能が劣化しづらくなります。
		[先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]	ロール紙をセットしたときに、先端をカットします。

設定項目			機能説明/設定方法
[用紙詳細設定]	(用紙の種類が表示されます)(*1 →P.778)	[ｶｯﾄ屑軽減]	[ｵﾝ]を選択すると、用紙をカットする際に、カット位置に線を印刷します。これにより、カット屑の散乱が軽減されます。また、糊付きの用紙の場合は、カッターに糊が付きにくくなり、カッターの切断性能が劣化しづらくなります。(「ロール紙のカット屑を軽減する」参照) →P.689
		[吸着力]	プラテン上での用紙の吸着力を選択します。(「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.724
		[ｽｷｬﾝ間ｳｪｲﾄ]	用紙のインクの乾燥特性に合わせて、片方向への印刷(スキャン)ごとにインクの乾燥待ち時間を設定します。待ち時間を設定すると、印刷に時間がかかるようになります。
		[ﾛｰﾙ紙乾燥時間]	1 枚印刷するごとのインクの乾燥待ち時間を選択します。
		[ﾛｰﾙ紙先端余白]	用紙の先端側の印刷品質を確保したい場合に、ロール紙先端側の余白の最小値を設定します。 [3mm]を選択した場合、用紙の先端の印刷品質または用紙送りの精度が低下したり、印刷面がこすれたり、用紙の先端にインクが付着することがあります。また、プラテンが汚れる場合があります。
		[ｶｯﾄ紙先端余白]	用紙先端側の印刷品質を確保したい場合に、カット紙先端側の余白を設定します。 [3mm]を選択した場合、用紙の先端の印刷品質または用紙送りの精度が低下したり、印刷面がこすれたり、用紙の先端にインクが付着することがあります。
		[ﾌﾁなし余白設定]	フチなし印刷したときに、外側の余白量を調整します。 [自動]を選択すると、用紙の幅を自動で検知し、フチなしの余白設定を行います。[自動]を選択している状態で余白ができてしまう場合は、[固定]を選択します。用紙の幅は自動検知されず、プリンタ規定値の余白設定でフチなし印刷を行い、余白ができなくなります。
		[手差し給紙]	手差しで印刷する場合の給紙口を選択します。通常は、[上面給紙]を選択します。[POP ボード]などの厚紙の場合は、[前面給紙]を選択します。
		[初期値に戻す]	[OK]を押すと[用紙詳細設定]の設定が工場出荷時の値に戻ります。
[用紙詳細ﾌﾟﾘﾝﾄ]			[用紙詳細設定]で設定されている用紙の設定値を印刷します。
[用紙種類の固定]			同じ種類の用紙を使い続ける場合は、[ｵﾝ]を選択します。(「用紙の種類を変更する」参照) →P.675

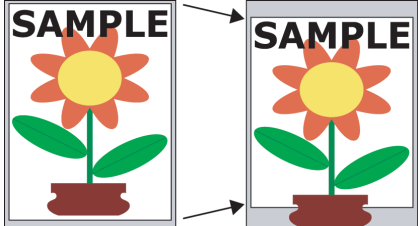
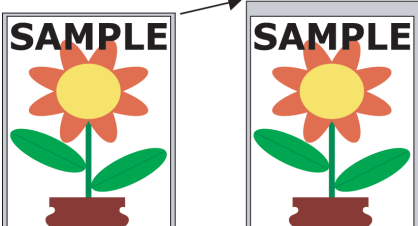
*1: プリンタに対応する用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663 User Software CD-ROM でプリンタドライバをインストールしたとき、または Media Configuration Tool で用紙の情報を更新したときに、プリンタドライバ、関連ソフトウェア、およびプリンタの操作パネルの用紙の種類が変更されます。(「Media Configuration Tool →P.407 」、「Media Configuration Tool →P.622 」参照)

[ｲﾝｸﾒﾆｭｰ]

設定項目	機能説明/設定方法
[ｲﾝｸﾀﾝｸ交換]	インクタンクを交換します。画面の指示に従って必要な処理を行います。(「インクタンクを交換する」参照) →P.837
[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞA]	プリントヘッドをクリーニングします。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.847 印刷がかすれた場合、ゴミなどが付いた場合、または色味がおかしい場合に、[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞA]を行います。

[ｼﾞｮﾌﾞﾒﾆｭｰ]

設定項目			機能説明/設定方法
[ｼﾞｮﾌﾞ履歴]	(最近の印刷ジョブの履歴3件から選択できます)	[ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ名]	選択した印刷ジョブのドキュメント名が表示されます。
		[ﾕｰｻﾞｰ]	ジョブを送信したユーザー名が表示されます。
		[ﾍﾟｰｼﾞ数]	ジョブの枚数が表示されます。
		[ｼﾞｮﾌﾞｽﾃｰﾀｽ]	ジョブの処理結果が表示されます。
		[ﾌﾟﾘﾝﾄ開始時刻]	ジョブの印刷を開始した時刻が表示されます。
		[ﾌﾟﾘﾝﾄ終了時刻]	ジョブの印刷を終了した時刻が表示されます。
		[ﾌﾟﾘﾝﾄ時間]	ジョブの印刷の所要時間が表示されます。
		[出力用紙ｻｲｽﾞ]	ジョブの用紙のサイズが表示されます。
		[用紙種類]	ジョブの用紙の種類が表示されます。
		[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ]	ジョブのインタフェースが表示されます。
		[ｲﾝｸ使用量]	ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。(*1 →P.780)
		[印刷設定]	メンテナンス用のカウンタです。ジョブの印刷設定が表示されます。
		[ﾍｯﾄﾞ高さ]	メンテナンス用のカウンタです。ジョブを印刷した時のヘッド高さが表示されます。
		[温湿度]	メンテナンス用のカウンタです。ジョブを印刷した時の温度と湿度が表示されます。
		[調整条件]	メンテナンス用のカウンタです。ジョブに反映された調整条件が表示されます。
[ｼﾞｮﾌﾞ履歴ﾌﾟﾘﾝﾄ]			印刷ジョブの用紙の種類、サイズ、インクの消費量などの情報を印刷します。インクの消費量は、ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。(*1 →P.780)
[印刷の一時停止]			[ｵﾝ]を選択すると、印刷を停止します。

*1: ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。実際の使用量とは異なる場合があります。当社インクコスト測定条件に基づく概算値の平均誤差は、±15%です。この概算値の正確性について、当社は保証するものではありません。お客様のご使用状況に応じて、この概算値は変動します。なお、この概算値の算出には、クリーニング機構による強制吐出のインク消費量等は含まれておりません。

[設定/調整ﾒﾆｭｰ]

設定項目				機能説明/設定方法
[ﾃｽﾄﾌﾟﾘﾝﾄ]	[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸﾌﾟﾘﾝﾄ]			ノズルチェックパターンを印刷します。
	[ｽﾃｰﾀｽﾌﾟﾘﾝﾄ]			プリンタの情報を印刷します。
	[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定ﾌﾟﾘﾝﾄ]			インタフェースの設定値を印刷します。
	[用紙詳細ﾌﾟﾘﾝﾄ]			[用紙詳細設定]で設定されている用紙の設定値を印刷します。
	[ｼﾞｮﾌﾞ履歴ﾌﾟﾘﾝﾄ]			印刷ジョブの用紙の種類、サイズ、インクの消費量などの情報を印刷します。インクの消費量は、ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。(*1 →P.786)
	[ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ]			メニューの一覧を印刷します。
[印字調整]	[ﾍｯﾄﾞ位置調整]	[自動(標準)]		印刷方向に対する、プリントヘッドの位置を調整するための調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に位置が調整されます。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710
		[自動(詳細)]		ノズル間、色間、印刷方向に対するプリントヘッドの位置を調整するための調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に位置が調整されます。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710
		[自動(拡張)]		ノズル間、色間、印刷方向に対するプリントヘッドの位置を調整するための調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に位置が調整されます。[自動(詳細)]よりも、高精細に調整されます。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710
		[手動]		印刷方向に対するプリントヘッドの位置を調整するための調整用パターンが印刷されます。印刷結果を基に、手動で調整値を設定します。(「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.712
	[紙送り調整]	[優先設定]	[自動]	優先させる紙送りの精度を設定します。通常は、[自動]を選択します。きれいに印刷したい場合は、[画質優先]を選択します。[画質優先]を選択すると、横スジが目立たなくなります。用紙の送り量を正確にしたい場合は、[長さ優先]を選択します。ただし、[長さ優先]を選択した場合、キャリッジのスキャン方向に若干の色ムラが発生することがあります。
			[画質優先]	
			[長さ優先]	
		[画質調整]	[自動(純正紙)]	用紙リファレンスガイドに記載されている用紙を使用する場合に設定します。 用紙の送り量を調整するための調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に用紙の送り量が調整されます。(「横スジを自動で調整する(画質調整)」参照) →P.717

設定項目					機能説明/設定方法
［印字調整］	［紙送り調整］	［画質調整］	［自動（その他）］		用紙リファレンスガイドに記載されていない用紙を使用する場合に設定します。 用紙の送り量を調整するための調整用パターンが印刷され、印刷結果から自動的に用紙の送り量が調整されます。［自動（純正紙）］よりも時間がかかり、インクを多く消費します。（「横スジを自動で調整する（画質調整）」参照） →P.717
			［手動］		透過性の高い用紙など、［自動（純正紙）］または［自動（その他）］で調整できない用紙に対して実行します。 用紙の種類に合わせて、用紙の送り量を調整するための調整用パターンを印刷します。（「横スジを手動で調整する（画質調整）」参照） →P.719
		［長さ調整］	［調整ﾌﾟﾘﾝﾄ］	［A：きれい］ ［B：標準/速い］	用紙の種類に合わせて、用紙の伸縮率の調整用パターンを印刷し、調整値を設定します。（「罫線の長さを調整する（長さ調整）」参照） →P.721
			［調整値の変更］	［A：きれい］ ［B：標準/速い］	［紙送り調整］の［優先設定］で［長さ優先］が選択されている場合に表示されます。 現在セットされている用紙の伸縮率を調整します。 ［調整ﾌﾟﾘﾝﾄ］で調整した結果を入力するか、自分で測定した値との差を%で入力します。 伸びやすい用紙など送り量を長くしたい場合は調整値を増やし、縮みやすい用紙など送り量を短くしたい場合は調整値を減らします。
	［後端送り補正］				［する］を選択すると、用紙後端の送りを補正します。
	［ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ］	［自動調整］			［する］を選択すると、カラーキャリブレーション調整用パターンが印刷されて自動的に補正値が調整されます。最新のカラーキャリブレーションの補正値が、すべての印刷に適用されます。
		［実行履歴］			カラーキャリブレーションを実行した日付と用紙の種類がディスプレイに表示され確認できます。
		［調整値有効設定］			［無効］を選択して［OK］キーを押すと、カラーキャリブレーションの補正値は印刷に適用されません。プリンタドライバの設定が優先されます。 ［有効］を選択して［OK］キーを押すと、カラーキャリブレーションの補正値が印刷に適用されます。ただし、プリンタドライバの設定が優先されます。
		［初期値に戻す］			カラーキャリブレーションの補正値と実行履歴がクリアされます。
［ﾒﾝﾃﾅﾝｽ］	［ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ］				プリントヘッドをクリーニングします。（「プリントヘッドをクリーニングする」参照） →P.847 印刷がかすれた場合、ゴミなどが付いた場合、または色味がおかしい場合に、［ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞA］を選択します。

設定項目						機能説明/設定方法
［ﾒﾝﾃﾅﾝｽ］	［ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ］					インクがまったく出ない場合や、［ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞA］で問題が解決されない場合に、［ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞB］を選択します。
	［ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸﾌﾟﾘﾝﾄ］					ノズルチェックパターンを印刷します。
	［ﾍｯﾄﾞ交換］					プリントヘッドを交換するときに［する］を選択し、画面の指示に従って必要な処理を行います。（「プリントヘッドを交換する」参照） →P.848 メンテナンスカートリッジの残量の警告メッセージ表示中は表示されません。
	［ﾒﾝﾃﾅﾝｽC交換］					メンテナンスカートリッジを交換するときに［する］を選択し、画面の指示に従って必要な処理を行います。（「メンテナンスカートリッジを交換する」参照） →P.856
	［ﾌﾟﾗﾃﾝｸﾘｰﾆﾝｸﾞ］					［する］を選択すると、キャリッジを移動し、プラテンをクリーニングできる状態になります。
［ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定］	［EOPﾀｲﾏｰ］					印刷ジョブを受信できないときの、印刷ジョブをキャンセルする時間を設定します。
	［TCP/IP］	［IPv4］	［IPv4ﾓｰﾄﾞ］			プリンタの IP アドレスを自動で設定するか、手動で固定 IP アドレスを設定するかを選択します。
			［ﾌﾟﾛﾄｺﾙ］	［DHCP］		IP アドレスを自動で設定するためのプロトコルを設定します。
				［BOOTP］		
				［RARP］		
			［IPv4設定］	［IPｱﾄﾞﾚｽ］		固定 IP アドレスを設定する場合に、プリンタのネットワーク情報を設定します。 プリンタに割り当てる IP アドレスと、ネットワークのサブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイを設定します。 ［IPv4ﾓｰﾄﾞ］を［自動］に設定している場合は、自動的に設定された値が表示されます。
				［ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ］		
				［ﾃﾞﾌｫﾙﾄ G/W］		
			［DNS設定］	［DNS 動的更新］		DNS サーバへの登録の更新を自動的に行うかどうかを設定します。
				［ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ］		DNS サーバアドレスを設定します。
				［ｾｶﾝﾀﾞﾘDNSｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ］		
				［DNSﾎｽﾄ名］		DNS ホスト名を設定します。
				［DNSﾄﾞﾒｲﾝ名］		DNS ドメイン名を設定します。
		［IPv6］	［IPv6 の使用］			IPv6 接続をするかどうかを設定します。
			［IPv6ｽﾃｰﾄﾚｽｱﾄﾞﾚｽ］			IPv6 のステートレスアドレスを使うかどうかを設定します。
			［DHCPv6］			DHCPv6 設定を使うかどうかを設定します。
			［DNS設定］	［DNS動的更新］	［ｽﾃｰﾄﾌﾙｱﾄﾞﾚｽ］	DNS サーバへの登録の更新を自動的に行うかどうかを設定します。
					［ｽﾃｰﾄﾚｽｱﾄﾞﾚｽ］	

設定項目					機能説明/設定方法
［ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定］	［TCP/IP］	［IPv6］	［DNS設定］	［ﾌﾟﾗｲﾏﾘDNSｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ］	DNS サーバアドレスを設定します。
				［ｾｶﾝﾀﾞﾘDNSｻｰﾊﾞｱﾄﾞﾚｽ］	
				［DNSﾎｽﾄ名］	DNS ホスト名を設定します。
				［DNSﾄﾞﾒｲﾝ名］	DNS ドメイン名を設定します。
	［NetWare］	［NetWare］			NetWare プロトコルを設定します。各項目を設定した後、［設定登録］を選択すると、設定値が有効になります。
		［ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ］			使用するフレームタイプを選択します。
		［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾋﾞｽ］			使用するプリントサービスを選択します。
	［AppleTalk］				AppleTalk プロトコルを使用するかどうかを設定します。各項目を設定した後、［設定登録］を選択すると、設定値が有効になります。
	［Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ］	［自動検出］			通信方式を設定します。各項目を設定した後、［設定登録］を選択すると、設定値が有効になります。 ［ｵﾝ］を選択すると、LAN の通信プロトコルを自動的に認識します。［ｵﾌ］を選択すると、［通信方式］や［Ethernet 種類］の設定値が有効になります。
		［通信方式］			LAN の通信方式を選択します。
		［Ethernet 種類］			LAN の通信速度を選択します。
		［ｽﾊﾟﾆﾝｸﾞﾂﾘｰ］			LAN のスパニングツリー信号を受け入れて対応するかどうかを選択できます。
		［MAC ｱﾄﾞﾚｽ］			MAC アドレスが表示されます。
	［ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定ﾌﾟﾘﾝﾄ］				インタフェースの設定値を印刷します。
	［初期値に戻す］				［OK］を押すと［ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定］の設定が工場出荷時の値に戻ります。
［ｼｽﾃﾑ設定］	［ｽﾘｰﾌﾟ ﾀｲﾏｰ］				プリンタがスリープモードに移行するまでの時間を設定します。
	［ﾌﾞｻﾞｰ］				［ｵﾝ］を選択すると、警告時に 1 回、エラー発生時に 3 回ブザーが鳴ります。
	［画面ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整］				ディスプレイのコントラストを調整します。
	［日時設定］	［日付設定］			現在の日付を設定します。
		［時刻設定］			現在の時刻を設定します。［日付設定］が設定されている場合のみ設定可能です。
	［日付形式］				日付の表示形式を設定します。
	［表示言語］				ディスプレイの表示言語を設定します。
	［ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ］				タイムゾーンを設定します。タイムゾーンの項目名には、グリニッジ標準時間からの時差とともに該当のタイムゾーン内の代表的な都市名が表示されます。
	［長さの単位］				長さの表示単位を選択します。ロール紙残量や［総印刷面積］の表示単位が切り替わります。
	［用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知］				プリンタのメニューで設定した用紙の種類やサイズとプリンタドライバで設定した用紙の種類やサイズが異なっている場合の印刷動作を設定します。

設定項目			機能説明/設定方法
[ｼｽﾃﾑ設定]	[用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知]		[一時停止する]を選択すると、印刷を一時停止します。[警告表示する]を選択すると、警告を表示して印刷を続行します。[検知しない]を選択すると、警告を表示せずに印刷を続行します。
	[用紙ｻｲｽﾞ優先]	[ﾛｰﾙ紙優先設定 1]	ロール紙のサイズを検知したときに、ロール紙幅が[ISO A3 (297mm)]と[300mm ﾛｰﾙ]の間の場合に、どちらのロール紙幅として認識するかを選択します。
		[ﾛｰﾙ紙優先設定 2]	ロール紙のサイズを検知したときに、ロール紙幅が[10inch (254mm)]と[JIS B4 (257mm)]の間の場合に、どちらのロール紙幅として認識するかを選択します。
	[外形ｻｲｽﾞ優先]		[ｵﾝ]を選択すると、用紙のサイズが優先されます。プリンタドライバで設定した余白が、プリンタのメニューで設定した余白より少ない場合、プリンタのメニューで設定した余白が優先され、余白をはみ出た分の文字や画像は切れてしまいます。 [ｵﾌ]を選択すると、余白の設定値が優先されます。プリンタドライバで設定した余白とプリンタのメニューで設定した余白の設定値が異なる場合、設定値の大きい方に合わせて印刷します。
	[ﾛｰﾙ退避時ﾌﾟﾚｶｯﾄ]		退避位置にある用紙を給紙した際に用紙の先端をカットするかどうかを設定します。退避位置で固定されていた際につく跡が気になる場合はカットしてください。 [ｵﾝ]に設定すると、スリープから復帰後または、電源オン後の最初の印刷開始時にカットします。[自動]に設定すると、2 日以上退避位置にあった用紙のみカットします。
	[ﾍｯﾄﾞ交換後ﾌﾟﾘﾝﾄ]		[ｵﾝ]を選択すると、プリントヘッドの交換後に、[詳細調整]が自動的に実行されます。(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710

設定項目		機能説明/設定方法
[ｼｽﾃﾑ設定]	[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ設定]	ノズルのつまりを印刷後にチェックするタイミングを[間隔]で設定します。[標準]を選択すると、ノズルの使用頻度により、チェックするタイミングを調整します。[1ﾍﾟｰｼﾞ]を選択すると、1 ページ毎にチェックを行います。 [警告]で[ｵﾝ]を選択すると、印刷中にプリントヘッドのノズルがつまった場合、警告を表示します。
	[RemoteUI の使用]	[使わない]を選択すると RemoteUI からのアクセスはできなくなり、操作パネルからの設定のみ可能になります。
	[用紙設定初期化]	Media Configuration Tool で変更した内容を工場出荷時の設定値に戻します。
	[ｼﾞｮﾌﾞ履歴表示]	[ｵﾌ]を選択すると、[ｼﾞｮﾌﾞﾒﾆｭｰ]の[ｼﾞｮﾌﾞ履歴]で履歴が表示されません。さらに[ｼﾞｮﾌﾞﾒﾆｭｰ]の[ｼﾞｮﾌﾞ履歴ﾌﾟﾘﾝﾄ]でも履歴が印刷されません。また、Status Monitor のアカウンティング機能においてもジョブ履歴を収集できないため正しい動作が行われません。
[移動の準備]		プリンタを輸送するときに選択します。画面の指示に従って必要な処理を行います。(「プリンタの輸送の準備をする」参照) →P.869 メンテナンスカートリッジの残量の警告メッセージ表示中は表示されません。
[管理者ﾒﾆｭｰ]	[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更]	パスワードを設定すると、メニューの表示/設定を以下のように制限できます。入力できる数値は 0～9999999 です。 • 管理者のみ表示/設定可能 [IPv4 設定] [ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更] [ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの初期化] • 管理者は表示/設定可能、管理者以外のユーザーは表示のみ可能 [ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]([IPv4 設定]を除く) [日時設定] [日付形式] [ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ] [RemoteUI の使用] [用紙設定初期化]
	[ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの初期化]	[OK]を押すと[管理者ﾒﾆｭｰ]のパスワードが工場出荷時の値に戻ります。
[ﾌﾟﾘﾝﾀの情報]	[用紙の情報]	現在セットされている用紙の種類、サイズ、プリンタの設定が表示されます。
	[ｲﾝｸの情報]	インクの残量とメンテナンスカートリッジの残り容量が表示されます。
	[ｼｽﾃﾑ情報]	ファームウェアのバージョン、シリアルナンバー、インタフェースの情報が表示されます。
	[ｴﾗｰ履歴]	最近発生したエラーメッセージ(5 件まで)が表示されます。
	[その他のｶｳﾝﾀ]	プリンタの印刷した総面積が表示されます。

*1: ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。実際の使用量とは異なる場合があります。当社インクコスト測定条件に基づく概算値の平均誤差は、±15%です。この概算値の正確性について、当社は保証するものではありません。お客様のご使用状況に応じて、この概算値は変動します。なお、この概算値の算出には、クリーニング機構による強制吐出のインク消費量等は含まれておりません。

印刷中のメニューの設定値

印刷中メニューの各項目の説明について、以下に示します。
設定方法については、「メニューを操作する」を参照してください。 →P.768
メニューの階層と設定値については、「メニューの階層」を参照してください。 →P.770

[ｲﾝｸﾒﾆｭｰ]

設定項目	機能説明/設定方法
[ｲﾝｸﾀﾝｸ交換]	インクタンクを交換します。画面の指示に従って必要な処理を行います。(「インクタンクを交換する」参照) →P.837
[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]	プリントヘッドをクリーニングします。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.847 印刷がかすれた場合、ゴミなどが付いた場合、または色味がおかしい場合に、[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]を行います。

[ｼﾞｮﾌﾞ ﾒﾆｭｰ]

設定項目			機能説明/設定方法
[ｼﾞｮﾌﾞ 履歴]	(最近の印刷ジョブの履歴 3 件から選択できます)	[ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ名]	選択した印刷ジョブのドキュメント名が表示されます。
		[ﾕｰｻﾞｰ]	ジョブを送信したユーザー名が表示されます。
		[ﾍﾟｰｼﾞ数]	ジョブの枚数が表示されます。
		[ｼﾞｮﾌﾞ ｽﾃｰﾀｽ]	ジョブの処理結果が表示されます。
		[ﾌﾟﾘﾝﾄ開始時刻]	ジョブの印刷を開始した時刻が表示されます。
		[ﾌﾟﾘﾝﾄ終了時刻]	ジョブの印刷を終了した時刻が表示されます。
		[ﾌﾟﾘﾝﾄ時間]	ジョブの印刷の所要時間が表示されます。
		[出力用紙ｻｲｽﾞ]	ジョブの用紙のサイズが表示されます。
		[用紙種類]	ジョブの用紙の種類が表示されます。
		[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ]	ジョブのインタフェースが表示されます。
		[ｲﾝｸ使用量]	ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。(*1 →P.787)
[ｼﾞｮﾌﾞ 履歴ﾌﾟﾘﾝﾄ]			印刷ジョブの用紙の種類、サイズ、インクの消費量などの情報を印刷します。インクの消費量は、ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。(*1 →P.787)

設定項目	機能説明/設定方法
[印刷の一時停止]	[ｵﾝ]に設定すると、設定した時点での印刷が終了後、プリンタは印刷停止状態になります。

*1: ジョブごとに消費されるインクの使用量の概算値が表示されます。実際の使用量とは異なる場合があります。当社インクコスト測定条件に基づく概算値の平均誤差は、±15%です。この概算値の正確性について、当社は保証するものではありません。お客様のご使用状況に応じて、この概算値は変動します。なお、この概算値の算出には、クリーニング機構による強制吐出のインク消費量等は含まれておりません。

[設定/調整ﾒﾆｭｰ]

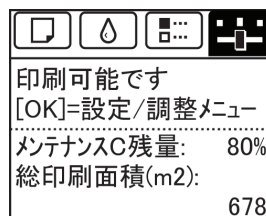
設定項目		機能説明/設定方法
[紙送り微調整]		[紙送り調整]の[優先設定]で[自動]または[画質優先]が選択されている場合に表示されます。用紙の送り量を手動で微調整します。
[ﾌﾟﾘﾝﾀの情報]	[用紙の情報]	現在セットされている用紙の種類、サイズ、プリンタの設定が表示されます。
	[ｲﾝｸの情報]	インクの残量とメンテナンスカートリッジの残り容量が表示されます。
	[ｼｽﾃﾑ情報]	ファームウェアのバージョン、シリアルナンバー、インタフェースの情報が表示されます。
	[ｴﾗｰ履歴]	最近発生したエラーメッセージ(5 件まで)が表示されます。
	[その他のｶｳﾝﾀ]	プリンタの印刷した総面積が表示されます。

ステータスプリントについて

このプリンタはプリンタの状態を示す[ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ]を印刷できます。
[ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ]にはファームウェアバージョンやプリンタの各種設定値、消耗品の使用状況などプリンタの情報が印刷されます。

[ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ]を印刷する

1. 用紙をセットします。
   カット紙の場合は、A4 サイズで 4 枚以上必要です。

2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
• [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
   [設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾃｽﾄ ﾌﾟ ﾘﾝﾄ]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟ ﾘﾝﾄ]を選択し、[OK]キーを押します。

[ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟ ﾘﾝﾄ]の内容を確認する

[ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟ ﾘﾝﾄ]には以下の情報が出力されます。

Canon imagePROGRAF iPFxxxx Status Print	機種名

Firm	ファームウェアバージョン
Boot	ブートロムバージョン
MIT(DBF)	MIT DB フォーマットバージョン
MIT(DB)	MIT DB バージョン
S/N	機種シリアル No
Date	ステータスプリントを印刷した日時です。

Paper Menu	設定されている用紙の情報です。
Roll Media Type	
Cut Sheet Type	
ManageRemainRoll	
Keep Paper Type	

Job Menu	ジョブ関連の情報です。
Job Log	メンテナンス用のカウンタです。 各ジョブについての情報の履歴です。

Set./Adj. Menu	設定/調整関連の情報です。
System Setup	本体システム/警告/エラー関連の設定値です。
Sleep Timer	
Buzzer	
Contrast Adj.	
Date Format	
Language	
Time Zone	
Length Unit	
Detect Mismatch	
Paper Size Basis	
Roll Selection 1	
Roll Selection 2	
Keep Paper Size	用紙関連の設定値です。
TrimEdge Reload	
Rep.P.head Print	ヘッド交換後の調整パターン印刷の設定値です。

項目	説明
Nozzle Check	ノズルチェックの設定値です。
Timing	
Warning	
Use RemoteUI	RemoteUI の使用の設定値です。
Adjust Printer	調整関連の設定値です。
Head Posi. Adj.	メンテナンス用のカウンタです。 ヘッド位置調整の調整値の履歴です。
Adjust Log	
Calibration	カラーキャリブレーションの設定値です。
Calibration Log	実行履歴です。
Date	実行した日付と使用した用紙名称です。
Media Type	
Use Adj. Value	カラーキャリブレーション結果を使用するか、しないかの設定値です。
Printer Info	インク関連/RAM の使用状況とエラー履歴です。
Ink Info	インク関連の情報です。
MC	メンテナンスカートリッジ空き容量(%)
PC, C, MBK, Y, M, PM, R, G, B, PGY, GY, BK	インク残量です。 20%刻みで表示されます。
System Info	RAM の総容量が表示されます。
RAM	
Error Log	過去 5 件のエラーコードです。

項目	説明
HEAD LOT NUMBER	プリントヘッドのロットナンバーです。
LOT L	
LOT R	
PARTS STATUS	サービス交換部品の使用状況です。
COUNTER ｘｘ	
COUNTER	カッター、メディアなどの使用状況です。
CUTTER	
MEDIA	
LIFE TTL	
LIFE ROLL	

		LIFE CUTSHEET	
	MEDIA 1-7,OTHER		
		NAME	
		TTL	
		ROLL	
		CUTSHEET	
	AFTER INSTALLATION		

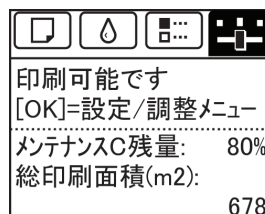
DUTY		メンテナンス用のカウンタです。サービスを依頼する際に、必要となることがあります。
	UNIT:m2	
	UNIT:sq.f	
	UNIT:A4 Sheet	
	UNIT:Letter Sheet	

インタフェース設定プリントについて

このプリンタはプリンタのインタフェース設定値を一覧で示す[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定ﾌﾟﾘﾝﾄ]を印刷できます。
[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定ﾌﾟﾘﾝﾄ]には TCP/IP や NetWare などの設定値が印刷されます。

[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定ﾌﾟﾘﾝﾄ]を印刷する

1. 用紙をセットします。
   カット紙の場合は、A4 サイズで 3 枚以上必要です。

2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
   [設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾃｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定ﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択し、[OK]キーを押します。

[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定ﾌﾟﾘﾝﾄ]の内容を確認する

[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定ﾌﾟﾘﾝﾄ]には以下の情報が出力されます。

Canon imagePROGRAF iPFxxxx Interface Print	機種名

Firm	ファームウェアバージョン
Boot	ブートロムバージョン
MIT（DBF）	MIT DB フォーマットバージョン
MIT（DB）	MIT DB バージョン
S/N	機種シリアル No
Date	インタフェース設定プリントを印刷した日時です。

EOP Timer		印刷ジョブを受信できないときの、印刷ジョブをキャンセルする時間を設定します。
TCP/IPv4	Frame Type	［IPv4］の設定値です。
	Use DHCP	
	Use BOOTP	
	Use RARP	
	Enable DNS Dynamic Update	
	Use Zeroconf Function	
	IP Address	
	Subnet Mask	
	Gateway Address	
	LPD Printing	
	IPP Printing	
	IPP Printer URI	
	RAW Printing	
	Raw Mode Bi-direction	
	FTP Printing	
	Use Discovery	
	Scope	
	SMTP Server Address	
	Primary DNS Server Address	
	Secondary DNS Server Address	
	DNS Host Name	
	DNS Domain Name	
	MulticastDNS ServiceName	
	SNMPv1	
	SNMPv3	

TCP/IPv6	Use IPv6	［IPv6］の設定値です。

TCP/ IPv6	Use DHCPv6	Stateful Address	[IPv6]の設定値です。
		Prefix Length	
		Primary DNS Server Address	
		Secondary DNS Server Address	
	Use a stateless address	Stateless Address 1	
		Prefix Length 1	
		Stateless Address 2	
		Prefix Length 2	
		Stateless Address 3	
		Prefix Length 3	
		Stateless Address 4	
		Prefix Length 4	
		Stateless Address 5	
		Prefix Length 5	
		Stateless Address 6	
		Prefix Length 6	
	Use a link-local Address	Link-Local Address	
		Prefix Length	
	Use a manual address	IP Address	
		Prefix Length	
		Default Router Address	
		Prefix Length	
		Primary DNS Server Address	
		Secondary DNS Server Address	
	Use the same host name and domain name as IPv4	DNS Host Name	
		DNS Domain Name	
	Perform dynamic updating of stateful addresses		

TCP/IPv6	Dynamically update the stateless address		[IPv6]の設定値です。
	Dynamically update the manual address		

NetWare	Frame Type		[NetWare]の設定値です。
	IPX External Network Number		
	Node Number		
	Print Application		
	Bindery PServer	File Server Name	
		Print Server Name	
		Print Server Password	
		Polling Interval	
	RPrinter	Print Server Name	
		Printer Number	
	NDS PServer	Tree Name	
		Context Name	
		Print Server Name	
		Print Server Password	
		Polling Interval	
	NPrinter	Print Server Name	
		Printer Number	
AppleTalk	Phase Type		[AppleTalk]の設定値です。
	Name		
	Network Number		
	Zone		
Network Interface	Physical Interface		ネットワークインタフェースの設定値です。
	Transmission Rate		
	MAC Address		
	Auto Detect		
	Communication		
	Ethernet Type		
	Spanning Tree		

Network Interface	Use the Jumbo Frame Function	ネットワークインタフェースの設定値です。

ガイダンスを見ながら操作する

用紙をセットする手順やインクタンクの交換などを、操作パネルのディスプレイで手順を見ながら操作することができます。

ガイダンスの見かた

ガイダンスに表示されている操作を実行すると、プリンタが検知して次のガイダンス画面に切り替わります。

プリンタが検知できない操作については、画面が 4 秒ごとに切り替わり、一連の操作が繰り返し表示されます。

繰り返し表示されるガイダンスについては、すべての操作が終わると次の手順のガイダンス画面が表示されます。

・例：インクタンク交換

インクタンクカバーを開けてください。

プリンタが自動的に検知

インクタンクを取り出して、[OK]を押してください [◀停止] 1/2

インクタンクを取り出して、[OK]を押してください [◀停止] 2/2

[OK]キー

新品のインクタンクを取り付ける場合は、 [◀停止] 1/2

袋のままゆっくりと7〜8回振り、[OK]を押してください [◀停止] 2/2

[OK]キー

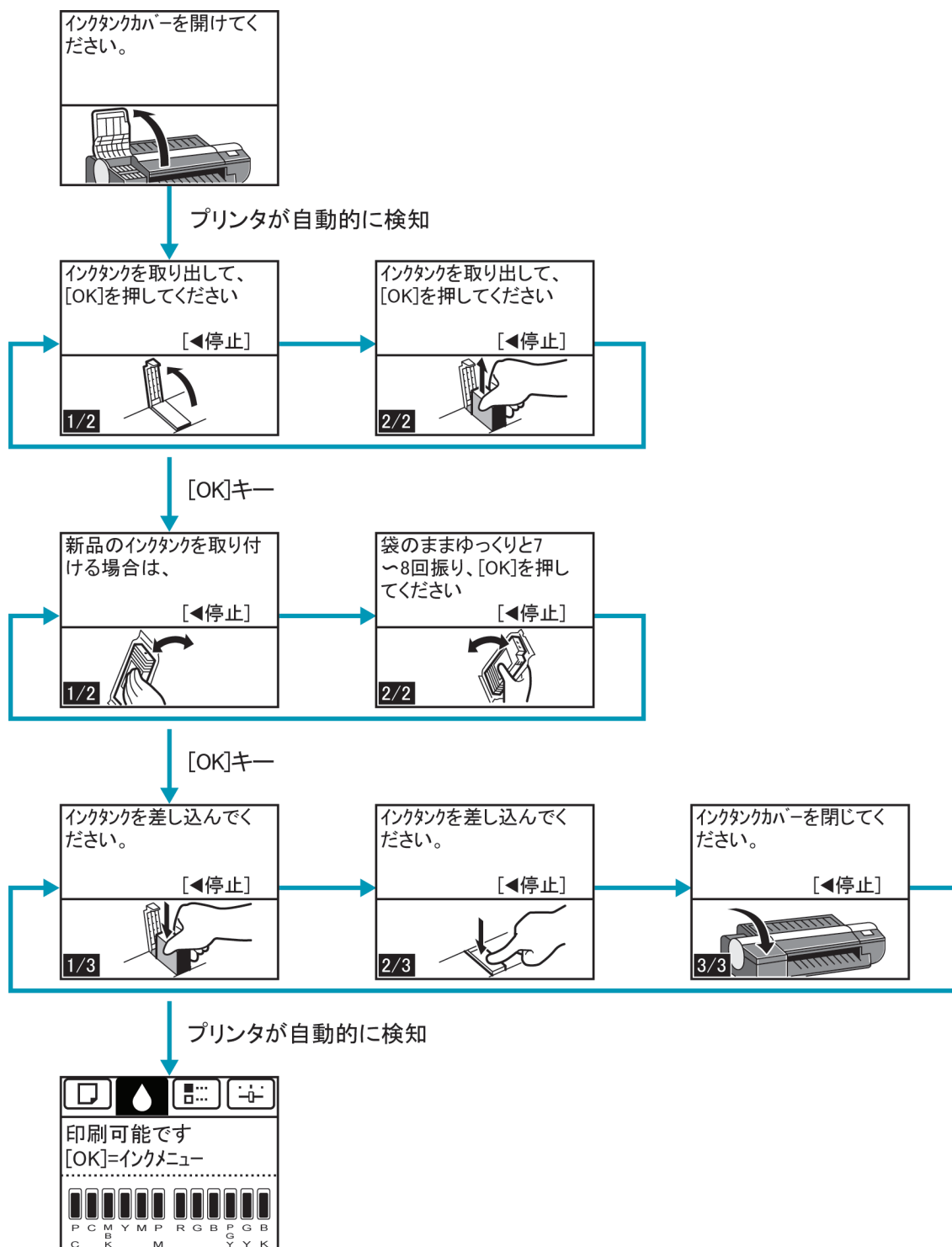
インクタンクを差し込んでください。 [◀停止] 1/3

インクタンクを差し込んでください。 [◀停止] 2/3

インクタンクカバーを閉じてください。 [◀停止] 3/3

プリンタが自動的に検知

印刷可能です
[OK]=インクメニュー

P C MBK Y MP RGB PGY GY BK

メモ

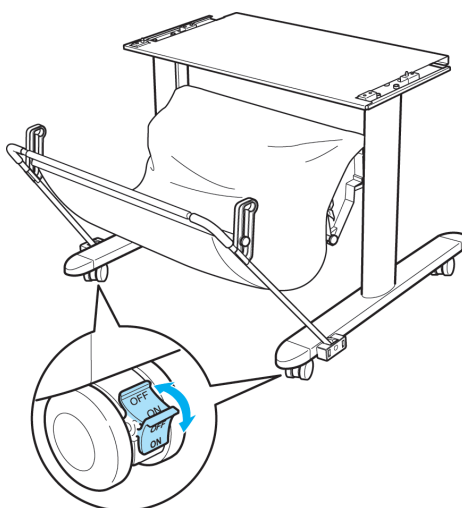
- 繰り返し表示されるガイダンス中に[◀]キーを押すと、画面が停止します。
  [◀]キー、[▶]キーで前画面/次画面を表示します。[◀]キー、[▶]キーを押さずに 30 秒が経過すると、繰り返し表示に戻ります。
  [OK]キーを押すと、次の手順のガイダンス画面が表示されます。

オプション

スタンド

このプリンタでは、以下のスタンドを使用できます。

- プリンタスタンド ST-25

8

注意

- スタンドを移動する場合は、必ずロック付きキャスターのスイッチを OFF 側に移動し、ロックを解除してください。ロック付きキャスターをロックしたままスタンドを移動すると、床に傷がつくことがあります。

メモ

- スタンドの設置方法については、スタンドに同梱されている説明書を参照してください。

プリンタの仕様

仕様

重要

- 製品改良のため、記載事項が一部変更になる場合があります。
- 使用環境によって、下記の数値と異なる場合があります。

プリンタ

電源		AC 100〜240 V(50/60 Hz)
消費電力	動作時	100W 以下
	スリープモード時	100〜120V:6W 以下 220〜240V:7W 以下
	電源オフ時	1W 以下(*1 →P.797)
稼動音(*2 →P.797)	動作時(音圧レベル/LWAd)	約 47dB(A)/約 6.4B
	待機時	35dB(A)以下
動作環境	温度	15〜30℃
	湿度	10〜80%(結露なきこと)
寸法(幅×奥行×高さ mm)	本体のみ	1177×670×344 mm
	スタンド装着時	1177×870×991 mm
質量 (プリントヘッド、インクタンクを含まない)	本体のみ	51kg
	スタンド装着時	66kg
設置面積(*3 →P.797)	本体のみ	1477×1770×644 mm
	スタンド装着時	1477×1970×1291 mm
規格適合		国際エネルギースタープログラム、グリーン購入法、GPN、RoHS、The ECO Declaration、WEEE、米国大統領令

*1: 電源をオフにした状態でも、若干の電力が消費されます。電力消費量を 0 にする場合は、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

*2: 測定方法は ISO7779 に基づいています。動作時の印刷条件は、ドライバの[基本設定]シートで[用紙の種類]を光沢紙、[詳細設定モード]の[優先画質]を[写真・イラスト]、[印刷品質]を[標準]に設定しています。

*3: 通常は前方に 800 mm、後方に 300　mm、左右に 150 mm ずつ、上方に 300 mm のスペースが必要です。手差し前面給紙口からの印刷時のみ、前方に 1300 mm、後方に 700 mm のスペースを空けてください。

印刷性能

印刷方式	バブルジェット方式
最高解像度	2400 dpi(横)(*1 →P.798) × 1200 dpi(縦)
プリントヘッド	PF-05

ノズル数	各色 2560 ノズル

*1:最小 1/2400 インチのドット(インク滴)間隔でプリントします。

インタフェース

USB(*1 →P.798)	形状	本体内蔵
	モード	Full Speed(12 Mbit/sec)、High Speed(480 Mbit/sec)、バルク転送
	コネクタ形状	シリーズ B(4 ピン)
Ethernet	形状	本体内蔵
	規格	IEEE 802.3 10Base-T、IEEE 802.3u 100Base-TX/Auto-Negotiation、IEEE 802.3ab1000Base-T/Auto-Negotiation、IEEE 802.3x Full Duplex
	プロトコル	IPX/SPX(Netware4.2(J)、5.1(J)、6.0(J))、SNMP、HTTP、TCP/IP(IPv4/IPv6)、AppleTalk

*1:Hi-Speed USB で使用する場合は、以下の環境が必要です。

- コンピュータ:Hi-Speed USB に対応のコンピュータ
- OS:Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows Server 2003/Windows XP/Windows 2000/Mac OS X 10.3.9 以降
- USB 2.0 ドライバ:Microsoft の USB 2.0 ドライバ(Windows Update または Service Pack より入手可能)
- USB ケーブル:USB 2.0 認証ケーブル

インク

インクタンク	PC インクタンク(フォトシアンインク)	顔料インク	PFI-105PC(ユーザー交換)
	C インクタンク(シアンインク)	顔料インク	PFI-105C(ユーザー交換)
	MBK インクタンク(マットブラックインク)	顔料インク	PFI-105MBK(ユーザー交換)
	Y インクタンク(イエローインク)	顔料インク	PFI-105Y(ユーザー交換)
	M インクタンク(マゼンタインク)	顔料インク	PFI-105M(ユーザー交換)
	PM インクタンク(フォトマゼンタインク)	顔料インク	PFI-105PM(ユーザー交換)
	R インクタンク(レッドインク)	顔料インク	PFI-105R(ユーザー交換)
	G インクタンク(グリーンインク)	顔料インク	PFI-105G(ユーザー交換)
	B インクタンク(ブルーインク)	顔料インク	PFI-105B(ユーザー交換)
	PGY インクタンク(フォトグレーインク)	顔料インク	PFI-105PGY(ユーザー交換)
	GY インクタンク(グレーインク)	顔料インク	PFI-105GY(ユーザー交換)
	BK インクタンク(ブラックインク)	顔料インク	PFI-105BK(ユーザー交換)

容量	各色 130ml(*1 →P.799)

*1: プリンタに同梱のスターターインクタンクは各色 90ml

用紙(*1 →P.800)

ロール紙重量			6 kg 以下
用紙幅			203～610 mm
1 ページの最大長	カット紙	手差し(上面)	1600 mm
		手差し(前面)	914 mm
	ロール紙		18 m
用紙厚さ	カット紙	手差し(上面)	0.07～0.8 mm
		手差し(前面)	0.5～1.5 mm
	ロール紙		0.07～0.8 mm
用紙サイズ	カット紙	使用可能サイズ	[ISO A1]、[ISO A2]、[ISO A2 ノビ]、[ISO A3]、[ISO A3 ノビ]、[ISO A4]、[ISO B2]、[ISO B3]、[ISO B4]、[JIS B2]、[JIS B3]、[JIS B4]、[22"x34"(ANSI D)]、[17"x22"(ANSI C)]、[11"x17"(Ledger)]、[13"x19"(Super B)]、[Letter (8.5"x11")]、[Legal(8.5"x14")]、[24"x36"(ARCH D)]、[18"x24"(ARCH C)]、[12"x18"(ARCH B)]、[9"x12"(ARCH A)]、[DIN C2]、[DIN C3]、[DIN C4]、[大全 (20"x24")]、[全紙 (18"x22")]、[半切 (14"x17")]、[小半切 (12"x16")]、[四切 (10"x12")]、[四切ワイド (10"x15")]、[US フォト (16"x20")]、[ポスター 20"x30"]、[13"x22"]、[ポスター 300x900mm]
		手差し(上面)	• 幅:203～610 mm • 長さ:279～1600 mm
		手差し(前面)	• 幅:250～610 mm • 長さ:350～914　mm
	ロール紙		[8 インチロール(203.2mm)]、[10 インチロール(254.0mm)]、[JIS B4 ロール(257.0mm)]、[ISO A3/A4 ロール(297.0mm)]、[300mm ロール(300.0mm)]、[A3+ロール(329.0mm)]、[14 インチロール(355.6mm)]、[16 インチロール(406.4mm)]、[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)]、[17 インチロール(431.8mm)]、[JIS B2/B3 ロール(515.0mm)]、[ISO A1/A2 ロール(594.0mm)]、[24 インチロール(609.6mm)]
印刷領域	通常サイズ		印刷可能領域 • カット紙(手差し上面給紙口) 上端:3 mm、下端:3/23 mm、左右端:3 mm(下端は用紙の種類によって異なります。) • カット紙(手差し前面給紙口) 上端:3 mm、下端:23 mm、左右端:3 mm • ロール紙 上端:3 mm、下端:3 mm、左右端:3 mm 印刷推奨領域については、「印刷領域」を参照してください。 →P.800
	フチなしサイズ(*2 →P.800)		印刷可能領域(ロール紙) 上端:0 mm、下端:0 mm、左右端:0 mm

印刷領域	オーバーサイズ(*2 →P.800)、(*3 →P.800)	印刷可能領域 上端:0 mm、下端:0 mm、左右端:0 mm
フチなし対応用紙幅		[10 インチロール(254.0mm)]、[JIS B4 ロール(257.0mm)]、[14 インチロール(355.6mm)]、[16 インチロール(406.4mm)]、[ISO A2/A3 ロール(420.0mm)](*4 →P.800)、[17 インチロール(431.8mm)]、[JIS B2/B3 ロール(515.0mm)]、[ISO A1/A2 ロール(594.0mm)](*4 →P.800)、[24 インチロール(609.6mm)]

*1: プリンタに対応する用紙の種類については用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663

*2: 用紙の種類やサイズによって、印刷できない場合があります。

*3:[原稿サイズ]で選択したサイズよりも、幅 6 mm 以上、高さがロール紙で 6 mm 以上、手差しで 26 mm 以上大きな用紙をセットしてください。

*4: フチなし印刷するときは、フチなし印刷用スペーサーが必要です。

印刷領域

プリンタは、プリンタにセットされている用紙のサイズに対して、印刷動作のための余白を必要とします。フチなし印刷の場合を除き、用紙のサイズから余白を除いたサイズが実際の印刷領域になります。

		印刷可能領域			印刷推奨領域		
		上端	下端	左右端	上端	下端	左右端
カット紙	手差し上面給紙口	3 mm	3/23 mm	3 mm	20 mm	23 mm	5 mm
	手差し前面給紙口	3 mm	23 mm	3 mm			
ロール紙		0/3 mm	0/3 mm	0/3 mm	20 mm	5 mm	5 mm

カット紙

- 印刷可能領域

手差し上面給紙口から給紙する場合は、上端 3 mm、下端 3 mm または 23 mm、左右端 3 mm が必要な余白です。用紙の種類により、下端が 23 mm になります。詳細については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663

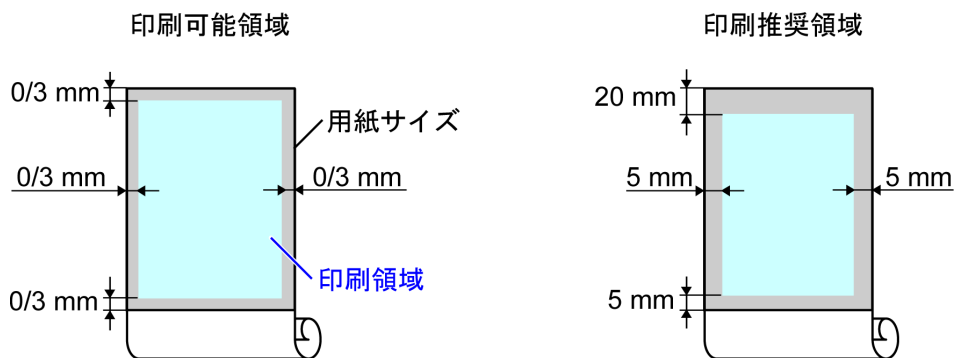
手差し前面給紙口から給紙する場合は、上端 3 mm、下端 23 mm、左右端 3 mm が必要な余白です。

- 印刷推奨領域

上端 20 mm、下端 23 mm、左右端 5 mm が必要な余白です。

メモ

- 印刷可能領域:印刷できる範囲です。
- 印刷推奨領域:この範囲に印刷することをお勧めします。
- 原稿のサイズと実際の印刷領域を一致させるには、必要な余白を加えたオーバーサイズの用紙サイズを使用して印刷します。(「オーバーサイズの用紙サイズに印刷する」参照) →P.77
- 手差し上面給紙口から給紙した用紙に印刷する際、用紙の下端余白は、3 mm と 23 mm から、選択できます。
  プリンタドライバ上で、[給紙方法]を[手差し]に設定すると、下端の余白が 23 mm になります。一方、[給紙方法]を[手差し(余白 3mm)]に設定すると、下端余白が 3 mm になり、印字領域を拡大して印刷ができます。
  ただし、下記の用紙の場合、[手差し(余白 3mm)]は選択できません。
  - ファインアート(フォト)
  - ファインアート(フォト厚口)
  - ファインアート(画材)
- 用紙の種類は変更される場合があります。
  用紙の種類の詳細については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663
- 用紙の下端の余白を 3 mm に設定すると、下端の画像が乱れることがあります。
  その場合は[給紙方法]を[手差し]を選択し、下端余白を 23 mm に設定してください。

ロール紙

- 印刷可能領域

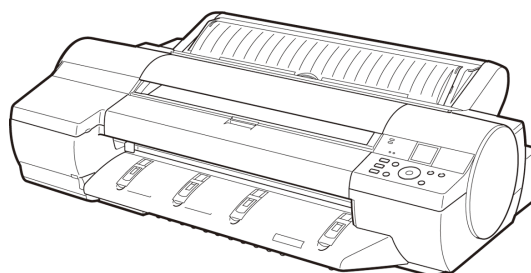
  上下端 3 mm、左右端 3 mm が必要な余白です。フチなし印刷時には上下左右端の余白は 0 mm になります。フチなし印刷可能な用紙については、用紙リファレンスガイドを参照してください。(「用紙の種類」参照) →P.663

- 印刷推奨領域

  上端 20 mm、下端 5 mm、左右端 5 mm が必要な余白です。

メモ

- 印刷可能領域:印刷できる範囲です。
- 印刷推奨領域:この範囲に印刷することをお勧めします。
- 原稿のサイズと実際の印刷領域を一致させるには、必要な余白を加えたオーバーサイズの用紙サイズを使用して印刷します。(「オーバーサイズの用紙サイズに印刷する」参照) →P.77

ネットワークの設定

ネットワークの設定

ネットワーク環境について

必要なシステム環境について

使用するネットワークに応じて、以下のシステム環境が必要です。

- TCP/IP ネットワークで印刷する場合（IPv4 使用時）
  - 対応している OS
    - Windows 2000（Professional/Server）
    - Windows XP（Home Edition/Professional）
    - Windows Server 2003（Standard Edition）
    - Windows Vista（Home Basic/Business/Ultimate）
    - Windows Server 2008（Standard Edition/Enterprise Edition）
    - Windows 7
    - Windows XP Professional x64 Edition
    - Windows Server 2003 x64 Edition
    - Windows Vista x64
    - Windows Server 2008 x64
    - Windows 7 x64
    - Mac OS X 10.2.8 以降
    - Unix（Solaris 9）
    - Unix（Red Hat 9）
  - 対応しているコンピュータ
    - 上記 OS が動作するコンピュータ
- TCP/IP ネットワークで印刷する場合（IPv6 使用時）
  - 対応している OS
    - Windows Vista（Home Basic/Business/Ultimate）
    - Windows Server 2008（Standard Edition/Enterprise Edition）
    - Windows 7
    - Windows Vista x64

- Windows Server 2008 x64
- Windows 7 x64
- Mac OS X 10.3.9 以降

メモ

- IPv6 を使用する場合、IPv6 を操作パネルまたはリモート UI で設定する必要があります。設定方法については、「TCP/IPv6 ネットワークを設定する」を参照してください。→P.809 または「プリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする」を参照してください。→P.810
- imagePROGRAF プリンタドライバは、Mac OS X 10.3.9 以降に対応しています。
- imagePROGRAF プリンタドライバは、Unix には対応していません。

- AppleTalk ネットワークで印刷する場合
  - 対応している OS
    - Mac OS X 10.2.8～10.4
  - 対応しているコンピュータ
    - 上記 OS が動作するコンピュータ

メモ

- LocalTalk ネットワークには対応していません。
- フェーズ 2 の EtherTalk に対応しています。
- imagePROGRAF プリンタドライバは、AppleTalk には対応していません。

- NetWare ネットワークで印刷する場合
  - 対応しているサーバー
    - Novell NetWare Version 4.2/5.1/6.0
  - 対応しているクライアント
    - Windows 2000（Professional/Server）
    - Windows XP（Professional）
  - 対応しているコンピュータ
    - 上記 OS が動作するコンピュータ

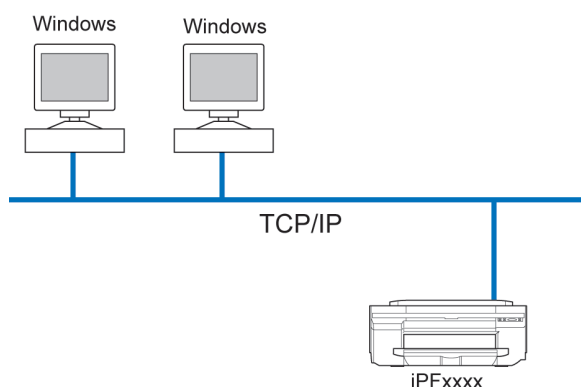
メモ

- NetWare Version 6.0 の iPrint はサポートしていません。

ネットワーク環境について

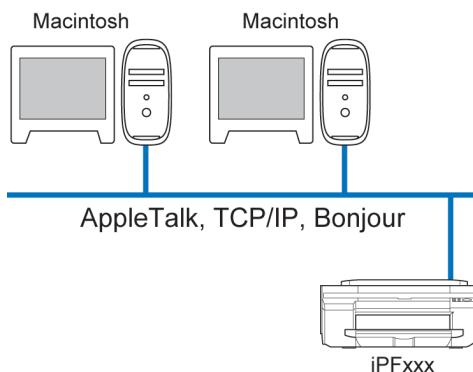
プリンタを接続するネットワーク環境を確認し、必要な作業を行ってください。

- Windows ネットワークの例

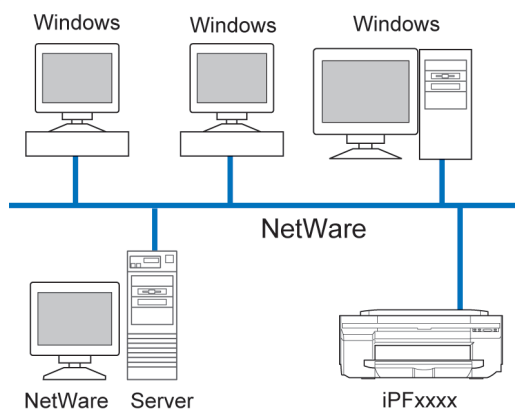
Windows ネットワークでは、TCP/IP プロトコルを使用します。

メモ

- このプリンタでは、NetBIOS プロトコルは使用できません。

- Macintosh ネットワークの例

Macintosh ネットワークでは、AppleTalk(EtherTalk)、TCP/IP、Bonjour(Zeroconf)機能が使用できます。

メモ

- imagePROGRAF プリンタドライバは、AppleTalk には対応していません。

- NetWare ネットワークの例

メモ

- NetWare サーバーがあるネットワーク環境でも、TCP/IP プロトコルや AppleTalk プロトコルを併用することは可能です。その場合は、使用する各プロトコルの設定を行ってください。

プリンタに IP アドレスを設定する

プリンタを TCP/IP ネットワークで使用するためには、プリンタの IP アドレスを設定する必要があります。セットアップガイドの手順に従ってプリンタドライバをインストールすると、プリンタの IP アドレスを同時に設定することができます。
一度設定した IP アドレスを変更する場合や、プリンタの接続形態をネットワーク接続に変更する場合は、imagePROGRAF Device Setup Utility、プリンタの操作パネル、ARP/PING コマンドのいずれかを使用して IP アドレスを設定します。IP アドレスの設定方法については、以下のトピックを参照してください。

- imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する →P.404（Windows）
- プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する →P.806
- ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定する →P.807

重要

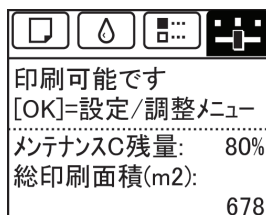
- DHCP サーバの機能を利用して、自動的にプリンタに IP アドレスを割り当てる場合、プリンタの電源を入れなおすと、印刷できなくなることがあります。これは、今まで使用していた IP アドレスとは異なる IP アドレスが割り当てられたためです。DHCP サーバの機能を使用する場合には、ネットワーク管理者にお問合せの上、次のいずれかの設定を行ってください。
  - DNS 動的更新機能を設定する
    プリンタのメニューで［DNS 動的更新］を［ｵﾝ］にするか、またはリモート UI で［DNS の動的更新を行う］をオンにしてください。
    （「メニューの設定値」参照） →P.777
    （「プリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする」参照） →P.810
  - プリンタ起動時に常に同じ IP アドレスを割り当てるように設定する

メモ

- TCP/IP 以外のネットワークでプリンタを使用する場合も、プリンタの IP アドレスを設定しておくことをお勧めします。IP アドレスを設定しておくと、リモート UI を使用し、Web ブラウザからネットワークの設定やプリンタの管理が行えます。
  リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。→P.809

プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する

ここでは、プリンタの操作パネルでプリンタの IP アドレスを設定する手順を説明します。

1. 操作パネルの［タブ選択画面］で、［◀］キー、［▶］キーを押して （設定/調整タブ）を選択します。

メモ

- ［タブ選択画面］が表示されていない場合は、［メニュー］キーを押します。

2. ［OK］キーを押します。
   ［設定/調整ﾒﾆｭｰ］が表示されます。

3. ［▲］キー、［▼］キーを押して［ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定］を選択し、［OK］キーを押します。

4. ［▲］キー、［▼］キーを押して［TCP/IP］を選択し、［OK］キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[IPv4]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[IPv4 設定]を選択し、[OK]キーを押します。

7. [▲]キー、[▼]キーを押して[IP ｱﾄﾞﾚｽ]を選択し、[OK]キーを押します。

8. [◀]キー、[▶]キーを押して入力フィールドを選択し、数値を入力できる状態にします。

9. [▲]キー、[▼]キーを押して数値を入力します。

メモ

- [▲]キーを押すと数値は 1 つずつ増えます。ただし、9 の次は 0 になります。
- [▼]キーを押すと数値は 1 つずつ減ります。ただし、0 の次は 9 になります。
- [▲]キーや[▼]キーを押し続けると、数値を連続して増減することができます。
- コンピュータとプリンタの IP アドレスが同じにならないように設定してください。

10. 手順 8〜9 を繰り返して、設定が完了したら[OK]キーを押します。

11. [メニュー]キーを押します。
設定値を変更した場合は、確認のメッセージが表示されますので、[▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。

重要

- 必ず手順 11 の操作を行い、設定を登録してください。この操作により、入力値が有効となります。
- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイもプリンタの操作パネルで設定できます。
- DNS もプリンタの操作パネルで設定できます。

メモ

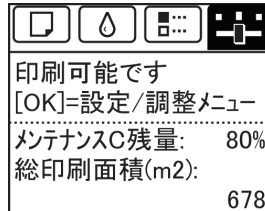
- エラーが表示される場合は、各設定値を確認し、設定し直してください。

ARP/PING コマンドで IP アドレスを設定する

ここでは、ARP/PING コマンドを使用し、IP アドレスを設定する手順を説明します。

ARP/PING コマンドを使用する場合、プリンタの MAC アドレスが必要になります。MAC アドレスは、プリンタの操作パネルで確認できます。

1. プリンタの MAC アドレスを調べます。
   MAC アドレスは、以下の手順でプリンタの操作パネルで確認できます。

   1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

   2. [OK]キーを押します。
      [設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。
   3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]を選択し、[OK]キーを押します。
   4. [▲]キー、[▼]キーを押して[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]を選択し、[OK]キーを押します。
   5. [▲]キー、[▼]キーを押して[MAC ｱﾄﾞﾚｽ]を選択し、[OK]キーを押します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。
- MAC アドレスはインタフェース設定プリントを出力して調べることもできます。（「インタフェース設定プリントについて」参照） →P.790

2. Windows の場合はコマンドプロンプト、Mac OS X の場合はターミナルを起動します。

3. 以下のコマンドを実行し、IP アドレスと MAC アドレスの対応を管理する ARP テーブルにエントリを追加します。
   arp -s [IP アドレス] [確認したプリンタの MAC アドレス]
   入力例: arp -s xxx.xxx.xxx.xxx 00-00-85-xx-xx-xx

メモ
- Mac OS X のターミナルの場合、arp コマンドは
  arp -s xxx.xxx.xxx.xxx 00-00-85-xx-xx-xx
  のように指定します。詳細については、コマンドラインのヘルプなどで確認してください。

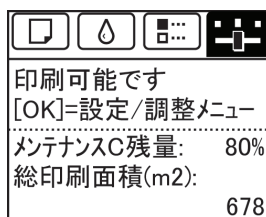
4. 以下のコマンドを実行し、IP アドレスをプリンタに送信し、設定します。
   ping [ARP コマンドで指定した IP アドレス] -l 479
   入力例: ping xxx.xxx.xxx.xxx -l 479

メモ
- [-l]の l はアルファベットのエルです。
- Mac OS X のターミナルの場合、ping コマンドは
  ping -s 479 xxx.xxx.xxx.xxx
  のように指定します。詳細については、コマンドラインのヘルプなどで確認してください。

メモ

- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、0.0.0.0 に設定されます。リモート UI を使用して、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイを、ご使用のネットワークの設定に合わせて変更してください。
  リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。→P.809

TCP/IPv6 ネットワークを設定する

TCP/IPv6 ネットワークで印刷する場合、TCP/IPv6 を操作パネルで設定する必要があります。
TCP/IPv6 ネットワークは、以下の手順で設定します。

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
   [設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]を選択し、[OK]キーを押します。
4. [▲]キー、[▼]キーを押して[TCP/IP]を選択し、[OK]キーを押します。
5. [▲]キー、[▼]キーを押して[IPv6]を選択し、[OK]キーを押します。
6. [▲]キー、[▼]キーを押して[IPv6 の使用]を選択し、[OK]キーを押します。
7. [▲]キー、[▼]キーを押して[使う]を選択し、[OK]キーを押します。

重要

- [IPv6 の使用]で[使う]を選択すると、[IPv6ｽﾃｰﾄﾚｽｱﾄﾞﾚｽ]の設定が有効になります。
- [IPv6ｽﾃｰﾄﾚｽｱﾄﾞﾚｽ]、[DHCPv6]もプリンタの操作パネルで設定できます。
- DNS もプリンタの操作パネルで設定できます。

リモート UI を使う

Web ブラウザでプリンタの IP アドレスを指定すると、リモート UI のページが表示されます。そのページからリモート UI にログオンし、プリンタの状態、印刷ジョブの状況、ネットワーク構成の設定や確認ができます。
リモート UI を表示するには Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

ネットワークに関連する項目の設定方法については、以下のトピックを参照してください。

- プリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする →P.810
- プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする →P.829
- プリンタに NetWare ネットワークの設定をする →P.819
- プリンタの情報を設定する →P.813

メモ

- リモート UI には、インクの残量やエラーなどのプリンタの状態表示、印刷ジョブの中止など、他にも多くの機能があります。
- 工場出荷時の状態では、英語のページが表示されます。表示言語を切り替えるには[Language]の一覧から言語を選択してから、管理者モードにログオンしてください。
- 管理者モードでログオンすると、[ネットワーク]ページで Jumbo Frame 機能を使用するように設定することができます。ただし、ネットワーク環境によってはこの機能を使用できない場合があります。

重要

- Web ブラウザは、Netscape Navigator 6.0 以降、Internet Explorer 5.01 以降、または Firefox 1.5 以降を使用してください。Mac OS X の場合は、Safari 1.32 以降または 2.03 以降にも対応しています。
- プロキシサーバー経由で接続することはできません。プロキシサーバーをご使用の環境では、Web ブラウザのプロキシサーバーの設定で、[例外](プロキシを使用しないアドレス)にプリンタの IP アドレスを追加してください。(設定はネットワーク環境によって異なります。)
- Web ブラウザで、JavaScript とクッキー(Cookie)が使用できるように設定してください。
- プリンタの IP アドレスではなく、名前を指定してリモート UI を起動する場合は、DNS の設定が正しく行われていることを確認してください。
- ネットワーク環境によっては、リモート UI が起動できない場合があります。
- プリンタの操作パネルの[ｼｽﾃﾑ設定]で[RemoteUI の使用]が[使う]になっていることを確認してください。

プリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする

TCP/IP ネットワークは、以下の手順で設定します。

IPv4 の IP アドレスを使用する場合

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://[プリンタの IP アドレスまたは名前]/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5. [TCP/IPv4]グループの右上にある[変更]をクリックし、[TCP/IP プロトコル設定の変更]ページを表示します。

6. TCP/IP の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

TCP/IP の設定項目

項目名	内容	初期値
[DHCP によるアドレス設定を行う]	オンにすると、DHCP を IP アドレスの設定に使用できます。	オフ
[BOOTP によるアドレス設定を行う]	オンにすると、BOOTP を IP アドレスの設定に使用できます。	オフ
[RARP によるアドレス設定を行う]	オンにすると、RARP を IP アドレスの設定に使用できます。	オフ
[DNS の動的更新を行う]	オンにすると、DNS サーバーへの登録を自動的に更新できます。	オフ
[Zeroconf 機能を使用する]	オンにすると、Bonjour 機能を使用できます。	オン
[IP アドレス]	プリンタの IP アドレスを設定できます。	0.0.0.0
[サブネットマスク]	プリンタのサブネットマスクを設定できます。	0.0.0.0
[ゲートウェイアドレス]	プリンタのデフォルトゲートウェイを設定できます。	0.0.0.0
[LPD 印刷]	オンにすると、LPD 印刷機能を使用できます。	オン
[IPP 印刷]	オンにすると、IPP 印刷機能を使用できます。	オン
[IPP プリンタの URI]	IPP 印刷に使用するプリンタの URI(1～252 文字)を設定できます。	printer
[RAW 印刷]	オンにすると、RAW 印刷機能を使用できます。	オン
[Raw モード双方向通信機能]	オンにすると、Raw モードでの双方向通信機能を使用できます。	オフ
[FTP 印刷]	オンにすると、FTP 印刷機能を使用できます。	オン
[Discovery を使用する]	オンにすると、SLP の Discover 機能を使用できます。	オン
[スコープ]	SLP の検索範囲を入力します。	default
[SMTP サーバアドレス]	SMTP サーバーの IP アドレスを設定できます。 SMTP サーバのドメイン名も設定可能です。	0.0.0.0
[プライマリ DNS サーバアドレス]	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定できます。	0.0.0.0
[セカンダリ DNS サーバアドレス]	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定できます。	0.0.0.0
[DNS ホスト名]	プリンタのホスト名(1～63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)で設定します。先頭に数字や[-]、最後に[-]は使用できません。	NB-18GBipxxxxxx
[DNS ドメイン名]	プリンタのドメイン名(0～63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)や[.](ピリオド)で設定します。先頭に数字や[-] [.]、最後に[-] [.]は使用できません。	(空欄)
[Multicast DNS サービス名]	プリンタの Multicast DNS サービス名を設定できます。(1～63 文字) この名前が Bonjour 機能でのプリンタ名として表示されます。	Canon iPFxxxx (xxxxxx)

7. [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

メモ

- DHCP、BOOTP、または RARP を使用して IP アドレスを設定する場合は、ネットワーク内にそのプロトコルのサーバーが起動されている必要があります。
- DHCP、BOOTP、または RARP を使用して IP アドレスを設定する場合は、いずれかのプロトコルで取得した IP アドレスが優先して使用されます。IP アドレスが取得できない場合は、[IP アドレス]に設定されているアドレスが使用されます。
- DHCP、BOOTP、または RARP が使用できるかどうかのチェックには最大 2 分程度かかります。使用しない項目のチェックボックスはオフにしておくことをお勧めします。
- DNS サーバーを使用する場合は、[DNS の動的更新を行う]チェックボックスをオンにし、[プライマリ DNS サーバアドレス]、[セカンダリ DNS サーバアドレス]、[DNS ドメイン名]に、DNS サーバーの IP アドレス、DNS ドメイン名を入力します。

IPv6 の IP アドレスを使用する場合

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://[プリンタの IP アドレスまたは名前]/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5. [TCP/IPv6]グループの右上にある[変更]をクリックし、[TCP/IPv6 プロトコル設定の変更]ページを表示します。

6. TCP/IPv6 の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

TCP/IPv6 の設定項目

項目名		内容	初期値
[IPv6 を使用する]		オンにすると、IPv6 を有効にします。	オフ
[DHCPv6 を使用する]		DHCPv6 サーバーを使用して IP アドレスを取得する場合にオンにします。	オフ
[ステートレスアドレスを使用する]		IPv6 ルータを使用して IP アドレスを取得する場合にオンにします。	オン
[手動アドレスを使用する]		手動で IP アドレスを設定する場合にオンにします。	オフ
	[IP アドレス]	プリンタの IP アドレスを入力します。	::
	[プレフィックス長]	IP アドレスのプレフィックス長を入力します。	0
	[デフォルトルータアドレス]	デフォルトルータアドレスを入力します。	::
	[プレフィックス長]	デフォルトルータアドレスのプレフィックス長を 入力します。	0
[プライマリ DNS サーバアドレス]		プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	::
[セカンダリ DNS サーバアドレス]		セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを設定します。	::
[IPv4 と同じホスト名・ドメイン名を使用する]		IPv4 と同じ DNS ホスト名とドメイン名を使用する場合にオンにします。	オフ

項目名		内容	初期値
	[DNS ホスト名]	プリンタのホスト名(1〜63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)で設定します。先頭に数字や[-]、最後に[-]は使用できません。	NB-18GBip6xxxxxx
	[DNS ドメイン名]	プリンタのドメイン名(0〜63 文字)を設定できます。半角英数字および[-](ハイフン)や[.](ピリオド)で設定します。先頭に数字や[-] [.]、最後に[-] [.]は使用できません。	(空欄)
[ステートフルアドレスの動的更新を行う]		ステートフルアドレスを DNS サーバーに自動的に登録する場合にオンにします。	オフ
[ステートレスアドレスの動的更新を行う]		ステートレスアドレスを DNS サーバーに自動的に登録する場合にオンにします。	オフ
[手動アドレスの動的更新を行う]		手動アドレスを DNS サーバーに自動的に登録する場合にオンにします。	オフ

7. [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

メモ

- DNS サーバーを使用する場合は、[DNS の動的更新を行う]チェックボックスをオンにし、[プライマリ DNS サーバアドレス]、[セカンダリ DNS サーバアドレス]、[DNS ドメイン名]に、DNS サーバーの IP アドレス、DNS ドメイン名を入力します。

プリンタの情報を設定する

デバイス情報、セキュリティ、および電子メール通知は、以下の手順で設定します。
[電子メール通知]は[ステータスモニタ]からも設定できます。詳細は[ステータスモニタ]のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[情報]をクリックし、[情報]ページを表示します。

5. 設定する情報に応じて、[デバイス情報]、[セキュリティ]、または[電子メール通知]のグループの右上にある[変更]をクリックし、それぞれの設定ページを表示します。
   管理者パスワードを変更する場合は、[セキュリティ]の[パスワード変更]ボタンをクリックします。

6. デバイス情報の設定項目、セキュリティの設定項目、または電子メール通知の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。
   セキュリティの設定項目は、[セキュリティ]の[パスワード変更]ボタンをクリックすると表示されます。

デバイス情報の設定項目

項目名	内容	初期値
[デバイス名]	デバイスの名前を設定できます。(0〜32 文字)	(空欄)

項目名	内容	初期値
[設置場所]	デバイスの設置場所を設定できます。 (0～32 文字)	(空欄)
[管理者名]	デバイス管理者の名前を設定できます。 (0～32 文字)	(空欄)
[管理者連絡先]	デバイス管理者の連絡先を設定できます。 (0～32 文字)	(空欄)
[管理者コメント]	デバイス管理者のコメントを設定できます。 (0～32 文字)	(空欄)

セキュリティの設定項目

項目名	内容	初期値
[新しいパスワード]	新しいパスワードを入力します。 (0～9999999)	(空欄)
[確認入力]	確認のために、新しいパスワードを入力します。 (0～9999999)	(空欄)

[セキュリティ]の設定画面では、デバイスのパスワード以外にも、IP アドレスによる SNMP・TCP の使用制限、MAC アドレスによるアクセスの制限、IPP の認証設定、FTP 認証設定をする事が出来ます。

電子メール通知の設定項目

項目名		内容	初期値
[再送回数]		メールの送信に失敗したときの最大再送回数を設定できます。 (0～5)	0
[再送間隔]		メールの送信に失敗したときの再送までの時間を設定できます。 (1～60 分)	5
電子メール通知(条件 1)(*1)	[To アドレス]	送信するメールの宛先を設定できます。 (0～128 文字) 128 文字の範囲内であれば、カンマで区切って複数の宛先を設定できます。	(空欄)
	[Reply-to アドレス]	送信するメールの返信アドレスを設定できます。 (0～128 文字)	(空欄)
	[通知のタイミング]	メールを送信する条件を、以下のチェックボックスのオン/オフで設定できます。 [ジョブ終了時] [警告発生時] [エラー発生時]	すべてオフ
	[署名]	メールの署名を設定できます。 (0～128 文字)	(空欄)
電子メール通知(条件 2)(*1)	(条件 1 と同じ)	(条件 1 と同じ)	(条件 1 と同じ)

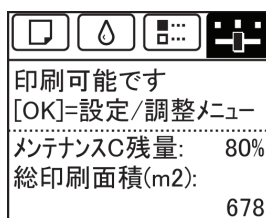
*1:電子メールを通知する条件は、宛先、返信アドレス、通知タイミング、および署名の組み合わせを、2 組まで設定することができます。

[電子メール通知]を有効にするためには[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]、[SMTP サーバアドレス]、[DNS ドメイン名]が設定されている必要があります。

7. [OK]をクリックし、設定を有効にします。

通信方式を手動で設定する

ここでは、通信方式を手動で設定する手順を説明します。

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[自動検出]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｵﾌ]を選択し、[OK]キーを押します。
[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]メニューに戻ります。

7. [▲]キー、[▼]キーを押して[通信方式]を選択し、[OK]キーを押します。

8. [▲]キー、[▼]キーを押して通信方式の種類を選択し、[OK]キーを押します。
[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]メニューに戻ります。

9. [▲]キー、[▼]キーを押して[Ethernet 種類]を選択し、[OK]キーを押します。

10. [▲]キー、[▼]キーを押して Ethernet の種類を選択し、[OK]キーを押します。
[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]メニューに戻ります。

11. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｽﾊﾟﾆﾝｸﾞ ﾂﾘｰ]を選択し、[OK]キーを押します。

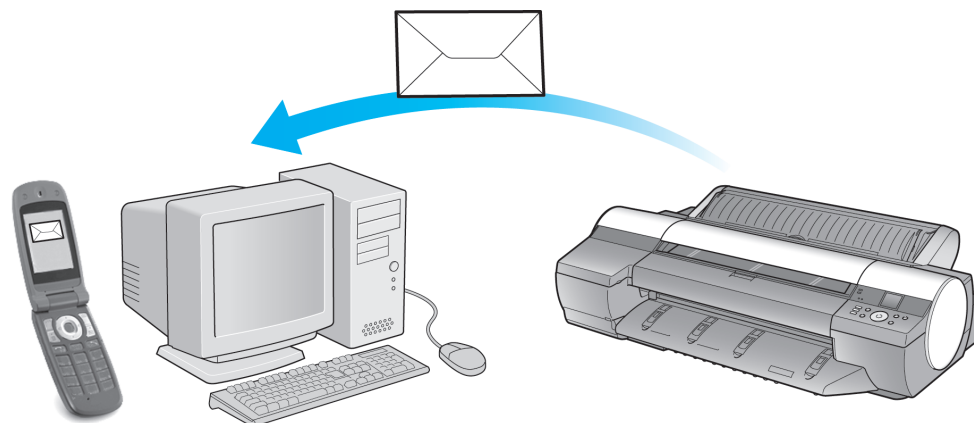
12. [▲]キー、[▼]キーを押してスパニングツリーへの対応を選択し、[OK]キーを押します。
[Ethernet ﾄﾞﾗｲﾊﾞ]メニューに戻ります。

13. [メニュー]キーを押します。
確認のメッセージが表示されますので、[OK]キーを押します。
プリンタが再起動し、設定が適用されます。

メモ

- 通信方式はリモート UI の[ネットワーク]ページでも設定できます。

印刷の終了やエラーの発生を電子メールで通知する

このプリンタには、プリンタの状態を電子メールで通知する機能があります。プリンタから離れていても、プリンタからの電子メールを携帯電話や自席のコンピュータで受信し、印刷の終了やエラーの発生を知ることができます。

電子メールの宛先や電子メールを送信するタイミングは、リモート UI 機能または imagePROGRAF Status Monitor(Windows)を使用して設定します。印刷ジョブの終了やエラーの発生以外に、サービスコールや消耗品の交換が必要な場合に電子メールを送信するように設定することもできます。詳しい操作方法については「プリンタの情報を設定する」を参照してください。 →P.813

メモ

- imagePROGRAF Status Monitor(Windows)の電子メール通知機能については、imagePROGRAF Status Monitor のヘルプを参照してください。
- メールサーバ上での認証には、imagePROGRAF Status Monitor のみ対応しています。

ネットワークの設定を初期化する

ネットワークの設定を工場出荷時の状態に戻すには、リモート UI を使用し、以下の手順で設定を初期化します。

重要

- ネットワークの設定を初期化すると、プリンタの IP アドレスも工場出荷時の値に戻るため、リモート UI のページは Web ブラウザに表示されなくなります。
- IP アドレスの設定をやり直す方法については、「プリンタに IP アドレスを設定する」を参照してください。 →P.806
- リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.809

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5. [ネットワークインタフェース]グループの右下にある[プリンタの初期化]をクリックします。

6. メッセージを確認して[OK]をクリックし、ネットワークの設定を初期化します。

メモ

- ネットワークの設定の初期化は、imagePROGRAF Device Setup Utility またはプリンタの操作パネルから行うこともできます。

ネットワークの設定 (Windows)

プリンタドライバの接続先を設定する

ここでは、プリンタの IP アドレスを変更した場合や、プリンタを USB 接続からネットワーク接続に変更する場合などに、プリンタドライバの接続先を設定する手順を説明します。
この手順は、Windows 標準の TCP/IP ポート（[Standard TCP/IP Port]）を使用し、LPR または Raw プロトコルを使用する場合の設定方法です。

重要

- TCP/IP ネットワークでプリンタを使用する場合は、プリンタに IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。
  - プリンタに IP アドレスを設定する →P.806

1. [プリンタと FAX]（または[プリンタ]）ウィンドウを開きます。
2. プリンタのアイコンを右クリックして[プロパティ]を選択し、プリンタのプロパティのウィンドウを開きます。
3. [ポート]タブをクリックし、[ポート]シートを表示します。
4. [ポートの追加]をクリックし、[プリンタポート]ダイアログボックスを開きます。
5. [利用可能なポートの種類]の一覧から[Standard TCP/IP Port]を選択します。
6. [新しいポート]をクリックします。
   ウィザードが起動し、[標準 TCP/IP プリンタ ポートの追加ウィザードの開始]ウィンドウが表示されます。
7. [次へ]をクリックします。
8. [プリンタ名または IP アドレス]に、プリンタの IP アドレスを入力します。なお、DNS が設定されている場合は、DNS ドメイン名での入力もできます。
9. 画面の指示に従ってプリンタポートを追加します。
10. [閉じる]をクリックし、[プリンタポート]ダイアログボックスを閉じます。
11. [印刷するポート]に追加したポートが表示され、チェックボックスがオンになっていることを確認します。
12. [閉じる]をクリックし、プリンタのプロパティのウィンドウを閉じます。

プリンタに NetWare ネットワークの設定をする

NetWare ネットワークは、以下の手順で設定します。

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5. [NetWare]グループの右上にある[変更]をクリックし、[NetWare プロトコル設定の変更]ページを表示します。

6. NetWare の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

NetWare の設定項目

項目名		内容	初期値
[フレームタイプ]		NetWare で使用するフレームタイプを選択できます。	無効
[NCP バーストモード]		オンにすると、NCP バーストモードを使用できます。キューサーバーモードで印刷する場合に、データを高速で転送するモードです。通常はオンのまま使用してください。	オン
[プリントサービス]		使用するプリントサービスを選択できます。 • [Bindery PServer] • [RPrinter] • [NDS PServer] • [NPrinter]	NDS PServer
[パケットサイン]		[サーバが要求した場合に使用する]を選択すると、パケットサインを使用できます。	[サーバが要求した場合に使用する]
[Bindery PServer]	[ファイルサーバ名]	NetWare プリントサーバーがあるファイルサーバー名を設定できます。 (0〜47 文字)	—
	[プリントサーバ名]	NetWare プリントサーバー名を設定できます。 (0〜47 文字)	—
	[プリントサーバパスワード]	プリントサーバーのパスワードを設定できます。 (0〜20 文字)	—
	[ポーリング間隔]	ジョブを確認する間隔を設定できます。 (1〜15 秒)	5
[RPrinter]	[プリントサーバ名]	NetWare プリントサーバー名を設定できます。 (0〜47 文字)	—
	[プリンタ番号]	NetWare プリントサーバーに接続しているプリンタの番号を設定できます。 (0〜15)	0

項目名		内容	初期値
[NDS PServer]	[ツリー名]	NetWare プリントサーバーがある NDS ツリー名を設定できます。 (0～32 文字)	—
	[コンテキスト名]	NetWare プリントサーバーがあるコンテキスト名を設定できます。 (0～255 文字)	—
	[プリントサーバ名]	NetWare プリントサーバー名を設定できます。 (0～64 文字)	—
	[プリントサーバパスワード]	プリントサーバーのパスワードを設定できます。 (0～20 文字)	—
	[ポーリング間隔]	ジョブを確認する間隔を設定できます。 (1～255 秒)	5
[NPrinter]	[プリントサーバ名]	NetWare プリントサーバー名を設定できます。 (0～47 文字)	—
	[プリンタ番号]	NetWare プリントサーバーに接続しているプリンタの番号を設定できます。 (0～254)	0

7. [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

プリンタのフレームタイプを設定する

ご使用の NetWare 環境に合わせて Ethernet のフレームタイプを設定し、プリンタとコンピュータが通信できるようにします。
プリンタのフレームタイプは、imagePROGRAF Device Setup Utility またはプリンタの操作パネルを使用し、以下の手順で設定します。

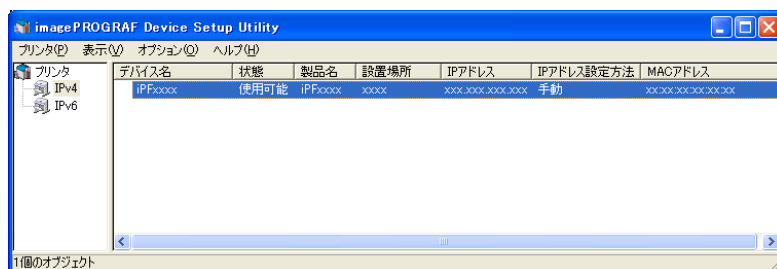
メモ

- プリンタに IP アドレスが設定されている場合は、リモート UI を使用してプリンタのフレームタイプを設定することができます。

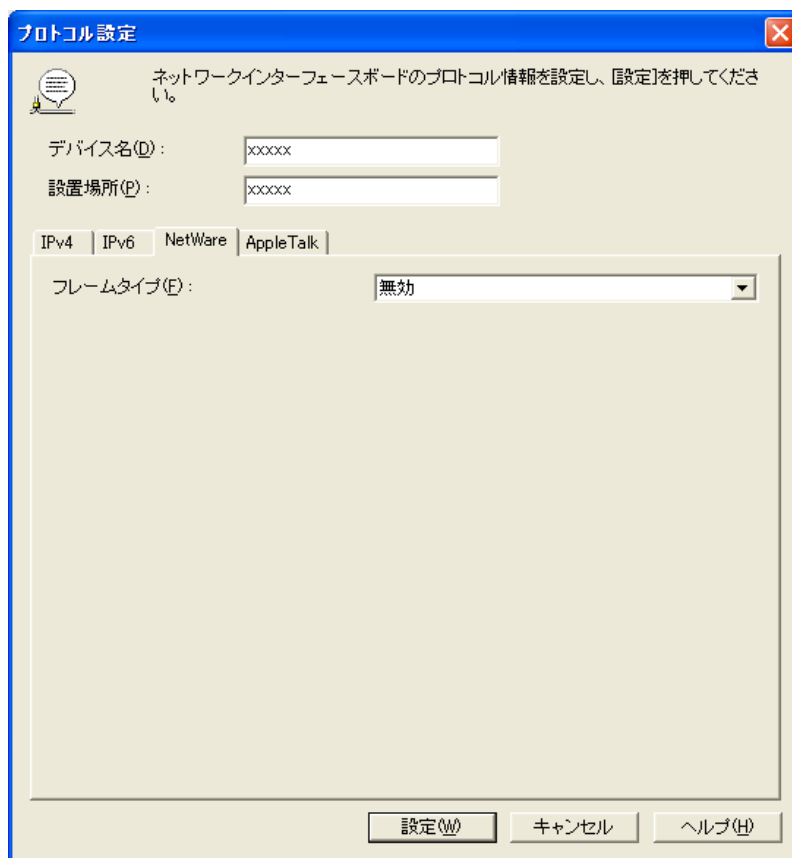
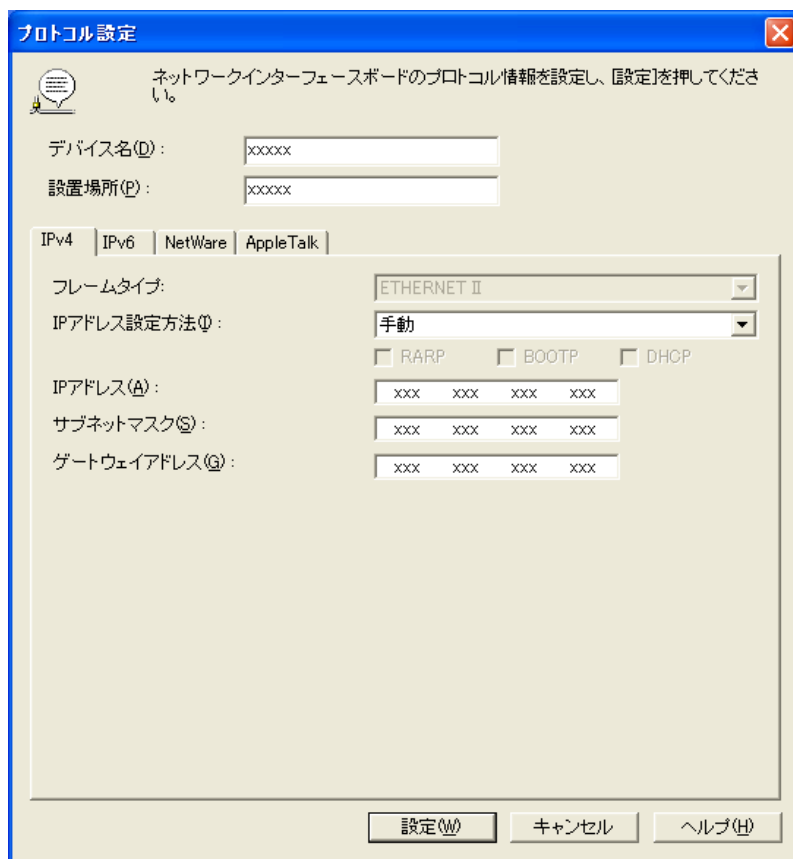
重要

- フレームタイプを設定する前に、プリンタの電源がオンになっていること、プリンタがネットワークに接続されていることを確認してください。
- imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする方法については、「imagePROGRAF Device Setup Utility をインストールする」を参照してください。 →P.403

imagePROGRAF Device Setup Utility でフレームタイプを設定する

1. imagePROGRAF Device Setup Utility を起動します。

2. 一覧に表示されるプリンタの名前から、設定するプリンタを選択します。

3. [プリンタ]メニューから[プロトコル設定]を選択します。

4. [NetWare]タブを選択し、[NetWare フレームタイプ]の一覧からフレームタイプを選択します。

5. [IPv4]タブを選択します。[IP アドレス]でプリンタに割り当てる IP アドレスを入力し、[サブネットマスク]でサブネットマスク、[ゲートウェイアドレス]でデフォルトゲートウェイを入力します。

重要

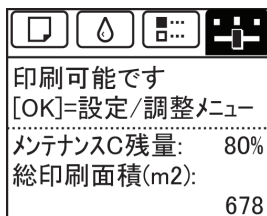
- リモート UI を使用して NetWare プロトコルを設定するため、ここで IP アドレスを設定しておく必要があります。

6. [設定]をクリックします。

7. [確認]メッセージダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

8. imagePROGRAF Device Setup Utility を終了します。

プリンタの操作パネルでフレームタイプを設定する

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[NetWare]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[NetWare]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[使う]を選択し、[OK]キーを押します。
[NetWare]メニューに戻ります。

7. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ]を選択し、[OK]キーを押します。

8. [▲]キー、[▼]キーを押して使用するフレームタイプを選択し、[OK]キーを押します。
[NetWare]メニューに戻ります。

9. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾌﾟﾘﾝﾄ ｻｰﾋﾞｽ]を選択し、[OK]キーを押します。

10. [▲]キー、[▼]キーを押して使用するプリントサービスを選択し、[OK]キーを押します。
[NetWare]メニューに戻ります。

11. [メニュー]キーを押します。
設定値を変更した場合は、確認のメッセージが表示されますので、[OK]キーを押します。

重要

- 必ず手順 11 の操作を行い、設定を登録してください。この操作により、入力値が有効となります。

メモ

- エラーが表示される場合は、各設定値を確認し、設定し直してください。
- 設定を中止する場合は、[戻る]キーを押してください。

NetWare プリントサービスを設定する

NetWare ネットワークを使用して印刷するには、プリントサーバーやプリントキューなどのプリントサービスを設定する必要があります。プリントサービスの設定は、以下のいずれかのソフトウェア(NetWare に付属の Novell 社製ソフトウェア)を使用してご使用のコンピュータから設定できます。

- NWADMIN
- PCONSOLE

重要

- NWADMIN からプリントサービスを設定するには、クライアントソフトとして Novell Client (Novell 社製の NetWare クライアント)がインストールされている必要があります。
- Windows Vista、Windows Server 2008 および Windows 7 では NetWare ネットワークは使用できません。

ここでは、NetWare プリントサービスを設定する手順を説明します。ご使用の環境によっては、設定手順が異なることがあります。

プリントサービスの種類を選択する

プリントサービスを設定する前に、以下の説明を参考に、使用するプリントサービスの種類を選択してください。

メモ

- NetWare 5.1/6.0 では、プリントサービスとして NDPS を使用することもできます。NDPS を使用するときは、ゲートウェイとして NetWare に付属の Novell プリンタゲートウェイを使用してください。NDPS の設定方法については、NetWare のマニュアルを参照してください。

- NDS(ノベルディレクトリサービス)とバインダリ
  NDS とバインダリの両方に対応しています。ご使用のネットワーク環境に合わせてモードを選択してください。
- キューサーバーモードとリモートプリンタモード
  キューサーバーモードとリモートプリンタモードの両方に対応しています。
  - キューサーバーモード
    キューサーバーモードで使用する場合、プリントサーバーの機能をすべて備えているため、プリントサーバー用のハードウェアやソフトウェアを用意する必要はありません。NDS のキューサーバーモード(NDS PServer)では、NDS のプリントサーバーを使用して印刷します。バインダリのキューサーバーモード(Bindery PServer)では、バインダリのプリントサーバーを使用して印刷します。また、キューサーバーモードでは、使用するネットワークインタフェースごとに NetWare ユーザーライセンスが必要です。
  - リモートプリンタモード
    リモートプリンタモードで使用する場合、NetWare プリントサーバーによって制御されます。そのため、NetWare プリントサーバーが必要です。NDS のリモートプリンタモード(NPrinter)では NDS のプリントサーバーを使用して、バインダリのリモートプリンタモード(RPrinter)ではバインダリのプリントサーバーを使用して印刷します。

NWADMIN、PCONSOLE でプリントサーバーを設定する

NDS のキューサーバーモード/リモートプリンタモードで使用する場合は、NWADMIN でプリントサーバーを設定します。

1. NetWare に Admin または Admin と同等の権限を持つユーザーとしてログインし、NWADMIN を起動します。

2. クイックセットアップを実行します。

   1. [ツール]メニューから[プリントサービスクイックセットアップ]を選択します。
   2. [プリントサーバ名]に任意の名前の入力します。既存のプリントサーバーを使用する場合は、右横のボタンをクリックし、一覧から選択します。
   3. プリンタの[名前]に任意の名前を入力します。
   4. キューサーバーモードで使用する場合は、[タイプ]で[その他/不明]を選択します。リモートプリンタモードで使用する場合は、[タイプ]で[パラレル]を選択して[通信]をクリックし、[ポート]を[LPT1]に、[接続タイプ]を[手動ロード]に設定します。
   5. プリントキューの[名前]に任意の名前を入力します。

6. [ボリューム]に、プリントキューを作成するボリュームオブジェクト(ネットワーク上の物理ボリュームを表すオブジェクト)を入力します。右横のボタンをクリックすると一覧から選択できます。
7. 他の項目を設定し、[OK]をクリックします。

メモ
- プリントサーバーの名前は、プリンタのプロトコルを設定するときに必要です。メモしておいてください。
- クイックセットアップを実行すると、プリンタ番号 0 にプリンタが割り当てられます。キューサーバーモードで使用する場合は、プリンタ番号を 0 から変更しないでください。

3. パスワードを設定します。
   1. 手順 2 で作成したプリントサーバーを選択し、右クリックして[詳細]を選択します。
   2. [パスワード変更]をクリックしてパスワード入力ダイアログボックスを開き、パスワードを入力します。
   3. [OK]をクリックし、パスワード入力ダイアログボックスを閉じます。
   4. [OK]または[キャンセル]をクリックし、詳細ダイアログボックスを閉じます。
4. リモートプリンタモードで使用する場合は、プリントサーバーを起動します。
   例えば、NetWare ファイルサーバーをプリントサーバーとして使用する場合は、ファイルサーバーで[LOAD PSERVER.NLM]を入力して＜ Enter ＞キーを押します。

メモ
- キューサーバーモードで使用する場合は、この手順は必要ありません。

バインダリのキューサーバーモードまたはリモートプリンタモードで使用する場合は、PCONSOLE でプリントサーバーを設定します。

1. NetWare に Admin としてログインし、PCONSOLE を起動します。
2. バインダリモードに変更します。
3. プリントサーバーを作成していない場合は、プリントサーバーを作成します。
   1. [利用可能な項目]から[クイックセットアップ]を選択し、＜ Enter ＞キーを押します。
   2. 作成するプリントサーバーの名前、新しいプリンタ、およびキューの名前を入力します。

メモ
- プリントサーバーの名前は、プリンタのプロトコルを設定するときに必要です。メモしておいてください。

4. プリンタのタイプを設定します。
   1. キューサーバーモードで使用するときは、[タイプ]で[その他／不明]を選択します。リモートプリンタモードで使用するときは、[プリンタタイプ]で[パラレル]を選択し、[位置]を[手動ロード]に設定します。
   2. ＜ Esc ＞キーを押します。
   3. 確認のダイアログボックスで、[Yes]を選択し、＜ Enter ＞キーを押します。
5. パスワードを設定します。
   1. [利用可能な項目]から[プリントサーバ]を選択し、＜ Enter ＞キーを押します。

2. 手順 2 で作成したプリントサーバーを選択し、< Enter >キーを押します。
3. [パスワード]を選択して< Enter >キーを押し、パスワードを入力する画面を開きます。
4. パスワードを入力し、< Enter >キーを押します。

6. < Esc >キーを数回押して PCONSOLE の終了を確認するダイアログボックスを表示します。

7. [Yes]を選択し、PCONSOLE を終了します。

NetWare プロトコルを設定する

フレームタイプ以外の NetWare プロトコルは、リモート UI を使用し、以下の手順で設定します。

メモ
- リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.809

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/

2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。

3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。

4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

5. [NetWare]グループの右上にある[変更]をクリックし、[NetWare プロトコル設定の変更]ページを表示します。

6. [フレームタイプ]で、NetWare ネットワークで使用しているフレームタイプが表示されていることを確認します。

7. バーストモードを使用する場合は、[NCP バーストモード]で[オン]をクリックします。

メモ
- バーストモードは、キューサーバーモードで印刷する場合にデータを高速で転送するモードです。通常は、[オン]を選択してください。

8. [プリントサービス]で、使用するプリントサービスをクリックします。

メモ
- ここで選択したプリントサービスが有効になります。同時に複数のプリントサービスを有効にすることはできません。

9. パケットサインを使用する場合は、[パケットサイン]で[サーバが要求した場合に使用する]をクリックします。

10. 選択したサービスに応じて、以下の設定を行います。

- Bindery PServer を選択した場合:キューサーバーモード(バインダリのプリントサーバーを使用)

1. [ファイルサーバ名]にファイルサーバー名を入力します。

2. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.823 」で作成したプリントサーバー名を入力します。
3. [プリントサーバパスワード]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.823 」で作成したプリントサーバーパスワードを入力します。
4. [ポーリング間隔]に、プリンタが NetWare プリントキューを確認する間隔を設定します。

- RPrinter を選択した場合:リモートプリンタモード(バインダリのプリントサーバーを使用)

1. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.823 」で作成したプリントサーバーのアドバタイジング名を入力します。
2. [プリンタ番号]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.823 」で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。

- NDS PServer を選択した場合:キューサーバーモード(NDS のプリントサーバーを使用)

1. [ツリー名]、[コンテキスト名]にプリントサーバーがあるツリー名、コンテキスト名を入力します。
2. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.823 」で作成したプリントサーバー名を入力します。
3. [プリントサーバパスワード]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.823 」で作成したプリントサーバーパスワードを入力します。
4. [ポーリング間隔]に、プリンタが NetWare プリントキューを確認する間隔を設定します。

- NPrinter を選択した場合:リモートプリンタモード(NDS のプリントサーバーを使用)

1. [プリントサーバ名]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.823 」で作成したプリントサーバーのアドバタイジング名を入力します。アドバタイジング名は、通常プリントサーバー名と同じ名前に設定されています。
2. [プリンタ番号]に「NetWare プリントサービスを設定する →P.823 」で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。

11. [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

NetWare プロトコルの設定項目の一覧については、「プリンタに NetWare ネットワークの設定をする」を参照してください。 →P.819

NetWare ネットワークを設定する

NetWare ネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順でネットワーク環境を設定します。

重要

- ネットワークの設定には[Administrator]アカウントに相当する管理者権限が必要です。ネットワークの設定は、ネットワーク管理者が行うことをお勧めします。

1. プリンタがコンピュータとの通信に使用する Ethernet のフレームタイプを設定します。
設定方法については、「プリンタのフレームタイプを設定する」を参照してください。 →P.820

2. プリントサーバーやプリントキューなどの NetWare のプリントサービスを設定します。
設定方法については、「NetWare プリントサービスを設定する」を参照してください。 →P.823

3. フレームタイプ以外の NetWare プロトコルの詳細を設定します。
設定方法については、「NetWare プロトコルを設定する」を参照してください。 →P.826
この手順までの設定が完了したら、NetWare ネットワークで印刷するための設定を、各コンピュータで行います。

4. NetWare ネットワークに接続します。
印刷を行うすべてのコンピュータに NetWare クライアントソフトをインストールし、NetWare サーバーまたはツリーにログインします。接続する方法については、NetWare のマニュアルや OS のマニュアルを参照してください。

5. プリンタドライバをインストールします。
ネットワーク管理者の指示に従って、印刷を行うすべてのコンピュータにプリンタドライバをインストールします。インストールするときは、プリンタの接続先として[ネットワークプリンタ]を選択し、NetWare プリントサービスの設定で作成したプリントキューを選択します。

6. 以下の手順でプリンタのポートを設定します。プリンタドライバのインストール中にプリンタの接続先を設定した場合は、この手順は必要ありません。
    1. [プリンタと FAX](または[プリンタ])ウィンドウを開きます。
    2. プリンタのアイコンを選択して右クリックし、[プロパティ]を選択します。
    3. [ポート](または[詳細])タブをクリックし、[ポート](または[詳細])シートを表示します。
    4. 印刷先のポートを NetWare プリントサービスの設定で作成したプリントキューに設定します。

ネットワークの設定 (Mac OS X)

プリンタドライバの接続先を設定する

プリンタの IP アドレスを変更した場合や、プリンタを USB 接続からネットワーク接続に変更する場合などは、プリンタドライバの接続先を設定します。

- TCP/IP ネットワークに変更したり、プリンタの IP アドレスを変更する場合については、「TCP/IP ネットワークで接続先を設定する」を参照してください。→P.832
- Bonjour ネットワークに変更する場合は、「Bonjour ネットワークで接続先を設定する」を参照してください。→P.834

プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする

AppleTalk ネットワークは、以下の手順で設定します。

1. Web ブラウザを起動し、[場所](または[アドレス])に以下の URL を入力し、リモート UI のページを表示します。
   http://プリンタの IP アドレスまたは名前/
   入力例: http://xxx.xxx.xxx.xxx/
2. [管理者モード]をクリックし、[ログオン]をクリックします。
3. プリンタにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。
4. 左側の[デバイス管理]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。
5. [AppleTalk]グループの右上にある[変更]をクリックし、[AppleTalk プロトコル設定の変更]ページを表示します。
6. AppleTalk の設定項目の表を参考に、各項目を設定します。

AppleTalk の設定項目

項目名	内容	初期値
[フェーズタイプ]	AppleTalk の使用を設定できます。 AppleTalk を使用する場合は、[フェーズ 2]を選択します。 AppleTalk を使用しない場合は、[無効]を選択します。	無効
[名前] (*1)	AppleTalk で使用するオブジェクト名(半角 1～31 文字、全角 1～15 文字)を設定できます。 半角の@、*、:、=は使用できません。	Canon NB-18GB (xxxxxx)
[ゾーン] (*2)	プリンタのゾーン名(半角 1～31 文字)を設定できます。 @、:、=は使用できません。また、デフォルトゾーンを示す[*]1 文字のみの設定を除き、文字列中の*は使用できません。	*

*1:[名前]に設定したオブジェクト名が、Mac OS X 10.2.8〜10.4 の[プリンタ設定ユーティリティ](または[プリントセンター])に表示されます。プリンタが同じゾーン内に複数ある場合は、それぞれ固有の名前を付けてください。初期値は、ネットワークインタフェース名[Canon NB-18GB(xxxxxx)]です。(xxxxxx はプリンタの MAC アドレスの下 6 桁)

*2:ネットワーク上にゾーンが設定されている場合は、プリンタが属するゾーン名を入力します。ゾーンが設定されていない場合は、[*](デフォルトゾーン)のままで使用してください。ネットワーク上に設定されていないゾーン名を入力すると、Macintosh のコンピュータから認識されなくなります。ゾーン名については、ネットワーク管理者に確認してください。

7. [OK]をクリックし、[ネットワーク]ページを表示します。

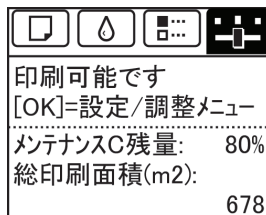
AppleTalk ネットワークで接続先を設定する

AppleTalk ネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順で AppleTalk プロトコルを有効にし、接続先を設定します。

AppleTalk プロトコルを有効にする

重要

- 工場出荷時の状態では、プリンタの AppleTalk プロトコルは無効に設定されています。

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して ⊟ (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝﾀﾌｪｰｽ設定]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[AppleTalk]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[使う]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [メニュー]キーを押します。
設定値を変更した場合は、確認のメッセージが表示されますので、[OK]キーを押します。

重要

- 必ず手順 6 の操作を行い、設定を登録してください。この操作により、入力値が有効となります。

メモ

- リモート UI では、AppleTalk で使用するオブジェクト名やプリンタのゾーン名も設定できます。リモート UI については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.809

接続先を設定する（Mac OS X）

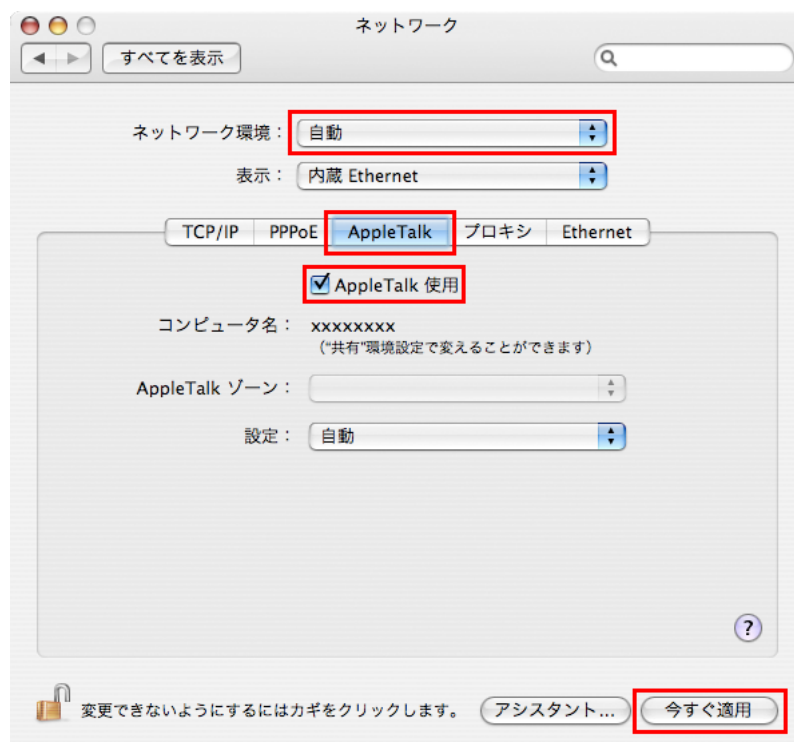
重要

- AppleTalk は Mac OS X v10.2.8〜10.4 で対応しています。

メモ

- 以下の操作手順は、Mac OS X v10.4 のものです。接続先の設定方法は、Mac OS X のバージョンによって異なります。
- imagePROGRAF プリンタドライバは、AppleTalk には対応していません。

1. [システム環境設定]の[ネットワーク]をクリックし、[ネットワーク]ウィンドウを開きます。

2. [表示]の一覧から[内蔵 Ethernet]を選択します。次に、[AppleTalk]をクリックし、[AppleTalk 使用]チェックボックスをオンにし、[今すぐ適用]をクリックします。

3. [ネットワーク]ウィンドウを閉じ、設定を保存します。

TCP/IP ネットワークで接続先を設定する

TCP/IP ネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順で接続先を設定します。

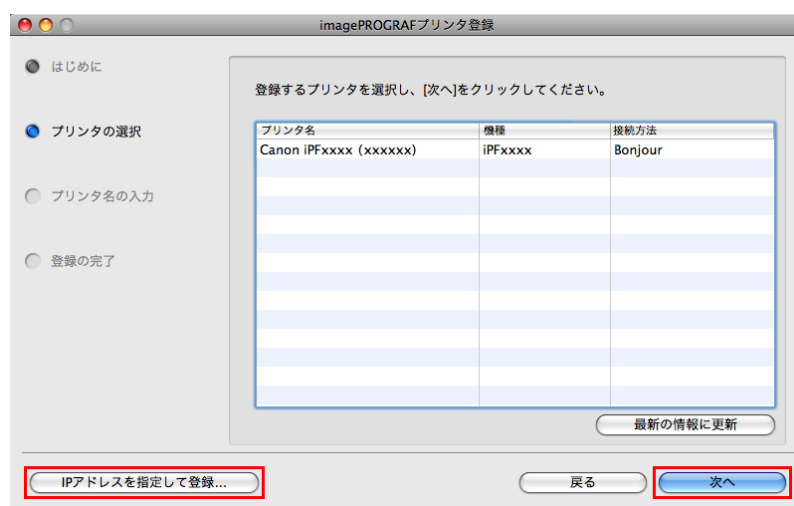
重要

- TCP/IP ネットワークでプリンタを使用する場合は、プリンタに IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。(「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する」参照) →P.806

接続先を設定する（Mac OS X）

1. [アプリケーション]フォルダ内の[Canon Utilities]-[imagePROGRAF PrinterSetup]フォルダにある[imagePROGRAF PrinterSetup.app]をダブルクリックします。

2. [次へ]をクリックします。

3. [IP アドレスを指定して登録]をクリックします。

4. 機種、種別を選択してから IP アドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

5. [プリンタ名]、[場所]を任意で入力し、[登録]をクリックします。

6. [完了]をクリックします。

Bonjour ネットワークで接続先を設定する

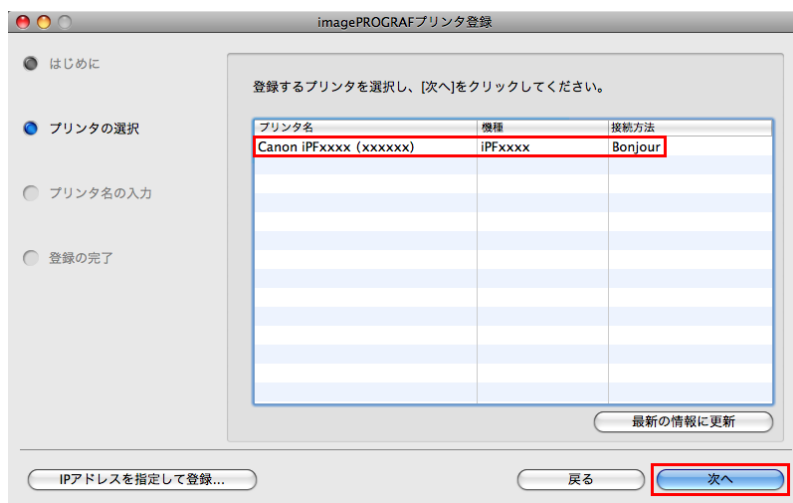
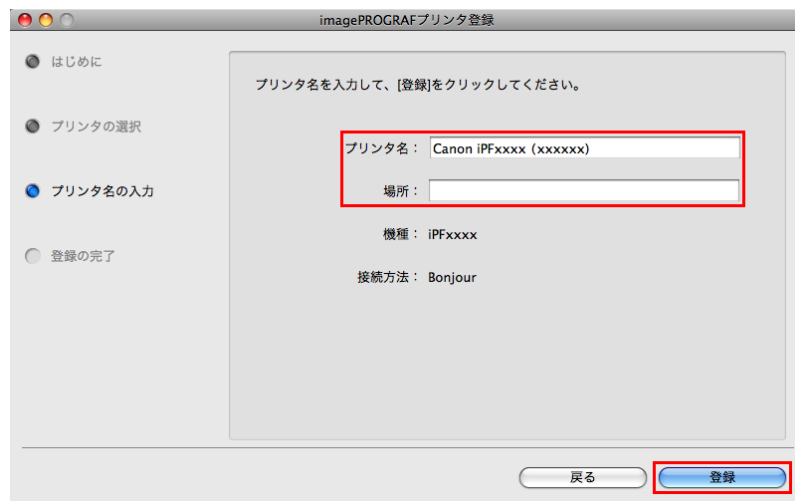
Bonjour 機能を使用したネットワークでプリンタを使用する場合は、以下の手順で接続先を設定します。

重要

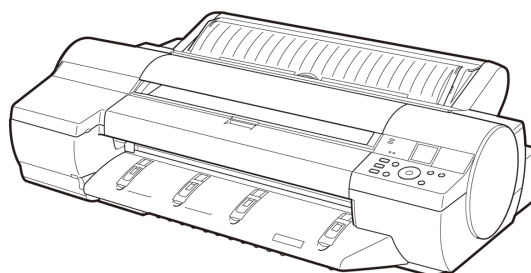
- Bonjour 機能や[IP プリント(自動)]では、ルーターを経由した他のネットワークグループ上のプリンタで印刷することはできません。コンピュータとプリンタを同じネットワークグループに接続してください。ご使用のネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。
- プリンタの Bonjour 機能は、あらかじめ有効になっています。Bonjour 機能の有効/無効やプリンタ名は、リモート UI を使用して変更できます。変更する方法については、「リモート UI を使う」を参照してください。 →P.809

1. [アプリケーション]フォルダ内の[Canon Utilities]-[imagePROGRAF PrinterSetup]フォルダにある[imagePROGRAF PrinterSetup.app]をダブルクリックします。

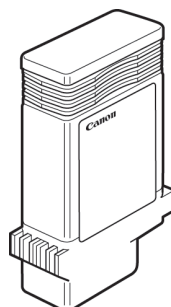
2. [次へ]をクリックします。

3. 登録するプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

4. [プリンタ名]、[場所]を任意で入力し、[登録]をクリックします。

5. [完了]をクリックします。

メンテナンス

インクタンク

インクタンク

インクタンクをご購入の際は、以下のインクタンクの型番が記載されていることをご確認ください。

- PC インクタンク PFI-105PC
- C インクタンク PFI-105C
- MBK インクタンク PFI-105MBK
- Y インクタンク PFI-105Y
- M インクタンク PFI-105M
- PM インクタンク PFI-105PM
- R インクタンク PFI-105R
- G インクタンク PFI-105G
- B インクタンク PFI-105B
- PGY インクタンク PFI-105PGY
- GY インクタンク PFI-105GY
- BK インクタンク PFI-105BK
  各色 130ml

メモ

- インクタンクの交換方法については、「インクタンクを交換する」を参照してください。 →P.837
- キヤノンでは対象製品毎に製品安全データシート(MSDS)を用意しており、ホームページ上 → canon.jp/ecology で公開しています。MSDS とは Material Safety Data Sheet の略で、日本語では製品安全データシートと呼ばれています。化学製品を安全かつ適切に取扱っていただくために、製品に含まれる物質名やその危険有害性情報、取扱い上の注意、環境への影響などに関する情報を記載した資料です。

インクタンクを交換する

対応しているインクタンク

このプリンタで使用できるインクタンクについては、「インクタンク」を参照してください。 →P.837

インクタンクの取り扱い上の注意

インクタンクを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

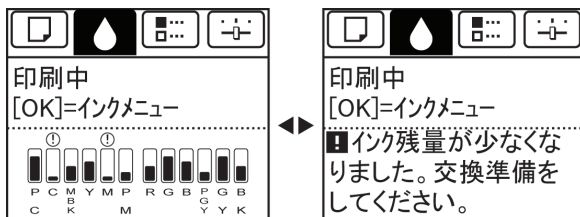
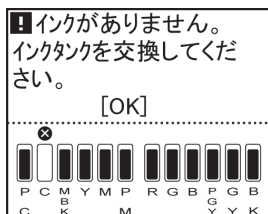
注意

- 安全のため、インクタンクはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。
- 取り外したインクタンクのインク供給部には、インクが付着している場合があります。インクタンクの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

重要

- 本製品で一度使用したインクタンクを、他の機種のプリンタに使用しないでください。
  インクの残量が正しく検知されず、プリンタに損傷・異常が発生することがあります。
- インクタンクは、開封後、半年以内に使い切ることをお勧めします。時間の経過したインクタンクを使用すると、印刷品質が低下する場合があります。
- プリンタは、長期間(1 か月以上)、インクタンクを取り外した状態にしないでください。プリンタに残ったインクがつまり、印刷不良の原因になります。

インクタンクが交換可能であることを確認する

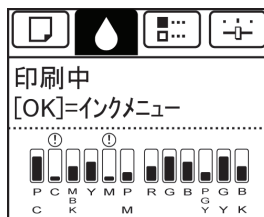
ディスプレイにインクタンクの残量確認や交換を指示するメッセージなどが表示されているときに、インクタンクを交換できます。

インクタンクの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、[OK]キーを押します。この場合は、[インクタンク交換のメニューを選択する]の操作は不要です。[インクタンクを取り外す]に進んでください。

重要

- 電源をオンにした直後のプリンタの初期化中、ヘッドクリーニング中は、インクタンクを取り外さないでください。

メモ

- インクタンクは、印刷中、印刷ジョブのキャンセル中、用紙の給紙中も交換できます。

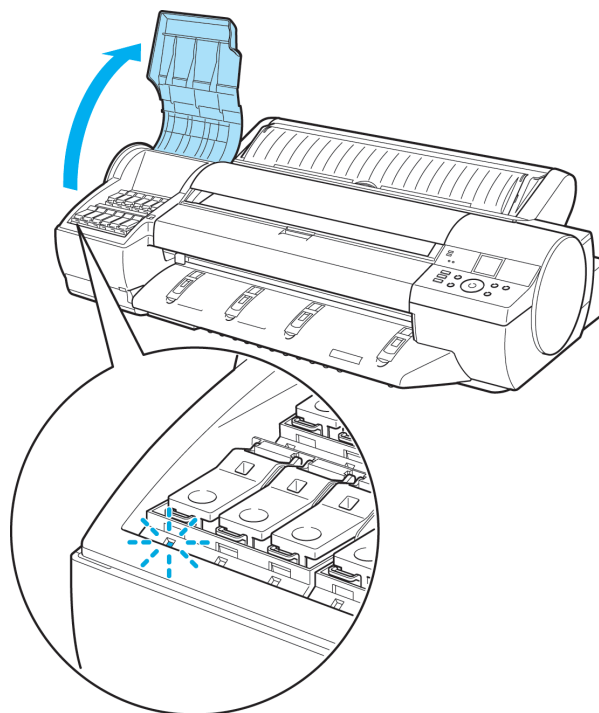
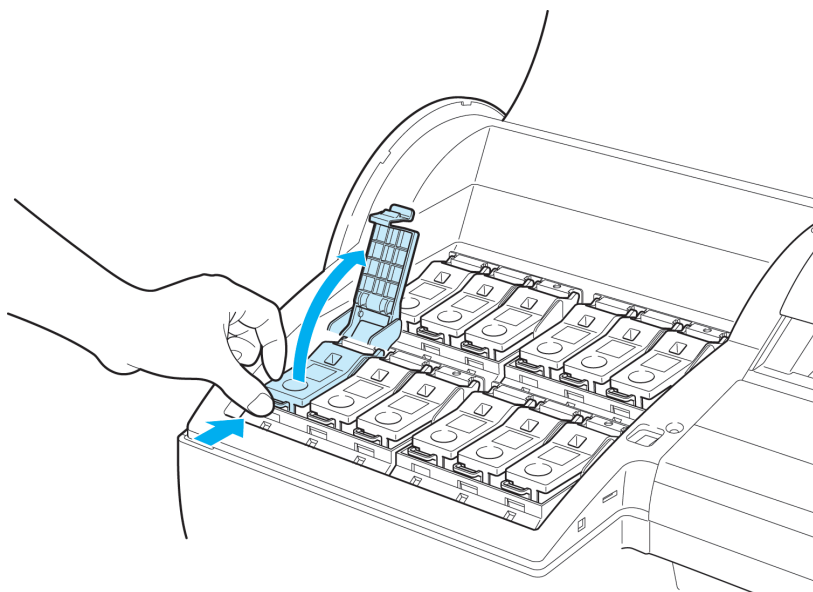
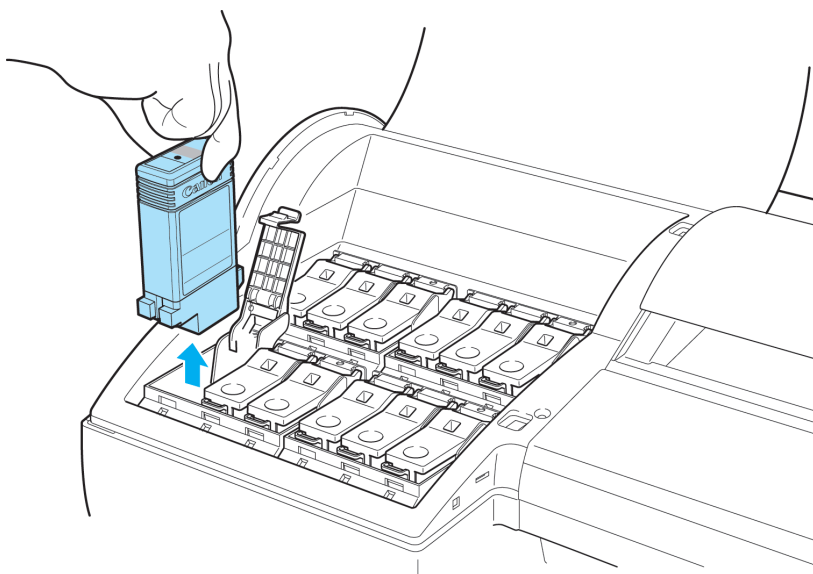
インクタンク交換のメニューを選択する

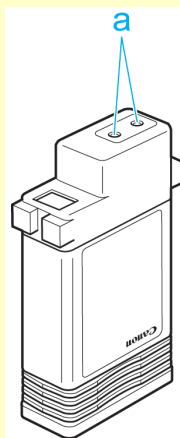
1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (インクタブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[ｲﾝｸﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝｸﾀﾝｸ交換]を選択し、[OK]キーを押します。
ディスプレイにインクタンクカバーを開けるメッセージが表示されます。引き続き、インクタンクを取り外します。

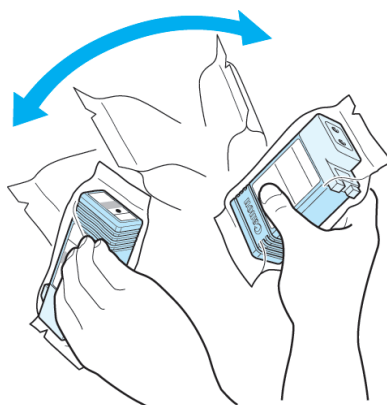
インクタンクを取り外す

1. インクタンクカバーを開き、インクランプを確認します。
インクが少なくなると、インクランプが点滅します。

2. 交換する色のインクタンク固定レバーの先端を水平に押しながら、インクタンク固定レバーを上に開きます。

3. つまみ部を持ってインクタンクを取り出し、[OK]キーを押します。

注意

- 取り出したインクタンクにインクが残っているときは、インク供給部(a)を上にして保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。取り出したインクタンクは、ビニール袋に入れて口を閉じてください。

メモ

- キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みのインクタンクの回収を推進しています。回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
  キヤノンサポートページ → http://canon.jp/support
  事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みのインクタンクをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。
- キヤノンでは、使用済みのインクタンク回収を通じてベルマーク運動に参加しています。ベルマーク参加校単位で使用済みのインクタンクを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、下記のキヤノンホームページ上でご案内しています。
  環境への取り組み → http://canon.jp/ecology

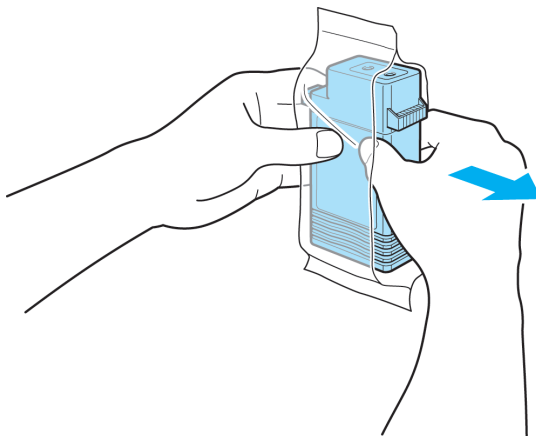
インクタンクをセットする

1. 袋を開封する前に、新しいインクタンクをゆっくりと 7〜8 回振ります。インクタンクの上下が逆さまになるように、ゆっくり回転させながらインクタンクを振ります。

注意

- 一度プリンタにセットしたインクタンクは、取り外して振らないでください。インクが飛び散る場合があります。

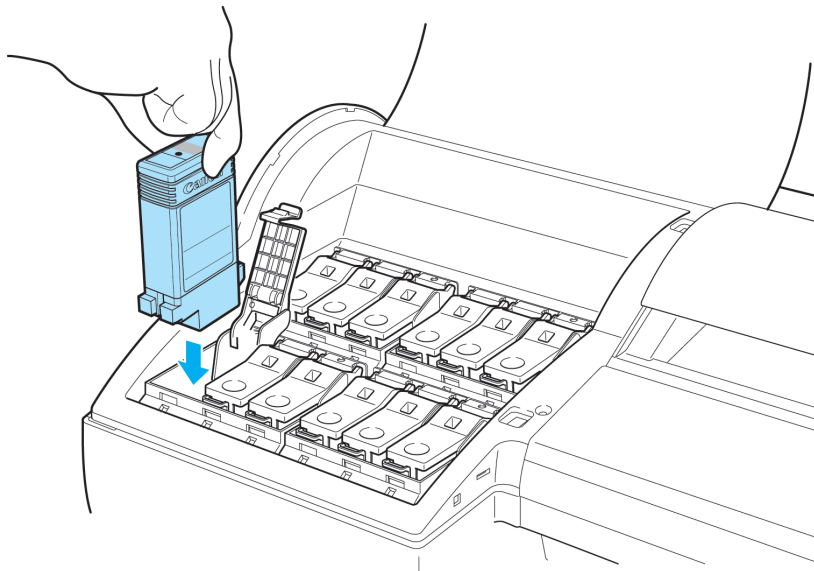
重要

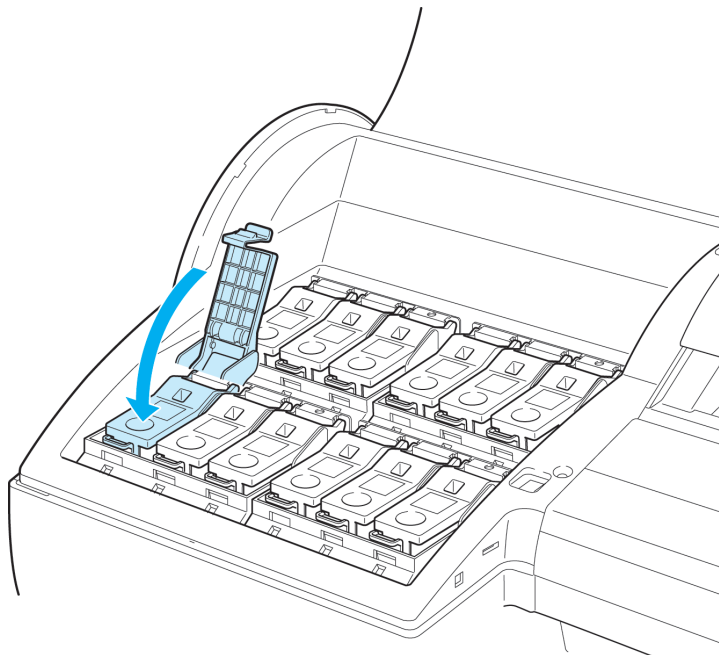
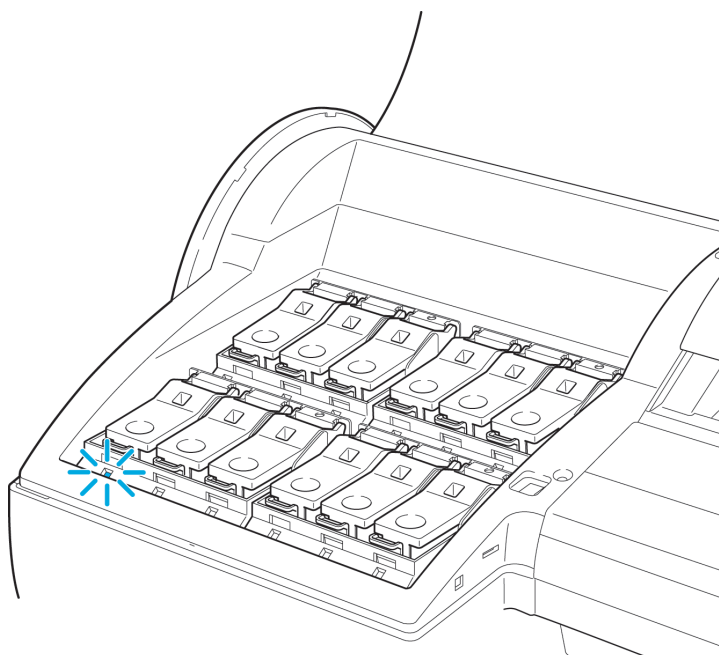
- インクタンクを振らないと、インクの成分が沈殿し、印刷品質が低下する場合があります。

2. 袋を開封し、インクタンクを取り出します。

注意

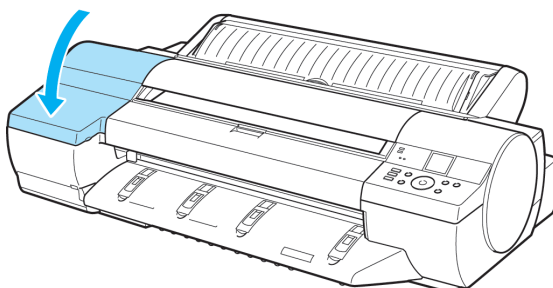
- インク供給部や端子部には、絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。

3. [OK]キーを押し、インク供給部を下側、図の向きにしてインクタンクをホルダーにセットします。

重要

- セットする色と向きが違うと、インクタンクはホルダーにセットできません。
  インクタンクをホルダーにセットできない場合は、無理に入れずに、インクタンク固定レバーに貼ってあるラベルの色表示とインクタンクの色、インクタンクの向きを確認してセットし直してください。

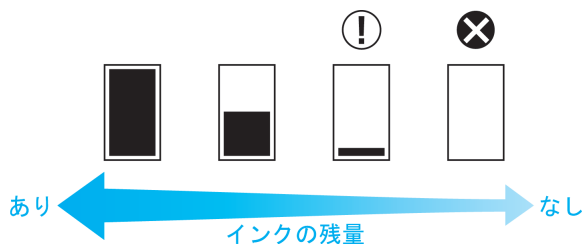
4. インクタンク固定レバーを、カチッと音がするまで閉じます。

5. インクランプが赤く点灯していることを確認します。

メモ

- インクランプが点灯しない場合は、セットし直してください。

6. インクタンクカバーを閉じます。

インクタンクの残量を確認する

インクタンクのインクの残量は、ディスプレイで確認できます。
インクタンクの残り容量を確認する場合は、操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して(インクタブ)を選択します。

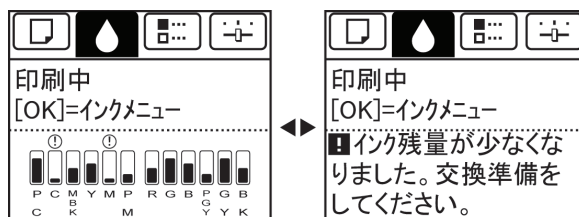
> メモ
> - [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。
> - エラーが発生し、[タブ選択画面]が表示できない場合は、以下の手順で[インクの情報]を表示してください。
>   1. [OK]キーを押して[プリンタの情報]を表示します。
>   2. [▲]キー、[▼]キーを押して[インクの情報]を選択します。
>   3. [OK]キーを押します。

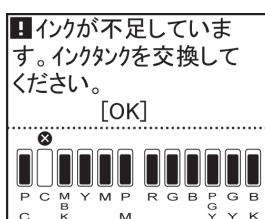
ディスプレイに表示されるインクの残量は、ディスプレイ下部の色ラベルに対応しています。
インクが不足している場合は[!]、インクがない場合は[×]、インク残量検知機能が無効の場合は[?]がインクの残量の上に表示されます。
インクの残量の割合は、以下の図のように表示されます。

ディスプレイにインクタンクの交換を指示するメッセージが表示されたら、インクタンクを交換してください。また、インクの残量確認を指示するメッセージが表示された場合や、インクを大量に消費する長尺印刷、ヘッドクリーニングなどの場合は、残量を確認し、必要に応じてインクタンクを交換してください。(「インクタンクを交換する」参照) →P.837

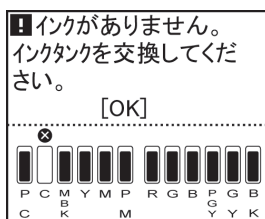
インクタンクの交換時期について

以下の場合、インクタンクを準備または交換してください。

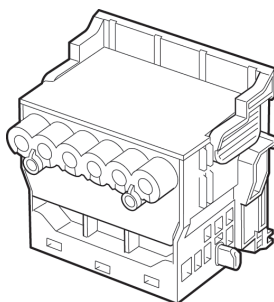
ディスプレイにインク確認のメッセージが表示された場合

インクの残量が少なくなると、[メッセージランプ]が点灯し、ディスプレイに[ｲﾝｸ残量が少なくなりました。]と表示されます。印刷は継続されますが、インクタンクを準備してください。(「インクタンクの残量を確認する」参照) →P.844

インクを大量に消費する印刷やメンテナンスを実行する場合

インクの残量が少なくなると、インクを大量に消費する、長尺印刷、ヘッドクリーニング、メンテナンスなどを十分に実行できない場合があります。その場合は、インクタンクを準備または交換してからメンテナンスを実行してください。

ディスプレイにインク交換のメッセージが表示された場合

インクがなくなると、[メッセージランプ]が点滅し、ディスプレイにインクタンク交換のメッセージが表示され、印刷できません。インクタンクを交換してください。

プリントヘッド

プリントヘッド

- プリントヘッド PF-05

メモ

- プリントヘッドの交換方法については、「プリントヘッドを交換する」を参照してください。 →P.848

ノズルのつまりをチェックする

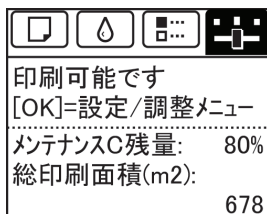
印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの各ノズルがつまっていないかを確認します。

メモ

- ノズルのつまりは、一定の間隔でチェックされています。ノズルのチェックについては、操作パネルのメニューで[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ設定]を設定してください。(「メニューの設定値」参照) →P.777

1. 未使用の用紙をセットします。
   - ロール紙をロールホルダーにセットする →P.669
   - ロール紙をプリンタにセットする →P.672
   - カット紙を手差しでセットする →P.694

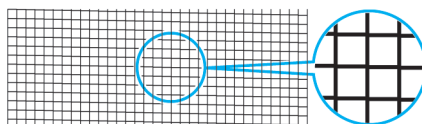
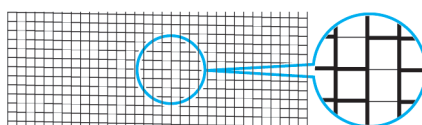
2. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

3. [OK]キーを押します。
[設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾃｽﾄﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸﾌﾟﾘﾝﾄ]を選択し、[OK]キーを押します。
ノズルチェックパターンが印刷されます。

6. 印刷結果を確認します。
横線がかすれていない、横線が抜けていない場合は、ノズルは正常です。

横線がかすれていたり抜けている場合は、その色のノズルがつまっています。

横線がかすれていたり抜けている場合は、以下の手順でノズルのつまりを再度チェックしてください。

1. プリントヘッドのクリーニングを実行します。(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.847

2. ノズルチェックパターンを印刷します。

メモ
- 上記の操作を何回か繰り返しても横線がかすれていたり抜けている場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

プリントヘッドをクリーニングする

印刷がかすれる場合は、プリントヘッドをクリーニングすると改善される場合があります。
プリントヘッドをクリーニングする方法には、[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]と[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]の 2 つの方法がありますので、症状によりいずれかを実行してください。

- [ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]
印刷がかすれた場合や、印刷物にごみが付いた場合などに実行します。インクの消費が少ないクリーニング方法です。
所要時間は約 6 分です。

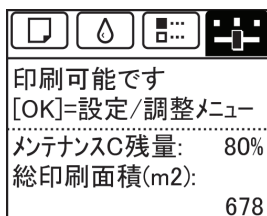
- [ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]
インクがまったく出ない場合や、[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]を実行しても改善されない場合に実行します。
所要時間は約 7 分です。

注意
- [ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]および[ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]の実行中は、メンテナンスカートリッジやインクタンクを取り外さないでください。

メモ

- [ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を実行しても改善されない場合は、[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を 1〜2 回繰り返してください。それでも改善されない場合は、プリントヘッドの寿命の可能性がありますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- ノズルのつまりは、一定の間隔でチェックされています。ノズルのチェックについて、操作パネルのメニューで[ﾉｽﾞﾙﾁｪｯｸ設定]を設定してください。(「メニューの設定値」参照) →P.777

以下の手順でクリーニングします。

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
   [設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]を選択し、[OK]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ A]または[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を選択し、[OK]キーを押します。
   ヘッドクリーニングが実行されます。

6. ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルのつまりが改善されているかどうかを確認します。(「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.846

プリントヘッドを交換する

プリントヘッドの交換時期について

このプリンタでは、プリントヘッドを 2 個使用しています。
以下の場合に、両方または片方のプリントヘッドを交換してください。

- プリンタのメニューで [ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B] を 1〜2 回実行しても印刷品質が改善されない場合
  印刷品位の低いプリントヘッドを交換してください。
- ディスプレイに [上ｶﾊﾞｰを開けて、ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞ L を交換してください。] と表示された場合
  左側のプリントヘッドを交換してください。
- ディスプレイに [上ｶﾊﾞｰを開けて、ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞ R を交換してください。] と表示された場合
  右側のプリントヘッドを交換してください。
- キヤノンお客様相談センターでプリントヘッドの交換を指示された場合
  交換を指示されたプリントヘッドを交換してください。

対応しているプリントヘッド

プリンタに対応しているプリントヘッドについては、「プリントヘッド」を参照してください。 →P.846

プリントヘッド取り扱いの注意

プリントヘッドを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

注意

- 安全のため、プリントヘッドはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。
- 印刷直後は、プリントヘッドに触れないでください。プリントヘッドが高温になっていて、やけどする場合があります。
- 取り外したプリントヘッドのノズルには、インクが付着している場合があります。プリントヘッドの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

重要

- プリントヘッドの袋は、プリンタに取り付ける直前まで開封しないでください。また、袋から取り出したプリントヘッドは、すぐにプリンタに取り付けてください。開封したまま放置すると、プリントヘッドのノズルが乾いて、印刷品質が低下する場合があります。

プリントヘッド交換のメニューを選択する

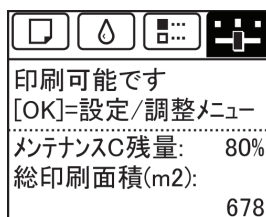
注意

- 印刷直後にプリントヘッドを交換する場合は、数分間待ってから作業してください。印刷直後は、プリントヘッドの金属部分が熱くなっているので、触れるとやけどする場合があります。

メモ

- インクの残量が少ない場合は、新しいインクタンクを準備してください。
- プリントヘッドの交換では、手が汚れる場合があります。交換時は、プリントヘッドの箱に同梱されている手袋を装着してください。

1. 給紙されている用紙がある場合は、操作パネルのメニューで、[用紙の取り外し]を選択し、用紙を取り外します。
   - ロール紙の場合は、ロール紙を巻き戻します。
     (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.677
   - カット紙の場合は、用紙を取り外します。
     (「カット紙を取り外す」参照) →P.701
2. 上カバー内部を清掃します。(「上カバー内部を清掃する」参照) →P.864
3. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

4. [OK]キーを押します。
[設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

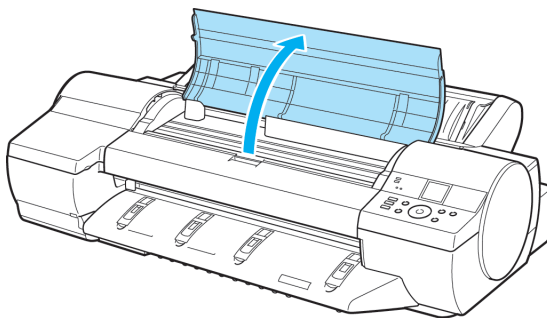
5. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]を選択し、[OK]キーを押します。

6. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾍｯﾄﾞ 交換]を選択し、[OK]キーを押します。

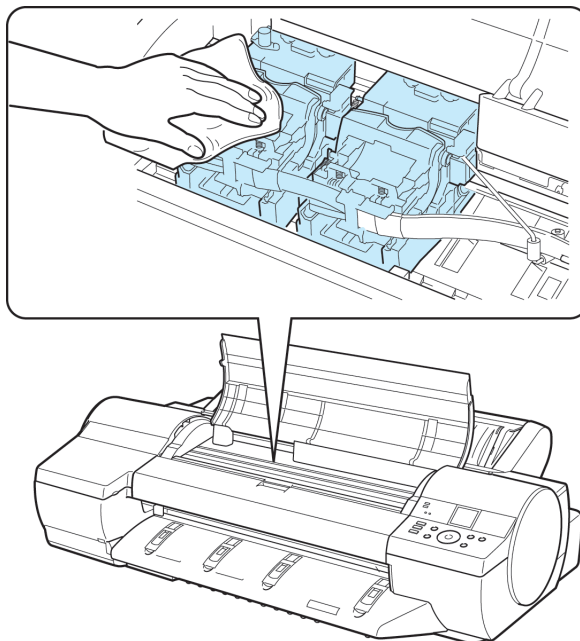
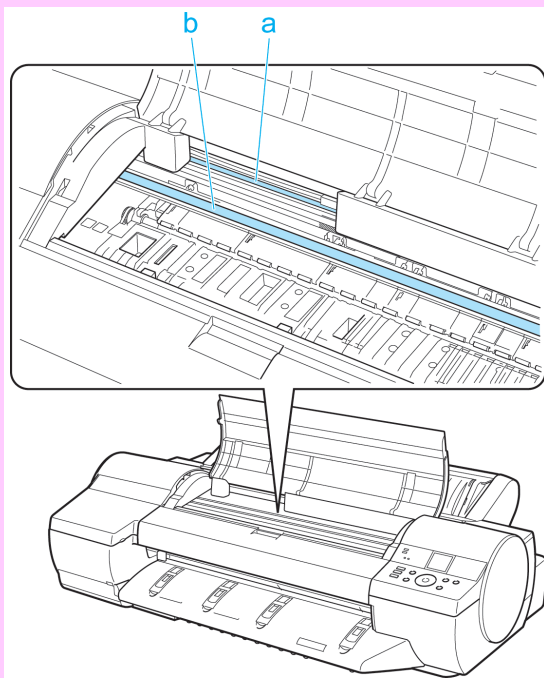
7. [▲]キー、[▼]キーを押して交換するプリントヘッドを選択します。
プリントヘッド L を交換する場合は[ﾍｯﾄﾞ L]、プリントヘッド R を交換する場合は[ﾍｯﾄﾞ R]を選択します。間違えないように注意してください。

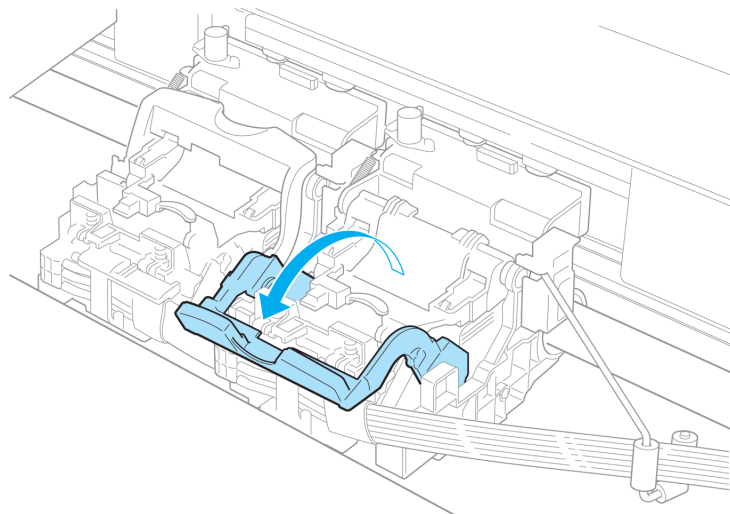
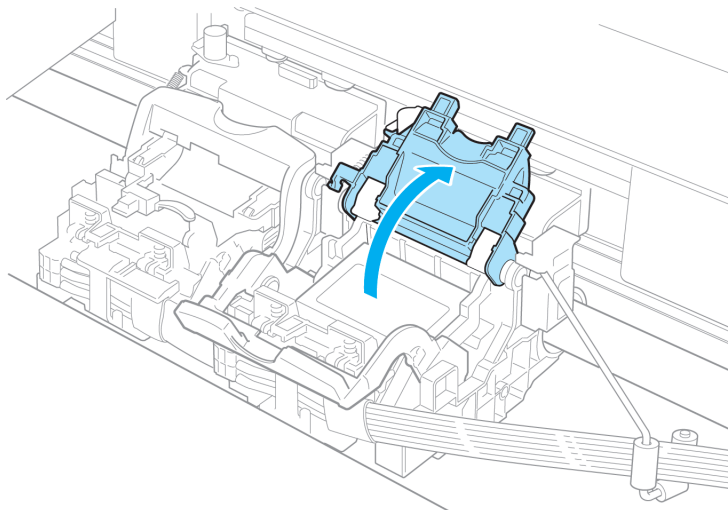
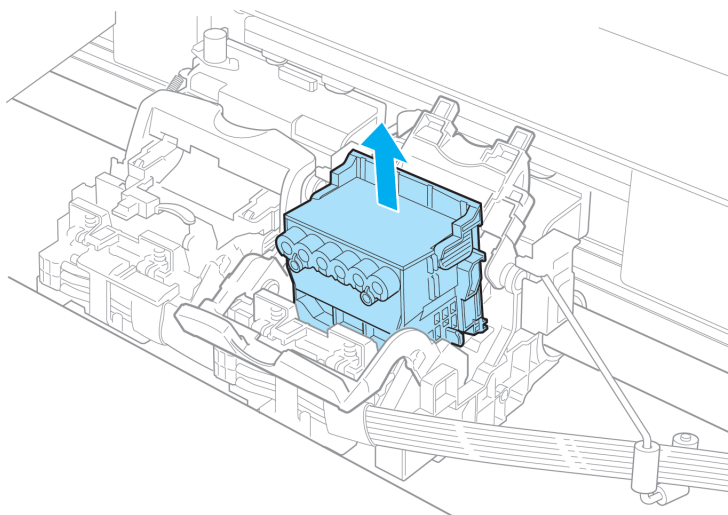
8. [OK]キーを押します。
インクが吸引されます。
約 3 分後、ディスプレイに上カバーを開けるメッセージが表示されます。

プリントヘッドを交換する

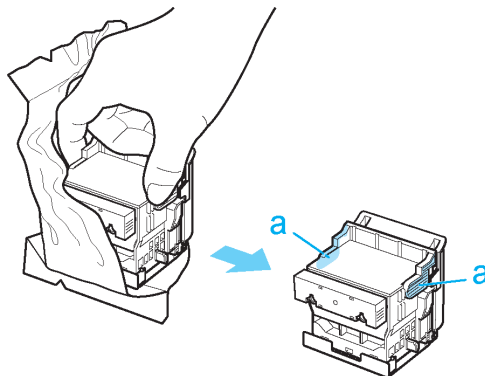
1. 上カバーを開きます。

ディスプレイにプリントヘッド交換の手順が表示されます。

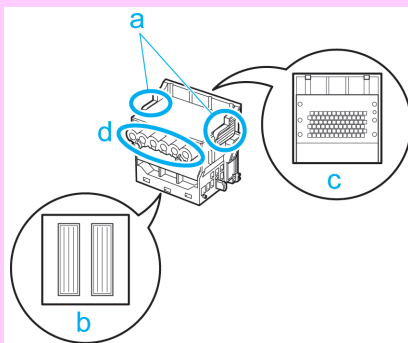
2. プリントヘッド固定カバーやプリントヘッド固定レバーが汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取ります。

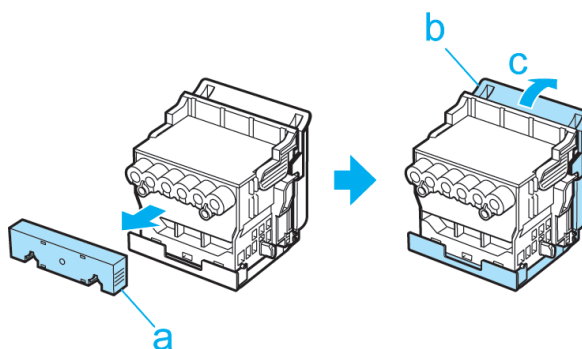
重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)には触れないでください。触れると故障の原因になります。

- キャリッジの電極部には、絶対に触れないでください。プリンタの故障の原因になります。

3. プリントヘッド固定レバーを前側に引いて、いっぱいに開きます。

4. プリントヘッド固定カバーを引き上げて、いっぱいに開きます。

5. プリントヘッドを取り外し、[OK]キーを押します。

メモ

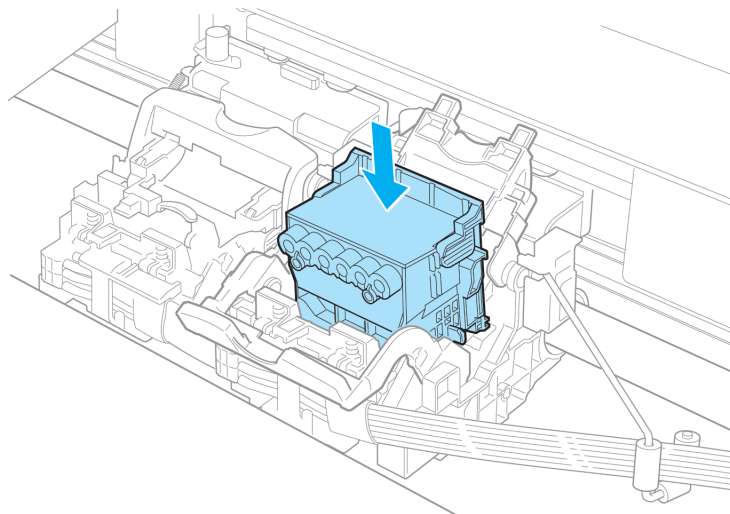
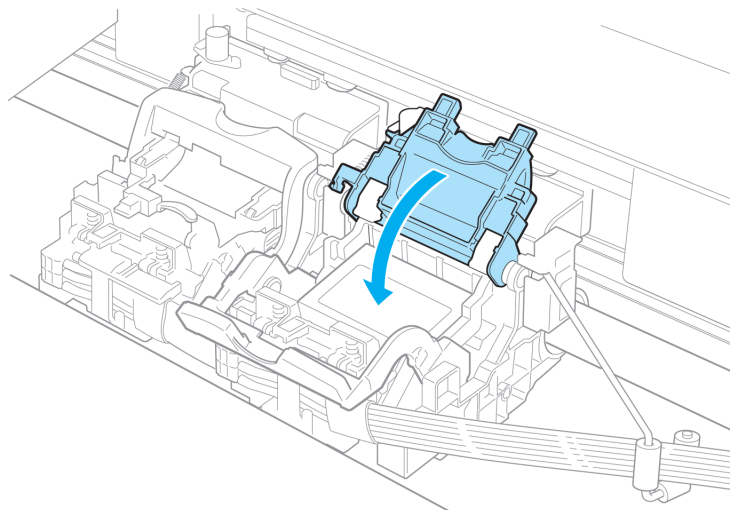
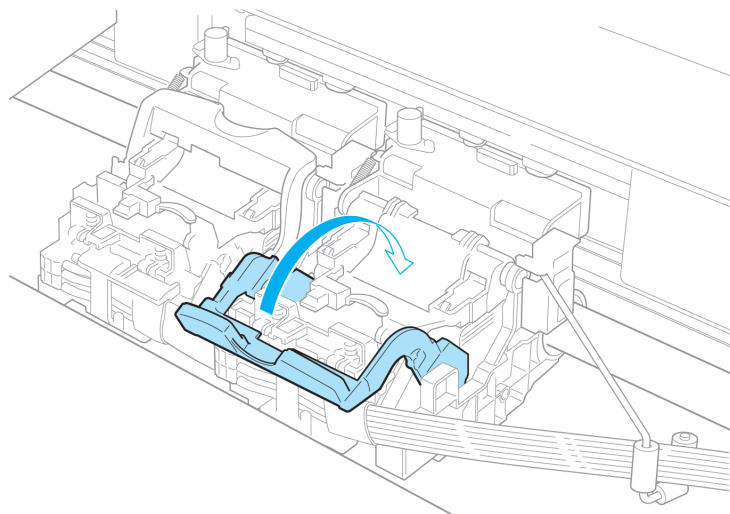
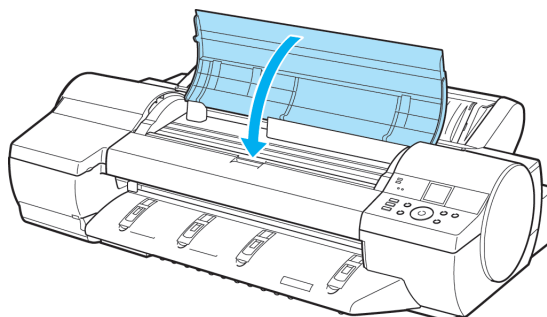
- 取り出したプリントヘッドは、地域の条例に従って廃棄してください。

6. 新しいプリントヘッドを、つまみ部(a)を持って袋から取り出します。

重要

- プリントヘッドは、必ずつまみ部(a)を持って取り扱ってください。ノズル(b)や電極部(c)には、絶対に触れないでください。プリントヘッドの破損や印刷不良の原因になります。
- インク供給部(d)には、絶対に触れないでください。印刷不良の原因になります。

- プリントヘッドを一時的に置く場合は、ノズルや電極部を下向きに置かないでください。ノズルや電極部が損傷し、印刷品質が低下する場合があります。

7. プリントヘッドを取り出したまましっかりと持ち、もう一方の手でオレンジ色の保護部品(a)を取り外し、保護部品(b)をつまみ(c)を押しながら下に引いて取り外します。

重要

- 保護部品(a)や保護部品(b)の内側には、ノズルを保護するためのインクが塗られています。取り外す際は触れないように注意してください。
- プリントヘッドには、ノズルを保護するためのインクが入っています。保護部品(b)を取り外す際は、こぼして衣服や周囲を汚さないようにプリントヘッドが入っていた箱の上などで行うことをお勧めします。こぼれてしまった場合は、乾いた布などでインクをふき取ってください。
- 取り外した保護部品や保護材は、再装着しないでください。これらのものは、地域の条例に従って処理してください。

8. ノズルを下側、電極部を奥側にして、プリントヘッドをキャリッジに差し込みます。ノズルや電極部がキャリッジに当たらないように注意しながら、奥までしっかりと押し込みます。

9. プリントヘッド固定カバーを前側に倒して、プリントヘッドをロックします。

10. プリントヘッド固定レバーを、カチッと音がするまで奥側に倒します。

11. 上カバーを閉じます。

インクが充填されます。インク充填には約 11 分間かかります。

重要

- インクの充填中は、絶対にインクタンクを取り出さないでください。

メモ

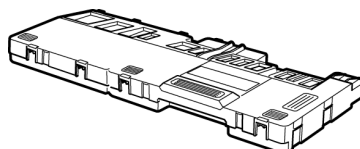
- 操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ 交換後ﾌﾟﾘﾝﾄ]が[ｵﾌ]に設定されている場合は、ここで作業が終了します。
  この場合は、操作パネルのメニューで、[ﾍｯﾄﾞ 位置調整]の[自動(詳細)]を実行してください。
  (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710

12. ディスプレイの指示に従って、実際に印刷に使用する用紙を給紙してください。給紙完了後、[ﾍｯﾄﾞ 位置調整]が自動的に実行されます。
(「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710

メモ

- 光沢・半光沢系のフォト用紙またはプルーフ用紙に対して、細かい文字や細線を精細に印刷する場合は、プリントヘッドを最適な高さに設定してから、プリントヘッドの位置を調整してください。
  (「印刷品質を向上させる」参照) →P.708

メンテナンスカートリッジ

メンテナンスカートリッジ

- メンテナンスカートリッジ MC-16

メモ

- メンテナンスカートリッジの交換方法については、「メンテナンスカートリッジを交換する」を参照してください。→P.856

メンテナンスカートリッジを交換する

対応しているメンテナンスカートリッジ

プリンタに対応しているメンテナンスカートリッジについては、「メンテナンスカートリッジ」を参照してください。→P.856

メンテナンスカートリッジの取り扱い上の注意

メンテナンスカートリッジを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

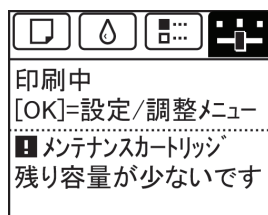
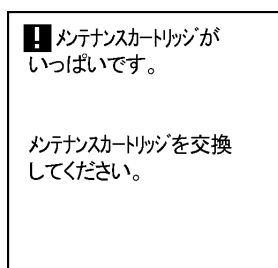
注意

- 安全のため、メンテナンスカートリッジはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。
- インクを含んだメンテナンスカートリッジは、落としたり傾けたまま放置しないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。
- 一度使用したメンテナンスカートリッジの上面には、インクが付着しています。メンテナンスカートリッジの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。

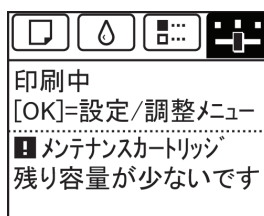
重要

- メンテナンスカートリッジは、交換するとき以外は取り出さないでください。
- 一度使用したメンテナンスカートリッジを他のプリンタで使用しないでください。

メンテナンスカートリッジが交換可能であることを確認する

ディスプレイにメンテナンスカートリッジの残量確認や交換を指示するメッセージなどが表示されているときに、メンテナンスカートリッジを交換できます。

メンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示されている場合は、[メンテナンスカートリッジ交換のメニューを選択する]の操作は不要です。[メンテナンスカートリッジを交換する]に進んでください。

注意

- 電源をオンにした直後のプリンタの初期化中、プリントヘッドのクリーニング中、インク吸引中は、メンテナンスカートリッジを交換しないでください。インクが漏れる可能性があります。

メンテナンスカートリッジ交換のメニューを選択する

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

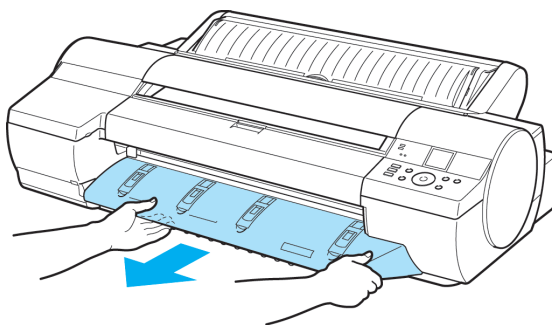
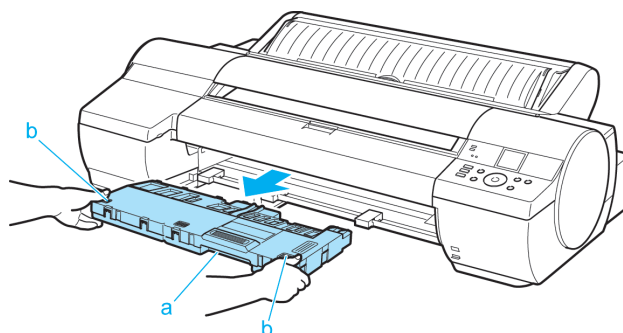
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
   [設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾒﾝﾃﾅﾝｽC 交換]を選択し、[OK]キーを押します。
   ディスプレイにメンテナンスカートリッジカバーを開けるメッセージが表示されます。

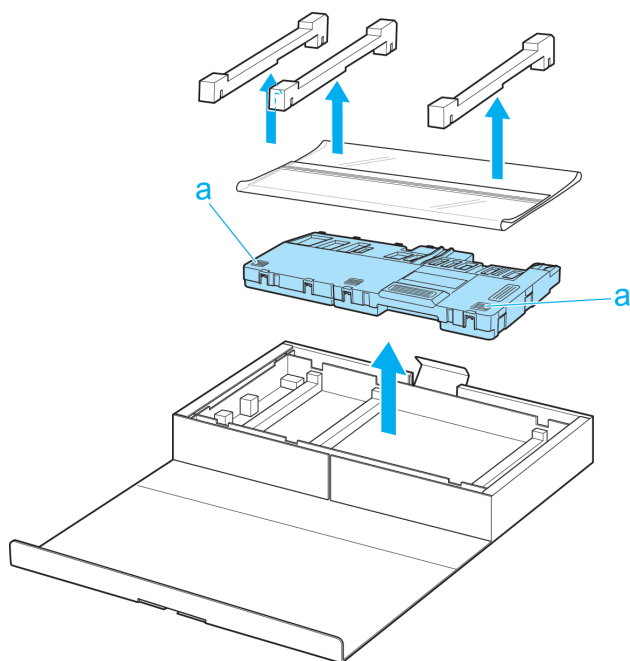
メンテナンスカートリッジを交換する

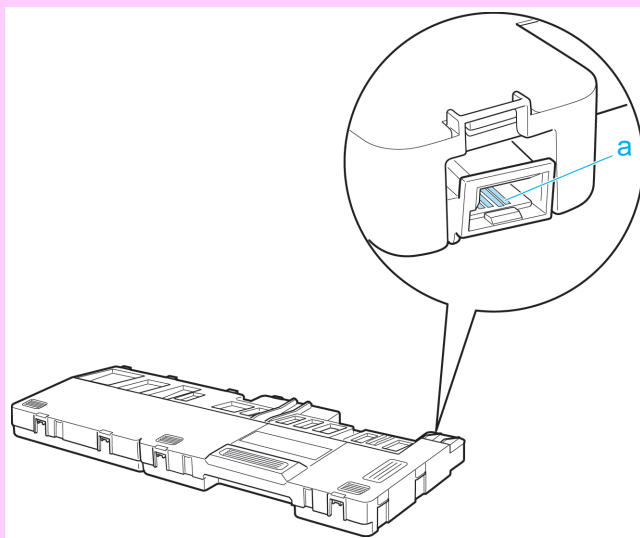
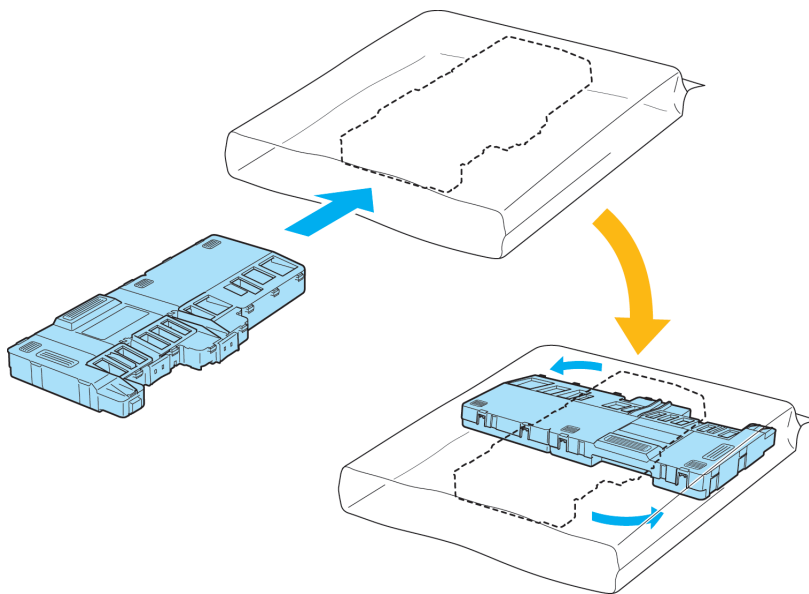
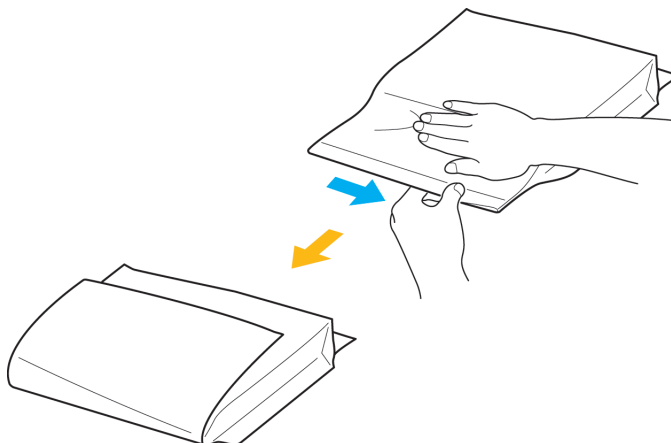
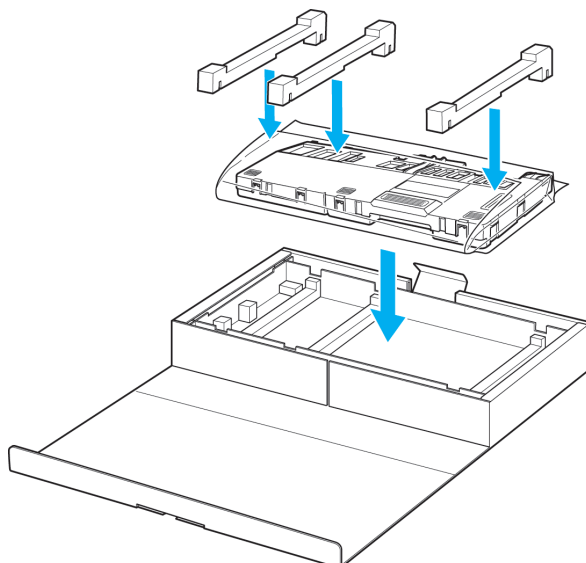
1. 排紙ガイドを取り外します。

2. 使用済みのメンテナンスカートリッジの取っ手(a)を持って引き出し、左右の取っ手(b)を持って水平に取り出します。

注意

- 使用済みのメンテナンスカートリッジは重くなっています。必ず、しっかり持って水平に保ちながら取り出し、保管してください。インクを含んだメンテナンスカートリッジを落としたり傾けたまま放置すると、インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

重要

- メンテナンスカートリッジの残り容量はプリンタごとに記録されます。一度使用したメンテナンスカートリッジを他のプリンタに取り付けることはできません。

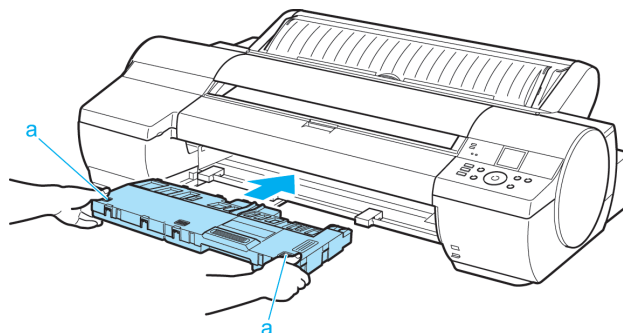
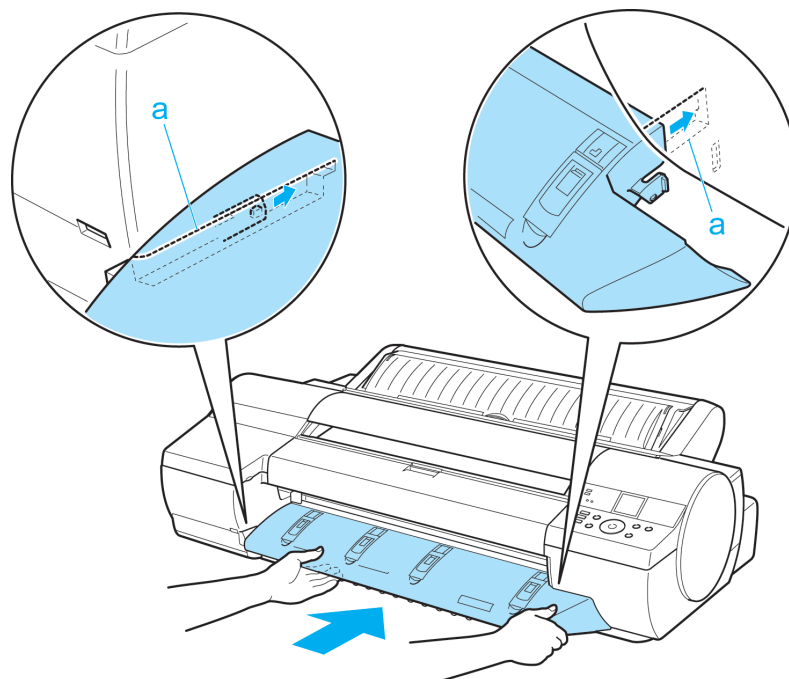
3. 梱包箱を開いてビニール袋と緩衝材を取り外し、左右の取っ手(a)を持って新しいメンテナンスカートリッジを取り出します。

重要

- 端子部(a)には、絶対に触れないでください。メンテナンスカートリッジの故障の原因になります。

4. 使用済みのメンテナンスカートリッジを、図のように、水平に保ったまま梱包箱に入っていたビニール袋に入れます。

5. ビニール袋の中の空気を抜きながらジッパーをしっかり閉じ、ビニール袋を二つ折りにします。

6. 新しいメンテナンスカートリッジが入っていたように、使用済みのメンテナンスカートリッジと緩衝材を梱包箱に入れ、水平に保ったまま保管します。

注意

- メンテナンスカートリッジは、必ず梱包箱に入れて、水平に保ったまま保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

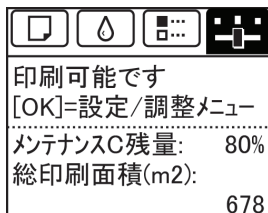
メモ

- キヤノンでは、地球環境保全と資源の有効活用を目的として、使用済みのメンテナンスカートリッジを回収しています。使用済みのメンテナンスカートリッジは、交換用のメンテナンスカートリッジに付属している説明書に従って処理してください。

7. 新しいメンテナンスカートリッジの左右の取っ手(a)を持ち、水平に保ったまま、奥まで押し込みます。

8. 排紙ガイドの左右手前側を持ち、ガイド(a)に合わせて排紙ガイドをスライドし、ロックがかかるまで差し込みます。

9. [OK]キーを押します。

メンテナンスカートリッジが初期化されます。

メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する

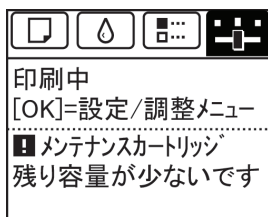
メンテナンスカートリッジは、フチなし印刷、ヘッドクリーニングで使用するインクを吸収するためのカートリッジです。メンテナンスカートリッジがあとどれくらいのインクを吸収できるかは、ディスプレイに表示されるメンテナンスカートリッジの残り容量で確認できます。
メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する場合は、操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

ディスプレイにメンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されたら、メンテナンスカートリッジを交換してください。また、メンテナンスカートリッジの残り容量の確認を指示するメッセージが表示された場合や、ヘッドクリーニングの実行やプリンタの輸送によってメンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減る場合は、残り容量を確認し、必要に応じてメンテナンスカートリッジを用意してください。(「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.856

メンテナンスカートリッジの交換時期について

以下の場合、メンテナンスカートリッジを準備または交換してください。

ディスプレイにメンテナンスカートリッジ確認のメッセージが表示された場合

メンテナンスカートリッジの残り容量が少なくなると、[メッセージランプ]が点灯し、ディスプレイに[残り容量が少ないです]と表示されます。印刷は継続されますが、メンテナンスカートリッジの残り容量を確認し、交換用の新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。(「メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する」参照) →P.862

メンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減る場合

ヘッドクリーニングの実行やプリントヘッドの交換、プリンタの輸送の準備をする場合、メンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減ります。(特に、プリンタの輸送の準備をする場合は、大幅に減ります。)
これらのメンテナンスを実行する前には、メンテナンスカートリッジの残り容量を確認し、必要に応じてメンテナンスカートリッジを交換してください。

ディスプレイにメンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示された場合

メンテナンスカートリッジの残り容量がなくなると、[メッセージランプ]が点滅し、ディスプレイにメンテナンスカートリッジ交換のメッセージが表示され、印刷、プリントヘッドの交換、プリンタの輸送ができません。新しいメンテナンスカートリッジに交換してください。

メンテナンスカートリッジが
いっぱいです。

メンテナンスカートリッジを交換
してください。

プリンタの清掃

プリンタの外装を清掃する

印刷品質の保持やトラブル防止のために、プリンタは定期的に清掃してください。
快適にご使用いただくために、月に 1 回程度、プリンタの外装を清掃してください。

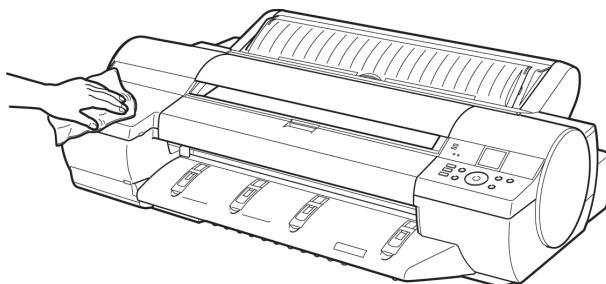
1. プリンタの電源をオフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.760

2. コンセントから電源コードを、アース端子からアース線を取り外します。

注意

- 必ず、プリンタの電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源がオンになると、作動した内部の部品に触れて、けがをする場合があります。

3. 水を含ませて固く絞った布でプリンタの外装をふき取り、乾いた布で乾ぶきします。

注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤は使用しないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

重要

- 排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをお勧めします。

4. アース端子にアース線を、コンセントに電源コードを接続します。

上カバー内部を清掃する

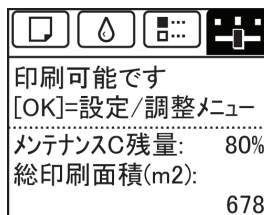
印刷品質の保持やトラブル防止のために、月に 1 回程度、上カバー内部を清掃してください。
また、快適にご使用いただくために、以下の場合に上カバー内部を清掃してください。

- 印刷面や用紙の裏面が汚れる場合
- ロール紙 1 本を使い切った場合
- フチなし印刷を実行した場合
- 小さい用紙に印刷した場合
- カット屑が多く出る用紙に印刷した場合

- ロール紙を交換した場合
- 紙粉が多く出る用紙に印刷した場合
- [ﾌﾟﾗﾃﾝ上の青いｽｲｯﾁが汚れています。]とディスプレイに表示されている場合

重要

- 上カバー内部のプラテンが汚れていると、用紙の裏面が汚れる場合があります。フチなし印刷を実行した後や小さい用紙に印刷した後は、プラテンを清掃することをお勧めします。
- 排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをお勧めします。

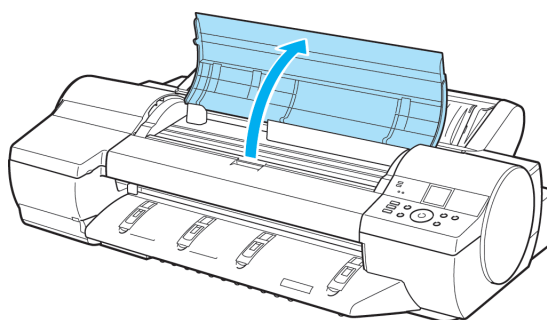
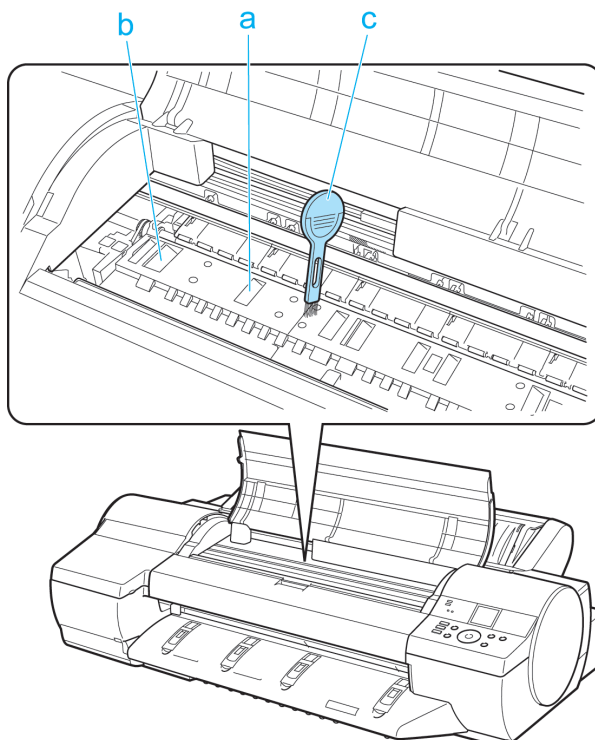
1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

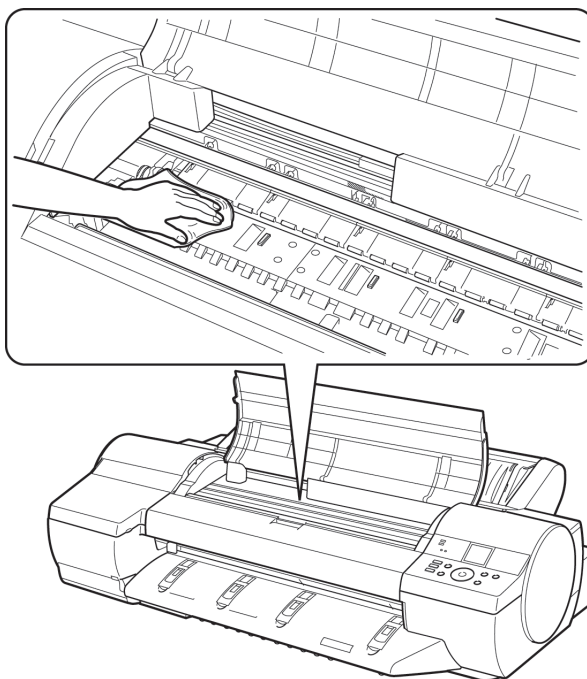
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾒﾝﾃﾅﾝｽ]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾌﾟﾗﾃﾝ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]を選択し、[OK]キーを押します。
ディスプレイに上カバーを開けるメッセージが表示されます。

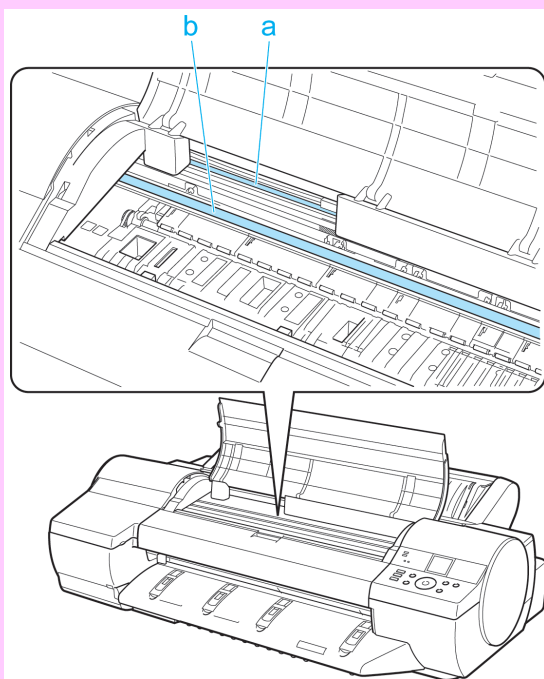
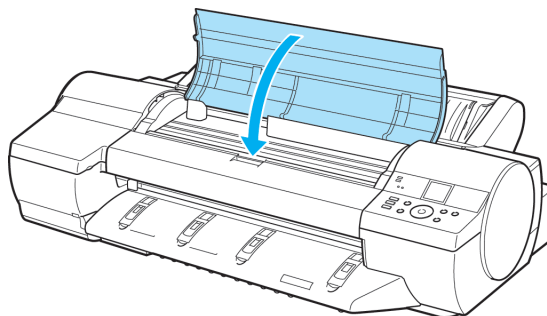
5. 上カバーを開きます。

6. プラテン上の吸引口(a)やフチなし印刷インク受け溝(b)に紙粉がたまっている場合は、プリンタに同梱されているクリーナブラシ(c)で掃き取ります。

メモ

• クリーナブラシが汚れた場合は、水洗いしてください。

7. 水を含ませて固く絞った布で、上カバー内部の汚れをふき取ります。プラテン全域、用紙押さえ、フチなし印刷インク受け溝、青いスイッチなどのインクの汚れをふき取ります。

注意

• シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使わないでください。プリンタ内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

重要

- 上カバー内部の汚れをふき取るときは、乾ぶきしないでください。静電気を帯びて汚れやすくなり、印刷品質が低下する場合があります。
- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

8. 上カバーを閉じます。

用紙押さえを清掃する

印刷品質の保持やトラブル防止のために、月に 1 回程度、用紙押さえを清掃してください。
また、快適にご使用いただくために、以下の場合に用紙押さえを清掃してください。

- 印刷面や用紙の裏面が汚れる場合
- 小さい用紙に印刷した場合

重要

- 清掃には、普通紙などカット屑の出にくい用紙をお使いください。フィルム系の用紙などカット屑や表面処理がはがれやすい用紙を使用すると、印刷品質低下の原因になります。

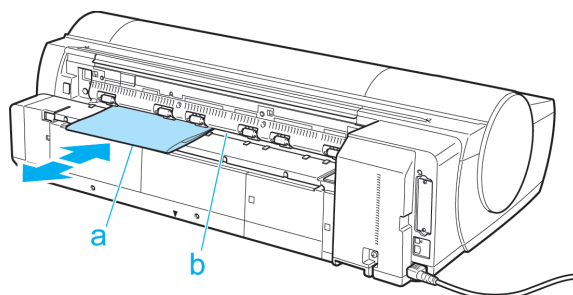
1. プリンタの電源をオフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.760

2. コンセントから電源コードを、アース端子からアース線を取り外します。

注意

- 必ず、プリンタの電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源がオンになると、作動した内部の部品に触れて、けがをする場合があります。

3. ロール紙ユニットを取り外します。(「ロール紙ユニットを取り外す」参照) →P.691

4. 普通紙を 2〜3 回折って(a)、プリンタ背面から用紙押さえの下面(b)に差し込み、用紙押さえ全体の汚れをふき取ります。

5. ロール紙ユニットを取り付けます。(「ロール紙ユニットを取り付ける」参照) →P.692

6. アース端子にアース線を、コンセントに電源コードを接続します。

その他のメンテナンス

プリンタの輸送の準備をする

プリンタを輸送する場合は、内部機構を保護するために、必ず、輸送の前に以下の手順を行ってください。
プリンタの梱包作業、輸送後の設置作業については、セットアップガイドを参照してください。

重要

- プリンタを輸送するときは、本体を傾けないでください。内部のインクが漏れて周辺が汚れる場合があります。本体を傾けたりする必要がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

メモ

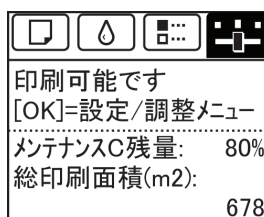
- ディスプレイにメンテナンスカートリッジの交換または残り容量の確認を指示するメッセージが表示されている場合は、輸送の準備はできません。メンテナンスカートリッジを交換してから、輸送の準備をしてください。この場合、新品のメンテナンスカートリッジが 1 個必要です。（「メンテナンスカートリッジを交換する」参照） →P.856
- 輸送の準備時（輸送準備のためのメニュー実行時）に、プリンタの状態によっては、部品交換が必要な場合があります。

用紙を取り外す

1. 用紙を取り外します。
   - ロール紙の場合（「ロール紙をプリンタから取り外す」参照） →P.677
   - カット紙の場合（「カット紙を取り外す」参照） →P.701

[移動の準備]のメニューを選択する

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して（設定/調整タブ）を選択します。

メモ

- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
   [設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

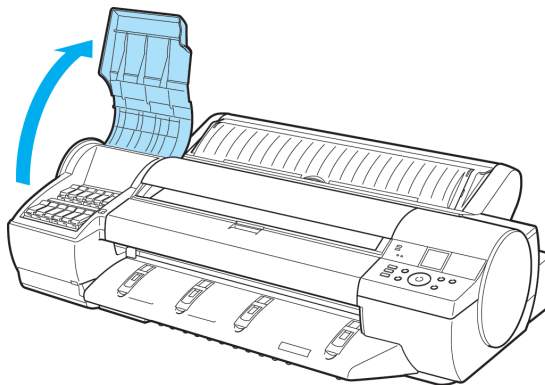
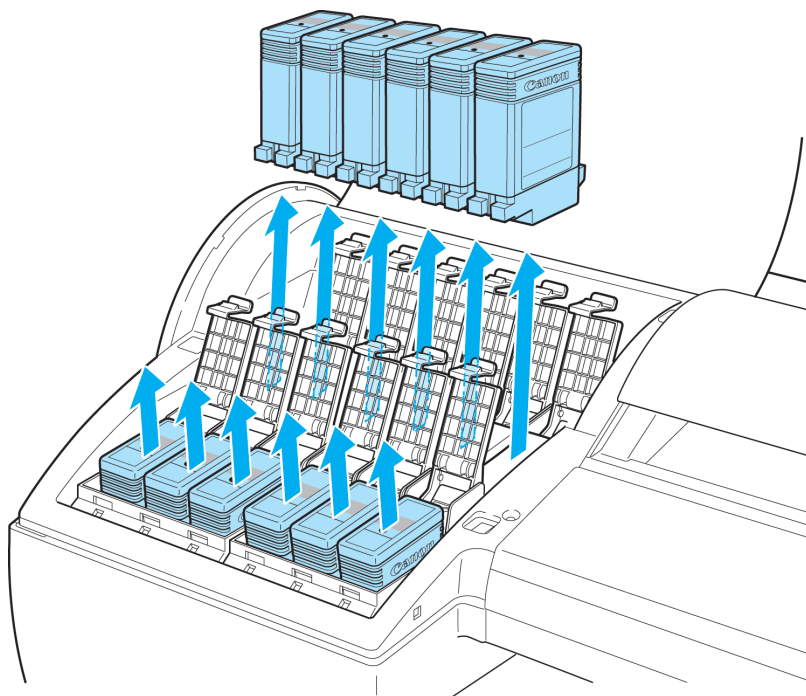
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[移動の準備]を選択し、[OK]キーを押すと、実行確認画面が表示されます。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。
準備が完了すると、ディスプレイにインクタンクカバーを開けるメッセージが表示されます。

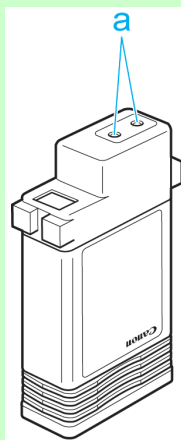
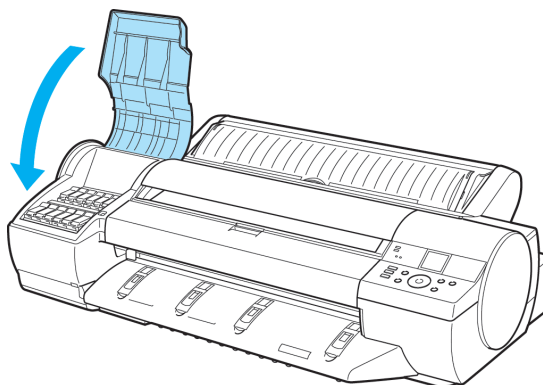
重要

- 消耗部品の交換が必要な場合は、ディスプレイに[消耗部品の交換が必要です。担当ｻｰﾋﾞｽにご相談ください。]と表示され、準備ができません。このメッセージが表示された場合は、[OK]キーを押して、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

インクタンクを取り外す

1. インクタンクカバーを開きます。

2. インクタンク固定レバーを開き、すべてのインクタンクを取り外します。

取り出したインクタンクは、ビニール袋に入れて口を閉じてください。

メモ

- 取り外したインクタンクは、インク供給部(a)を上にして保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

3. すべてのインクタンク固定レバーを閉じて、インクタンクカバーを閉じます。

チューブ内のインクが吸引されます。

重要

- 吸引中はメンテナンスカートリッジを取り外さないでください。

処理が終わると、[終了しました。電源を切ってください。]と表示されます。

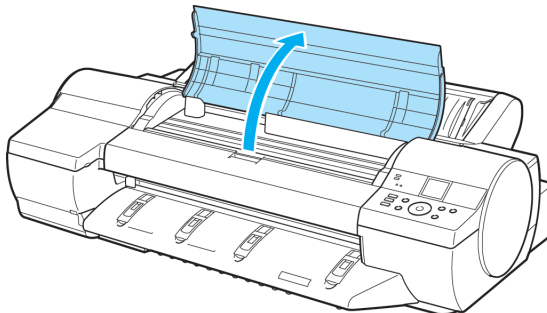
プリンタを梱包する

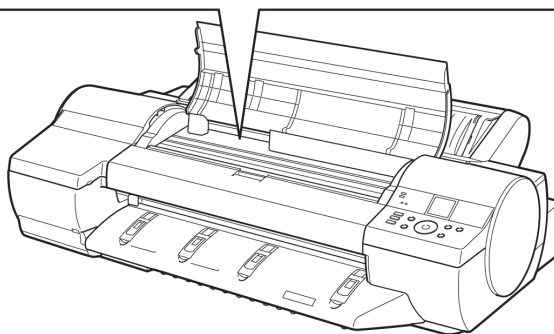
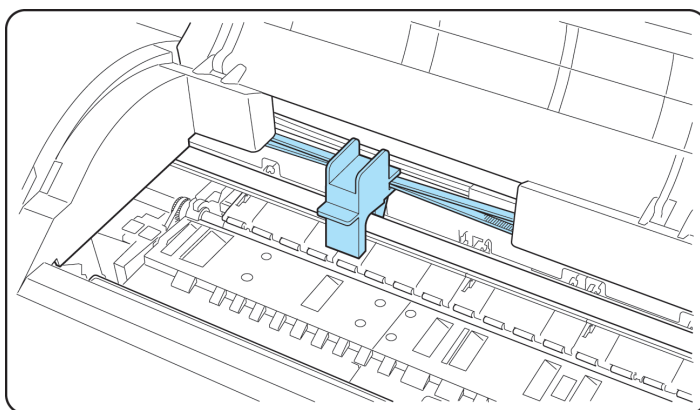
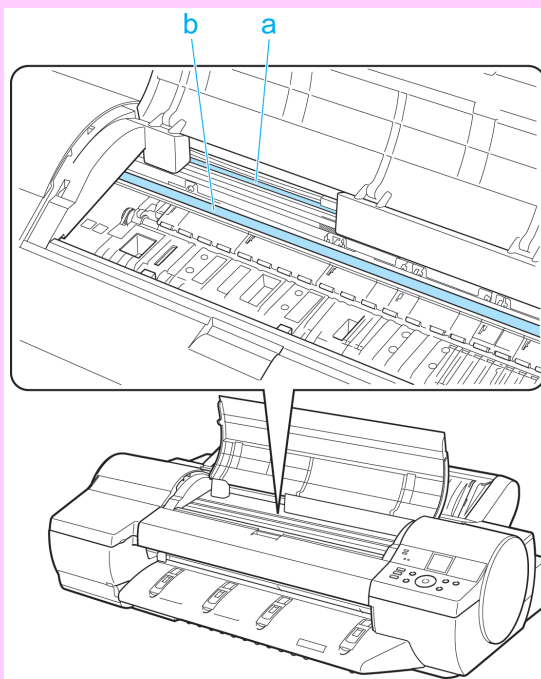
1. [電源]キーを押して、電源をオフにします。

重要

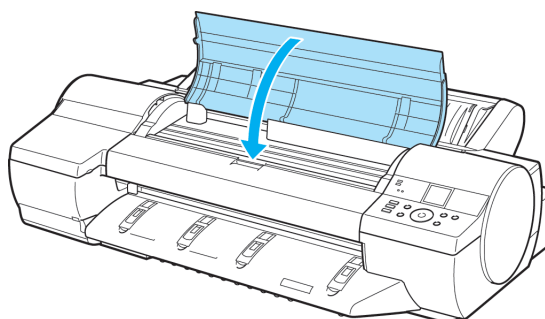
- 電源をオフにしてから電源コードを抜いてください。オフにする前に抜いてしまった場合は、そのまま輸送するとプリンタの故障の原因になります。電源コードとインクタンクを取り付けた後、最初からやり直してください。

2. 電源コード、アース線、およびインタフェースケーブルを取り外します。

3. 上カバーを開きます。

4. ベルトをつまんでベルトストッパに挟み、ベルトストッパをキャリッジシャフトに固定します。

重要

- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)には触れないでください。

メモ

- ベルトストッパは、開梱時に取り外して保管しておいたものを取り付けてください。

5. 上カバーを閉じます。

6. 開梱時と逆の手順でプリンタの各カバーをテープで固定します。

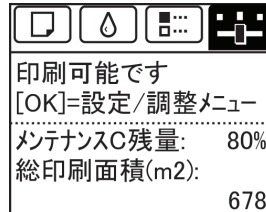
7. ロールホルダー、ホルダーストッパ、プリンタなどに梱包材を取り付け、梱包箱に収納します。

ファームウェアをアップデートする

ファームウェアをアップデートすることにより、プリンタの機能を改善したり、新しい機能を追加することができます。

ファームウェアのバージョンを調べる

1. 操作パネルの[タブ選択画面]で、[◀]キー、[▶]キーを押して (設定/調整タブ)を選択します。

メモ
- [タブ選択画面]が表示されていない場合は、[メニュー]キーを押します。

2. [OK]キーを押します。
[設定/調整ﾒﾆｭｰ]が表示されます。

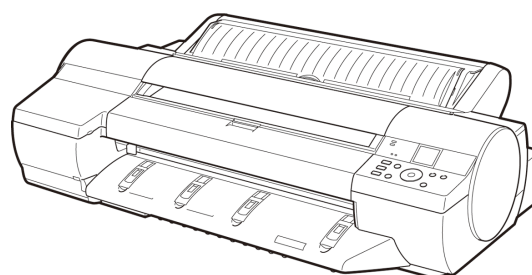
3. [▲]キー、[▼]キーを押して[ﾌﾟﾘﾝﾀの情報]を選択し、[OK]キーを押します。

4. [▲]キー、[▼]キーを押して[ｼｽﾃﾑ情報]を選択し、[OK]キーを押します。
ファームウェアのバージョンが表示されます。

ファームウェアをアップデートする

最新のファームウェアは、キヤノンのホームページから入手できます。ファームウェアのバージョンを調べて、ホームページのファームウェアの方が新しい場合は、ファームウェアをアップデートしてください。ファームウェアのダウンロードとアップデートの詳細については、キヤノンのホームページを参照してください。

困ったときには

よくある質問

よくある質問

ここでは、よくある質問とその回答を紹介しています。回答欄のリンクをクリックすると、詳しい説明が表示されます。

質問	回答
ロール紙に印刷するには？	ロール紙に印刷する場合は、ロール紙をセットした後、操作パネルとプリンタドライバの両方で用紙の種類や長さを設定します。 ⇒「ロール紙をセットして印刷する →P.3 」
手差しで印刷するには？	手差しで印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類やサイズを設定した後、用紙をセットします。 ⇒「カット紙をセットして印刷する →P.6 」
ロール紙と手差しとの給紙方法を切り替えたい。	操作パネルで用紙をセットまたは交換する操作を行なうと、選択した用紙に給紙元が自動的に切り替わります。 ⇒「ロール紙をプリンタにセットする →P.672 」 ⇒「カット紙を手差しでセットする →P.694 」
用紙のサイズや種類を変更したい。	操作パネルとプリンタドライバの両方で用紙の種類とサイズを設定します。 • プリンタドライバで設定する ⇒「プリンタドライバで用紙を指定する →P.57 」 • 操作パネルで設定する 用紙の種類選択 ⇒「用紙の種類を変更する →P.675 」 用紙のサイズ選択 ⇒「用紙の長さを設定する →P.677 」
印刷したロール紙をカットするには？	インクが乾燥するのを待ってからカットしたり、任意の位置でカットしたりできます。 ⇒「ロール紙のカット方法を設定する →P.684 」
フチなし（余白なし）で印刷したい。	ロール紙には、フチなしで印刷できます。プリンタドライバで原稿を用紙サイズに合わせてフチなし印刷することも可能です。 フチなし印刷をする際は、プラテン上の青いスイッチを●側に設定してください。 また、カット紙にはフチなし印刷することはできません。 ⇒「用紙のサイズに合わせてフチなしで印刷する →P.90 」 ⇒「ロール紙の幅に合わせてフチなしで印刷する →P.96 」 ⇒「原寸大のフチなしで印刷する →P.83 」 ⇒「プラテン上の青いスイッチを設定する →P.896 」
A4 サイズを A2 サイズに大きくして印刷したい。	プリンタドライバで原稿を用紙のサイズや幅に合わせたり、倍率を指定して拡大/縮小の設定をして印刷できます。 ⇒「用紙のサイズに合わせて拡大/縮小して印刷する →P.58 」 ⇒「ロール紙の幅に合わせて拡大/縮小して印刷する →P.64 」 ⇒「指定した倍率で拡大/縮小して印刷する →P.69 」
用紙を無駄なく印刷したい。	プリンタドライバで原稿を 90 度回転させて余白を減らしたり、上下の余白をなくして印刷することができます。 ⇒「原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.152 」 ⇒「原稿の上下の余白分のロール紙を節約する →P.157 」
A4 サイズのデータを A3 サイズの用紙に印刷するとできる、右側の大きな余白がもったいない。	プリンタドライバの設定で A4 サイズの原稿を 90 度回転させると、A3 サイズの用紙の幅をいっぱいに使って A 4 サイズを印刷できます。 ⇒「原稿を 90 度回転してロール紙を節約する →P.152 」

質問	回答
横長(縦長)の用紙に印刷したい。	横長または縦長の原稿をロール紙の幅に合わせて自動的に拡大し、簡単に垂れ幕や横断幕などを印刷できます。 ⇒「垂れ幕や横断幕を印刷する(長尺印刷) →P.104 」
オリジナルサイズの用紙に印刷したい。	プリンタドライバで一時的にカスタムサイズを設定して印刷できます。 ⇒「定形外の用紙に印刷する →P.113 」
オリジナルサイズの用紙を登録したい。	プリンタドライバの[ユーザ用紙設定]ダイアログボックスで任意のサイズ(ユーザ定義用紙)を登録できます。 ⇒「定形外の用紙に印刷する →P.113 」
線を太く印刷したい。	プリンタドライバで[細線強調]を設定すると、細い線を太くし、見やすく印刷できます。 ⇒「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する →P.49 」
色味を変更したい。	プリントヘッドの個体差や印刷環境によって変化する色味のばらつきを補正したい場合は、カラーキャリブレーションを実行します。 ⇒「カラーキャリブレーションで色味を調整する →P.726 」 さらに好みの色に調整したい場合は、プリンタドライバで色を調整して印刷できます。 ⇒「プリンタドライバで色を調整して印刷する →P.40 」
プリンタドライバで設定した内容を、繰り返し使いたい。	設定内容をお気に入りに登録すれば、いつでもその設定で印刷できます。 ⇒「お気に入りの設定で印刷する →P.177 」
[Color imageRUNNER]と連携できると聞いたのですが？	[Color imageRUNNER]と連携して、スキャンした原稿をプリンタで自動的に拡大して印刷できます。 ⇒「Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.277 」 ⇒「Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.554 」
[Color imageRUNNER]でスキャンした原稿を拡大してプリントしたい。	Color imageRUNNER 連携拡大コピー(iR 連携)機能を使えば、[Color imageRUNNER]で原稿をスキャンして、プリンタで自動的に拡大して印刷できます。 ⇒「Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.277 」 ⇒「Color imageRUNNER でスキャンした原稿を拡大印刷する →P.554 」

用紙に関連するトラブル

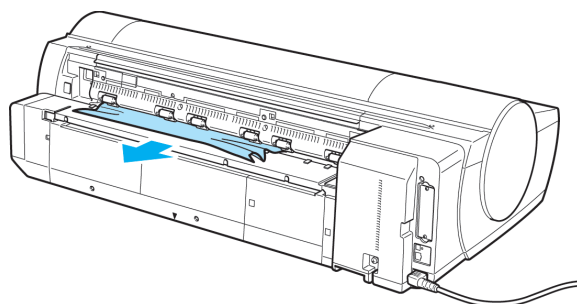
用紙のつまりを取り除く(給紙口内部)

給紙口の奥に用紙がつまっている場合 →P.878 や、用紙のつまりを取り除いているときに、紙片がちぎれて給紙口の内部に残ってしまった場合 →P.878 は、以下の手順で用紙を取り除きます。

給紙口の奥につまった用紙を取り除く

給紙口の奥に用紙がつまっている場合は、以下の手順でロール紙ユニットを取り外し、用紙を取り除きます。

1. プリンタの電源をオフにしてから、ロール紙ユニットをプリンタから取り外します。(「ロール紙ユニットを取り外す」参照) →P.691

2. 給紙口からつまった用紙を取り除きます。

3. ロール紙ユニットをプリンタに取り付けます。(「ロール紙ユニットを取り付ける」参照) →P.692

給紙口の内部に残ってしまった紙片を取り除く

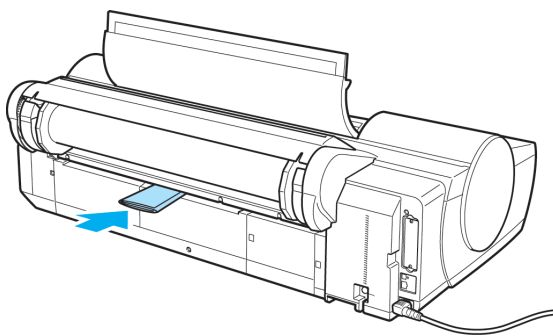
ロール紙やカット紙のつまりを取り除いているときに、紙片がちぎれて給紙口の内部に残ってしまった場合は、以下の手順で紙片を取り除きます。

1. [用紙交換]キーを押します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[手差し用紙]を選択し、[OK]キーを押します。
用紙の種類を選択する画面が表示されます。

3. [POP ボード]を選択し、[OK]キーを押します。
操作パネルには[POP ボード]を給紙する手順が表示されますが、以下の手順に従って、つまった用紙を取り除いてください。

4. 上カバーを開きます。

5. A4 サイズの用紙を縦に四つ折りにして背面カバーのすきまに差し込み、つまった用紙をプラテン側に押し出します。

6. プラテン上に紙片が出てきたら、紙片を取り除きます。

7. 給紙口内部に紙片が残っている場合は、手順 5〜6 を繰り返します。

8. 上カバーを閉じます。

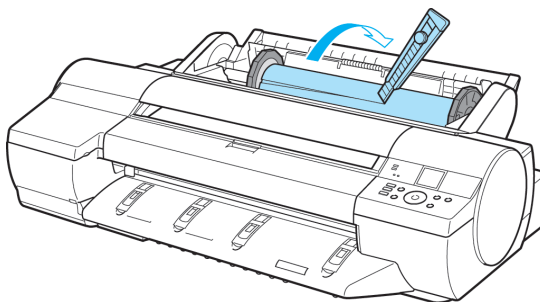
9. プリンタの電源をオフにします。(「電源をオン/オフにする」参照) →P.760

ロール紙のつまりを取り除く

ロール紙がつまった場合、操作パネルのディスプレイに[用紙がつまりました]と表示されます。以下の手順で、用紙のつまりを取り除きます。

メモ

- ロール紙のつまりを取り除いているときに、紙片がちぎれて給紙口の内部に残ってしまった場合は、「用紙のつまりを取り除く(給紙口内部)」を参照してください。 →P.878

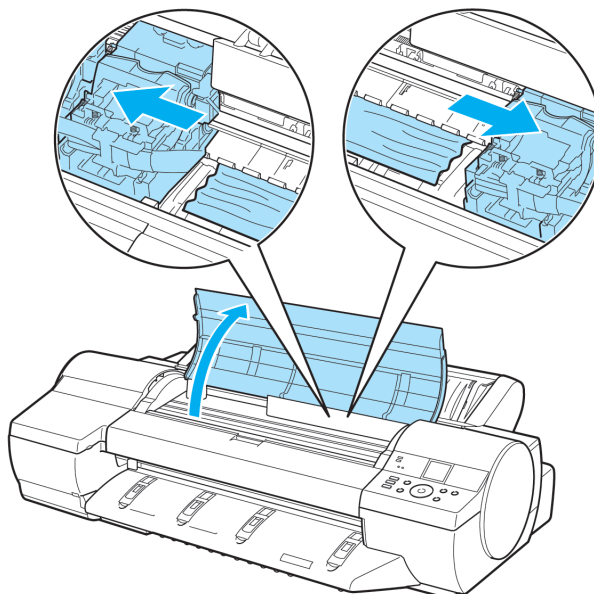
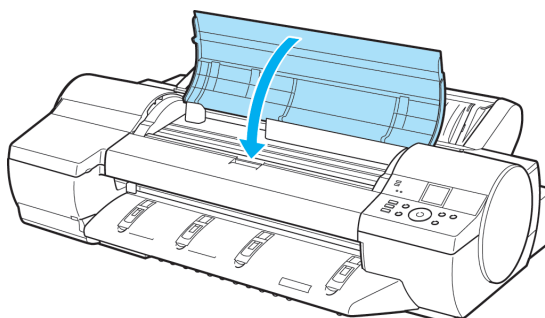
1. ロール紙ユニットカバーを開き、セットされているロール紙を市販のカッターなどでカットします。

注意

- カットするときに、ケガをしたり、プリンタに傷を付けたりしないように注意してください。

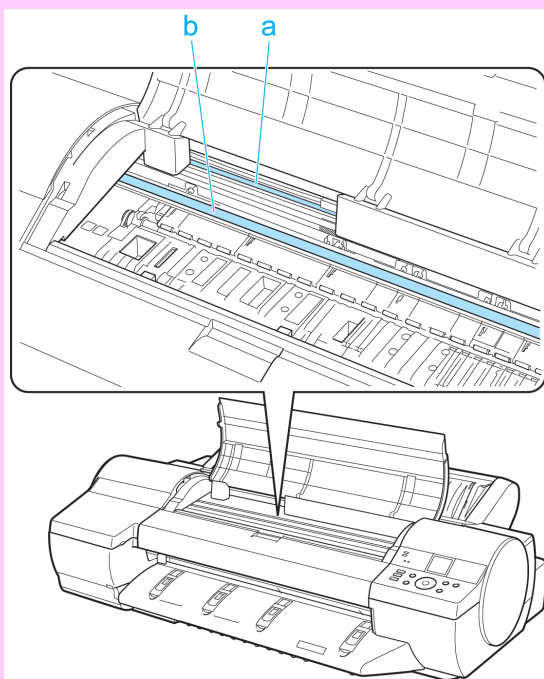
2. [OK]キーを押します。

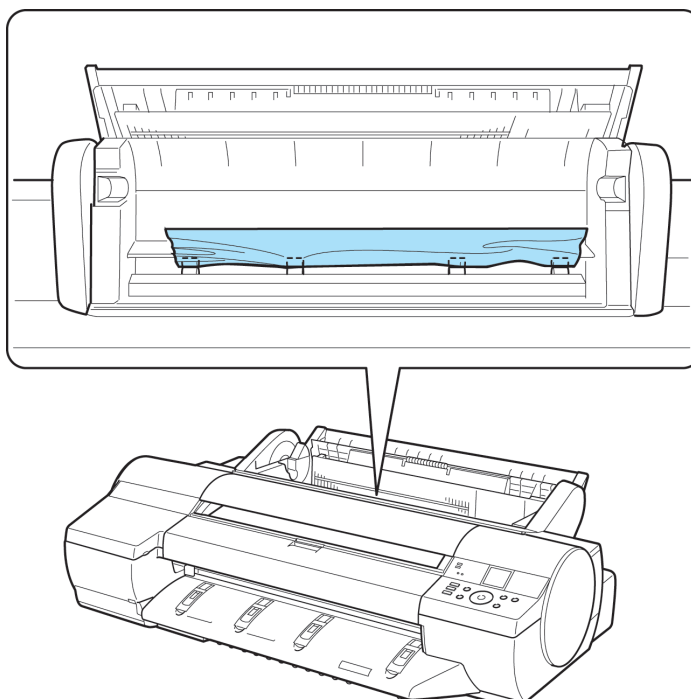
3. つまっている用紙を取り除きます。

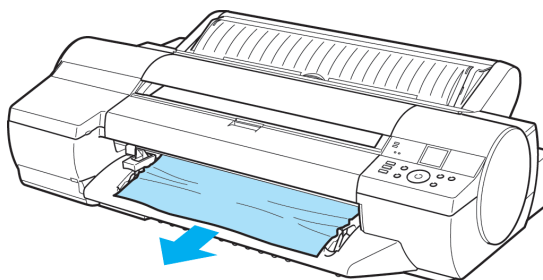
- 上カバー内部で用紙がつまっている場合

1. 上カバーを開き、キャリッジを端に移動します。

2. 上カバー内部につまった用紙を取り除きます。
取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

3. 上カバーを閉じます。

重要

- つまった用紙の上を通して、キャリッジを移動させないでください。プリントヘッドが壊れる可能性があります。
- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

- ロール紙の給紙口付近で用紙がつまっている場合

1. ロール紙ユニットカバーを開きます。
2. 給紙口からつまった用紙を取り除きます。
   取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。
   給紙口の奥に用紙がつまっている場合は、ロール紙ユニットを取り外し、用紙を取り除いてください。(「用紙のつまりを取り除く(給紙口内部)」参照) →P.878

- 排紙ガイド付近で用紙がつまっている場合

排紙口からつまった用紙を取り除きます。
取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

4. [OK]キーを押します。

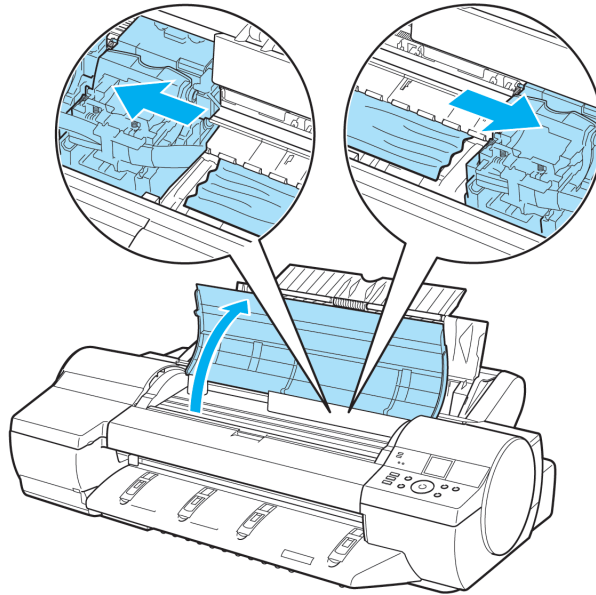
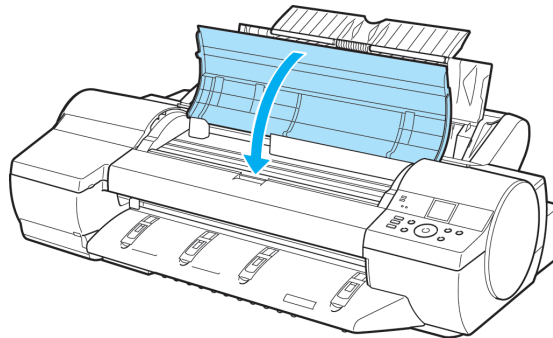
手差しのカット紙のつまりを取り除く

手差しで給紙したカット紙がつまった場合、操作パネルのディスプレイに[用紙がつまりました]と表示されます。以下の手順で、用紙のつまりを取り除きます。

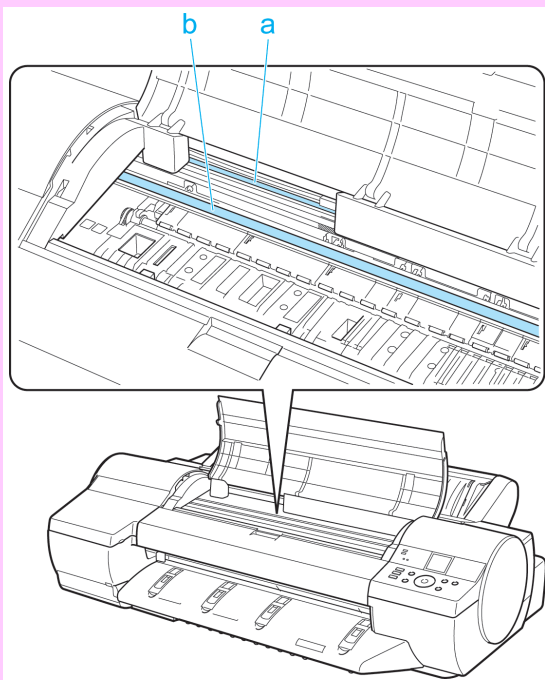
1. [OK]キーを押します。

2. つまっている用紙を取り除きます。

- 上カバー内部で用紙がつまっている場合

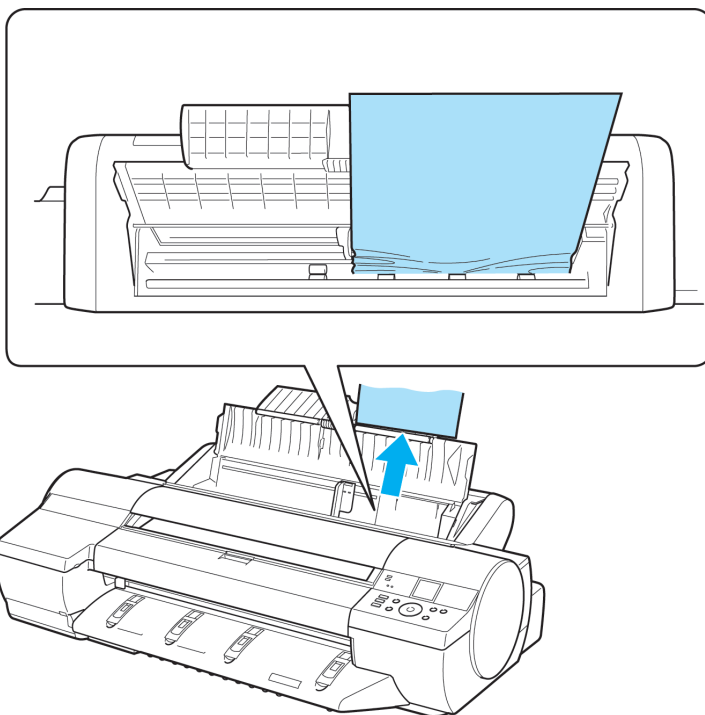
1. 上カバーを開き、キャリッジを手動で端に移動します。

2. 上カバー内部につまった用紙を取り除きます。
   取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

3. 上カバーを閉じます。

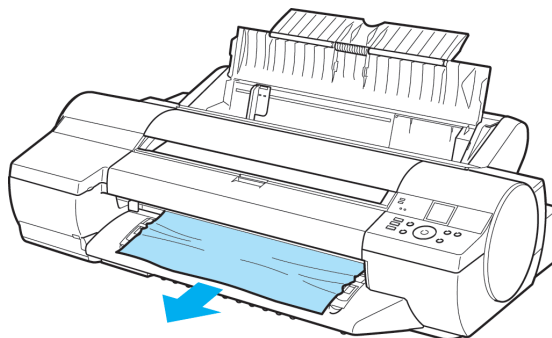
重要

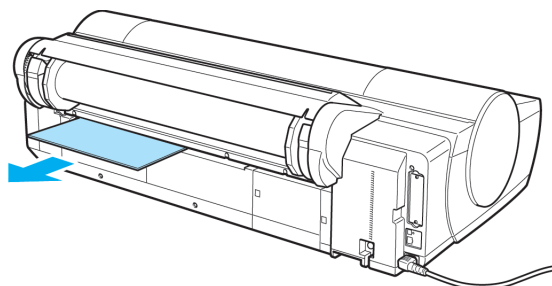
- つまった用紙の上を通して、キャリッジを移動させないでください。プリントヘッドが壊れる可能性があります。
- リニアスケール(a)、キャリッジシャフト(b)には触れないでください。手が汚れたり、プリンタの故障の原因になります。

- 手差し上面給紙口の給紙口付近で用紙がつまっている場合

給紙口からつまった用紙を取り除きます。

取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

給紙口の奥に用紙がつまっている場合は、ロール紙ユニットを取り外し、用紙を取り除いてください。(「用紙のつまりを取り除く(給紙口内部)」参照) →P.878

- **排紙ガイド付近で用紙がつまっている場合**

  排紙口からつまった用紙を取り除きます。
  取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

- **プリンタの背面で用紙がつまっている場合**

  背面からつまった用紙を取り除きます。
  取り除いた後、紙片などが残っていないか点検します。

3. [OK]キーを押します。

ロール紙が給紙口に入らない

原因	処置
ロール紙がカールしています。	カールを直して、ロール紙をセットし直します。
給紙口に用紙がつまっています。	つまっている用紙を取り除きます。 (「ロール紙のつまりを取り除く」参照) →P.879 (「手差しのカット紙のつまりを取り除く」参照) →P.882
ロール紙が給紙された状態で無理にロール紙を引き抜いてしまい、給紙口が閉じてしまっています。	ロール紙を取り外し、給紙口を開きます。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.677

カット紙をセットできない

原因	処置
給紙元の選択が間違っています。	[用紙交換]キーを押して、給紙元を選択します。

用紙をきれいにカットできない

原因	処置
用紙のカット位置の端部が折れ曲がっています。	用紙の端部の折れ曲がりを直します。
カット時に用紙のカット位置の端部が浮き上がっています。	用紙を正しくセットし直します。
カッターユニットでカットできない用紙を使用しています。	操作パネルのメニューで[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]を[ﾕｰｻﾞｰｶｯﾄ]に設定し、印刷後にロール紙をはさみなどでカットします。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.684
操作パネルのメニューで[ｶｯﾄ ｽﾋﾟｰﾄﾞ]が正しく設定されていません。	操作パネルのメニューで[ｶｯﾄ ｽﾋﾟｰﾄﾞ]の設定値を変更してください。 (「メニューの階層」参照) →P.770
カット中に、印刷物が斜めに落下しています。	操作パネルのメニューで[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]を[ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]に設定し、印刷後に印刷物を持ちながらカットします。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.684

用紙がカットされない

原因	処置
排紙口付近の異物に印刷物が引っ掛かり、印刷物が浮き上がったため、カッターが用紙の下を通過しました。	排紙口付近の異物を取り除き、印刷物が水平に排紙されるようにします。
プリンタドライバの[オートカット設定]で[なし]または[カットラインを印刷]を選択しています。	プリンタドライバの[オートカット設定]で[あり]を選択します。
操作パネルのメニューで[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]が[ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]または[ﾕｰｻﾞｰｶｯﾄ]に設定されています。	[ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]が[ｲｼﾞｪｸﾄｶｯﾄ]に設定されている場合は、[用紙カット]キーを押して用紙をカットします。 [ｶｯﾄﾓｰﾄﾞ]が[ﾕｰｻﾞｰｶｯﾄ]に設定されている場合は、ロール紙をはさみなどでカットします。

用紙先端にくぼんだような跡が付く

原因	処置
プリンタにロール紙をセットしたまま長時間印刷しないと、次回ロール紙に印刷するときに、用紙の先端にくぼんだような跡が付く場合があります。	印刷品質を特に重視する場合は、[ﾛｰﾙ退避時ﾌﾟﾚｶｯﾄ]で[ｵﾝ]または[自動]を選択し、印刷開始前に用紙の先端を自動でカットすることをお勧めします。 (「メニューの階層」参照) →P.770

余白が多い

原因	処置
カット不良や排紙不良を防ぐために、ロール紙が規定の長さ送られてカットされました。	正常な動作です。

印刷が開始されない

操作パネルのデータ受信ランプが点灯しない

原因	処置
プリンタの電源が入っていません。	電源コードがしっかり奥まで接続されていることを確認します。[電源]キーを押して、プリンタの電源をオンにします。
プリンタドライバでプリンタが選択されていません。(プリンタはスリープ状態です。)	Windows の場合は、印刷ダイアログボックスの[プリンタの選択]や[プリンタ設定]でプリンタを選択し、印刷し直します。
	Mac OS X の場合は、[プリンタ設定ユーティリティ](または[プリントセンター])でプリンタを選択し、印刷し直します。
印刷ジョブが一時停止になっています。(プリンタはスリープ状態です。)	Windows の場合は、以下の手順で一時停止を解除します。 1. [プリンタと FAX](または[プリンタ])ウィンドウのプリンタのアイコンを選択します。 2. [ファイル]メニューから[一時停止]を選択してチェックを外し、一時停止を解除します。
	Mac OS X の場合は、以下の手順で一時停止を解除します。 1. [プリントとファクス](OS のバージョンによっては[プリンタ設定ユーティリティ])を開きます。 2. プリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[ジョブを開始]を選択し、一時停止を解除します。

印刷データを送信してもプリンタが動かない

原因	処置
操作パネルのメニューで、[印刷の一時停止]が[ｵﾝ]に設定されています。	[印刷の一時停止]を[ｵﾌ]に設定します。(「印刷を一時停止状態にする」参照) →P.15

ディスプレイにｲﾝｸ充填中です。と表示された

原因	処置
プリンタの動作中に、強制的に電源を切ってしまいました。	インクの充填が完了するまでお待ちください。インクの充填は、12 分程度かかる場合があります。

ディスプレイに攪拌中です。と表示された

原因	処置
インク攪拌動作が実行されています。	インク攪拌動作が終了するまでお待ちください。 攪拌の動作時間は、電源オフ状態の経過期間により異なります(約 30 秒〜約 2 分)。

プリンタが途中で停止する

ディスプレイにエラーメッセージが表示される

状態	処置
印刷中にエラーメッセージが表示されます。	エラーメッセージを確認し、必要な処置を行います。 (「エラーメッセージ一覧 →P.910 」参照)
印刷中にロール紙がなくなり、後端をテープで止められているロール紙が搬送できずに止まっています。	使い終わったロール紙を取り除き、新しいロール紙に交換します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.677 (「ロール紙をロールホルダーから取り外す」参照) →P.679 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.3

用紙が白紙で排紙される

状態	処置
ロール紙の先端が切り揃えられました。	操作パネルのメニューで[先端ﾌﾟﾚｶｯﾄ]が[ｵﾝ]または[自動]に設定されている場合は、ロール紙の先端が切り揃えられることがあります。 (「ロール紙の先端を自動でカットする」参照) →P.688
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、プリントヘッドの状態を確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.846
ご使用のプリンタに合っていないプリンタドライバから送信された印刷ジョブを受信しました。	ご使用のプリンタに合った imagePROGRAF プリンタドライバで印刷し直します。
プリンタが故障しています。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

印刷品質のトラブル

印刷がかすれる

原因	処置
用紙の裏面に印刷しています。	用紙の表面に印刷します。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.846
インクタンクを取り外したままプリンタを放置したため、インク供給部にインクがつまっています。	インクタンクを取り付けた状態で 24 時間以上経過してから、操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を実行します。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.847
上カバー内部に、つまった用紙の紙片が残っています。	以下の手順で、上カバー内部に残っている紙片を取り除きます。 **1.** 上カバーを開いて、プラテン上にキャリッジがないことを確認します。 **2.** 上カバー内部に残っている紙片を取り除きます。 (「ロール紙のつまりを取り除く」参照) →P.879 (「手差しのカット紙のつまりを取り除く」参照) →P.882 **3.** 上カバーを閉じます。
用紙をカットするときに、インクが乾燥していません。	操作パネルのメニューで[用紙詳細設定]の[ﾛｰﾙ紙乾燥時間]の設定時間を長くします。 (「メニューの設定値」参照) →P.777
プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]の設定が[標準]または[速い]の場合、印刷がかすれることがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、[最高]または[きれい]を選択し、印刷します。 [速い]または[標準]が選択されている場合は、[最高]または[きれい]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは少なくなりますが、印刷品質が低くなります。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.49
カット屑が出やすい用紙に印刷しています。	操作パネルのメニューで[用紙詳細設定]の[ｶｯﾄ屑軽減]を[ｵﾝ]に設定します。 (「ロール紙のカット屑を軽減する」参照) →P.689

プリントヘッドが用紙にこすれる

原因	処置
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 (「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
用紙が正しくセットされていないため、用紙が波打っています。	用紙をセットし直します。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 (「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694
操作パネルのメニューでプリントヘッドの高さが低く設定されています。	操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ 高さ]を[自動]に設定します。 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714
厚い用紙や、インクを吸収するとカールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷しています。	厚口コート紙のように紙ベースの用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[やや強い]または[強い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ 高さ]を現在の設定値より高く設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.724 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714
	トレーシングペーパー(CAD)のようにフィルムベースの用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[標準]、[やや強い]、または[強い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ 高さ]を現在の設定値より高く設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.724 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714
	厚さが 0.1 mm 以下の薄い用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[弱い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ 高さ]を現在の設定値より高く設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.724 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714
	フォト光沢紙系のロール紙に印刷したとき、用紙の端がカールして汚れる場合は、プリンタドライバの[用紙の詳細設定]で[先端余白]を[20mm]に設定してください。
プリンタに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、操作パネルで選択した用紙の種類が合っていません。	用紙をプリンタにセットするときに、操作パネルのメニューから正しい用紙種類を選択します。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 (「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694

用紙の端が汚れる

原因	処置
フチなし印刷や小さなサイズの用紙を印刷した後、プラテンが汚れています。	上カバーを開いてプラテンを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.864

11

原因	処置
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類が合っていません。	プリンタの用紙の種類を、プリンタドライバで指定した用紙の種類に合わせます。 (「用紙の種類を変更する」参照) →P.675
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタで指定した用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
用紙にしわやカールがあります。	しわやカールを取ってから、用紙をセットし直します。一度印刷した用紙は使用しないでください。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 (「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694
操作パネルのメニューで[ｶｯﾄ屑軽減]が[ｵﾝ]に設定されているため、用紙のカット位置にカット屑軽減ラインが印刷されています。	カット屑軽減機能が必要ない場合は、操作パネルのメニューで[ｶｯﾄ屑軽減]を[ｵﾌ]に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.777
操作パネルのメニューでプリントヘッドの高さが低く設定されています。	操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ高さ]を[自動]に設定します。 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714
厚い用紙や、インクを吸収するとカールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷しています。	厚口コート紙のように紙ベースの用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[やや強い]または[強い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ高さ]を現在の設定値より高く設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.724 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714
	トレーシングペーパー(CAD)のようにフィルムベースの用紙の場合は、操作パネルのメニューで[吸着力]を[標準]、[やや強い]、または[強い]に設定します。それでもこすれる場合は、操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ高さ]を現在の設定値より高く設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.724 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714
排紙ガイドが汚れています。	排紙ガイドを清掃します。 (「プリンタの外装を清掃する」参照) →P.864

用紙の表面が汚れる

原因	処置
用紙押さえが汚れています。	用紙押さえを清掃します。 (「上カバー内部を清掃する」参照) →P.864
乾きにくい用紙を使用しています。	操作パネルのメニューで[ﾛｰﾙ紙乾燥時間]を[1 分]程度に設定します。 (「メニューの設定値」参照) →P.777
	乾きにくい用紙に印刷すると、印刷中に用紙がカールし、排紙口に接触することがあります。 このような場合は、操作パネルのメニューで[ｽｷｬﾝ間ｳｪｲﾄ]を[ｵﾌ]以外に設定します。 ただし、印刷に時間がかかるようになります。 (「メニューの設定値」参照) →P.777

用紙の裏面が汚れる

原因	処置
フチなし印刷や小さなサイズの用紙を印刷した後、プラテンが汚れています。	上カバーを開いてプラテンを清掃します。 （「上カバー内部を清掃する」参照） →P.864
用紙押さえが汚れています。	用紙押さえを清掃します。 （「上カバー内部を清掃する」参照） →P.864

用紙後端部に帯状のローラ跡が付く

原因	処置
手差し前面給紙口の用紙に印刷した後、[OK]キーを押さずに、用紙を取り外しました。	メッセージに従って[OK]キーを押し、用紙を取り外してから、[OK]キーを押します。
	ローラに付着した汚れを拭き取ります。 （「上カバー内部を清掃する」参照） →P.864 （「用紙押さえを清掃する」参照） →P.867

フチなし印刷の直後のフチあり印刷で後端余白部が汚れる

原因	処置
使用環境によっては、ロール紙の先端や後端を自動的にカットさせる設定でフチなし印刷を実行すると、カッターユニットに付着したインクが次の印刷物に転写することがあります。	以下の手順で[インク乾燥時間]の[ページ間]を 30 秒～3 分程度に変更してから、フチなし印刷を実行してください。 **1.** プリンタドライバの[基本設定]シートで、[用紙の種類]の[詳細設定]をクリックします。 **2.** [インク乾燥時間]の[ページ間]の一覧からインク乾燥時間を選択します。

色味が違って印刷される

原因	処置
プリンタドライバの[詳細設定モード]でカラー調整が実行されていません。	プリンタドライバの[詳細設定モード]で[カラーモード]の[色設定]で色を調整します。
コンピュータやモニタのカラー調整が実行されていません。	コンピュータやモニタの取扱説明書を参照して、コンピュータやモニタのカラー調整を実行します。
	カラーマネジメントソフトウェアの取扱説明書を参照して、カラーマネジメントソフトウェアの設定を調整します。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。 （「ノズルのつまりをチェックする」参照） →P.846
Windows 用のプリンタドライバで[アプリケーションのカラーマッチングを優先する]チェックボックスがオフになっています。	プリンタドライバの[レイアウト]シートで[処理オプション]をクリックし、表示されたダイアログで[アプリケーションのカラーマッチングを優先する]チェックボックスをオンにします。
プリントヘッドを交換すると、プリントヘッドの個体差により色味が変わることがあります。	カラーキャリブレーションを実行します。

原因	処置
繰り返し使用するうちに、だんだんプリントヘッドの特性が変化し、色味が変わることがあります。	カラーキャリブレーションを実行します。
同一機種のプリンタでも、ファームウェアやプリンタドライバのバージョン、各項目の設定、使用環境が違うと、色味が変わることがあります。	以下の手順でプリンタの使用環境を揃えます。 **1.** ファームウェアやプリンタドライバのバージョンを同じものに揃えます。 **2.** 各設定項目を同じ設定にします。 **3.** カラーキャリブレーションを実行します。
プリンタドライバを再インストールするときに Media Configuration Tool の地域選択が変更されました。 Media Configuration Tool の地域選択を変更すると、インストール前にプリンタに登録されていた地域限定の用紙情報は削除されます。情報が削除された用紙でカラーキャリブレーションを実行していた場合、すべての種類の用紙でカラーキャリブレーションが適用されなくなります。	新しく選択した地域に合ったカラーキャリブレーションに対応している用紙で、カラーキャリブレーションをやり直します。

色味の違うスジが入る

原因	処置
用紙の送り量が正しく調整されていません。	用紙の送り量を調整します。 (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.716
	カット紙の印刷物の最後端部(およそ 20～30 mm 付近)に色味の違うスジが入る場合は、カット紙後端の送り量を調整します。 (「カット紙後端の色味を調整する」参照) →P.723
印刷ジョブの受信が途切れて、スムーズに印刷されていません。	他のアプリケーションや他の印刷ジョブを終了します。
操作パネルのメニューで[優先設定]が[長さ優先]に設定されています。	操作パネルのメニューで[優先設定]を[画質優先]に設定し、用紙の送り量を調整すると改善される場合があります。 (「用紙の送り量を調整する」参照) →P.716
プリントヘッドの位置がずれています。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.846
[印刷品質]の設定が低い場合、印刷にスジが入ることがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択し、印刷します。 [速い]または[標準]が選択されている場合は、[最高]または[きれい]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは少なくなりますが、印刷品質が低くなります。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.49
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 (「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

色ムラが発生する

原因	処置
ベタ塗りが多い画像を、[線画・文字]で印刷しています。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[優先画質]で、[写真・イラスト]を選択します。
カールしやすい用紙に印刷しています。	カールしやすい用紙の場合、用紙先端で色ムラが発生することがあります。操作パネルのメニューで用紙の吸着力が強くなるよう[吸着力]の設定値を変更するか、用紙の先端に 20 mm 以上の余白を設定します。 (「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.724
[印刷品質]の設定が低い場合、色ムラが発生することがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。 [速い]または[標準]が選択されている場合は、[最高]または[きれい]と比較して、印刷にかかる時間と消費インクは少なくなりますが、印刷品質が低くなります。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.49
画像に濃い部分と薄い部分がある場合、濃淡の境目に色ムラが発生することがあります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]で[片方向印刷]チェックボックスをオンにします。
フチなし印刷の場合、印刷を中断して用紙をカットするため、用紙の先端で若干の色ムラが発生することがあります。	プリンタドライバの[オートカット設定]で[なし]を選択し、印刷します。この場合、左右のみフチなしで印刷されます。印刷物を排紙、カットした後に、上下のフチをはさみなどでカットしてください。
	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.49
プリントヘッドの位置がずれています。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710
印刷物を重ねて乾燥させると、色ムラの原因となることがあります。	色ムラが出ないように、1 枚ごとに乾燥させることをお勧めします。
光沢紙、コート紙を使用した場合、濃度ムラが発生する場合があります。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、[最高]または[きれい]を選択し、印刷します。
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 (「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
厚紙のような重いカット紙を使用した場合、[後端送り補正]を実行しても、用紙の後端に色ムラが発生する場合があります。	厚紙のような重いカット紙に対しては、前面給紙ガイドを立てた状態で[後端送り補正]を実行してください。また、印刷時にも前面給紙ガイドを立ててください。 重いカット紙に印刷する場合以外では、前面給紙ガイドは倒した状態で使用してください。

画像の端部がぼやけたり、白スジが入る

原因	処置
プラテン上での用紙の吸着力が強すぎます。	操作パネルのメニューで[吸着力]を現在の設定値より弱く設定します。(「用紙の吸着力を変更する(吸着力)」参照) →P.724
	プラテン上の青いスイッチを、用紙のサイズに合わせて閉じます。(「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.896
プリントヘッドの位置が正しく設定されていません。	光沢・半光沢系のフォト用紙またはプルーフ用紙に対して、細かい文字や細線を精細に印刷する場合は、プリントヘッドを最適な高さに設定してから、プリントヘッドの位置を調整してください。(「印刷品質を向上させる」参照) →P.708
	操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ 高さ]を現在の設定値より低く設定します。(「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 (「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

プラテン上の青いスイッチを設定する

印刷物に対する以下のような症状が気になる場合には、プラテン上の青いスイッチの設定を変更してください。

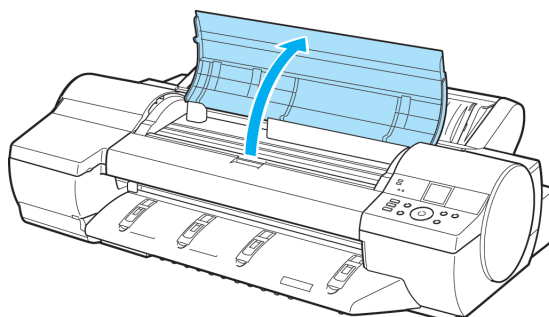
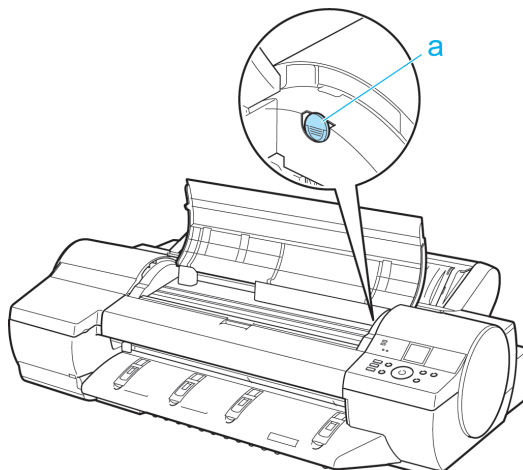
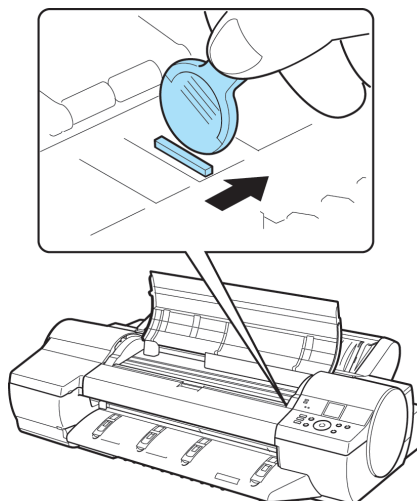
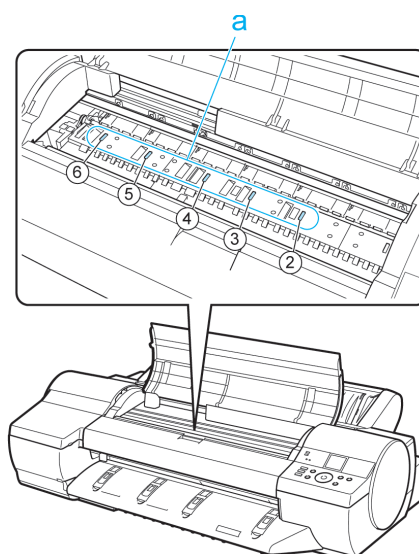
- 印刷した画像の端部がぼやける
- 印刷した画像の端部に、白いスジが入る

重要

- フチなしで印刷する場合は、プラテン上の青いスイッチを必ず●側に設定してください。スイッチが正しく設定されていないと、印刷品質が低下します。

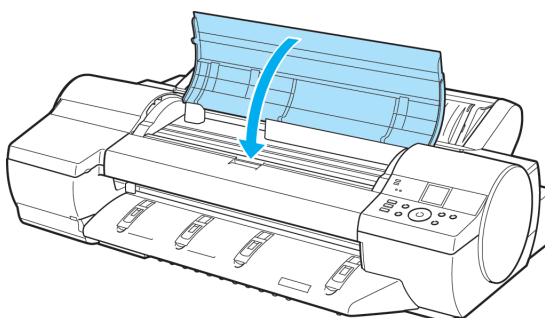
1. 使用しない用紙がセットされている場合は、取り外しておきます。

- ロール紙の場合(「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.677
- カット紙の場合(「カット紙を取り外す」参照) →P.701

2. 上カバーを開きます。

3. クリーナブラシ(a)を取り出します。

4. クリーナブラシの背を使い、1 番のスイッチを●の反対側に動かします。

5. 印刷する用紙サイズに一致するプラテン上の番号(a)を、下の表で確認してください。

番号	寸法	用紙サイズ
2	254 mm(10 インチ) / 257 mm	[四切 (10"x12")]/[六切 (8"x10")]/[JIS B4]

番号	寸法	用紙サイズ
3	355 mm（14 インチ）	[半切 (14"x17")]
4	406 mm（16 インチ）/ 420 mm / 432 mm（17 インチ）	[16 インチロール（406.4mm）]/[ISO A2]/[17 インチロール（431.8mm）]/[17"x22"/ANSI C]
5	515 mm（20 インチ）	[JIS B2]/[JIS B3]
6	610 mm（24 インチ）	[ISO A1]/[ISO A2]/[大全 (20"x24")]

6. クリーナブラシの背を使い、印刷する用紙サイズに一致する番号のスイッチを●の反対側に動かします。
この場合、動かす方向が手順 4 と逆になるので注意してください。

7. 上カバーを閉じます。

印刷中に周期的な濃淡差が発生する

原因	処置
用紙の送り量が正しく調整されていません。	用紙の送り量を調整します。 （「用紙の送り量を調整する」参照） →P.716
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 （「ロール紙をプリンタにセットする」参照） →P.672 （「カット紙を手差しでセットする」参照） →P.694
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

11

印刷物の用紙送り方向の長さが正確でない

原因	処置
操作パネルのメニューで[優先設定]が[画質優先]に設定されています。	操作パネルのメニューで[優先設定]を[長さ優先]に設定してから、[長さ調整]を実行します。 （「用紙の送り量を調整する」参照） →P.716
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 （「ロール紙をプリンタにセットする」参照） →P.672 （「カット紙を手差しでセットする」参照） →P.694
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。

原因	処置
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。

用紙に対して斜めに印刷される

原因	処置
操作パネルのメニューで[斜行検知精度]が[ゆるめ]または[オフ]に設定されています。	操作パネルのメニューで[斜行検知精度]を[高精度]または[標準]に設定します。

モノクロで印刷される

原因	処置
プリンタドライバの[詳細設定モード]の[カラーモード]で[モノクロ]、[モノクロ(写真)]が設定されています。	プリンタドライバの[詳細設定モード]の[カラーモード]で[カラー]を選択し、印刷し直します。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.846

線の太さが均一に印刷されない

原因	処置
Windows 用プリンタドライバの[処理オプション]ダイアログボックスで、[高速描画処理する]がチェックされています。	アプリケーションソフトの[ファイル]メニューの[印刷]から、プリンタドライバの[プロパティ]ダイアログボックスを開き、以下の設定で印刷してください。 1. [基本設定]シートの[印刷時にプレビュー画面を表示]のチェックを外してください。 2. [レイアウト]シートで、[ページレイアウト]のチェックを外してください。 3. [レイアウト]シートの[処理オプション]ボタンをクリックして開く[処理オプション]ダイアログボックスで[高速描画処理する]のチェックを外してください。
プラテン上の青いスイッチの設定が正しくない。	印刷する用紙サイズに一致する番号のスイッチを●の反対側に動かします。 (「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照) →P.896
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 (「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 1. [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 2. プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
プリントヘッドの位置が正しく設定されていません。	光沢・半光沢系のフォト用紙またはプルーフ用紙に対して、細かい文字や細線を精細に印刷する場合は、プリントヘッドを最適な高さに設定してから、プリントヘッドの位置を調整してください。

原因	処置
プリントヘッドの位置が正しく設定されていません。	(「印刷品質を向上させる」参照) →P.708
	操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ 高さ]を現在の設定値より低く設定します。 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714
用紙の種類によっては、印刷した線の太さのばらつきが目立つことがあります。	プリンタドライバで[文字・線画高精細]チェックボックスをチェックします。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.49

罫線のずれや色ずれが起こる

原因	処置
プリントヘッドの位置が正しく調整されていません。	プリントヘッドの位置を調整します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710 (「縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.712
	光沢・半光沢系のフォト用紙またはプルーフ用紙に対して、細かい文字や細線を精細に印刷する場合は、プリントヘッドを最適な高さに設定してから、プリントヘッドの位置を調整してください。 (「印刷品質を向上させる」参照) →P.708
	操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ 高さ]を現在の設定値より低く設定します。 (「用紙のこすれや画像のぼやけを改善する(ヘッド高さ)」参照) →P.714
プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットした用紙の種類が合っていません。	プリンタドライバで指定した用紙の種類に合った用紙をプリンタにセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 (「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694
	プリンタドライバの用紙の種類を、プリンタにセットした用紙の種類に合わせます。 **1.** [ストップ]キーを押して、印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を設定し直し、印刷します。
用紙の種類によっては、印刷した罫線のずれが目立つことがあります。	プリンタドライバで[文字・線画高精細]チェックボックスをチェックします。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.49

用紙の種類による印刷品質のトラブル

用紙の種類によって生じる印刷品質のトラブルについては、用紙リファレンスガイドを参照してください。
(「用紙の種類」参照) →P.663

ネットワーク環境で印刷できない

プリンタをネットワークに接続できない

原因	処置
プリンタの Ethernet コネクタと Ethernet ケーブルが正しく接続されていません。	**1.** 正しい Ethernet ケーブルでプリンタがネットワークに接続されていることを確認し、プリンタの電源をオンにします。ケーブルの接続方法については、セットアップガイドを参照してください。 **2.** LINK ランプが点灯していることを確認します。 1000Base-T で接続している場合は上下のランプが点灯します。100Base-TX で接続している場合は下側のランプが緑色に、10Base-T で接続している場合は上側のランプがオレンジ色に、それぞれ点灯します。 LINK ランプが点灯しない場合は、以下の点を確認してください。 • HUB の電源がオンになっていることを確認します。 • Ethernet ケーブルのコネクタが正しく接続されていることを確認します。 Ethernet ケーブルは、カチッとロックするまで Ethernet コネクタに差し込んでください。 • Ethernet ケーブルに問題がないことを確認します。 問題がある場合は、Ethernet ケーブルを取り替えてください。 • HUB との通信方式を確認します。 プリンタは通常、HUB の通信モードや速度を自動で検出しますが(オートネゴシエーションモード)、HUB によっては、検出できない場合があります。その場合は、ご使用の通信方式に合わせて、手動で接続方式を設定してください。 (「通信方式を手動で設定する」参照) →P.815

TCP/IP ネットワークで印刷できない

原因	処置
プリンタの IP アドレスが正しく設定されていません。	プリンタの IP アドレスが正しく設定されていることを確認します。 (「imagePROGRAF Device Setup Utility で IP アドレスを設定する」参照) →P.404 (「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定する」参照) →P.806
プリンタの TCP/IP プロトコルが正しく設定されていません。	プリンタの TCP/IP プロトコルが正しく設定されていることを確認します。 (「プリンタに TCP/IP ネットワークの設定をする」参照) →P.810
印刷を行うコンピュータが正しく設定されていません。	コンピュータの TCP/IP 設定が正しく行われていることを確認します。 (「プリンタドライバの接続先を設定する」参照) →P.818 (「TCP/IP ネットワークで接続先を設定する」参照) →P.832

NetWare ネットワークで印刷できない

原因	処置
プリンタの NetWare プロトコルが正しく設定されていません。	プリンタの NetWare プロトコルが正しく設定されていることを確認します。特に、有効なフレームタイプが選択されていることを確認してください。（「プリンタに NetWare ネットワークの設定をする」参照） →P.819
印刷を行うコンピュータが正しく設定されていません。	コンピュータの NetWare 設定が正しく行われていることを確認します。（「NetWare ネットワークを設定する」参照） →P.827
NetWare のサーバーやサービスが正しく設定されていません。	以下の点を確認します。 1. NetWare サーバーが起動していることを確認します。 2. NetWare サーバーに十分なディスクの空き容量があることを確認します。ディスクの空き容量が不足すると、サイズの大きいジョブを印刷できない場合があります。 3. NWADMIN または PCONSOLE を起動し、プリントサービスが正しく設定され、プリントキューが使用可能であることを確認します。 4. 他のサブネットにあるプリンタへのデータの送信に失敗する場合は、プリンタのプロトコル設定で、NCP バーストモードをオフにします。 5. キューサーバーモードで使用している場合は、プリンタタイプを［その他/不明］に設定します。

AppleTalk や Bonjour ネットワークで印刷できない

原因	処置
プリンタの AppleTalk プロトコルが有効になっていません。	AppleTalk プロトコルを有効にします。（「プリンタに AppleTalk ネットワークの設定をする」参照） →P.829
印刷を行うコンピュータが正しく設定されていません。	コンピュータ側の AppleTalk 設定が正しく行われていることを確認します。 （「AppleTalk ネットワークで接続先を設定する」参照） →P.830 （「Bonjour ネットワークで接続先を設定する」参照） →P.834
コンピュータとプリンタが同一のネットワーク上にありません。	Bonjour 機能では、ルーターを経由した別のネットワークグループ上のプリンタで印刷することはできません。コンピュータとプリンタを同じネットワークグループに接続してください。ご使用のネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

インストールに関連するトラブル

インストールしたプリンタドライバを削除したい

コンピュータにインストールしたプリンタドライバやユーティリティソフトは、以下の手順で削除できます。

プリンタドライバを削除する(Windows)

プリンタドライバは、以下の手順で削除します。

メモ

- Windows 2000/Windows XP/Windows Server 2003/Windows Vista/Windows Server 2008/ Windows 7 の場合は、Administrator アカウントに相当する管理者権限が必要です。

1. Windows の[スタート]メニューから[プログラム]ー[Canon Printer Uninstaller]ー[imagePROGRAF Printer Driver Uninstaller]を選択し、[プリンタの削除]ウィンドウを開きます。
2. 一覧からプリンタを選択し、[削除]をクリックします。
3. [警告]メッセージダイアログボックスで、[はい]をクリックします。
4. 一覧からプリンタが削除されたことを確認し、[終了]をクリックします。

プリンタドライバ/imagePROGRAF Printmonitor を削除する(Macintosh)

プリンタドライバ/imagePROGRAF Printmonitor は、以下の手順で削除します。

1. プリンタに付属の User Software CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
2. User Software CD-ROM の中にあるプリンタドライバのインストーラを起動します。
   [OS X]フォルダ内の[iPF Driver Installer X]をダブルクリックします。
3. インストーラのウィンドウの左上のメニューから[アンインストール]を選択し、[アンインストール]をクリックします。
4. 画面に従って、プリンタドライバ/imagePROGRAF Printmonitor を削除します。

imagePROGRAF Status Monitor を削除する(Windows)

imagePROGRAF Status Monitor は、以下の手順で削除します。

メモ

- 以下の操作手順は、Windows XP のものです。削除方法は、Windows のバージョンによって異なります。

1. [スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択します。
2. [プログラムの追加と削除]を開きます。
3. [imagePROGRAF Status Monitor]を選択し、[変更と削除]ボタンをクリックします。

imagePROGRAF Device Setup Utility を削除する（Windows）

imagePROGRAF Device Setup Utility は、以下の手順で削除します。

1. Windows の［スタート］メニューから［プログラム］－［imagePROGRAF Device Setup Utility］－［Uninstaller（imagePROGRAF Device Setup Utility）］を選択し、ウィザードを起動します。
2. ウィザードのウィンドウで[削除]をクリックし、[次へ]をクリックします。
3. 画面に従って、imagePROGRAF Device Setup Utility を削除します。

その他のトラブル

電源がオンにならない

原因	処置
電源コードが抜けています。	コンセントに電源コードを接続してから、プリンタの電源をオンにします。
所定の電圧が供給されていません。	コンセントやブレーカーの電圧を確認します。プリンタの仕様に合った電源を使用してください。 （「仕様」参照） →P.797

異常音かなと思ったときには

原因	処置
プリンタの動作音がした。	以下のような場合は、異常ではありません。 • プラテンから吸引音がする 用紙の浮き上がりを防ぐために、プラテン表面には吸引口があり、用紙を吸引しています。 • 印刷中にロール紙がはためく音がする 大きいサイズの用紙が送られるときに、はためく音がする場合があります。 • 突然クリーニング動作の音がする プリンタのメンテナンスのため、所定の期間が経過するとスリープ状態でもクリーニング動作が自動実行されます。 • 突然インク攪拌動作の音がする 最適な印字品位を保つため、所定の期間が経過するごとにスリープ状態でもインク攪拌動作が自動実行されます。攪拌の動作時間は約 30 秒です。 また、以下のタイミングでもインク攪拌動作が自動実行されます。なお、操作パネルのディスプレイに[攪拌中です。]と表示されている間に他の操作はできません。 　• 電源オン後 　• データ送信後 　• インクタンク交換後 上記以外の場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない

原因	処置
交換した新しいメンテナンスカートリッジが認識されていません。	交換した新しいメンテナンスカートリッジを取り外し、再度しっかり差し込み直します。
	プリンタを再起動します。

インクが異常に消費される

原因	処置
全面カラーの多数の印刷物が印刷されています。	写真など色を塗りつぶすような印刷物の場合、インクを多く消費します。異常ではありません。
操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]が頻繁に実行されています。	操作パネルのメニューで[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を実行すると、インクを多く消費します。異常ではありません。プリンタの輸送後、長期間プリンタを使用しなかった後、またはプリントヘッドのトラブル時以外は、できる限り[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ B]を実行しないことをお勧めします。
初期充填が行われました。	初めてプリンタを使用する場合やプリンタの輸送後に使い始める場合、インクタンクとプリントヘッド間でインクの初期充填が行われるため、インクの残量表示がすぐに 80%になることがあります。異常ではありません。
プリントヘッドのノズルがつまっています。	ノズルのつまりをチェックしてください。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.846

インク残量検知機能について

一度空になったインクタンクを取り付けた場合、インク残量検知機能を無効にできます。

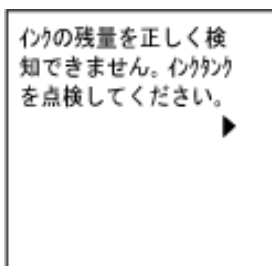
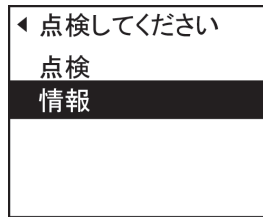
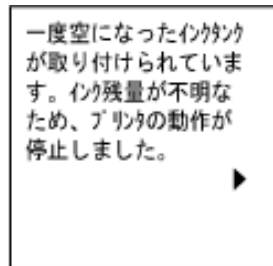
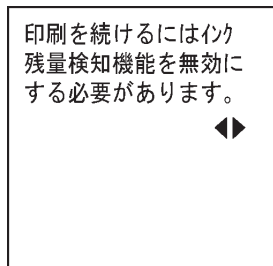
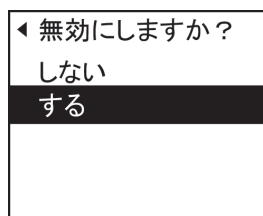
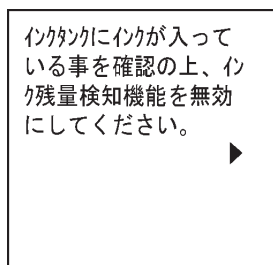
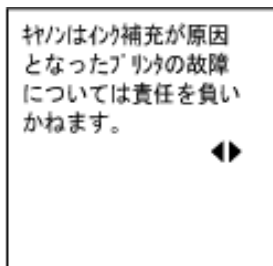
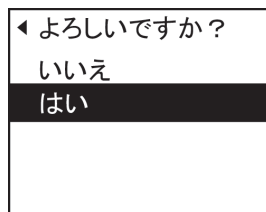
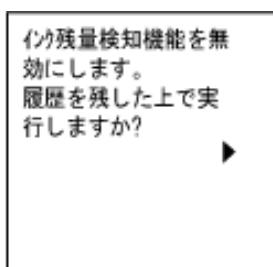
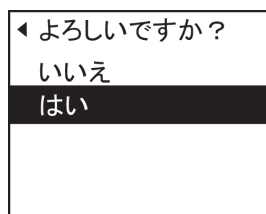
インク残量検知機能について

このプリンタ指定のインクタンクには、印刷中のインク切れやプリンタの故障を防止するためのインク残量検知機能があります。(「インクタンク」参照) →P.837
インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなり、印刷が停止します。そのため、インクを補充したインクタンクを使用する場合は、インク残量検知機能を無効にする必要があります。
ただし、インク残量検知機能を無効にして印刷した場合、プリンタに損傷、異常が発生する場合があります。インクを補充したことが原因の故障につきましては、キヤノンは責任を負いかねます。

注意

- いったんインク残量検知機能を無効にすると、そのインクタンクに対するインク残量検知機能を回復させることはできません。インク残量検知機能を回復するには、プリンタ指定の新しいインクタンクに交換してください。
- 同じインクタンクを何度も抜き差しすると、インクタンクとプリンタとの接合部に不具合が生じ、インクタンクからインクが漏れてプリンタに損傷を与える場合があります。

インク残量検知機能を無効にする

1. ディスプレイに、インクの残量を検知できないというメッセージが表示されます。確認して[▶]キーを押します。

2. [▲]キー、[▼]キーを押して[情報]を選択し、[OK]キーを押します。

3. ディスプレイにインク残量検知機能の無効を確認するメッセージが表示されます。確認して[▶]キーを押します。

4. メッセージを確認して[▶]キーを押します。

5. [▲]キー、[▼]キーを押して[する]を選択し、[OK]キーを押します。

6. メッセージを確認し、[▶]キーを押します。

7. メッセージを確認し、[▶]キーを押します。

8. [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。

9. ディスプレイに、インクの情報の更新を確認するメッセージが表示されます。確認して[▶]キーを押します。

10. [▲]キー、[▼]キーを押して[はい]を選択し、[OK]キーを押します。

インク残量検知機能が無効になります。

エラーメッセージ

エラーメッセージ一覧

用紙関連のメッセージ

用紙が違います

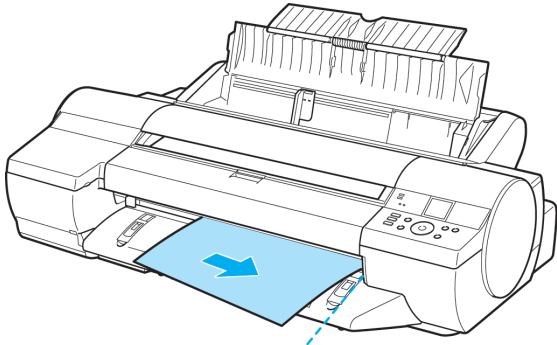
原因	処置
調整パターンを複数枚のカット紙に印刷する場合に用紙サイズや種類が統一されていません。	調整パターンを印刷する際は、同じ種類の用紙を、調整に必要な枚数用意してください。 [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押して、用紙を交換します。 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.6 印刷が開始されます。
	以下の手順で用紙を交換し、調整し直します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 2. 用紙を交換します。 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.6 3. 操作パネルのメニューから再度調整を実行します。

用紙種類が違います

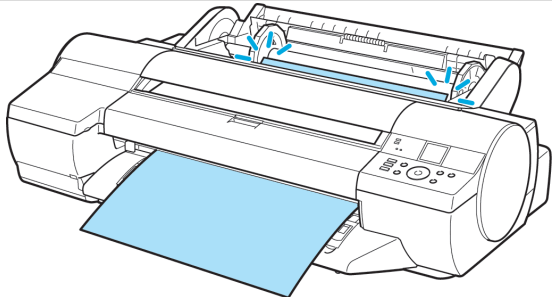
原因	処置
操作パネルのメニューの[用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知]が[一時停止する]に設定されているときに、プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットしてある用紙の種類が合っていません。	以下の手順で、プリンタドライバの用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類を合わせます。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで指定した用紙をセットし直します。 印刷が再開されます。 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.3 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.6
	以下の手順で、プリンタドライバの用紙の種類と、プリンタで指定した用紙の種類を合わせます。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで用紙の種類を変更するか、プリンタにセットしていた用紙を交換してプリンタの用紙の種類を変更します。 (「ロール紙をセットして印刷する」参照) →P.3 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.6
	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
操作パネルのメニューの[用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知]が[警告表示する]に設定されているときに、プリンタドライバで指定した用紙の種類と、プリンタにセットしてある用紙の種類が合っていません。	印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

用紙が小さいです

原因	処置
操作パネルのメニューの[用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知]が[一時停止する]に設定されているときに、プリンタドライバで設定した用紙のサイズよりも小さいサイズの用紙がプリンタにセットされています。	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	以下の手順で、プリンタにセットした用紙のサイズに合わせて、プリンタドライバの用紙サイズを設定し直します。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバの用紙サイズ設定を、プリンタにセットした用紙のサイズに変更し、印刷し直します。
	以下の手順で、プリンタドライバで設定した用紙サイズに合わせて、プリンタの用紙を交換します。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバで設定したロール紙幅の用紙に交換し、印刷し直します。

原因	処置
操作パネルのメニューの[用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知]が[警告表示する]に設定されているときに、プリンタドライバで設定した用紙のサイズよりも小さいサイズの用紙がプリンタにセットされています。	印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

用紙が小さいです。

原因	処置
セットされている用紙が小さすぎます。 (テストプリントなどのプリンタ内部データを印刷するとき。)	以下の手順で、10 インチ幅以上のロール紙に交換します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押してロール紙を取り外します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.677 (「ロール紙をロールホルダーから取り外す」参照) →P.679 2. 10 インチ幅以上のロール紙に交換します。 (「ロール紙をロールホルダーにセットする」参照) →P.669 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 印刷が再開されます。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。

用紙幅が違います

原因	処置
操作パネルのメニューの[用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知]が[一時停止する]または[警告表示する]に設定されているときに、プリンタドライバの[ロール紙の幅に合わせる]で設定したロール紙幅と、プリンタにセットしてあるロール紙の幅が違います。	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。
	以下の手順で、プリンタドライバで設定したロール紙幅の用紙に交換します。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押してロール紙を取り外します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.677 (「ロール紙をロールホルダーから取り外す」参照) →P.679 2. フチなし印刷できるプリンタの用紙に交換します。 (「ロール紙をロールホルダーにセットする」参照) →P.669 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 印刷が開始されます。
	プリンタドライバの[ロール紙の幅に合わせる]を選択したときに表示されるダイアログボックスで設定したロール紙幅と、プリンタにセットする用紙の幅を合わせて印刷し直します。

用紙ｻｲｽﾞを検知できません。

原因	処置
用紙のセット位置がずれているか、カールした用紙がセットされています。 	以下の手順でロール紙をセットし直します。 1. [OK]キーを押します。 2. ロール紙の右端を右側の紙合わせラインに平行になるように合わせます。 3. ディスプレイに[印刷が完了しなかったｼﾞｮﾌﾞが残っています。このｼﾞｮﾌﾞを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672
	ロール紙をセットし直しても、このエラーが再び発生する場合は、ロールホルダーをプリンタから取り外し、ロール紙をロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込んでから、ロールホルダーをプリンタにセットしてください。 (「ロール紙をロールホルダーにセットする」参照) →P.669
	以下の手順で、カット紙をセットし直します。 1. [OK]キーを押します。 2. カット紙の右端を右側の紙合わせライン、カット紙の後端を用紙押さえの下の紙合わせラインに平行になるように合わせます。 3. ディスプレイに[印刷が完了しなかったｼﾞｮﾌﾞが残っています。このｼﾞｮﾌﾞを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 (「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694

このﾃﾞｰﾀを印刷するには用紙が足りません。

原因	処置
操作パネルのメニューで[ﾛｰﾙ紙残量管理]が[ｵﾝ]に設定されている場合に、ロール紙の残量よりも長いサイズの印刷ジョブを受信しました。	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。 ただし、途中でロール紙がなくなり最後まで印刷できない可能性があります。

原因	処置
	[▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 プリンタドライバの[給紙方法]を変更するか、印刷ジョブが印刷可能な長さの用紙に交換して印刷し直します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.677 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択するか、[ストップ]キーを押して印刷を中止します。

この用紙は使用できません。

原因	処置
プリンタにセットできるサイズよりも大きな用紙がセットされています。	[OK]キーを押して、正しいサイズの用紙をセットし直します。 (「用紙のサイズ」参照) →P.666
プリンタにセットできるサイズよりも小さな用紙がセットされています。	[OK]キーを押して、正しいサイズの用紙をセットし直します。 (「用紙のサイズ」参照) →P.666
調整用パターンやノズルチェックパターンの印刷に必要なサイズよりも小さな用紙がセットされています。	[OK]キーを押して、A4/レター縦サイズ以上で未使用の用紙をセットし直します。各調整により複数の用紙が必要な場合があります。

ロール紙印刷が指定されています。

原因	処置
ロール紙で印刷しようとしましたが、ロール紙がセットされていません。	[▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙をセットする]を選択し、[OK]キーを押して、ロール紙をセットして印刷します。 (「ロール紙をロールホルダーにセットする」参照) →P.669 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択するか、[ストップ]キーを押して印刷を中止します。

ロール紙印刷が指定されましたが、手差し用紙がセットされています。

原因	処置
カット紙がセットされているときに、ロール紙を指定した印刷ジョブを受信しました。	以下の手順で、ロール紙をセットして印刷します。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を取り外す]を選択し、[OK]キーを押してカット紙を取り外します。 (「カット紙を取り外す」参照) →P.701 **2.** ロール紙をセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672

原因	処置
カット紙がセットされているときに、ロール紙を指定した印刷ジョブを受信しました。	印刷が開始されます。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。

ﾛｰﾙ紙がなくなりました。

原因	処置
ロール紙がなくなりました。	以下の手順で、使用していたロール紙と同じサイズ、種類のロール紙に交換します。 **1.** [OK]キーを押して、ロール紙を取り外します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.677 (「ロール紙をロールホルダーから取り外す」参照) →P.679 **2.** 新しいロール紙をセットします。 (「ロール紙をロールホルダーにセットする」参照) →P.669 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 **3.** ロール紙にバーコードが印刷されていない場合は、用紙の種類を選択します。 (「用紙の種類を変更する」参照) →P.675 **4.** 操作パネルのメニューで[ﾛｰﾙ紙残量管理]が[ｵﾝ]に設定されていて、ロール紙にバーコードが印刷されていない場合は、用紙の長さを設定します。 (「用紙の長さを設定する」参照) →P.677 **5.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったｼﾞｮﾌﾞが残っています。このｼﾞｮﾌﾞを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。
ロール紙はありますが、用紙送りに失敗して検知できませんでした。	ロール紙の未使用部が重いため負荷がかかっています。印字モードを変更すると紙送りのタイミングが変わるため改善する可能性があります。 プリンタドライバの[詳細設定モード]の[印刷品質]で、より高品質の設定を選択します。 (「印刷するときに優先する要素や色を設定して印刷する」参照) →P.49

ﾛｰﾙﾕﾆｯﾄが異常です。

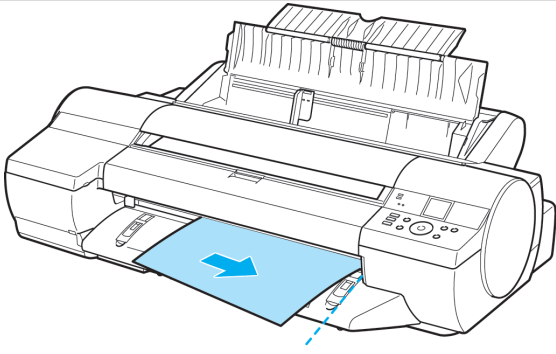
原因	処置
ロール紙ユニットが動作しません。	電源をオフにし、ロール紙ユニットをいったん取り外してから取り付け直します。 (「ロール紙ユニットを取り外す」参照) →P.691 (「ロール紙ユニットを取り付ける」参照) →P.692
	上記の操作を行っても、再びメッセージが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

ﾛｰﾙﾕﾆｯﾄが装着されていません。

原因	処置
ロール紙ユニットが装着されていないプリンタで、印刷ジョブを受信しました。	[ストップ]キーを押して、印刷を中止します。
	1. 電源をオフにして、ロール紙ユニットを装着します。 ロールユニット接続ケーブルは奥までしっかり差し込んでください。 **2.** 電源をオンにして、印刷ジョブを送信し直します。

手差し用紙印刷が指定されています。

原因	処置
カット紙で印刷しようとしましたが、カット紙がセットされていません。	[▲]キー、[▼]キーを押して[用紙をセットする]を選択し、[OK]キーを押して、カット紙をセットして印刷します。 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.6
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択するか、[ストップ]キーを押して印刷を中止します。

手差し用紙印刷が指定されましたが、ロール紙がセットされています。

原因	処置
ロール紙がセットされている状態で、カット紙印刷のデータを受信しました。	**1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[ロール紙を取り外す]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 **2.** ロール紙を取り外し、プリンタドライバで指定したサイズ/種類のカット紙をセットして印刷し直します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.677 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.6
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して、印刷を中止します。

手差し用紙の給紙口が違います。

原因	処置
用紙をセットした給紙口と、プリンタドライバの[給紙方法]で指定した給紙口が違います。	以下の手順で、用紙をプリンタドライバの[給紙方法]で指定した給紙口にセットし直します。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を取り外す]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 用紙が排紙されます。 **2.** プリンタドライバで指定した給紙口に用紙をセットし直します。 印刷が再開されます。
	以下の手順で、プリンタドライバの[給紙方法]の設定を、用紙をセットした給紙口に合わせます。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 **2.** プリンタドライバの[給紙方法]の設定を、用紙をセットした給紙口に合わせ、印刷ジョブを再送信します。

用紙が斜めにセットされています。

原因	処置
紙送り中に、用紙が斜めにセットされていることを検知しました。	以下の手順でロール紙をセットし直します。 **1.** [OK]キーを押します。 **2.** ロール紙の右端をオレンジ色の紙合わせラインに平行になるように合わせます。

原因	処置
	(「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672
	ロール紙をセットし直しても、このエラーが再び発生する場合は、ロールホルダーをプリンタから取り外し、ロール紙をロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込んでから、ロールホルダーをプリンタにセットしてください。 (「ロール紙をロールホルダーにセットする」参照) →P.669
	以下の手順で、カット紙をセットし直します。 **1.** [OK]キーを押します。 **2.** カット紙を引き抜きます。 **3.** カット紙の右端を右側の紙合わせライン、カット紙の後端を用紙押さえの下の紙合わせラインに平行になるように合わせます。 (「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694

メモ

- 上記の手順を繰り返してもこのメッセージが表示される場合やこのメッセージを表示したくない場合は、プリンタのメニューの[斜行検知精度]で[オフ]または[ゆるめ]を選択します。ただし、用紙が斜めのまま印刷されるため、紙づまりや印刷結果に不具合が発生したり、プラテンが汚れ、次に印刷するときに用紙の裏が汚れる可能性があります。

用紙が右側のガイドに合っていません。

原因	処置
用紙セット時に、用紙が右端のガイドに合っていません。	以下の手順で、カット紙をセットし直します。 **1.** [OK]を押してエラーを解除します。 **2.** カット紙の右端を右側の紙合わせライン、カット紙の後端を用紙押さえの下の紙合わせラインに平行になるように合わせます。

用紙を検知できません。

原因	処置
用紙を検知できませんでした。	以下の手順で、用紙をセットし直します。 **1.** 用紙を取り除いて、[OK]キーを押します。 **2.** 用紙をセットし直します。 (「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672

用紙を送ることができません。

原因	処置
給紙時に用紙を正しく送ることができませんでした。	**1.** [OK]キーを押します。 **2.** 用紙を取り除きます。 (「ロール紙のつまりを取り除く」参照) →P.879 (「手差しのカット紙のつまりを取り除く」参照) →P.882 **3.** 用紙をセットします。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 (「カット紙を手差しでセットする」参照) →P.694 **4.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。
排紙時に用紙を正しく送ることができませんでした。	**1.** [OK]キーを押します。 **2.** 用紙を取り除きます。 (「ロール紙のつまりを取り除く」参照) →P.879 (「手差しのカット紙のつまりを取り除く」参照) →P.882

用紙をカットできません。

原因	処置
カットされた用紙が排紙ガイド上に残っています。	**1.** [OK]キーを押して、用紙を取り除きます。 **2.** 用紙をセットします。 **3.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672
排紙口付近に異物があり、カッターユニットがぶつかっています。	**1.** 上カバーを開けて、異物を取り除きます。 **2.** ディスプレイに[印刷が完了しなかったジョブが残っています。このジョブを印刷しますか?]と表示された場合は、[OK]キーを押します。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。
用紙の推奨使用環境で使用していません。	用紙の推奨使用環境範囲内で使用します。用紙ごとに推奨使用環境が異なります。推奨使用環境については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙の種類」参照) →P.663
オートカットに対応していない用紙を使用しています。	**1.** ロール紙のカット方法を[ユーザーカット]に設定してロール紙をはさみなどでカットします。 (「ロール紙のカット方法を設定する」参照) →P.684 オートカットの対応については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙の種類」参照) →P.663 **2.** [OK]キーを押して、用紙を取り除きます。
上記以外の場合、カッターユニットが故障している可能性があります。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

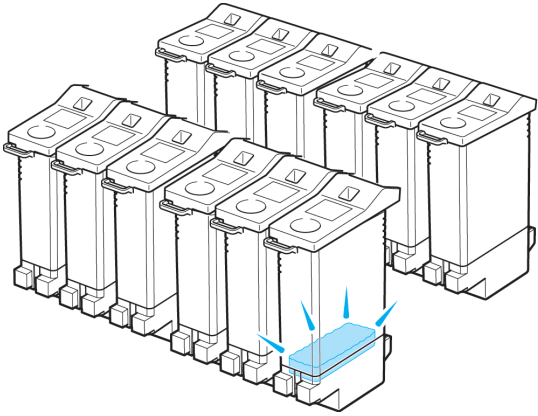
紙送り量のﾘﾐｯﾄに達しました。

原因	処置
操作パネルの[▲]キーを押して、ロール紙を先端まで巻き戻そうとしています。	[▲]キーから指を離します。

ﾌﾁなし印刷ができません。

原因	処置
フチなし印刷に対応していない用紙の種類あるいは紙幅が指定されたデータを受信しました。	以下の手順で、フチなし印刷できるように印刷ジョブを設定し直します。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。 **2.** ご使用のプリンタ専用のプリンタドライバが選択されていることを確認し、印刷し直します。 フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙の種類」参照) →P.663
	操作パネルのメニューの[用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知]を[警告表示する]に設定している場合は、[検知しない]に設定します。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[ﾌﾁありで印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続けた場合は、フチのある印刷になります。
プリンタにセットしてある用紙がフチなし印刷をサポートしていないサイズの用紙です。	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。
	以下の手順で、フチなし印刷できるプリンタの用紙に交換します。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押します。 (「ロール紙をプリンタから取り外す」参照) →P.677 (「ロール紙をロールホルダーから取り外す」参照) →P.679 **2.** フチなし印刷できるプリンタの用紙に交換します。 (「ロール紙をロールホルダーにセットする」参照) →P.669 (「ロール紙をプリンタにセットする」参照) →P.672 印刷が開始されます。 フチなし印刷できる用紙の種類については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙の種類」参照) →P.663
	[▲]キー、[▼]キーを押して[ﾌﾁありで印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続けた場合は、フチのある印刷になります。
使用環境によってロール紙が伸びたり、縮んだりするため、フチなし印刷可能な幅に入らなくなる場合があります。	[OK]キーを押して印刷を中止します。 用紙種類ごとの使用環境範囲内で使用してください。用紙の使用環境については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙の種類」参照) →P.663
	操作パネルのメニューで[用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知]が[警告表示する]に設定されている場合は、[検知しない]に設定します。 ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
用紙のセット位置がずれています。	[▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、用紙の端部がフチなし印刷インク受け溝の幅に入るようにセットし直します。 ロール紙はロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込みます。 A1 サイズ(594 mm)、A2 サイズ(420 mm)のロール紙にフチなし印刷する場合は、フチなし印刷用スペーサーをロールホルダーに取り付けてください。

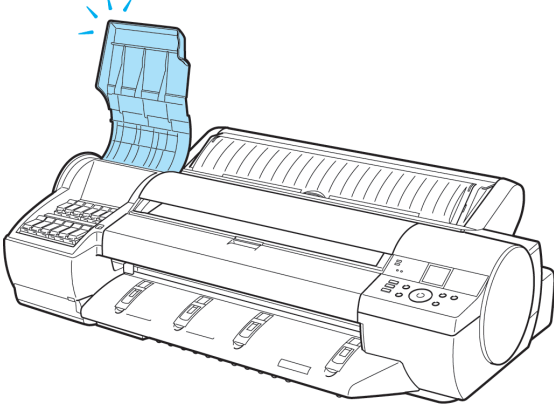
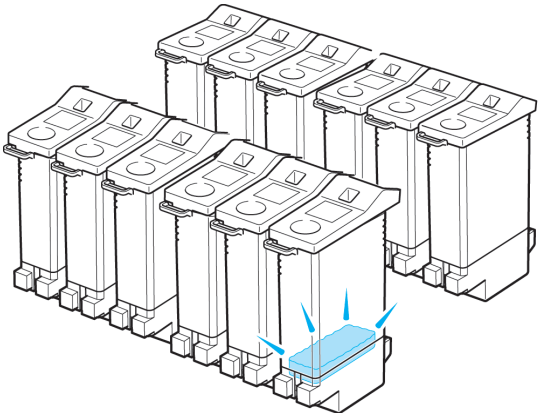
原因	処置
用紙のセット位置がずれています。	(「ロール紙をロールホルダーにセットする」参照) →P.669
	操作パネルのメニューで[用紙ﾐｽﾏｯﾁ検知]が[警告表示する]に設定されている場合は、[検知しない]に設定します。 ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[ﾌﾁありで印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続けた場合は、フチのある印刷になります。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択するか、[ストップ]キーを押して印刷を中止します。

ﾛｰﾙ紙がﾛｰﾙﾎﾙﾀﾞｰにしっかり突き当たっていません。

原因	処置
用紙セット時に、ロール紙がロールホルダーにしっかり突き当たっていません。	以下の手順で、ロール紙をセットし直します。 **1.** [OK]キーを押して、ロールホルダーをプリンタから取り外します。 **2.** ロール紙をロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込みます。 (「ロール紙をロールホルダーにセットする」参照) →P.669 **3.** ロールホルダーをプリンタにセットします。

インク関連のメッセージ

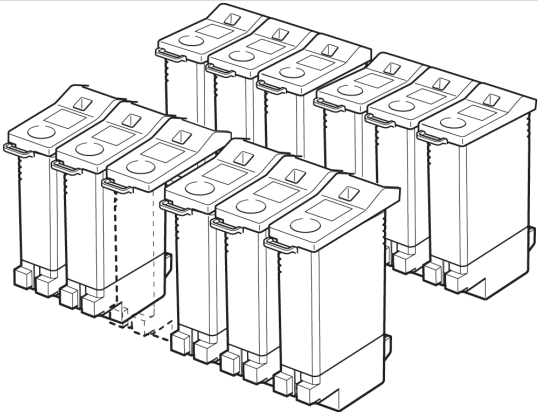
ｲﾝｸが不足しています。

原因	処置
インクの残量が少ないため、プリントヘッドのクリーニングや印刷など、インクを使用する機能が実行できません。	[▲]キー、[▼]キーを押して[ｲﾝｸﾀﾝｸ交換]を選択し、[OK]キーを押して、残量の少ないインクタンクを新しいインクタンクに交換します。(「インクタンクを交換する」参照) →P.837
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷続行]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	プリンタの状態が[スタンバイ]の場合は、[OK]キーを押して、残量の少ないインクタンクを新しいインクタンクに交換します。(「インクタンクを交換する」参照) →P.837

ｲﾝｸがありません。

原因	処置
インクがなくなりました。	インクタンクカバーを開き、インクランプが点滅している色のインクタンクを交換します。(「インクタンクを交換する」参照) →P.837

ｲﾝｸの残量を正しく検知できません。

原因	処置
インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなります。	インクを補充したインクタンクはそのままでは使用できません。[インク残量検知機能について]を参照し、必要な処置を行ってください。(「インク残量検知機能について」参照) →P.906

ｲﾝｸﾀﾝｸｶﾊﾞｰを閉じてください。

原因	処置
インクタンクカバーが開いています。	インクタンクカバーを閉めます。 エラーが解除されると、ブザーが鳴り止みます。

ｲﾝｸ残量が少ないです。

原因	処置
インクの残量が少なくなっています。	新しいインクタンクを準備します。 長尺印刷や多部数の印刷の場合は、残量の少ないインクタンクを新しいインクタンクに交換することをお勧めします。

ｲﾝｸﾀﾝｸが装着されていません。

原因	処置
インクタンクがセットされていません。	インクタンクをセットし直します。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.837

原因	処置
	インクタンクをセットし直します。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.837
インクタンクにトラブルが発生しました。	新しいインクタンクに交換します。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.837

インクタンクが違います。

原因	処置
使用できないインクタンクがセットされています。	プリンタ指定のインクタンクをセットします。 (「インクタンクを交換する」参照) →P.837

印刷／調整関連のメッセージ

この用紙では実行できません。

原因	処置
カラーキャリブレーションに対応している用紙がセットされていません。	**1.** [OK]キーを押してエラーを解除します。 **2.** カラーキャリブレーションに対応している用紙をセットします。 用紙リファレンスガイドを参照してください。 (「用紙の種類」参照) →P.663 プリンタにセットした用紙と、プリンタの用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。

指定された印刷ができません。

原因	処置
セットされている用紙が小さすぎます。 (テストプリントなどのプリンタ内部データを印刷するとき。)	以下の手順で、A4/レター縦サイズ以上の用紙に交換します。 **1.** [▲]キー、[▼]キーを押して[用紙を交換する]を選択し、[OK]キーを押して用紙を取り外します。 (「カット紙を取り外す」参照) →P.701 **2.** A4/レター縦サイズ以上の用紙に交換します。 (「カット紙をセットして印刷する」参照) →P.6 印刷が再開されます。
	[▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を中止します。

ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝできません。

原因	処置
調整用パターンを印刷するための用紙が汚れています。または色の付いた用紙がセットされています。	[OK]キーを押してエラーを解除します。 カラーキャリブレーションに対応した未使用の用紙をセットします。 (「用紙の種類」参照) →P.663
印刷した調整用パターンがかすれています。	[OK]キーを押してエラーを解除します。 印刷のかすれを直します。 (「印刷がかすれる」参照) →P.890

原因	処置
直射日光など、強い光がプリンタに当たり、センサが誤動作している可能性があります。	[OK]キーを押してエラーを解除します。 直射日光など、強い光がプリンタに当たらない環境で使用します。

ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ　温度・湿度が適応範囲を超えています。

原因	処置
プリンタ設置環境の温度または湿度が適応範囲外です。	[▲]キー、[▼]キーを押して[中止]を選択し、[OK]キーを押して、印刷を中止します。 プリンタに適した動作環境で使用してください。また、使用する用紙ごとに用紙の推奨使用環境が異なります。推奨使用環境については、用紙リファレンスガイドを参照してください。 （「用紙の種類」参照） →P.663
	[▲]キー、[▼]キーを押して[続行]を選択し、[OK]キーを押して、カラーキャリブレーションを続行します。ただし、正しく調整されない可能性があります。

ﾌﾁなし印刷をする時は、ﾌﾟﾗﾃﾝ上の青いｽｲｯﾁを切換えてください。

原因	処置
フチなし印刷用のデータを送信した時に、プラテン上の青いスイッチが●の反対側に設定されています。	フチなしで印刷する場合は、プラテン上の青いスイッチを●側に設定します。 （「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照） →P.896

ﾌﾟﾗﾃﾝ上の青いｽｲｯﾁが汚れています。

原因	処置
プラテン上の青いスイッチが汚れています。	上カバーを開けて、プラテン上の青いスイッチを清掃してください。 （「上カバー内部を清掃する」参照） →P.864

ﾌﾟﾗﾃﾝ上の青いｽｲｯﾁNo.xx を右に動かしてください。(xx は数字)

原因	処置
印刷中のメンテナンスに必要な箇所のプラテン上の青いスイッチが●の反対側に設定されていることを検知しました。	メッセージで示された番号の、プラテン上の青いスイッチを●側に設定します。 （「プラテン上の青いスイッチを設定する」参照） →P.896

紙送り調整できません。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	以下の手順を行い、[画質調整]をやり直してください。 **1.** [OK]キーを押してエラーを解除します。 **2.** ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べます。 （「ノズルのつまりをチェックする」参照） →P.846 **3.** ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	(「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.847 **4.** [画質調整]をやり直します。 (「横スジを自動で調整する(画質調整)」参照) →P.717
用紙の送り量を自動で調整できない透過性の高いフィルム系の用紙がセットされています。	[OK]キーを押してエラーを解除し、用紙の送り量を手動で調整します。 (「横スジを手動で調整する(画質調整)」参照) →P.719

印刷された出力物を確認してください。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまり始めています。	印刷物がかすれている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.847

プリントヘッド関連のメッセージ

ﾍｯﾄﾞ調整できません

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	以下の手順を行い、[ﾍｯﾄﾞ位置調整]をやり直してください。 **1.** [OK]キーを押してエラーを解除します。 **2.** ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べます。 (「ノズルのつまりをチェックする」参照) →P.846 **3.** ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.847 **4.** [ﾍｯﾄﾞ位置調整]をやり直します。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710
プリントヘッドの調整ができない、透過性の高いフィルム系の用紙がセットされています。	[OK]キーを押してエラーを解除します。 プリントヘッドを調整する場合は、フィルム系以外の使用頻度が高い用紙で調整することをお勧めします。 (「縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する(ヘッド位置調整)」参照) →P.710

ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞの装着位置(L/R)が違います。

原因	処置
プリントヘッドの装着位置が違います。	上カバーを開けて、一度右側で使用したプリントヘッドは右側に、左側で使用したプリントヘッドは左側にセットし直してください。

ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞ x が違います。(x は L、R または表示なし)

原因	処置
使用できないプリントヘッドが取り付けられています。	上カバーを開けて、[プリントヘッド L]と表示された場合はプリントヘッド L、[プリントヘッド R]と表示された場合はプリントヘッド R、表示なしの場合はプリントヘッド L およびプリントヘッド R を、新しいプリントヘッドに交換します。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.848

ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞ x が異常です。(x は L、R または表示なし)

原因	処置
プリントヘッドに異常があります。	以下の手順で、プリントヘッドを交換してください。 **1.** 上カバーを開けます。

原因	処置
プリントヘッドに異常があります。	2. [プリントヘッド L]と表示された場合はプリントヘッド L、[プリントヘッド R]と表示された場合はプリントヘッド R、表示なしの場合はプリントヘッド L およびプリントヘッド R を、新しいプリントヘッドに交換します。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.848
	以下の手順で、プリントヘッドを交換してください。 1. 電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてます。 2. [プリントヘッド L]と表示された場合はプリントヘッド L、[プリントヘッド R]と表示された場合はプリントヘッド R、表示なしの場合はプリントヘッド L およびプリントヘッド R を、新しいプリントヘッドに交換します。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.848

ﾌﾟﾘﾝﾄﾍｯﾄﾞ x がありません。(x は L、R または表示なし)

原因	処置
プリントヘッドが取り付けられていません。	[プリントヘッド L]と表示された場合はプリントヘッド L、[プリントヘッド R]と表示された場合はプリントヘッド R、表示なしの場合はプリントヘッド L およびプリントヘッド R を取り付けます。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.848

ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ を行ってください。

原因	処置
プリントヘッドのノズルがつまっています。	以下の手順で、プリントヘッドをクリーニングしてください。 1. [▲]キー、[▼]キーを押して[印刷を中止する]を選択し、印刷を中止します。 2. プリントヘッドをクリーニングします。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.847 それでもこのメッセージが消えない場合はプリントヘッドを交換してください。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.848
	[▲]キー、[▼]キーを押して[そのまま印刷する]を選択し、[OK]キーを押して印刷を続行します。ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
	ディスプレイに[OK]と表示された場合は、以下の手順で、プリントヘッドをクリーニングしてください。 1. 操作パネルの[OK]キーを押して印刷を中止します。 2. プリントヘッドをクリーニングします。 (「プリントヘッドをクリーニングする」参照) →P.847 それでもこのメッセージが消えない場合はプリントヘッドを交換してください。 (「プリントヘッドを交換する」参照) →P.848

メンテナンスカートリッジ関連のメッセージ

ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｰﾄﾘｯｼﾞ が装着されていません。

原因	処置
メンテナンスカートリッジが取り付けられていません。	メンテナンスカートリッジを取り付けます。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.856

ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｰﾄﾘｯｼﾞ が違います。

原因	処置
違う機種のメンテナンスカートリッジが取り付けられました。	ご使用のプリンタ専用のメンテナンスカートリッジと交換してください。

ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｰﾄﾘｯｼﾞ 残り容量が少ないです。

原因	処置
メンテナンスカートリッジの残り容量が少なくなってきました。	印刷は続行されますが、メンテナンスカートリッジ交換のメッセージに備えて新しいメンテナンスカートリッジを準備します。

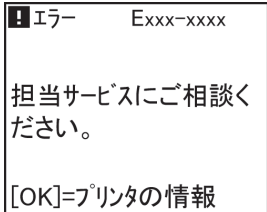
ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｰﾄﾘｯｼﾞ の残り容量がありません

原因	処置
プリントヘッドのクリーニングなどを実行するのに十分なメンテナンスカートリッジの残り容量がありません。	プリンタの動作が停止していることを確認し、メンテナンスカートリッジを交換します。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.856

ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｰﾄﾘｯｼﾞ がいっぱいです。

原因	処置
メンテナンスカートリッジの残り容量がなくなりました。	プリンタの動作が停止していることを確認し、メンテナンスカートリッジを交換します。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.856

ﾒﾝﾃﾅﾝｽｶｰﾄﾘｯｼﾞ が異常です。

原因	処置
使用できない、または使用済みのメンテナンスカートリッジが取り付けられています。	プリンタ指定の未使用のメンテナンスカートリッジを取り付けます。 (「メンテナンスカートリッジを交換する」参照) →P.856

その他のメッセージ

GARO Wxxxx（x は数字）

原因	処置
印刷ジョブに問題があります。	正しいプリンタドライバを使用して、印刷し直します。
	そのまま印刷が続行されます。 但し、意図通りの印刷結果が得られない場合があります。

ｴﾗｰ Exxx-xxxx（x は英数字）

原因	処置
お客様では対処の出来ないエラーが発生している可能性があります。 ! ｴﾗｰ　Exxx-xxxx 担当ｻｰﾋﾞｽにご相談ください。 [OK]=ﾌﾟﾘﾝﾀの情報	エラーコードとメッセージをメモに書き留めてから電源をオフにし、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

ﾊｰﾄﾞｳｪｱｴﾗｰ xxxxxxxx-xxxx（x は英数字）

原因	処置
印刷中にロール紙がなくなりました。ロール紙の後端とロール紙の芯がテープで止められているため、搬送が止まっています。	電源をオフにして、ロール紙をプリンタから取り外してから電源をオンにしてください。
上カバー内部のテープやベルトストッパが取り外されていません。	電源をオフにして、上カバーを開きテープやベルトストッパを取り外してから電源をオンにしてください。
お客様では対処の出来ないエラーが発生している可能性があります。	電源をオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしてください。 再びメッセージが表示される場合は、エラーコードとメッセージをメモに書き留めてから電源をオフにし、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

原因	処置
ハードウェアエラー xxxxxxxx-xxxx 電源を切り、しばらく たってから再度電源を 入れてください。 [OK]=プリンタの情報	電源をオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしてください。 再びメッセージが表示される場合は、エラーコードとメッセージをメモに書き留めてから電源をオフにし、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

部品交換が近付いています。

原因	処置
サービス交換が必要な消耗部品の交換時期が近付いています。	[部品交換目安を過ぎています。]と表示されるまでは、しばらく使用することができます。 キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

部品交換目安を過ぎています。

原因	処置
サービス交換が必要な消耗部品の交換時期の目安を過ぎています。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

ファイルを認識できませんでした。

原因	処置
プリンタを最新状態にするために送信した用紙情報などのデータ形式が間違っています。	データを確認してください。電源を切り、しばらくたってから再度電源を入れてデータを送信し直します。
違う機種のファームウェアがアップロードされています。	ファームウェアを確認してください。電源を切りしばらくたってから再度電源を入れて、ファームウェアを送信し直します。
	再びメッセージが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

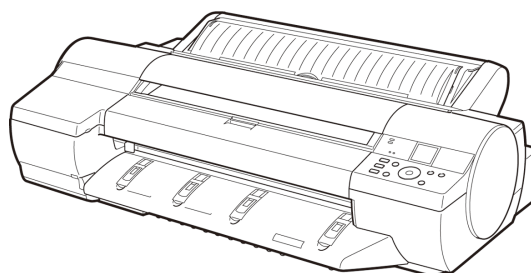
キャリブレーション マルチセンサが異常です。

原因	処置
プリンタ内部のセンサの一部の性能が低下している可能性があります。	[OK]キーを押して、キャリブレーションを中止してください。キヤノンお客様センターへご連絡ください。

マルチセンサが異常です。

原因	処置
直射日光など、強い光がプリンタに当たり、センサが誤動作している可能性があります。	直射日光など、強い光がプリンタに当たらない環境で使用します。

原因	処置
プリンタ内部のセンサの一部の性能が低下している可能性があります。	キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

付録

このマニュアルの使い方

この製品マニュアルについて

- マークについて

この製品マニュアルでは、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限、注意などの説明に、以下のマークを付けています。

	重要	操作上、必ず守っていただきたい重要事項を記載しています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。
	注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項を記載しています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	メモ	操作の参考となる情報や、特定のテーマに関する補足情報を記載しています。

- ボタン名や画面上の表示項目について

この製品マニュアルでは、操作パネル上のキーやボタンの名称、ソフトウェアの画面上の項目(メニューやボタンなど)などを以下のように表しています。

操作パネル上のキー	(例)[OK]キーを押します。
操作パネルのディスプレイの表示	(例)[ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ]と表示されます。
ソフトウェアの画面上の項目(メニューやボタンなど)	(例)[OK]をクリックします。
キーボード上のキー	(例)<Tab>を押します。

- 各部名称について

この製品マニュアルでは、プリンタ本体の各部の名称などを以下のように表しています。

プリンタ本体の各部の名称	(例)上カバーを開きます。

- 参照先について

この製品マニュアルでは、参照していただきたいページやマニュアルを、以下のように表しています。

製品マニュアル内のページへの参照	(例)「電源をオン/オフにする」を参照してください。 →P.760 リンクをクリックすると該当のページにジャンプします。
関連するマニュアルへの参照	(例)用紙リファレンスガイドを参照してください。
その他への参照	(例)プリンタドライバのヘルプを参照してください。

- イラストやソフトウェアの画面について

  - この製品マニュアルで使われている機種のイラストは、実際の機種と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
  - この製品マニュアルで使われているプリンタドライバやアプリケーションソフトの画面は、ソフトウェアのバージョンアップなどにより、実際と異なる場合があります。
  - この製品マニュアルでは、Windows での操作説明に Windows XP の画面が使われています。

- 商標について
  - Canon、Canon ロゴ、imagePROGRAF は、キヤノン株式会社の商標または登録商標です。
  - Microsoft、Windows は、アメリカ合衆国およびその他の国で登録されている Microsoft Corporation の商標です。
  - Macintosh は、アメリカ合衆国およびその他の国で登録されている Apple Inc.の商標です。
  - Adobe RGB は、Adobe Systems Incorporated が提唱する色空間であり、同社の商標です。
  - その他の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。
- 著作権について

  - 製品マニュアルの内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- お客様へご承知いただきたいこと

  以下の点について、あらかじめご了承ください。
  - 製品マニュアルに記載した内容は、予告なしに変更する場合があります。
  - 製品マニュアルの内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

動画で説明を見る

説明のページの[動画を見る]ボタンをクリックすると、動画ウィンドウが起動します。動画で、実際の手順を見て理解できます。

動画を見るために、Windows の場合は Adobe Flash Player がコンピュータにインストールされている必要があります。
インストールされていない場合は、下記 URL からダウンロードしてください。
→ http://www.adobe.com/jp/products/flashplayer/
URL は変更される可能性があります。上記 URL にアクセスできない場合は、Adobe 社のホームページからダウンロードしてください。

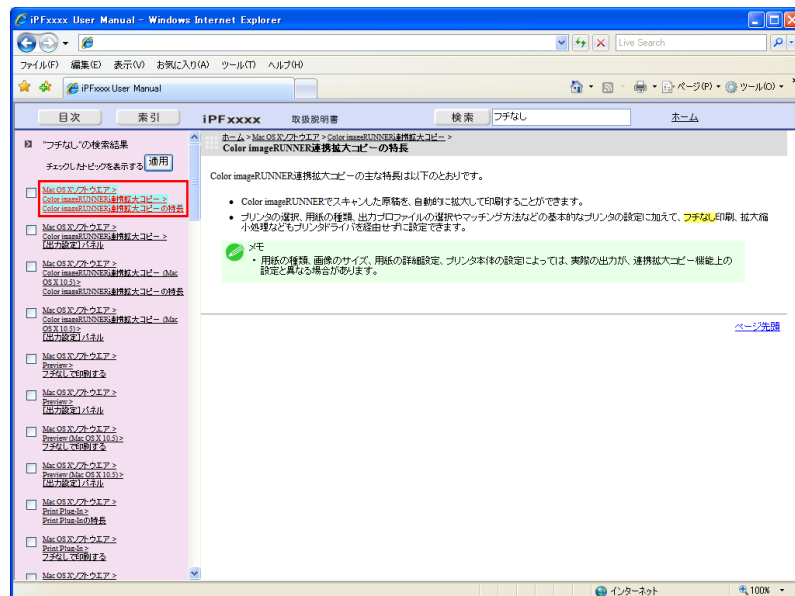
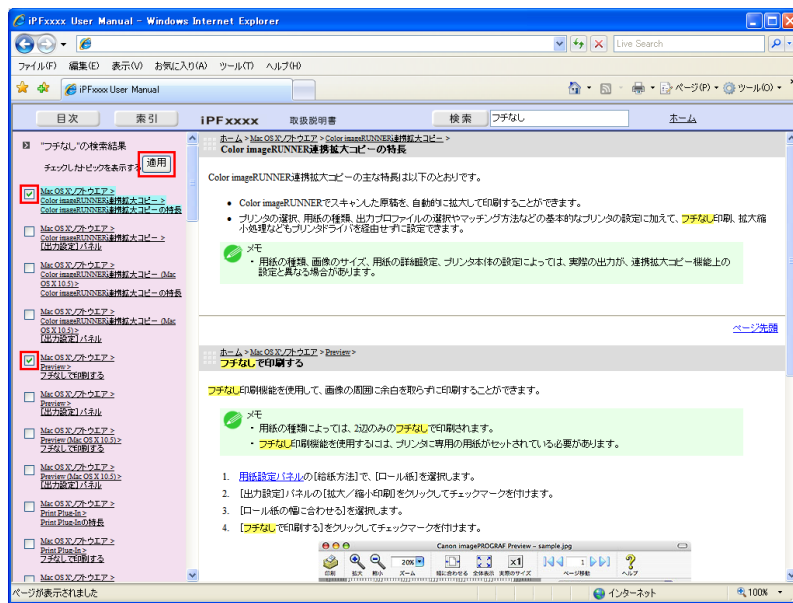
トピック検索について

この製品マニュアルでは、用語からトピックを検索できます。

1. 用語を入力して、[検索]ボタンをクリックします。

メモ
- 複数の用語で検索する場合は、用語と用語の間にスペースを入力してください。

左フレームに検索結果が表示されます。

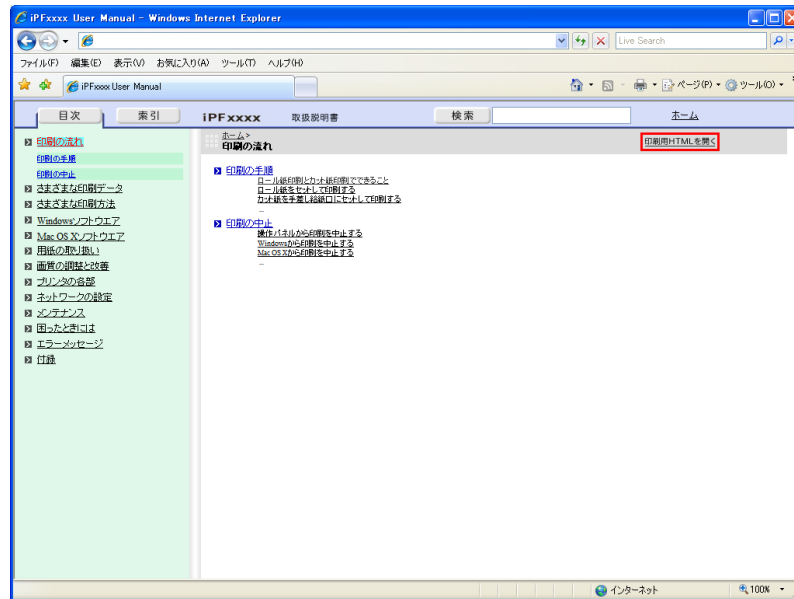
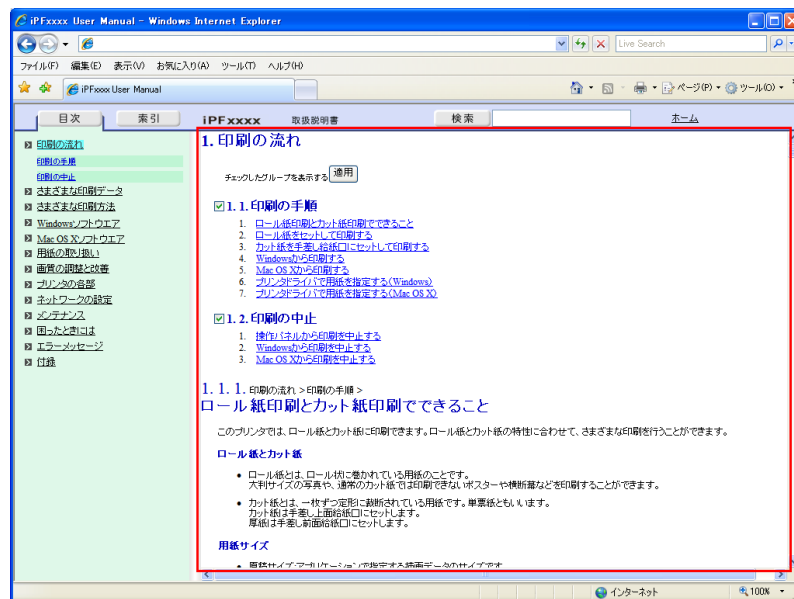
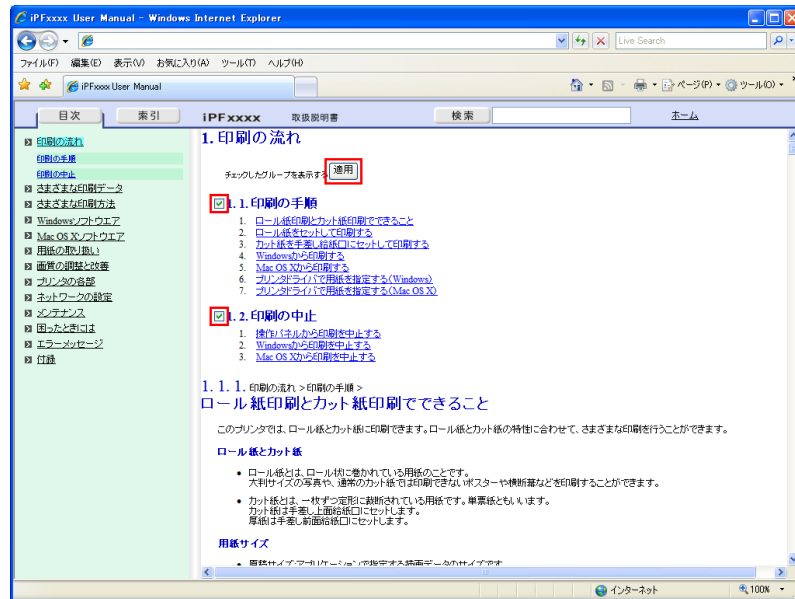
2. 確認したいトピックをクリックします。
検索した用語がマーカ表示されます。

複数のトピックを同時に確認したい場合は、確認したいトピックのチェックボックスをクリックし、[適用]ボタンをクリックします。

印刷用 HTML について

この製品マニュアルでは、目次の項目ごとにまとめて印刷したり、小項目を指定して印刷したりできます。
ここでは、[印刷の流れ]に関する内容を例に説明します。

印刷する項目をまとめて指定する

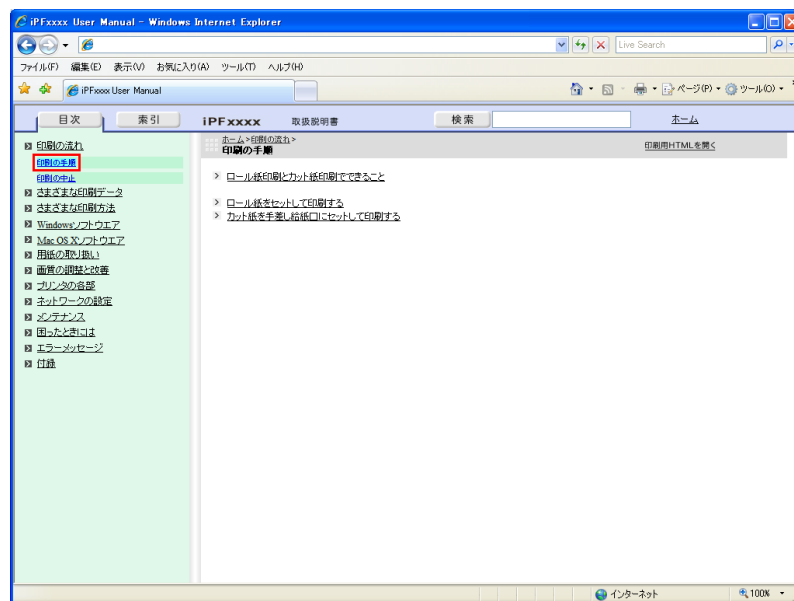
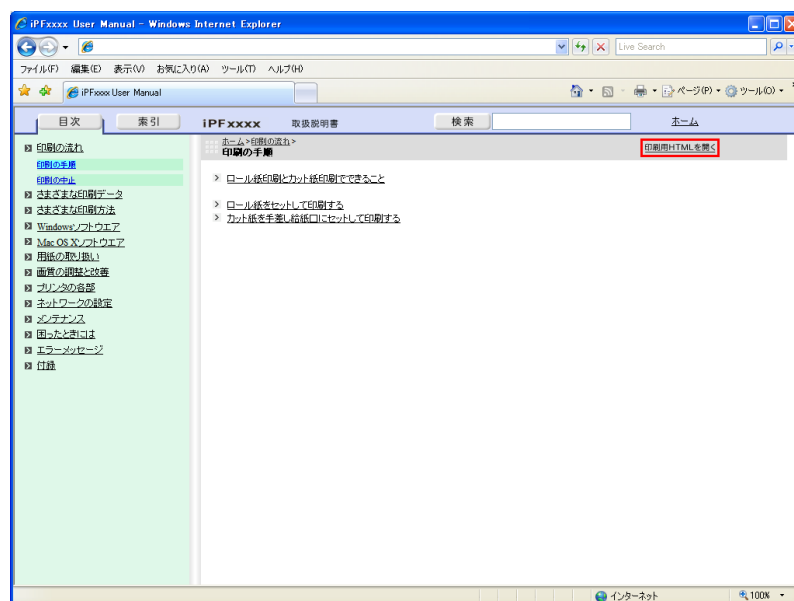
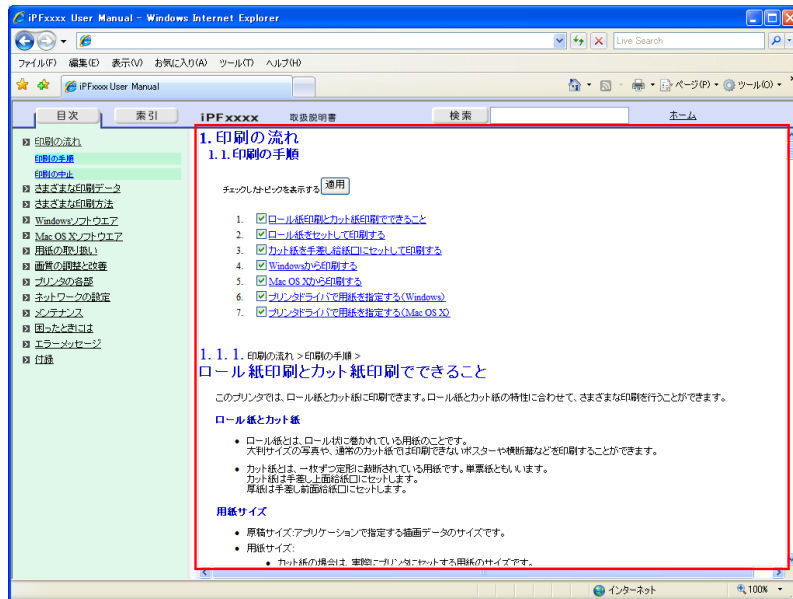
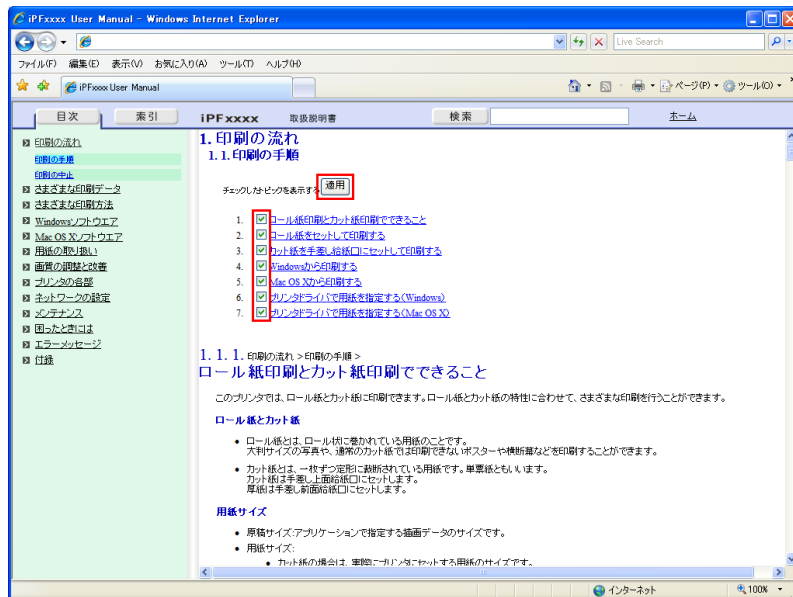
目次の大項目のタイトルから印刷用 HTML を開くと、印刷したい項目をまとめて指定できます。

1. 目次の大項目、ここでは[印刷の流れ]をクリックします。

2. タイトル部分に表示される[印刷用 HTML を開く]をクリックします。

[印刷の流れ]内の項目をまとめた、印刷用の HTML が表示されます。

3. 印刷しない項目のチェックを外し、[適用]ボタンをクリックします。

印刷する項目を小項目ごとに指定する

目次の中項目のタイトルから印刷用 HTML を開くと、印刷したい小項目ごとに指定できます。

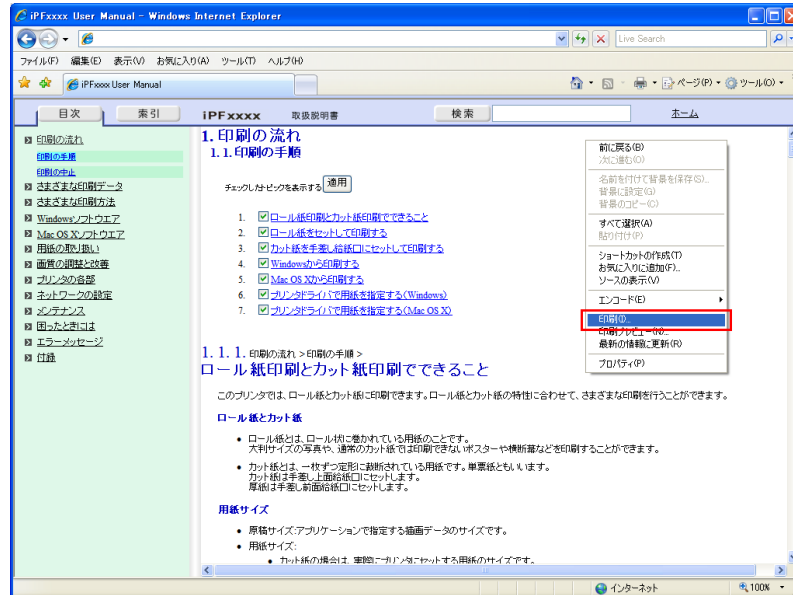
1. 目次の大項目、ここでは[印刷の流れ]をクリックします。

2. [印刷の流れ]の下の項目、ここでは[印刷の手順]をクリックします。

3. タイトル部分に表示される[印刷用 HTML を開く]をクリックします。

[印刷の手順]内の項目をまとめた、印刷用の HTML が表示されます。

4. 印刷しない項目のチェックを外し、[適用]ボタンをクリックします。

指定した項目を印刷する

以下の方法で、指定した項目を印刷します。

1. お使いの OS に合わせて、以下の手順で印刷ダイアログボックスを開きます。

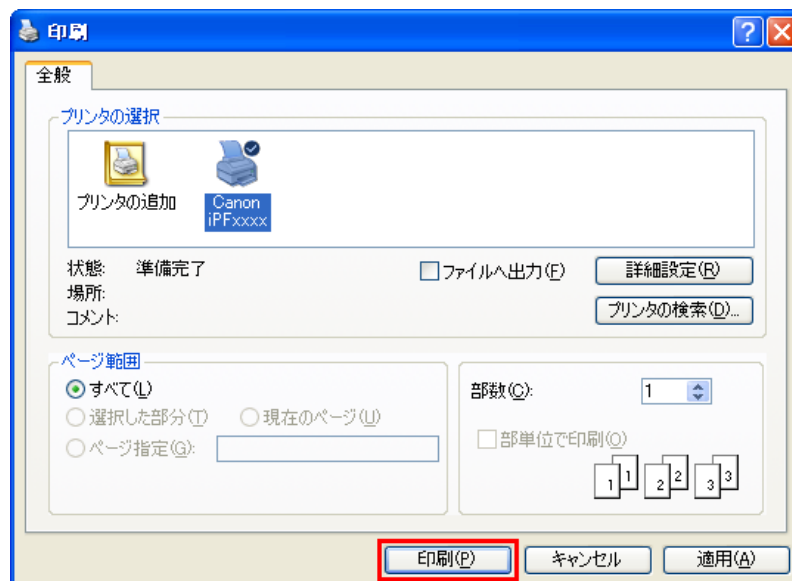
- Windows の場合

  Windows では、この説明の部分で画像やリンク以外の場所を右クリックし、[印刷]を選択して[印刷]ダイアログボックスを開きます。

- Macintosh の場合

  Macintosh では、この説明の部分で画像やリンク以外の場所を、Control キーを押しながらクリックし、表示されたメニューから[フレームをプリント]を選択し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。

13

2. 必要な条件を設定して、[印刷](Windows)または[プリント](Macintosh)をクリックします。

• Windows の場合

• Macintosh の場合

メモ

• 表示されている各説明の部分だけを印刷するには、この方法で印刷してください。

索 引

1

9

A

B

C

D

F

G

I

N

P

あ

い

う

え

お

か

き

け

こ

さ